

藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査
アンケート調査結果報告書

2019年（平成31年）3月

藤沢市

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 「子どもと子育て家庭の生活実態調査」アンケート調査の実施概要 | 1 |
| (1) 「子どもと子育て家庭の生活実態調査」アンケート調査の目的 | 1 |
| (2) アンケート調査の実施概要 | 1 |
| (3) アンケート調査の配布・回収状況 | 2 |
| 2. アンケート調査結果の分析について | 3 |
| (1) アンケート調査結果の分析の視点 | 3 |
| ① 「世帯タイプ」の分類 | 3 |
| ② 「生活困難層」の分類 | 4 |
| ③ 「潜在的養育困難層」の分類 | 7 |
| ④ 世帯タイプ・生活困難層・潜在的養育困難層の間の関係（分布）について | 9 |
| (2) アンケート調査の結果と分析の構成 | 13 |
| (3) アンケート調査の結果と分析の留意点 | 14 |
| 3. アンケート調査の結果と分析 要旨 | 15 |
| (1) 保護者の状況について | 15 |
| (2) 子どもの状況について | 20 |
| (3) 自由記述について | 24 |
| 4. アンケート調査の結果と分析 保護者の状況 | 26 |
| (1) 世帯構成について | 26 |
| ① 回答者の子どもとの続柄 | 26 |
| ② 世帯人数、子どもの人数 | 26 |
| ③ 介護・介助が必要な方の有無 | 28 |
| ④ 住居の形態と住居費 | 28 |
| (2) 親の就業状況について | 32 |
| ① 母親の就業状況と就業時間 | 32 |
| ② 父親の就業状況と就業時間 | 38 |
| (3) 子育てについて | 41 |
| ① 子どもとの関わり | 41 |
| ② 子どもの健康・障がい | 53 |
| ③ 体験等の剥奪 | 62 |
| ④ 子育て・教育に関する費用 | 73 |
| ⑤ 就学前の集団生活 | 79 |
| ⑥ 子どもの進学に関する希望 | 80 |

| | | |
|-----|-----------------------|-----|
| ⑦ | 子育てに関する悩みごと..... | 86 |
| (4) | 保護者（回答者）について..... | 91 |
| ① | 年齢・婚姻状況..... | 91 |
| ② | 朝食の摂取..... | 93 |
| ③ | 健康状態の認識..... | 95 |
| ④ | うつ傾向..... | 98 |
| ⑤ | 相談相手等..... | 103 |
| (5) | 収入・家計について..... | 112 |
| ① | 暮らし向きへの認識..... | 112 |
| ② | 食料・衣類が買えない経験..... | 118 |
| ③ | 公共料金等の不払いの有無..... | 124 |
| ④ | 手当・援助等の有無..... | 126 |
| ⑤ | 世帯の年間収入..... | 131 |
| (6) | 保護者の過去の経験について..... | 132 |
| ① | 最終学歴（最後に通った学校）..... | 132 |
| ② | 15歳の頃の世帯の状況..... | 138 |
| ③ | 成人する前の困難な経験..... | 144 |
| ④ | 子どもが生まれてからの経験..... | 148 |
| (7) | 子育て支援について..... | 151 |
| ① | 使っている情報源・使いたい情報源..... | 151 |
| ② | 支援制度等への興味..... | 154 |

5. アンケート調査の結果と分析 子どもの状況..... 158

| | | |
|-----|------------------|-----|
| (1) | 子どもの属性について..... | 158 |
| ① | 性別..... | 158 |
| (2) | 生活の状況について..... | 159 |
| ① | 食事..... | 159 |
| ② | 健康..... | 166 |
| ③ | 放課後・休日の過ごし方..... | 170 |
| ④ | 日常生活の過ごし方..... | 177 |
| ⑤ | 物理的な剥奪..... | 184 |
| ⑥ | 読書..... | 188 |
| (3) | 学校生活について..... | 190 |
| ① | 楽しみなこと..... | 190 |
| ② | 授業・勉強の理解度..... | 194 |
| ③ | 得意な教科..... | 199 |
| ④ | 学校以外での学習..... | 199 |
| ⑤ | 遅刻の頻度..... | 205 |

| | | |
|------|---|-----|
| (4) | 将来への意識や自己肯定感、悩みごと等について | 207 |
| ① | 将来の夢 | 207 |
| ② | 自己肯定感 | 209 |
| ③ | 非認知能力 | 213 |
| ④ | 相談相手や仲の良い友だち | 217 |
| ⑤ | 不登校傾向等 | 219 |
| ⑥ | 支援ニーズ | 222 |
| ⑦ | 自分や家族についての心配ごとや悩みごと | 226 |
| ⑧ | 学校のことで困りごと | 229 |
| 6. | 自由記述について | 232 |
| (1) | 保護者の自由記述 | 232 |
| ① | 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（5歳児保護者） | 232 |
| ② | 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（小学生保護者） | 236 |
| ③ | 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（中学生保護者） | 240 |
| (2) | 子どもの自由記述 | 244 |
| ① | 将来の夢（小学生） | 244 |
| ② | 将来の夢（中学生） | 246 |
| ③ | 大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていること（小学生） | 248 |
| ④ | 大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていること（中学生） | 251 |
| 参考資料 | アンケート調査票 | 255 |

1. 「子どもと子育て家庭の生活実態調査」アンケート調査の実施概要

(1) 「子どもと子育て家庭の生活実態調査」アンケート調査の目的

「子どもと子育て家庭の生活実態調査」アンケート調査（以下、「アンケート調査」という。）は、子育て家庭の所得水準等の経済状況だけでなく、子どもや子育て家庭の生活状況、子どもの学習状況、子どもや子育て家庭の抱える課題や支援ニーズ等について、広く実態把握することを目的としている。本アンケート調査と別途実施したヒアリング調査の調査結果を多角的な視点で分析し、子どもと子育て家庭に係る福祉施策・教育施策等の方向性を検討する際の基礎資料とする。

(2) アンケート調査の実施概要

アンケート調査は、市内の5歳児の保護者（全数）、市立小学校の5年生およびその保護者（35校）、市立中学校の2年生及びその保護者（19校）に対して実施した。調査の実施概要は次のとおりである。

図表1-2-1 アンケート調査の実施概要

| | | 5歳児保護者 | 小学校5年生 児童・保護者 | 中学校2年生 生徒・保護者 |
|------|------|---|---|--|
| 実施方法 | | 各家庭に郵送で配布し、郵送にて回収。 | 市立小学校（35校）・市立中学校（19校）を經由して各家庭に配布し、郵送にて回収。 | |
| 実施時期 | | 平成30年9月22日～平成30年10月15日 | 平成30年9月28日～平成30年10月15日 | 平成30年9月28日～平成30年10月15日 （平成30年10月31日到着分まで集計） |
| 質問内容 | 保護者票 | 就業の状況、収入・家計の状況、基本的な生活習慣や健康、子どもや周囲の人との人間関係、悩みごと、など | 就業の状況、収入・家計の状況、子育て、基本的な生活習慣や健康、子どもや周囲の人との人間関係、悩みごと、など | |
| | 子ども票 | | 基本的な生活習慣や健康、家族や友だち等との人間関係、放課後の過ごし方、学習の状況、悩みごと、など | |

(3) アンケート調査の配布・回収状況

アンケート調査の配布・回収状況は次のとおりである。

図表 1-3-1 アンケート調査の配布・回収状況

| | | 5歳児保護者 | 小学校5年生 児童・保護者 | 中学校2年生 生徒・保護者 |
|-------------|-------|---------|------------------|------------------|
| 調査票配布数 | | 3,845 件 | 3,957 件 | 3,600 件 |
| 調査分析対象の回収状況 | | | | |
| 保護者票 | 回収数 | 2,457 件 | 1,602 件 | 1,076 件 |
| | 有効回答数 | 2,444 件 | 1,597 件 | 1,073 件 |
| | 回収率 | 63.9% | 40.5% | 29.9% |
| 子ども票 | 回収数 | | 1,595 件 | 1,049 件 |
| | 回収率 | | 40.3% | 29.1% |

2. アンケート調査結果の分析について

(1) アンケート調査結果の分析の視点

本報告書では、調査票全5種（5歳児保護者票・小学校5年生票・小学校5年生保護者票・中学校2年生票・中学校2年生保護者票）それぞれについて、各設問について単純集計を行った結果を掲載した。

また、5歳児保護者票・小中学生保護者票では、世帯の状況を尋ねる設問があり、これらを用いて「世帯タイプ別」「生活困難層別」「潜在的養育困難層別」に回答者の世帯を分類し、クロス集計を行った。小学生票・中学生票についても小中学生保護者票と紐付けることで、上記の分類別に状況を分析した。

なお、クロス集計の目的は、「回答者をいくつかのグループに分け、グループによってどのような状況の違いがあるかを分析する」ことである。

それぞれの分類の詳細は次のとおりである。

① 「世帯タイプ」の分類

世帯タイプは、「ひとり親世帯（2世代同居）」、「ひとり親世帯（3世代同居）」、「ふたり親世帯（2世代同居）」、「ふたり親世帯（3世代同居）」の4分類を設けた。

分類には、「宛名のお子さんの同居者」の設問（小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票の間2-4、5歳児保護者票の間3-4）と「回答者の現在の婚姻状況」の設問（小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票の間19、5歳児保護者票の間26）をそれぞれ用いた。

分類方法は、宛名のお子さんの同居者について「祖母」もしくは「祖父」のいずれかを選択している場合に「3世代同居」とし、「祖母」「祖父」いずれも選択していなければ「2世代同居」とした。また婚姻状況について「離婚（別居中を含む）」「死別」「未婚・非婚」のいずれかを選択している場合に「ひとり親世帯」とし、それ以外の場合に「ふたり親世帯」とした。これら2種類の設問への回答による判定を組み合わせ、次のような世帯タイプの分類を行った。

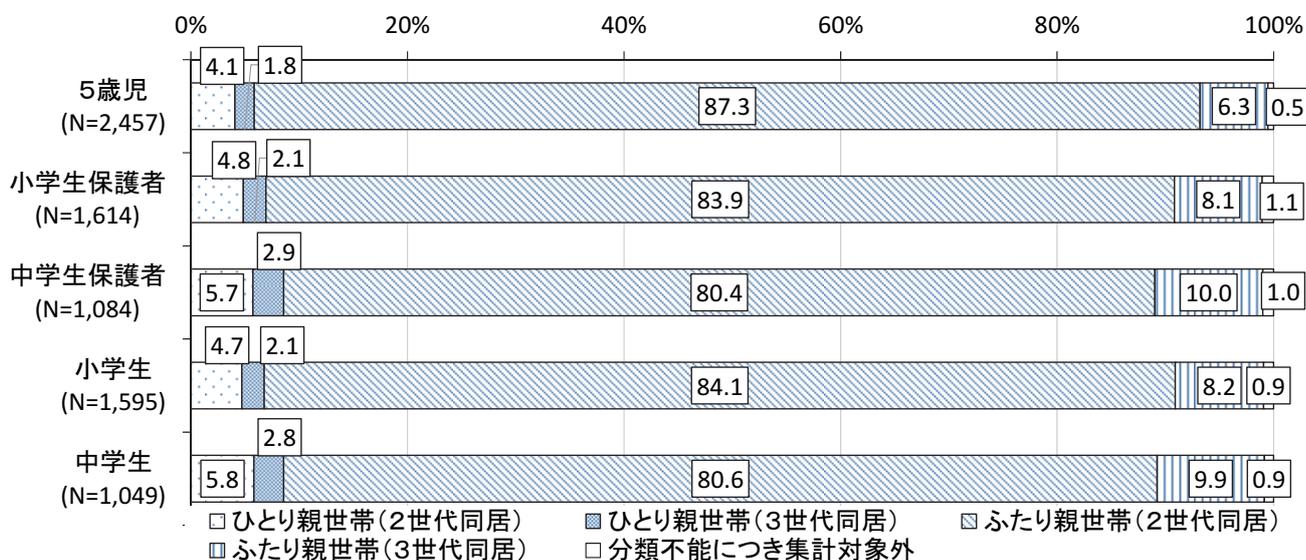
図表 2-1-1-1 アンケート調査における世帯タイプを判定する設問

| | | 宛名のお子さんの同居者 小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票 問2-4 5歳児保護者票 問3-4 | |
|---|--|---|-------------------|
| | | 「祖母」もしくは「祖父」を選択 | 「祖母」「祖父」いずれも選択せず |
| 回答者の現在の婚姻状況 小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票 問19 5歳児保護者票 問26 | 次のいずれかを選択 「離婚（別居中を含む）」 「死別」 「未婚・非婚」 | ひとり親世帯 （3世代同居） | ひとり親世帯 （2世代同居） |
| | それ以外 | ふたり親世帯 （3世代同居） | ふたり親世帯 （2世代同居） |

【「世帯タイプ」の分布】

「世帯タイプ別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 2-1-1-2 世帯タイプの分布 (調査対象別)

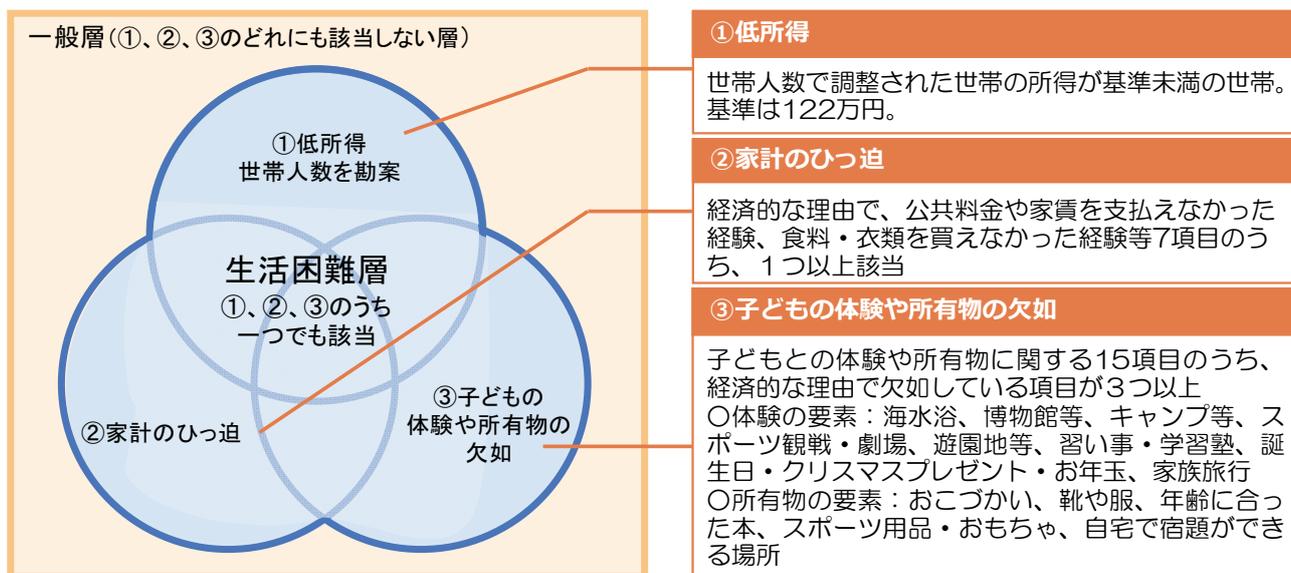


② 「生活困難層」の分類

【「生活困難」について】

今回実施したアンケート調査では、「子どもの貧困」の状態を把握するに当たって、世帯所得だけでなく、家計のひっ迫や子どもの体験、所有物の欠如といった様々な要因により、「生活困難」の状況にあると考えられる世帯を把握し、分析を行うこととした(図表2-1-2-1)。これを踏まえて、子どもの育ちに負の影響を与える要因や、子どもの権利の剥奪の状況を多面的に捉えつつ、他自治体と比較することが可能となるよう、調査票を設計した。

図表 2-1-2-1 「生活困難」の把握方法



【「生活困難」の判定方法について】

今回のアンケート調査（5歳児保護者票・小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票）で、「生活困難」の各要素の判定に使用する設問は次のとおりである（図表2-1-2-2）。ただし、この判定方法は小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票を基に作成したため、設問項目が一部異なっている5歳児保護者票とは完全には合致していない点に留意が必要である。

図表2-1-2-2 「生活困難」を判定する設問

| 要素 | 設問番号 | | 設問項目 | 要素該当条件となる設問への回答状況 |
|----------------|------|-----|----------------|-----------------------|
| | 5歳児 | 小中保 | | |
| ①低所得 | 3-1 | 2-1 | 世帯の人数 | 次の【低所得の判定基準に関する補足】を参照 |
| | 38 | 31 | 世帯の年間収入（可処分所得） | |
| ②家計のひっ迫 | 34 | 27 | 食料の不足 | 図表2-1-2-1を参照 |
| | 35 | 28 | 衣類の不足 | |
| | 36 | 29 | 公共料金等の不払いの有無 | |
| ③子どもの体験や所有物の欠如 | 19 | 10 | 子どもとの体験・経験等の剥奪 | |
| | 20 | 11 | 子どもの体験・活動等の剥奪 | |
| | 21 | 14 | 所有物の欠如 | |

【低所得の判定基準に関する補足】

上記「生活困難」を把握するための「①低所得」に関する基準は、等価可処分所得¹122万円とした。なお、この基準を用いたのは、平成28年国民生活基礎調査（調査実施は平成27年）の貧困線にならったものである。

今回のアンケート調査では、5歳児保護者票の間38及び小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票の間31で世帯の可処分所得を、5歳児保護者票の間3-1及び小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票の間2-1で世帯の人数を尋ねた。図表2-1-2-3は、世帯の可処分所得についての設問の選択肢と、世帯の人数を掛け合わせ、「①低所得」に該当する選択肢の組み合わせを示しており、本報告書の分析で「①低所得」に該当するとした組み合わせを「○」と表示している。²

¹ 世帯の可処分所得（世帯の収入から税金・社会保険料等を除いた、いわゆる世帯の手取り収入）を世帯の人数の平方根で除することで、「その世帯の世帯員一人当たりの生活水準」を意味する等価可処分所得となる。

² 数式から算出する世帯の人数別の「低所得」基準額が細かい値となるのに対して、世帯の可処分所得に関する設問は50万円ごと（1,000万円以上は100万円ごと）の区切りで尋ねており、世帯の可処分所得を厳密に把握することはできていない。そのため本報告書では、基準額をその範囲内に含む選択肢（世帯の人数が2人なら、基準額173万円を範囲に含んでいる「150～200万円」の選択肢）までを「低所得」に該当するものとした。したがって、理論上よりも多くの回答者を「低所得」と判定している可能性がある（例えば、実際の可処分所得が190万円の2人世帯は、理論上は「低所得」に該当しないが、本報告書の分析では該当すると判定している）点に留意が必要である。

図表 2-1-2-3 低所得の判定基準

| | | 世帯の人数(問3-1/2-1の回答) | | | | | | | | |
|---|---------------------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人 | 7人 | 8人 | 9人 | 10人 |
| 世帯の人数別の「低所得」基準額 (122万円 × 世帯人数の平方根) | | 173万円 | 212万円 | 244万円 | 273万円 | 299万円 | 323万円 | 346万円 | 366万円 | 386万円 |
| 世帯の 可処分 所得 (問 38 / 31 の 回答) | 1 0 ~ 50 万円未満 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 2 50 ~ 100 万円未満 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 3 100 ~ 150 万円未満 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 4 150 ~ 200 万円未満 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 200 ~ 250 万円未満 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 6 250 ~ 300 万円未満 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 7 300 ~ 350 万円未満 | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 8 350 ~ 400 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ |
| | 9 400 ~ 450 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 10 450 ~ 500 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 11 500 ~ 550 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 12 550 ~ 600 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 13 600 ~ 650 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 14 650 ~ 700 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 15 700 ~ 750 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 16 750 ~ 800 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 17 800 ~ 850 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 18 850 ~ 900 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 19 900 ~ 950 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 20 950 ~ 1000 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 21 1000 ~ 1100 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 22 1100 ~ 1200 万円未満 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 23 1200 万円以上 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |

【「生活困難」を用いた分析の視点について】

本報告書では、上記の「生活困難」の判定要素（①低所得、②家計のひっ迫、③子どもの体験や所有物の欠如）のうち、いずれにも該当しない層を「一般層」、いずれかひとつのみに該当する層を「周辺層」、2つ以上に該当する層を「困窮層」として、3層に分類し、クロス集計に使用した。

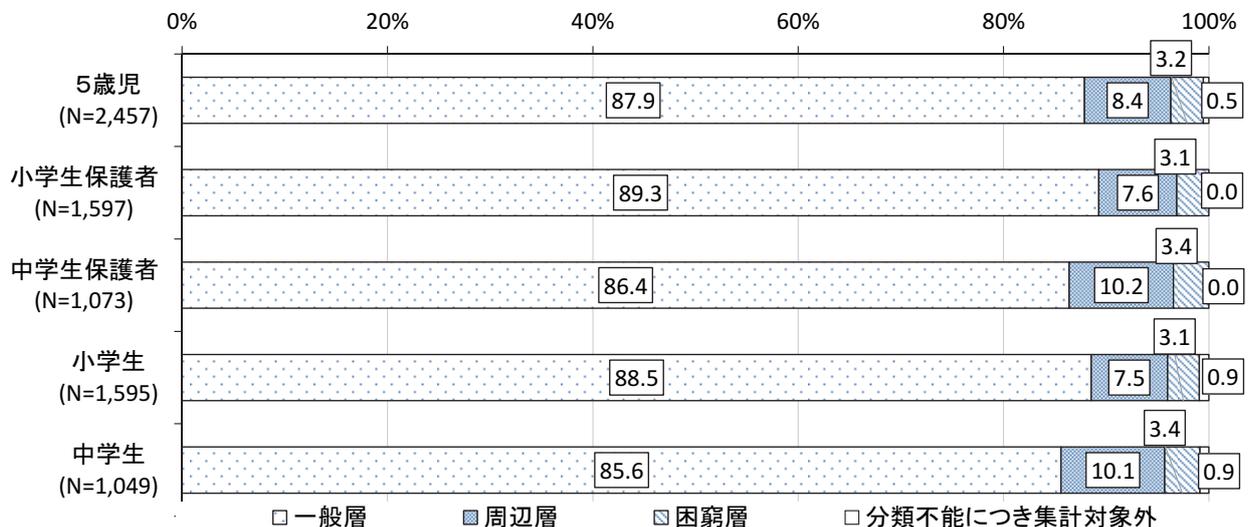
なお、「周辺層」と「困窮層」をまとめて「生活困難層」と呼ぶことがある。

また、「生活困難度」という言葉を用いて、「生活困難」の度合いが一般層、周辺層、困窮層の順に高くなるということを示すこととする。

【「生活困難層」の分布】

「生活困難層別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 2-1-2-4 生活困難層の分布（調査対象別）



③ 「潜在的養育困難層」の分類

【「潜在的養育困難」について】

ヒアリング調査からもわかるように、本市では「経済的困窮」の状況にはないものの、子どもの養育の観点から支援が必要と考えられる世帯が存在することが指摘されている。これを踏まえて本市では、「経済的困窮」の色合いが強い「生活困難」の視点とは別の視点からもアンケート調査の分析を行うこととし、保護者が子育てに困難を抱えているか、困難を抱える可能性が高い層を把握するため、独自に「潜在的養育困難」という分類を設けた。

「潜在的養育困難」を判定する要素として、「①子どもの養育状況」、「②保護者の状況」、「③世帯の状況」の3要素を設定している。「①子どもの養育状況」は、子どもの養育に具体的な影響が出ているか、子どもの養育に影響が出るリスクが高いと想定される状況、「②保護者の状況」は、保護者の精神状態や社会的な孤立の状態、保護者自身の養育環境から、養育の困難に直面するリスクが高いと想定される状況、「③世帯の状況」は、養育の困難を抱えやすい世帯の状況としている。

「潜在的養育困難」は、保護者が子育てに困難を抱えているか、困難を抱える可能性が高い層を把握するために、次項で述べる該当条件に照らして、本市独自の視点から設定した分類である。そのため、保護者のアンケートの回答状況が「潜在的養育困難」に該当していたとしても、必ずしも該当するすべての保護者が子育てに困難を抱えているとは言えない点に留意する必要がある。

【「潜在的養育困難」の判定方法について】

「潜在的養育困難」の各要素の判定方法については、厚生労働省の「児童虐待に係る児童相談所と市町村の共通リスクアセスメントツールについて」に掲載されている「リスク因子の主な指標例」を参考に、アンケート調査の設問から次のように該当条件を設定した(図表2-1-3-1)。ただし、小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票を基に設定したため、設問項目が一部異なっている5歳児保護者票とは完全には合致していない点に留意が必要である。

【「潜在的養育困難」を用いた分析の視点について】

本報告書では、「潜在的養育困難」の判定要素(①子どもの養育状況、②保護者の状況、③世帯の状況)のうち、いずれにも該当しないグループ、「子どもの養育状況」に該当しているグループ、「子どもの養育状況」には該当しておらず「保護者の状況」「世帯の状況」の2要素いずれかに該当しているグループとして、3層に分類し、クロス集計に使用した。

この分類は、「子どもの養育状況」に関しては、子どもの養育に具体的な影響が出ているか、子どもの養育に影響が出るリスクが高いと想定されるため、困難を抱えやすい要因はあるものの周囲の環境という間接的な要因にとどまっている他の2要素とは区別して扱うことで、支援の必要性をより明確に判断できるようにする目的で設定した。

なお、いずれにも該当しないグループを「非該当層」、「子どもの養育状況」に該当するグループを『「子どもの養育の要因」層』、それ以外の2要素に該当するグループを『「保護者・世帯の要因」層』と呼ぶ。また、「子どもの養育の要因」層と「保護者・世帯の要因」層をまとめて「潜在的養育困難層」と呼ぶことがある。

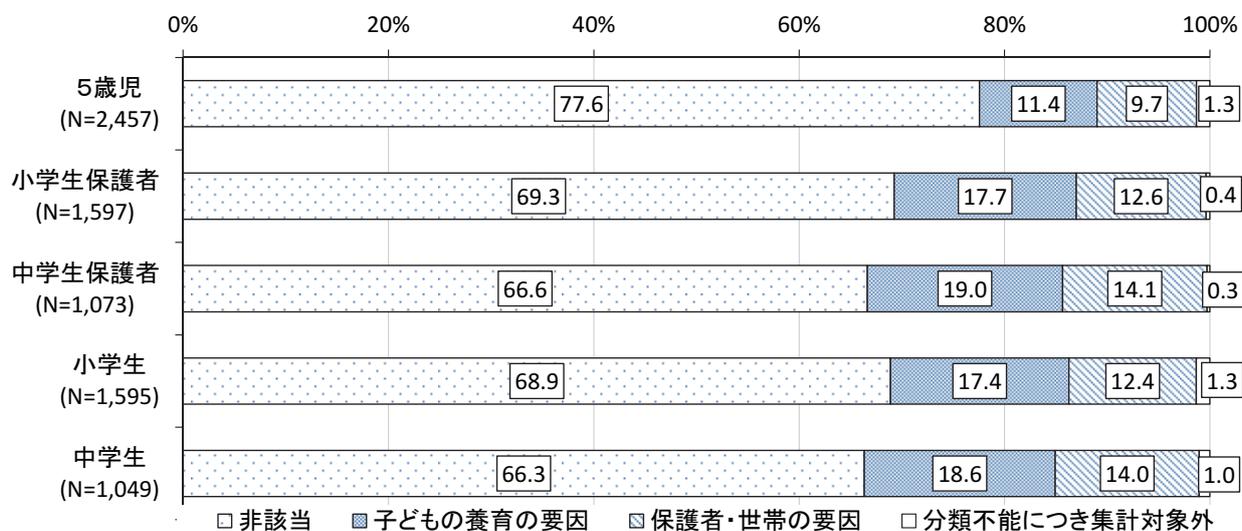
図表 2-1-3-1 「潜在的養育困難」を判定する設問と判定方法

| 要素 | 設問番号 | | 設問項目 | 要素該当条件となる設問への回答状況 |
|--|------|-----|------------------|--|
| | 5歳保 | 小中保 | | |
| ①子どもの養育状況 【該当条件】 ➡右の2条件のうち、 1つ以上に該当した場合 | 24 | 17 | 子育てに関する心配ごと・悩みごと | 次のいずれかに○ 「子どもの非行や問題行動」 「子どもが不登校である」 「子どもとのコミュニケーションが取れていない」 「子育てが楽しいと思えない」 |
| | 44 | 37 | 子どもが生まれてからの経験 | 次のいずれかに○ 「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」 「子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある」 「育児放棄になった時期がある」 |
| ②保護者の状況 【該当条件】 ➡右の4条件のうち、 2つ以上に該当した場合 | 29 | 22 | うつ傾向 | 「絶望的だと感じましたか」について 「いつも」「たいてい」に○ |
| | 30 | 23 | 保護者を支え手伝ってくれる人 | 「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が、「いない」に○ |
| | 43 | 36 | 成人前の体験 | 次のいずれかに○ 「親などの親族から暴力を振られた」 「育児放棄(ネグレクト)された」 |
| | 44 | 37 | 子どもが生まれてからの経験 | 次のいずれかに○ 「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」 「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」 「自殺を考えたことがある」 |
| ③世帯の状況 【該当条件】 ➡右の4条件のうち、 1つ以上に該当した場合 | 3-2 | 2-2 | ダブルケア | 「お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか」で、「いる」に○ |
| | 3-3 | 2-3 | 世帯の子どもの人数 | 「子どもの人数は何人ですか」に、「4」人以上と回答 |
| | 14-1 | 9-1 | 子どもの発達に関する診断 | 次のいずれかに○ 「身体障がい」「知的な遅れ」「発達障がい」 |
| | 26 | 19 | 保護者の婚姻状況(ひとり親) | 次のいずれかに○ 「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」 |

【「潜在的養育困難層」の分布】

「潜在的養育困難層別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 2-1-3-2 潜在的養育困難層の分布(調査対象別)

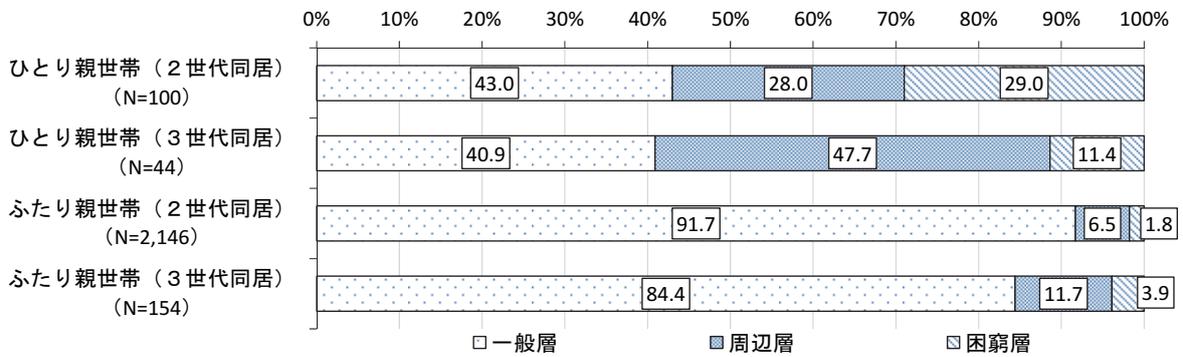


④ 世帯タイプ・生活困難層・潜在的養育困難層間の関係（分布）について

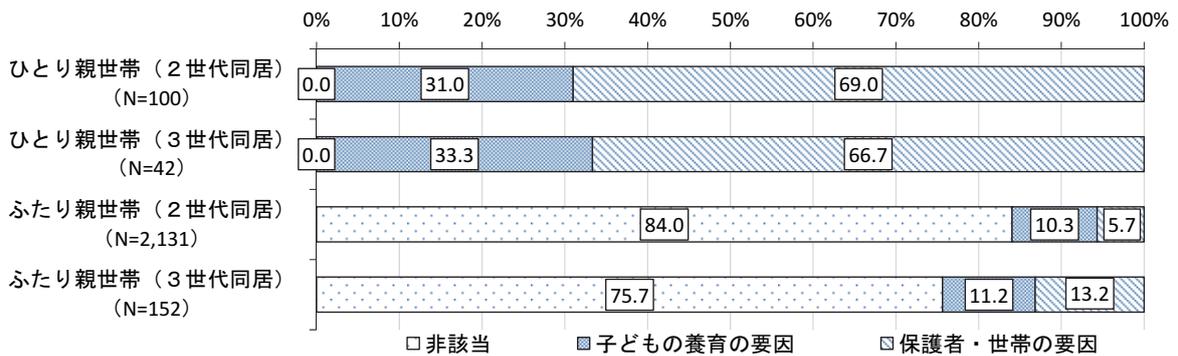
参考として、世帯タイプ・生活困難層・潜在的養育困難層の分類の間の関係（分布）は次のとおりとなっている。

【5歳児保護者について】

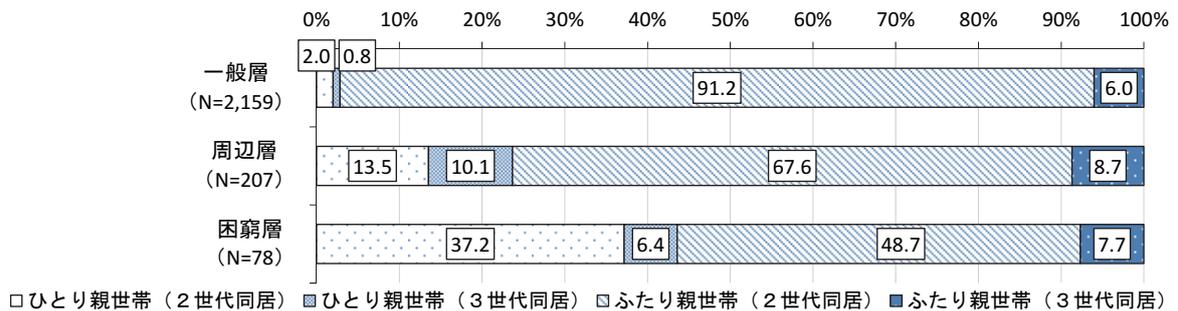
図表 2-1-4-1 世帯タイプ×生活困難層の分布（5歳児保護者）



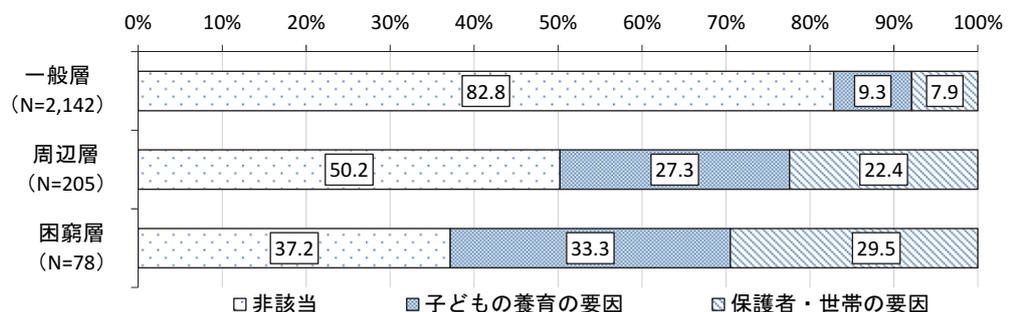
図表 2-1-4-2 世帯タイプ×潜在的養育困難層の分布（5歳児保護者）



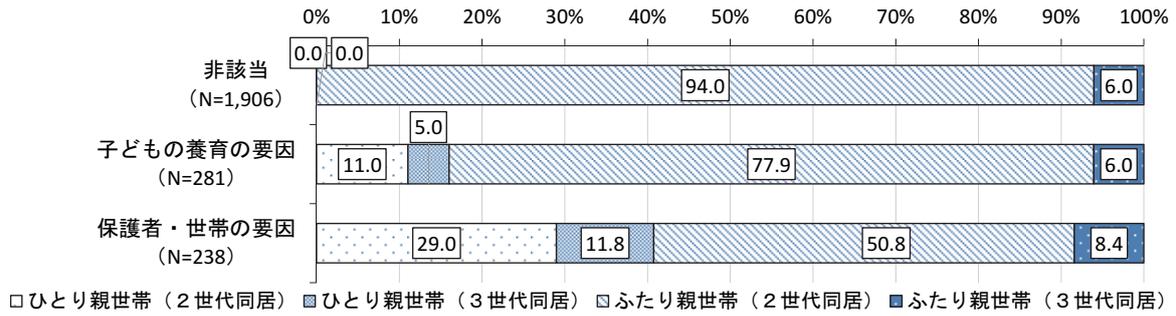
図表 2-1-4-3 生活困難層×世帯タイプの分布（5歳児保護者）



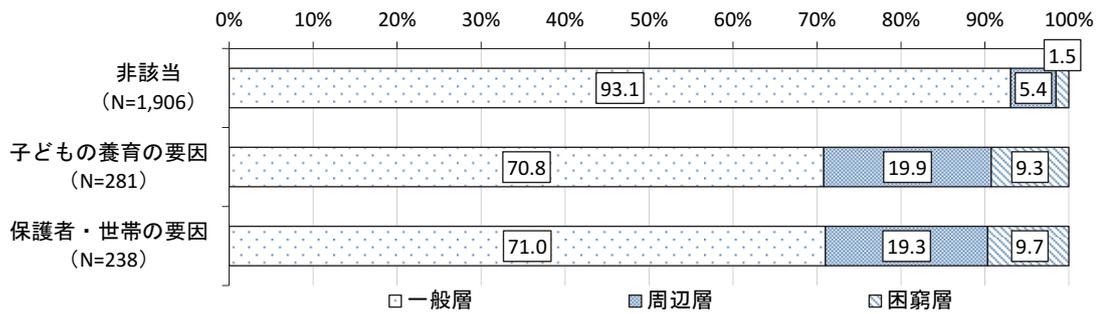
図表 2-1-4-4 生活困難層×潜在的養育困難層の分布（5歳児保護者）



図表 2-1-4-5 潜在的養育困難層×世帯タイプの分布（5歳児保護者）

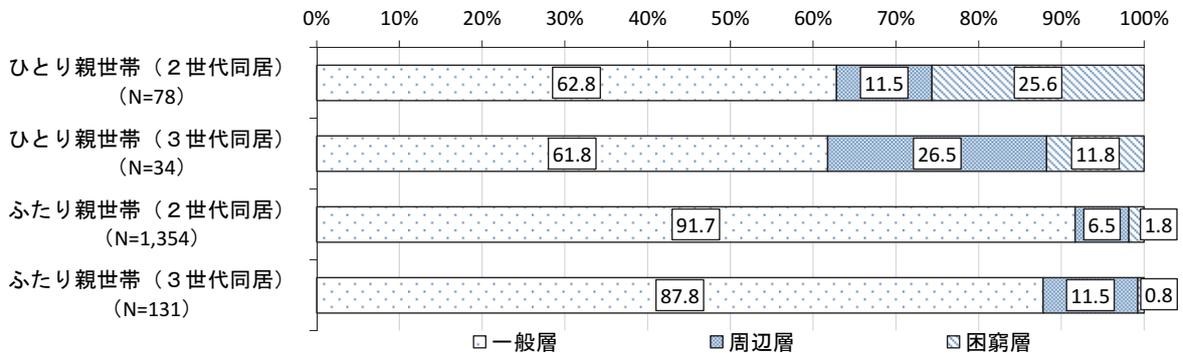


図表 2-1-4-6 潜在的養育困難層×生活困難層の分布（5歳児保護者）

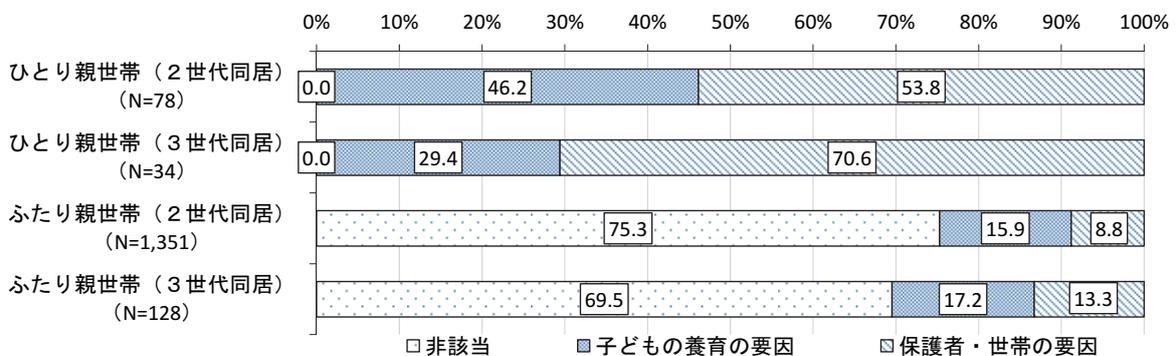


【小学生保護者について】

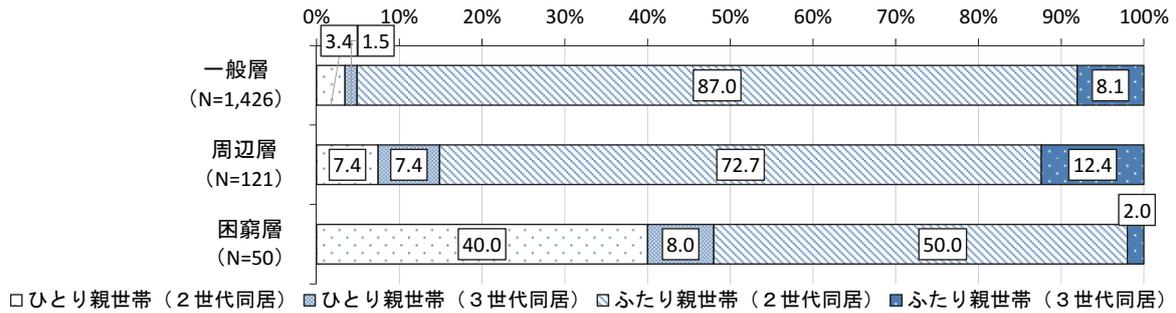
図表 2-1-4-7 世帯タイプ×生活困難層の分布（小学生保護者）



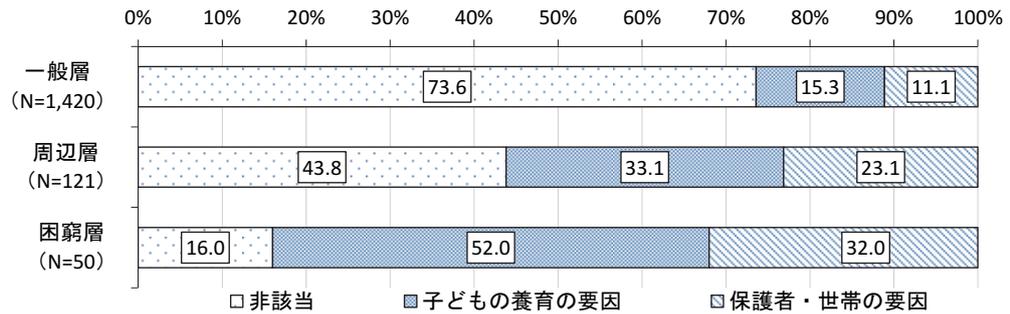
図表 2-1-4-8 世帯タイプ×潜在的養育困難層の分布（小学生保護者）



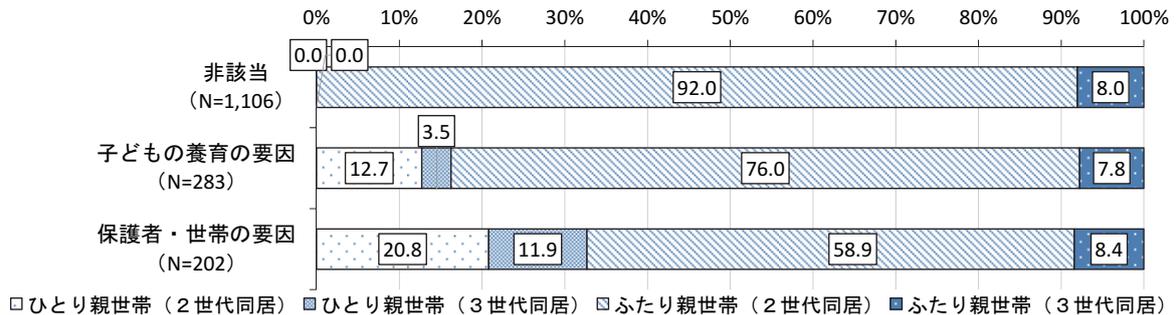
図表 2-1-4-9 生活困難層×世帯タイプの分布（小学生保護者）



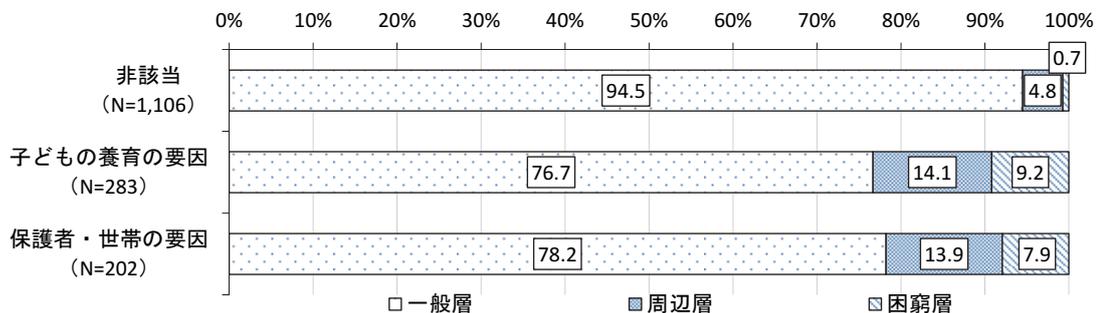
図表 2-1-4-10 生活困難層×潜在的養育困難層の分布（小学生保護者）



図表 2-1-4-11 潜在的養育困難層×世帯タイプの分布（小学生保護者）

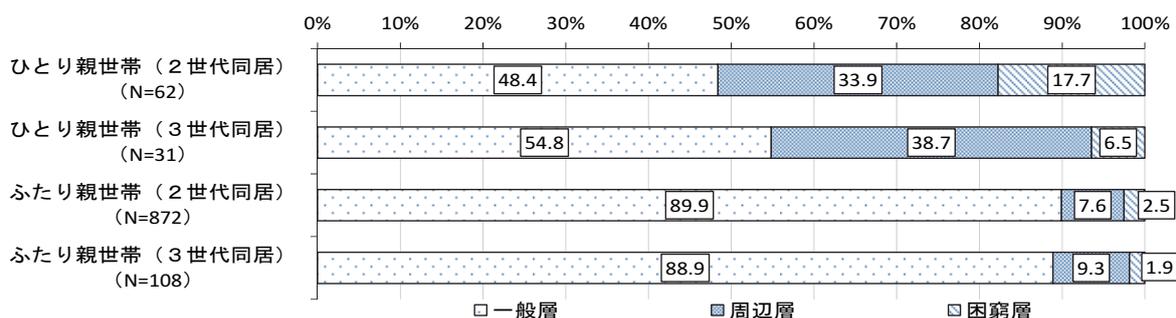


図表 2-1-4-12 潜在的養育困難層×生活困難層の分布（小学生保護者）

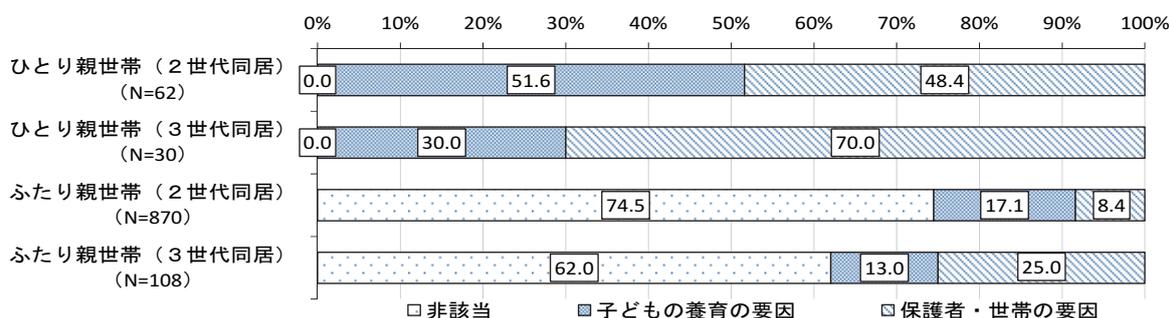


【中学生保護者について】

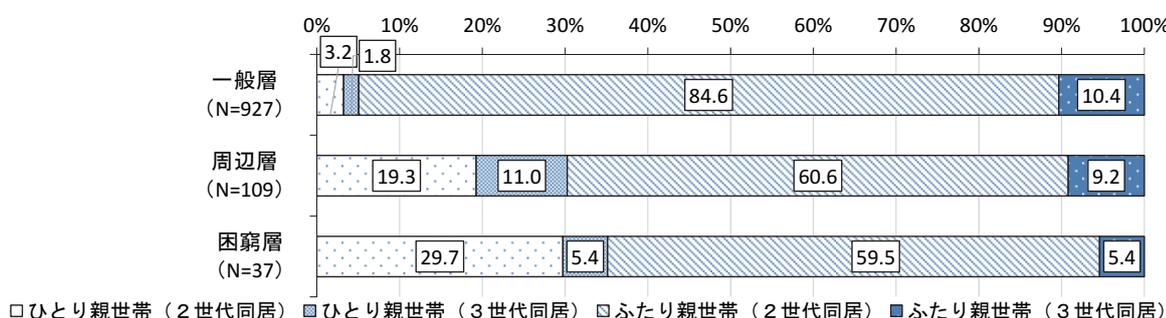
図表 2-1-4-13 世帯タイプ×生活困難層の分布（中学生保護者）



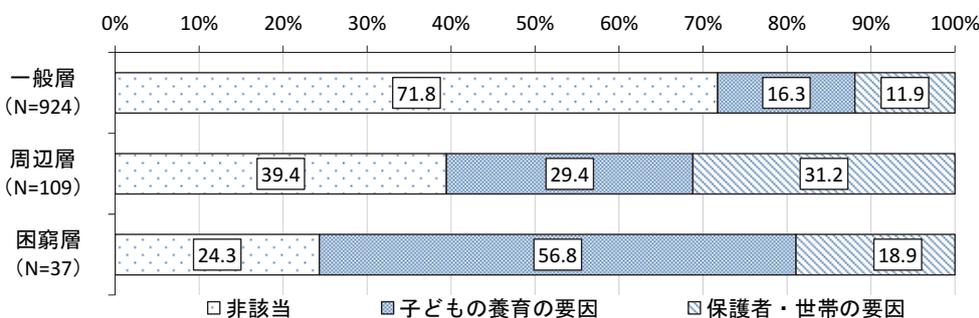
図表 2-1-4-14 世帯タイプ×潜在的養育困難層の分布（中学生保護者）



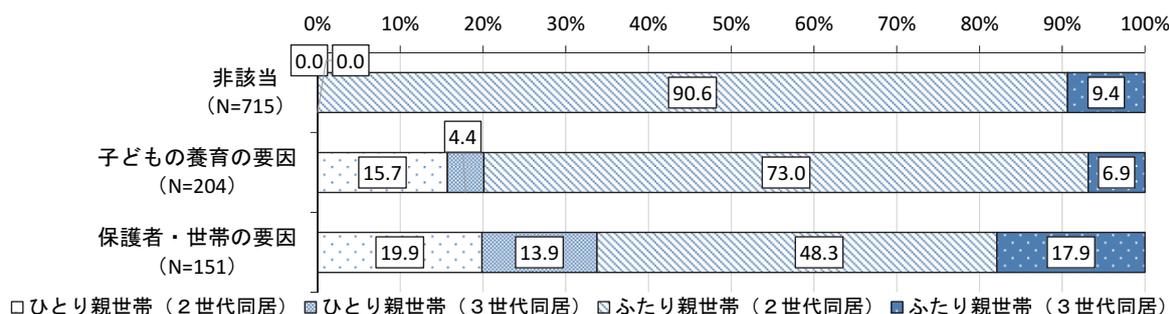
図表 2-1-4-15 生活困難層×世帯タイプの分布（中学生保護者）



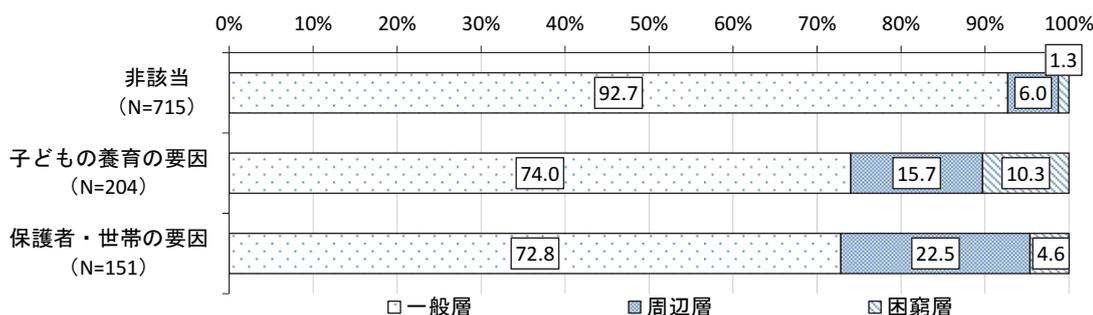
図表 2-1-4-16 生活困難層×潜在的養育困難層の分布（中学生保護者）



図表 2-1-4-17 潜在的養育困難層×世帯タイプの分布（中学生保護者）



図表 2-1-4-18 潜在的養育困難層×生活困難層の分布（中学生保護者）



（2）アンケート調査の結果と分析の構成

本報告書では、第4章で保護者票の結果、第5章で子ども票の結果をみている。それぞれ、該当する調査票の設問順をほぼそのまま踏襲した順番で、項目ごとに単純集計結果とクロス集計結果を並べて掲載している。ただし5歳児保護者票については、一部子ども本人に関する事柄を尋ねる設問があるため、それらの設問の回答結果に関しては第5章で扱っている。

クロス集計結果については、「回答者をいくつかのグループに分け、グループによってどのような状況の違いがあるかを分析する」というクロス集計の目的に則して、「グループによって状況に違いがある」集計結果を中心に抜粋して掲載している。

なお「状況に違いがある」かどうかの判断には、上記の分類を用いて集計した結果に対して χ^2 乗検定（互いの要素に重複のない分類同士を比べて分布に違いがあるかどうかを調べる統計的手法）を行った結果を用いた。 χ^2 乗検定によって統計的に有意な差が認められる（アンケートなどの統計調査を実施したときに必ず生じる誤差を考慮しても、高い確率で分類の間に分布の違いがあると言ってもよい）集計結果を、「グループによって違いがある」集計結果と判断した。

また、第6章では自由記述意見を集約した結果をみている。5歳児保護者・小学校5年生保護者・中学校2年生保護者・小学校5年生児童・中学校2年生生徒の順に、それぞれについて記述内容を分類したうえで、数として多くみられた分類から記述内容を要約して掲載している。

(3) アンケート調査の結果と分析の留意点

- 本報告書内のグラフに示す割合の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計しても100.0%にならないことがある。
- 第4章から第6章で記載した【**5歳保**問1・**小中保**問1】のような表記は、調査票の対応する問の番号を示している。**5歳保**は5歳児保護者票、**小中保**は小学校5年生保護者票と中学校2年生保護者票、**小中子**は小学校5年生児童票と中学校2年生生徒票を示している。
- グラフおよびコメントにおいては便宜的に、小学校5年生保護者は「小学生保護者」、中学校2年生保護者は「中学生保護者」と表記する。同様に、小学校5年生児童は単に「小学生」、中学校2年生生徒は単に「中学生」とする。
- クロス集計結果のグラフにおいて、 χ^2 乗検定結果から統計的に有意な差があると認められる（アンケートなどの統計調査を実施したときに必ず生じる誤差を考慮しても、高い確率で分類の間に分布の違いがあると言ってもよい）かを示す表記として、1%水準で有意である場合は「***」、5%水準で有意である場合は「**」、10%水準で有意である場合は「*」、それ以外である（有意な差異があると認められない）場合は「X」を用いている（ここで「~%水準で有意」とは、分類間で「統計的に差が無い確率が~%以下であるため、差があると言って差し支えない」、という意味を指す）。

例) ある設問の生活困難層別のクロス集計において、 χ^2 乗検定で「統計的に差がない確率」が3.5%という結果が出ていたならば、1%より大きく5%以下なので、「**」を付している。このとき、このクロス集計の結果は、「統計において必ず生じる誤差を考慮しても、96.5%の確率で、一般層・周辺層・困窮層の間には分布の違いがある」と解釈できる。

- クロス集計結果については、統計的に有意な差が認められるもの、すなわち「グループによって状況に違いがある」ものを中心に抜粋して掲載しているため、すべての設問の集計結果を掲載しているわけではない点に留意が必要である。

3. アンケート調査の結果と分析 要旨

(1) 保護者の状況について

▶ 世帯構成について

- ◆ アンケート回答者は宛名の子どもの母親が多く、世帯人数は「4人」が最も多かった。うち、子どもの数は「2人」という回答が最も多くなっていた。また、同居者の子どもとの続柄としては「母親」「父親」が9割以上、「兄・姉」「弟・妹」は4割前後、「祖母」「祖父」は1割前後となっていた。
- ◆ 世帯の中に介護・介助が必要な方がいると回答したのは2～4%であった。
- ◆ 住居は「持ち家（マンション含む）」が最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が多かった。住居費負担は「5～10万円未満」の層が最も多く、次いで「10～15万円未満」が多かった。世帯タイプ別にみたひとり親世帯（2世代同居）では「民間の賃貸住宅」と回答した割合が最も高くなっていた。

▶ 親の就業状況について

- ◆ 母親は子どもの年齢・教育段階が上がるにつれてパートまたはアルバイトをしている者が多くなり、反対に常勤・正規職員での勤めや「専業主婦」は少なくなっていた。1週間の平均就労時間は、5歳児保護者では「30～40時間未満」が最も多かったが、小学生保護者・中学生保護者では「10～20時間未満」が最も多かった。平日の日中以外の勤務については、子どもの年齢・教育段階が上がるにつれて「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」が増加していた。世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯よりも常勤・正規職員として勤めている旨の回答割合が高く、「専業主婦」の割合は低くなっていた。ひとり親世帯（2世代同居）で、1週間の就労時間が40時間以上と回答した割合は、5歳児保護者が4割、小学生保護者が4割強、中学生保護者が6割弱となっていた。生活困難層別にみると、5歳児保護者では生活困難度が高い層で「パート・アルバイトによる勤め」の割合が高く、「専業主婦」の割合は低くなっていた。潜在的養育困難層別にみると、「子どもの養育の要因」層は「深夜勤務（22時～5時）」「土曜出勤」の回答割合が比較的高かった。
- ◆ 父親についてみると、子どもの年齢・教育段階を問わず、8割以上が「勤め（常勤・正規職員）」であり、1週間の就労時間が40時間以上である割合は8割以上となっていた。また、「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」がそれぞれ約4割程度の回答割合であった。生活困難層別にみると、生活困難層の「勤め（常勤・正規職員）」の回答割合が一般層よりも低くなっていた。

▶ 子育てについて

- ◆ 子どもとの関わり方について、5歳児保護者全体と比較すると、「子どもの養育の要因」層の保護者は、「普段から、お子さんの話を最後まで聞くようにしている」「お子さんと、その日の出来事、友だちのことについて話をする」「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」など子どもとの関わりについて調査したすべての項目で「あてはまる」と回答した割合が低くなっていた。ひとり親世帯（2世代同居）の保護者と、生活困難層の保護者について、「お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある」に「あてはまる」と回答した割合が高くなっていた。
- ◆ 子どもの健康についてみると、いずれの年齢・教育段階についても、約9割が「よい」「まあよい」と回答していた。子どもを医療機関で受診させなかった経験が「あった」としたのは約2割で、理由としては「子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断した」が最も多く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかった」が多かった。生活困難層別にみると、生活困難度が上がるにつれて子どもの健康状態を「よい」「まあよい」とする回答は少なくなるほか、医療機関で受診させなかった経験が「あった」割合が5歳児保護者・中学生保護者で多くなっていた。受診させなかった理由として「多忙」や「自分の健康状態」、「自己負担金の支払い」などが挙げられていた。潜在的養育困難層の回答は、生活困難度が高い層の回答傾向と類似していた。発達に関する診断を「受けたことがある」のは全体の1割弱であった。「子どもの養育の要因」層の子どもで、発達に関する診断を受けた割合は全体に対してやや高い傾向がみられた。
- ◆ 体験等の剥奪について金銭的・経済的理由から体験や経験が欠如している旨の回答の割合をみると、世帯タイプ別ではひとり親世帯（2世代同居）で体験や経験が金銭的な理由で「ない」と回答する割合が高くなっている。ひとり親世帯（2世代同居）の中学生保護者では、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」について22.6%が経済的にできないと回答した。生活困難層別の困窮層では、すべての子どもの年齢・教育段階で「急な出費のための貯金（5万円以上）」「新聞の定期購読（ネット購読の場合も含む）」「インターネットにつながるパソコン」が経済的理由で世帯にないと回答した割合が高くなっていた。
- ◆ 1ヶ月あたりの教育費等をみると、小学生保護者・中学生保護者ともに「習い事・スポーツクラブ・部活」では1～3万円、「おこづかい」では3千円未満の層が最も多かった。生活困難層別では、困窮層の小学生保護者が「習い事・スポーツクラブ・部活」の1か月あたりの教育費等を「0円」と回答した割合は38.0%となっていた。また全体では就学援助を「受けている」と回答したのは約1割で、受けていない理由としては「申請要件を満たしていなかった」ので、申請しなかった」が最も多かった。
- ◆ 就学前の集団生活については、5歳児保護者では6割以上が「幼稚園」、3割以上が「保育所・保育施設」に通っており、小学生保護者・中学生保護者でも7割以上が「幼稚園」、約3割が「保育所・保育施設」に通っていたと回答していた。5歳児保護者の回答結果を世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて「保育所・保育施設」が

多く、「幼稚園」が少ないという結果となった。

- ◆ 子どもの進学に関する希望についてみると、どの子どもの年齢・教育段階でも「大学またはそれ以上」を望む割合が約7割であった。なお「大学またはそれ以上」の回答割合は世帯タイプ別にみるとひとり親世帯で、ふたり親世帯よりも低くなっていた。生活困難層別では困窮層で、「大学またはそれ以上」と回答した割合は低くなっていた。また、「子どもが希望通りの学校まで進むことになると思うか」と尋ねたところ、一般層が2.2%であるのに対して、困窮層の中学生保護者では15.6%が「思わない」と回答した。潜在的養育困難層別では「保護者・世帯の要因」層で、「大学またはそれ以上」と回答した割合は低くなっていた。
- ◆ 調査票の宛名の子どもの子育てに関する悩みごとを尋ねた結果、5歳児保護者では「子どもの教育費」「子どもの食事や栄養管理」「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」の回答割合が高かった。小学生保護者・中学生保護者では「子どもの進学や受験が心配」「子どもの教育費」といった項目の回答割合が比較的高かった。「上記のような心配や悩みはない」については子どもの年齢・教育段階が上がるにつれて回答割合が下がっていた。世帯タイプ別にみると、「子どもの教育費」「子どもが勉強しない」などの項目について、ふたり親よりもひとり親において回答割合が高かった。中学生保護者について、困窮層の回答結果を一般層と比較すると、「子どもの教育費」に関する心配ごとや悩みは56ポイント、「子どもの進学や受験が心配」については26ポイント困窮層の方が高くなっていた。潜在的養育困難層別にみるとほぼすべての項目で、「子どもの養育の要因」層の回答割合が他の層よりも高くなっていた。

▶ 保護者本人について

- ◆ 回答者の年齢をみると、5歳児保護者では「30代」、小学生保護者・中学生保護者では「40代」が最も多かった。婚姻状況については子どもの年齢・教育段階にかかわらず9割以上が「結婚している（事実婚を含む）」と回答していた。世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が比較的年齢層が低くなっていた。
- ◆ 回答者本人が平日の朝食を摂取しているかどうかについて、子どもの年齢・教育段階にかかわらず約8割が「いつも食べる（週に5日）」と回答していた。なお生活困難層・潜在的養育困難層では「いつも食べる（週に5日）」の回答割合は低くなっていた。
- ◆ 回答者自身の健康状態については「よい」「まあよい」を合わせると7割以上であったが、生活困難層・「子どもの養育の要因」層ではその割合が低くなっていた。
- ◆ 回答者本人のうつ傾向について、「何をするのも面倒だと感じましたか」、「絶望的だと感じましたか」、「自分は価値のない人間だと感じましたか」に対して「いつも」「たいてい」と回答した割合を5歳児保護者全体と比較すると、ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層のうち困窮層、「子どもの養育の要因」層において割合が高い傾向にあった。
- ◆ 様々な面で支えたり手伝ったりしてくれる人に関してみると、全体としては「留守を頼める人」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」について「いない」という回答が比較的多かった。また、困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先に

ついて「相談できる相手がいない」という回答の割合は1～2%程度であった。世帯タイプ別にみると特にひとり親世帯（2世代同居）において、様々な場面で支えたり手伝ったりしてくれる人が「いない」とする割合が高かった。また生活困難層別にみた場合、生活困難度が高くなるにつれて「いない」という回答の割合が高くなっていった。潜在的養育困難層別では非該当層よりも潜在的養育困難層で「いない」という回答の割合が高くなっていく項目が多かった。

▶ 収入・家計について

- ◆ 暮らし向きの認識について、「やや苦しい」「大変苦しい」と回答した割合は約3割で、家計の状況については「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」「収入が足りず、借金で生活している」という回答が1割以上であった。世帯タイプで分けてみると、ひとり親世帯（2世代同居）の5歳児保護者が「やや苦しい」「大変苦しい」と回答した割合は6割となっている。また家計の状況は、収入が足りない旨の回答割合が約3割で他の世帯タイプと比較して高かった。生活困難層別では、困窮層の5歳児保護者が暮らし向きを「やや苦しい」「大変苦しい」と回答した割合は9割を超えていた。また、家計の状況では収入が足りない旨の回答割合が約6割となっていた。潜在的養育困難層別にみると、「子どもの養育の要因」層の5歳児保護者が暮らし向きを「やや苦しい」「大変苦しい」と回答した割合の合計は約5割となっていた。また、家計の状況では、収入が足りていない旨の回答の割合は約2割となっていた。
- ◆ 食料や衣類が買えなかった経験をみると、全体では「よくあった」「ときどきあった」の回答割合は3～5%となっていた。「よくあった」「ときどきあった」の割合は、世帯タイプ別ではひとり親世帯（2世代同居）、潜在的養育困難層別では「子どもの養育の要因」層や「保護者・世帯の要因」層において比較的高くなっていた。
- ◆ 過去1年間で、経済的な理由から「電話料金」「電気料金」「ガス料金」「水道料金」「家賃」などの生活に欠かせない公共料金等に不払いが「あった」とする回答の割合は1～3%程度となっていた。ひとり親世帯（2世代同居）に該当する5歳児保護者が、不払いが「あった」とする回答の割合は1～2割となっていた。
- ◆ 世帯で受けている各種手当や援助等の有無についてみると、「児童手当」はどの子どもの年齢・教育段階でも8割以上が「受けている」と回答していた。ひとり親世帯（2世代同居）の5歳児保護者では、「児童手当」に加えて、6割が「児童扶養手当」、3割が「養育費」、2割が「就学援助」を「受けている」と回答した。
- ◆ 世帯の年間収入をみると、5歳児保護者・小学生保護者では「500～600万円未満」、中学生保護者では「600～700万円未満」の回答割合が高く、200万円未満の回答割合の合計は約2～3%であった。

▶ 保護者の過去の経験について

- ◆ 母親が最後に通った学校を尋ねた結果をみると、全体としては「高専、短大、専門学校等」が最も多かった。他方、父親が最後に通った学校については「大学」が約5割で最も多か

った。世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（2世代同居）の母親が「中学校」「高等学校」と回答した割合の合計がふたり親世帯よりも高くなっていた。生活困難層別では、母親・父親ともに生活困難度が高くなるにつれて「中学校」「高等学校」の回答割合が高くなっていた。潜在的養育困難層では、5歳児保護者・小学生保護者の「保護者・世帯の要因」層の母親が「中学」「高等学校」と回答した割合が比較的高くなっていた。

- ◆ 回答者が15歳の頃の世帯類型をみると、全体としては6割以上が「両親世帯（祖父母との同居なし）」と回答していた。15歳の頃の世帯類型が「母子世帯（祖父母との同居なし）」と回答した割合は4～5%であった。15歳の頃の暮らし向きについて、「やや苦しかった」「大変苦しかった」と回答した割合は約2割であった。世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（2世代同居）の5歳児保護者が、15歳の頃の世帯類型がひとり親世帯と回答した割合は約2割であった。生活困難層別では生活困難度が高くなるにつれて、15歳の頃の世帯類型が両親世帯であると回答の割合は低くなっていた。困窮層について、15歳の頃の暮らしの状況を「やや苦しかった」「大変苦しかった」と回答した割合は4～5割となっていた。また、潜在的養育困難層では非該当層と比べて15歳の頃の世帯類型を両親世帯と回答した割合が比較的低く、暮らし向きは「やや苦しかった」「大変苦しかった」の割合が高かった。
- ◆ 回答者が成人する前に経験した困難について、世帯タイプ別にみると5歳児保護者・小学生保護者の「両親が離婚した」においてひとり親世帯の方がふたり親世帯よりも回答割合が高かった。また生活困難層別にみると「両親が離婚した」「親などの親族から暴力を振るわれた」において生活困難度が高い層で回答割合が高く、潜在的養育困難層別にみると5歳児保護者・小学生保護者と同様となっていた。
- ◆ 子どもが生まれてから経験したことについて、回答者全体では「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」「出産や育児でうつ病（状態）になった時期がある」の回答が1割程度で比較的多かった。世帯タイプ別にみると、「(元)配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある」と回答した割合は、子どもの年齢・教育段階にかかわらずひとり親世帯で高い結果となった。生活困難層別にみたときには、「いずれも経験したことがない」以外の項目について生活困難度が高まるにつれて回答割合が高くなっていた。

➤ 子育て支援について

- ◆ 子育てに関する情報を受け取っている方法を尋ねたところ、全体では「学校／園からのお便り（紙のもの）」「家族や友人からの情報」「行政機関の広報紙」が現在の受け取り方法として比較的回答が多くなっていた。今後受け取りたい方法については、「行政機関のホームページ」「SNS（LINE、ツイッターなど）」「学校からのメール／子育てメールふじさわ」が、現在の受け取り方法と比較して回答割合が高かった。生活困難層別にみると、現在子育てに関する情報を受け取る方法が「特になし」と回答した割合は、困窮層が一般層と比較して高くなっている。現在の受け取り方法を潜在的養育困難層別にみると、非該当層よりも潜在的養育困難層で、各々の情報を受け取る選択肢を回答した割合は低くなっていた。

- ◆ 子どもを対象とした支援制度等の利用意向を保護者に尋ねたところ、小学生保護者・中学生保護者ともに「(学校以外で) お子さんが何でも相談できる場所」「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」について、「使ってみたい」の割合が高かった。ひとり親世帯(2世代同居)、生活困難層、「子どもの養育の要因」層の保護者では、特に「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」「(学校以外で) お子さんがなんでも相談できる場所」を「使ってみたい」と回答する割合が高くなっていた。

(2) 子どもの状況について

➤ 子どもの属性について

- ◆ 回答した子どもの性別をみると、5歳児は男子が49.5%・女子が49.7%、小学生は男子が48.3%・女子が50.3%、中学生は男子が45.3%・女子が52.4%であった。

➤ 生活の状況について

- ◆ 平日の朝食の摂取状況をみると、9割以上が「いつも食べる(週に5日)」と回答していた。5歳児保護者に対して、子どもが朝食を大人と一緒に食べる頻度について尋ねたところ、「いつも食べる(週に5日)」が約7割となっていた。潜在的養育困難層別では、どの子どもの年齢・教育段階別でも潜在的養育困難層で平日の朝食を「いつも食べる」とする回答が非該当層と比べて少なくなっていた。朝食と一緒に食べる相手として、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」と回答した割合は小学生が約7割、中学生が6割弱となっていた。朝食を「ひとりで食べる」と回答した割合は、小学生が16.0%、中学生が35.5%となっていた。生活困難層のうち困窮層では、朝食を「ひとりで食べる」と回答した割合は小学生が22.4%、中学生が44.4%となっていた。平日の夕食の摂取状況はおよそ98~99%が「いつも食べる(週に5日)」としていた。5歳児保護者に対して、子どもが夕食を大人と一緒に食べる頻度について尋ねたところ、「いつも食べる(週に5日)」が9割以上であった。夕食を「ひとりで食べる」と回答した割合は小学生4%、中学生18%となっていた。学校で食べる給食やお弁当以外で食べているものについては、「野菜」「肉や魚」において約7~8割が「毎日食べる」と回答していた。生活困難層別にみたとき、生活困難度が高くなるにつれて、平日の朝食を「いつも食べる(週に5日)」と回答する割合が低下し、5歳児では大人と一緒に食べる頻度が低下、小学生・中学生では「おうちの大人の人」と一緒に食べるという回答割合が低下していた。また、「野菜」「くだもの」「肉や魚」を食べる頻度が低くなっていた。
- ◆ 子ども本人に健康状態を尋ねた結果をみると、「よい」「まあよい」が約7割であった。虫歯について尋ねると、5歳児では6.5%が「まだ治療していない虫歯がある」、小学生・中学生では5%以上が「まだ治していない虫歯がある」と回答した。生活困難層別では、小学生において生活困難度が高くなるにつれて健康状態を「よい」「まあよい」と答える割合が低くなっていた。困窮層に該当する子どもで「まだ治療して(治して)いない虫歯がある」と回答した割合は5歳児保護者で19.2%、小学生で16.3%と一般層と比較して高

くなっていた。

- ◆ 放課後・休日の過ごし方に関して、平日の放課後に一番過ごすことが多い人は、小学生では「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど）」、中学生では「部活動の仲間」となっていた。「ひとりである」ことが一番多いと回答した割合は、小学生で4.6%、中学生で4.5%となっていた。放課後に過ごす場所について、小学生は「自分の家」で「毎日」過ごす割合が42.5%、中学生では「学校（部活動など）」で「毎日」過ごす割合が44.6%となっていた。また、平日の放課後過ごす場所のうち、一番ほっとできる場所を尋ねると、小学生、中学生ともに約8割が「自分の家」と回答した。「ほっとできる場所はない」と回答した割合は、小学生が2.1%、中学生が3.2%となっていた。休日については小学生・中学生ともに、一緒に過ごす人は「おうちの大人の人」、一番多く過ごす場所は「自分の家」という回答が最も多かった。生活困難層別にみると、中学生では「自分の家」で「全く過ごさない」という回答が一般層よりも生活困難層で高くなっていた。潜在的養育困難層別にみると、小学生の「塾や習い事」、中学生の「学校（部活動など）」において「全く過ごさない」の回答割合が潜在的養育困難層で高くなっていた。また、「ほっとできる場所はない」と回答した「子どもの養育の要因」層の小学生は2.9%、中学生は7.2%となっていた。
- ◆ 日常生活の過ごし方について、「毎日同じぐらいの時間に寝ている」かの質問に「あまりしていない」「まったくしていない」と回答したのは小学生で16.6%、中学生で21.3%であった。世帯タイプ別では、ひとり親世帯（2世代同居）の小学生が32%となっていた。潜在的養育困難層別では、「子どもの養育の要因」層の中学生では29.2%であった。普段の活動について、ほぼ毎日1時間以上行っている小学生の割合をみると、「家事（食事作りや掃除、洗濯など）」は4.4%、「きょうだいなどの世話」は13.4%、「病気の家族・祖父母の世話」は0.8%であった。「保護者・世帯の要因」層の小学生が、ほぼ毎日1時間以上行っている回答割合をみたところ、「家事（食事作りや掃除、洗濯など）」は8.0%、「きょうだいなどの世話」は20.7%、「病気の家族・祖父母の世話」は1.5%と、単純集計結果と比べて高くなっていた。中学生の普段の活動に関して、ほぼ毎日1時間以上行っている回答割合をみると、「家事（食事作りや掃除、洗濯など）」は6.2%、「きょうだいなどの世話」は9.4%、「病気の家族・祖父母の世話」は1.2%であった。ひとり親世帯（2世代同居）の中学生について、「家事（食事作りや掃除、洗濯など）」を毎日行っている割合（「ほぼ毎日2時間以上」「ほぼ毎日1～2時間」「ほぼ毎日1時間以下」の合計）は37.7%と、単純集計結果と比べて高くなっていた。
- ◆ 自分が使うことができるものの有無をみると、「ない（ほしい）」という回答の割合が最も高かったのは、小学生は「けいたい電話・スマートフォン」、中学生は「（自分の家で）インターネットにつながるパソコン」であった。
- ◆ 直近1か月間の読書の状況を尋ねたところ、小学生では15.2%、中学生では11.8%が1冊も「読まなかった」と回答した。世帯タイプ別でみると、ひとり親世帯の小学生が「読まなかった」と回答した割合は約3割、生活困難層と潜在的養育困難層の小学生では約2割が「読まなかった」と回答していた。

➤ 学校生活について

- ◆ 学校生活の中で楽しみなことを尋ねたところ、「とても楽しみ」「楽しみ」の回答割合が最も高かったのは「友だちに会うこと」であった。生活困難層別にみると、生活困難度が上がるにつれて、「授業」「友だちに会うこと」「休み時間」について中学生が「とても楽しみ」「楽しみ」と答えた割合が低くなっていた。「子どもの養育の要因」層では、小学生・中学生に共通して「授業」を「とても楽しみ」「楽しみ」とする割合が他の層より低くなっていた。
- ◆ 学校の授業の理解度をみると、「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた割合は、小学生全体では10.8%であったが、ひとり親世帯（2世代同居）では29.3%、生活困難層別の困窮層では22.4%であった。学校の授業がわからないことがあると回答した割合は、中学生全体では18.0%であったが、ひとり親世帯（2世代同居）では31.1%、生活困難層別の困窮層で47.2%であった。勉強が分からないときに教えてもらう相手については、小学生では「お母さん・お父さん」、中学生では「友だち」が最も回答割合が高かった。潜在的養育困難層別にみると、「子どもの養育の要因」層の中学生は他の層と比べて「お父さん・お母さん」という回答した割合が低かった。
- ◆ 得意な教科・活動を尋ねると、小学生では「体育」や「図画工作」、中学生では「数学」の回答割合が高くなっていた。
- ◆ 学校以外での学習について、世帯タイプ別にみると「学校の宿題をしている」について「あまりしていない」「まったくしていない」の回答割合は、ふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が高かった。平日の学校の授業以外の勉強時間について「まったくしない」と回答した割合は、小学生全体が6.6%、中学生全体が6.5%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）の小学生で16.0%、中学生で24.6%となっていた。生活困難層別に平日の学校の授業以外の勉強時間をみると、「まったくしない」割合は困窮層の小学生で22.4%、中学生で16.7%となっていた。潜在的養育困難層別に平日の学校の授業以外の勉強時間をみると、「まったくしない」割合は「子どもの養育の要因」層の小学生で9.4%、中学生で12.8%となっていた。
- ◆ 遅刻の頻度を尋ねた結果では、小学生・中学生ともに9割以上が「ほとんどしない」「遅刻はしない」と回答した。潜在的生活困難層別にみると「子どもの養育の要因」層で「月に1日程度」以上の頻度で学校に遅刻することがあると回答した割合が高くなっていた。

➤ 将来への意識や自己肯定感、悩みごと等について

- ◆ 将来の夢を尋ねると、小学生では25.0%、中学生では42.8%が「ない」と答え、その理由としては「具体的に、何も思い浮かばないから」が最も多かった。また将来の進学希望を中学生に尋ねると、約6割が「大学またはそれ以上」と答えていた。これを生活困難層別にみると「中学まで」「高校まで」の回答割合が生活困難度が上がるにつれて高くなっていた。潜在的養育困難層別にみても、非該当層と比較して、潜在的養育困難層では「大学またはそれ以上」の回答割合が低く、「高校まで」「短大・高専・専門学校まで」「まだわからない」が高くなっていた。

- ◆ 自己肯定感に関する質問のうち、中学生に「自分のことが好きだ」と思うかを尋ねたところ、「思わない」と回答した割合は全体で 16.0%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）は 32.8%、生活困難層は 26.1%、「子どもの養育の要因」層は 19.5%となっていた。「自分は価値のある人間だと思う」とは「思わない」と回答した中学生の割合は、全体が 14.7%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）では 29.5%、生活困難層では 23.9%、「子どもの養育の要因」層では 19.5%となっていた。
- ◆ 非認知能力に関する質問のうち、中学生に「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」かについて尋ねたところ、「あてはまらない」と答えた割合は全体が 6.6%となっていた。同じ設問への回答割合をみると、ひとり親世帯（2世代同居）の中学生は 14.8%、生活困難層の中学生は 11.3%、「子どもの養育の要因」層の中学生は 10.8%が「あてはまらない」と回答した。「みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある」かについて「あてはまらない」と回答した割合は、全体が 3.8%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）の中学生は 13.1%、生活困難層の中学生は 6.3%、「子どもの養育の要因」層の中学生は 7.7%となっていた。「友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる」について「あてはまる」と回答した割合は、全体は 52.2%、ひとり親世帯（2世代同居）は 39.3%、生活困難層は 45.8%、「子どもの養育の要因」層は 44.6%となっていた。
- ◆ いやなことや悩みごとがあるときの相談相手について、「だれにも相談できない」という回答は、小学生では 0.8%、中学生では 0.4%、「だれにも相談したくない」は小学生で 5.9%、中学生で 7.6%、「わからない」は小学生で 6.2%、中学生で 5.3%であった。また一番仲が良い友だちについては、小学生・中学生ともに「学校の友だち」という回答の割合が 7～8割で最も高かった。
- ◆ 不登校傾向等について、「学校に行きたくないと思った」ことがあるかを尋ねたところ、「よくあった」と回答した割合は小学生全体で 8.7%、中学生で 13.7%であった。「いじめられた」については小学生・中学生ともに約 3%であった。ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層、「子どもの養育の要因」層の小学生で「学校に行きたくないと思った」に「よくあった」と回答した割合は約 2割と比較的高かった。
- ◆ 小学生に、様々な支援がある場所について利用したいかどうかを尋ねたところ「使ってみたい」と回答した割合が高いのは、生活困難層の小学生は「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」で 26.8%、「子どもの養育の要因」層の小学生は「(家以外で) 平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」で 27.1%、「(家以外で) 平日の放課後に夕方 6 時より遅い時間にいることができる場所」で 14.8%の回答割合となっていた。中学生が「使ってみたい」と回答した割合が高いのは、「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」であった。「子どもの養育の要因」層の中学生では、「(家以外で) 平日の放課後に夕方 6 時より遅い時間にいることができる場所」「(家以外で) 休日にいることができる場所」「おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」の回答割合が比較的高かった。

- ◆ 自分や家族のことなどの心配ごとや悩みごとについて、生活困難層の小学生は「きょうだいの世話やめんどろをみるのが大変」「食べるごはんがないときがある」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」、中学生は「家族との時間や会話が少なくない」「親同士の仲が良くない」「家で落ち着いて勉強できない」「家事（食事作りや掃除、洗濯など）が大変」「きょうだいの世話やめんどろをみるのが大変」「食べるごはんがないときがある」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」と回答する割合が高くなっていた。「子どもの養育の要因」層の小学生では「自分とお母さんやお父さんとの仲が良くない」「親同士の仲が良くない」「病気の家族や、祖父母の世話が大変」「家事（食事作りや掃除、洗濯など）が大変」「きょうだいの世話やめんどろをみるのが大変」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」、中学生では「家族との時間や会話が少なくない」「自分とお母さんやお父さんとの仲が良くない」「親同士の仲が良くない」「家事（食事作りや掃除、洗濯など）が大変」「きょうだいの世話やめんどろをみるのが大変」「食べるごはんがないときがある」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」に回答する割合が高くなっている。
- ◆ 学校での困りごとについて、生活困難層別の小学生は「同学年の人との関係がうまくいっていない」、中学生は「先生との関係がうまくいっていない」「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」「将来（進路）のことが不安」「勉強がよくわからない」において、生活困難度が上がるにつれて回答割合が高くなっていた。特に、「困窮層」と「子どもの養育の要因」層の中学生で「将来（進路）のことが不安」と回答した割合がそれぞれ 61.1%、45.1%と高かった。

（3）自由記述について

➤ 保護者の自由記述

- ◆ 5歳児保護者に対し、必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることを尋ねたところ、合計 690 件の自由記述が寄せられた。「子ども・子育て家庭に対する支援施策」に関する意見が 7 割を占めており、子育て世帯への経済的支援や、子育てに関する相談等に関する意見が多くなっていた。「幼児期の教育・保育」に関する意見では保育所等の充実・改善、「子どもの居場所」に関する意見では放課後児童クラブの充実・改善に関する意見が多くみられた。また、「子どもの教育」に関する意見では、子どもの教育費に関する悩みや支援についての意見が多くなっていた。
- ◆ 小学生保護者に対し、必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることを尋ねたところ、合計 384 件の自由記述が寄せられた。「子どもの居場所」に関する意見が 4 割を占めており、小学校の敷地内での子どもの居場所や、公共施設等を活用した子どもの居場所、小学校の長期休暇中の子どもの居場所に関する意見が多くなっていた。また、放課後等の補習や学習支援を求める意見も多くみられた。「子どもの教育」に関する意見では、教育費が高いことに対する不安や支援を求める意見、中学校給食の導入を求める意見が多くみられた。

- ◆ 中学生保護者に対し、必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることを尋ねたところ、合計 217 件の自由記述が寄せられた。「子どもの教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」「医療・医療費助成・健診」「学習支援・補習・学習できる場」についての意見が多くなっていた。

▶ 子どもの自由記述

- ◆ 将来の夢があると答えた小学生に対して、その夢を自由記述で尋ねたところ、合計 1,406 件の回答があった。職業分野として、「スポーツ」「医療治療」「動物・ペット」「映画・テレビ」「保育・子ども」「パン・菓子づくり」に関する意見が多くなっていた。
- ◆ 将来の夢があると答えた中学生に対して、その夢を自由記述で尋ねたところ、合計 583 件の回答があった。職業分野として、「スポーツ」「保育・子ども」「医療治療」「動物・ペット」「教諭」に関する意見が多くなっていた。
- ◆ 小学生に対し、大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていることを尋ねたところ、合計 176 件の自由記述が寄せられた。「友達との関係・いじめ」「勉強・授業・宿題」「学校のルール・制度・学区」「学校の先生」「親・家族の関係」についての意見が多くなっていた。
- ◆ 中学生に対し、大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていることを尋ねたところ、合計 169 件の自由記述が寄せられた。「学校の先生」「部活動」「勉強・授業・宿題」「友達との関係・いじめ」「学校のルール・制度・学区」「親・家族の関係」についての意見が多くなっており、学校に関連することが上位となっていた。

4. アンケート調査の結果と分析 保護者の状況

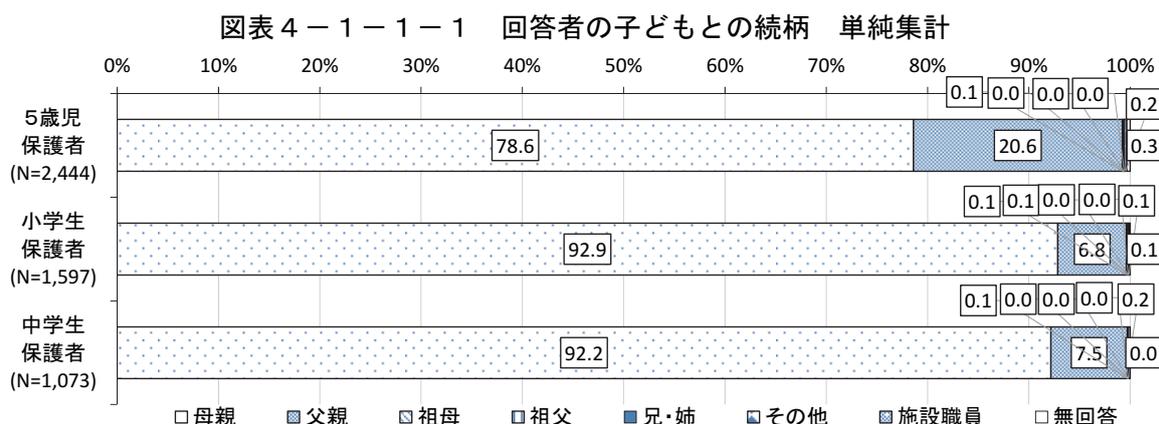
(1) 世帯構成について

① 回答者の子どもとの続柄

【5歳保問2・小中保問1】

回答者の子どもとの続柄についてみると、5歳児保護者では約8割、小学生保護者・中学生保護者では9割以上が「母親」であった。また「父親」は5歳児保護者で20.6%、小学生保護者で6.8%、中学生保護者で7.5%であった。

問 お子さんとあなた（回答者）との関係は、次のどれになりますか



② 世帯人数、子どもの人数

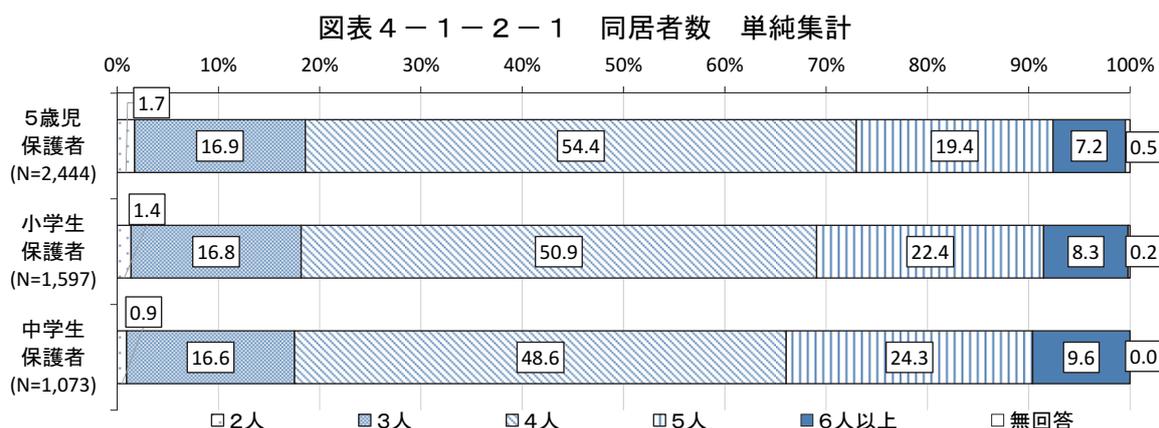
【5歳保問3-1、3-3、3-4・小中保問2-1、2-3、2-4】

調査票の宛名の子どもと同居している世帯の人数をみると、どの子どもの年齢・教育段階でも「4人」という回答が約5割を占めて最も多くなっており、次いで「5人」「3人」という回答が多かった。

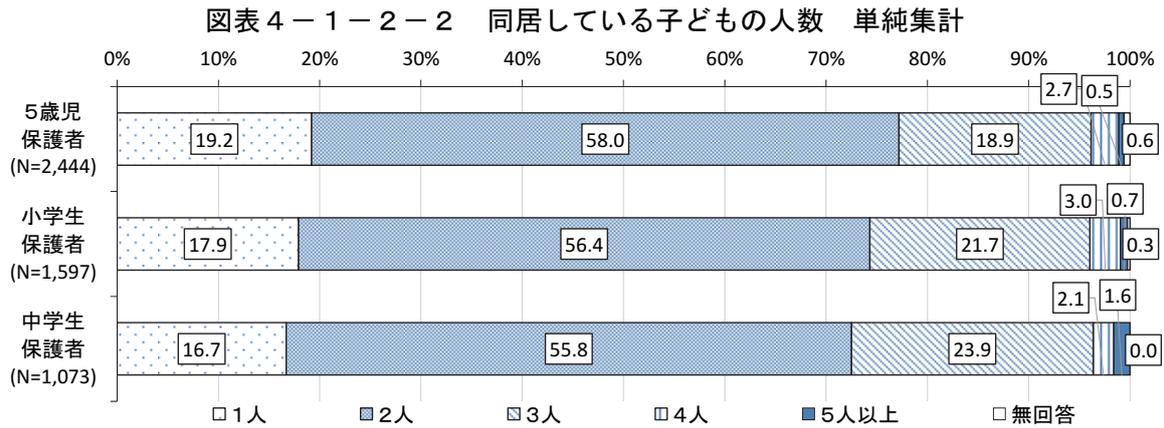
宛名の子どもを含めて同居しているすべての子どもの数を答えてもらったところ、どの子どもの年齢・教育段階でも「2人」という回答が約6割で最も多くなっていた。

同居している人の子どもとの続柄をすべて答えてもらったところ、「母親」「父親」が9割以上、「兄・姉」「弟・妹」はそれぞれ4割前後、「祖母」「祖父」は1割前後であった。

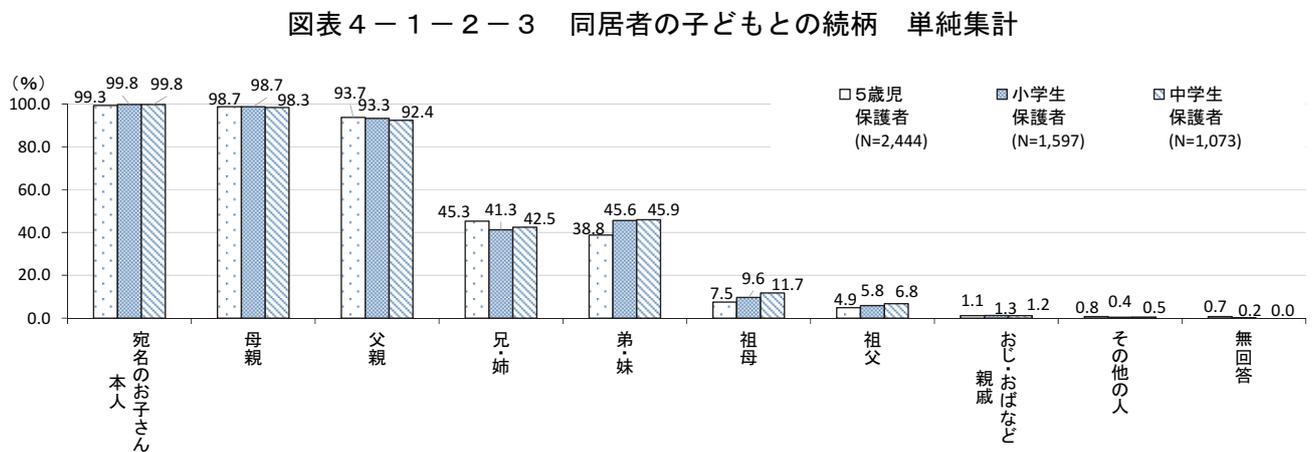
問 あなたと、宛名のお子さんを含め、同居している人数は何人ですか



問 お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか



問 お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄であてはまるものをすべてお選びください（複数回答）



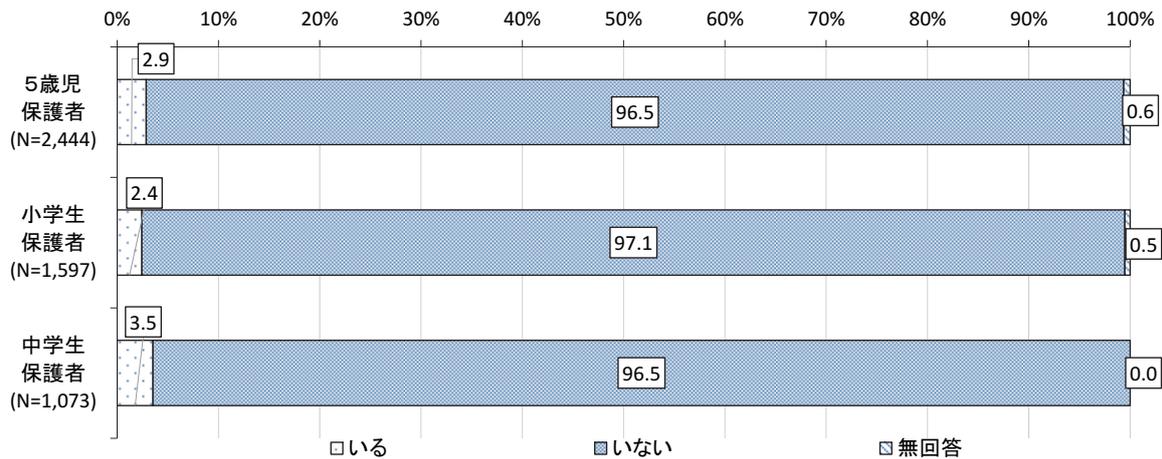
③ 介護・介助が必要な方の有無

【5歳保問3-2・小中保問2-2】

家族に介護または介助が必要な方がいるかを尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも「いない」という回答が最も多かったが、5歳児保護者では2.9%、小学生保護者では2.4%、中学生保護者では3.5%が「いる」と回答していた。

問 お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか

図表4-1-3-1 介護・介助が必要な同居者の有無 単純集計



④ 住居の形態と住居費

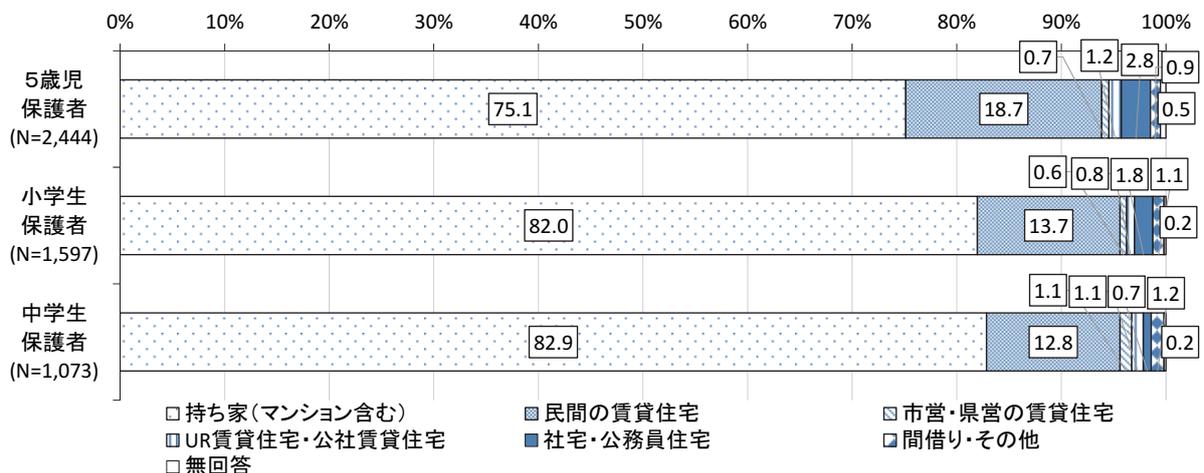
【5歳保問4、4-1・小中保問3、3-1】

現在の住まいの住居形態を尋ねたところ、5歳児保護者では75.1%、小学生保護者では82.0%、中学生保護者では82.9%が「持ち家（マンション含む）」と回答し、最も多い住居形態であった。次いで多かったのが「民間の賃貸住宅」（5歳児保護者で18.7%、小学生保護者で13.7%、中学生保護者で12.8%）であった。

また1か月あたりの住居費について尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも「5～10万円未満」が最も多く、次いで「10～15万円未満」が多かった。

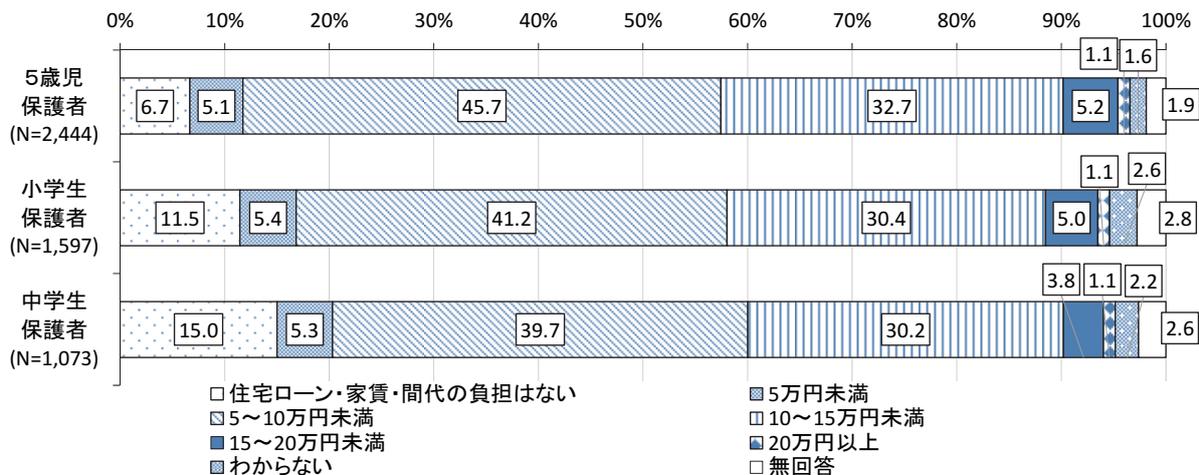
問 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか

図表4-1-4-1 現在の住まいの住居形態 単純集計



問 1 か月あたりの住宅ローン支払額・家賃・間代はいくらですか

図表 4-1-4-2 住居費負担 単純集計

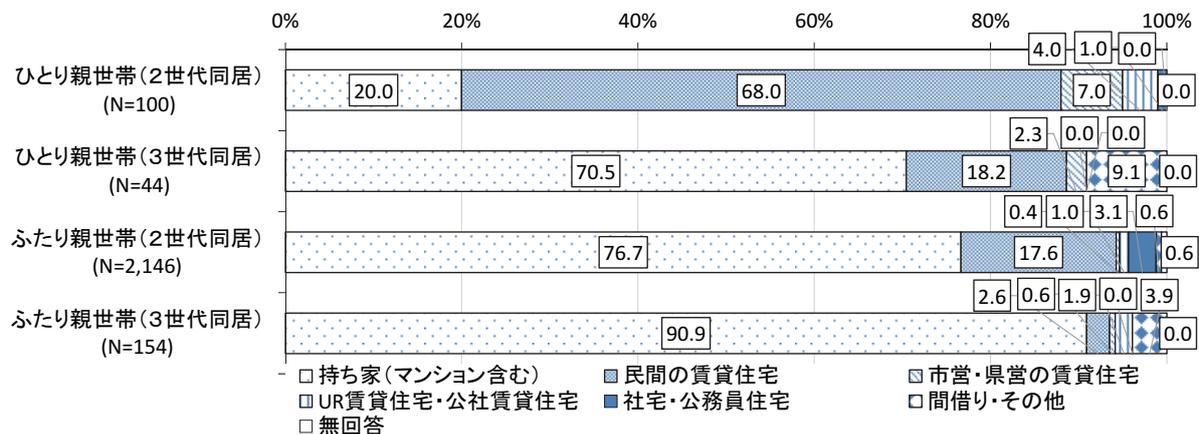


■ 世帯タイプ別

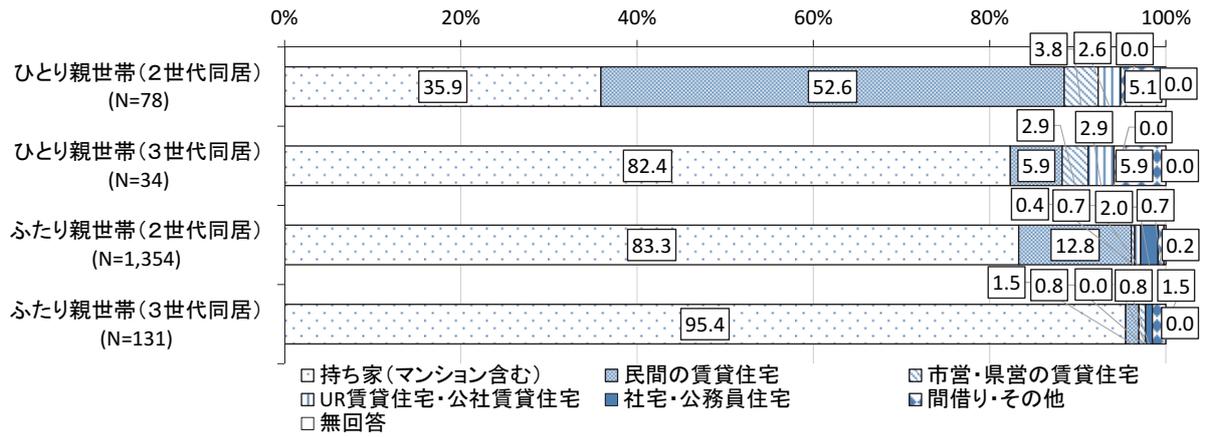
現在の住まいの住居形態は、全体では「持家（マンションを含む）」が最も多くなっていたが、世帯タイプ別にクロス集計をすると、ひとり親世帯（2世代同居）では「民間の賃貸住宅」が最も多くなっていた。

住居費負担をみると、5歳児のひとり親世帯（2世代同居）では5万円以上の住居費を負担している割合は8割を超える一方で、ひとり親世帯（3世代同居）では「住宅ローン・家賃・間代の負担はない」が3割で、5万円以上の住居費を負担している割合は4割を下回っていた。

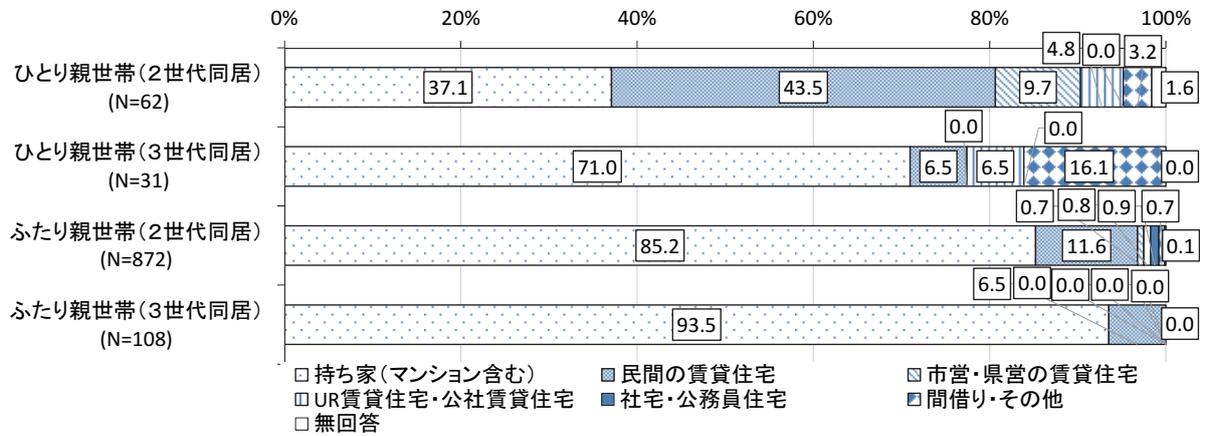
図表 4-1-4-3 現在の住まいの住居形態 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



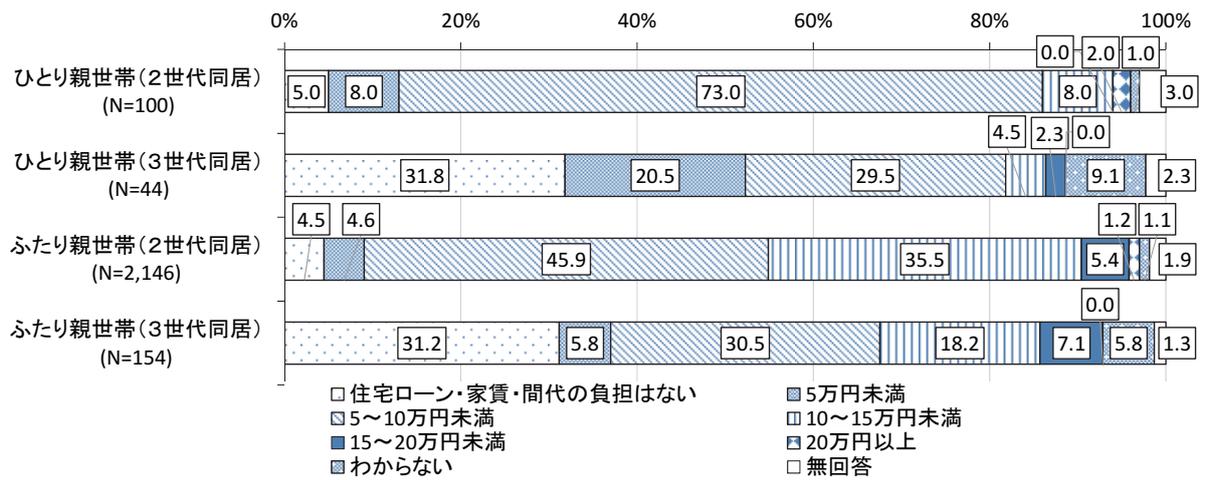
図表 4-1-4-4 現在の住まいの住居形態 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



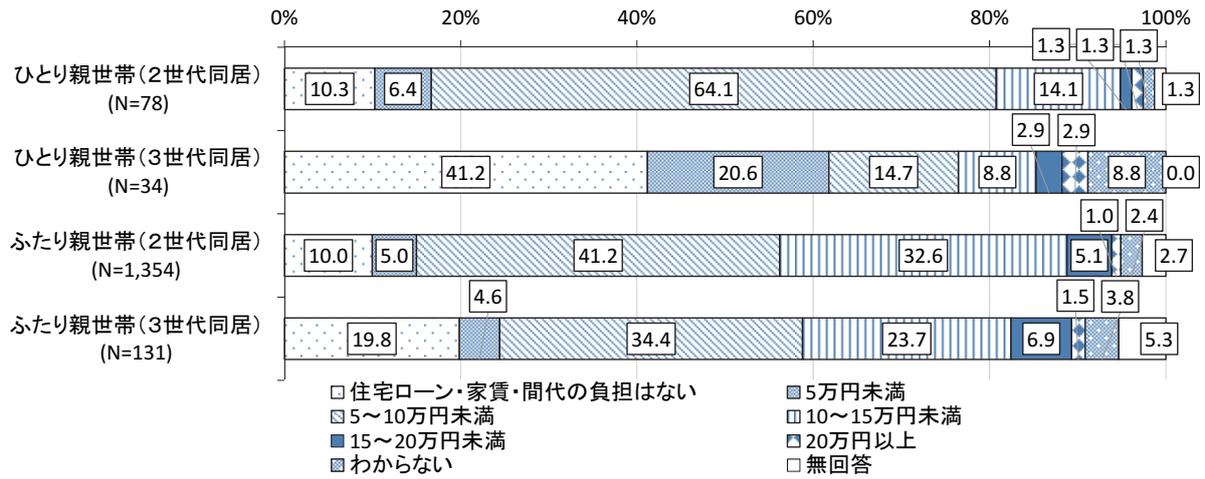
図表 4-1-4-5 現在の住まいの住居形態 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



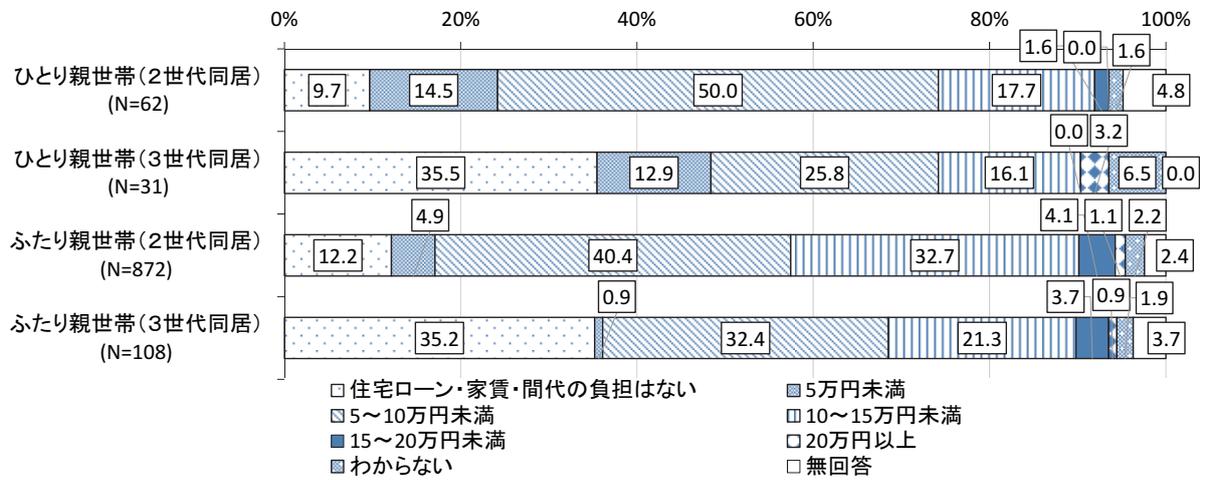
図表 4-1-4-6 住居費負担 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-1-4-7 住居費負担 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-1-4-8 住居費負担 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



(2) 親の就業状況について

① 母親の就業状況と就業時間

【5歳保問5～5-2・小中保問4～4-2】

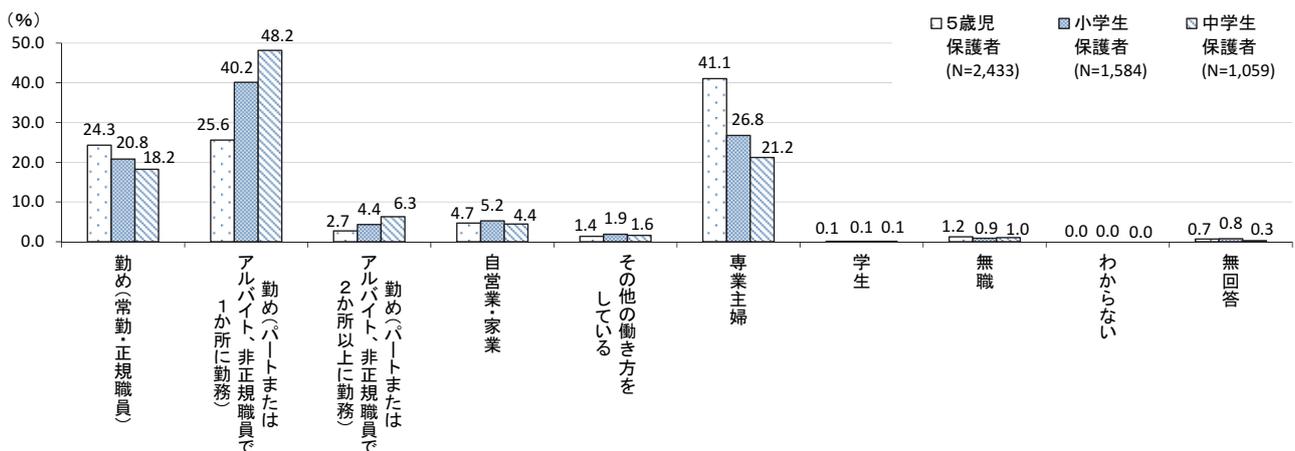
母親の就業状況を尋ねたところ、5歳児保護者では「専業主婦」が41.1%と最も高く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」「勤め（常勤・正規職員）」が多かったが、子どもの年齢・教育段階が進むにつれて、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」や「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）」は回答割合が高くなり、「勤め（常勤・正規職員）」や「専業主婦」は回答割合が低くなっていった。

母親の1週間の平均就労時間を尋ねたところ、5歳児保護者では「30～40時間未満」、小学生保護者・中学生保護者では「10～20時間未満」の回答割合が最も高かった。

平日の日中以外の勤務状況をみると、「土曜出勤」や「日曜・祝日出勤」は、5歳児保護者でそれぞれ37.0%・25.9%であるが、子どもの年齢・教育段階が進むにつれて回答割合が高くなり、「平日の日中以外の勤務はない」という回答の割合は低くなっていった（5歳児保護者で46.7%、小学生保護者で44.9%、中学生保護者で42.6%）。

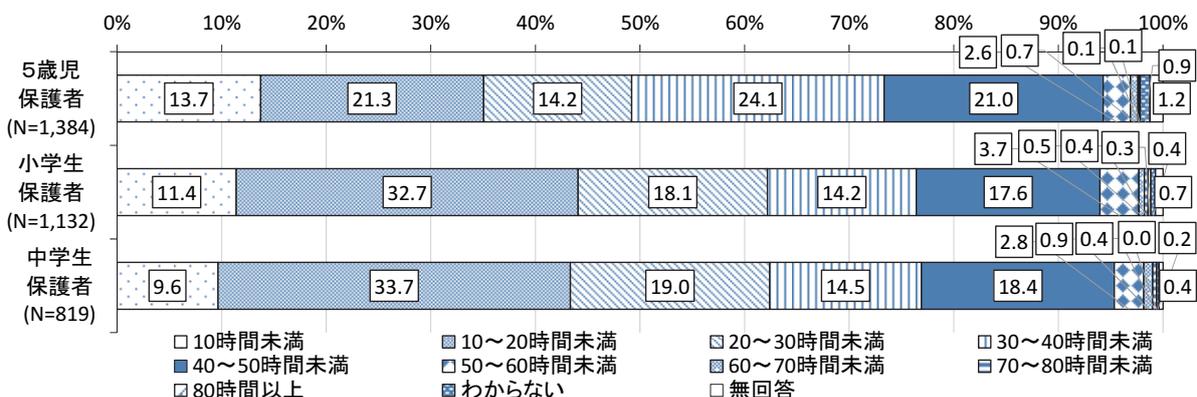
問 お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください（複数回答）

図表4-2-1-1 母親の就業状況 単純集計



問 お子さんのお母さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか

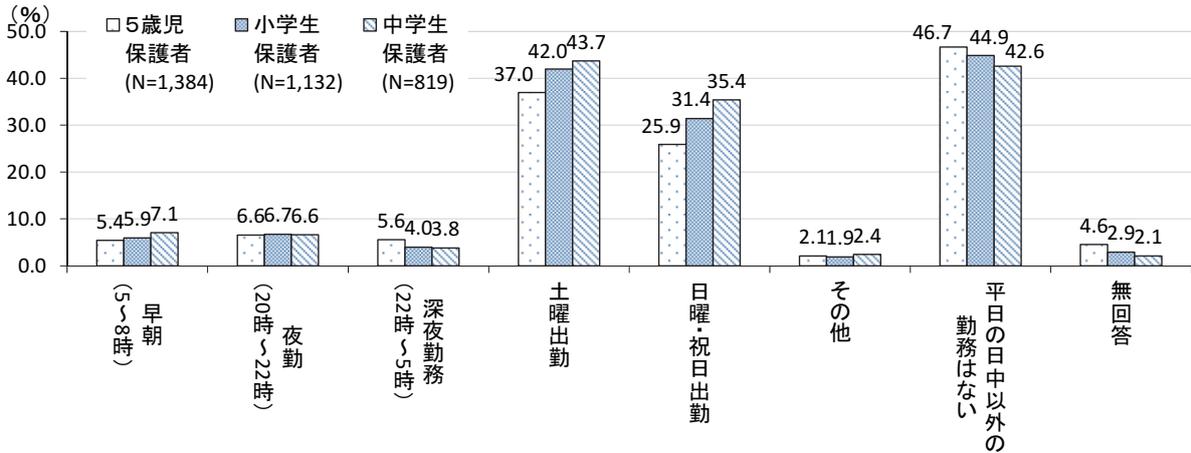
図表4-2-1-2 母親の1週間の平均就労時間 単純集計



※「お子さんのお母さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか」の設問は、「お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください」に「勤め（常勤・正規職員）」～「その他の働き方をしている」と答えた者のみ回答する設問。

問 お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか（複数回答）

図表 4-2-1-3 母親の平日の日中以外の勤務の有無 単純集計



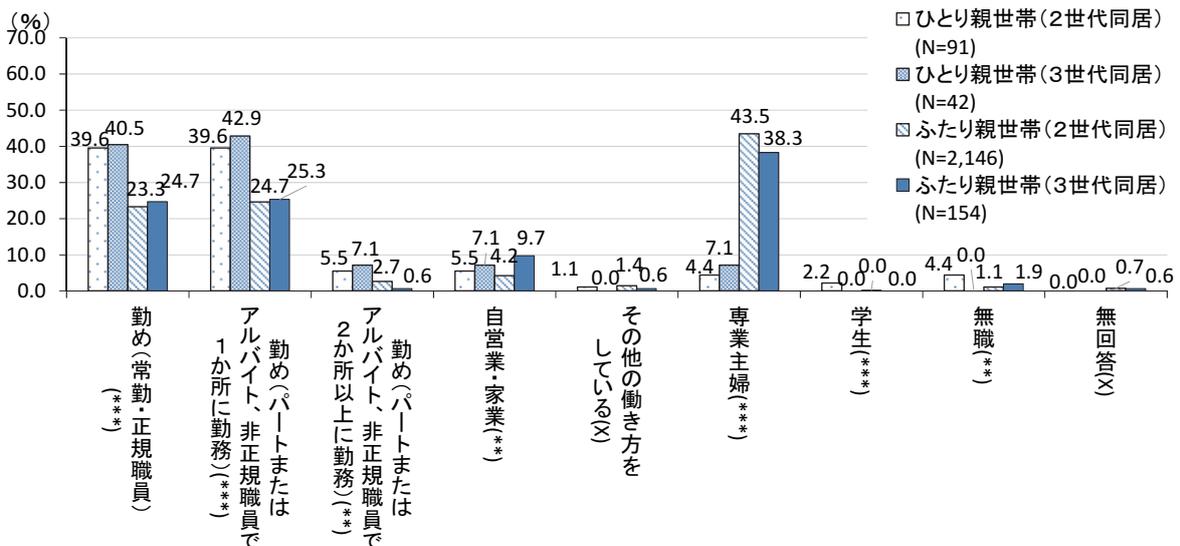
※「お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか」の設問は、「お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください」に「勤め（常勤・正規職員）」～「その他の働き方をしている」と答えた者のみ回答する設問。

■世帯タイプ別

世帯タイプ別に母親の就業状況を見ると、5歳児保護者では、ひとり親世帯だと「勤め（常勤・正規職員）」がふたり親世帯に比べて回答割合が高く、反対に「専業主婦」がふたり親世帯の方がひとり親世帯よりも多くなっていた。この傾向は小学生保護者・中学生保護者でも同様にみられた。

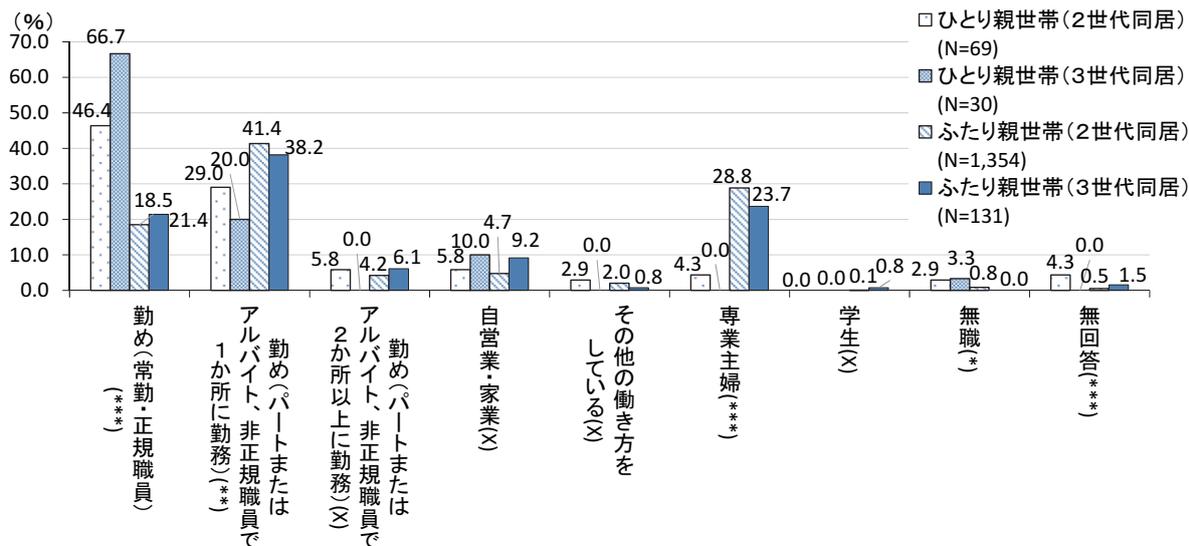
母親の1週間の平均就労時間について世帯タイプ別クロス集計をすると、5歳児保護者・小学生保護者・中学生保護者いずれについても、ひとり親世帯では1週間に40時間以上の就労時間を回答した割合がふたり親世帯と比べて高くなっていた。ひとり親世帯（2世代同居）で、1週間に40時間以上の就労状況を回答した割合は、5歳児保護者で4割、小学生保護者で4割強、中学生保護者で6割弱となっていた。

図表 4-2-1-4 母親の就業状況 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者



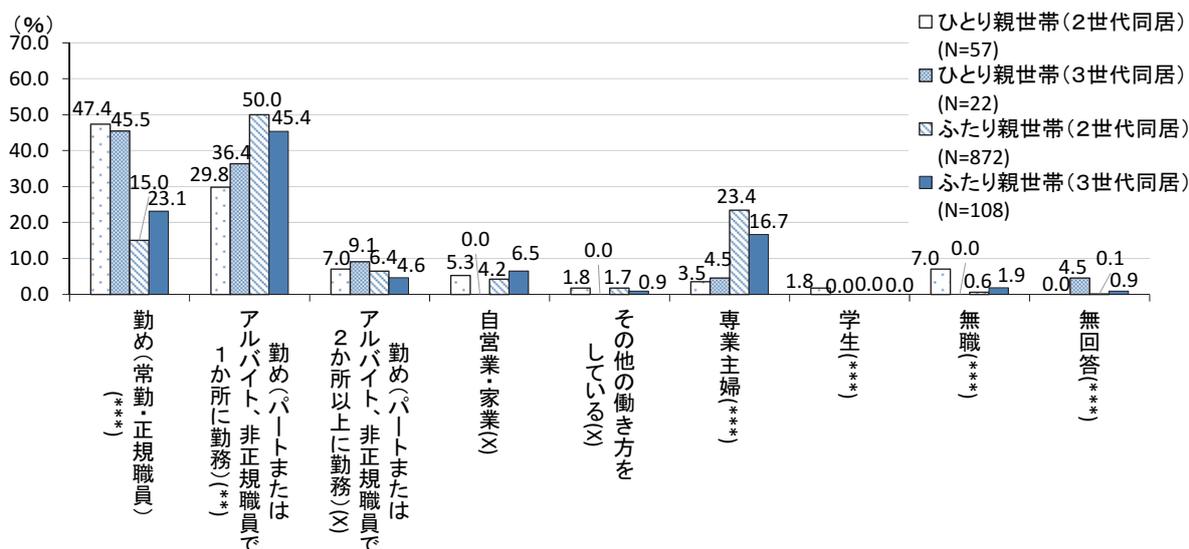
※「わからない」の選択肢は5歳児保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表4-2-1-5 母親の就業状況 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者



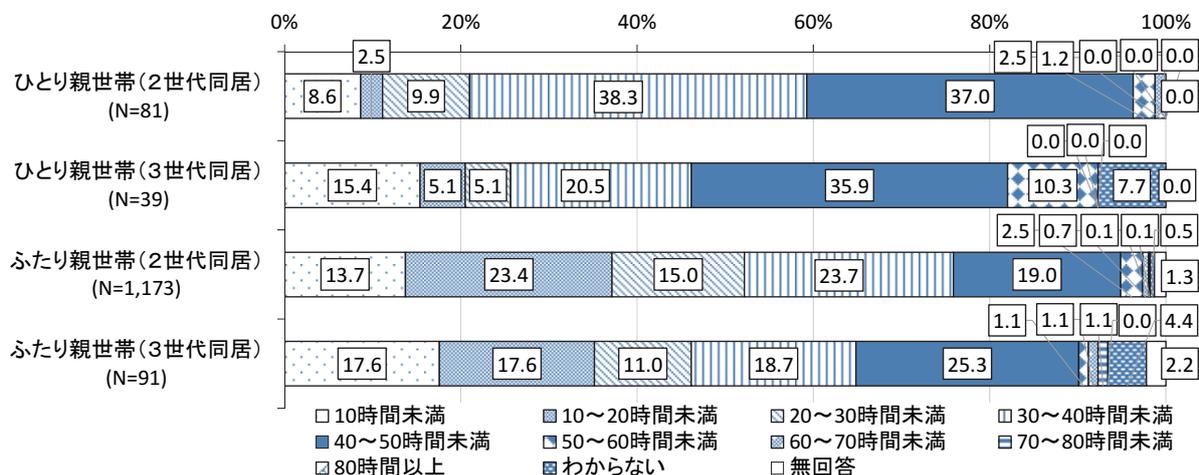
※「わからない」の選択肢は小学生保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表4-2-1-6 母親の就業状況 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者

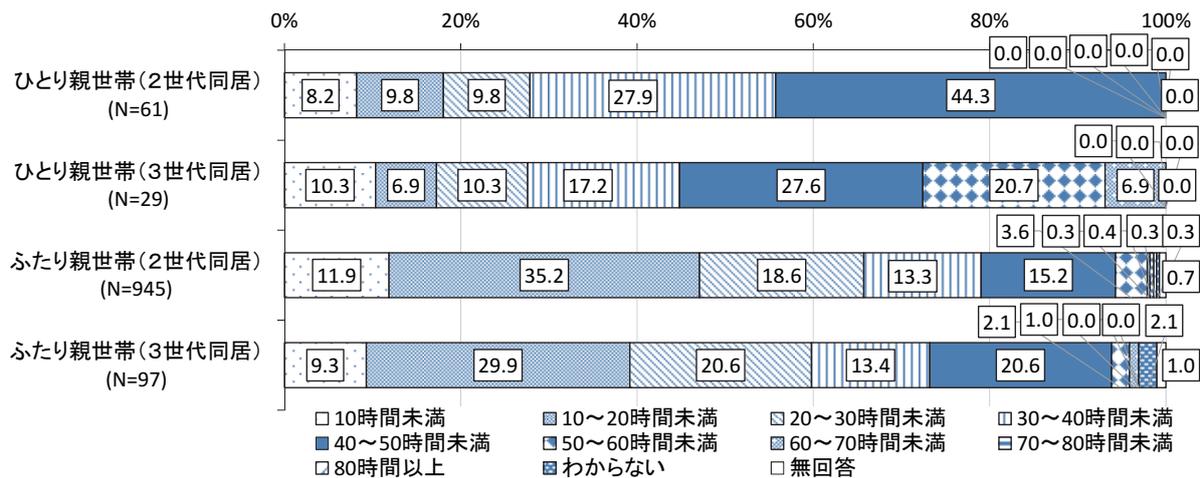


※「わからない」の選択肢は中学生保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

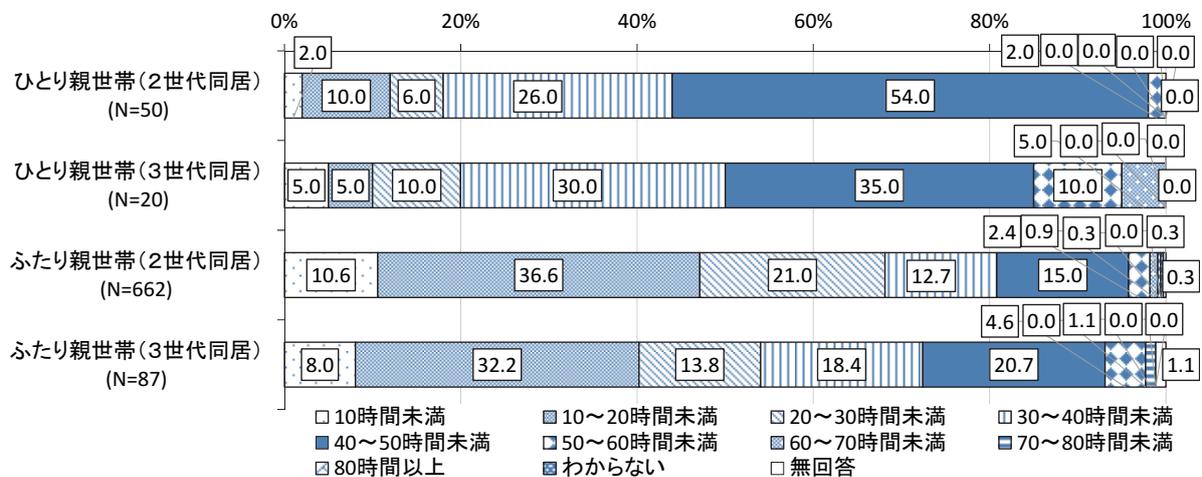
図表4-2-1-7 母親の1週間の平均就労時間 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-2-1-8 母親の1週間の平均就労時間 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-2-1-9 母親の1週間の平均就労時間 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



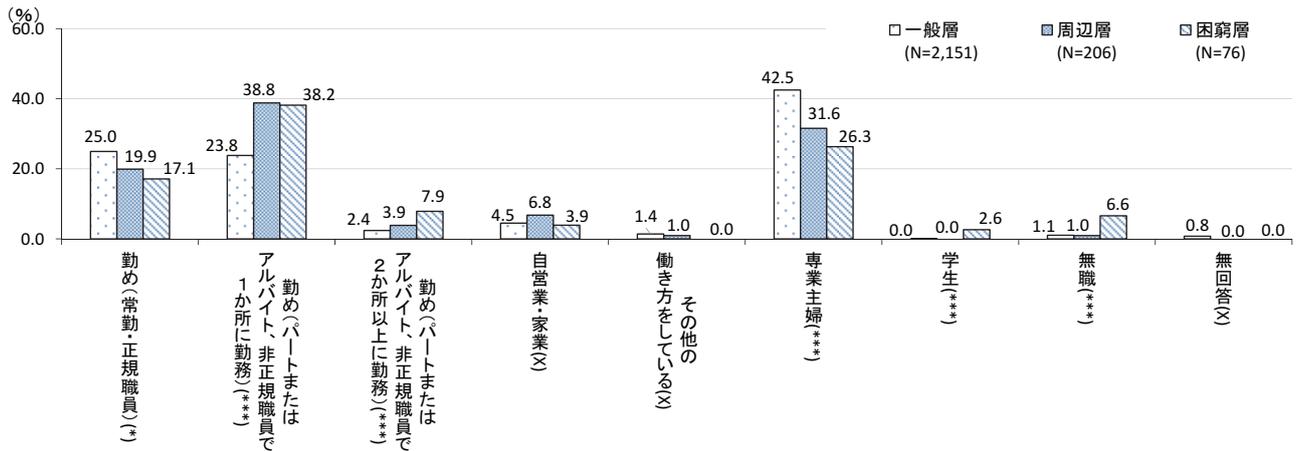
■生活困難層別

母親の就業状況について生活困難層別クロス集計の結果をみると、5歳児保護者では、「勤め（常勤・正規職員）」や「専業主婦」では生活困難度が高くなるにつれて回答割合が低くなり、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）」では生活困難度が高くなるにつれて回答割合が高くなっていった。また、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」では一般層に比べて生活困難層での回答割合が高くなっていった。

小学生保護者においては、「自営業・家業」と「無職」について生活困難度が高くなるにつれて回答割合が高くなっていった。他方、「専業主婦」については、生活困難度が高くなるにつれて回答割合が低くなっていった。

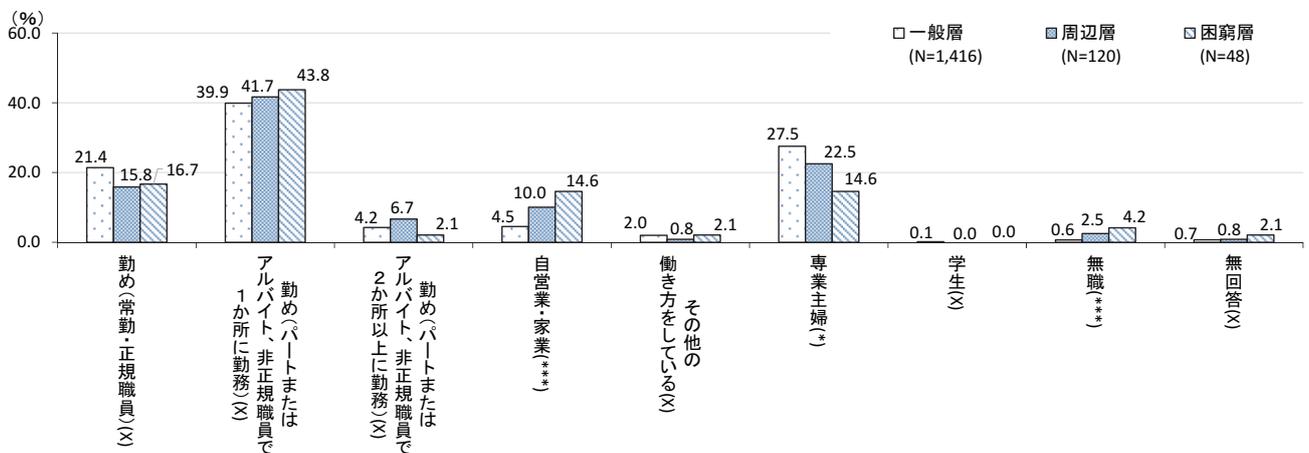
中学生保護者においては、「学生」「無職」では特に困窮層で回答割合が高くなっていったほか、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）」では特に周辺層において回答割合が比較的高く、また「専業主婦」では周辺層の回答割合が比較的低い結果となった。

図表4-2-1-10 母親の就業状況 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



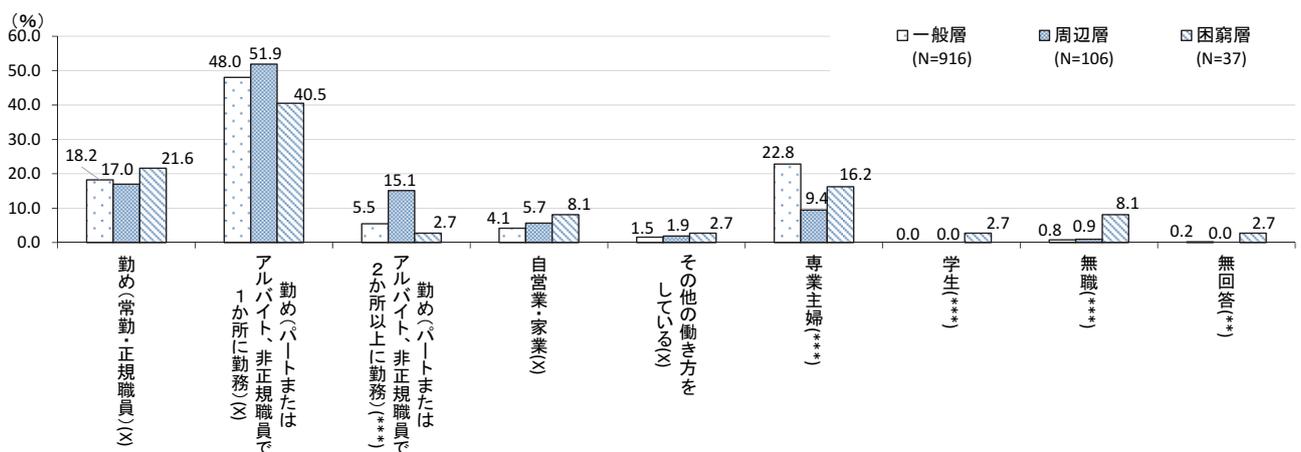
※「わからない」の選択肢は5歳児保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表4-2-1-11 母親の就業状況 生活困難層別クロス集計 小学生保護者



※「わからない」の選択肢は小学生保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表4-2-1-12 母親の就業状況 生活困難層別クロス集計 中学生保護者



※「わからない」の選択肢は中学生保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

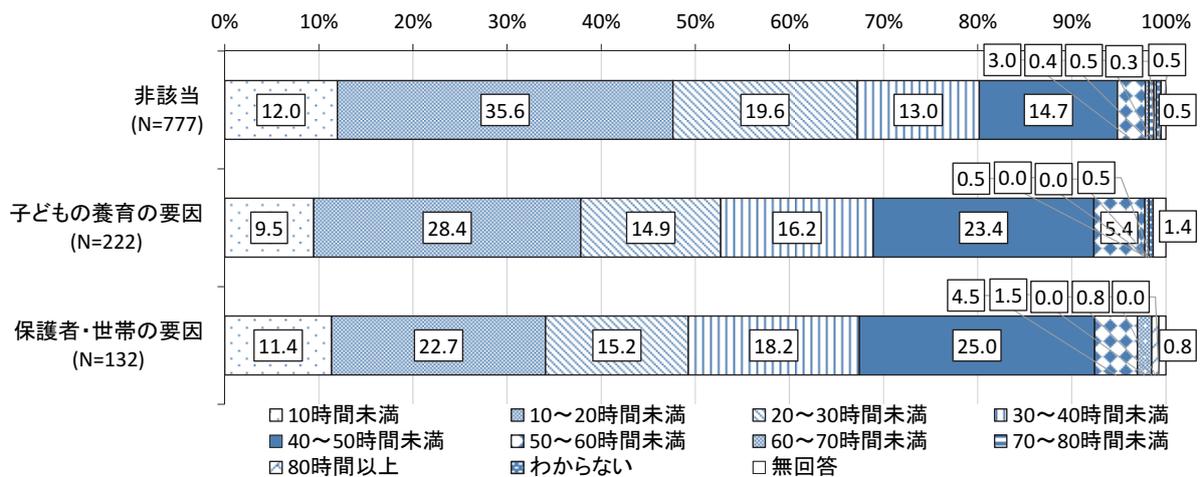
■潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に母親の1週間の平均就労時間についてクロス集計したところ、小学生保護者において1週間に40時間以上の就労時間と回答した割合は、「子どもの養育の要因」層、「保護者・世帯の要因」層ともに約3割となっていた。

また母親の平日の日中以外の勤務の有無についての潜在的養育困難層別クロス集計の結果をみると、「深夜勤務(22時～5時)」で潜在的養育困難層、「土曜出勤」で「子どもの養育の要因」層がそれぞれ比較的回答割合が高かった。

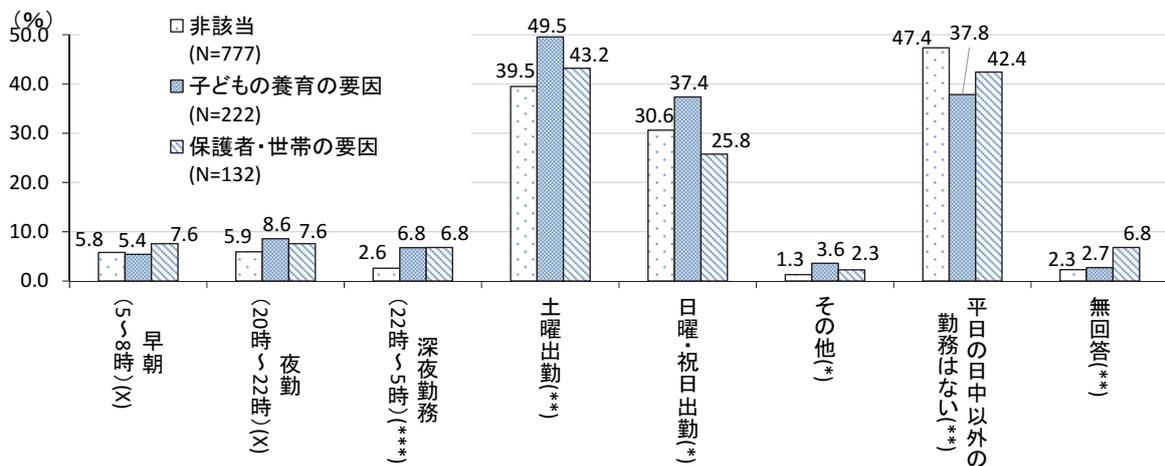
図表4-2-1-13 母親の1週間の平均就労時間

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表4-2-1-14 母親の平日の日中以外の勤務の有無

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者



② 父親の就業状況と就業時間

【5歳児問6～6-2・小中保問5～5-2】

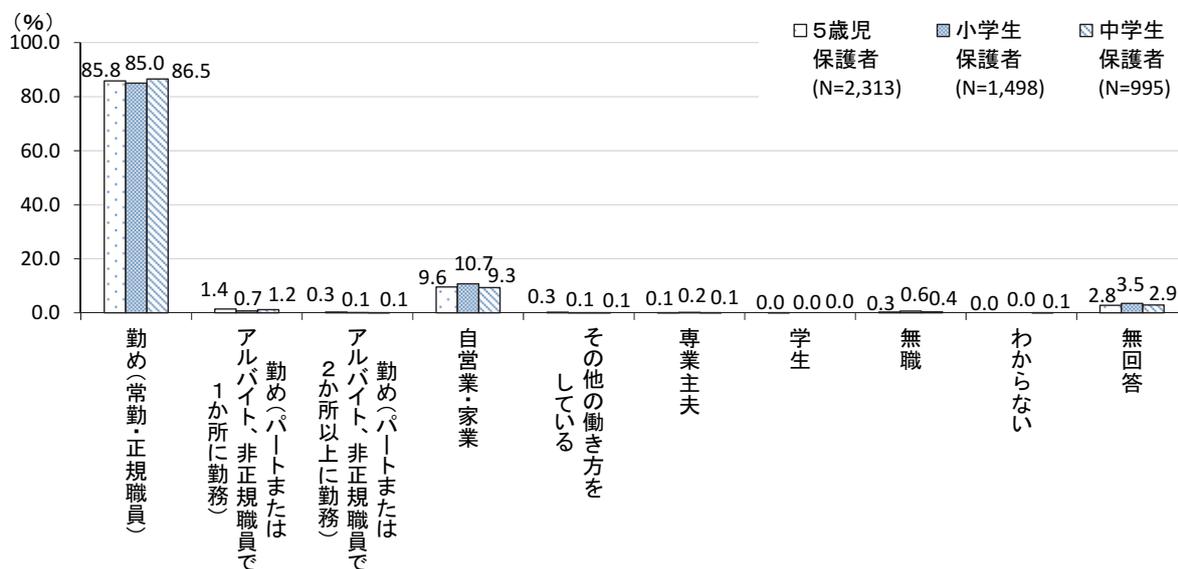
父親の就業状況を見ると、どの子どもの年齢・教育段階でも「勤め（常勤・正規職員）」が8割以上、「自営業・家業」が約1割であった。

父親の1週間の平均就労時間を見ると、どの子どもの年齢・教育段階でも「40～50時間未満」が3割以上で最も多く、次いで「50～60時間未満」が25%前後となっていた。

平日の日中以外の勤務状況を見ると、どの子どもの年齢・教育段階でも「土曜出勤」が4割強となっており、「日曜・祝日出勤」が4割弱となっていた。また「夜勤（20～22時）」は2割以上、「早朝（5時～8時）」や「深夜勤務（22時～5時）」は1割以上という回答割合となっていた。

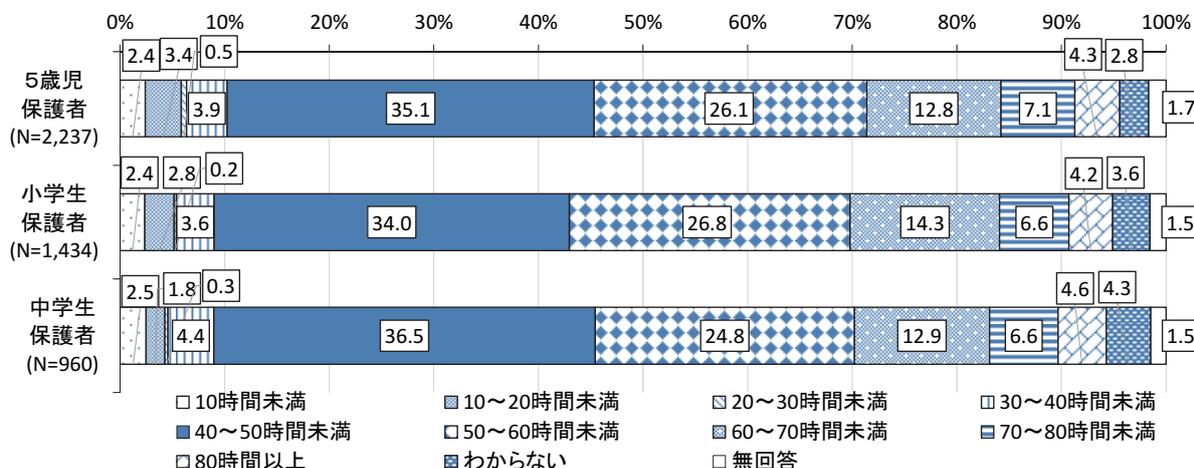
問 お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください（複数回答）

図表4-2-2-1 父親の就業状況 単純集計



問 お子さんのお父さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか

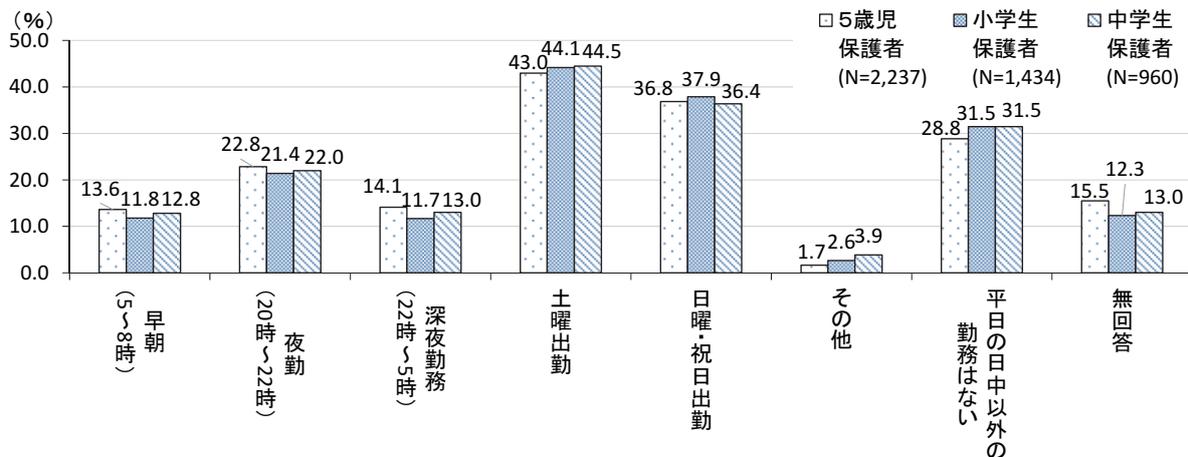
図表4-2-2-2 父親の1週間の平均就労時間 単純集計



※「お子さんのお父さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか」の設問は、「お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください」に「勤め（常勤・正規職員）」～「その他の働き方をしている」と答えた者のみ回答する設問。

問 お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか（複数回答）

図表 4-2-2-3 父親の平日の日中以外の勤務の有無 単純集計

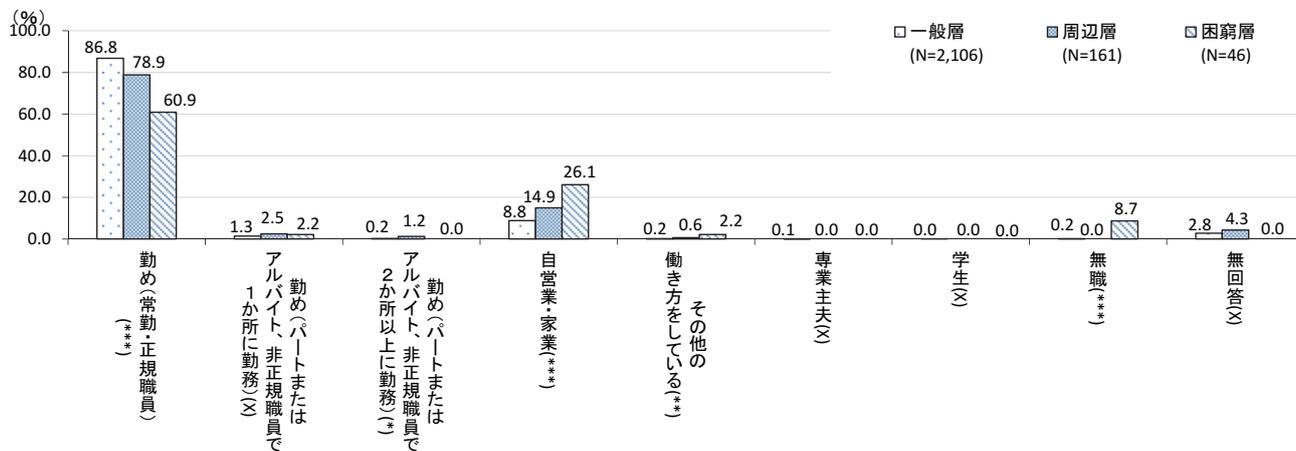


※「お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか」の設問は、「お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください」に「勤め（常勤・正規職員）」～「その他の働き方をしている」と答えた者のみ回答する設問。

■生活困難層別

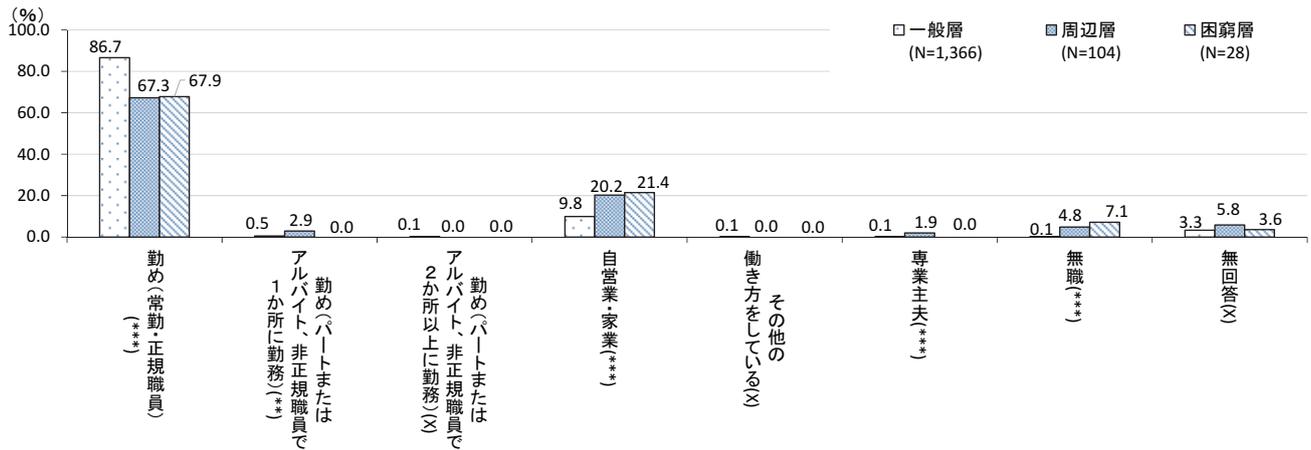
父親の就業状況について生活困難層別にみると、どの子どもの年齢・教育段階でも共通して、「勤め（常勤・正規職員）」で生活困難層の回答割合が比較的低くなり、「自営業・家業」で生活困難度が高くなるにつれて回答割合が高くなっていった。また、「無職」では特に困窮層の回答割合が高くなっていった。

図表 4-2-2-4 父親の就業状況 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



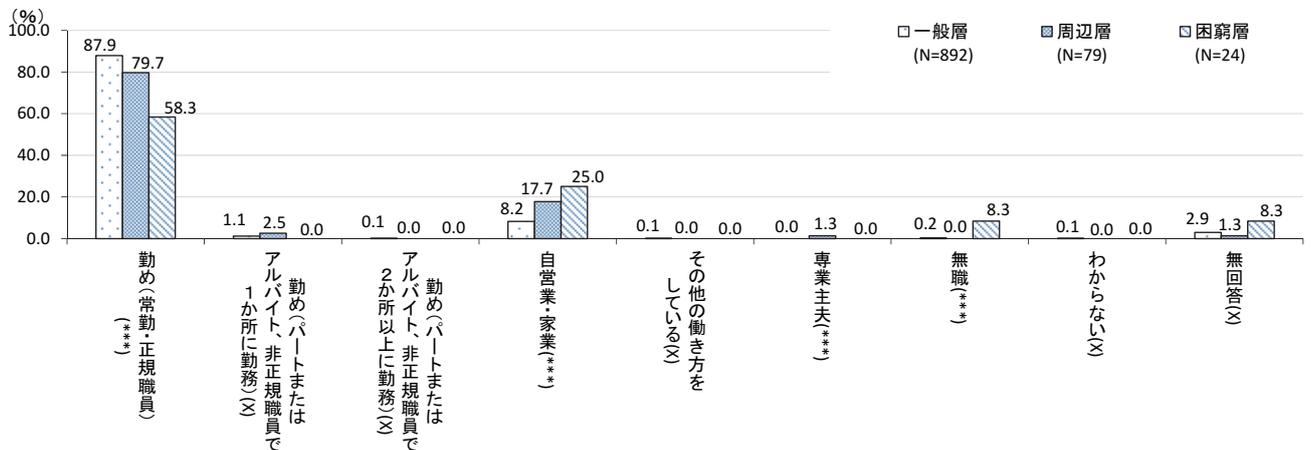
※「わからない」の選択肢は5歳児保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表 4-2-2-5 父親の就業状況 生活困難層別クロス集計 小学生保護者



※「学生」「わからない」の選択肢は小学生保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表 4-2-2-6 父親の就業状況 生活困難層別クロス集計 中学生保護者

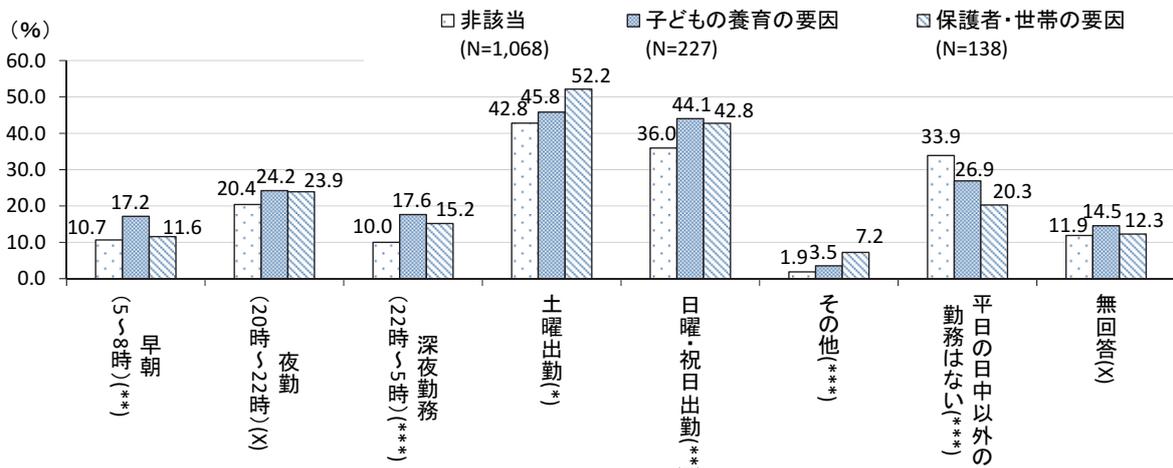


※「学生」の選択肢は中学生保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

■ 潜在的養育困難層別

父親の平日の日中以外の勤務の有無について潜在的養育困難層別にクロス集計したところ、「深夜勤務(22時～5時)」で、「子どもの養育の要因」層で回答割合が高かった。

図表 4-2-2-7 父親の1週間の平均就労時間 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者



(3) 子育てについて

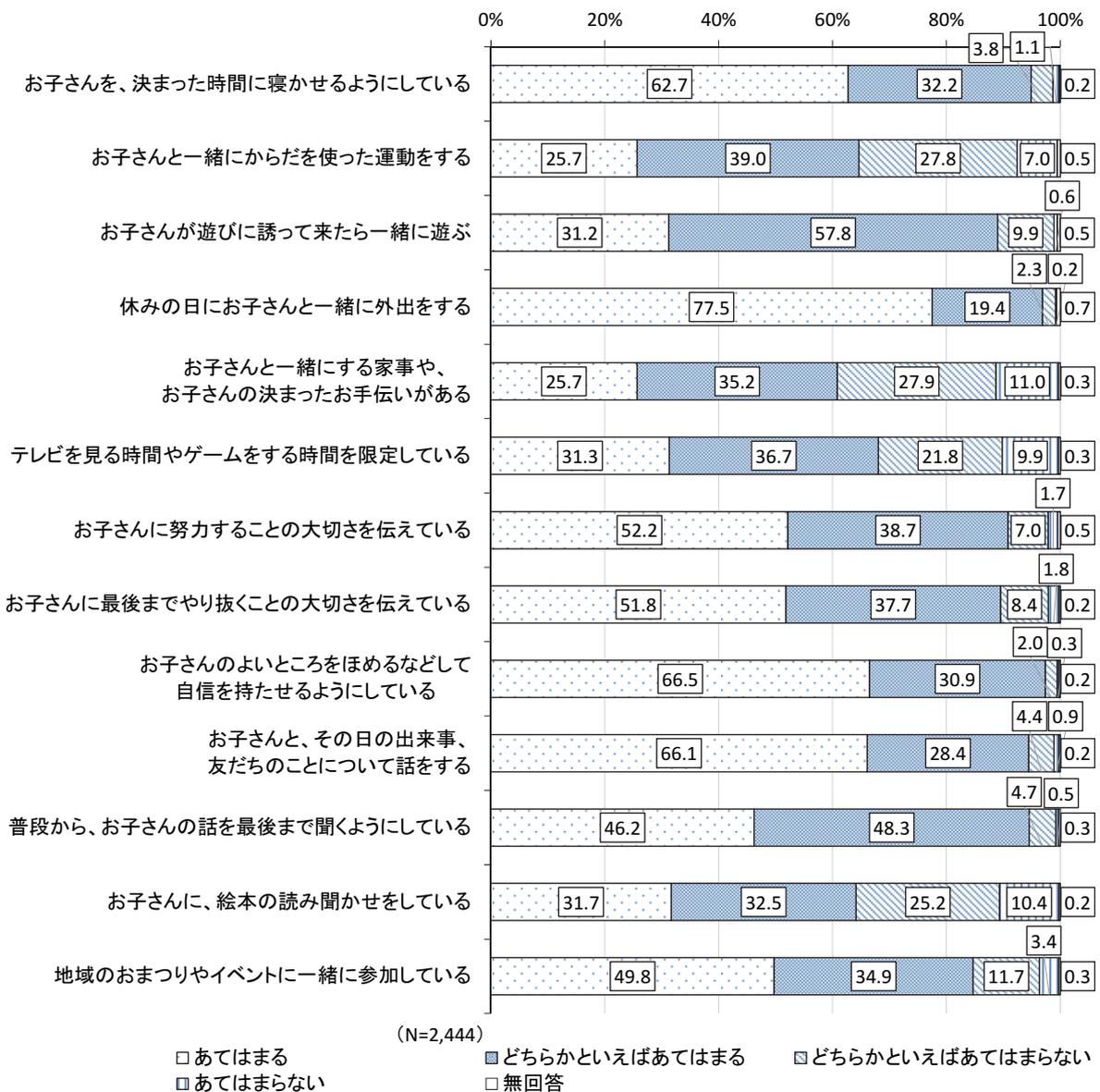
① 子どもとの関わり

【5歳保問18】

子どもとの関わりについて、5歳児保護者の半数以上が「あてはまる」と回答した項目は、「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」「お子さんに努力することの大切さを伝えている」「お子さんに最後までやり抜くことの大切さを伝えている」「お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている」「お子さんと、その日の出来事、友達のことについて話をする」となった。

問 子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか

図表4-3-1-1 子どもとの関わり 単純集計 5歳児保護者



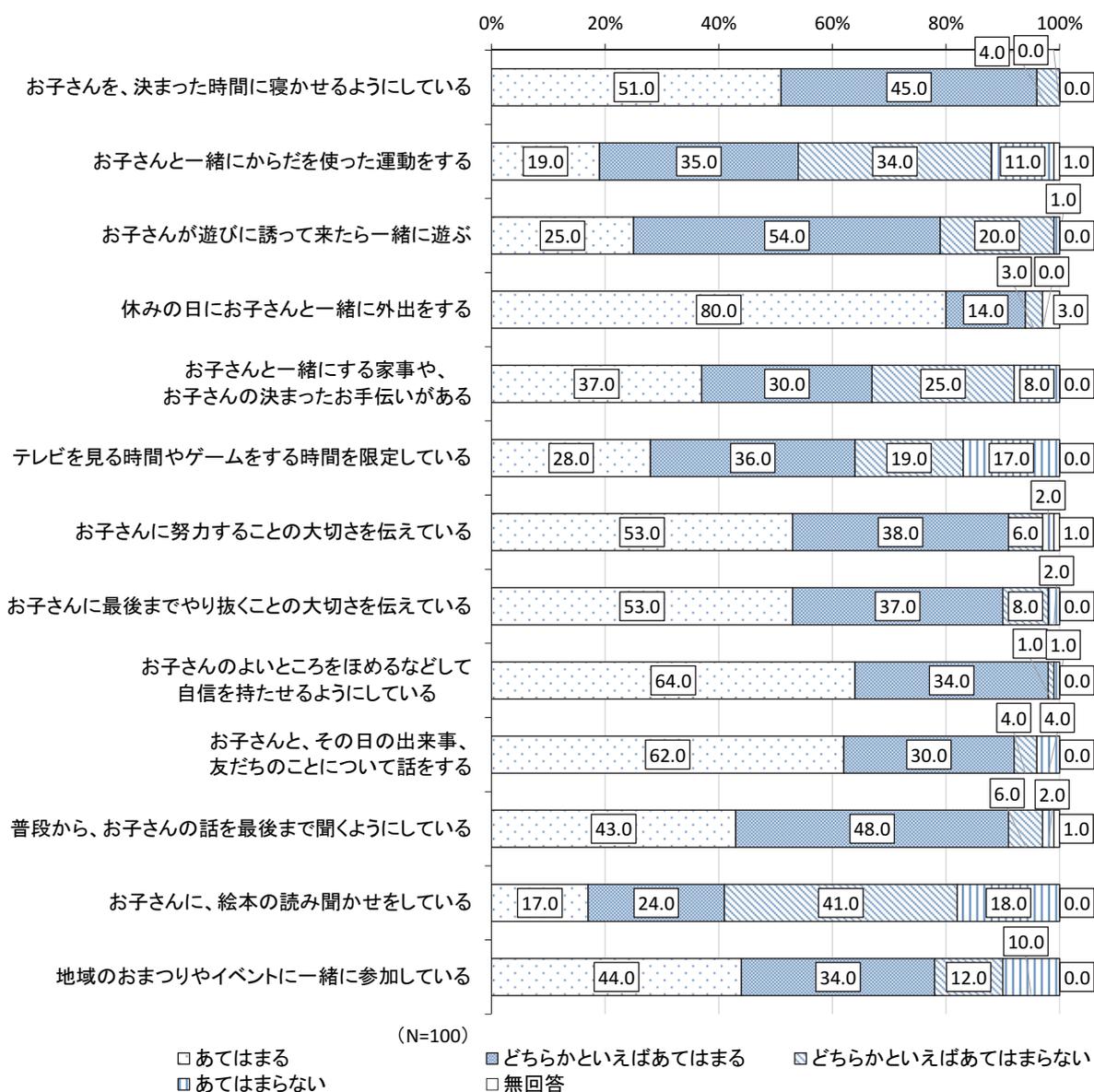
■世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 5歳児保護者

5歳児保護者と子どもとの関わりについて、ひとり親世帯（2世代同居）の回答結果と全体を比較したときに、「あてはまる」と回答した割合が10ポイント以上低くなっていた項目は、「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」の2項目となっていた。

5ポイント以上（10ポイント未満）の差異があった項目は、「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」となっていた。（差異の大きな項目順に掲載）

なお、「お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある」は、ひとり親世帯（2世代同居）の方が10ポイント以上高くなっていた。

図表4-3-1-2 子どもとの関わり 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 5歳児保護者

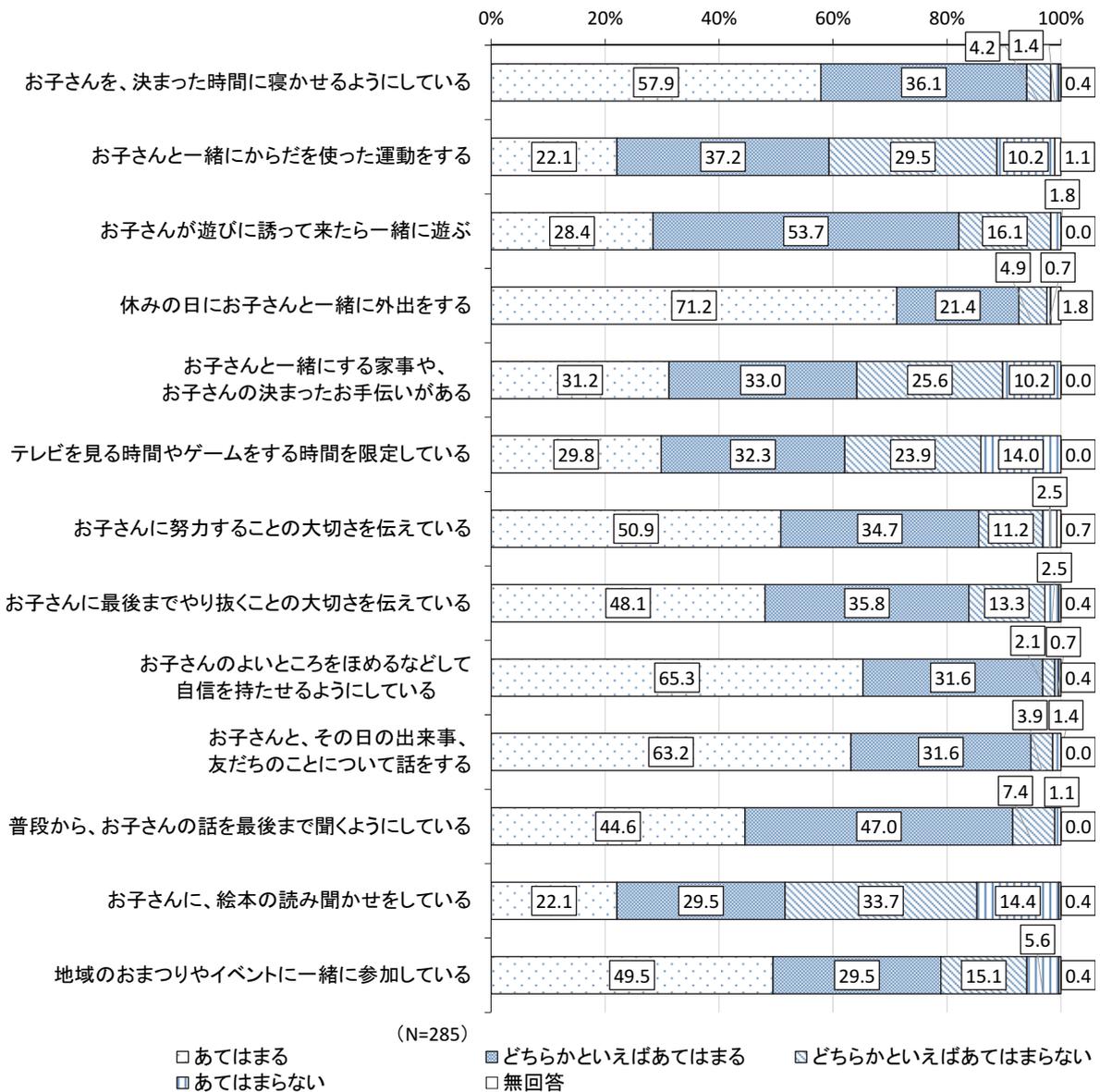


■生活困難層別—生活困難層 5歳児保護者

5歳児保護者と子どもとの関わりについて、生活困難層を全体と比較したときに、「あてはまる」と回答した割合が5ポイント以上低くなっていた項目は、「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」となっていた。(差異の大きな項目順に掲載)

「お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある」は、生活困難層の方が5ポイント以上高くなっていた。

図表4-3-1-3 子どもとの関わり 生活困難層別—生活困難層 5歳児保護者

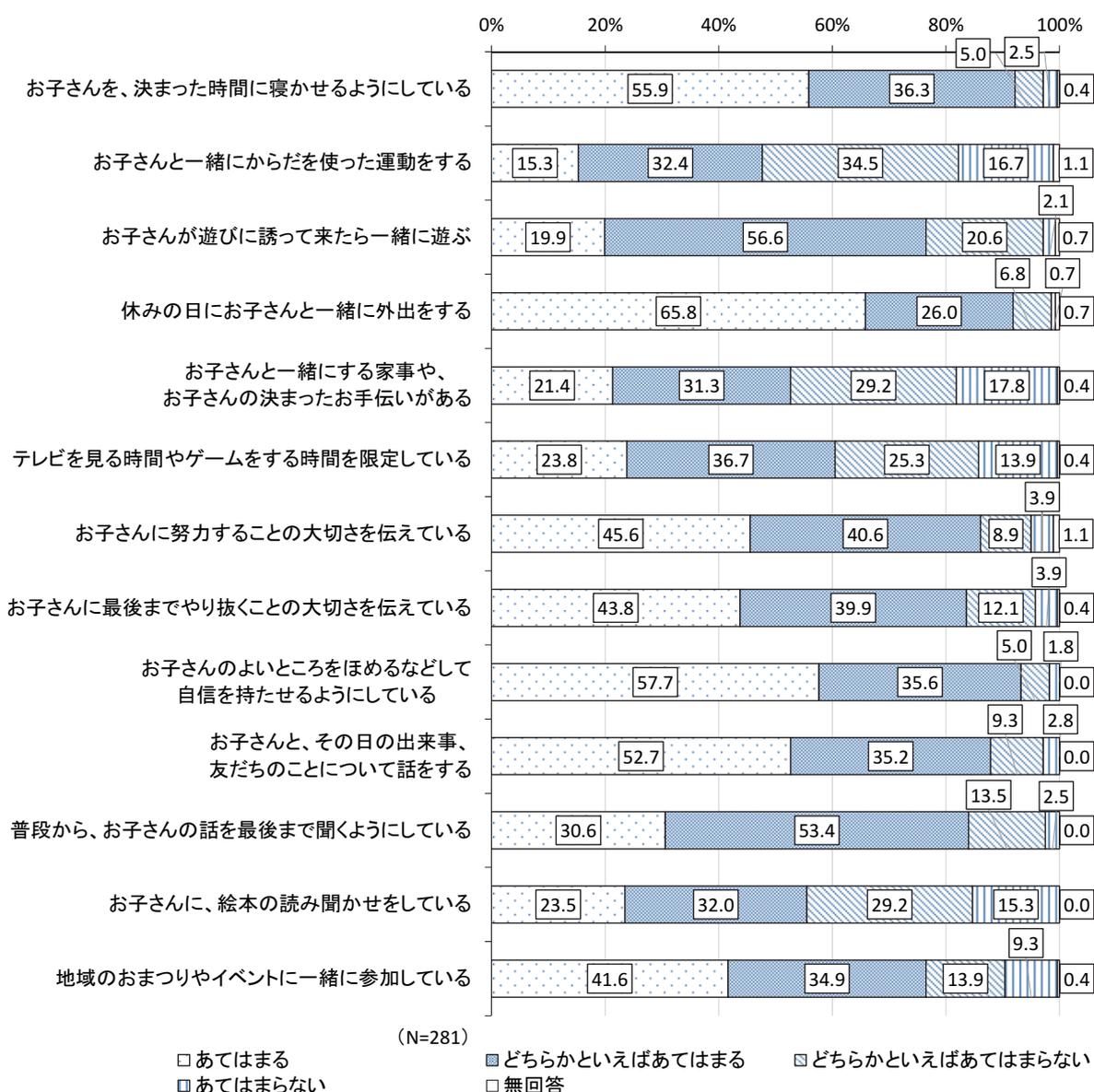


■子どもとの関わり 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 5歳児保護者

5歳児保護者と子どもとの関わりについて、「子どもの養育の要因」層を全体と比較したときに、「あてはまる」と回答した割合が10ポイント以上低くなっていた項目は、「普段から、お子さんの話を最後まで聞くようにしている」「お子さんと、その日の出来事、友だちのことについて話をする」「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の5項目となっていた。

5ポイント以上（10ポイント未満）低くなっていた項目は、「お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている」「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」「お子さんに最後までやり抜くことの大切さを伝えている」「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」「お子さんに努力することの大切さを伝えている」の7項目となっていた。（差異の大きな項目順に掲載）

図表4-3-1-4 子どもとの関わり
潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 5歳児保護者

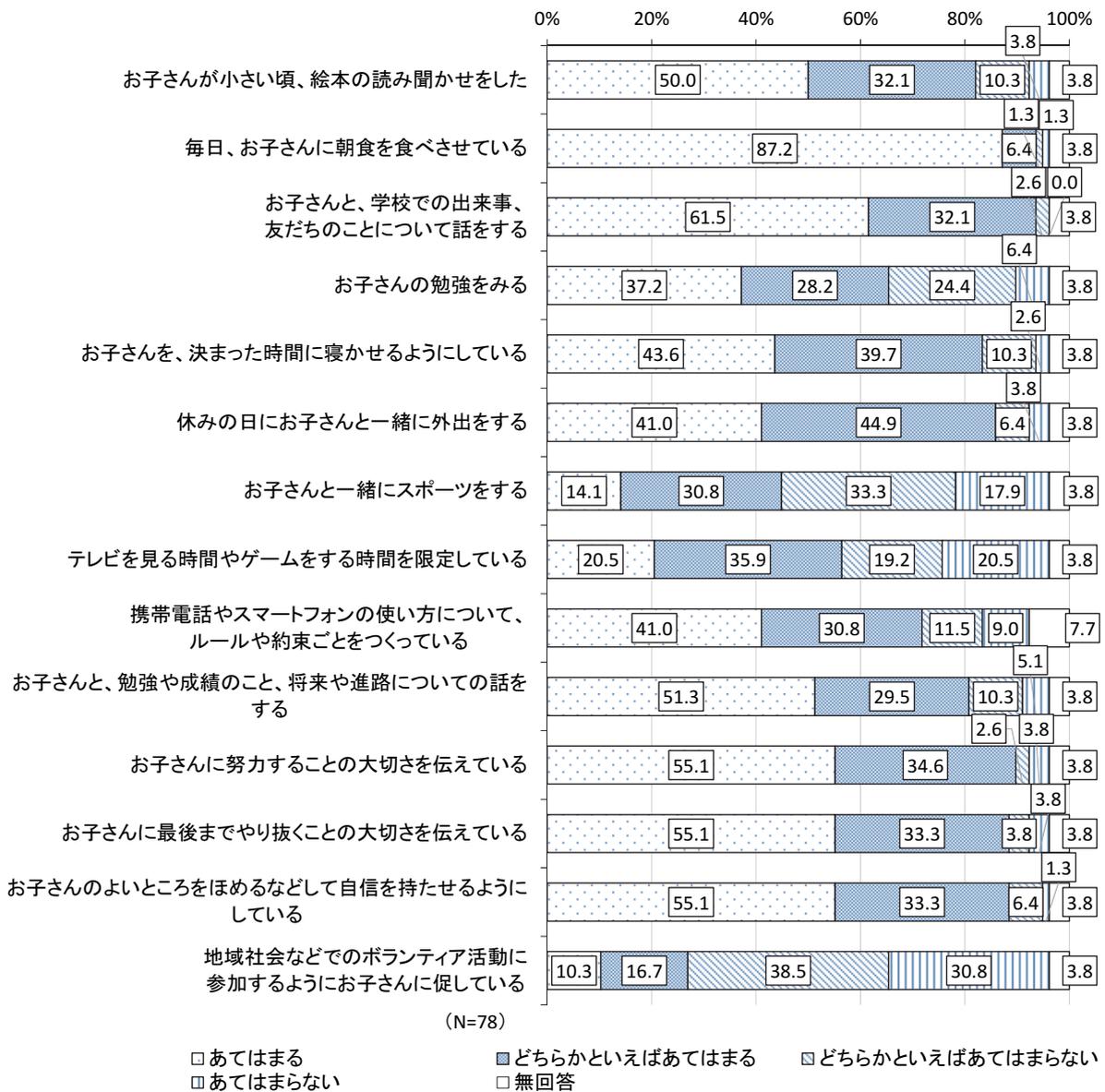


■世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 小学生保護者

小学生保護者と子どもとの関わりについて、ひとり親世帯（2世代同居）を全体と比較したときに、「あてはまる」と回答した割合が10ポイント以上低くなっていた項目は、「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」の4項目となっていた。

5ポイント以上（10ポイント未満）低くなっていた項目は、「お子さんの勉強をみる」「携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールや約束ごとをつくっている」「お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをした」「お子さんに努力することの大切さを伝えている」「お子さんと一緒にスポーツをする」の5項目となっていた。（差異の大きな項目順に掲載）

図表4-3-1-6 子どもとの関わり 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 小学生保護者

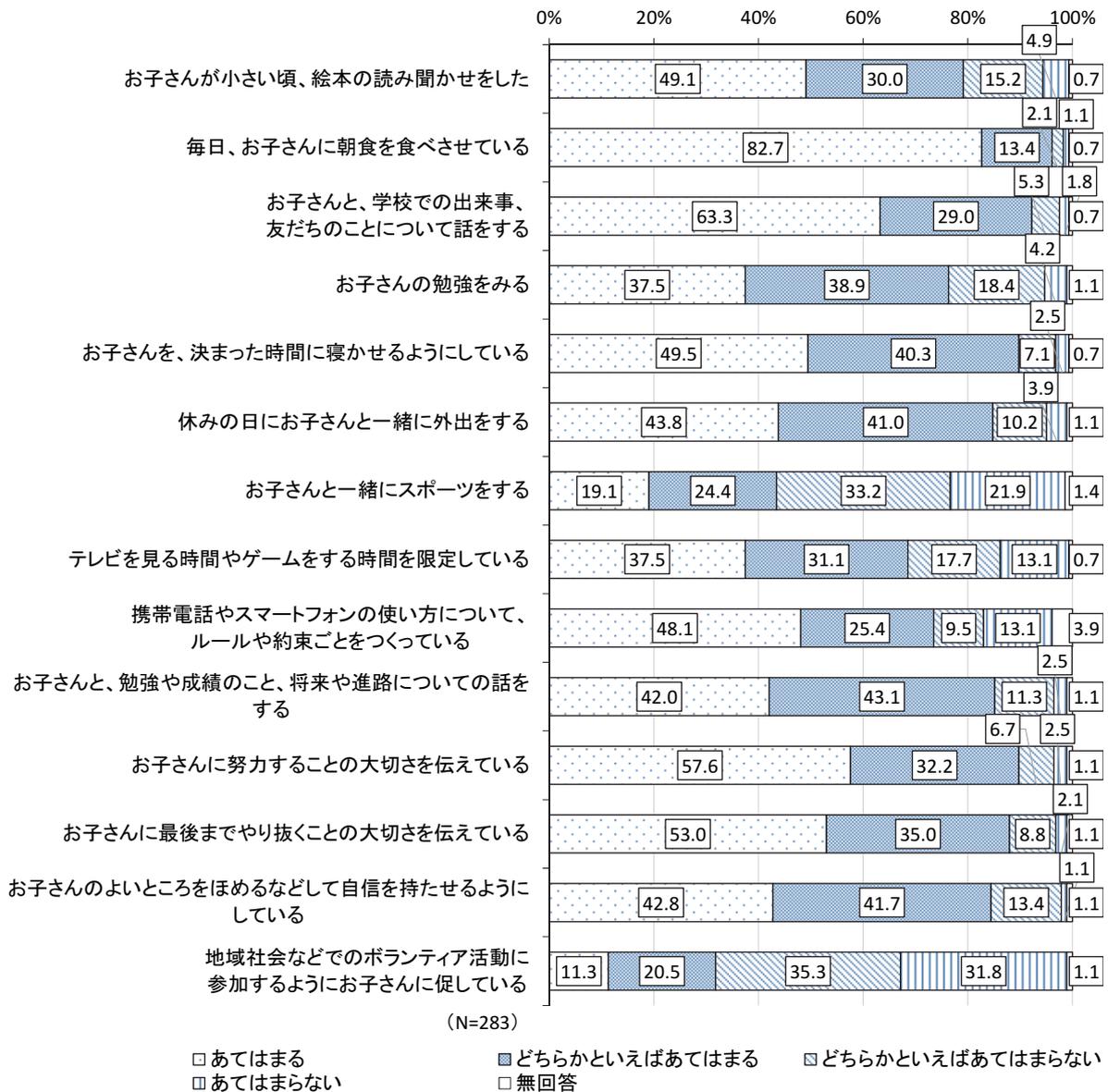


■子どもとの関わり 潜在的養育困難層別－「子どもの養育の要因」層 小学生保護者

小学生保護者と子どもとの関わりについて、「子どもの養育の要因」層を全体と比較したときに、「あてはまる」と回答した割合が10ポイント以上低くなっていた項目は、「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」「お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている」「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の3項目となっていた。

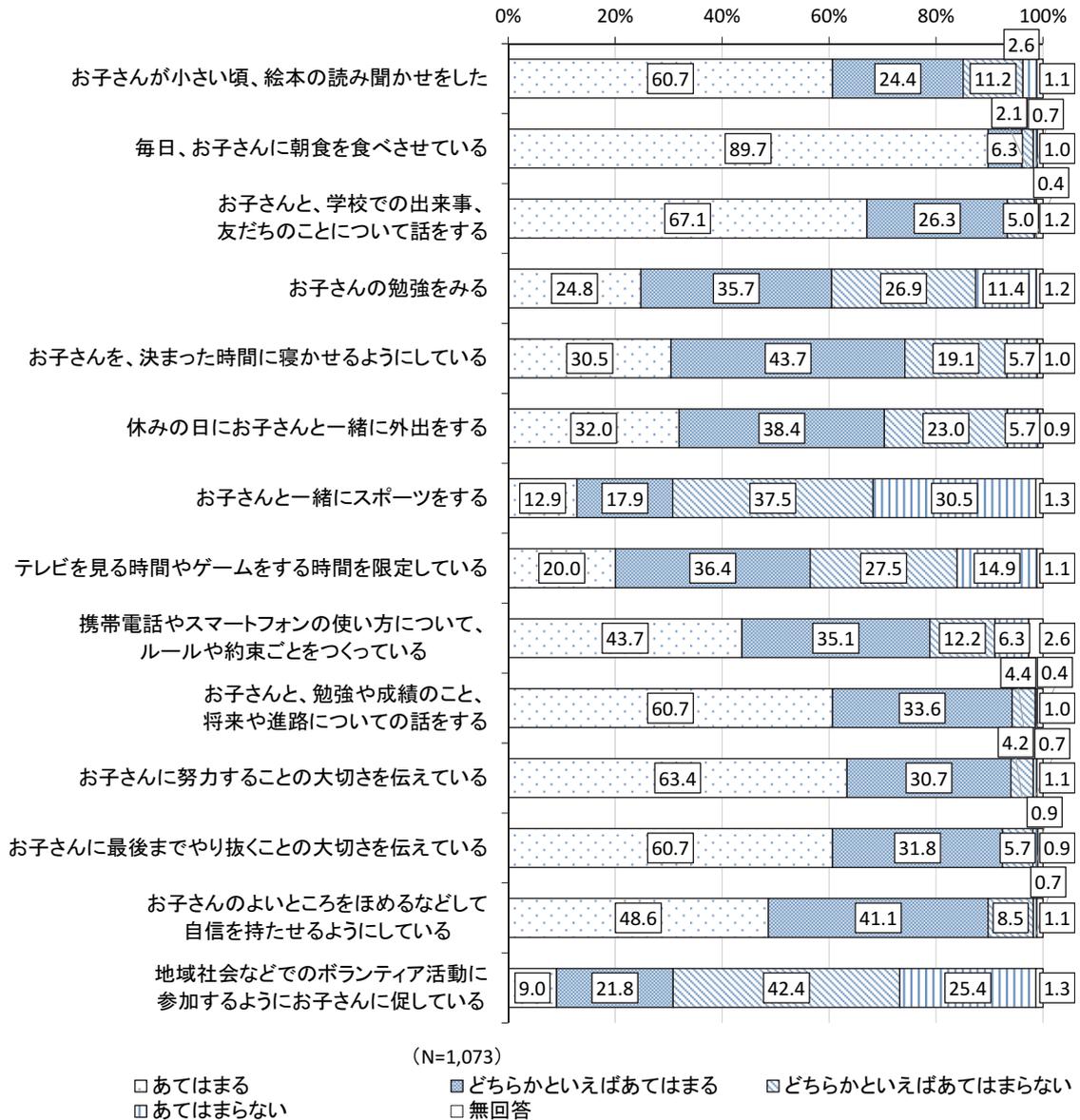
5ポイント以上（10ポイント未満）低くなっていた項目は、「お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをした」「お子さんの勉強をみる」「毎日、お子さんに朝食を食べさせている」「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」「お子さんに最後までやり抜くことの大切さを伝えている」の6項目となっていた。（差異の大きな項目順に掲載）

図表4-3-1-8 子どもとの関わり
潜在的養育困難層別－「子どもの養育の要因」層 小学生保護者



子どもとの関わりについて、中学生保護者の半数以上が「あてはまる」と回答した項目をみると、「お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをした」「毎日、お子さんに朝食を食べさせている」「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」「お子さんに努力することの大切さを伝えている」「お子さんに最後までやり抜くこと大切さを伝えている」となった。

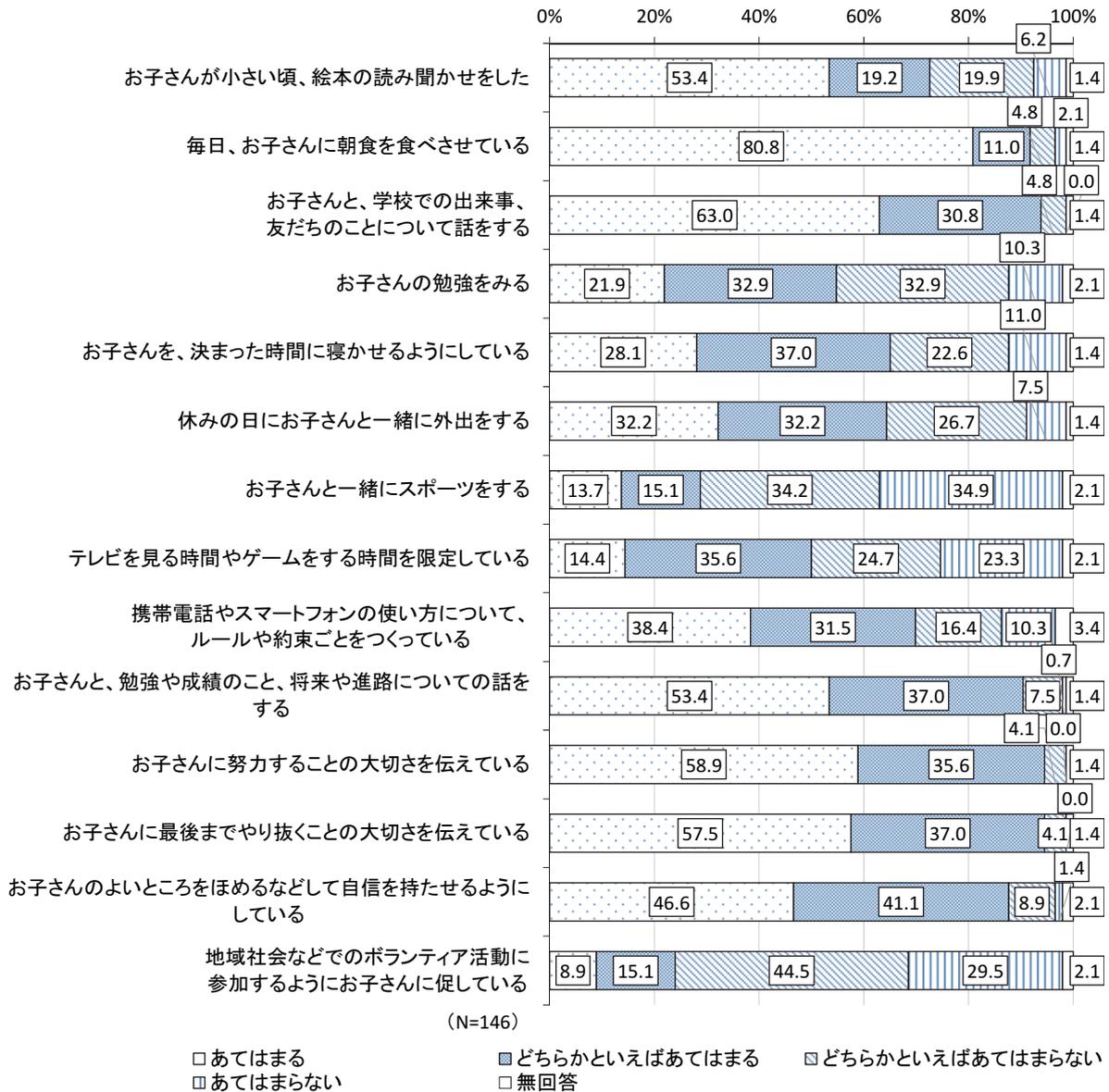
図表4-3-1-9 子どもとの関わり 単純集計 中学生保護者



■生活困難層別—生活困難層 中学生保護者

中学生保護者と子どもとの関わりについて、生活困難層を全体と比較したときに、「あてはまる」と回答した割合が5ポイント以上（10ポイント未満）低くなっていた項目は、「毎日、お子さんに朝食を食べさせている」「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」「お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをした」「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」「携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールや約束ごとをつくっている」の5項目となっていた。（差異の大きな項目順に掲載）

図表4-3-1-11 子どもとの関わり 生活困難層別—生活困難層 中学生保護者

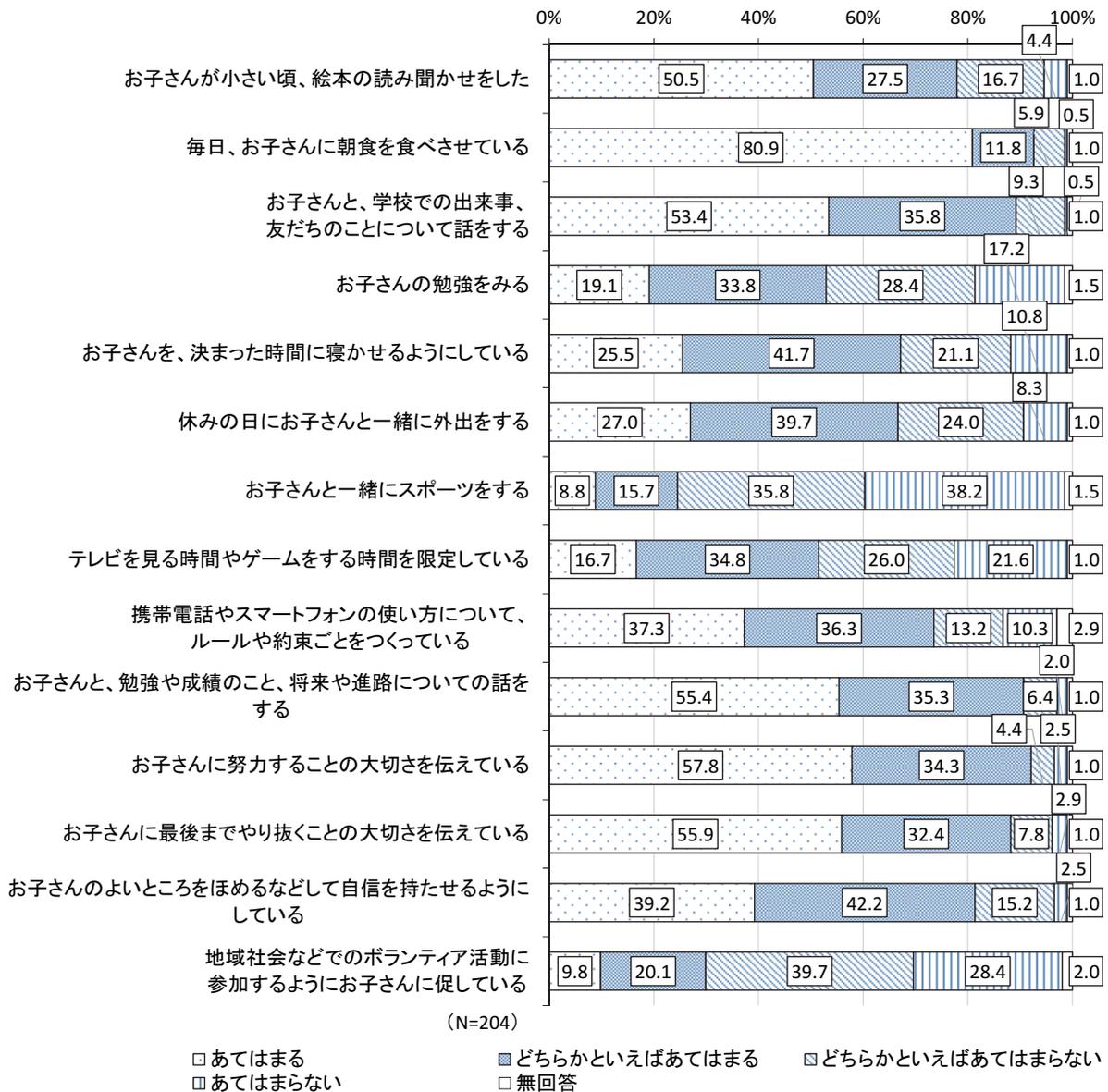


■子どもとの関わり 潜在的養育困難層別―「子どもの養育の要因」層 中学生保護者

中学生保護者と子どもとの関わりについて、「子どもの養育の要因」層を全体と比較したときに、「あてはまる」と回答した割合が10ポイント以上低くなっていた項目は、「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」「お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをした」の2項目となっていた。

5ポイント以上（10ポイント未満）低くなっていた項目は、「お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている」「毎日、お子さんに朝食を食べさせている」「携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールや約束ごとをつくっている」「お子さんの勉強をみる」「お子さんに努力することの大切さを伝えている」「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路について話をする」「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の7項目となっていた。（差異の大きな項目順に掲載）

図表4-3-1-12 子どもとの関わり
潜在的養育困難層別―「子どもの養育の要因」層 中学生保護者



② 子どもの健康・障がい

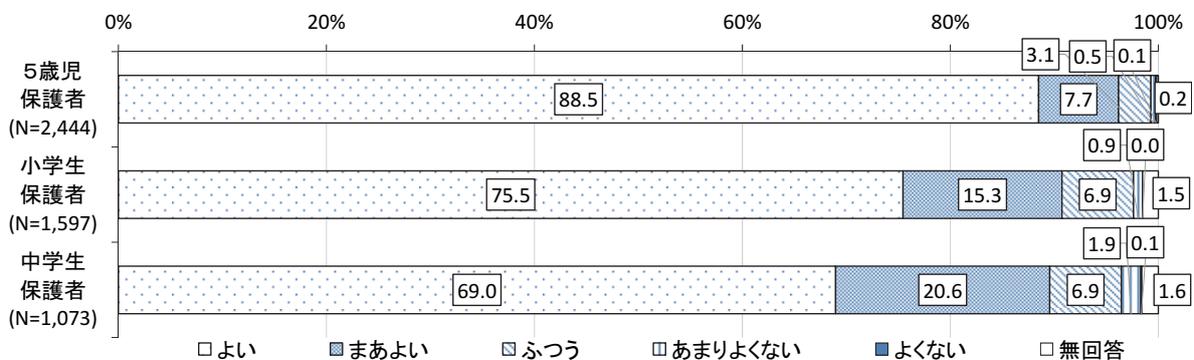
【5歳保問12～13-1・小中保問7～8-1】

お子さんの健康状態をどう認識しているかを尋ねたところ、「よい」「まあよい」という回答の割合の合計は、5歳児保護者で96.2%、小学生保護者で90.8%、中学生保護者で89.6%であった。

過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験の有無を尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも約2割が「あった」と回答していた。受診させなかった経験が「あった」と回答した方の受診させなかった理由をみると、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」という回答が最も多く、5歳児保護者で90.7%、小学生保護者で83.5%、中学生保護者で77.0%であった。また、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」という回答も比較的多く、5歳児保護者で21.3%、小学生保護者で22.6%、中学生保護者で34.7%であった。

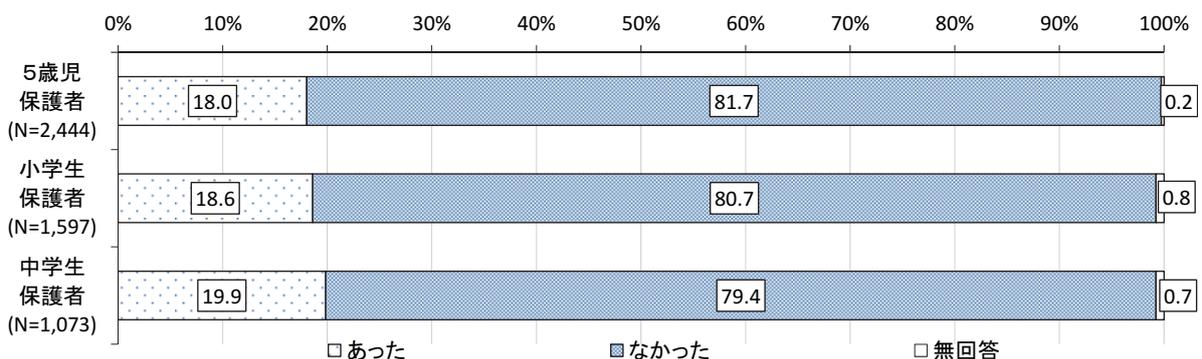
問 お子さんの健康状態についてうかがいます

図表4-3-2-1 子どもの健康状態 単純集計



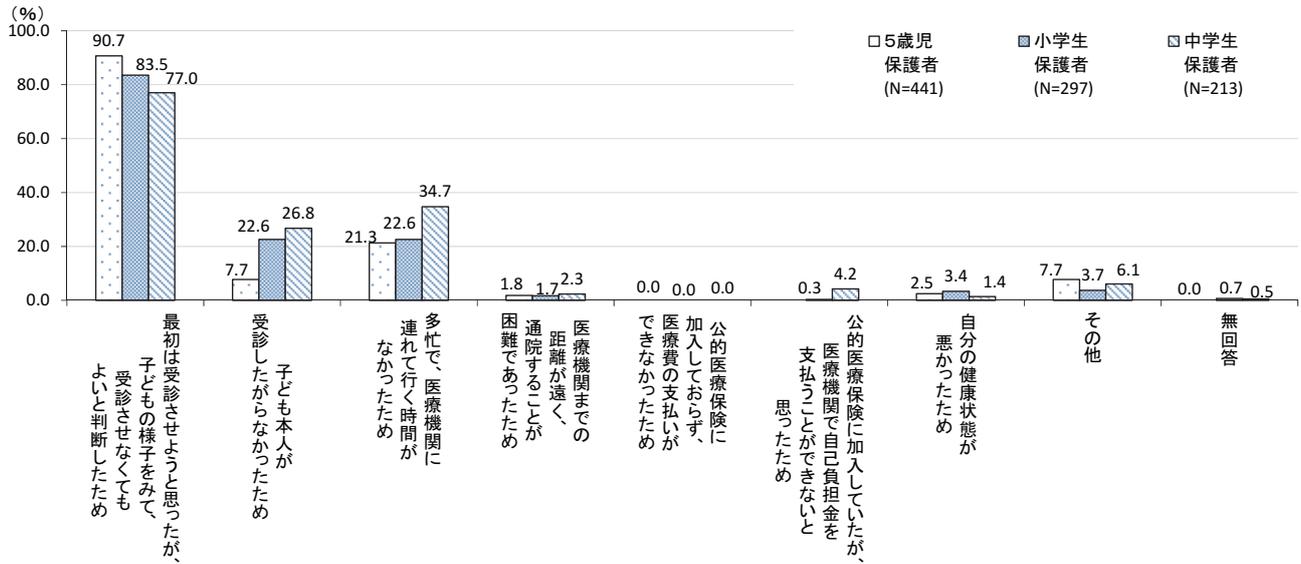
問 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか

図表4-3-2-2 医療機関で受診させなかった経験 単純集計



問 医療機関を受診させなかった理由（複数回答）

図表 4-3-2-3 受診させなかった理由 単純集計



※「医療機関を受診させなかった理由」の設問は、「過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか」に「あった」と答えた者のみ回答する設問。
 ※「公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」の項目は、小学生保護者・中学生保護者のみに尋ねている。

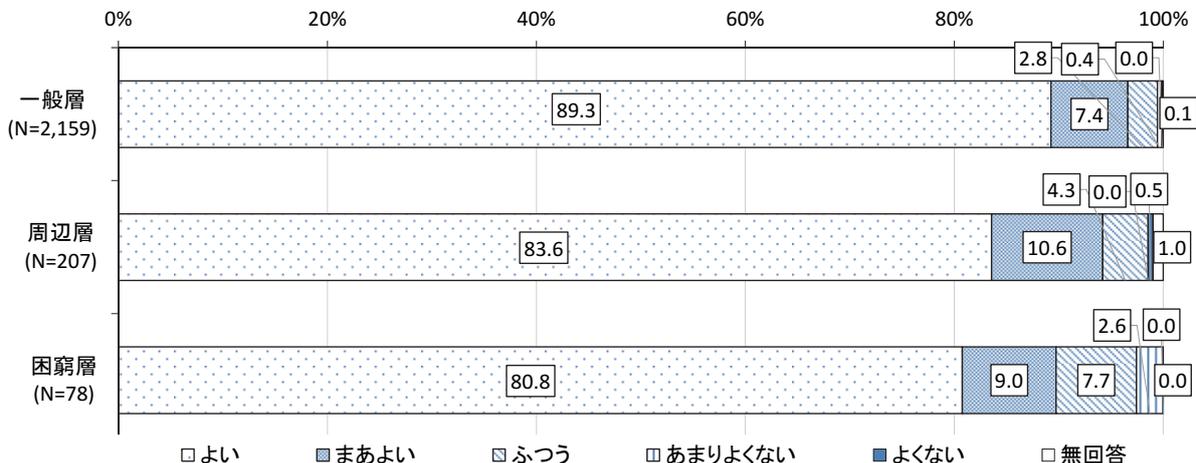
■生活困難層別

お子さんの健康状態をどう認識しているかについての生活困難層別クロス集計の結果をみると、どの子どもの年齢・教育段階でも、生活困難度が高くなるにつれて「よい」「まあよい」という回答の割合の合計が低くなっていた。

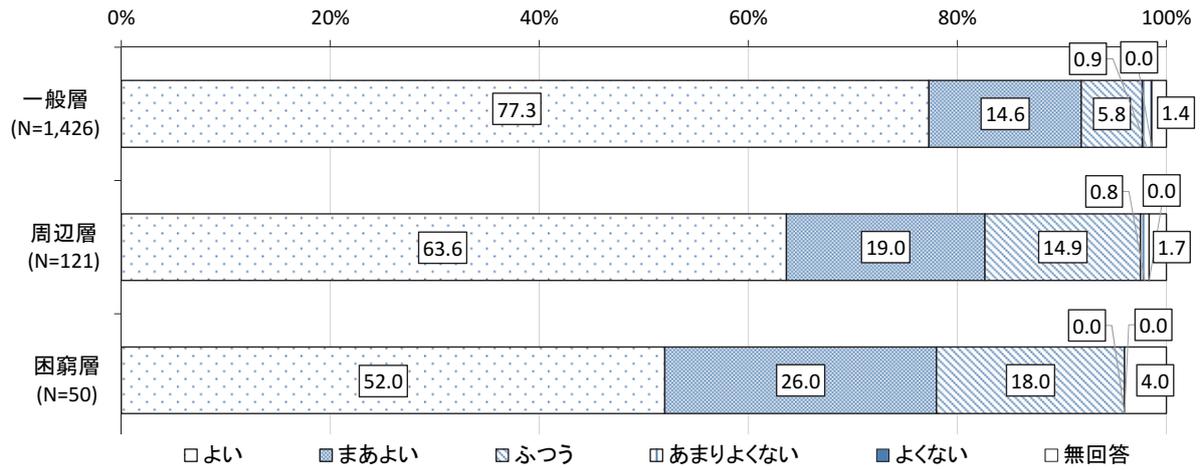
医療機関での受診をさせなかった経験について生活困難層別にみると、5歳児保護者および中学生保護者で生活困難層度が高くなるにつれて「あった」とする回答の割合が高くなっていた。

受診させなかった理由をみると、5歳児保護者では「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」「自分の健康状態が悪かったため」、中学生保護者では「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」「公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」において生活困難度が高くなるにつれて回答割合が高くなっていた。

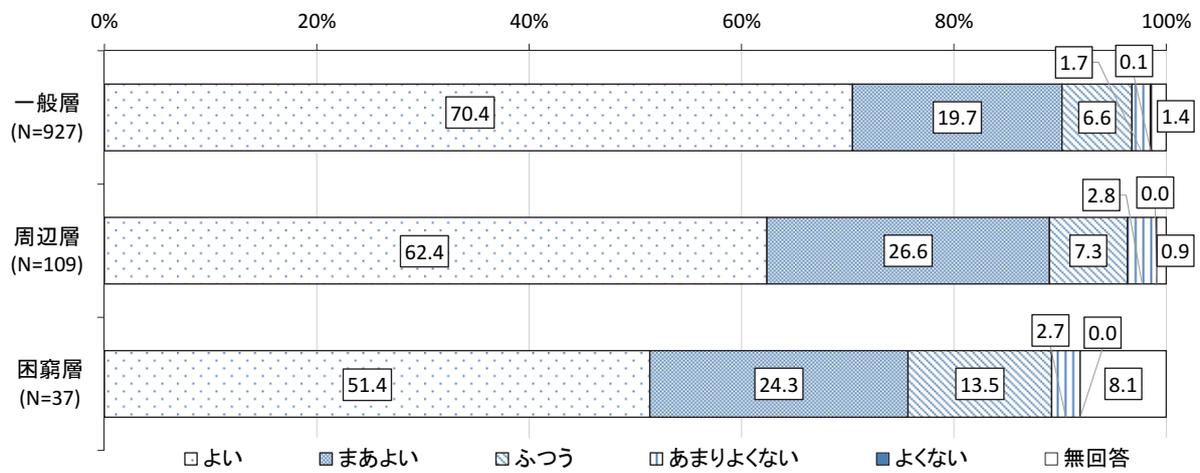
図表 4-3-2-4 子どもの健康状態 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-3-2-5 子どもの健康状態 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)

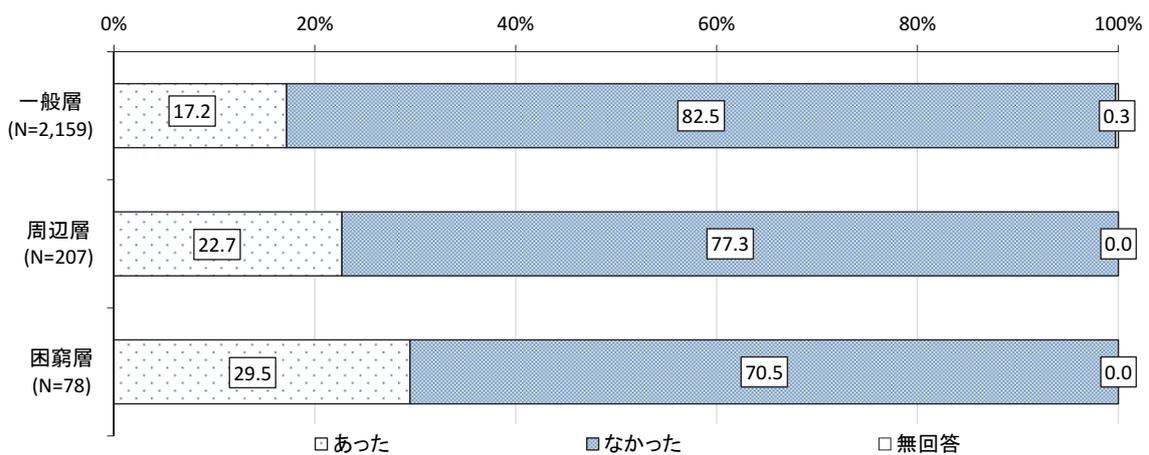


図表 4-3-2-6 子どもの健康状態 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (**)



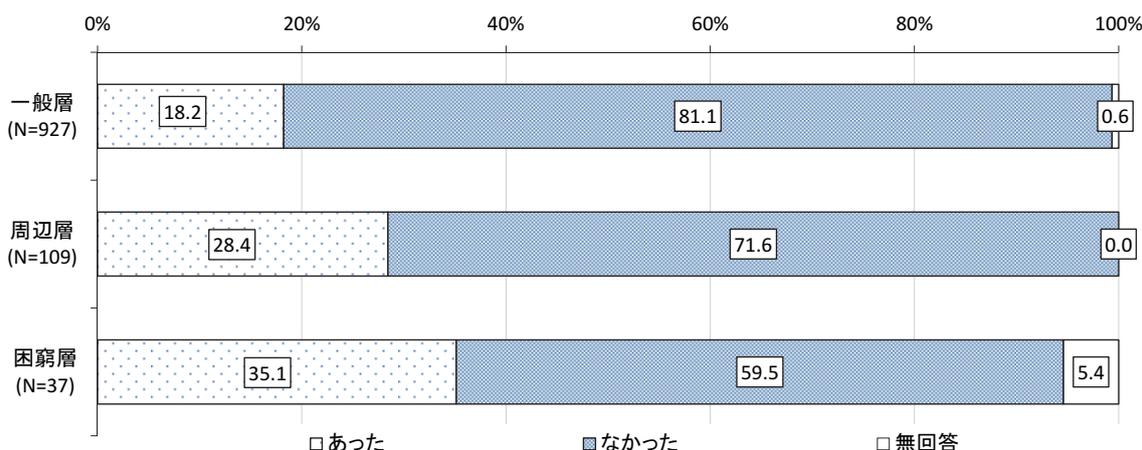
図表 4-3-2-7 医療機関で受診させなかった経験

生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (**)

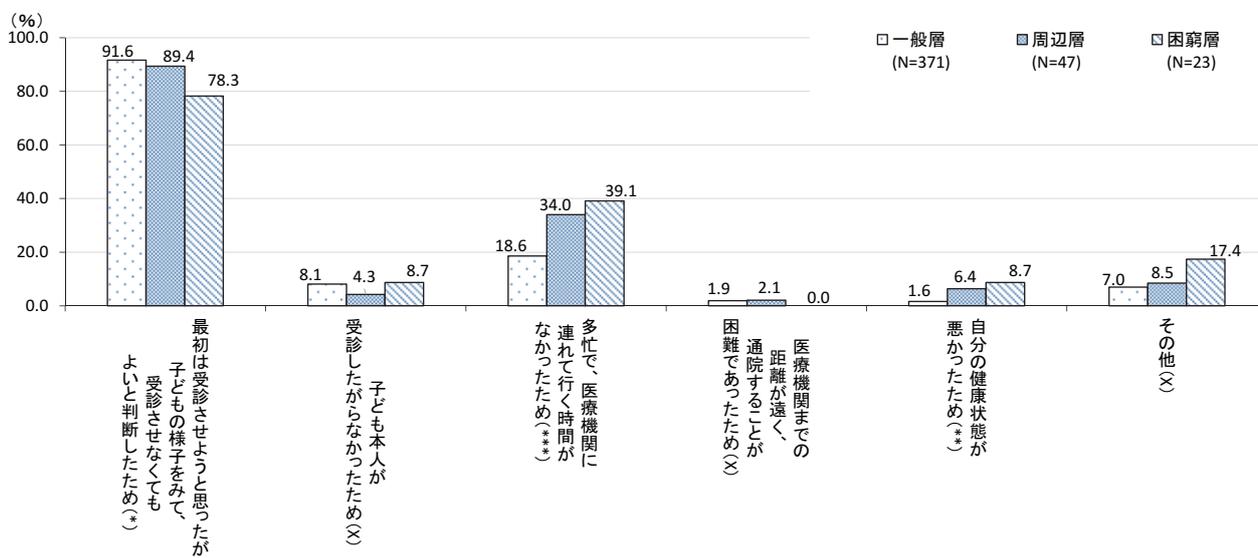


図表 4-3-2-8 医療機関で受診させなかった経験

生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)

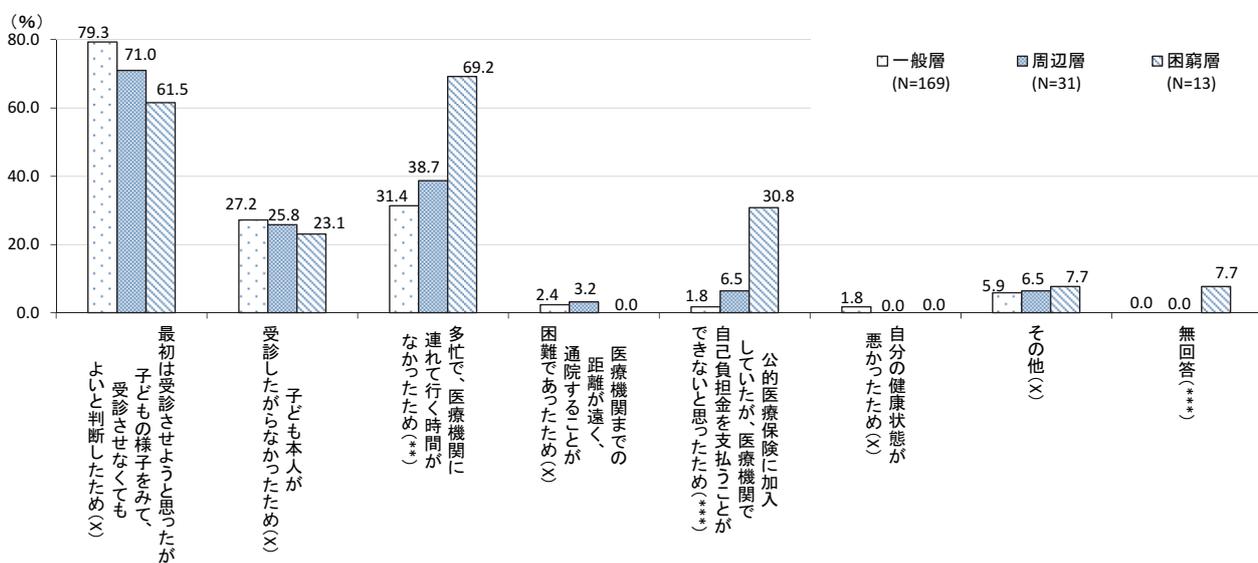


図表 4-3-2-9 受診させなかった理由 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



※「公的医療機関に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため」の選択肢と「無回答」は5歳児保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表 4-3-2-10 受診させなかった理由 生活困難層別クロス集計 中学生保護者



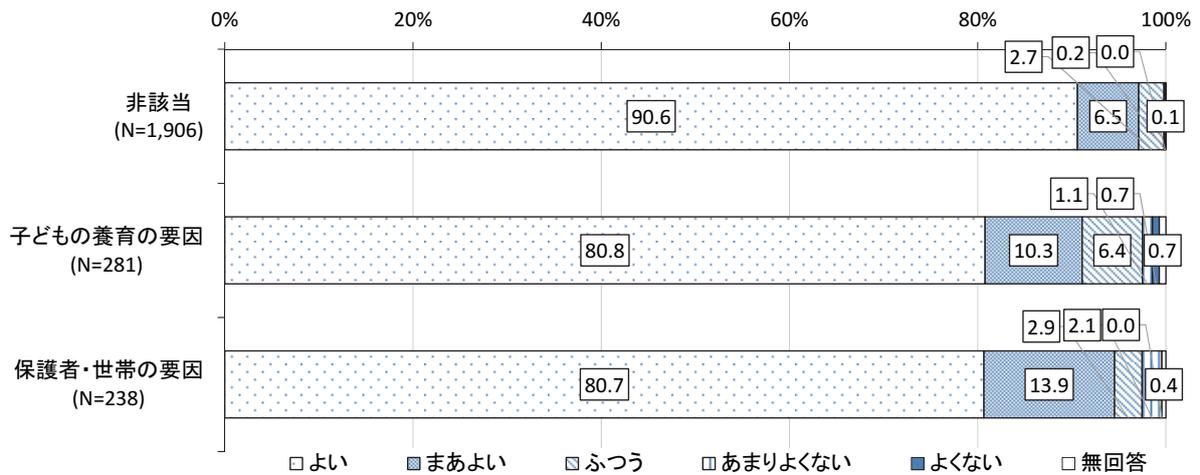
※「公的医療機関に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため」の選択肢は中学生保護者では回答件数が0件であったため、図表から省略している。

■潜在的養育困難層別

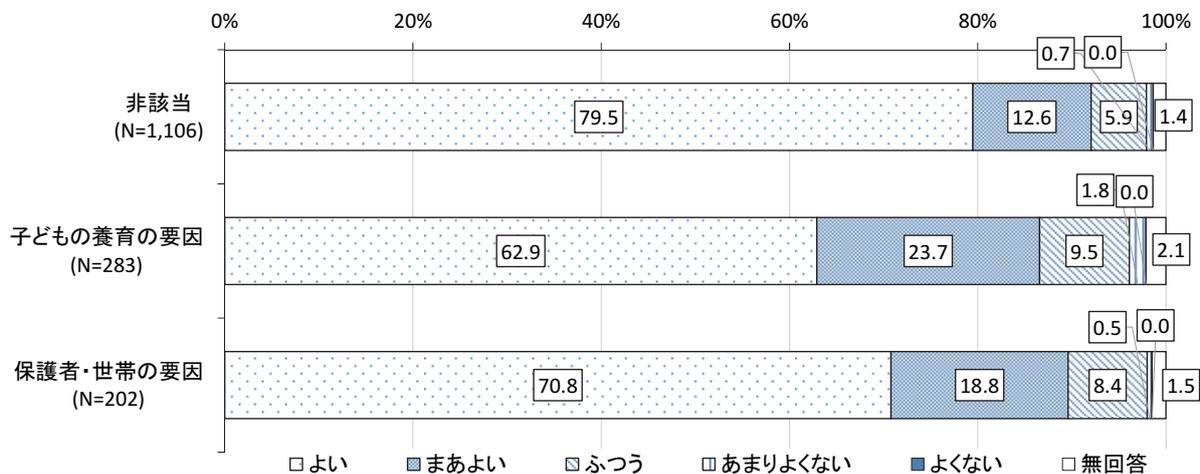
潜在的養育困難層別に子どもの健康状態の認識をみると、どの子どもの年齢・教育段階でも、「よい」「まあよい」の回答割合の合計が「子どもの養育の要因」層で低くなっていた。

医療機関に受診させなかった経験の潜在的養育困難層別クロス集計の結果では、子どもの年齢・教育段階にかかわらず「あった」という回答が「子どもの養育の要因」層で多くなっていた。受診させなかった理由をみると、5歳児保護者・小学生保護者において、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」「自分の健康状態が悪かったため」の回答割合が、「子どもの養育の要因」層で高くなっていた。

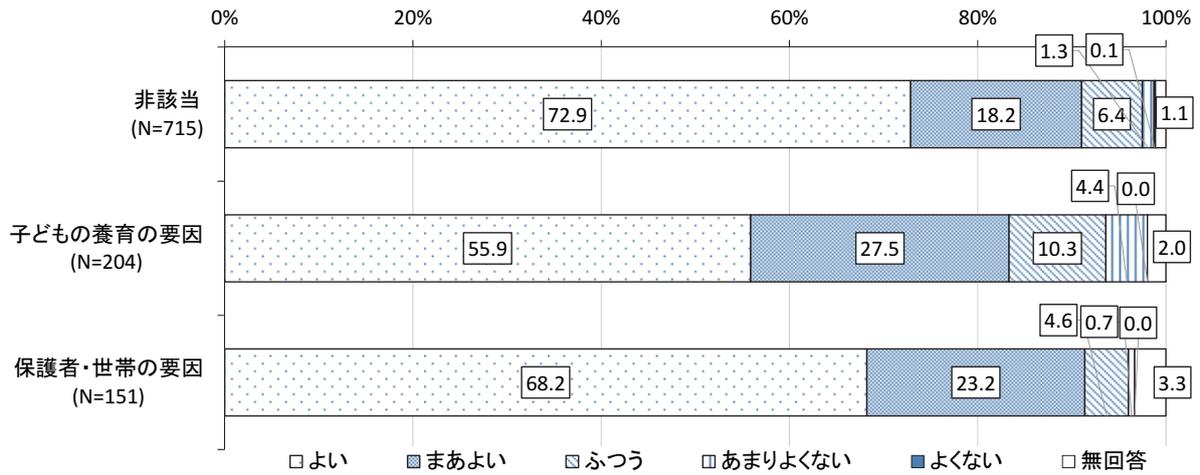
図表 4-3-2-11 子どもの健康状態 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-3-2-12 子どもの健康状態 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)

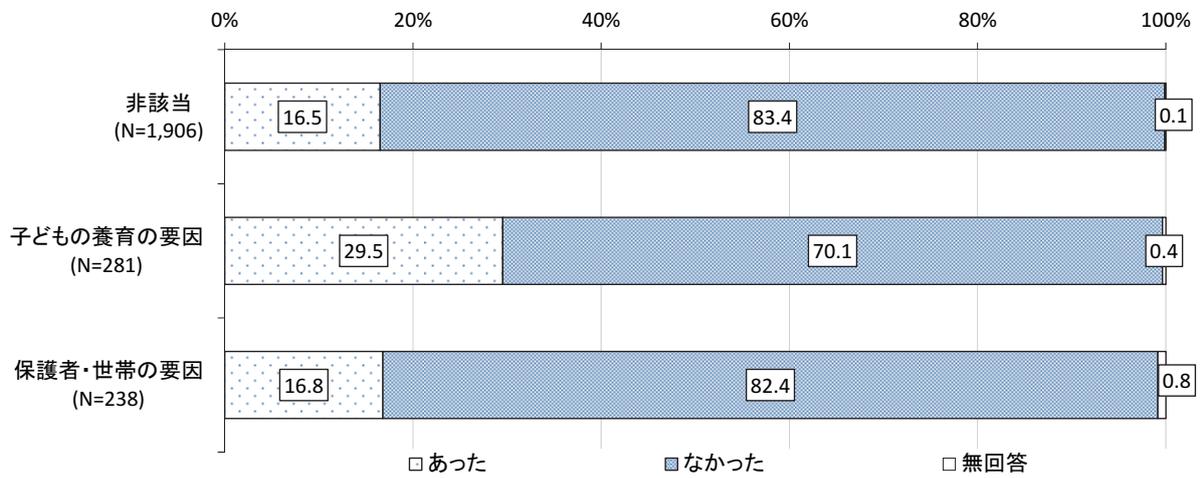


図表 4-3-2-13 子どもの健康状態 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



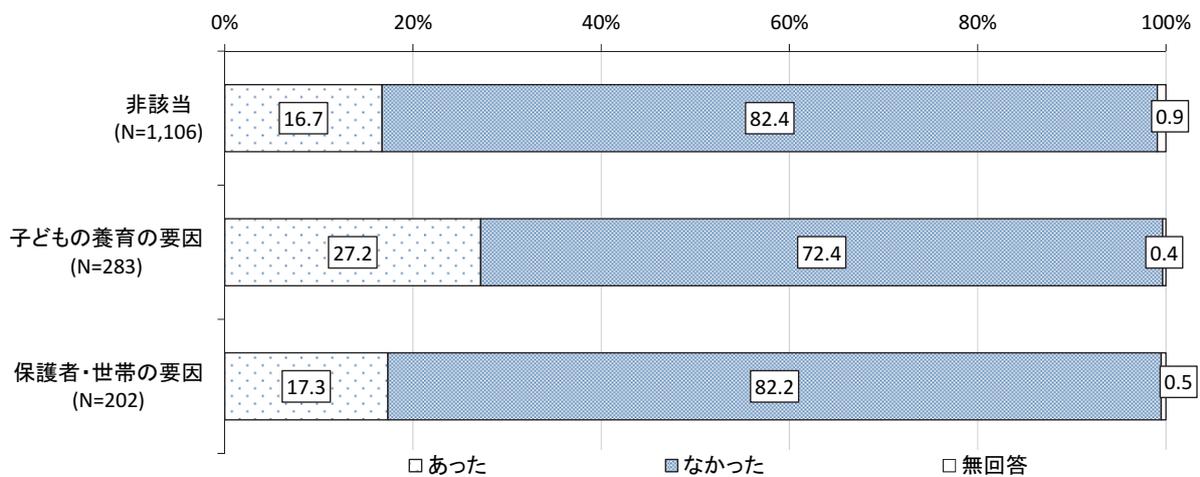
図表 4-3-2-14 医療機関で受診させなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



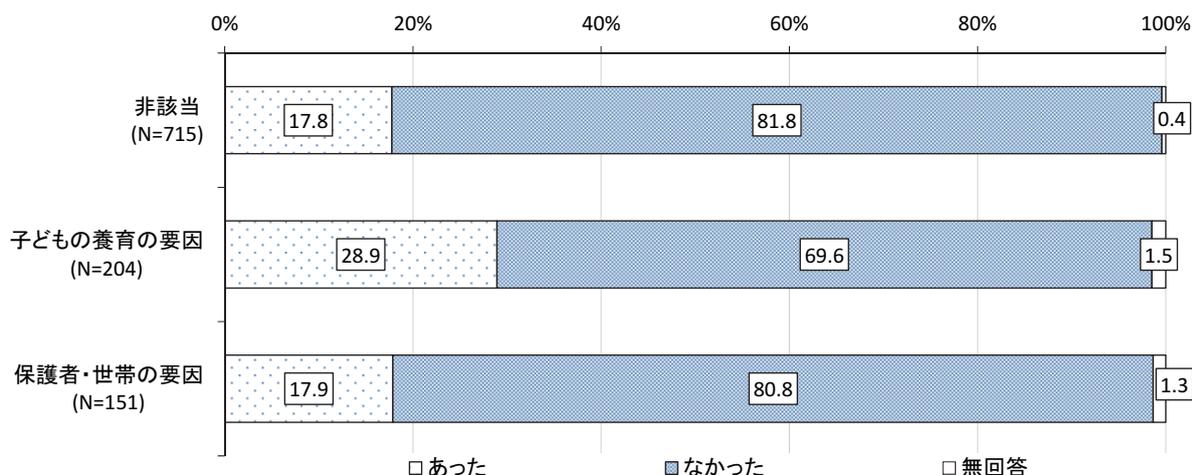
図表 4-3-2-15 医療機関で受診させなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)

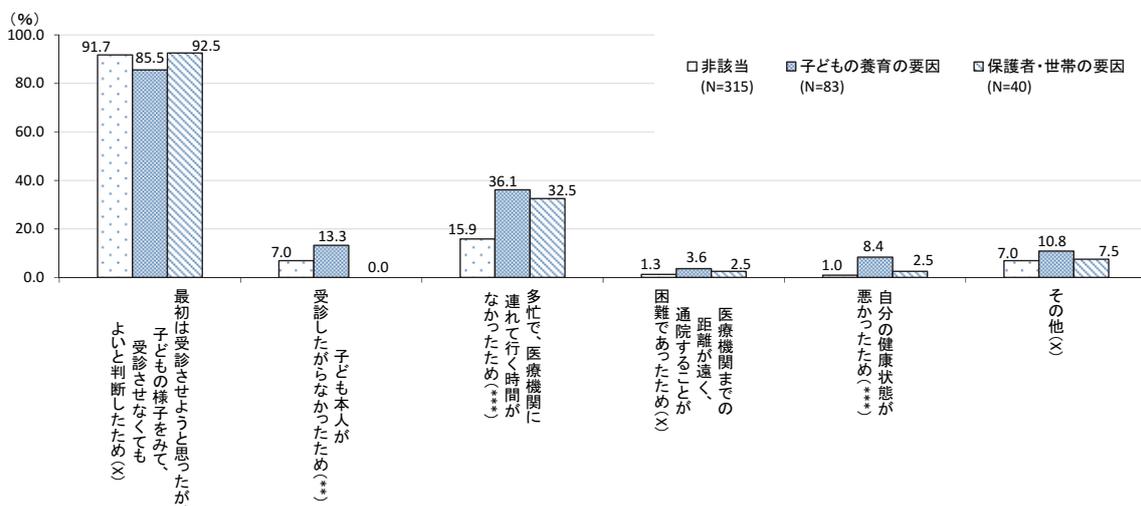


図表 4-3-2-16 医療機関で受診させなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)

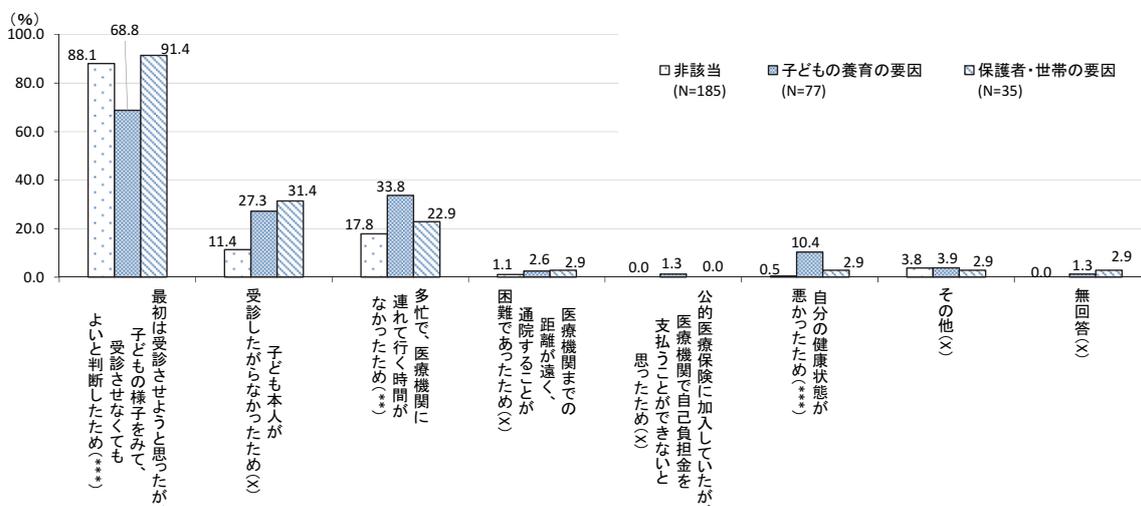


図表 4-3-2-17 受診させなかった理由 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者



※「公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため」の選択肢は回答件数が0件であったため、図表から省略している。

図表 4-3-2-18 受診させなかった理由 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者

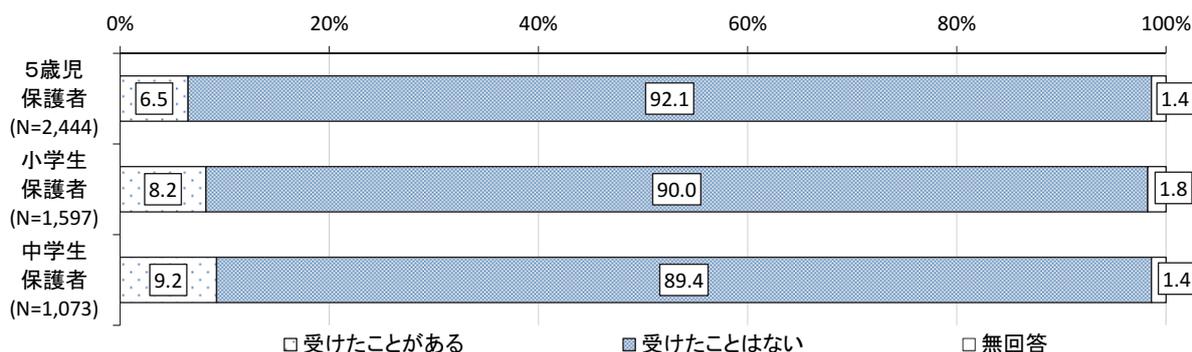


※「公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため」の選択肢は回答件数が0件であったため、図表から省略している。

子どもの発達に関して何らかの医師の診断を受けた経験があるかを尋ねたところ、5歳児保護者で6.5%、小学生保護者で8.2%、中学生保護者で9.2%が「受けたことがある」と回答した。「受けたことがある」と回答した方の診断結果についてみると、「その他」を除いて最も回答割合が高かったのが「発達障がい」で、5歳児保護者で37.1%、小学生保護者で40.5%、中学生保護者で28.3%となっていた。

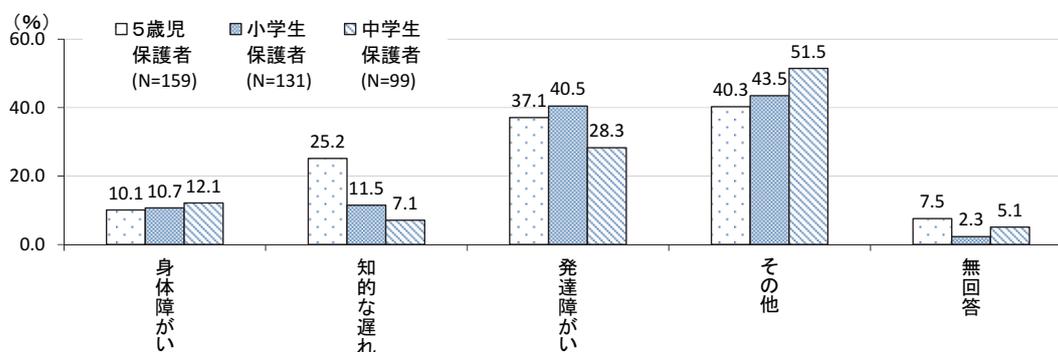
問 お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか

図表4-3-2-19 発達に関する医師の診断 単純集計



問 発達に関して、医師の診断結果（複数回答）

図表4-3-2-20 発達に関する診断結果 単純集計



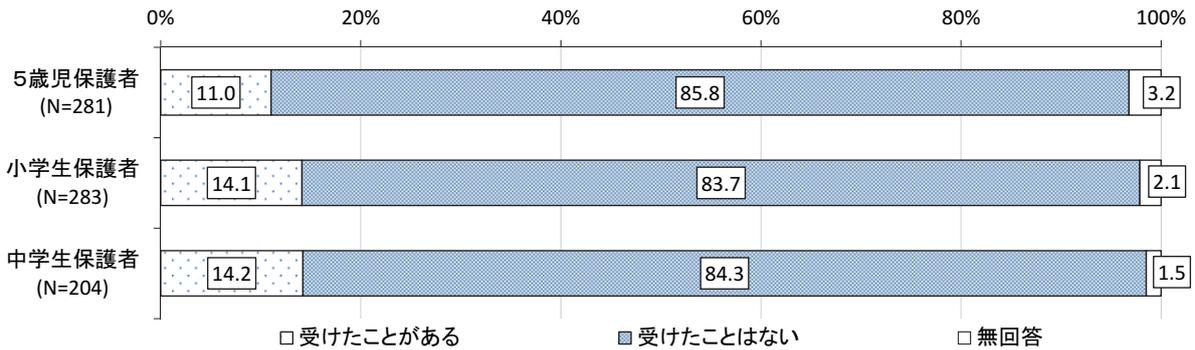
※「発達に関して、医師の診断結果」の設問は、「お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか」に「受けたことがある」と答えた者のみ回答する設問。

■潜在的養育困難層別－「子どもの養育の要因」層

潜在的養育困難層のうち「子どもの養育の要因」層に該当する保護者に子どもの発達に関して何らかの医師の診断を受けた経験があるかを尋ねたところ、5歳児保護者で11.0%、小学生保護者で14.1%、中学生保護者で14.2%が「受けたことがある」と回答した。

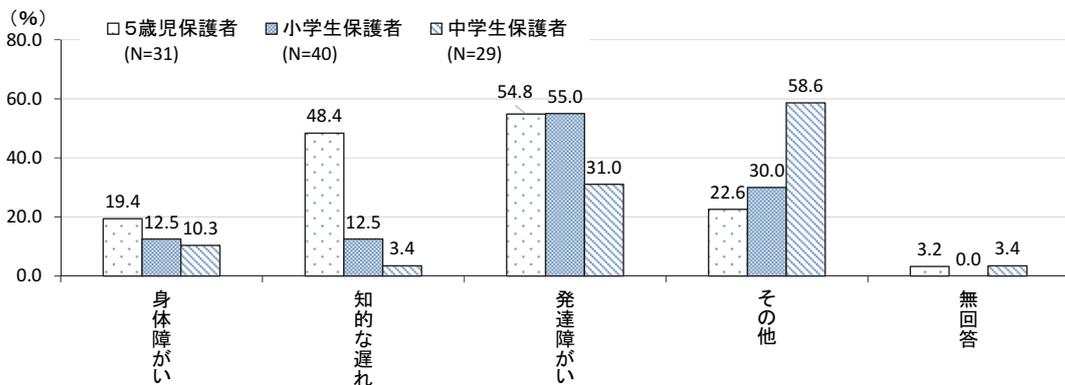
医師の診断を「受けたことがある」と回答した方の診断結果についてみると、5歳児保護者では、「発達障がい」が54.8%で、「知的な遅れ」が48.4%となっていた。小学生保護者では「発達障がい」が55.0%、中学生保護者では31.0%となっていた。

図表4-3-2-21 発達に関する医師の診断 潜在的養育困難層別－「子どもの養育の要因」層



問 発達に関して、医師の診断結果（複数回答）

図表4-3-2-22 発達に関する診断結果 潜在的養育困難層別－「子どもの養育の要因」層



※「発達に関して、医師の診断結果」の設問は、「お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか」に「受けたことがある」と答えた者のみ回答する設問。

③ 体験等の剥奪

【5歳保問 19～21・小中保問 10～11、14】

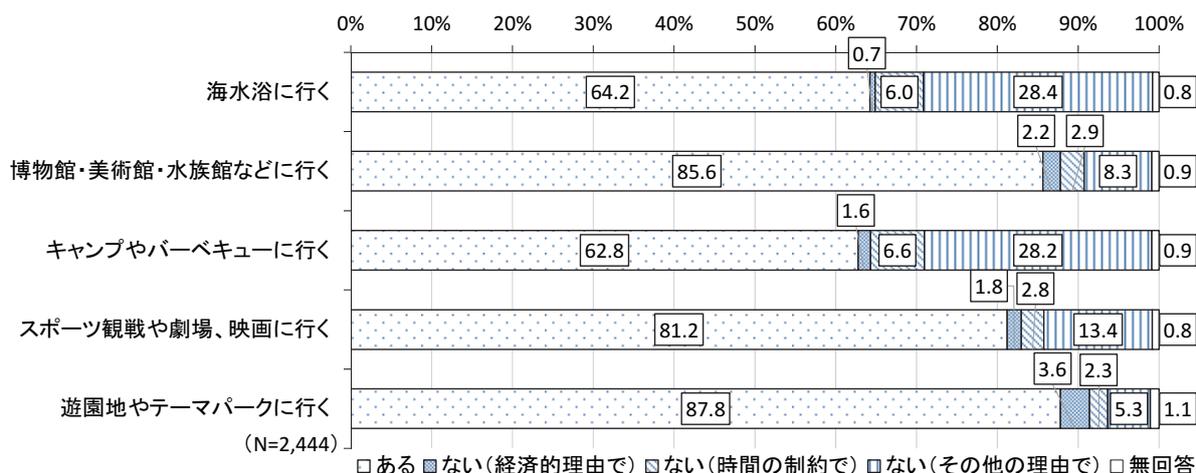
過去1年間の子どもの体験について、「ない（経済的理由で）」の割合をみると、「海水浴に行く」は1.0%以下、「博物館・美術館・水族館などに行く」「キャンプやバーベキューに行く」「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」は約2.0%、「遊園地やテーマパークに行く」は4.0%前後となっていた。

また、家庭での子どもの経験について、「経済的にできない」の回答の割合をみると、「1年に1回くらい家族旅行に行く」はどの子どもの年齢・教育段階でも比較的高くなっていったほか、5歳児保護者では「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」、小学生保護者では「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」、中学生保護者では「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」が比較的高くなっていった。

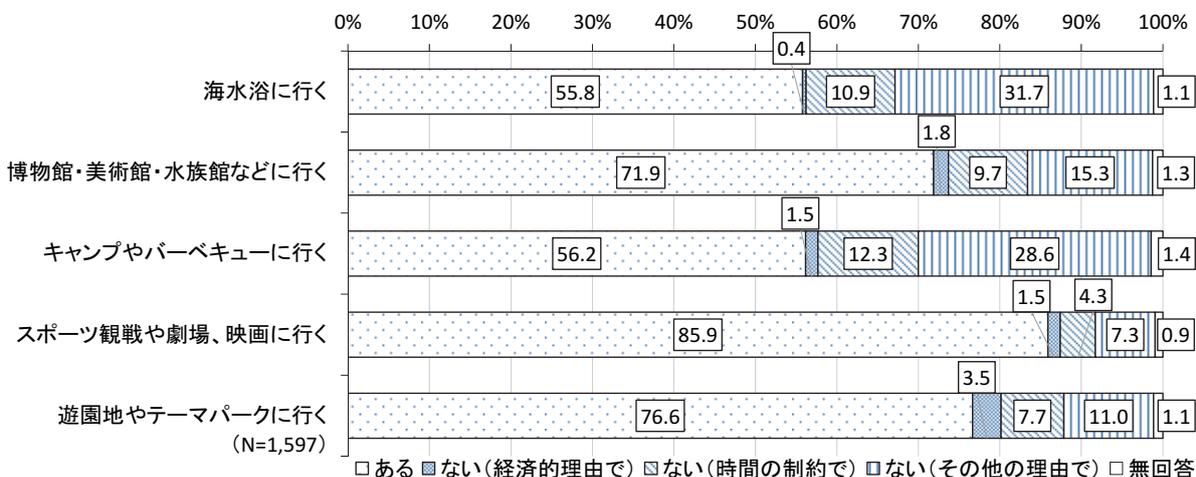
経済的理由で世帯にないものを尋ねたところ、6割前後の回答者が「上記のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」を選んでしたが、それ以外では「新聞の定期購読（ネット購読の場合も含む）」「急な出費のための貯金（5万円以上）」「自家用車」「インターネットにつながるパソコン」で5～20%程度の回答割合となっていた。

問 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか

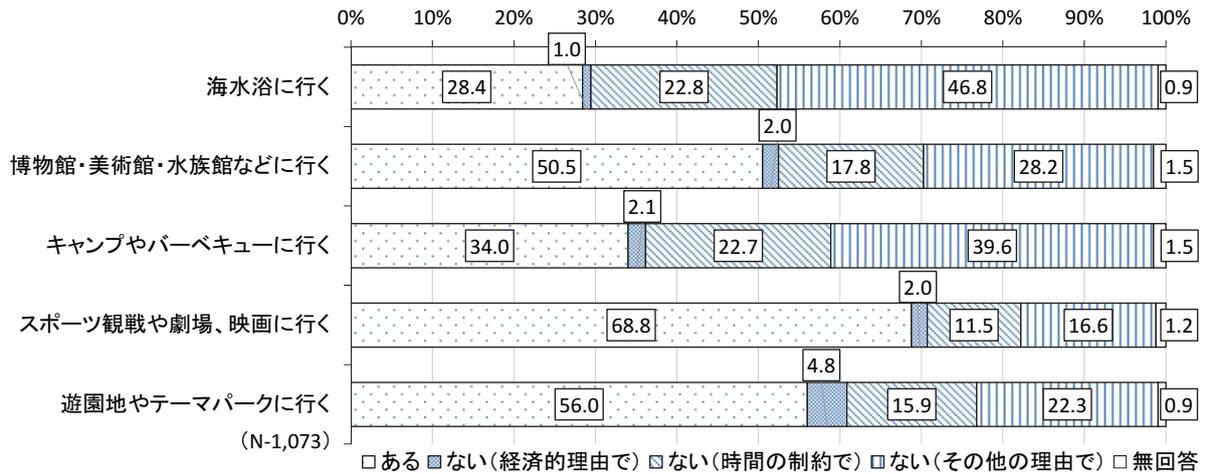
図表4-3-3-1 過去1年間の体験 単純集計 5歳児保護者



図表4-3-3-2 過去1年間の体験 単純集計 小学生保護者

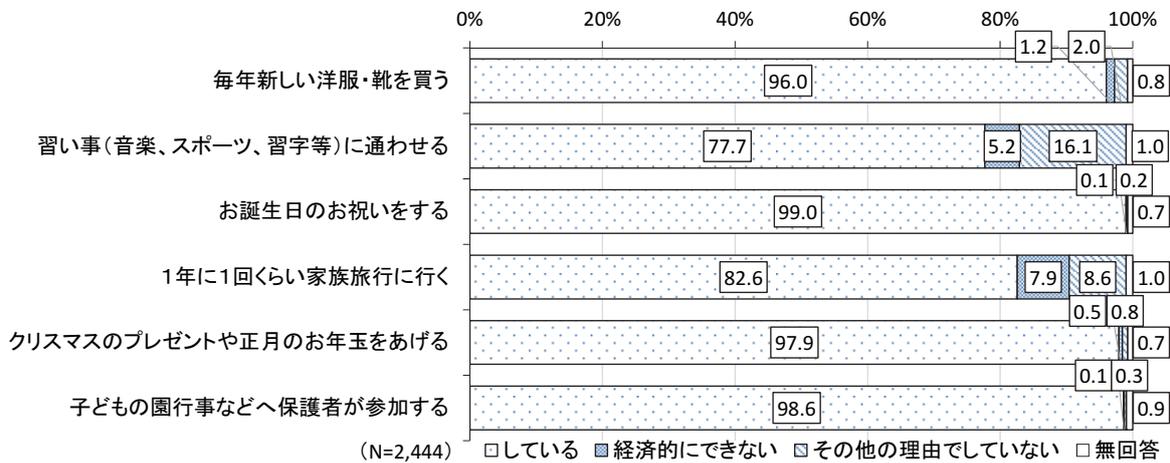


図表 4-3-3-3 過去1年間の体験 単純集計 中学生保護者

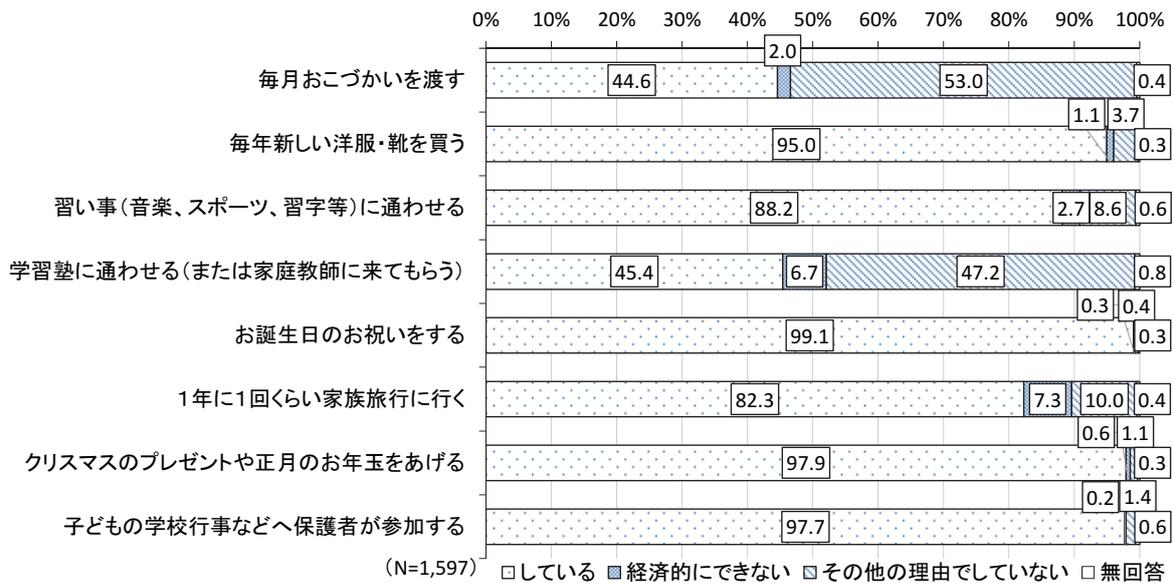


問 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか

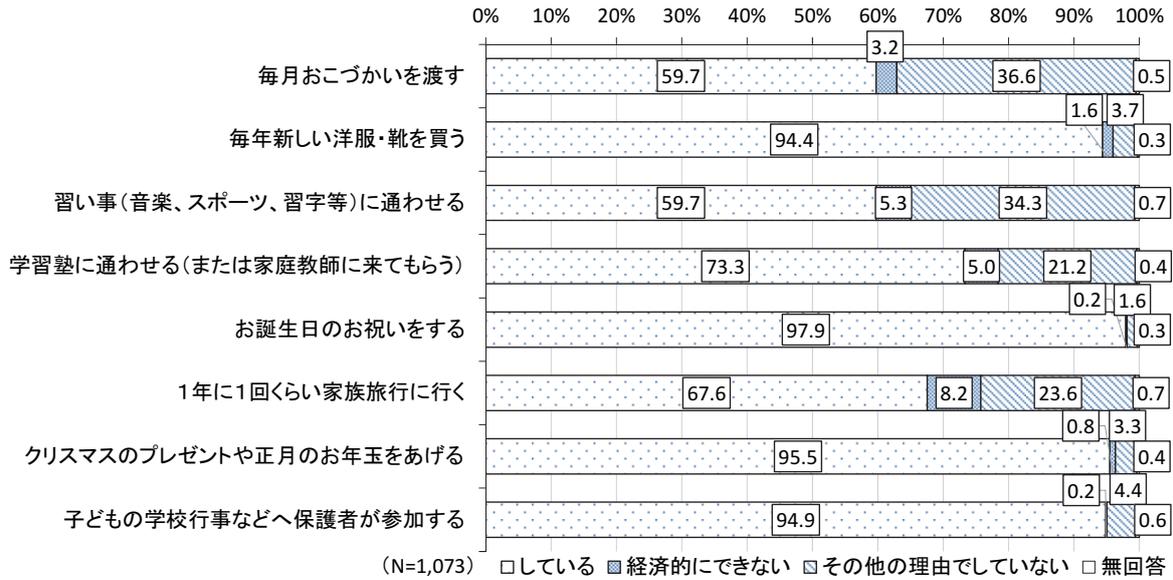
図表 4-3-3-4 家庭での経験 単純集計 5歳児保護者



図表 4-3-3-5 家庭での経験 単純集計 小学生保護者

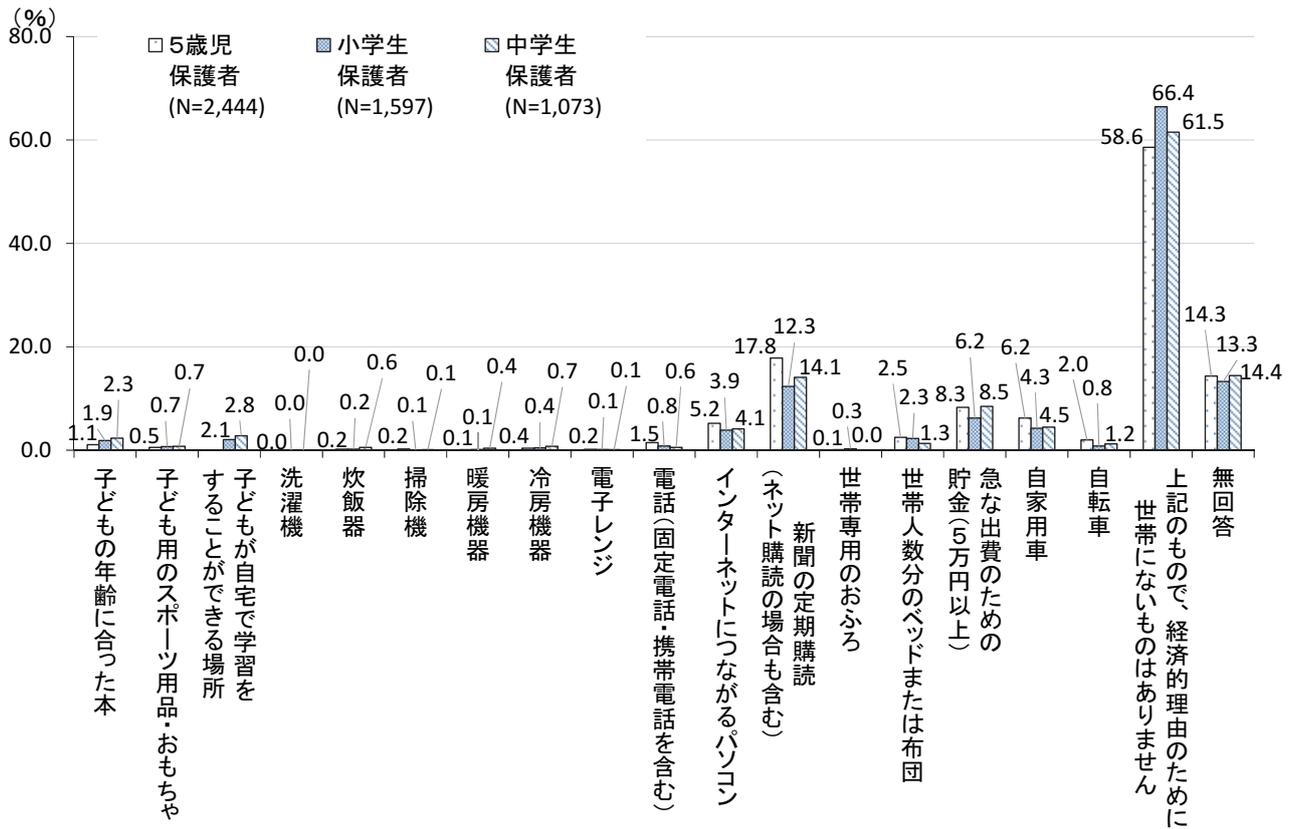


図表4-3-3-6 家庭での経験 単純集計 中学生保護者



問 経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか(複数回答)

図表4-3-3-7 経済的理由で世帯にないもの 単純集計



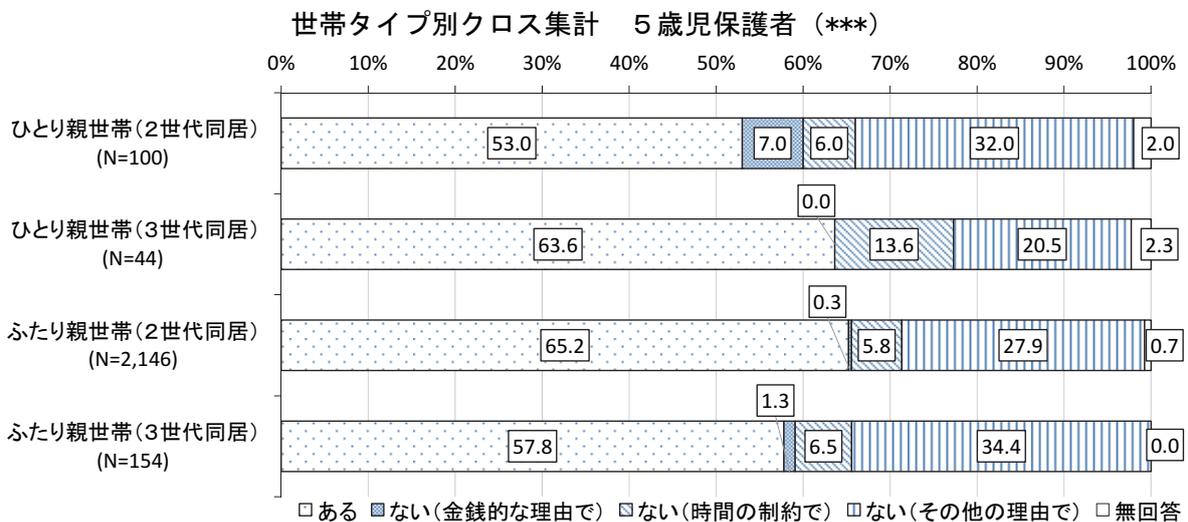
※「子どもが自宅で学習をすることができる場所」の項目は、小学生保護者・中学生保護者のみに尋ねている。

■世帯タイプ別

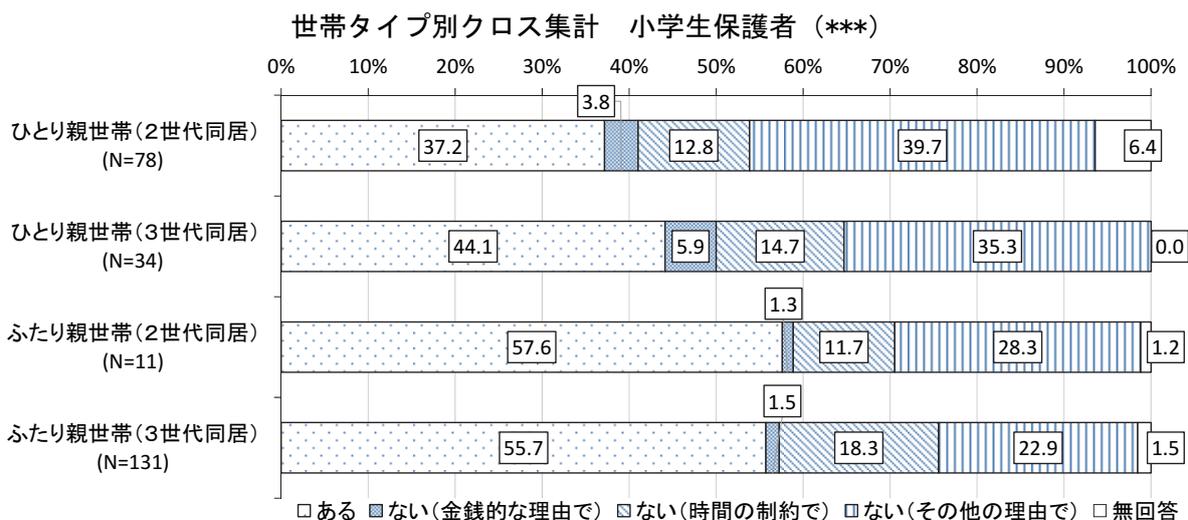
世帯タイプ別に過去1年間の子どもの経験についての回答結果をクロス集計すると、5歳児保護者ではどの項目においてもひとり親世帯（2世代同居）で「ない（金銭的な理由で）」の回答割合が高くなっていた。小学生保護者では「海水浴に行く」「博物館・美術館・水族館などに行く」「キャンプやバーベキューに行く」で、ふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が、また2世代同居よりも3世代同居の方が、「ない（金銭的な理由で）」の回答割合が高くなっていた。中学生保護者では5歳児保護者同様すべての項目で、ひとり親世帯（2世代同居）で「ない（金銭的な理由で）」の回答割合が高くなっていた。

家庭での子どもの経験を世帯タイプ別にみると、5歳児保護者ではすべての項目で「経済的にできない」の回答がひとり親世帯（2世代同居）で高かった。小学生保護者では「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」など、中学生保護者では「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」などの項目で同様となっていた。³

図表 4-3-3-8 過去1年間の体験：海水浴に行く



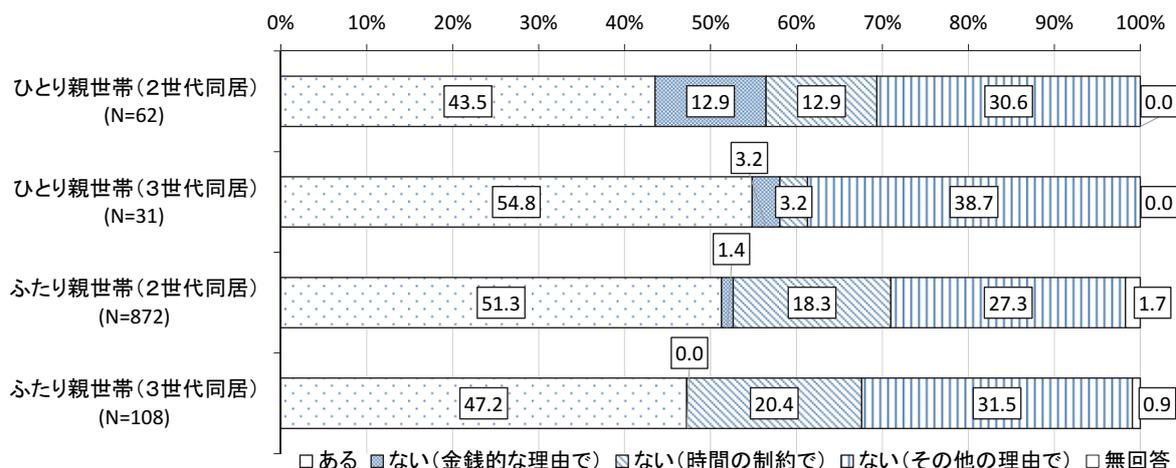
図表 4-3-3-9 過去1年間の体験：キャンプやバーベキューに行く



³ 同様となっていた項目は、小学生保護者では「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」「お誕生日のお祝いをする」「1年に1回くらい家族旅行に行く」「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」、中学生保護者では「毎月おこづかいを渡す」「毎年新しい洋服・靴を買う」「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」「1年に1回くらい家族旅行に行く」「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」であった。

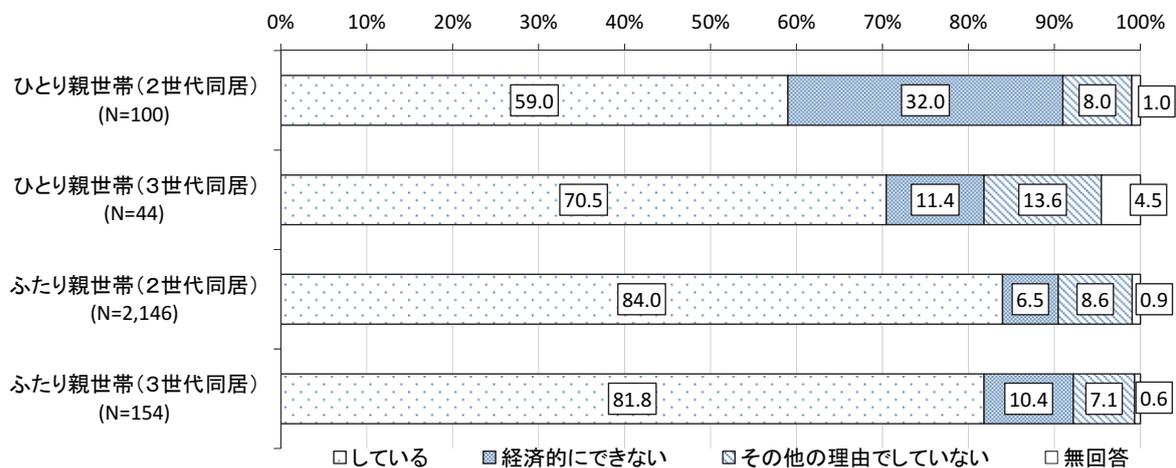
図表 4-3-3-10 過去1年間の体験：博物館・美術館・水族館などに行く

世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



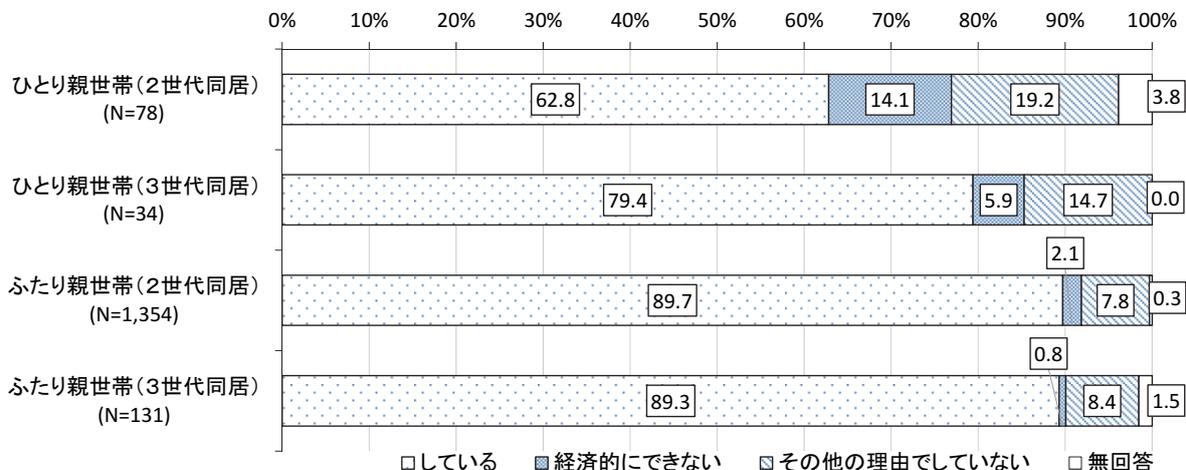
図表 4-3-3-11 家庭での経験：1年に1回くらい家族旅行に行く

世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)

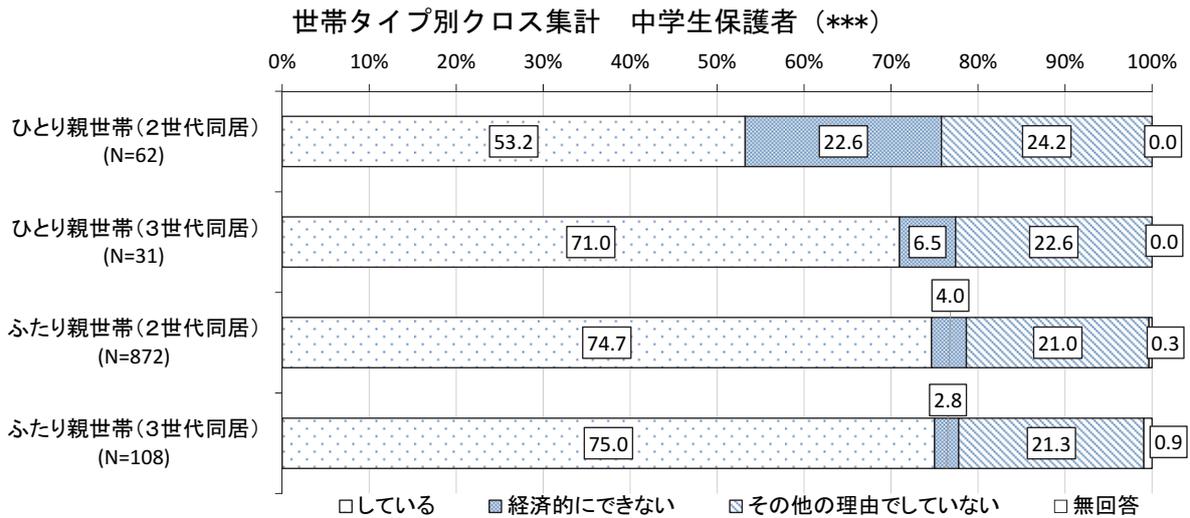


図表 4-3-3-12 家庭での経験：習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-3-3-13 家庭での経験：学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

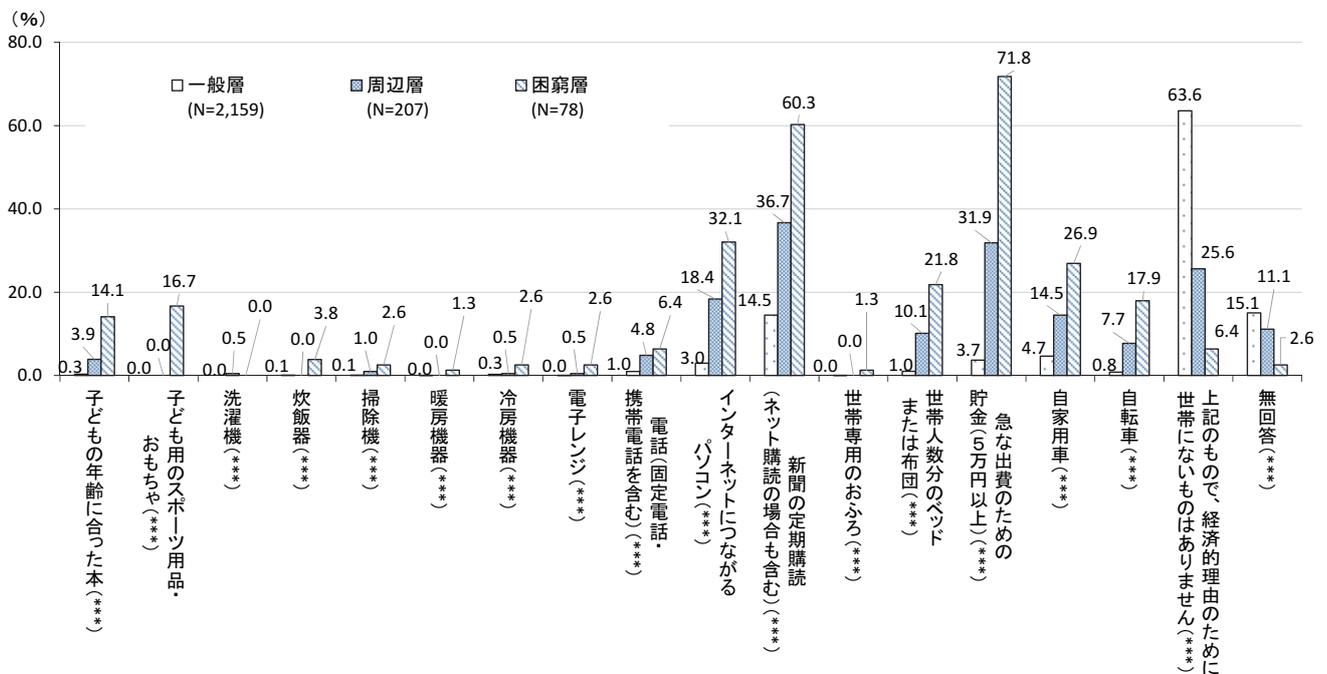


■生活困難層別

経済的理由で世帯にないものについて生活困難層別にみると、すべての子どもの年齢・教育段階で「急な出費のための貯金（5万円以上）」「新聞の定期購読（ネット購読の場合も含む）」「インターネットにつながるパソコン」と回答した割合が高くなっていった。

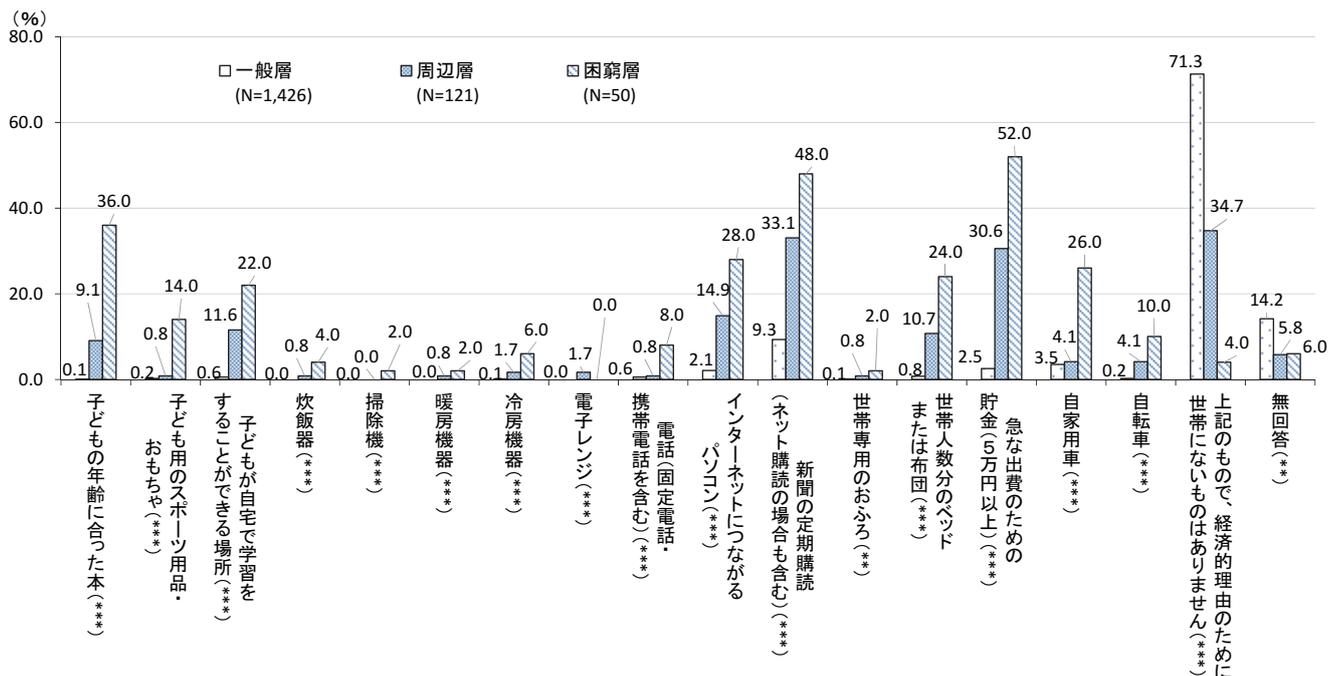
なお、困窮層の小学生保護者の回答では、「子どもの年齢に合った本」が36.0%、「子どもが自宅で学習をすることが出来る場所」が22.0%となっていた。困窮層の中学生保護者の回答では、「子どもの年齢に合った本」が24.3%、「子どもが自宅で学習をすることが出来る場所」が16.2%となっていた。

図表 4-3-3-14 経済的理由で世帯にないもの 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



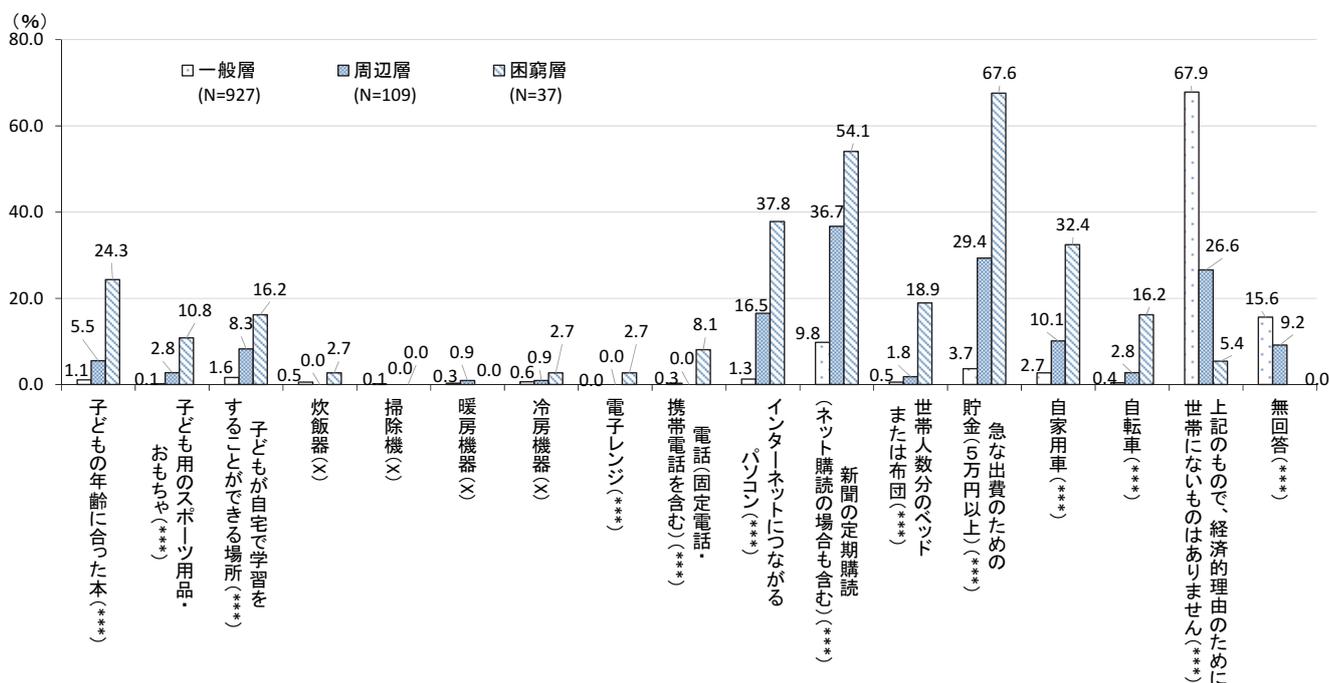
※「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 4-3-3-15 経済的理由で世帯にないもの 生活困難層別クロス集計 小学生保護者



※「洗濯機」の選択肢は小学生保護者では回答が0件であったため、図表から省略している。
 ※「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 4-3-3-16 経済的理由で世帯にないもの 生活困難層別クロス集計 中学生保護者



※「洗濯機」「世帯専用のおふろ」の選択肢は中学生保護者では回答が0件であったため、図表から省略している。
 ※「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

■潜在的養育困難層別

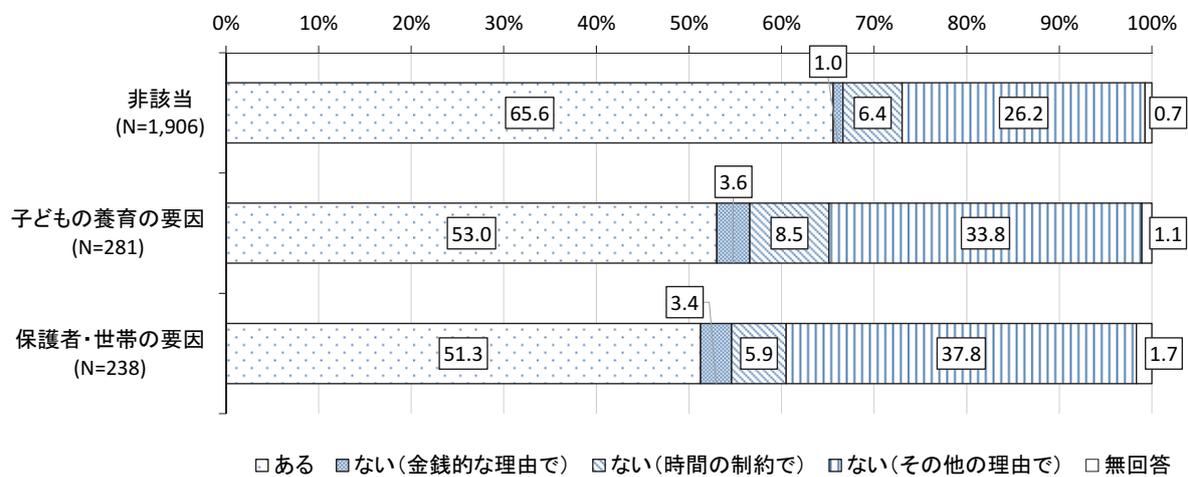
過去1年間の子どもの経験について潜在的養育困難層別クロス集計すると、例えば「キャンプやバーベキューに行く」では、「ない(金銭的な理由で)」の回答割合が潜在的養育困難層と比べて非該当層で低くなっており、他の項目でも同様となっていた。

家庭での子どもの経験についての潜在的養育困難層別クロス集計の結果についても、例えば「1年に1回くらい家族旅行に行く」においてみられるように、「経済的にできない」の回答割合が非該当層で低く、潜在的養育困難層で高くなっていた。

経済的理由で世帯にないものについて潜在的養育困難層別にみると、すべての子どもの年齢・教育段階で「上記のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」の回答割合が非該当層と比べて潜在的養育困難層で低くなっていた一方で、「新聞の定期購読(ネット購読の場合も含む)」「急な出費のための貯金(5万円以上)」などでは潜在的養育困難層の方が高くなっていた。

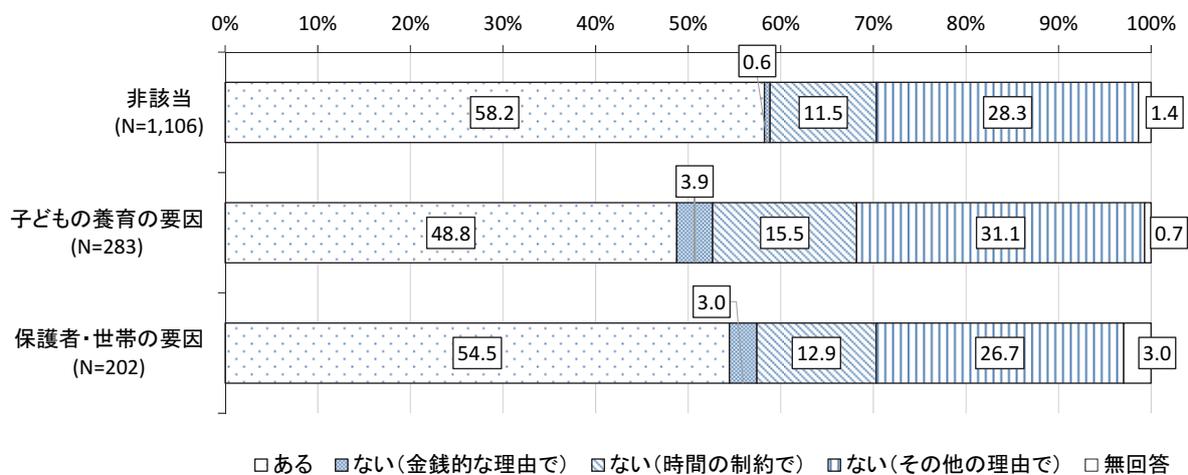
図表4-3-3-17 過去1年間の体験：キャンプやバーベキューに行く

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)

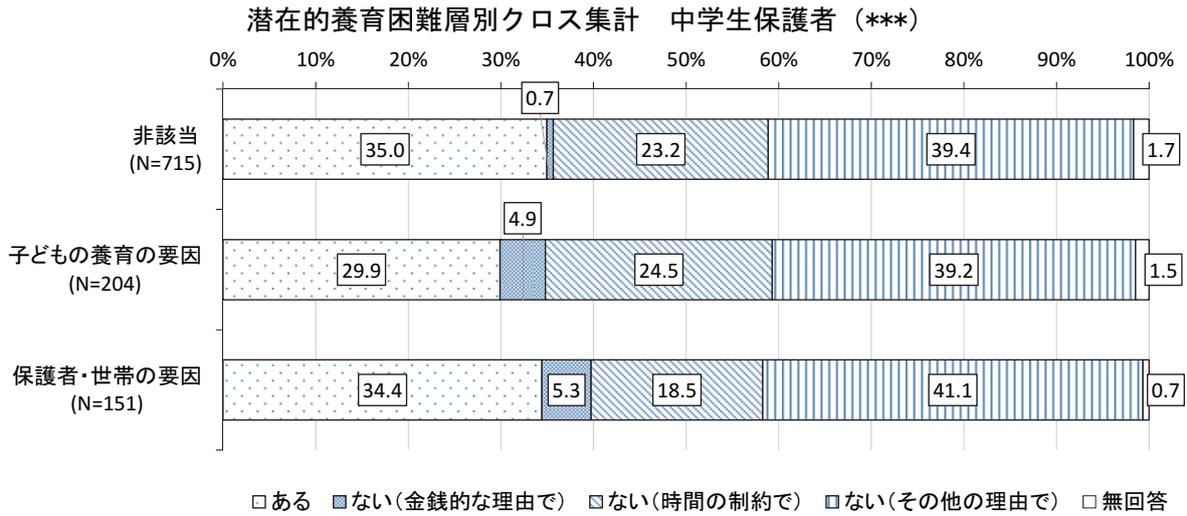


図表4-3-3-18 過去1年間の体験：キャンプやバーベキューに行く

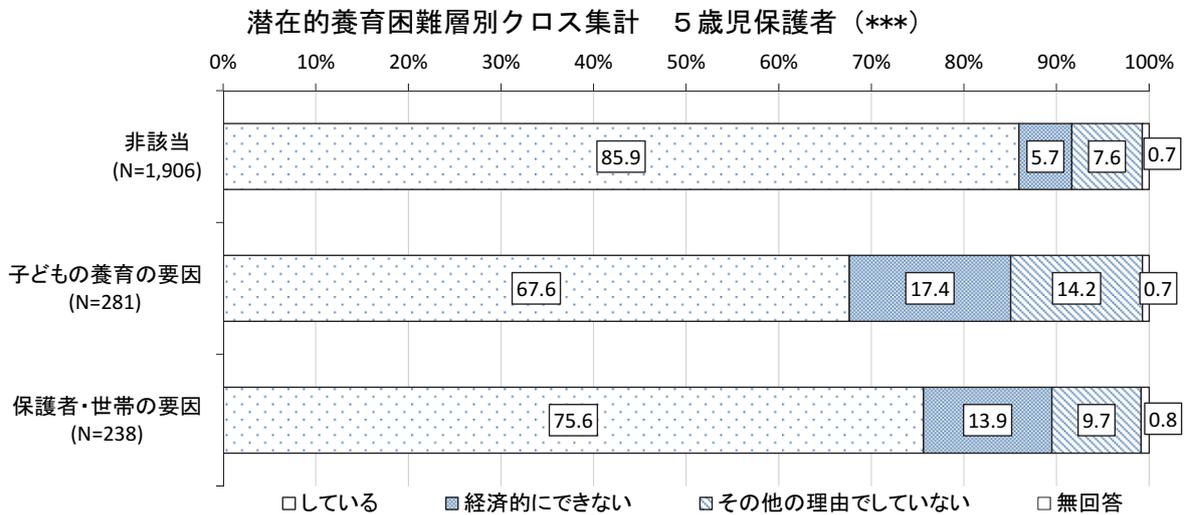
潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



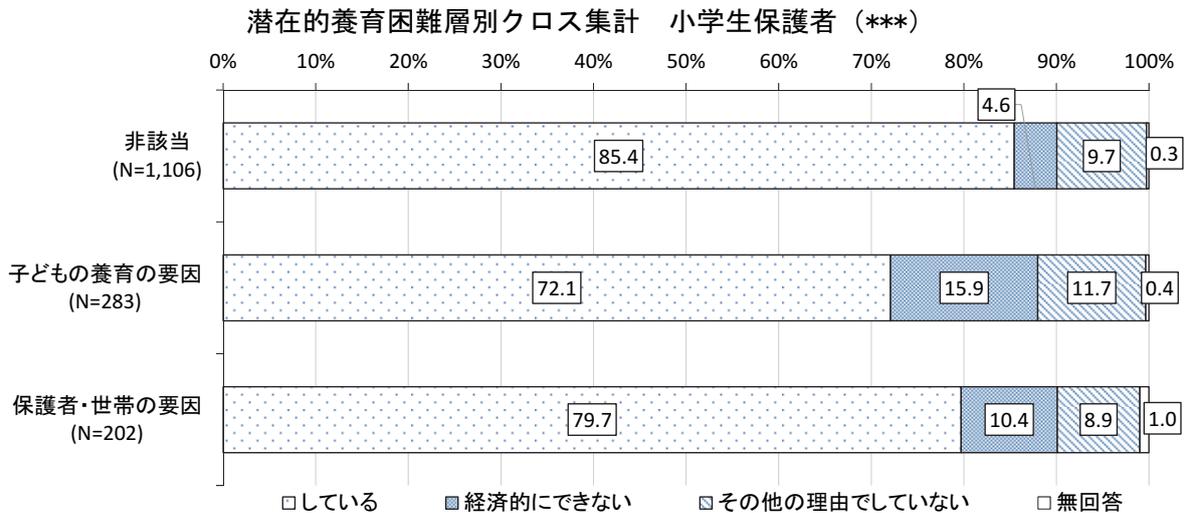
図表 4-3-3-19 過去1年間の体験：キャンプやバーベキューに行く



図表 4-3-3-20 家庭での経験：1年に1回くらい家族旅行に行く

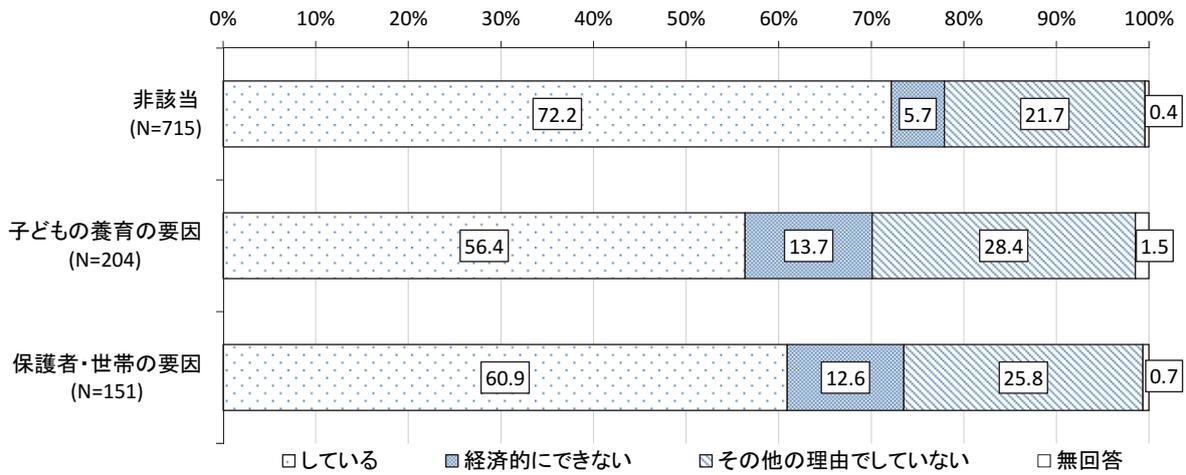


図表 4-3-3-21 家庭での経験：1年に1回くらい家族旅行に行く

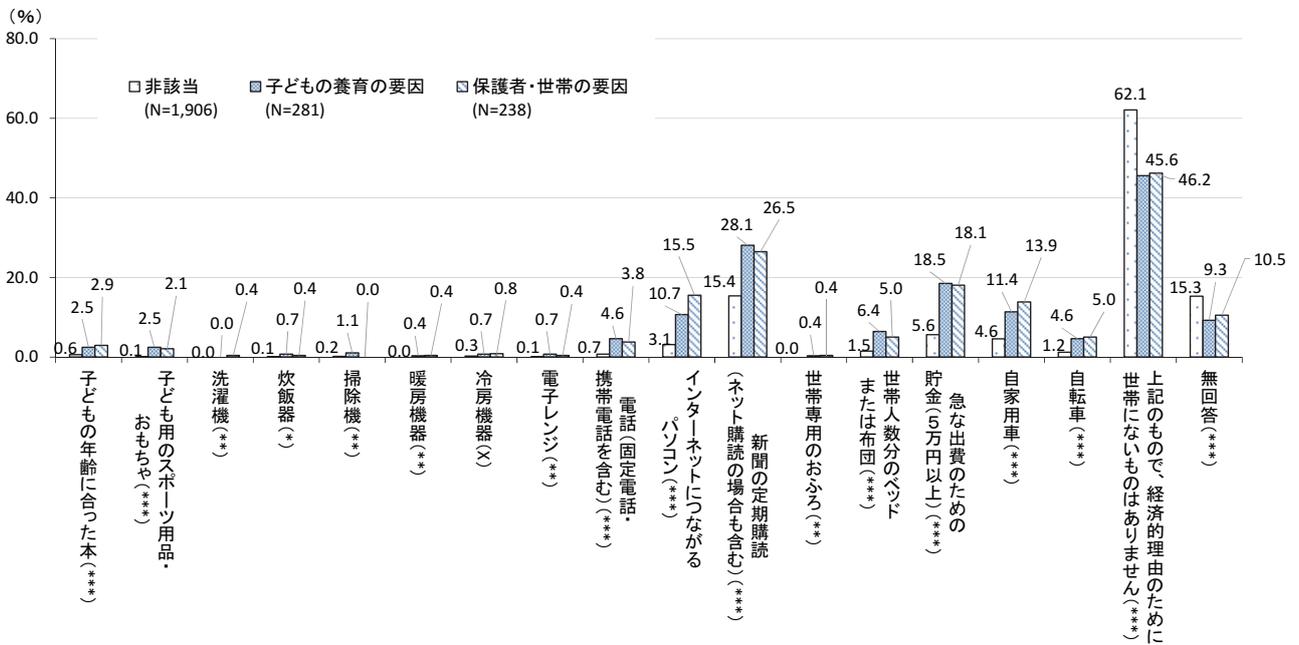


図表 4-3-3-22 家庭での経験：1年に1回くらい家族旅行に行く

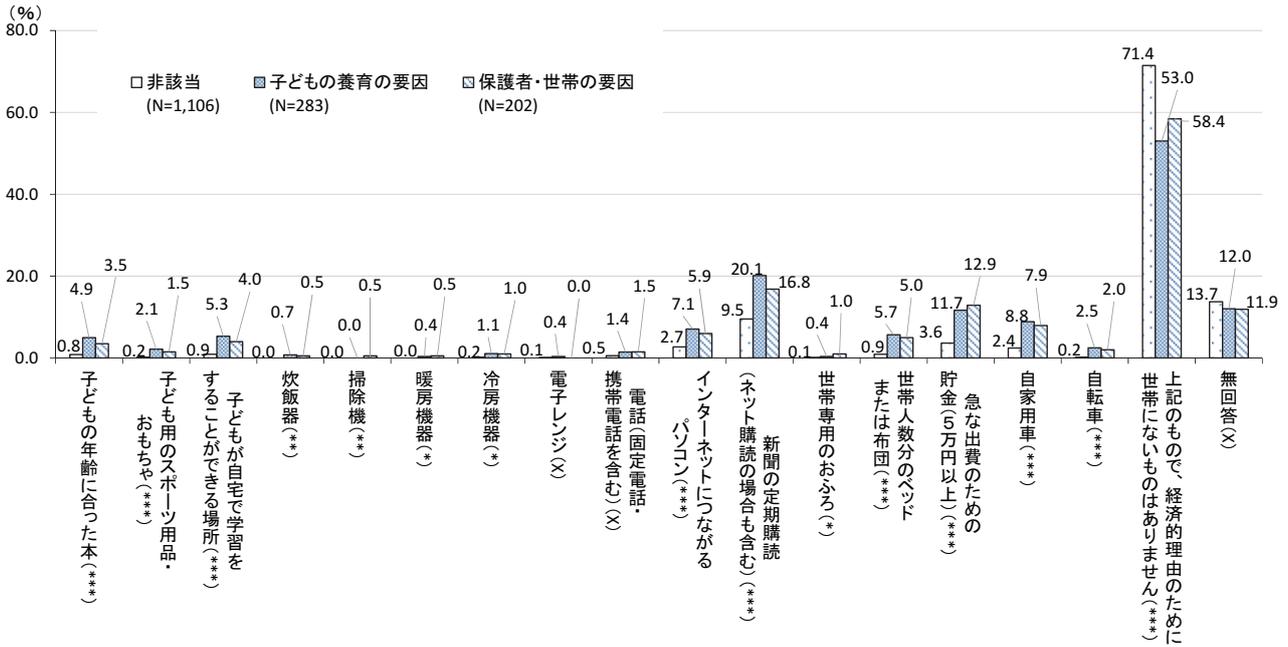
潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



図表 4-3-3-23 経済的理由で世帯にないもの 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者

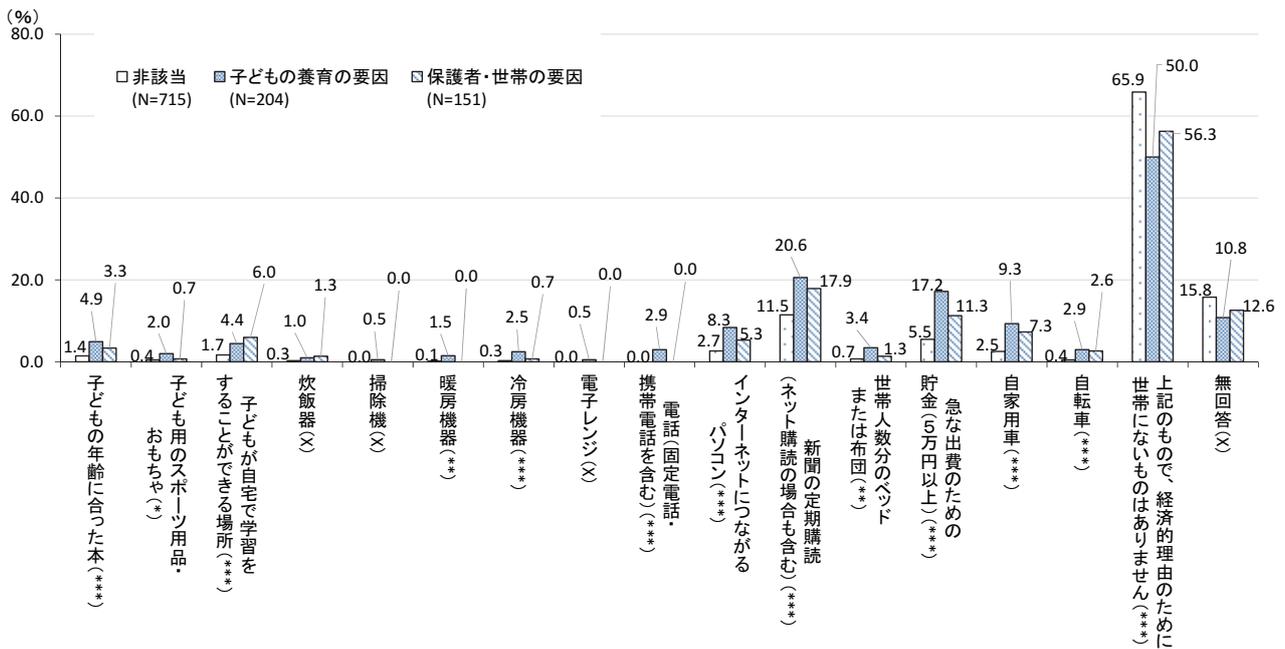


図表 4-3-3-24 経済的理由で世帯にないもの 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者



※「洗濯機」の選択肢は小学生保護者では回答が0件であったため、図表から省略している。

図表 4-3-3-25 経済的理由で世帯にないもの 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者



※「洗濯機」「世帯専用のお風呂」の選択肢は中学生保護者では回答が0件であったため、図表から省略している。

④ 子育て・教育に関する費用

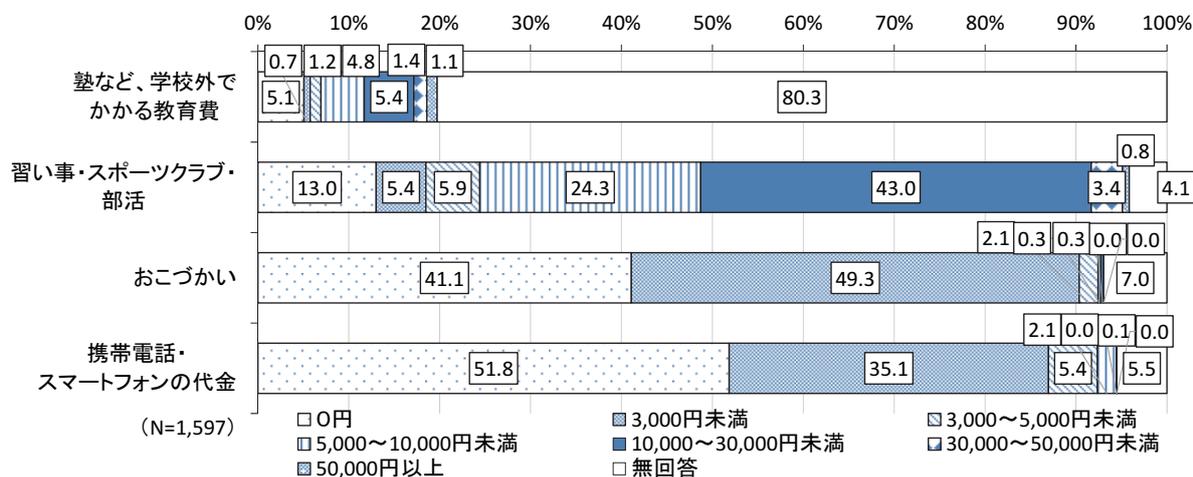
【小中保問 12～13-1】

調査票の宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等を尋ねたところ、小学生保護者では「塾など、学校外でかかる教育費」「習い事・スポーツクラブ・部活」は「10,000～30,000円未満」、「おこづかい」は「3,000円未満」、「携帯電話・スマートフォンの代金」は「0円」が最も高い回答割合となっていた。中学生保護者では「塾など、学校外でかかる教育費」は「30,000～50,000円未満」、「習い事・スポーツクラブ・部活」は「10,000～30,000円未満」、「おこづかい」「携帯電話・スマートフォンの代金」は「3,000円未満」が最も高い回答割合となっていた。

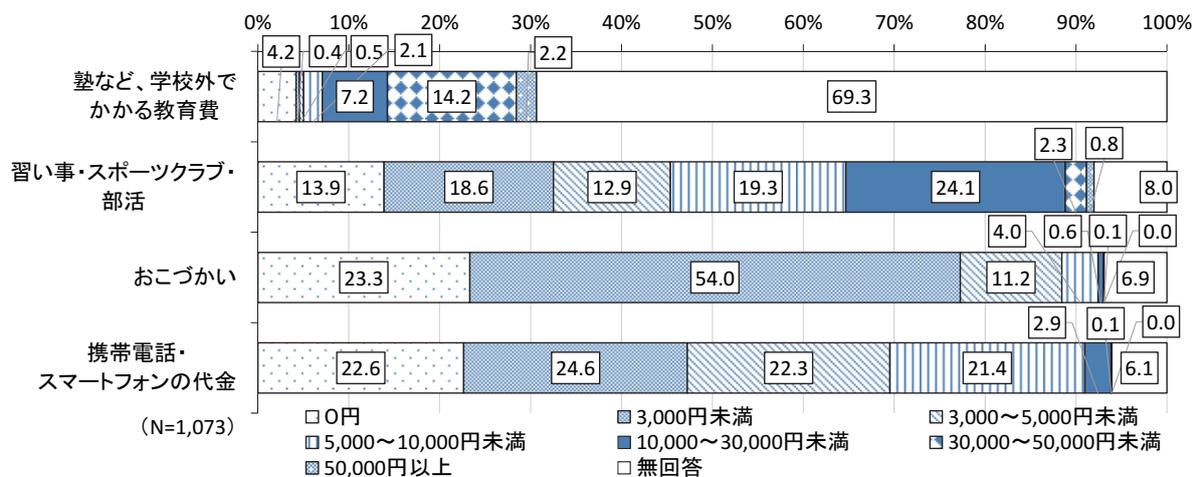
調査票の宛名の子どものために就学援助を受けているかどうかについて、小学生保護者では87.8%、中学生保護者では85.9%が「受けていない」と回答しており、受けていない理由をみると、小学生保護者・中学生保護者ともに「申請要件を満たしていなかったので、申請しなかった」が最も多かった。

問 宛名のお子さんに係る、1か月あたりの教育費などについてうかがいます

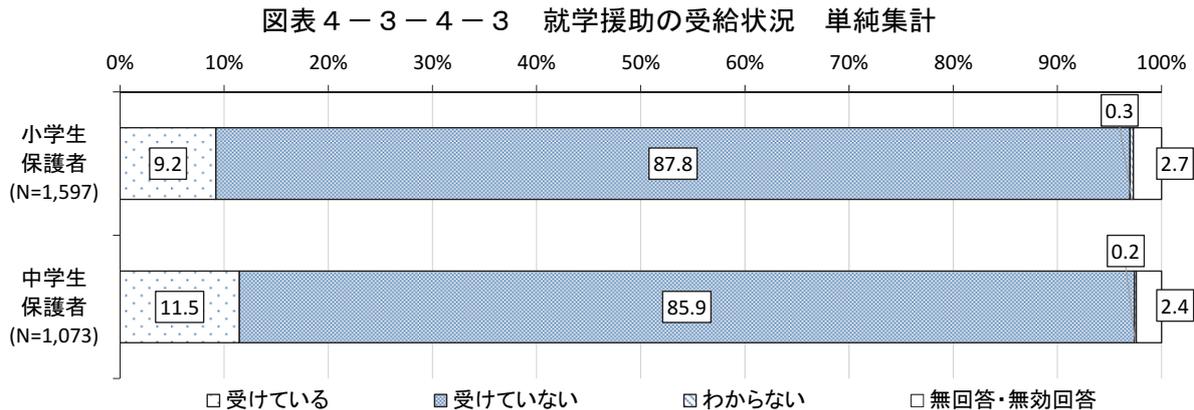
図表 4-3-4-1 宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等 単純集計 小学生保護者



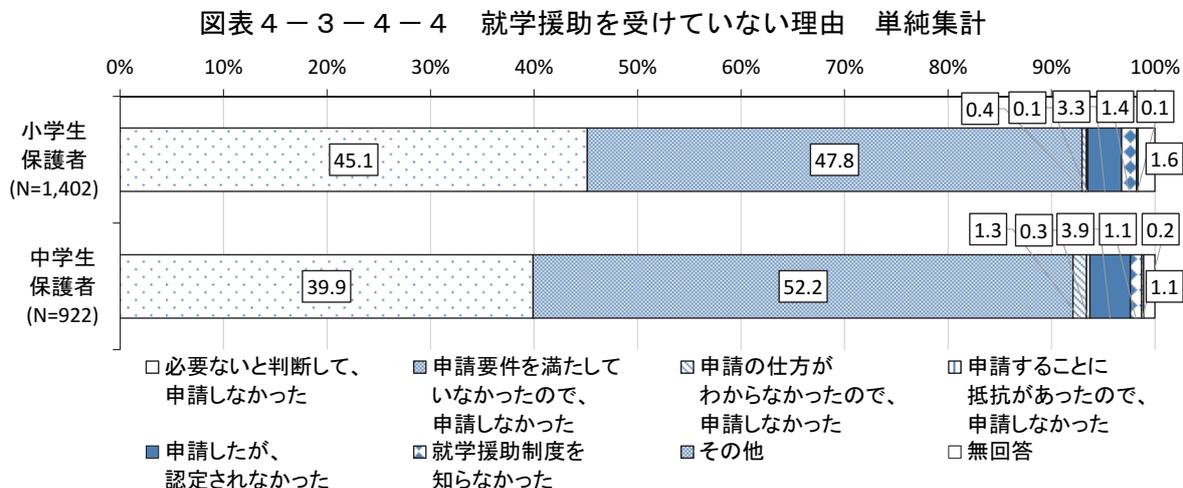
図表 4-3-4-2 宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等 単純集計 中学生保護者



問 あなたのご家庭では、宛名のお子さんのために就学援助を受けていますか



問 就学援助を受けていない理由



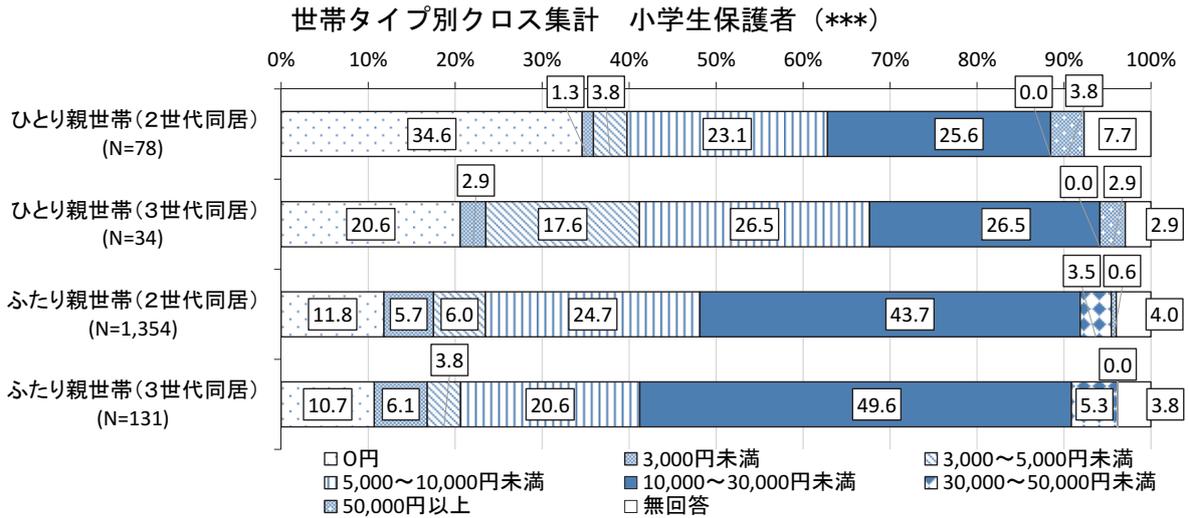
※「就学援助を受けていない理由」の設問は、「あなたのご家庭では、宛名のお子さんのために就学援助を受けていますか」に「受けていない」と答えた者のみ回答する設問。

■世帯タイプ別

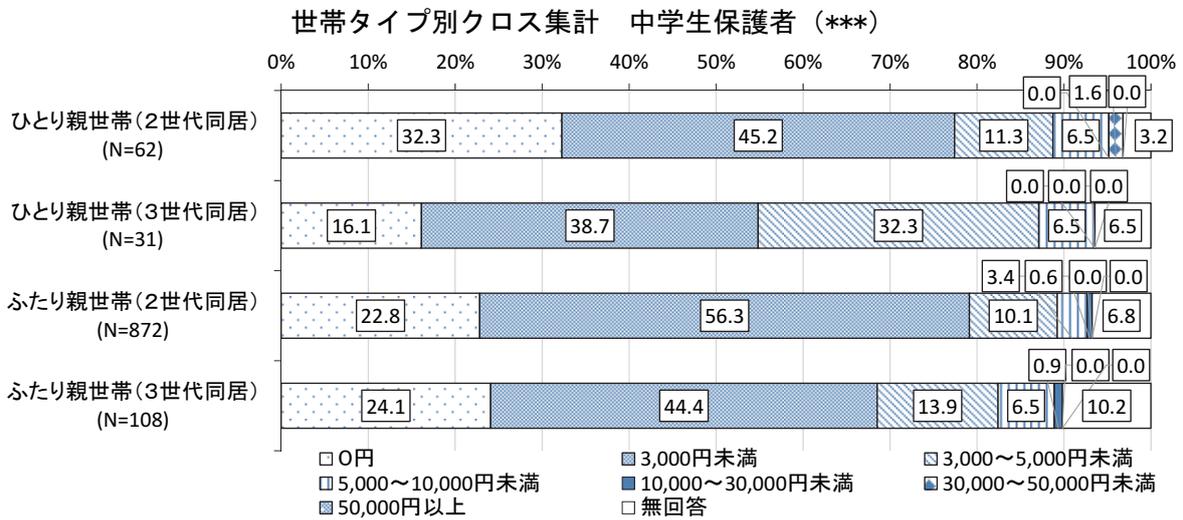
調査票の宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等について世帯タイプ別にみると、特に小学生保護者について「習い事・スポーツクラブ・部活」をみると、ふたり親世帯では10,000～30,000円未満の層が多いのに対して、ひとり親世帯ではより低額の層にも分散していた。中学生保護者では「おこづかい」についてひとり親（2世代同居）における「0円」の回答が他の世帯タイプよりも多かった。

また就学援助の受給状況を世帯タイプ別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともにひとり親世帯の「受けている」の回答割合がふたり親世帯よりも高くなっていった。就学援助を受けていない理由については、小学生保護者ではひとり親世帯（2世代同居）で、中学生保護者ではひとり親世帯全体で「就学援助制度を知らなかった」という回答が比較的多かった。

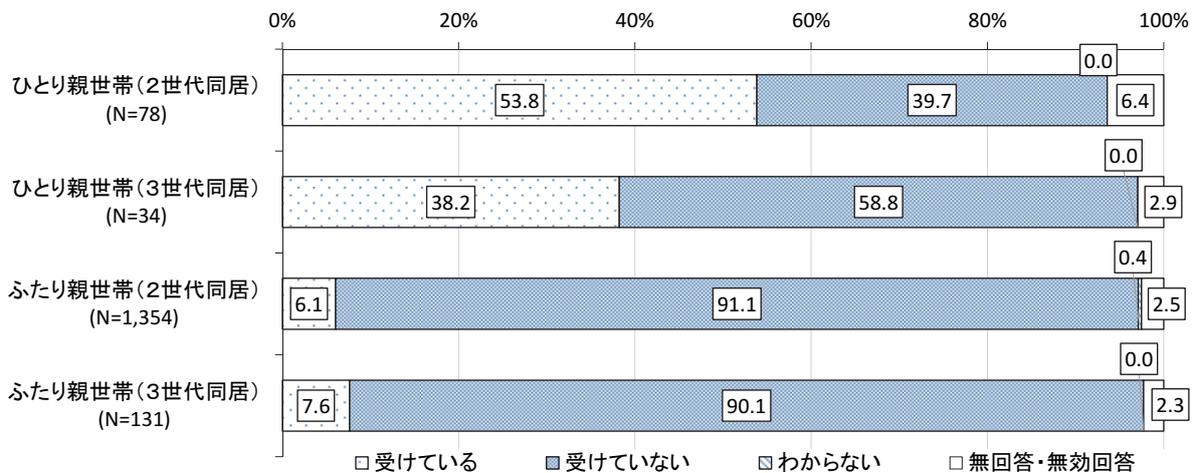
図表 4-3-4-5 宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等：習い事・スポーツクラブ・部活



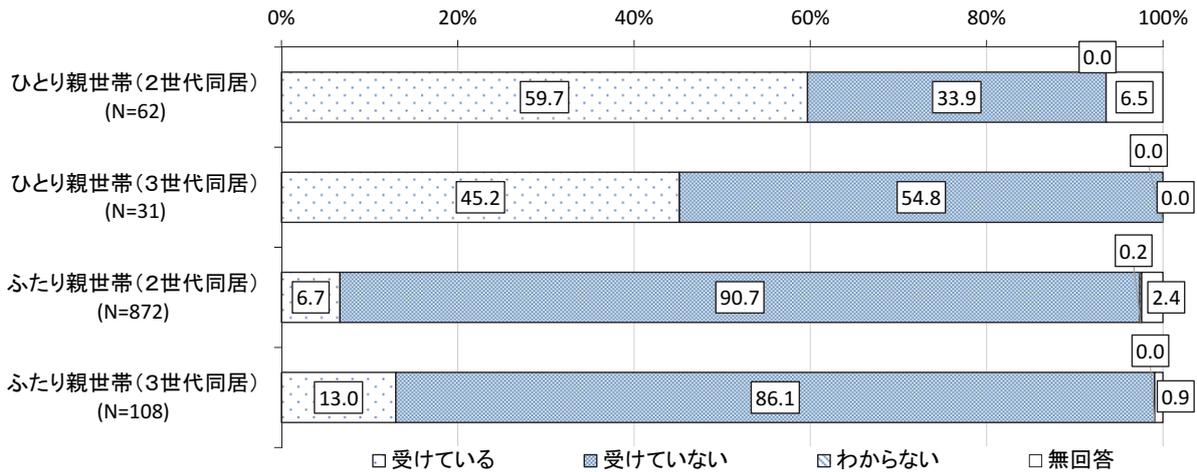
図表 4-3-4-6 宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等：おこづかい



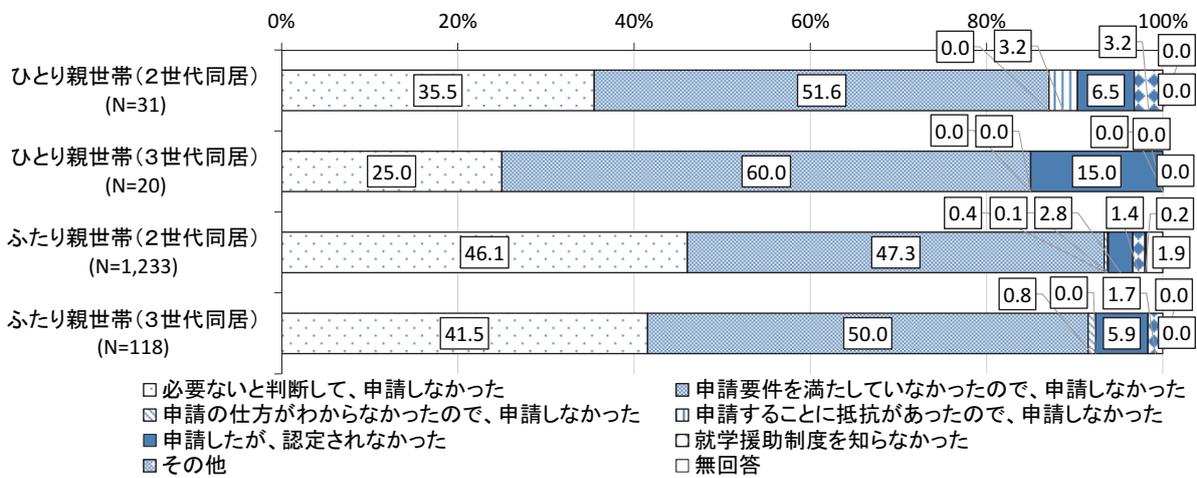
図表 4-3-4-7 就学援助の受給状況 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



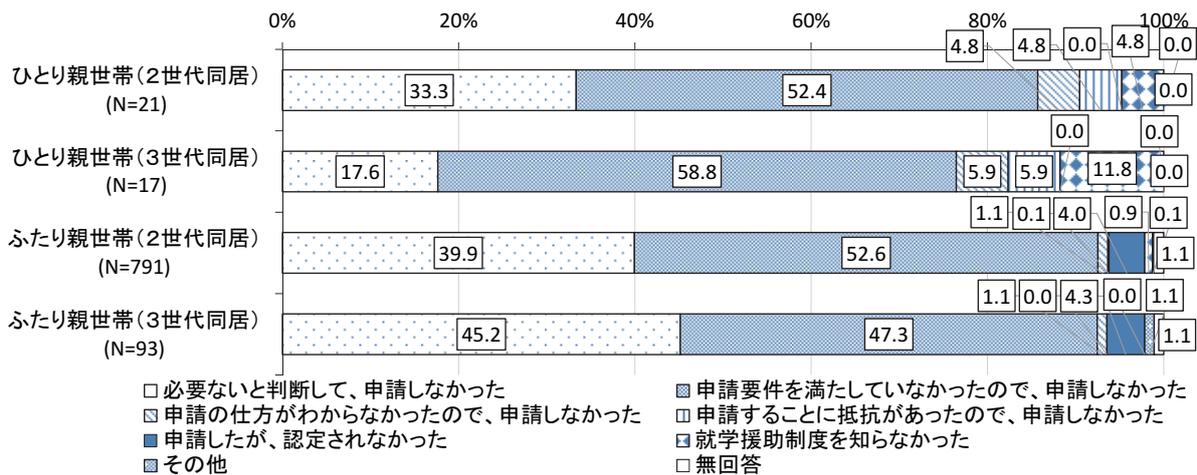
図表 4-3-4-8 就学援助の受給状況 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



図表 4-3-4-9 就学援助を受けていない理由 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-3-4-10 就学援助を受けていない理由 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



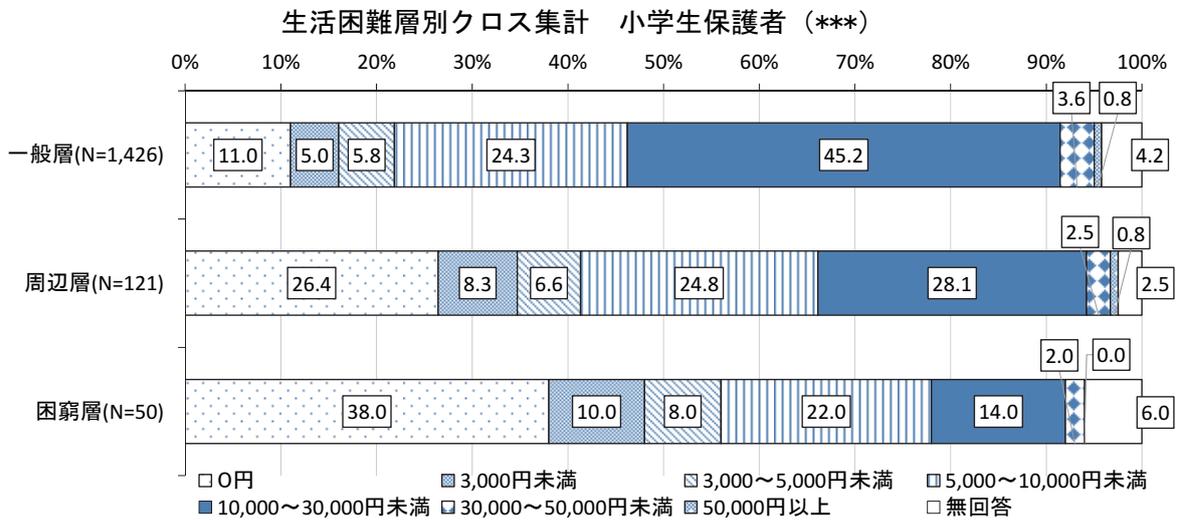
■生活困難層別

調査票の宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等を生活困難層別にみると、困窮層の小学生保護者が「習い事・スポーツクラブ・部活」の1か月あたりの教育費等を「0円」と回答した割合は38.0%となっていた。

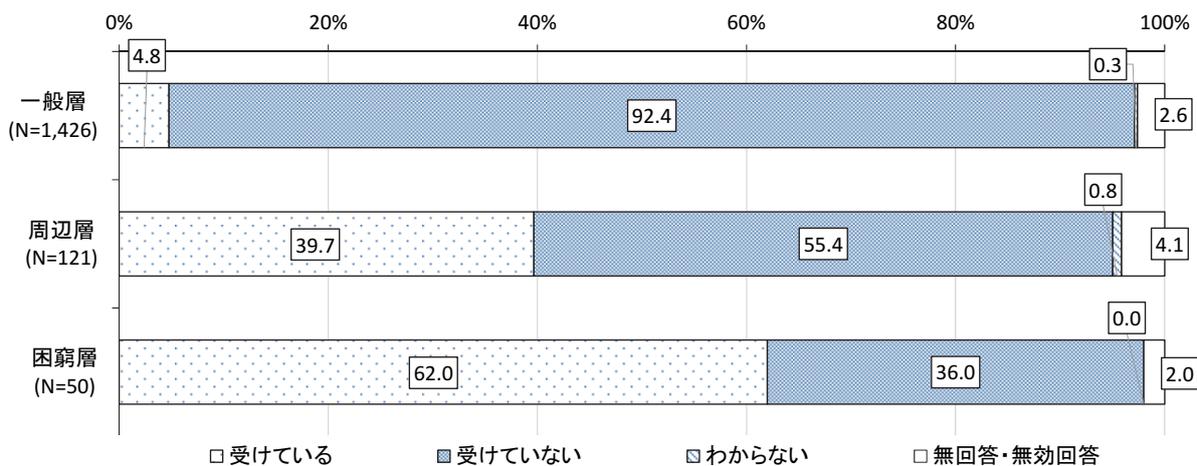
就学援助の受給状況についてのクロス集計結果をみると、小学生保護者の困窮層で受けていない割合は36.0%、周辺層で55.4%となっていた。中学生保護者の困窮層で受けていない割合は32.4%、周辺層で58.7%となっていた。

就学援助を受給していない理由をみると、困窮層の小学生保護者では「申請したが、認定されなかった」「申請要件を満たしていなかったため、申請しなかった」の回答割合が高くなっていた。困窮層の中学生保護者では「申請要件を満たしていなかったため、申請しなかった」の回答割合が高くなっていた。

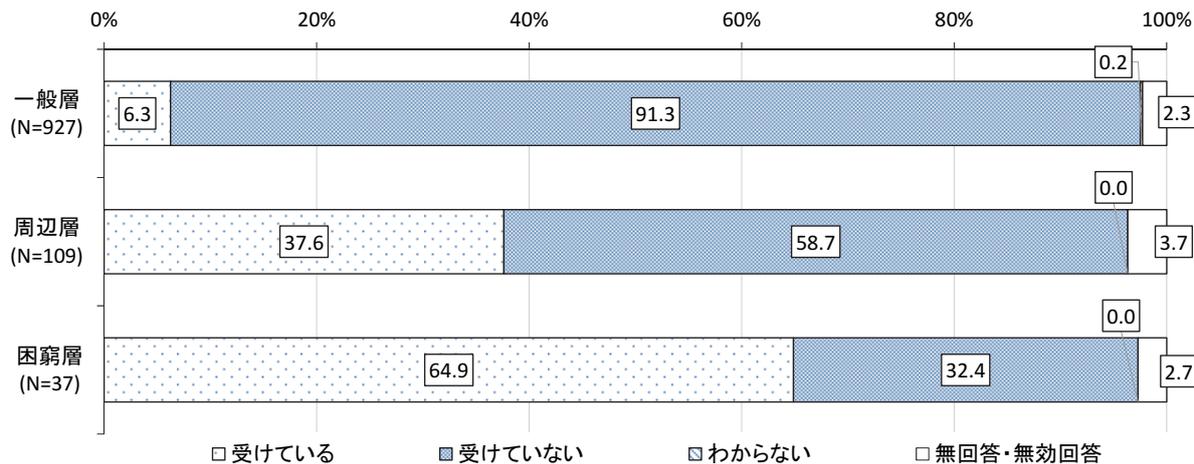
図表4-3-4-11 宛名の子どもにかかる1か月あたりの教育費等：習い事・スポーツクラブ・部活



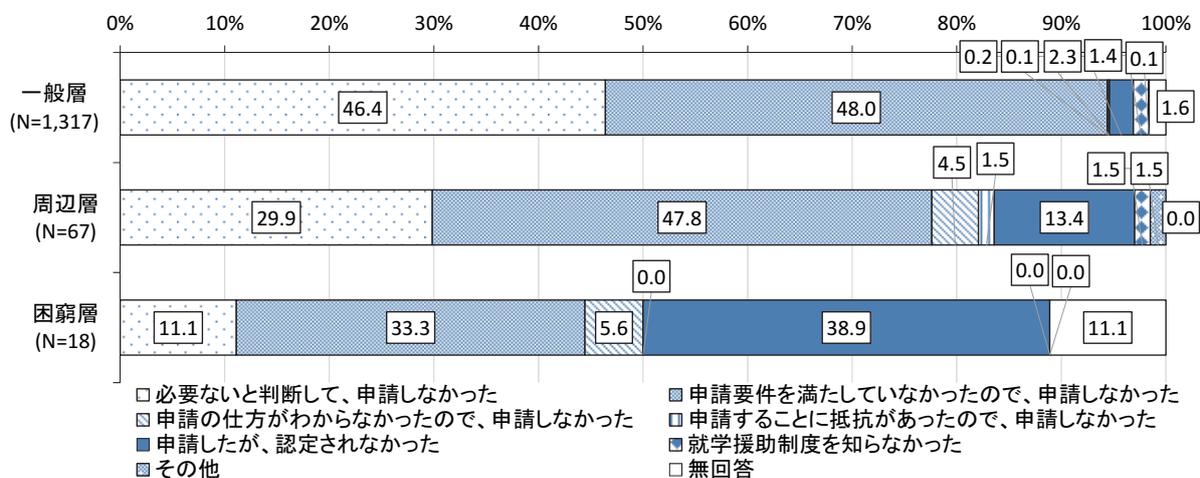
図表4-3-4-12 就学援助の受給状況 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



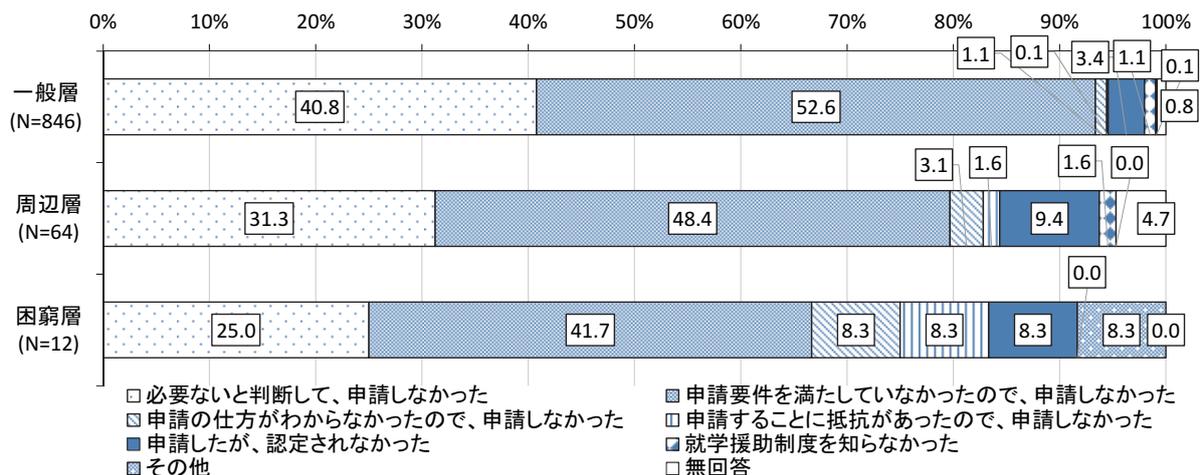
図表 4-3-4-13 就学援助の受給状況 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



図表 4-3-4-14 就学援助を受けていない理由 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-3-4-15 就学援助を受けていない理由 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



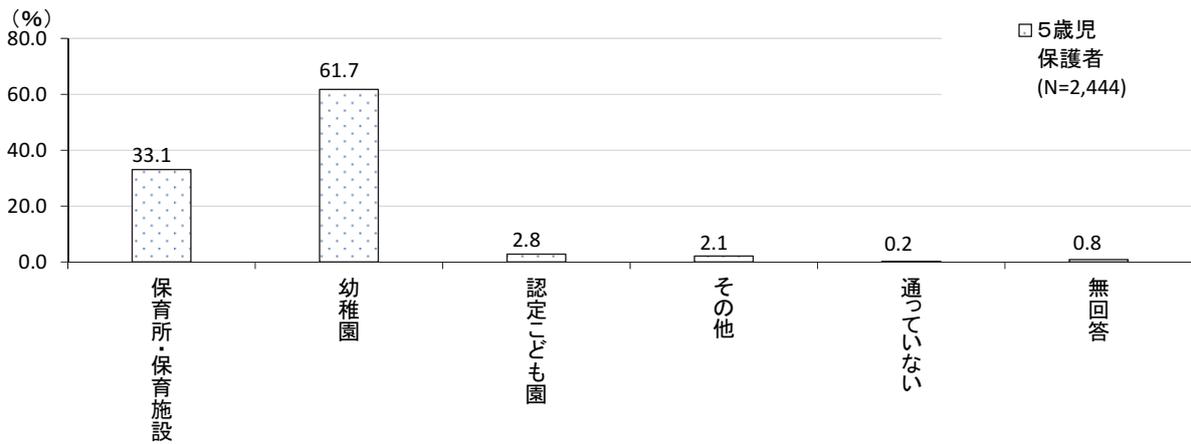
⑤ 就学前の集団生活

【5歳保問22・小中保問15】

5歳児保護者に対して、調査票の宛名の子どもが通っている保育・教育機関について尋ねたところ、61.7%が「幼稚園」、33.1%が「保育所・保育施設」と回答した。また小学生保護者・中学生保護者には、就学前に通ったことのある保育・教育機関を尋ねたところ、「幼稚園」が最も多く、小学生保護者で70.9%、中学生保護者で75.3%であった。

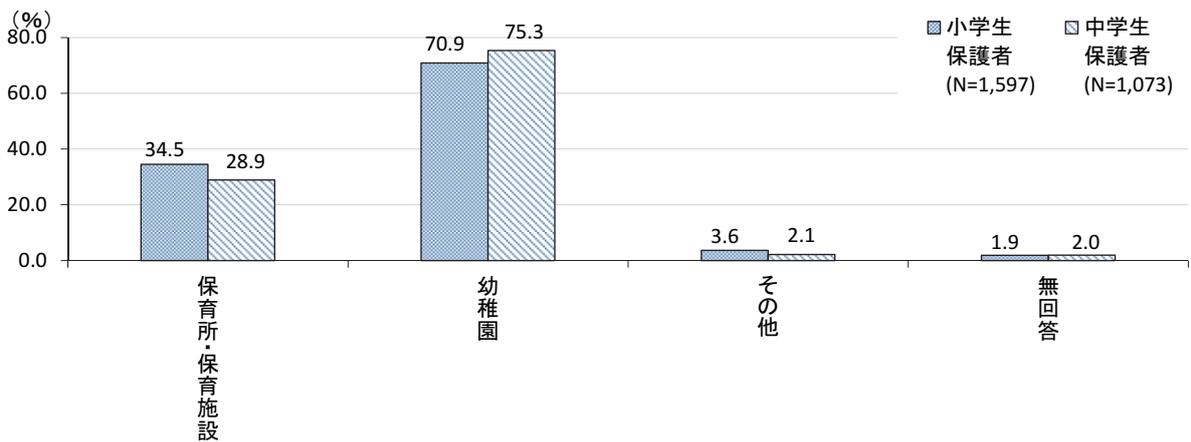
問 お子さんが今現在通っている保育・教育機関をお答えください（複数回答）

図表4-3-5-1 子どもが現在通っている保育・教育機関 単純集計 5歳児保護者



問 お子さんが就学前に通ったことのある保育・教育機関をすべてお答えください（複数回答）

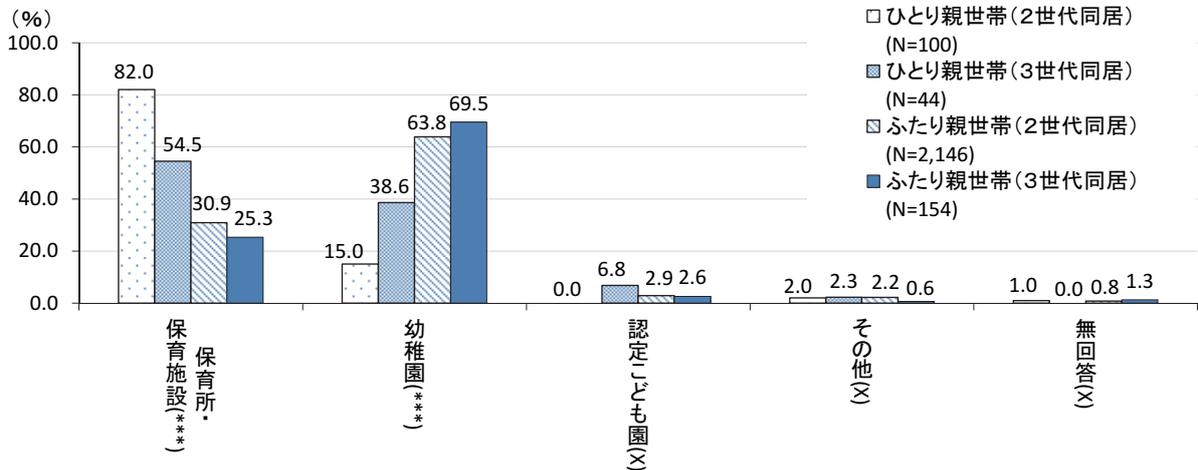
図表4-3-5-2 子どもに通ったことのある保育・教育機関 単純集計 小中学生保護者



■世帯タイプ別

5歳児保護者に対して調査票の宛名の子どもが通っている保育・教育機関について尋ねた結果を世帯タイプ別にクロス集計すると、「保育所・保育施設」はひとり親世帯よりもふたり親世帯の方が回答割合が低かった。他方「幼稚園」では、ひとり親世帯よりもふたり親世帯の方が回答割合が高かった。

図表 4-3-5-3 子どもが現在通っている保育・教育機関
世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者



⑥ 子どもの進学に関する希望

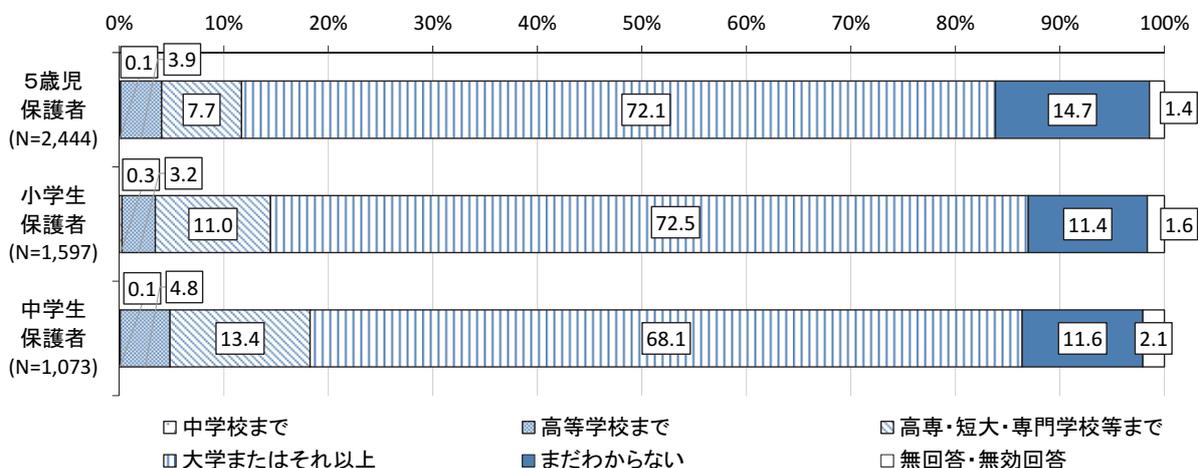
【5歳保問 23・小中保問 16~16-2】

子どもにどの段階までの教育を受けさせたいと希望しているかを尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも「大学またはそれ以上」が最も回答割合が高く、約7割となっていた。

小学生保護者・中学生保護者については、希望どおりの学校まで進むことになると思うかどうかを尋ねたところ、小学生保護者は 2.9%、中学生保護者は 3.0%が「思わない」と回答した。その理由についてみると、小学生保護者で最も多かったのが「経済的な余裕がないから」で 42.5%、中学生保護者で最も多かったのが「お子さんの学力から考えて」で 67.9%であった。

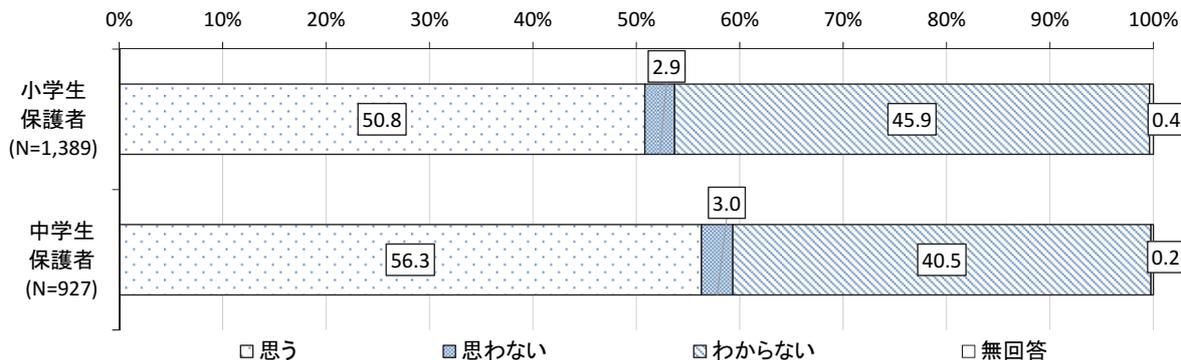
問 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか

図表 4-3-6-1 子どもの進学への希望 単純集計



問 あなたは、お子さんが希望どおりの学校まで進むことになると思いますか

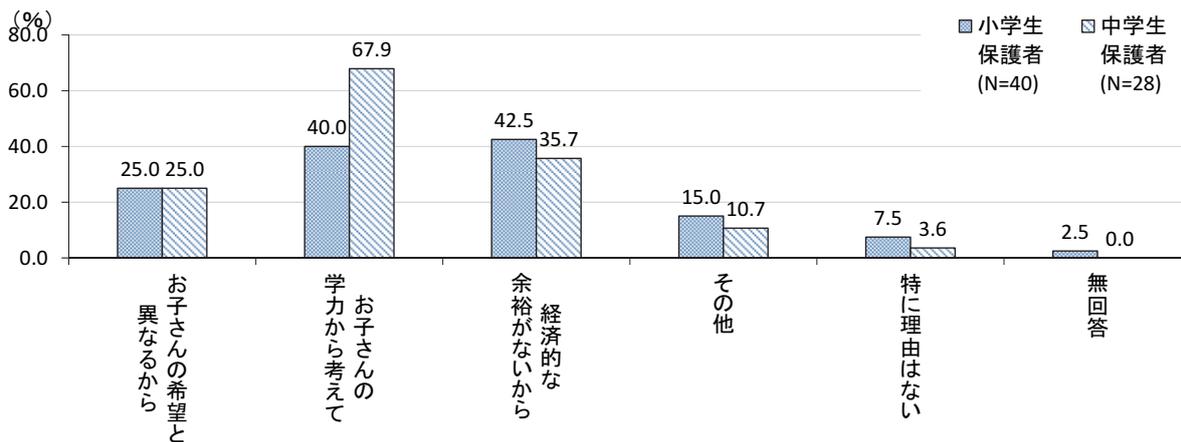
図表 4-3-6-2 希望どおり進学すると思うか 単純集計



※「あなたは、お子さんが希望どおりの学校まで進むことになると思いますか」の設問は、「お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか」に「中学校まで」「高等学校まで」「高専・短大・専門学校等まで」「大学またはそれ以上」と答えた者のみ回答する設問。

問 希望どおりの学校に進まないと思う理由（複数回答）

図表 4-3-6-3 希望どおり進学しないと思う理由 単純集計

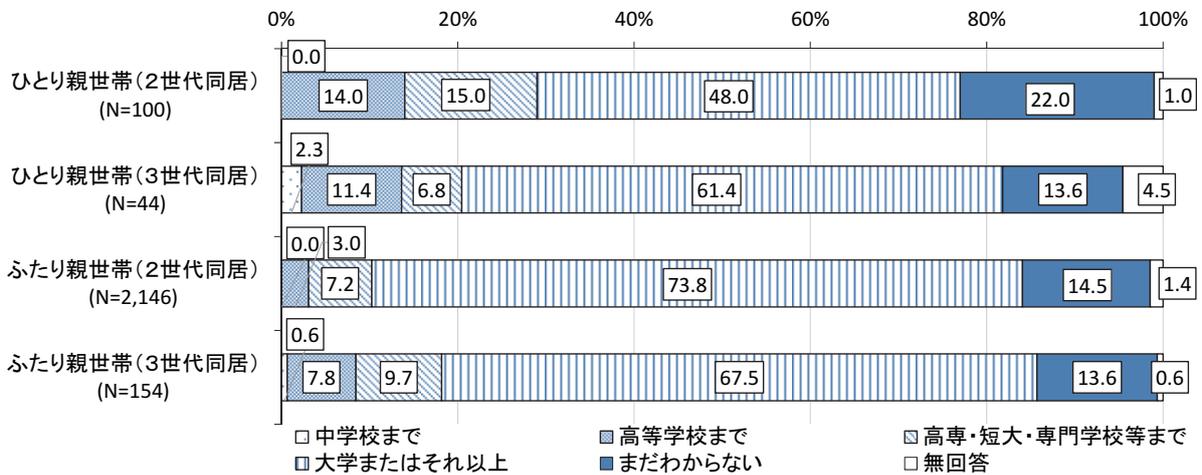


※「希望どおりの学校に進まないと思う理由」の設問は、「あなたは、お子さんが希望どおりの学校まで進むことになると思いますか」に「思わない」と答えた者のみ回答する設問。

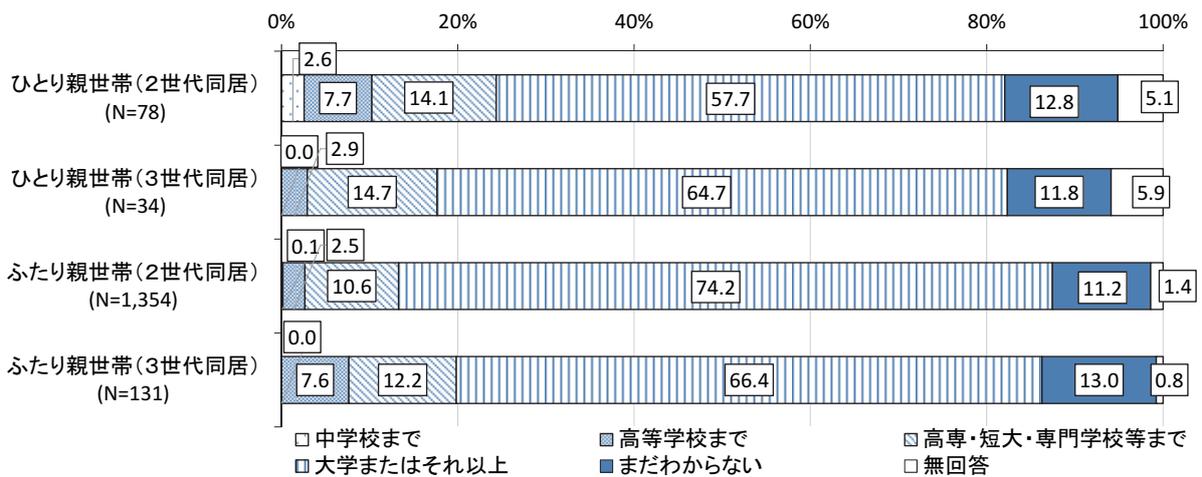
■ 世帯タイプ別

世帯タイプ別に子どもにどの段階までの教育を受けさせたいかの希望についてクロス集計をしたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも、「大学またはそれ以上」の回答割合は、ふたり親世帯に比べてひとり親世帯で低くなっていた。

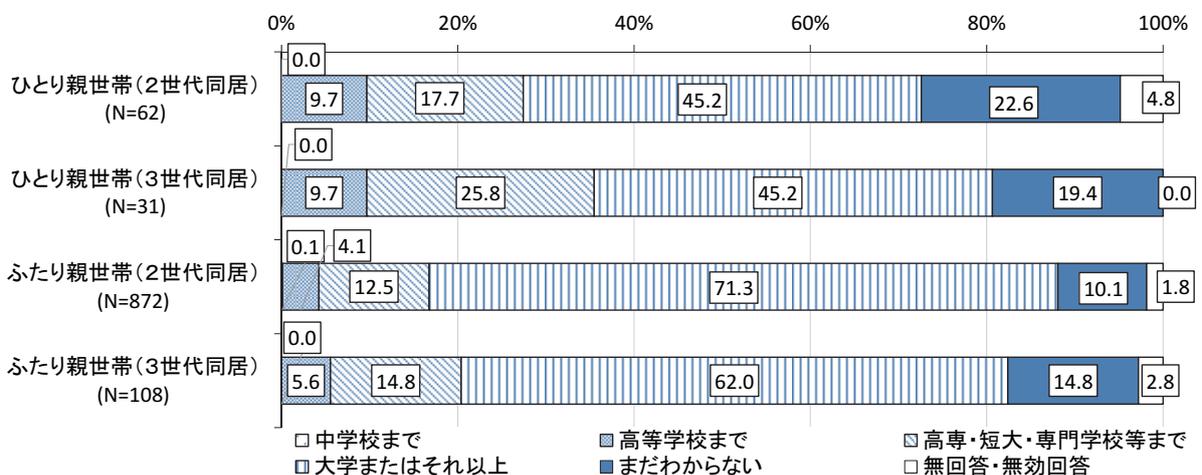
図表 4-3-6-4 子どもの進学への希望 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-3-6-5 子どもの進学への希望 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-3-6-6 子どもの進学への希望 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)

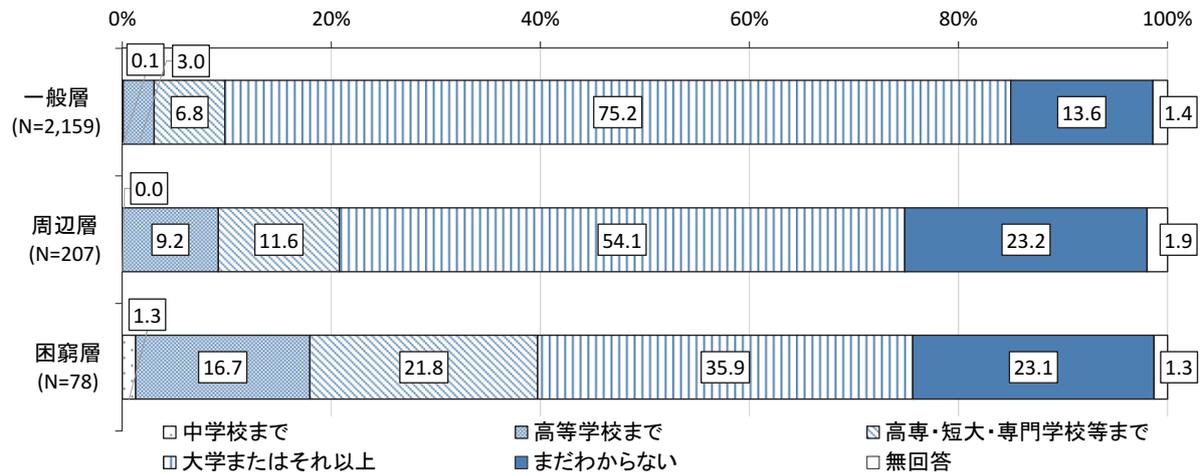


■生活困難層別

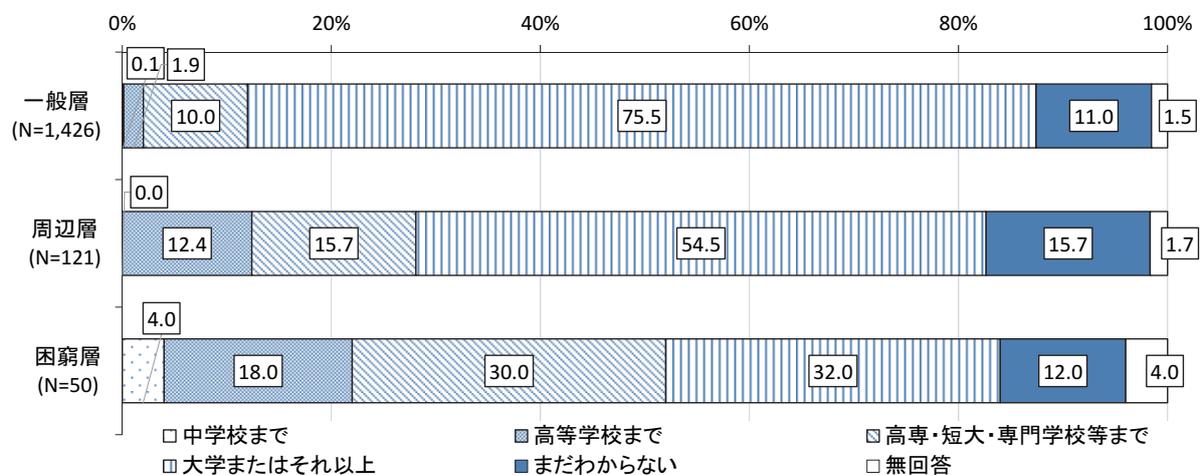
子どもにどの段階までの教育を受けさせたいかの希望について生活困難層別にみると、どの子どもの年齢・教育段階でも、生活困難度が高くなるにつれて「中学校まで」「高等学校まで」の回答割合の合計が高くなっていった。

中学生保護者に、希望どおりの学校まで進むことになると思うかどうかを尋ねたところ、一般層が2.2%であるのに対して、周辺層では5.7%、困窮層では15.6%が「思わない」と回答した。

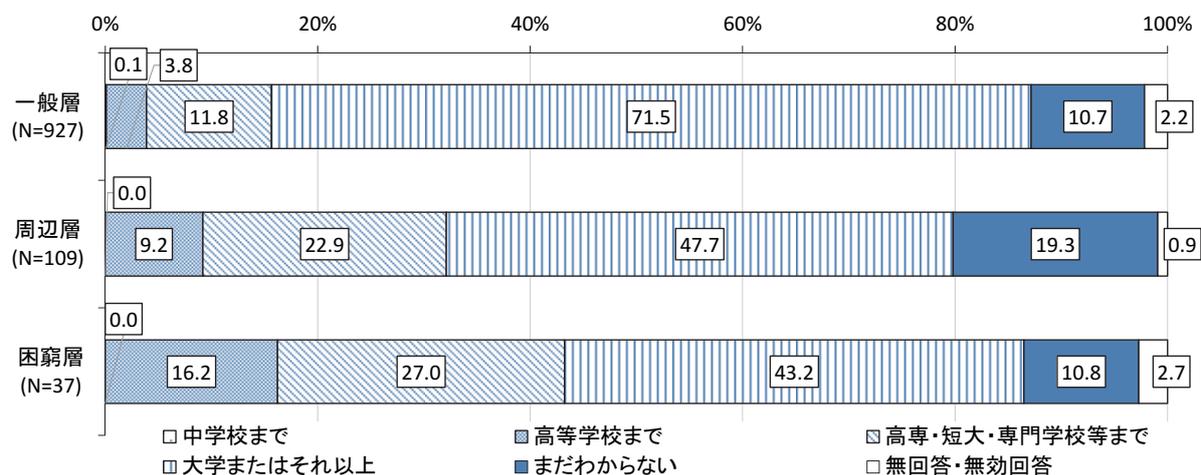
図表 4-3-6-7 子どもの進学への希望 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



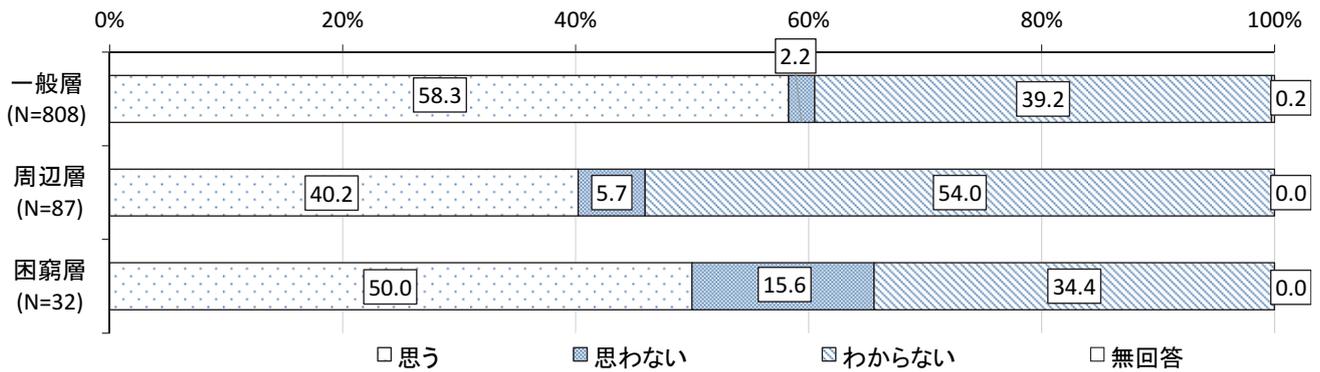
図表 4-3-6-8 子どもの進学への希望 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-3-6-9 子どもの進学への希望 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



図表 4-3-6-10 希望どおり進学すると思うか 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



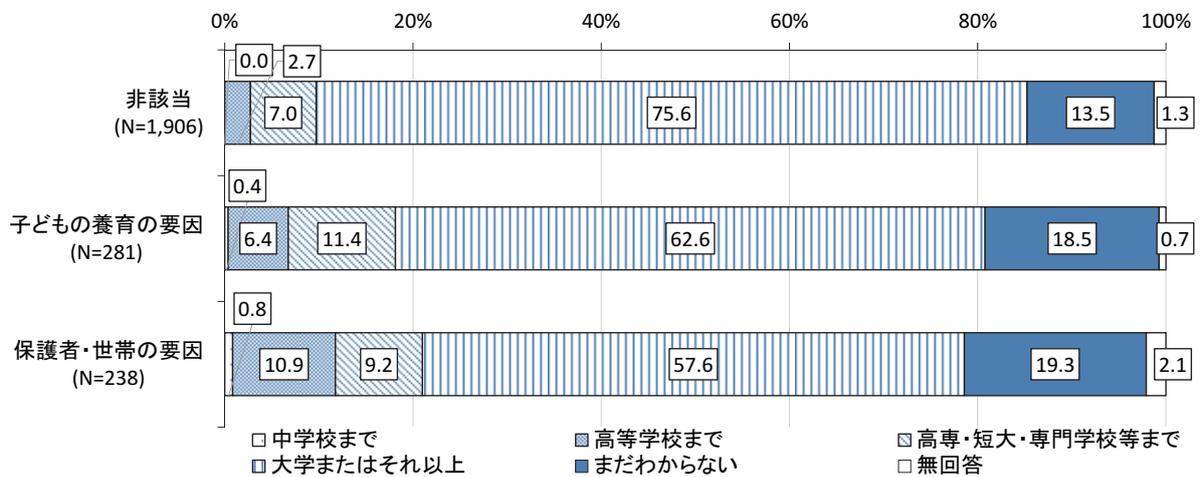
※「あなたは、お子さんが希望どおりの学校まで進むことになると思いますか」の設問は、「お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか」に「中学校まで」「高等学校まで」「高専・短大・専門学校等まで」「大学またはそれ以上」と答えた者のみ回答する設問。

■潜在的養育困難層別

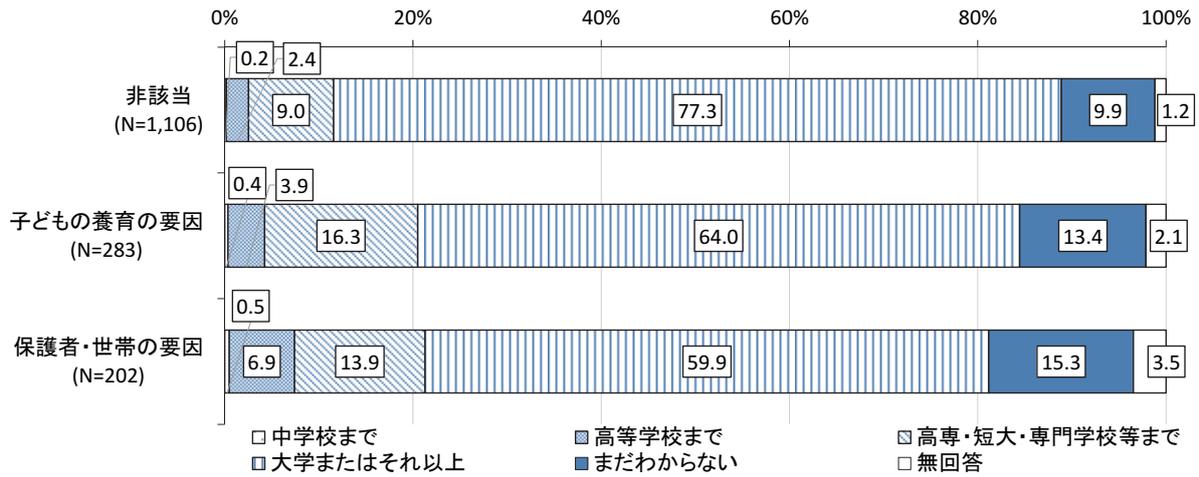
子どもにどの段階までの教育を受けさせたいかの希望について潜在的養育困難層別クロス集計をすると、どの子どもの年齢・教育段階でも「大学またはそれ以上」の回答割合は非該当層に比べて潜在的養育困難層で低くなっており、特に「保護者・世帯の要因」層で低くなっていた。また、「まだわからない」という回答は非該当層よりも潜在的養育困難層で高くなっていった。

中学生保護者に、希望どおりの学校まで進むことになると思うかどうかを尋ねたところ、「子どもの養育の要因」層では8.1%が「思わない」と回答した。

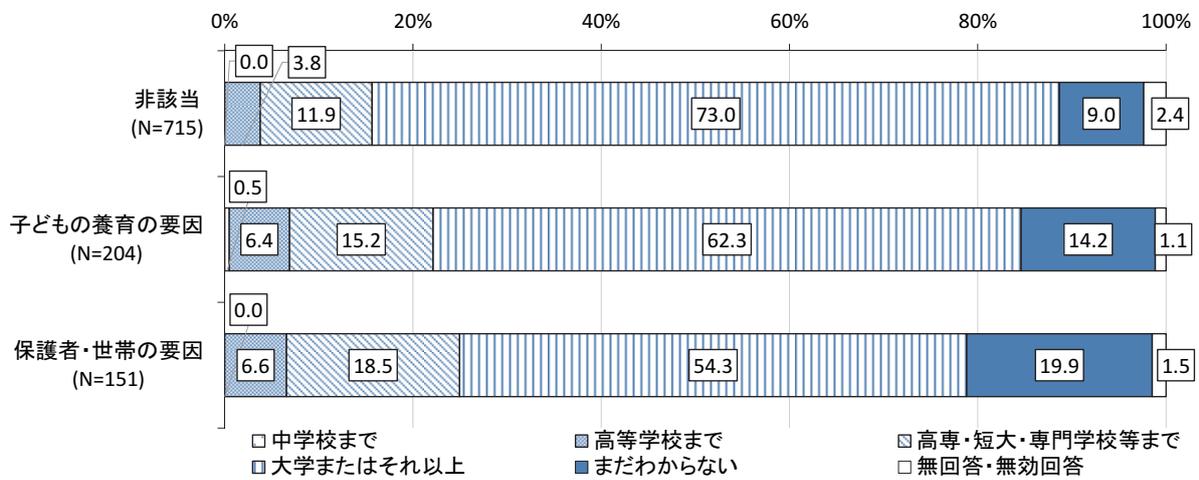
図表 4-3-6-11 子どもの進学への希望 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



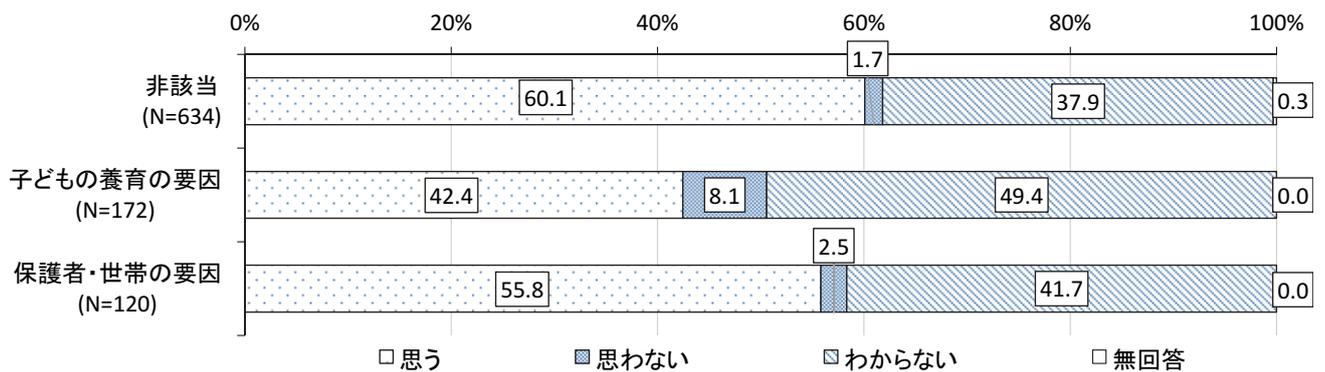
図表 4-3-6-12 子どもの進学への希望 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-3-6-13 子どもの進学への希望 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



図表 4-3-6-14 希望どおり進学すると思うか 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



※「あなたは、お子さんが希望どおりの学校まで進むことになると思いますか」の設問は、「お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか」に「中学校まで」「高等学校まで」「高専・短大・専門学校等まで」「大学またはそれ以上」と答えた者のみ回答する設問。

⑦ 子育てに関する悩みごと

【5歳保問24・小中保問17】

調査票の宛名の子どもの子育てに関する心配ごとや悩みごとを尋ねたところ、5歳児保護者では「上記のような心配や悩みはない」が34.9%で最も回答割合が高く、次いで「子どもの教育費」「子どもの食事や栄養管理」「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」が比較的高かった。

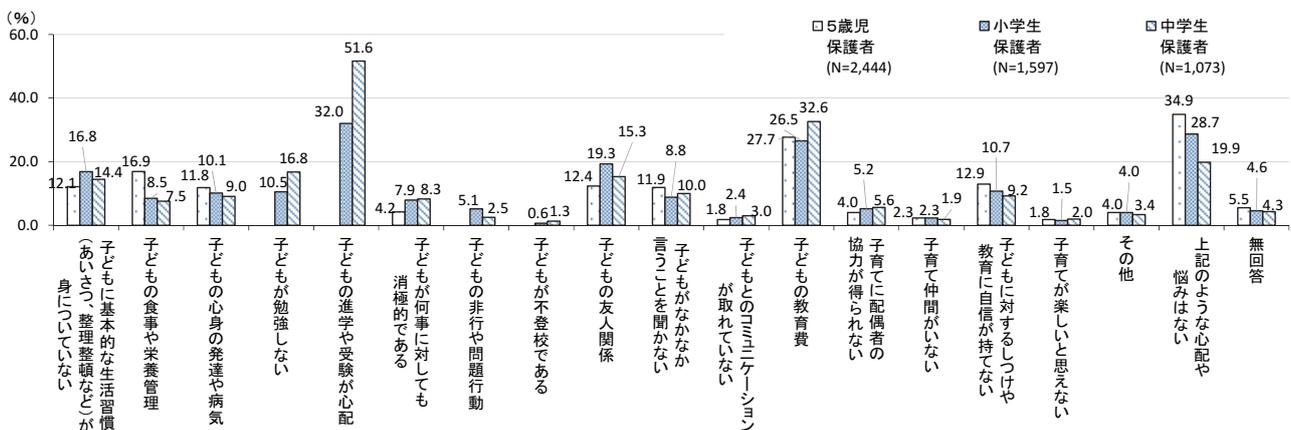
小学生保護者では、「子どもの進学や受験が心配」が32.0%で最も高く、次いで「上記のような心配や悩みはない」「子どもの教育費」「子どもの友人関係」が比較的高かった。

中学生保護者では、「子どもの進学や受験が心配」が51.6%で最も高く、次いで「子どもの教育費」「上記のような心配や悩みはない」「子どもが勉強しない」が比較的高かった。

なお「上記のような心配や悩みはない」については、子どもの年齢・教育段階が上がるにつれて回答割合が低くなっていた。

問 宛名のお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか（複数回答）

図表4-3-7-1 子育てに関する心配ごとや悩みごと 単純集計

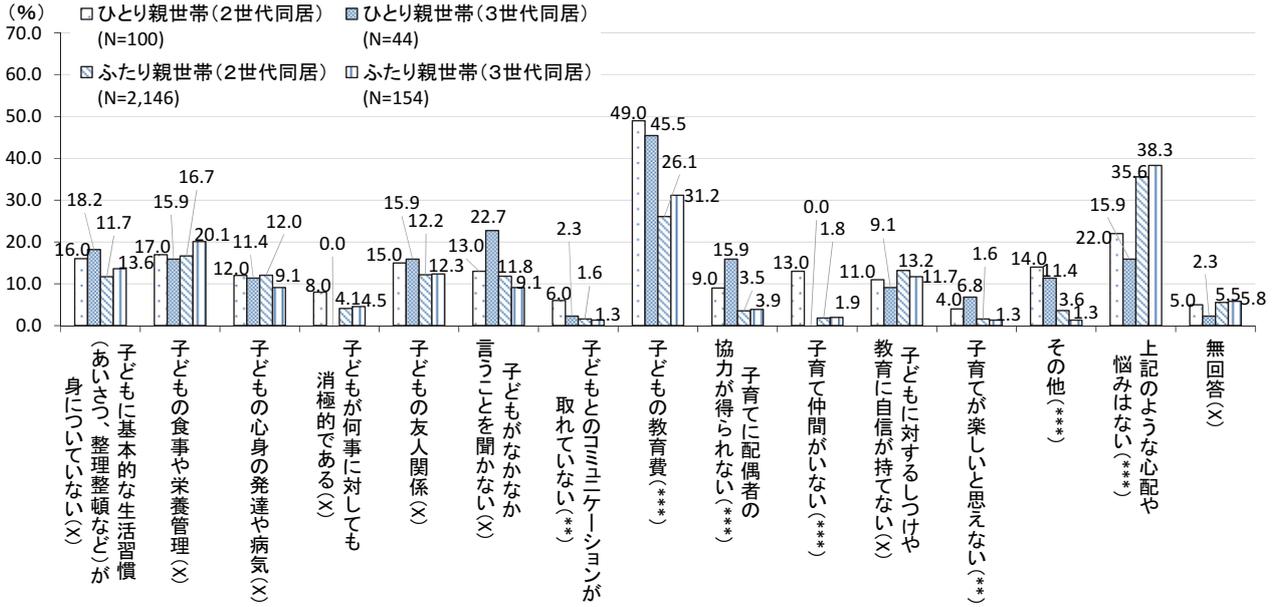


※「子どもが勉強しない」「子どもの進学や受験が心配」「子どもの非行や問題行動」「子どもが不登校である」の項目は小学生保護者・中学生保護者のみに尋ねている。

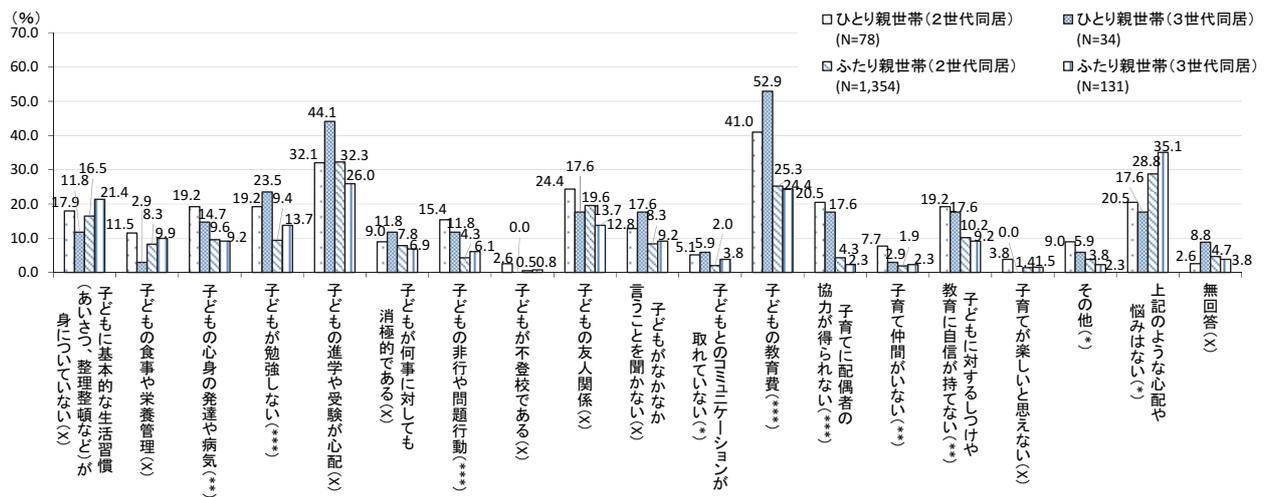
■世帯タイプ別

世帯タイプ別に調査票の宛名の子どもの子育てに関する心配ごとや悩みごとについてクロス集計をしたところ、子どもの年齢・教育段階にかかわらず「子どもの教育費」においてふたり親よりもひとり親のほうが回答割合が高かった。小学生保護者・中学生保護者についての「子どもが勉強しない」においても同様となっていた。

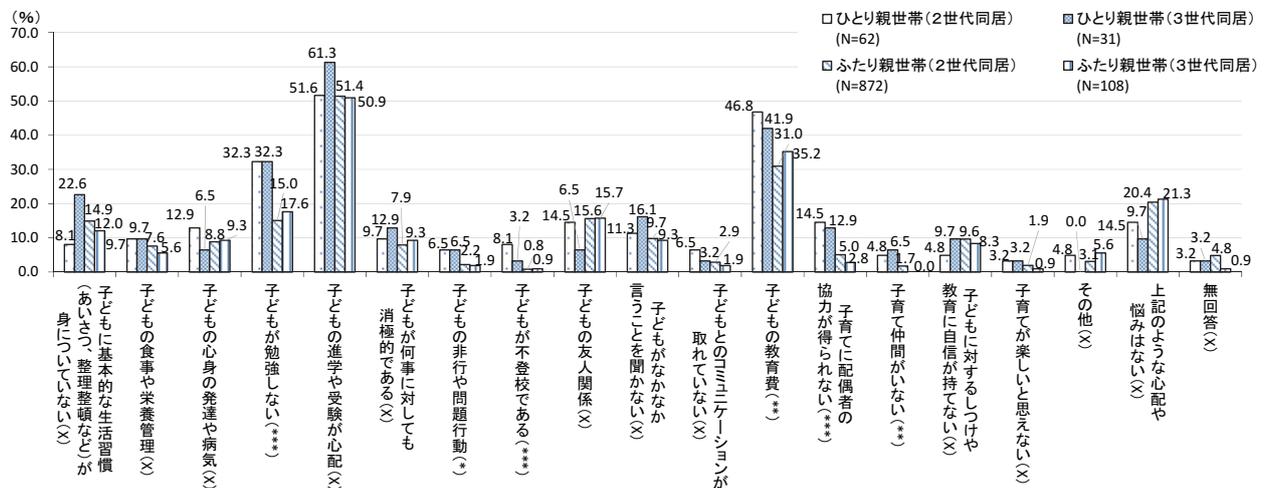
図表 4-3-7-2 子育てに関する心配ごとや悩みごと 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-3-7-3 子育てに関する心配ごとや悩みごと 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者



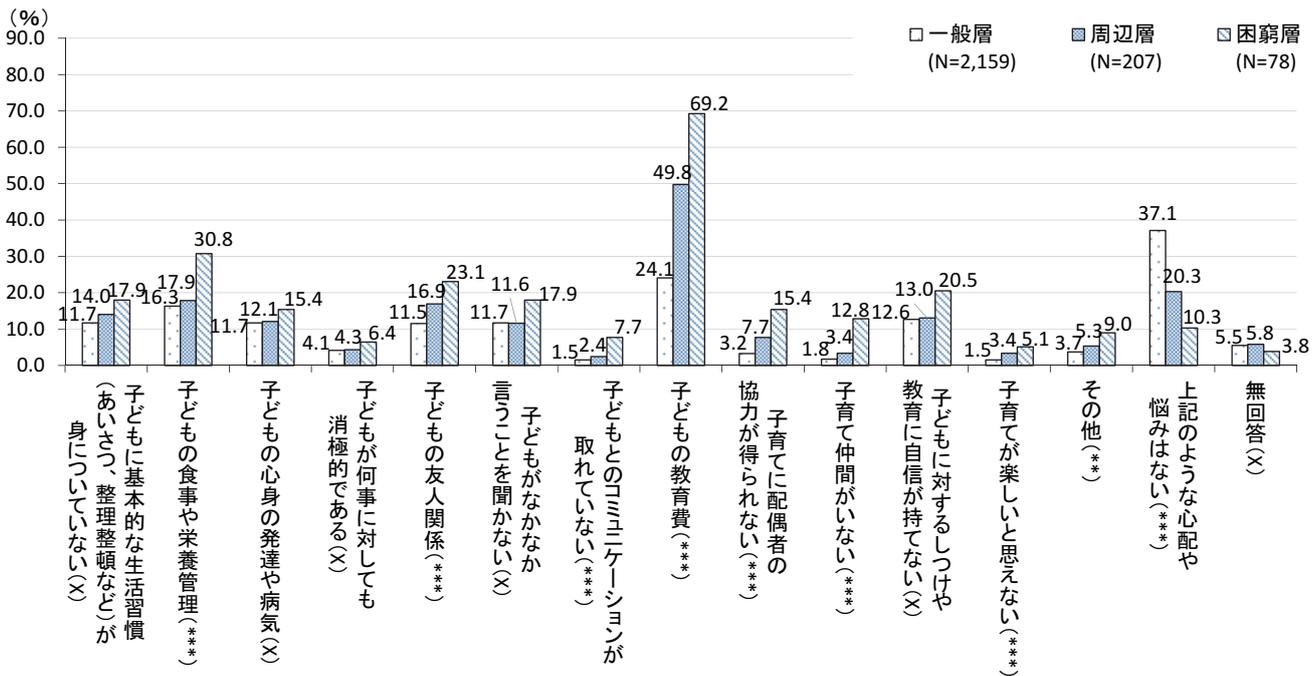
図表 4-3-7-4 子育てに関する心配ごとや悩みごと 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者



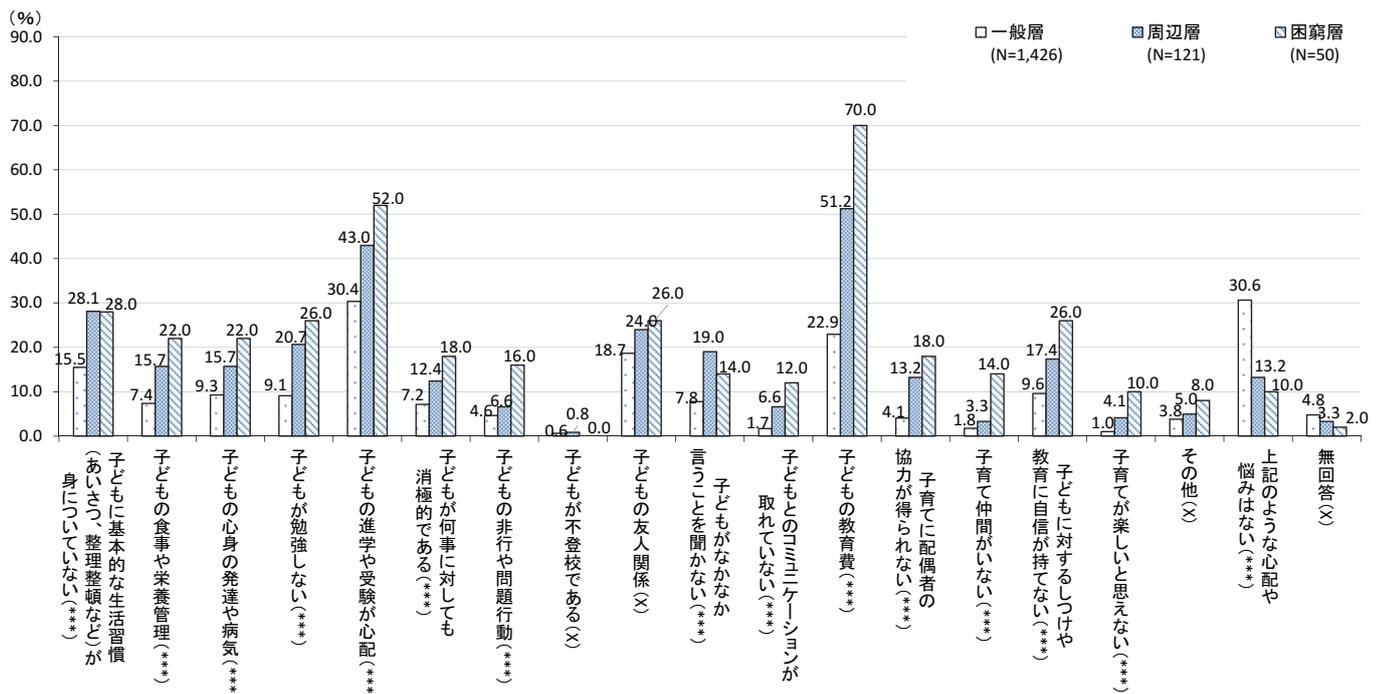
■生活困難層別

調査票の宛名の子どもの子育てに関する心配ごとや悩みごとについて生活困難層別クロス集計をすると、小学生保護者、中学生保護者で生活困難度が高くなるにつれて「子どもの教育費」「子どもの進学や受験が心配」の回答割合が高くなっていった。中学生保護者の困窮層の回答結果を一般層と比較すると、「子どもの教育費」に関する心配ごとや悩みは55.6ポイント、「子どもの進学や受験が心配」については26.4ポイント高くなっていった。

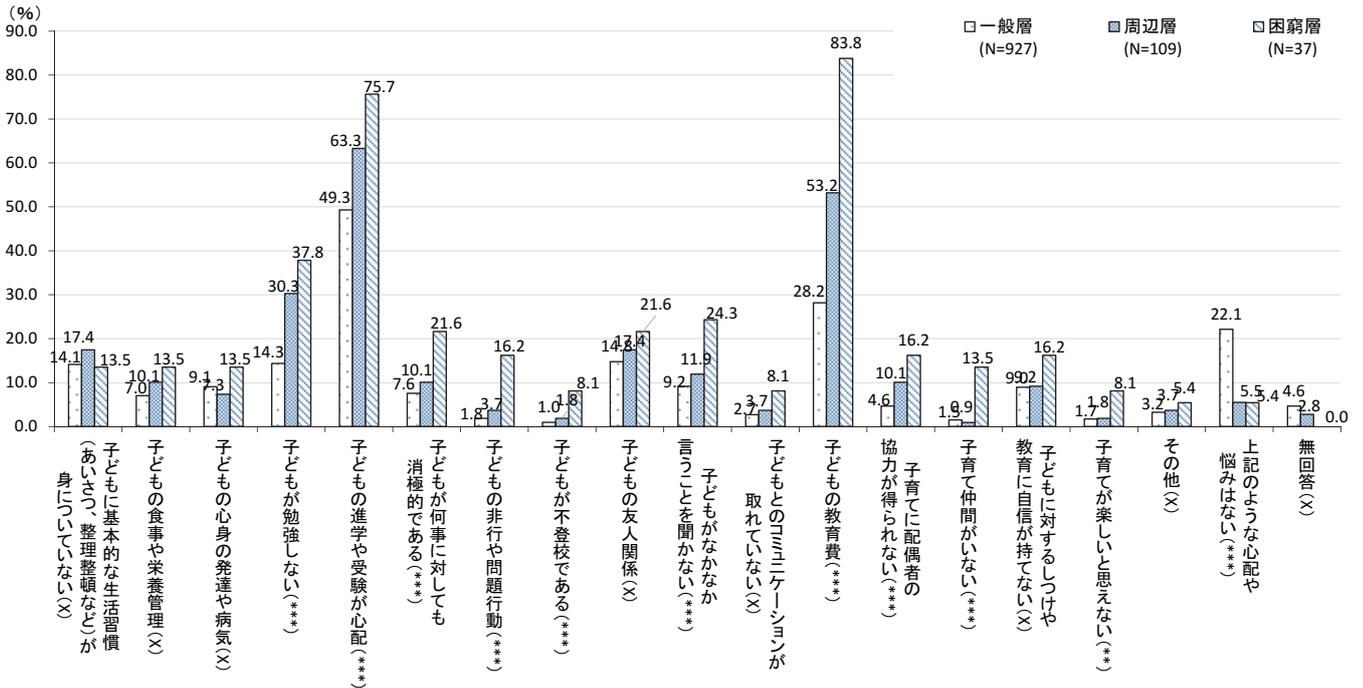
図表4-3-7-5 子育てに関する心配ごとや悩みごと 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表4-3-7-6 子育てに関する心配ごとや悩みごと 生活困難層別クロス集計 小学生保護者



図表4-3-7-7 子育てに関する心配ごとや悩みごと 生活困難層別クロス集計 中学生保護者

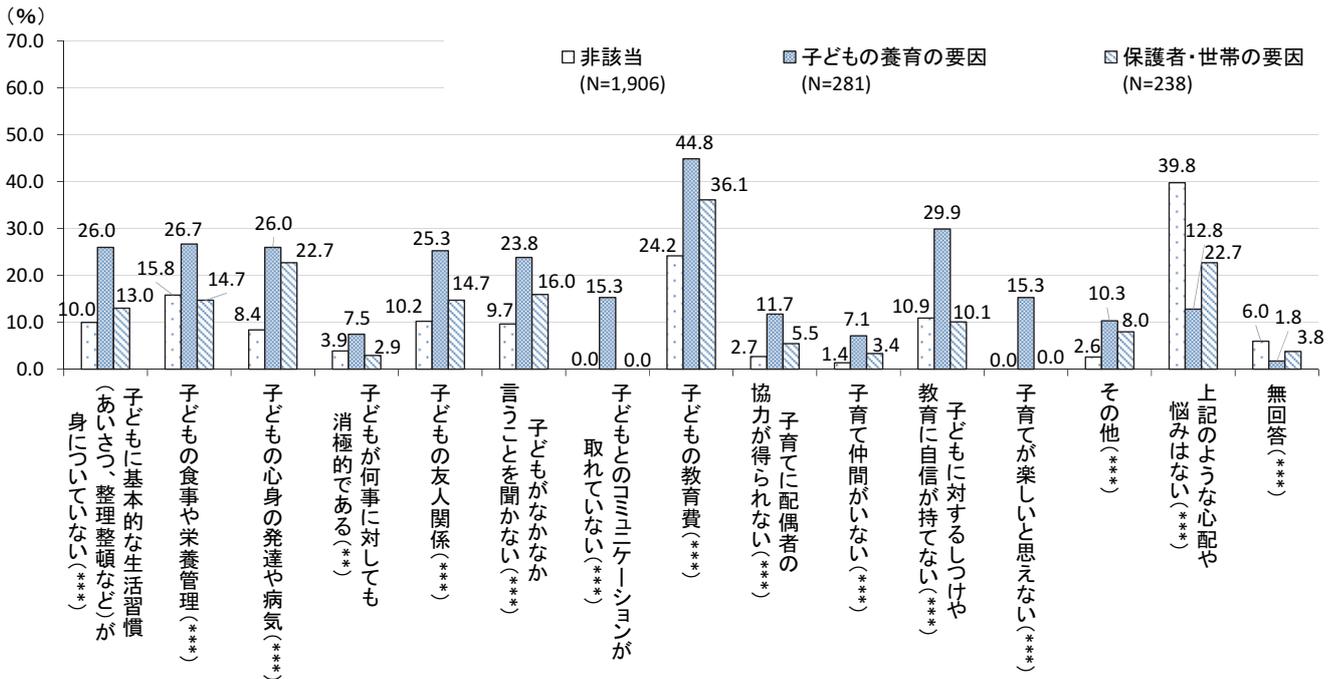


■潜在的養育困難層別

調査票の宛名の子どもの子育てに関して潜在的養育困難層別にクロス集計すると、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、すべての心配ごとや悩みごとの項目において、特に「子どもの養育の要因」層で回答割合が高くなっていった。

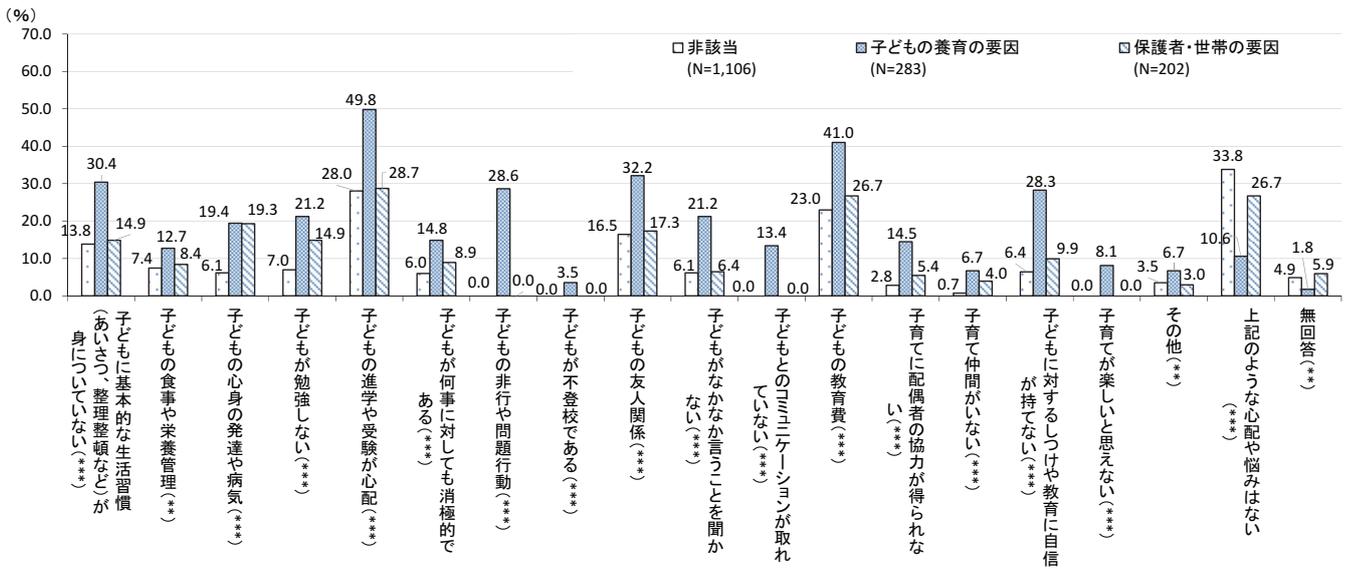
図表4-3-7-8 子育てに関する心配ごとや悩みごと

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者



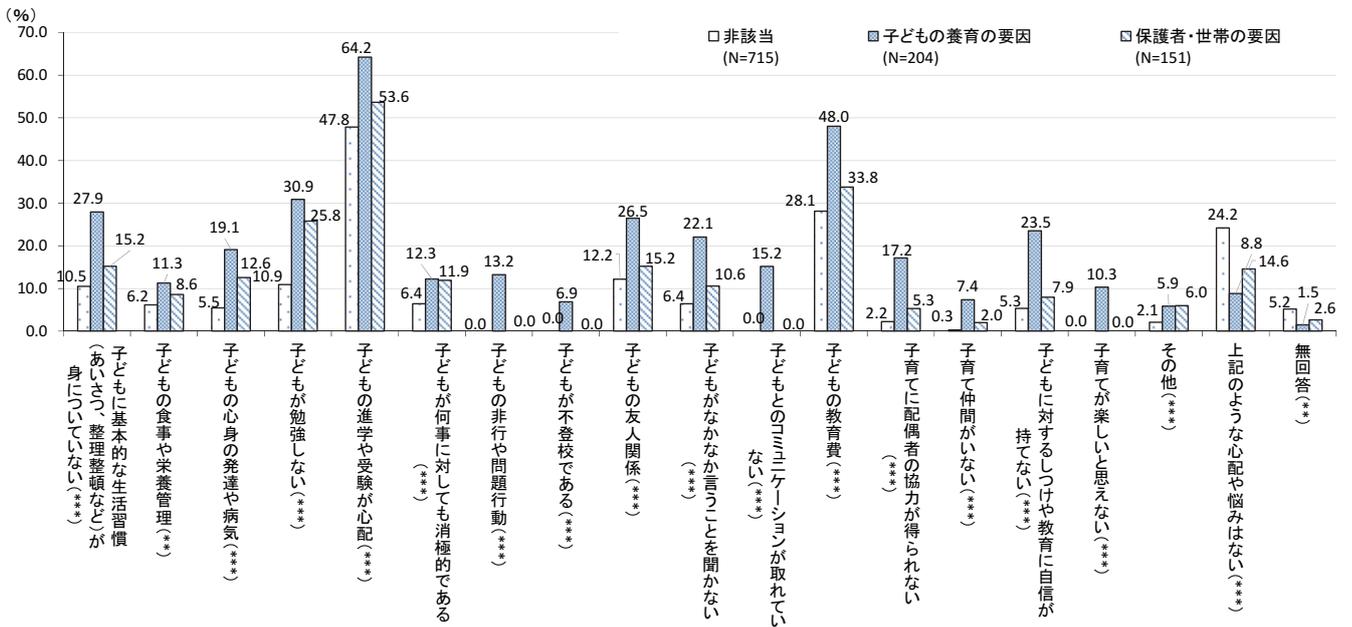
※「子どもとのコミュニケーションが取れていない」「子育てが楽しいと思えない」の選択肢は、潜在的養育困難層の「子どもの養育の要因」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 4-3-7-9 子育てに関する心配ごとや悩みごと
潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者



※「子どもの非行や問題行動」「子どもが不登校である」「子どもとのコミュニケーションが取れていない」「子育てが楽しいと思えない」の選択肢は、潜在的養育困難層の「子どもの養育の要因」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 4-3-7-10 子育てに関する心配ごとや悩みごと
潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者



※「子どもの非行や問題行動」「子どもが不登校である」「子どもとのコミュニケーションが取れていない」「子育てが楽しいと思えない」の選択肢は、潜在的養育困難層の「子どもの養育の要因」の判定要素である点に留意が必要である。

(4) 保護者（回答者）について

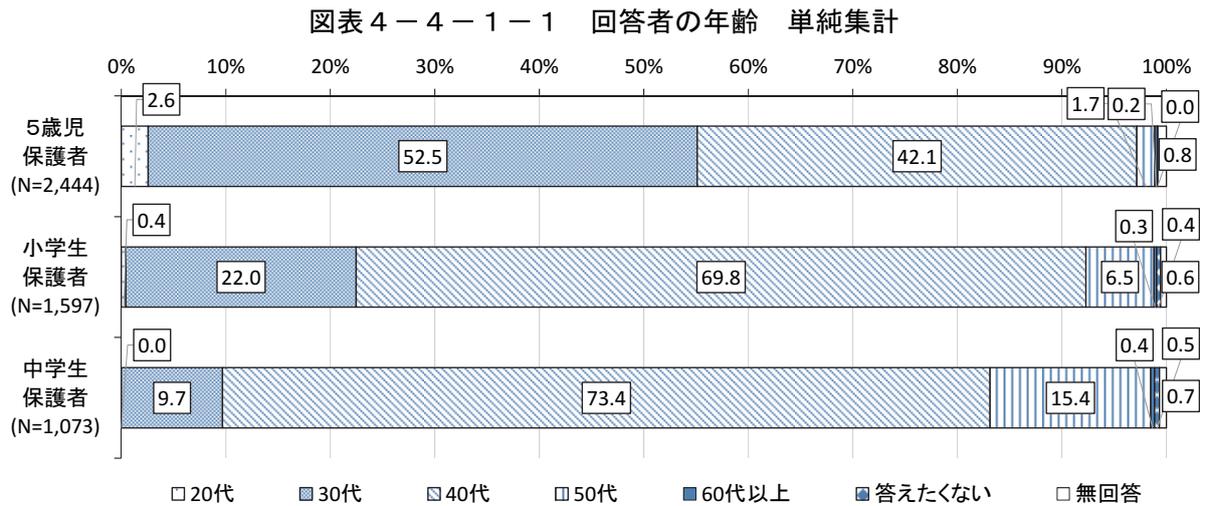
① 年齢・婚姻状況

【5歳保問 25～26・小中保問 18～19】

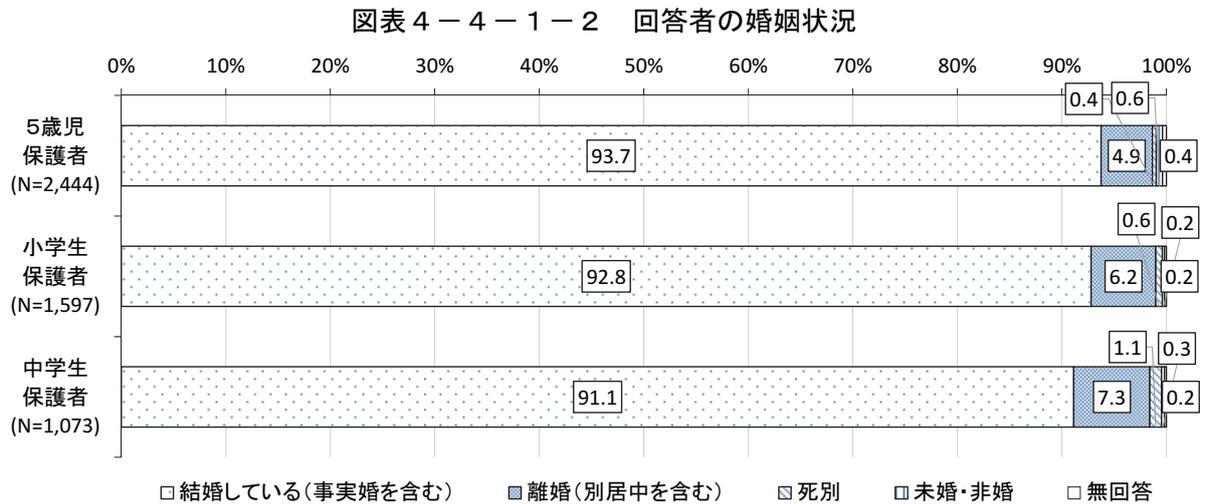
回答者本人の年齢をみると、5歳児保護者では「30代」（52.5%）、小学生保護者・中学生保護者では「40代」（それぞれ69.8%、73.4%）が最も多かった。

また、婚姻状況をみると、どの子どもの年齢・教育段階でも9割以上が「結婚している（事実婚を含む）」と回答していた。

問 あなたの年齢を教えてください



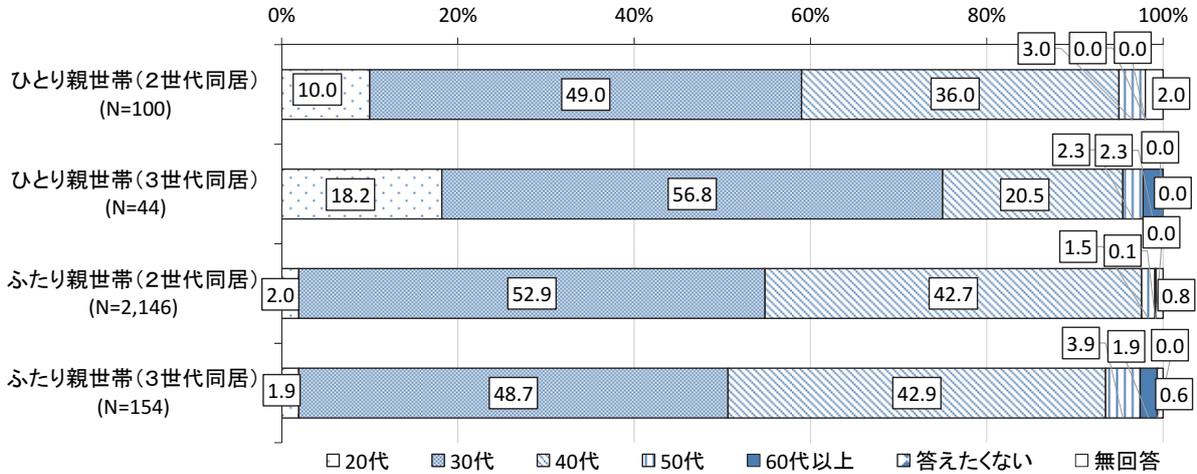
問 現在のあなたの婚姻状況を教えてください



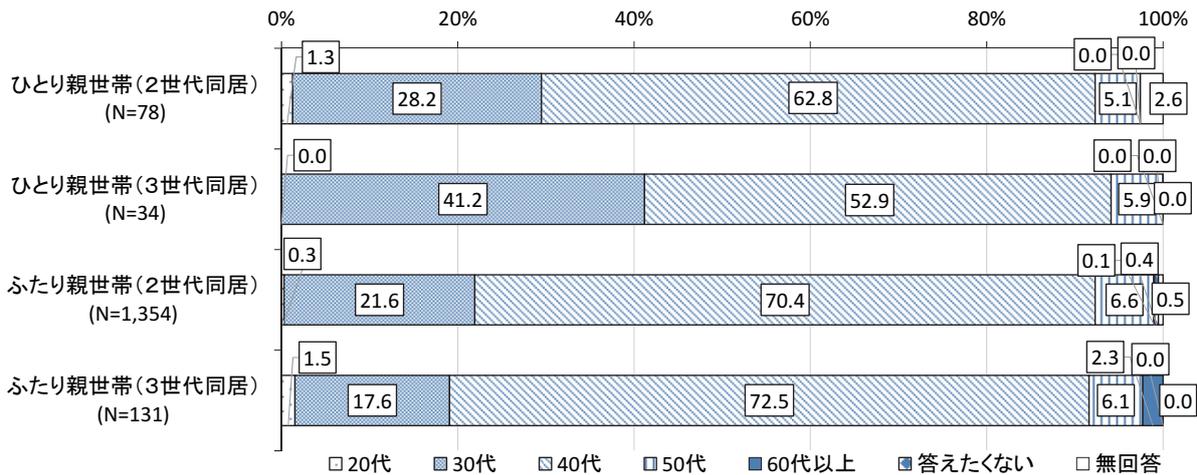
■ 世帯タイプ別

回答者本人の年齢を世帯タイプ別クロス集計すると、いずれの子ども年齢・教育段階でも、ひとり親世帯の方がふたり親世帯よりも比較的年齢層が低くなっていた。

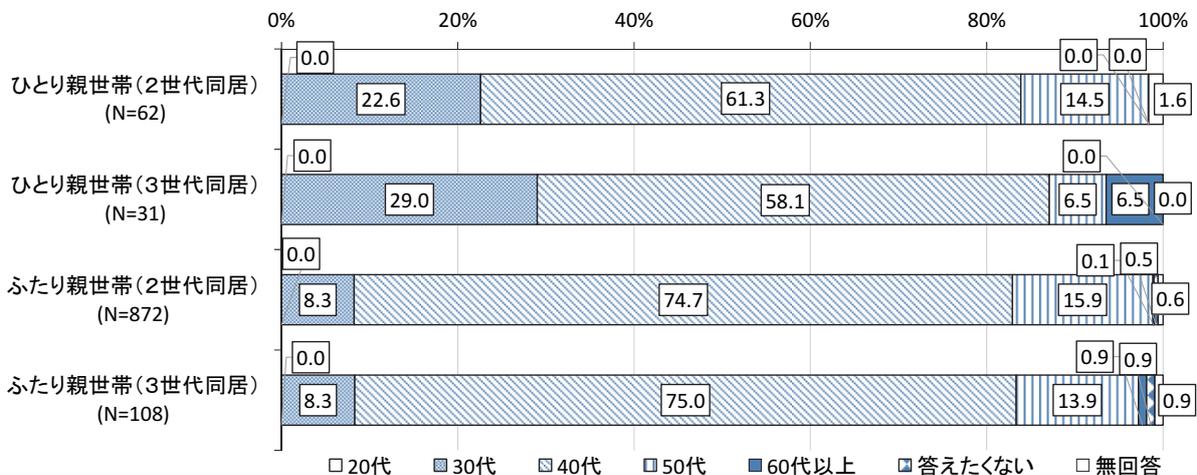
図表 4-4-1-3 回答者の年齢 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-4-1-4 回答者の年齢 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-4-1-5 回答者の年齢 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



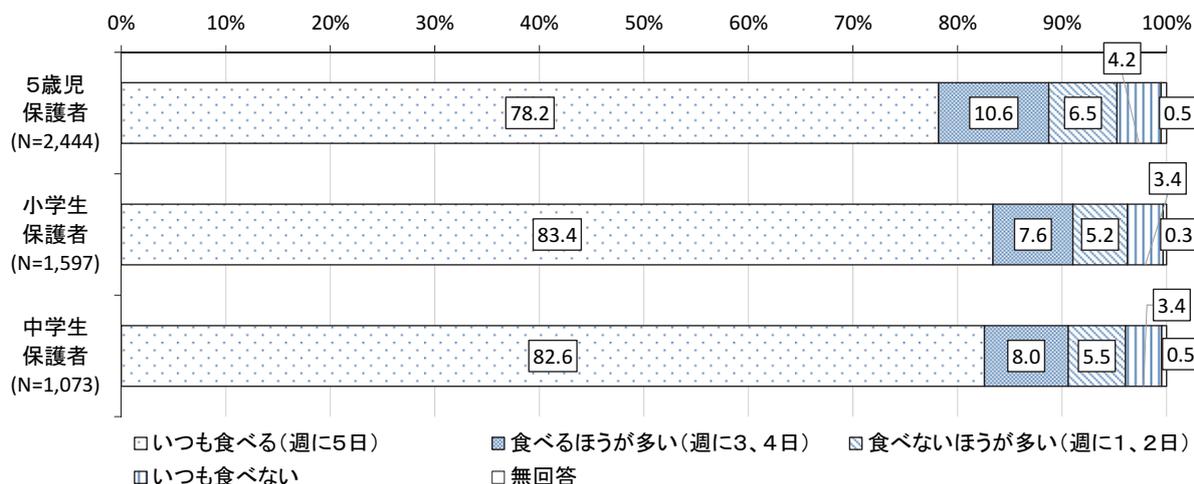
② 朝食の摂取

【5歳保問27・小中保問20】

回答者本人が平日に朝食を摂っているかを尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも約8割が「いつも食べる（週に5日）」と回答していた。

問 あなたは、平日に朝ごはんを食べますか

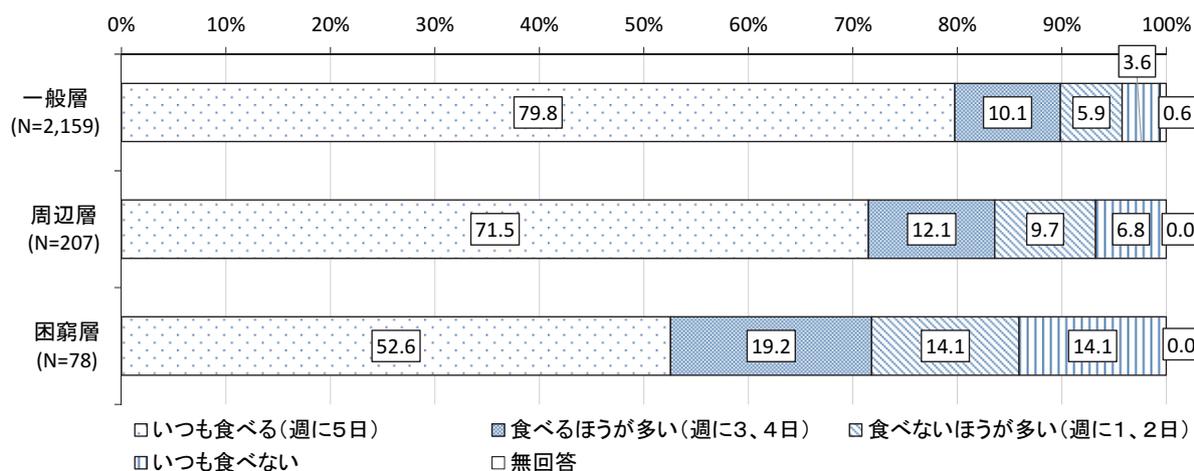
図表4-4-2-1 回答者の朝食の摂取 単純集計



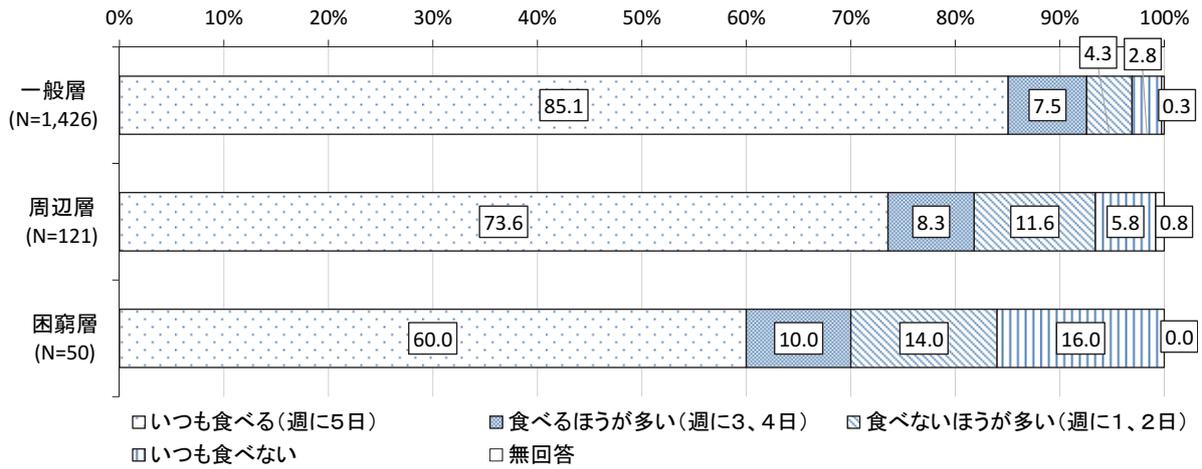
■生活困難層別

回答者本人が平日に朝食を摂っているかについての生活困難層別クロス集計の結果をみると、どの子どもの年齢・教育段階でも、生活困難度が高くなるにつれて「いつも食べる（週に5日）」の回答割合が低下していた。

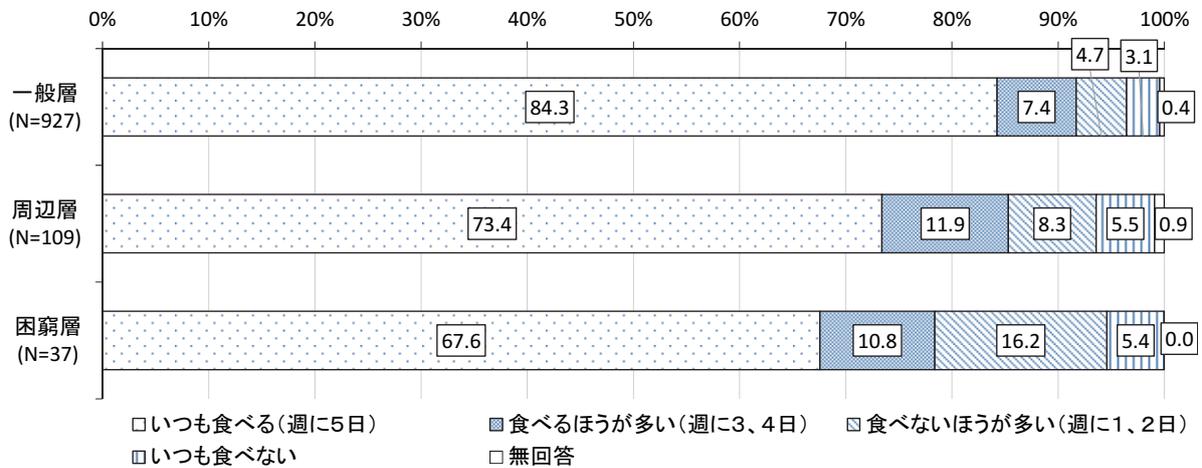
図表4-4-2-2 回答者の朝食の摂取 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-4-2-3 回答者の朝食の摂取 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



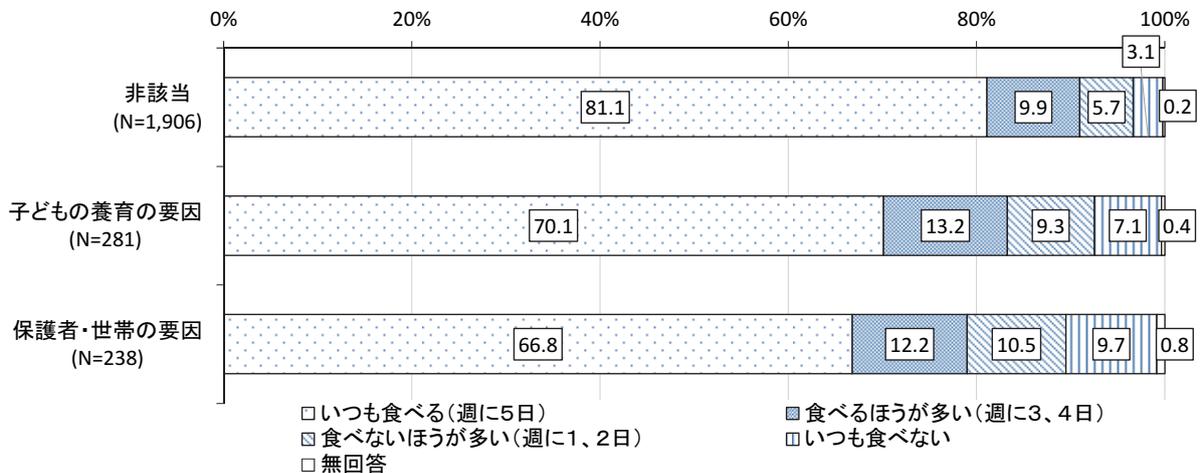
図表 4-4-2-4 回答者の朝食の摂取 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (**)



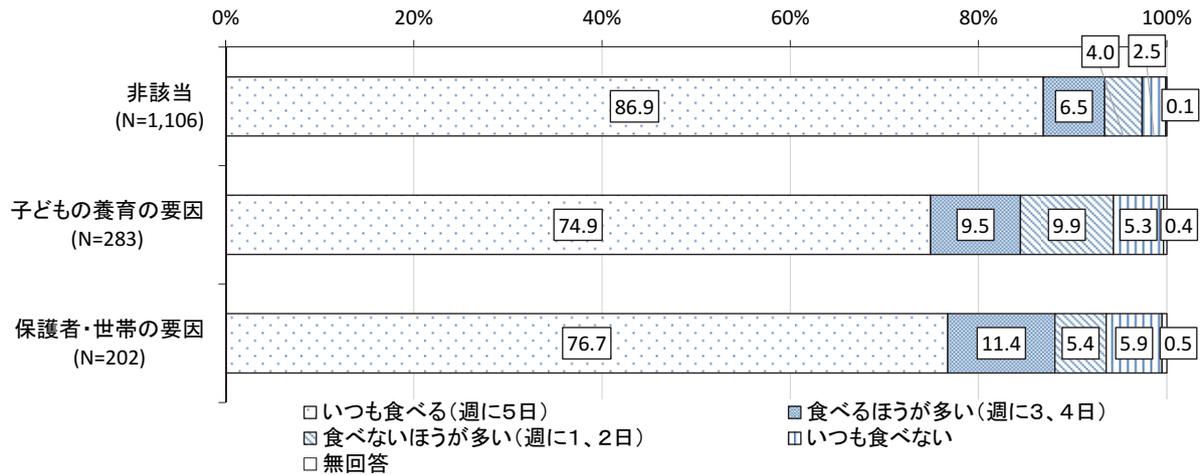
■ 潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に回答者本人の平日の朝食摂取についてみると、どの子どもの年齢・教育段階についても「いつも食べる(週に5日)」の回答割合が他の層よりも非該当層で高くなっていた。

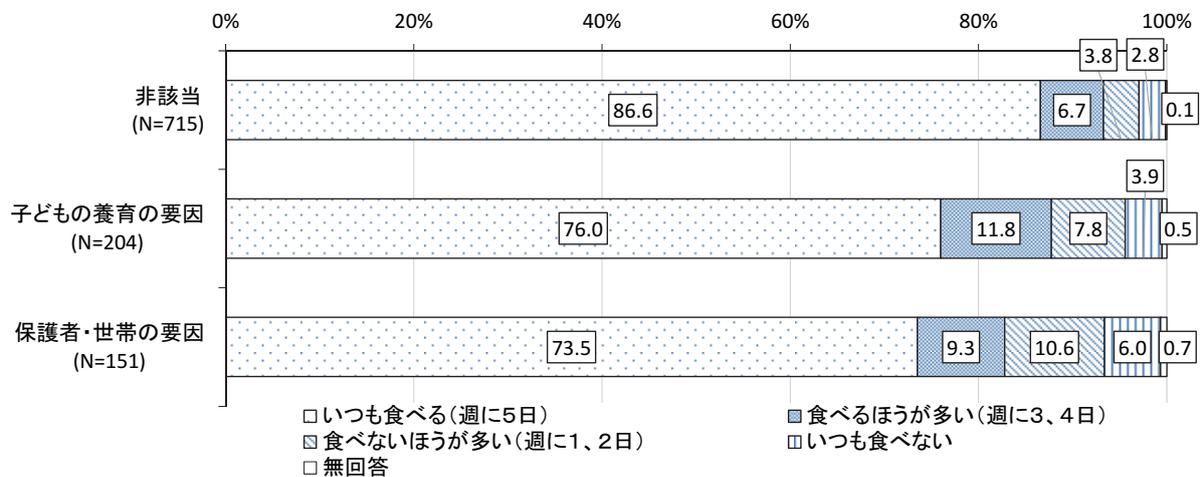
図表 4-4-2-5 回答者の朝食の摂取 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-4-2-6 回答者の朝食の摂取 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-4-2-7 回答者の朝食の摂取 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



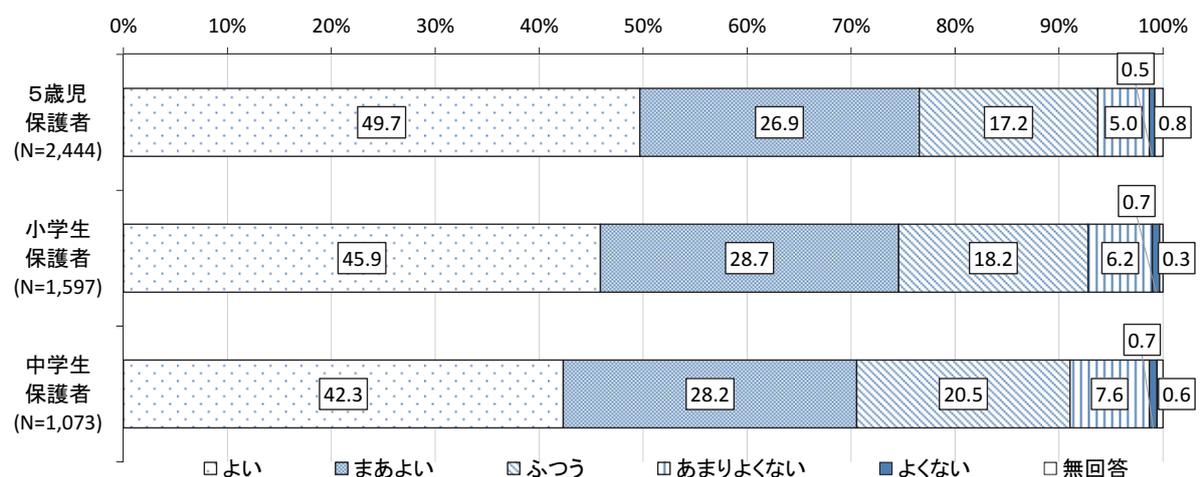
③ 健康状態の認識

【5歳保問 28・小中保問 21】

回答者本人の健康状態について尋ねたところ、「よい」「まあよい」の回答割合の合計は、5歳児保護者で76.6%、小学生保護者で74.6%、中学生保護者で70.5%となっていた。

問 あなたの健康状態についてうかがいます

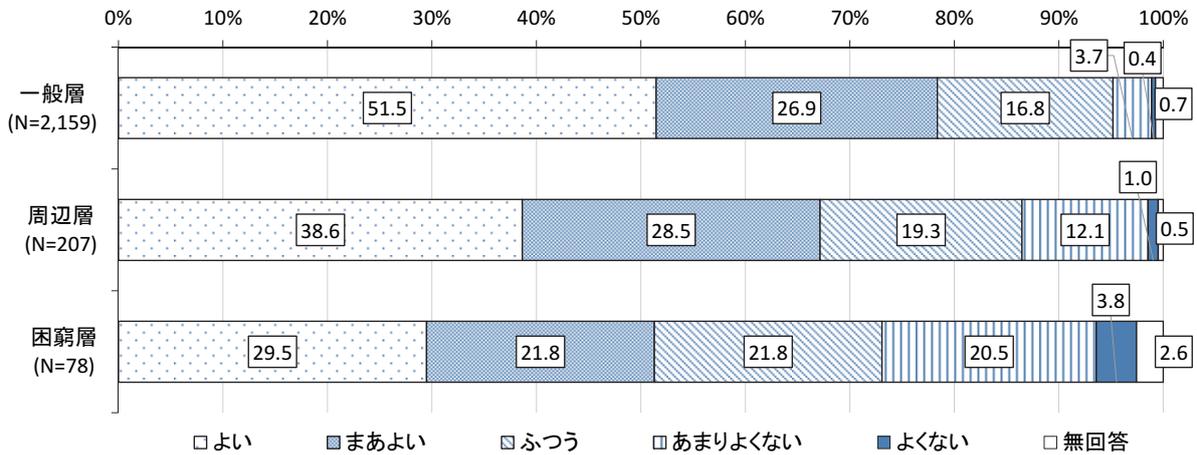
図表 4-4-3-1 回答者の健康状態の認識 単純集計



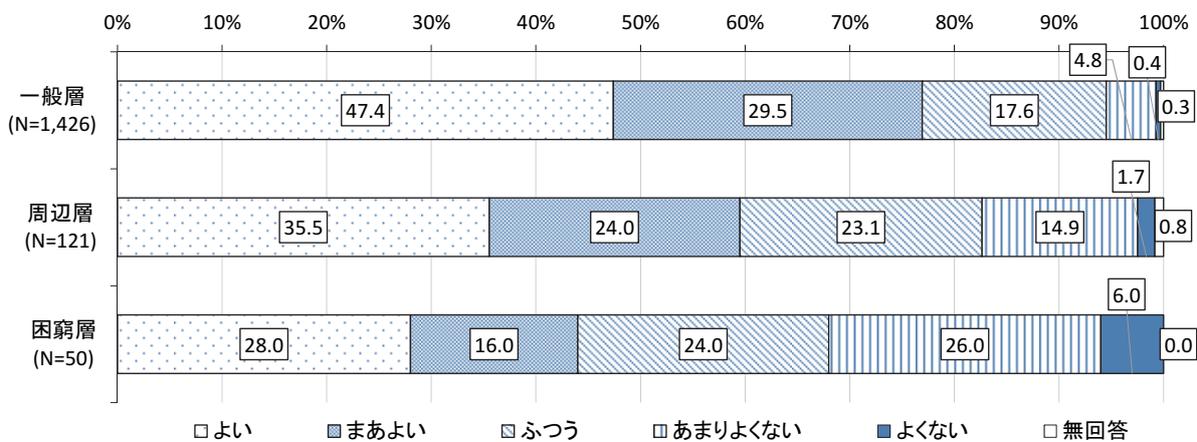
■生活困難層別

回答者本人の健康状態について生活困難層別クロス集計の結果をみると、5歳児保護者・小学生保護者においては、生活困難度が高くなるにつれて「よい」「まあよい」と答えた割合の合計が低くなっていった。中学生保護者では一般層に比べて生活困難層の方が「よい」「まあよい」と答えた割合が低くなっていた。

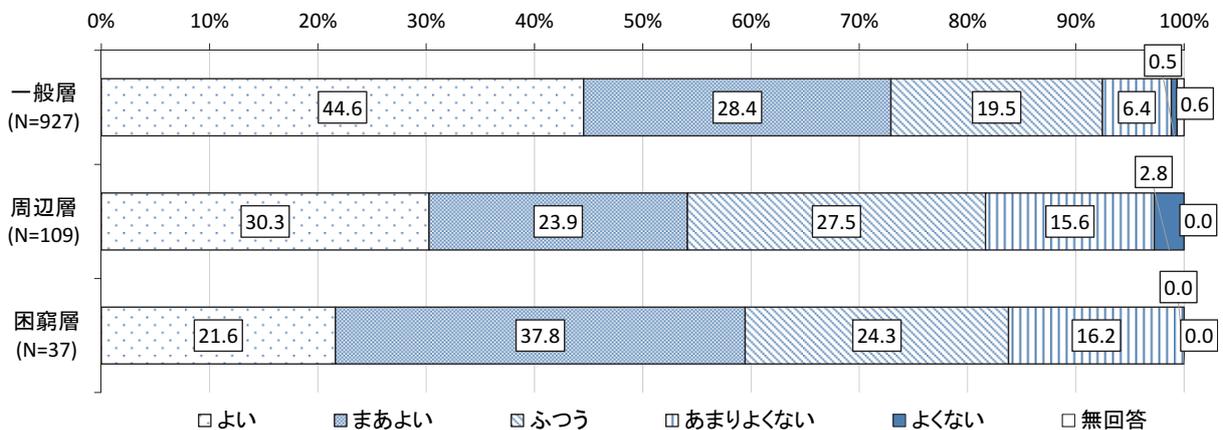
図表 4-4-3-2 回答者の健康状態の認識 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-4-3-3 回答者の健康状態の認識 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-4-3-4 回答者の健康状態の認識 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)

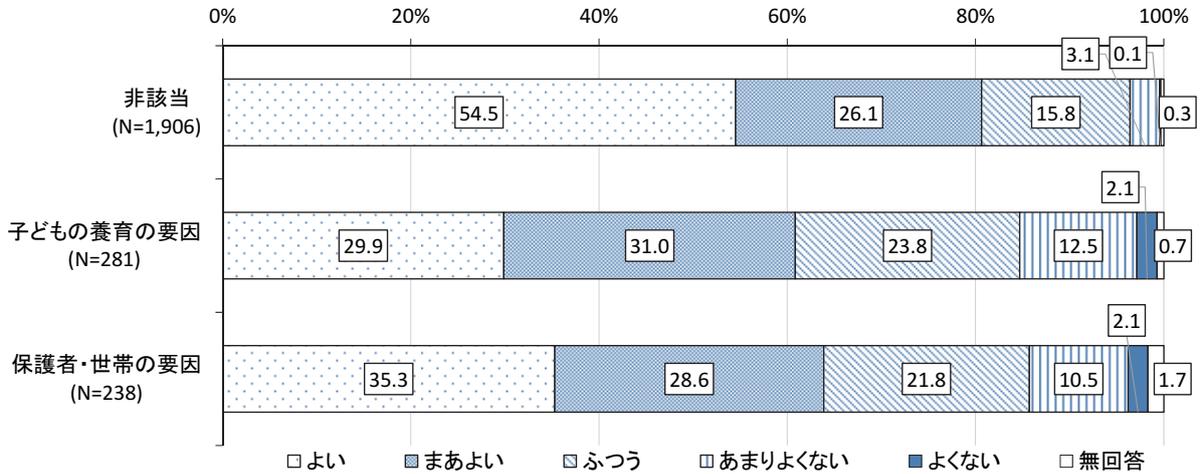


■潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に回答者本人の健康状態についてみると、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、「子どもの養育の要因」層で「よい」「まあよい」の回答割合の合計が他の層よりも低くなっていた。

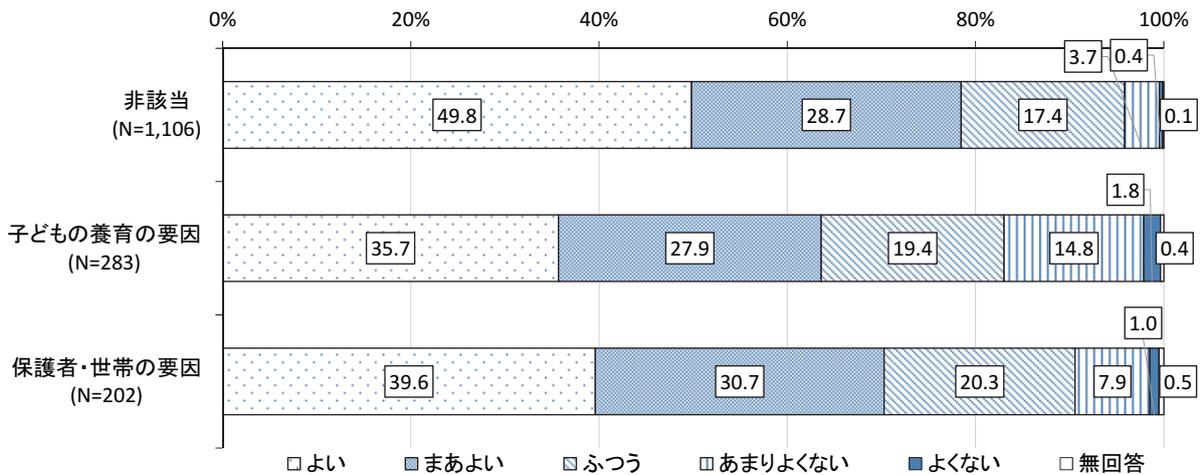
図表 4-4-3-5 回答者の健康状態の認識

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



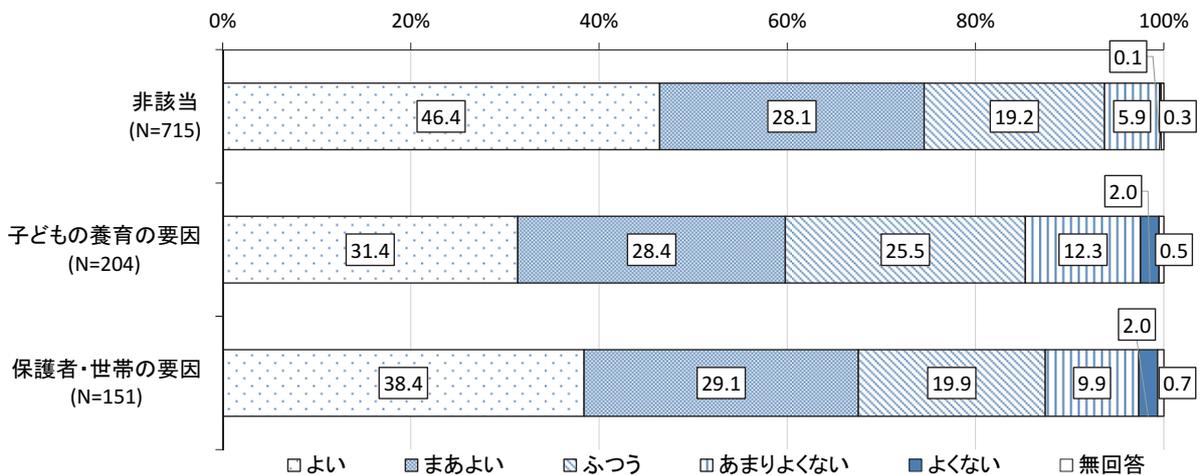
図表 4-4-3-6 回答者の健康状態の認識

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-4-3-7 回答者の健康状態の認識

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



④ うつ傾向

【5歳保問29・小中保問22】

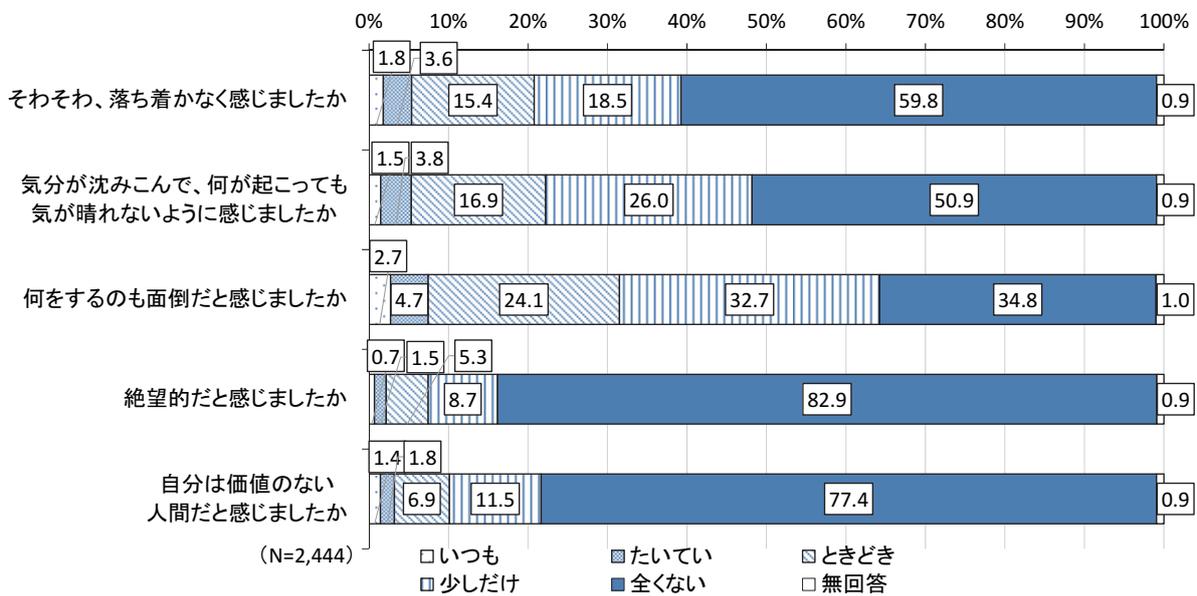
回答者本人のうつ傾向について、「いつも」「たいてい」と回答した割合の合計をみると、「何をするのも面倒だと感じましたか」については、5歳児保護者は7.4%、小学生保護者は9.4%、中学生保護者は9.6%となっていた。

「絶望的だと感じましたか」については、5歳児保護者は2.2%、小学生保護者は2.3%、中学生保護者は2.4%となっていた。

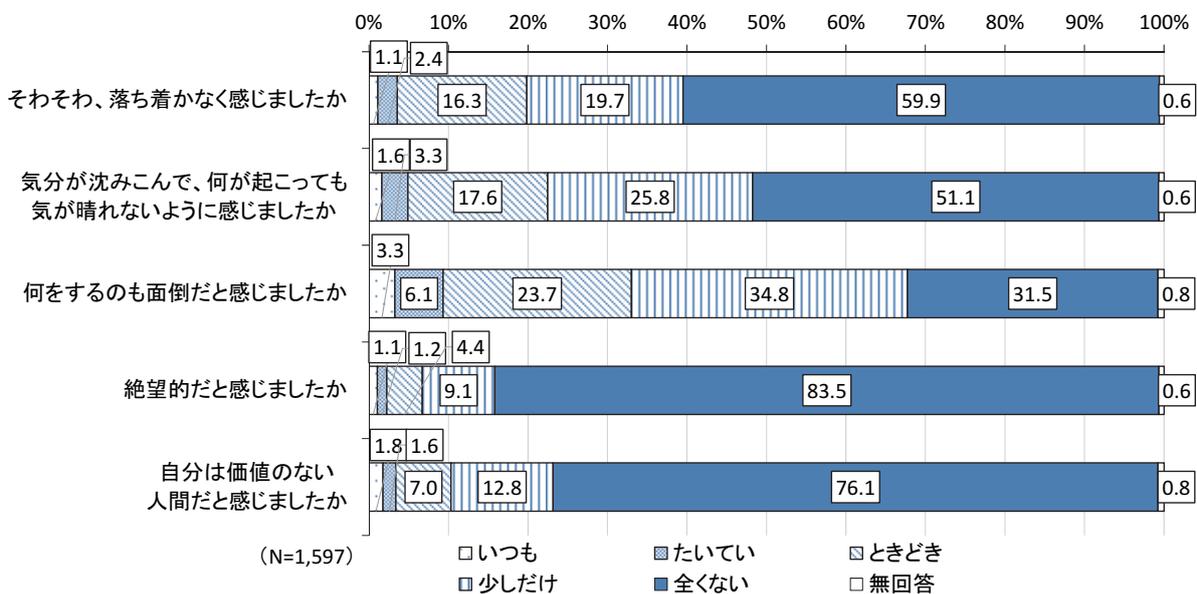
「自分は価値のない人間だと感じましたか」については5歳児保護者は3.2%、小学生保護者は3.4%、中学生保護者は3.8%となっていた。

問 次の質問について、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか

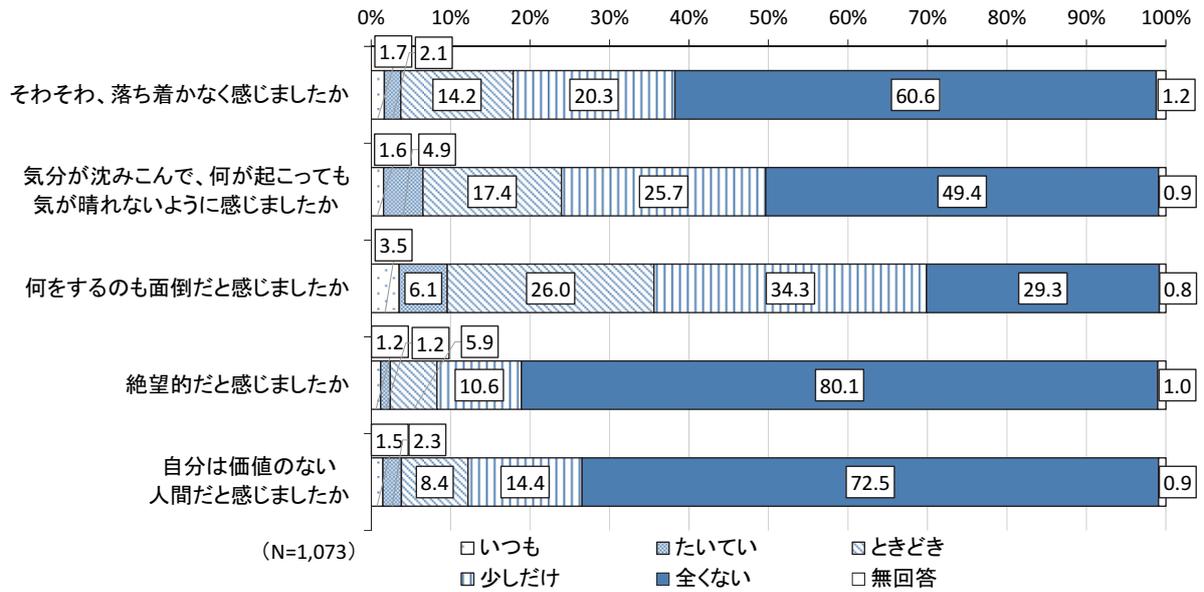
図表4-4-4-1 うつ傾向 単純集計 5歳児保護者



図表4-4-4-2 うつ傾向 単純集計 小学生保護者



図表 4-4-4-3 うつ傾向 単純集計 中学生保護者

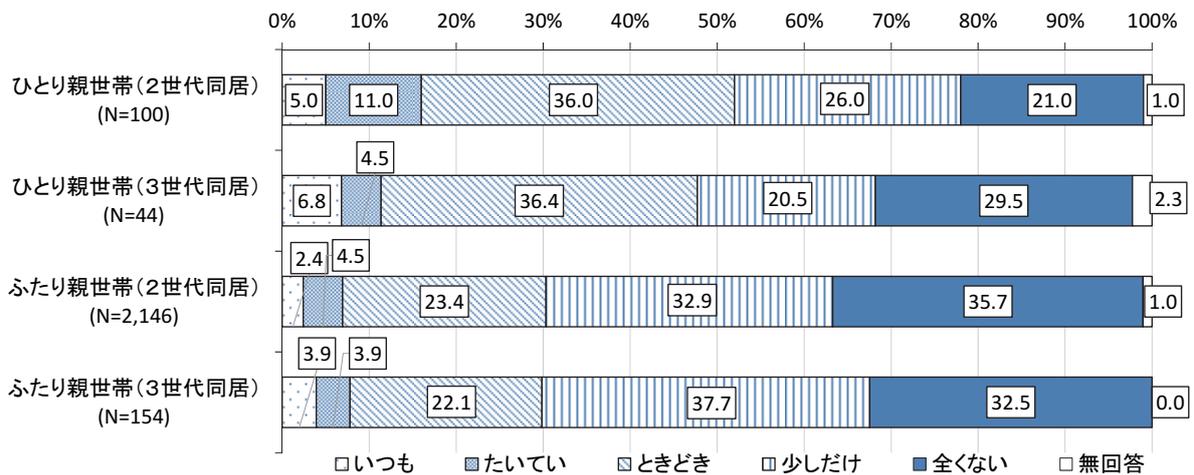


■ 世帯タイプ別

回答者本人のうつ傾向について、ひとり親世帯（2世代同居）の5歳児保護者が「いつも」「たいてい」と回答した割合の合計をみると、「何をするのも面倒だと感じましたか」は16.0%、「絶望的だと感じましたか」は8.0%、「自分は価値のない人間だと感じましたか」は8.0%となっていた。

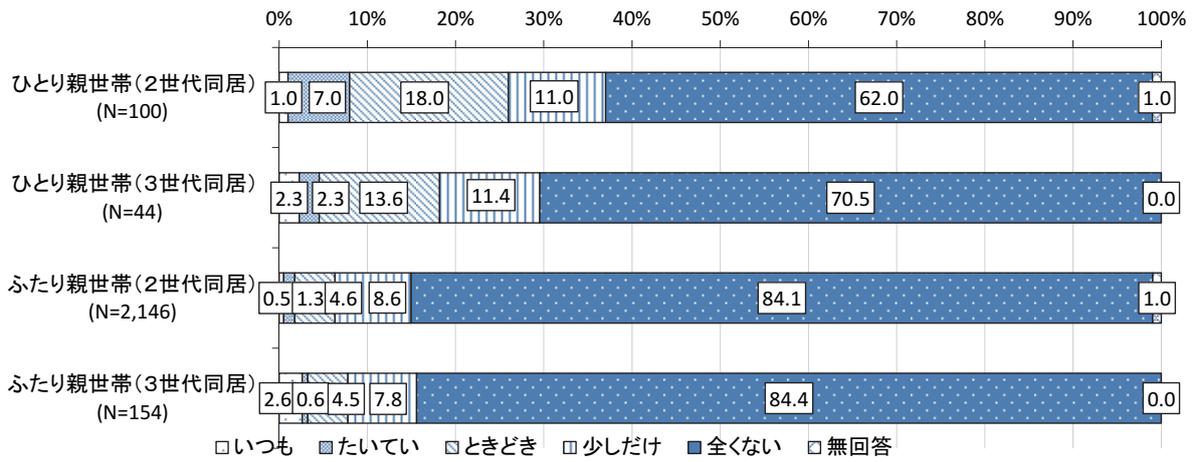
図表 4-4-4-4 うつ傾向：何をするのも面倒だと感じましたか

世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



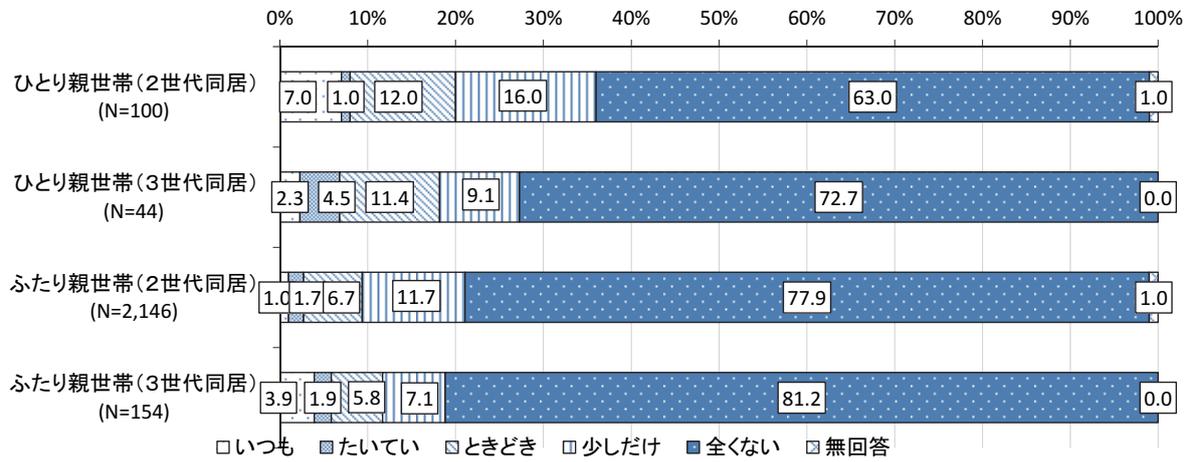
図表 4-4-4-5 うつ傾向：絶望的だと感じましたか

世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-4-4-6 うつ傾向：自分は価値のない人間だと感じましたか

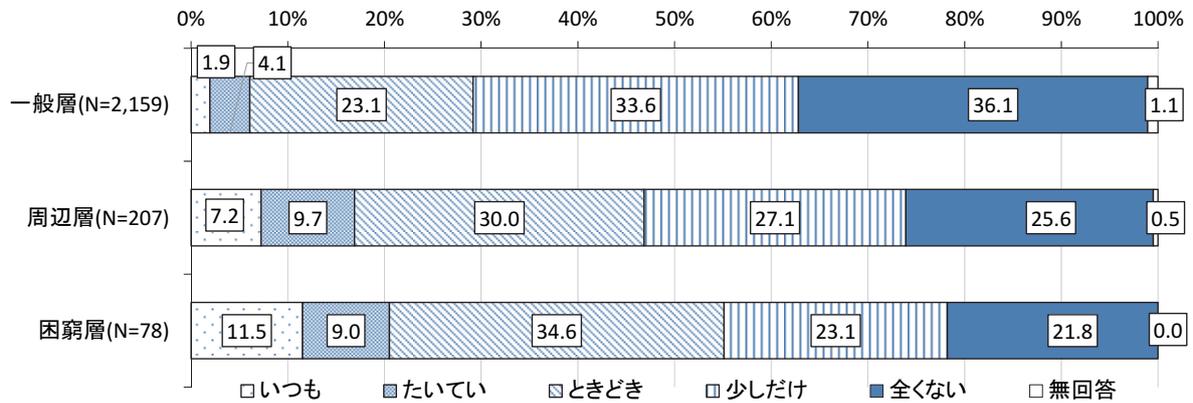
世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



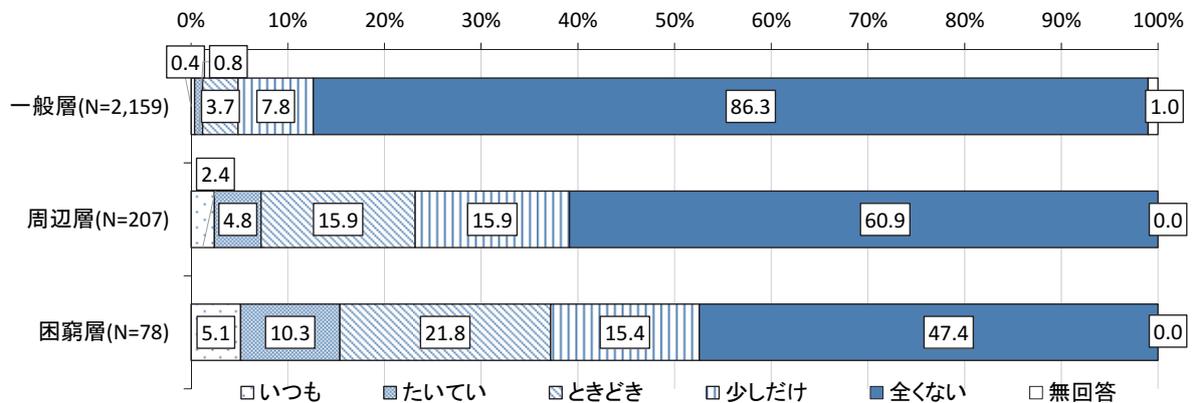
■生活困難層別

回答者本人のうつ傾向について、困窮層の5歳児保護者が「いつも」「たいてい」と回答した割合の合計をみると、「何をするのも面倒だと感じましたか」は20.5%、「絶望的だと感じましたか」は15.4%、「自分は価値のない人間だと感じましたか」は16.7%となっていた。

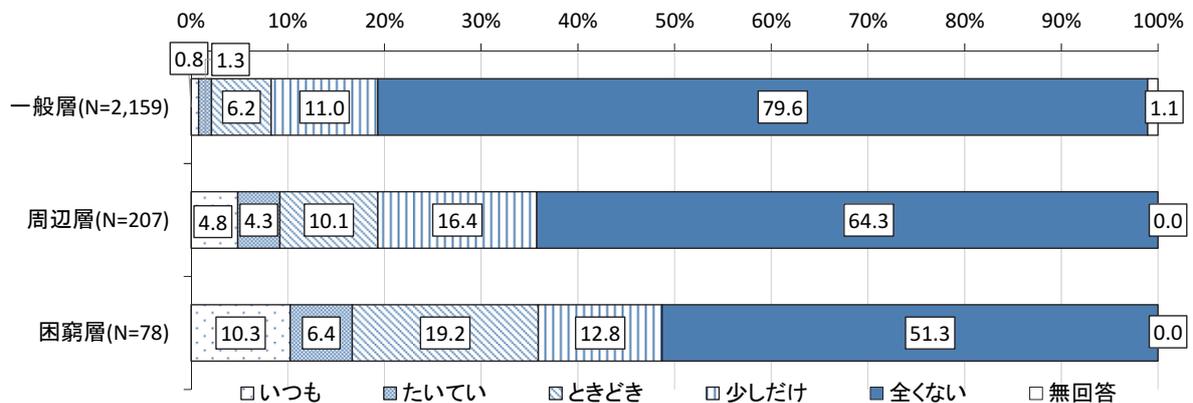
図表4-4-4-7 うつ傾向：何をするのも面倒だと感じましたか
生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表4-4-4-8 うつ傾向：絶望的だと感じましたか
生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表4-4-4-9 うつ傾向：自分は価値のない人間だと感じましたか
生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)

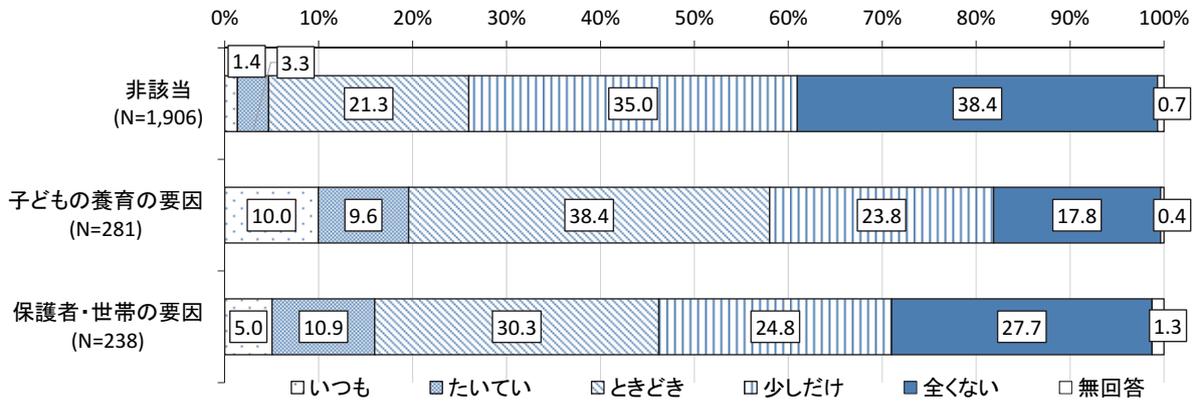


■潜在的養育困難層別

回答者本人のうつ傾向について、「子どもの養育の要因」層に該当する5歳児保護者が「いつも」「たいてい」と回答した割合の合計をみると、「何をするのも面倒だと感じましたか」は19.6%、「絶望的だと感じましたか」は7.8%、「自分は価値のない人間だと感じましたか」は12.5%となっていた。

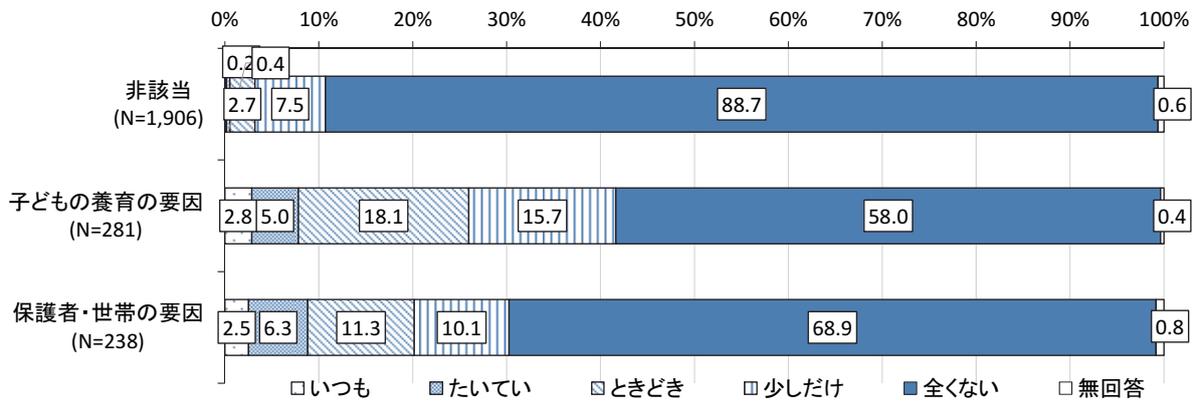
図表4-4-4-10 うつ傾向：何をするのも面倒だと感じましたか

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



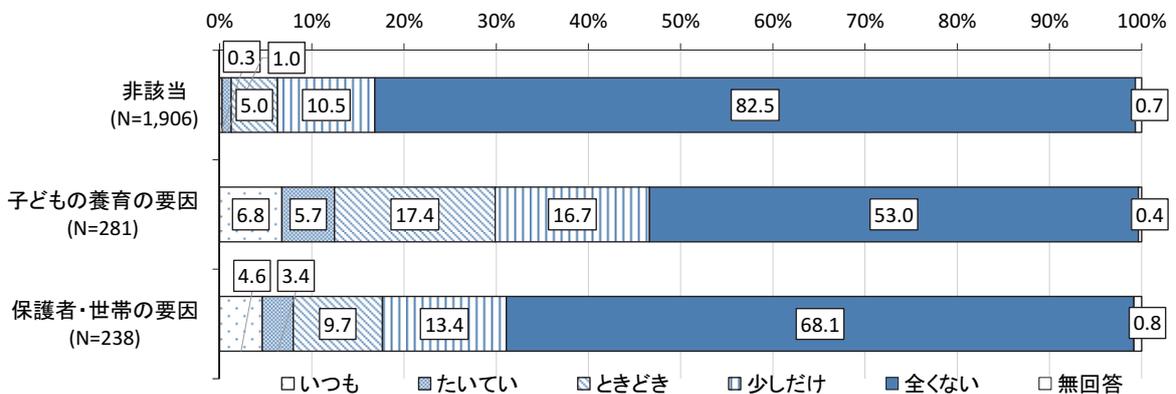
図表4-4-4-11 うつ傾向：絶望的だと感じましたか

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表4-4-4-12 うつ傾向：自分は価値のない人間だと感じましたか

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



⑤ 相談相手等

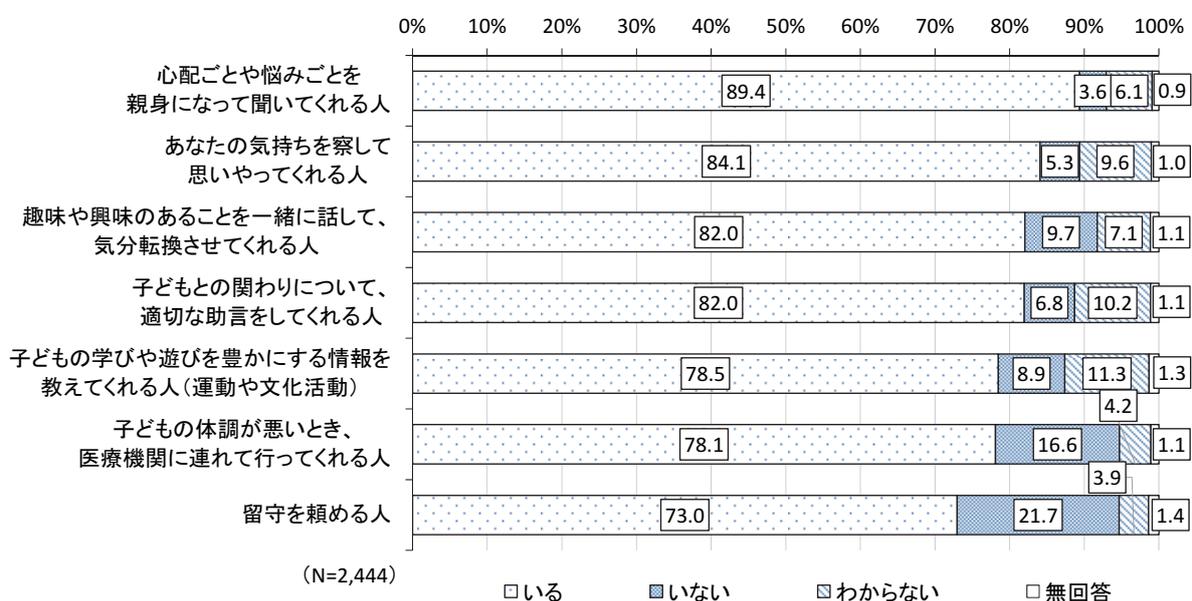
【5歳児保問 30～31・小中保問 23～24】

様々な面で支えたり手伝ったりしてくれる人の有無を尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも「留守を頼める人」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」について「いない」と回答する割合が比較的高かった。

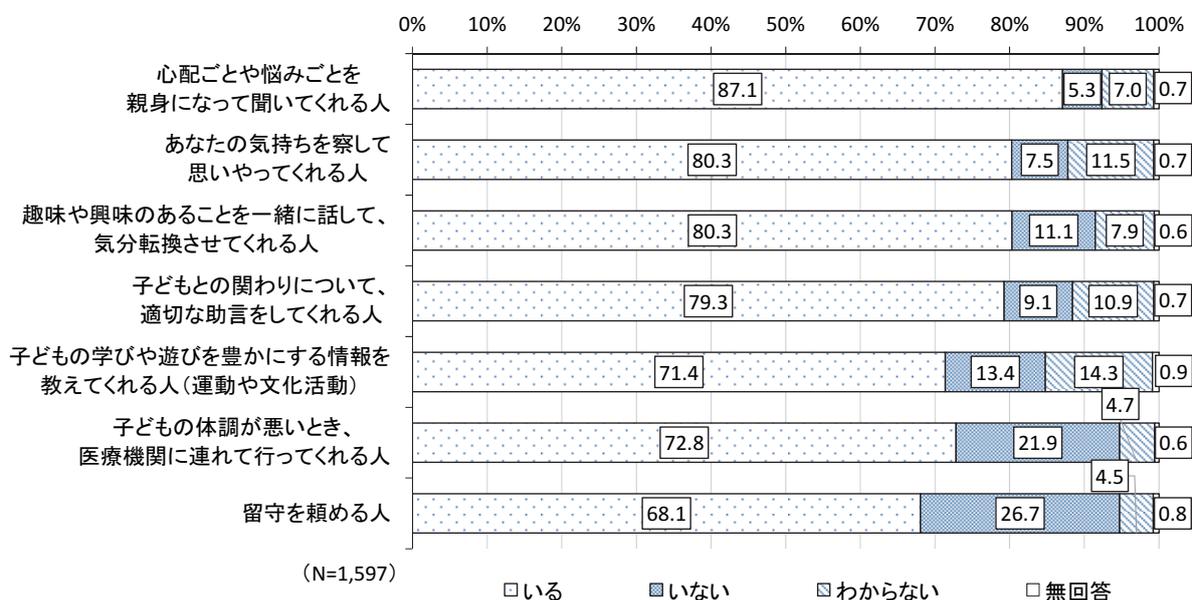
また相談相手や相談先について尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも「配偶者・パートナー」「自分の親」の回答割合が比較的高かった。「相談できる相手がない」という回答は、5歳児保護者で1.3%、小学生保護者で1.8%、中学生保護者で1.5%であった。

問 次のような人について、同居しているご家族を含め、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか

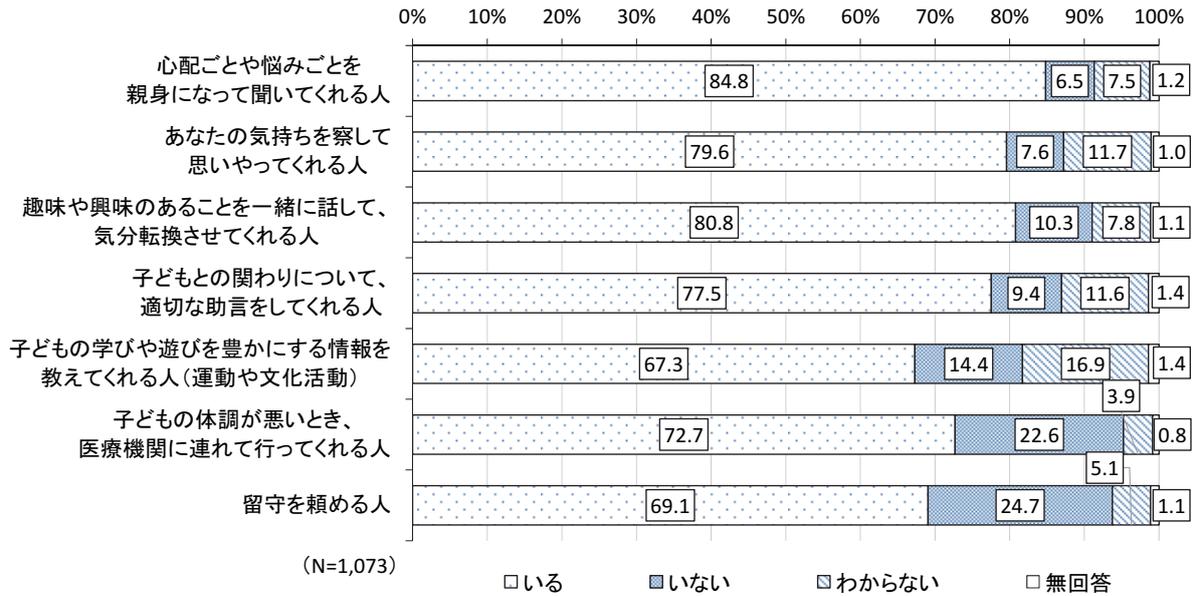
図表 4-4-5-1 支えてくれる人・手伝ってくれる人 単純集計 5歳児保護者



図表 4-4-5-2 支えてくれる人・手伝ってくれる人 単純集計 小学生保護者

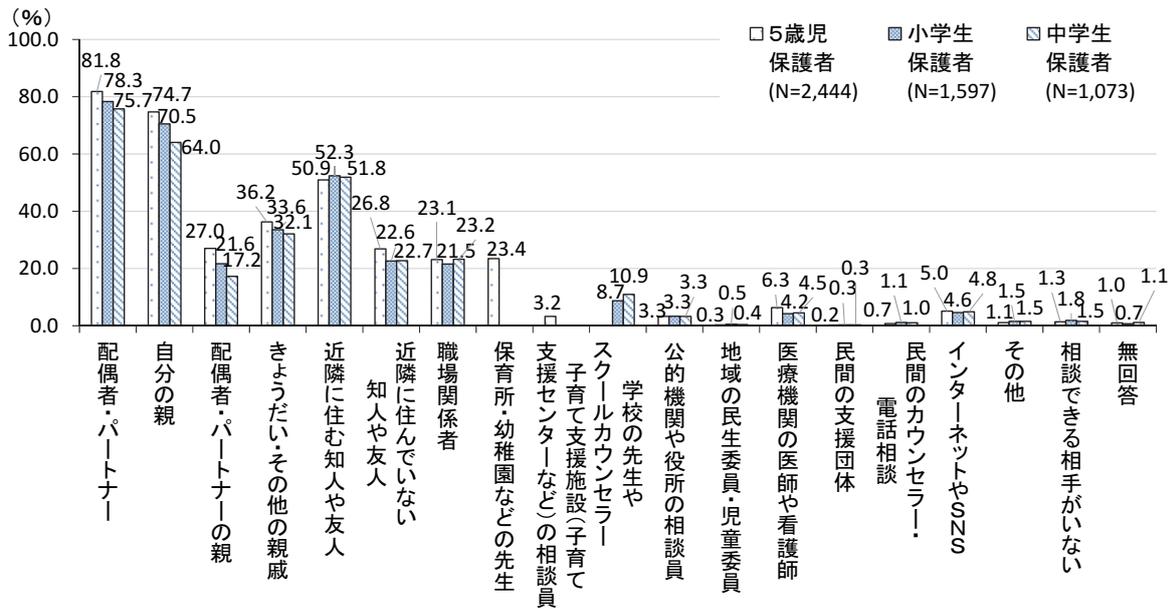


図表 4-4-5-3 支えてくれる人・手伝ってくれる人 単純集計 中学生保護者



問 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか（複数回答）

図表 4-4-5-4 相談相手・相談先 単純集計

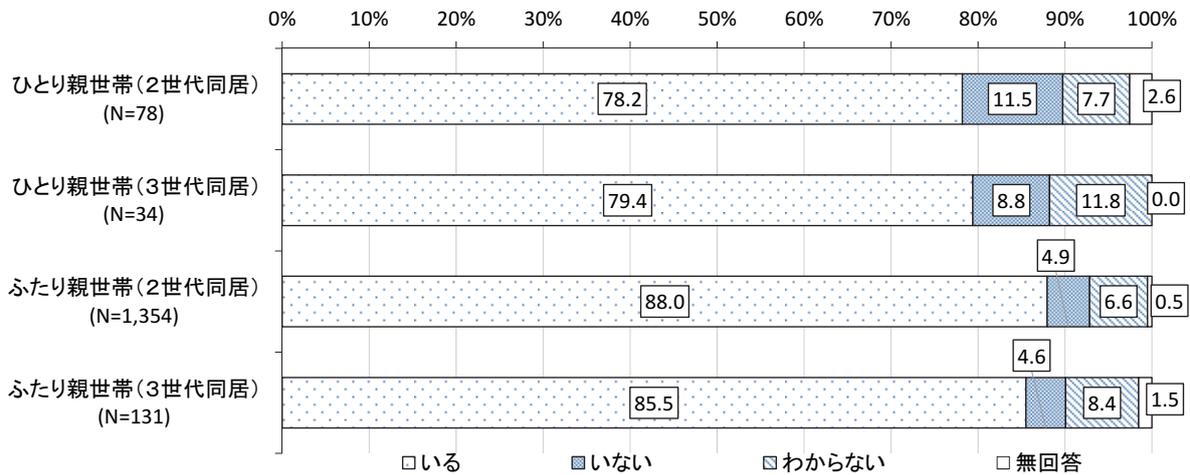


※「保育所・幼稚園などの先生」「子育て支援施設(子育て支援センターなど)の相談員」の項目は5歳児保護者のみ、「学校の先生やスクールカウンセラー」の項目は小学生保護者・中学生保護者のみに尋ねている。

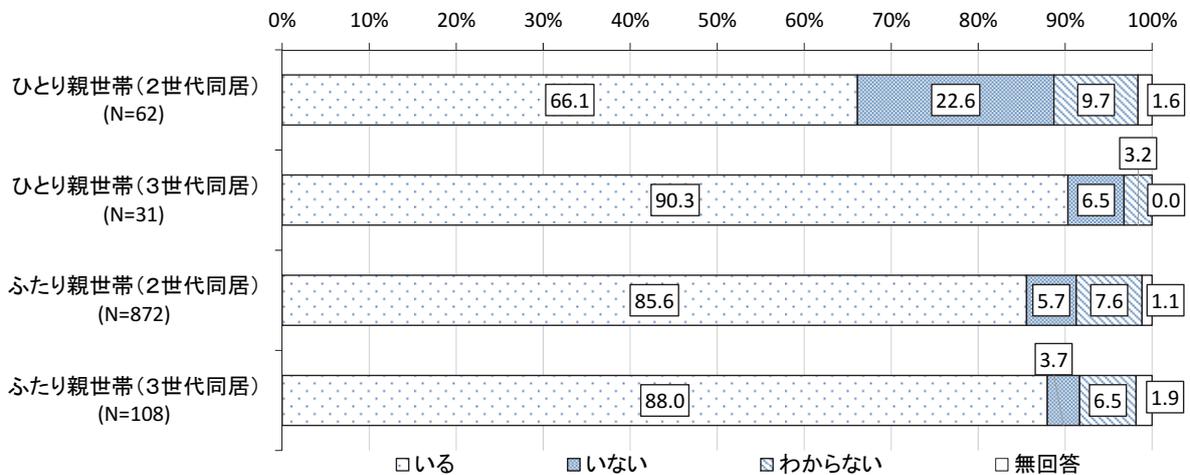
■ 世帯タイプ別

世帯タイプ別に、様々な面で支えたり手伝ったりしてくれる人の有無についての回答結果をクロス集計すると、小学生保護者・中学生保護者の「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」など⁴について、ひとり親世帯（2世代同居）での「いない」という回答の割合が、他の世帯タイプのものより高くなっていた。

図表 4-4-5-5 支えてくれる人・手伝ってくれる人：心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-4-5-6 支えてくれる人・手伝ってくれる人：心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



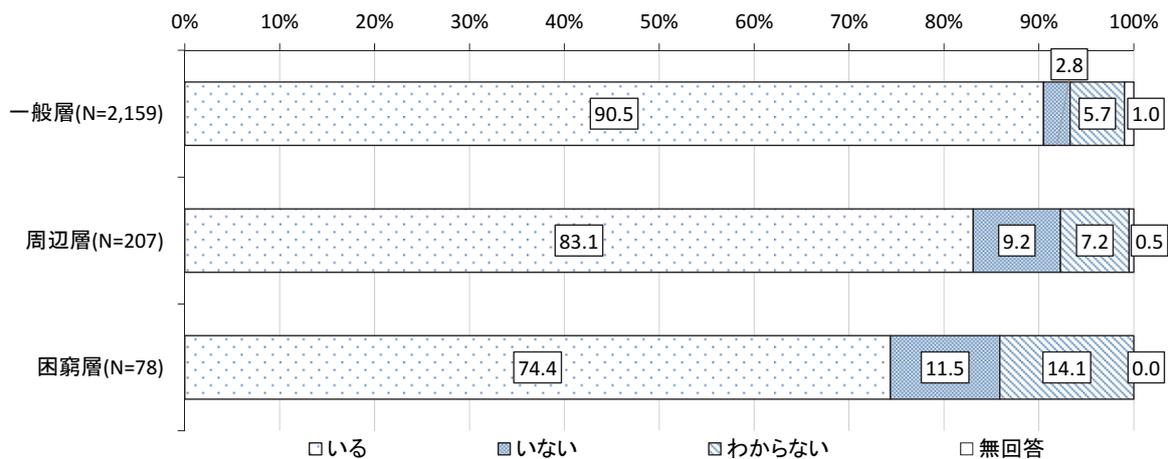
⁴ ひとり親世帯（2世代同居）で「いない」の回答割合が高かった他の項目は、小学生保護者では「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」、中学生保護者では「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」であった。

■生活困難層別

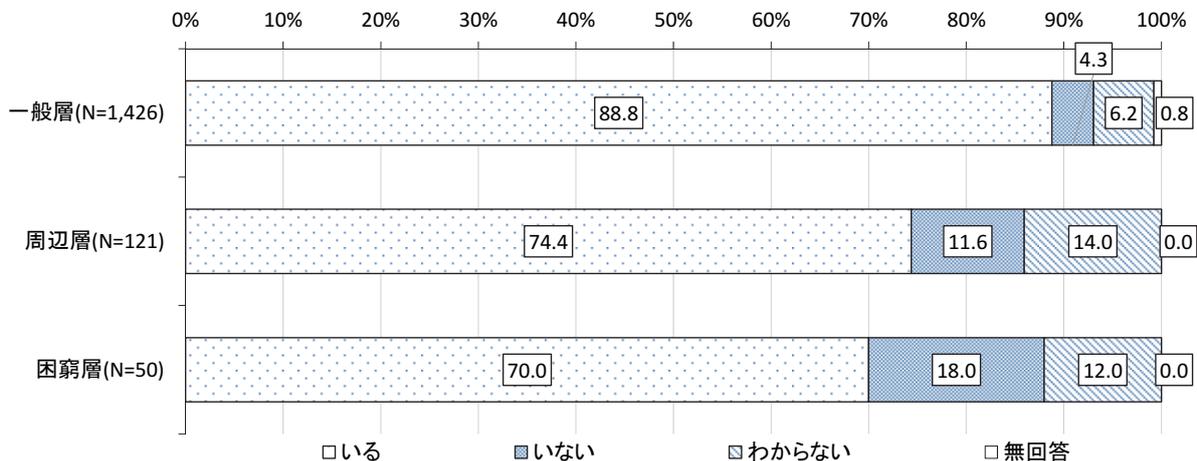
様々な面で支えたり手伝ったりしてくれる人の有無について生活困難層別にみると、例えば「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」について、どの子どもの年齢・教育段階でも、生活困難度が高くなるにつれて「いない」と回答する割合が高くなっていった。同様の傾向がほぼすべての項目についてみられた。⁵

また相談相手や相談先についての生活困難層別クロス集計をすると、5歳児保護者・小学生保護者では「相談できる相手がいない」について生活困難度が上がるにつれて回答割合が高くなっていった。

図表4-4-5-7 支えてくれる人・手伝ってくれる人：心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)

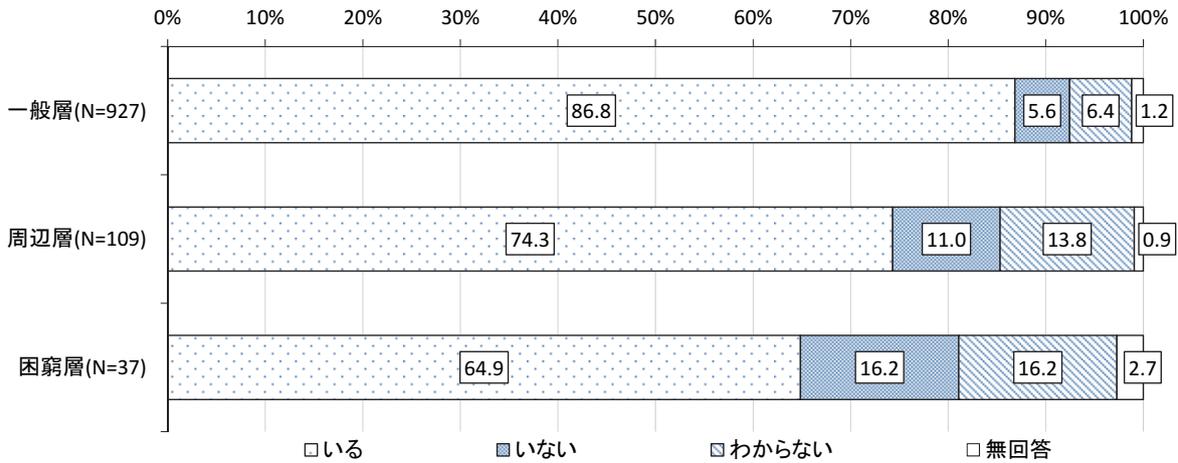


図表4-4-5-8 支えてくれる人・手伝ってくれる人：心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)

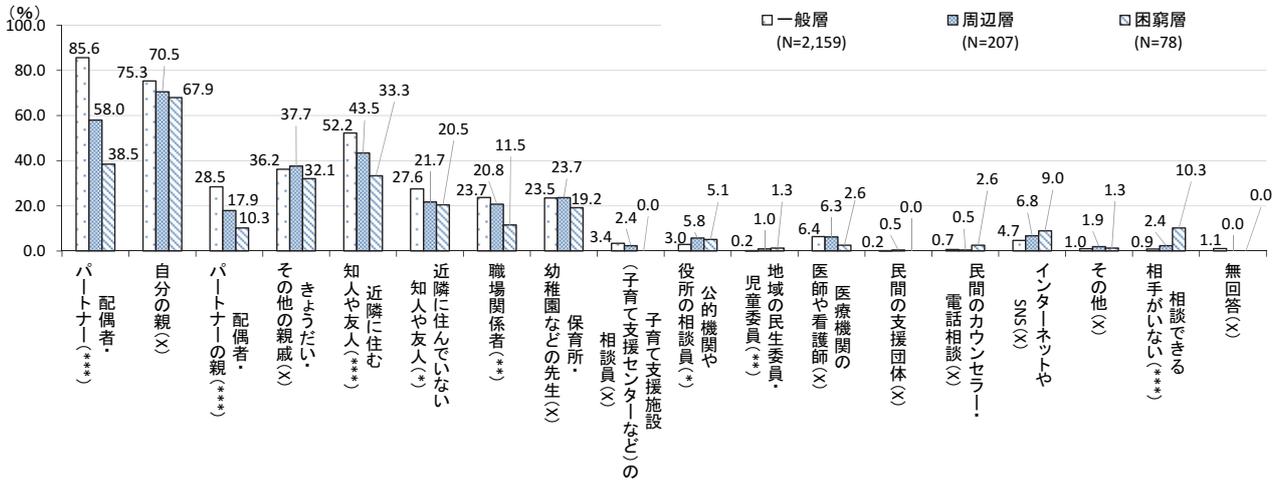


⁵ 同様となっていなかったのは中学生保護者の「留守を頼める人」で、「いない」の回答割合が一般層 24.3%、周辺層 22.9%、困窮層 40.5%であり、統計的に有意な差はなかった。

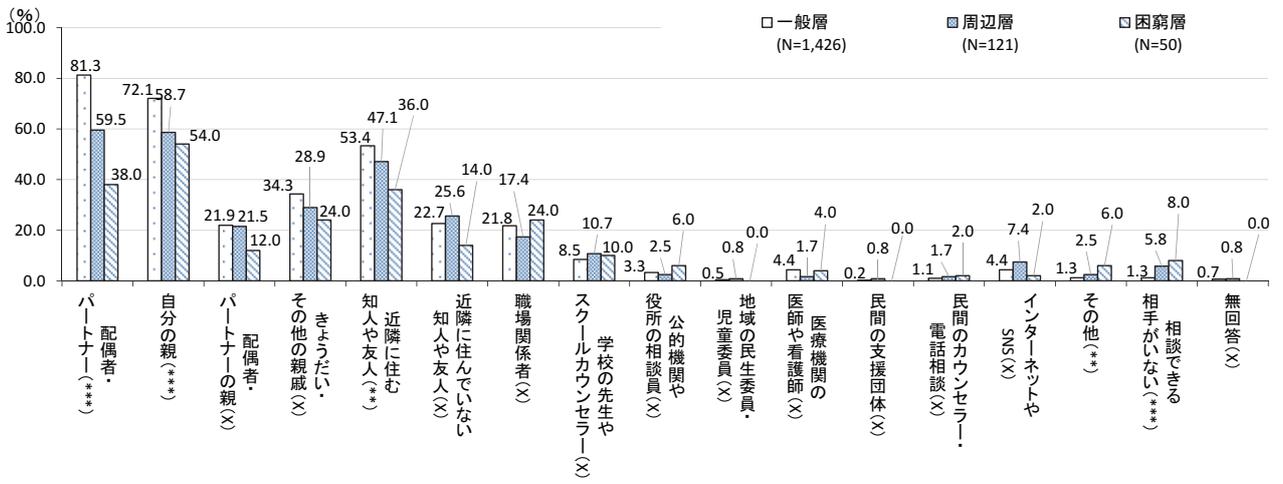
図表4-4-5-9 支えてくれる人・手伝ってくれる人：心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



図表4-4-5-10 相談相手・相談先 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表4-4-5-11 相談相手・相談先 生活困難層別クロス集計 小学生保護者

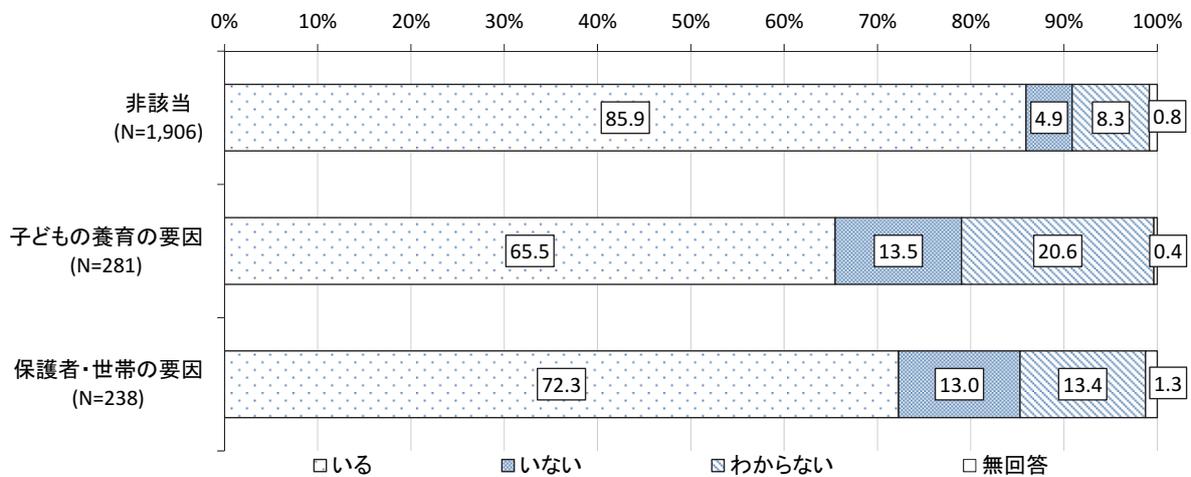


■潜在的養育困難層別

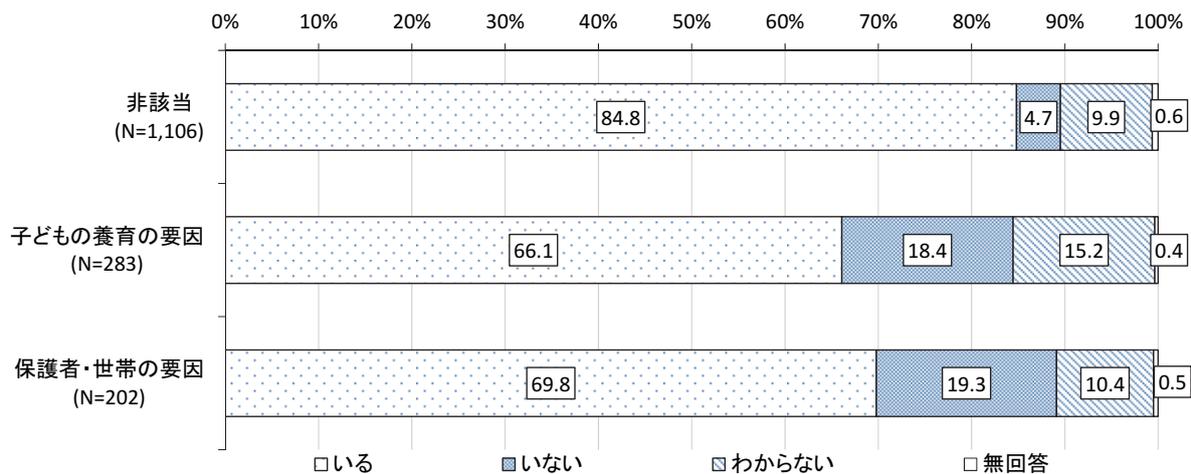
潜在的養育困難層別に様々な面で支えたり手伝ったりしてくれる人の有無についてクロス集計をすると、例えば「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」をみると、非該当層よりも潜在的養育困難層の方が「いない」と回答する割合が高くなっていました。また他の項目については特に「子どもの養育の要因」層で「いない」の回答割合が高くなっていました。⁶

相談相手や相談先について潜在的養育困難層別にみると、どの子どもの年齢・教育段階でも「配偶者・パートナー」「自分の親」「近隣に住む知人や友人」において非該当層と比べて潜在的養育困難層の回答割合が低くなっていたほか、「子どもの養育の要因」層の「相談できる相手がいない」の回答割合が他の層よりも高くなっていました。

図表 4-4-5-12 支えてくれる人・手伝ってくれる人：子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)

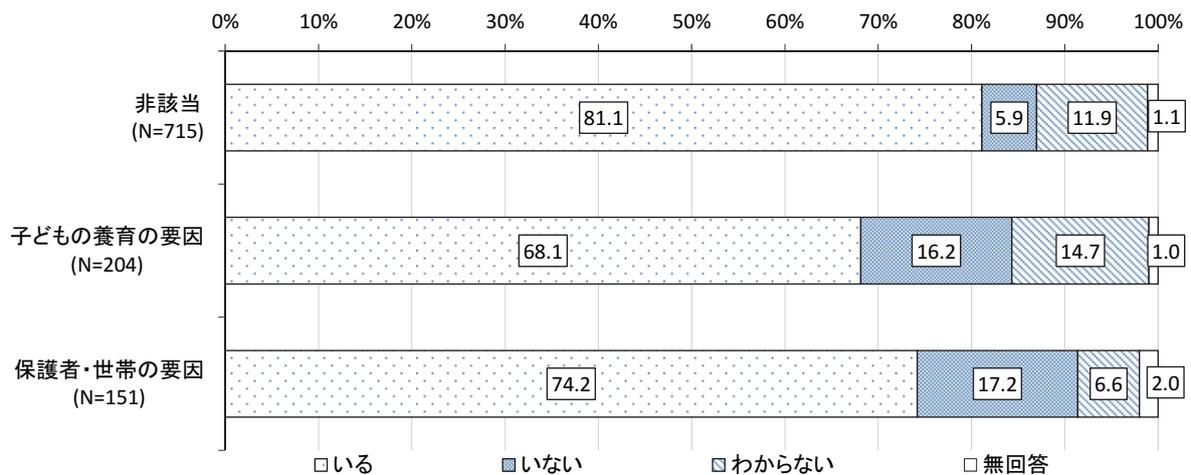


図表 4-4-5-13 支えてくれる人・手伝ってくれる人：子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)

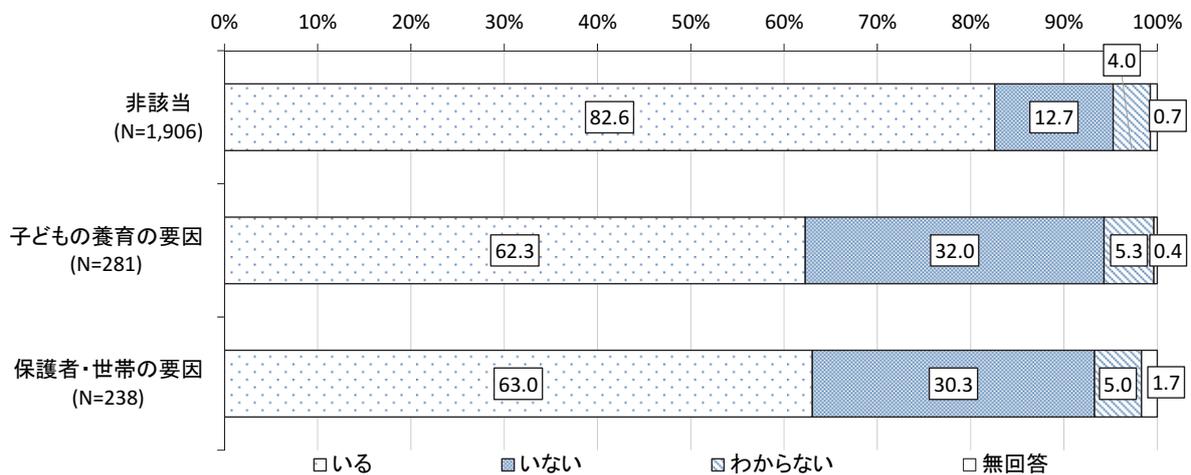


⁶ ただし「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の項目については、潜在的養育困難層「保護者の状況」の判定に用いている選択肢であるため、この限りではない。

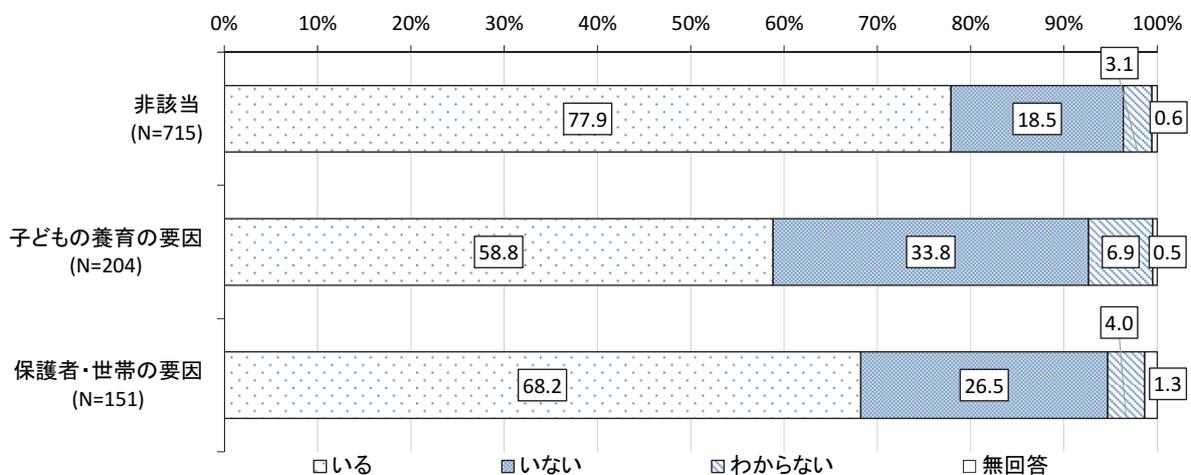
図表 4-4-5-14 支えてくれる人・手伝ってくれる人：子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



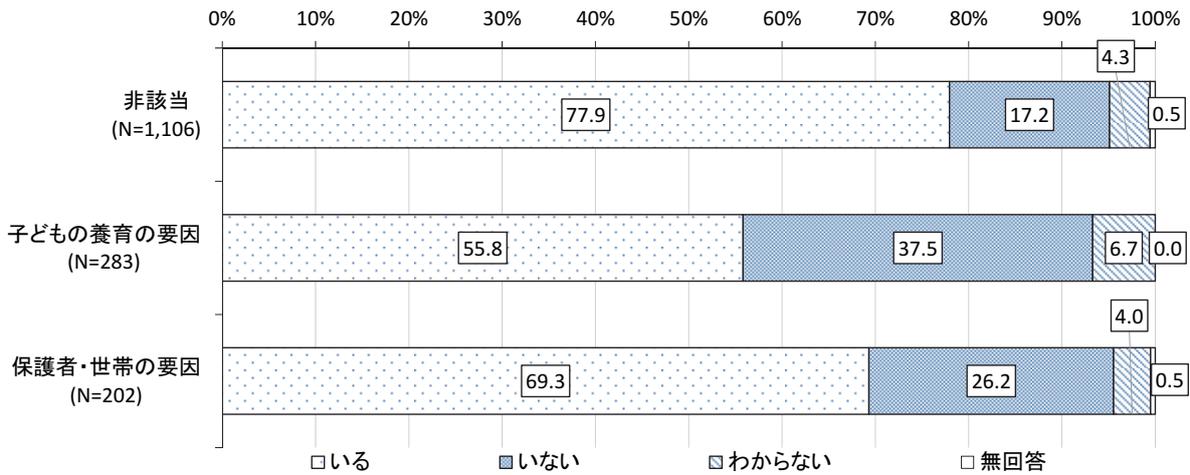
図表 4-4-5-15 支えてくれる人・手伝ってくれる人：子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



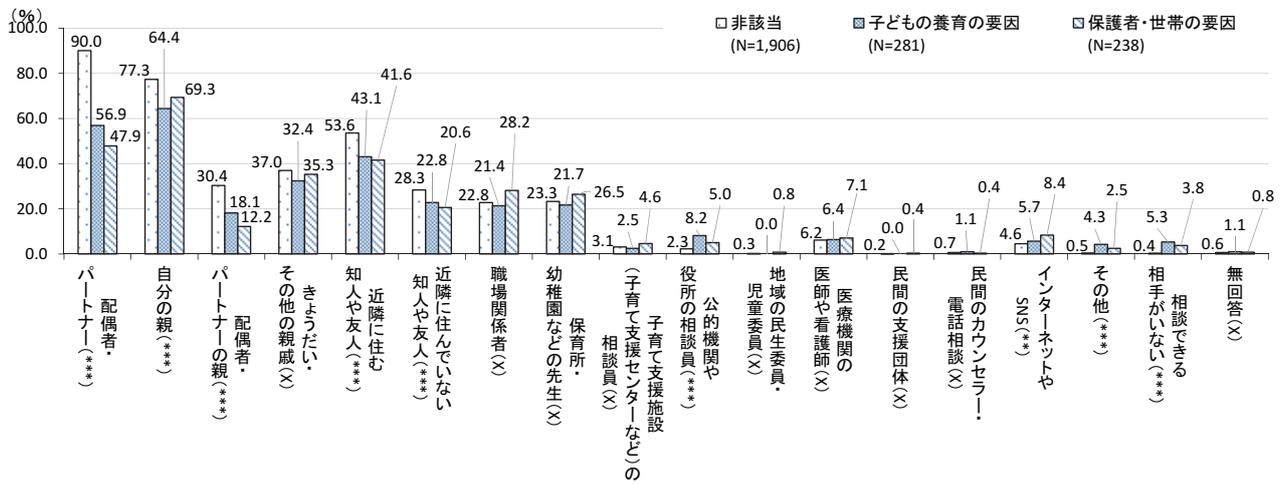
図表 4-4-5-16 支えてくれる人・手伝ってくれる人：子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



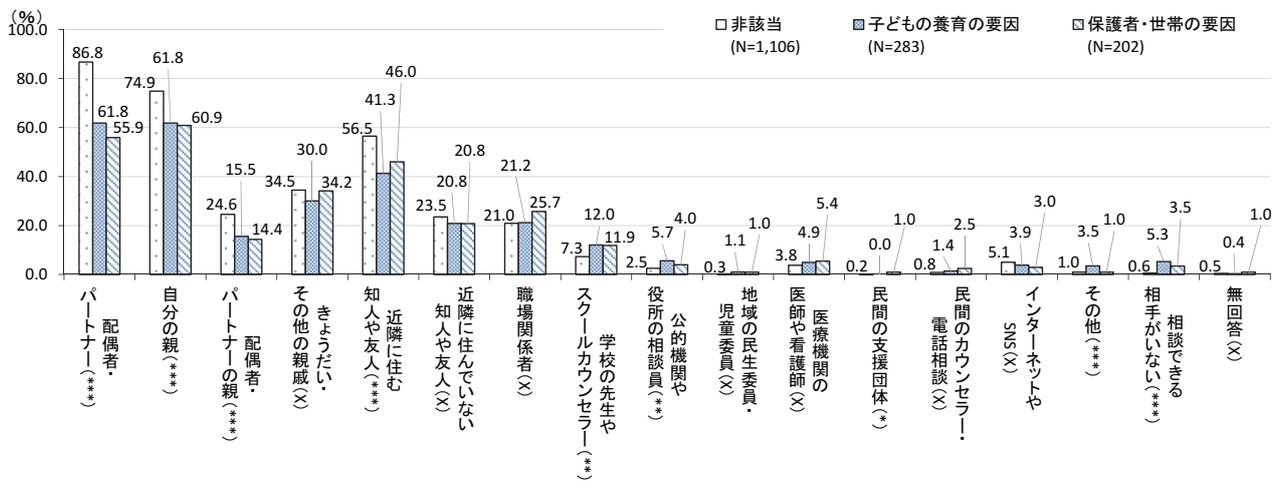
図表 4-4-5-17 支えてくれる人・手伝ってくれる人子どもの体調が悪いとき、
医療機関に連れて行ってくれる人 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



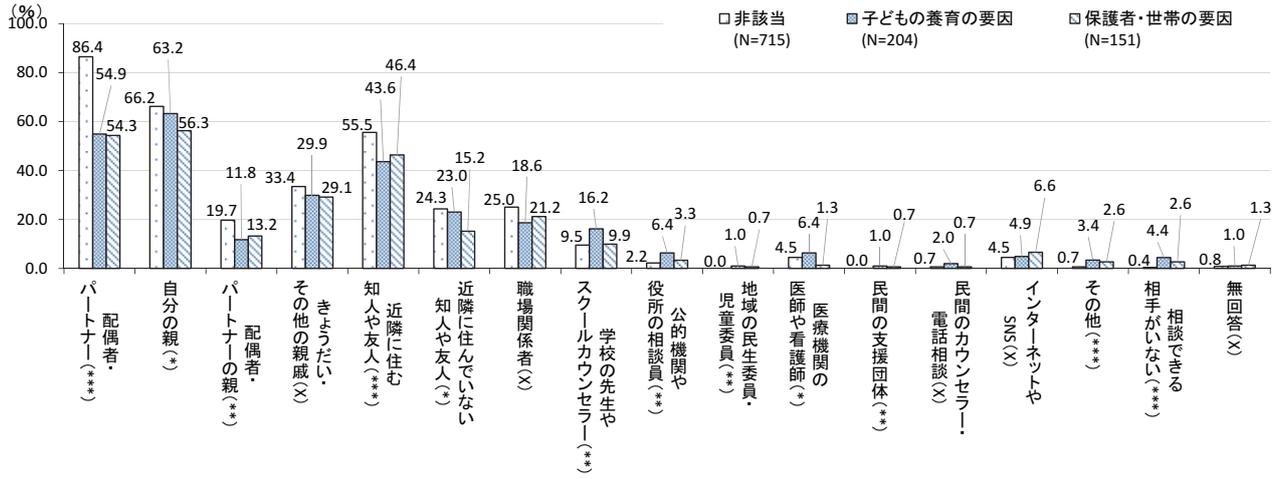
図表 4-4-5-18 相談相手・相談先 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-4-5-19 相談相手・相談先 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者



図表 4-4-5-20 相談相手・相談先 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者



(5) 収入・家計について

① 暮らし向きの認識

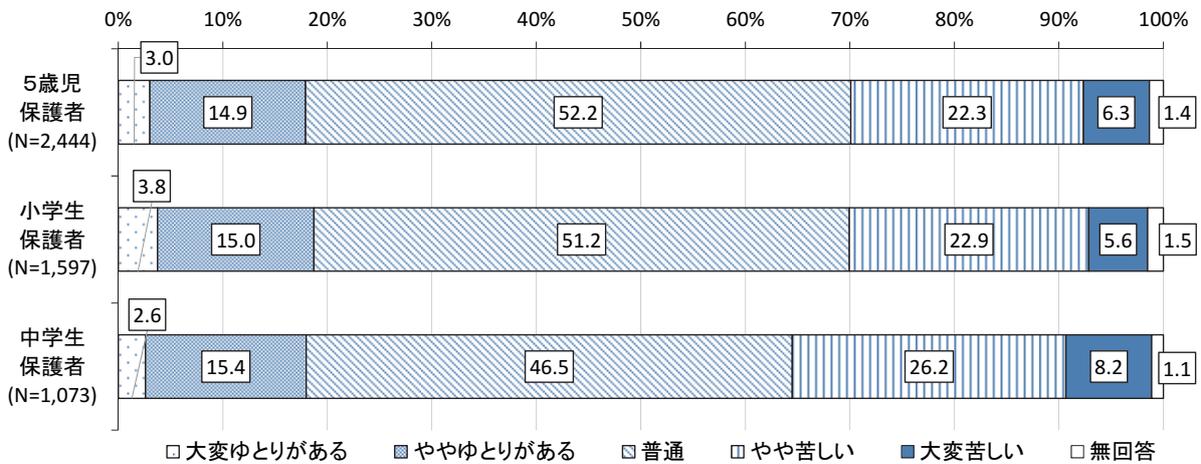
【5歳保問 32～33・小中保問 25～26】

現在の暮らしの状況の認識について、「やや苦しい」「大変苦しい」という回答の割合の合計をみると、5歳児保護者は28.6%、小学生保護者は28.5%、中学生保護者は34.4%であった。

家計の状況について尋ねたところ、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」「収入が足りず、借金で生活している」という回答を合わせると、5歳児保護者で12.5%、小学生保護者で11.4%、中学生保護者で17.1%であった。

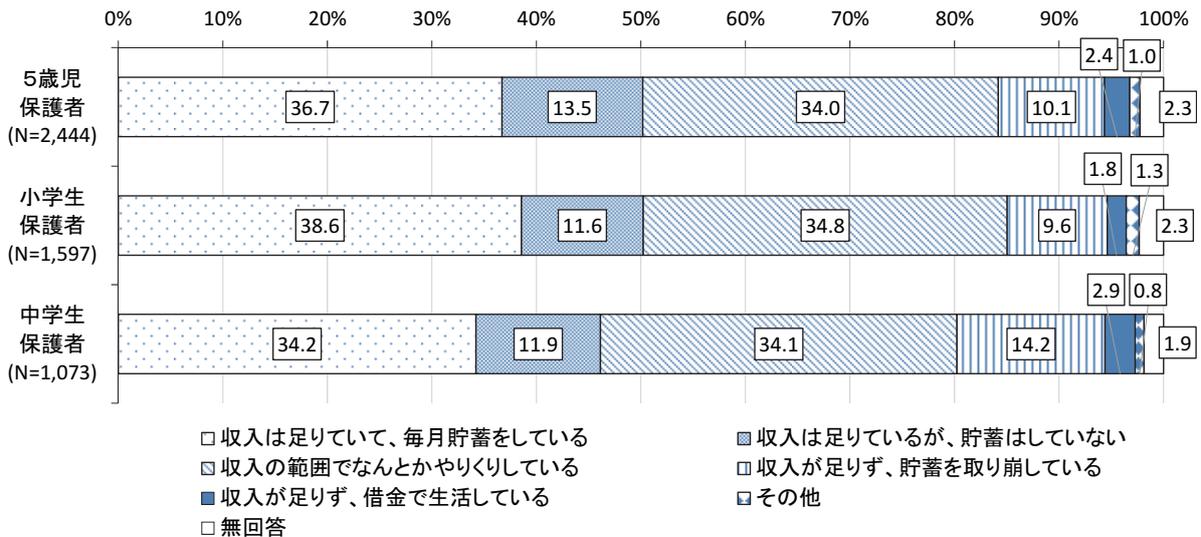
問 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか

図表 4-5-1-1 暮らしの状況 単純集計



問 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください

図表 4-5-1-2 家計の状況 単純集計

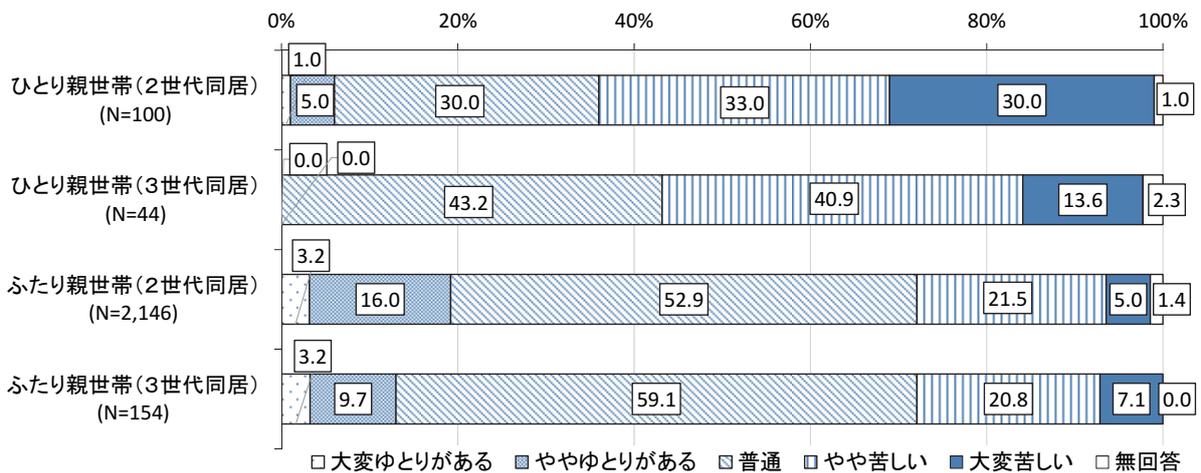


■ 世帯タイプ別

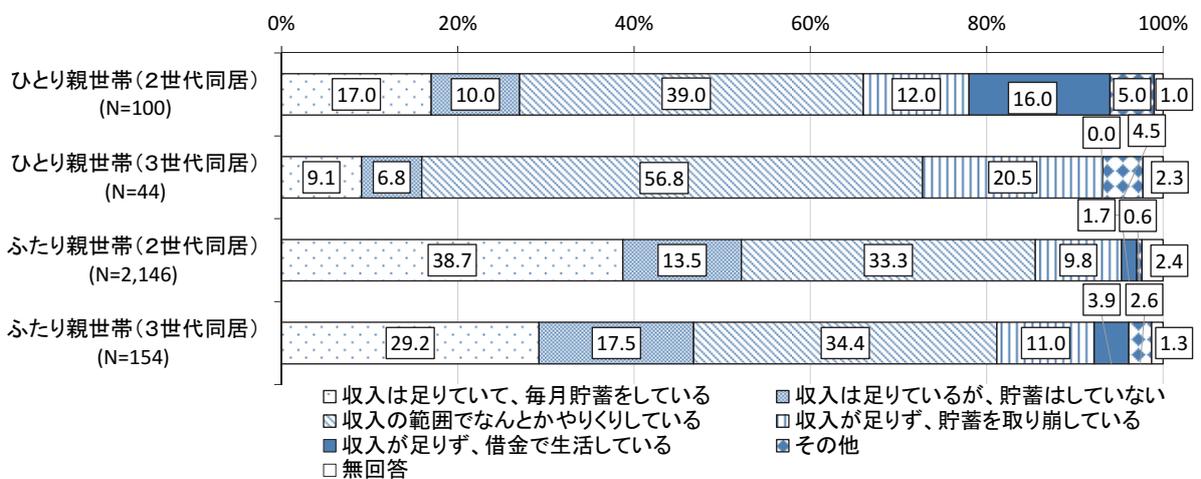
世帯タイプ別に現在の暮らしの状況の認識をクロス集計したところ、5歳児保護者においてひとり親世帯（2世代同居）の「やや苦しい」「大変苦しい」という回答の割合の合計が他の世帯タイプと比べて高かった。

また家計の状況についての世帯タイプ別クロス集計の結果をみると、5歳児保護者において収入が足りていない旨の回答の割合がひとり親世帯（2世代同居）において最も高くなっていた。

図表 4-5-1-3 暮らしの状況 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-5-1-4 家計の状況 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)

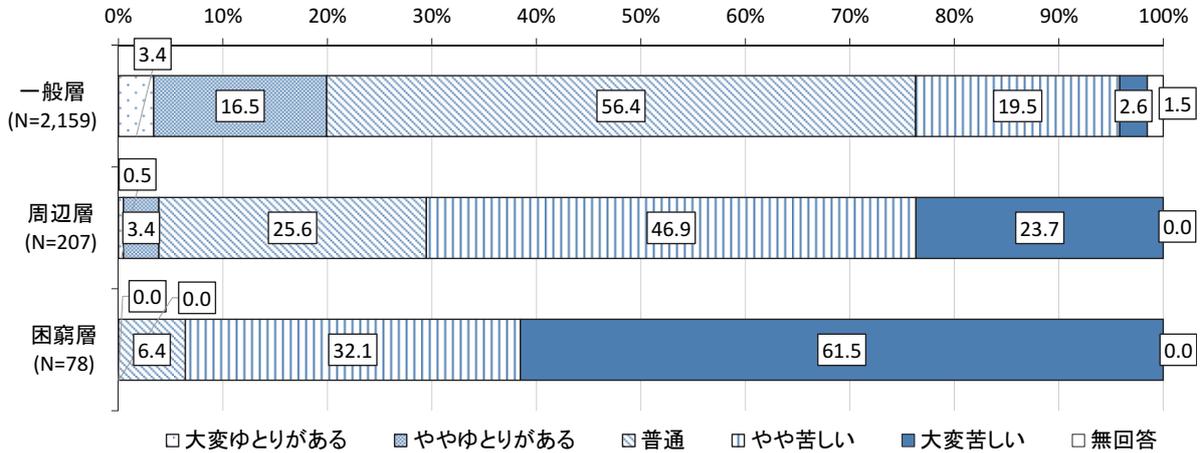


■生活困難層別

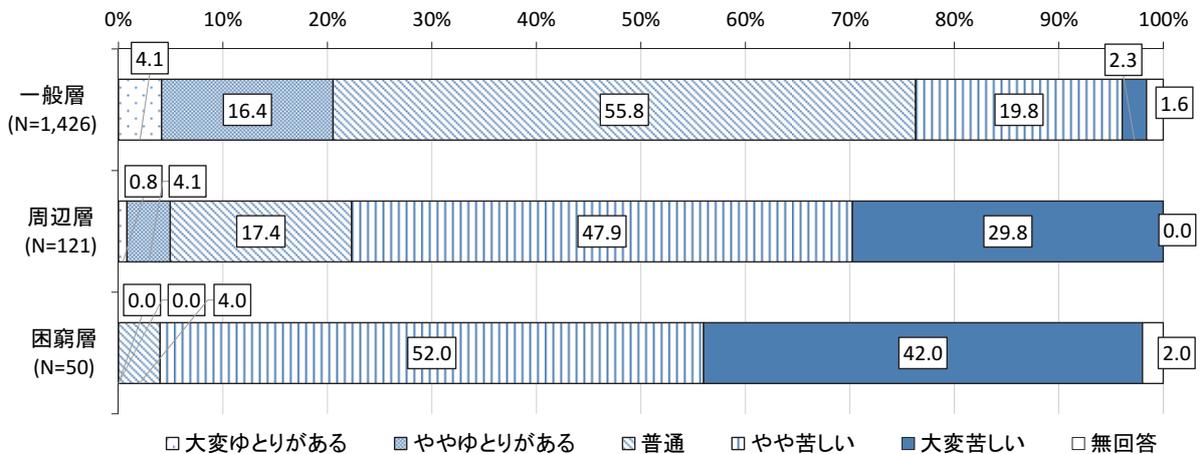
現在の暮らしの状況の認識を生活困難層別にみると、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、生活困難度が上がるにつれて「やや苦しい」「大変苦しい」という回答の割合が高くなっていった。

家計の状況については、どの子どもの年齢・教育段階でも、生活困難度が高くなるにつれて収入が足りているなど家計に余裕がある旨の回答の割合が低くなっていった。

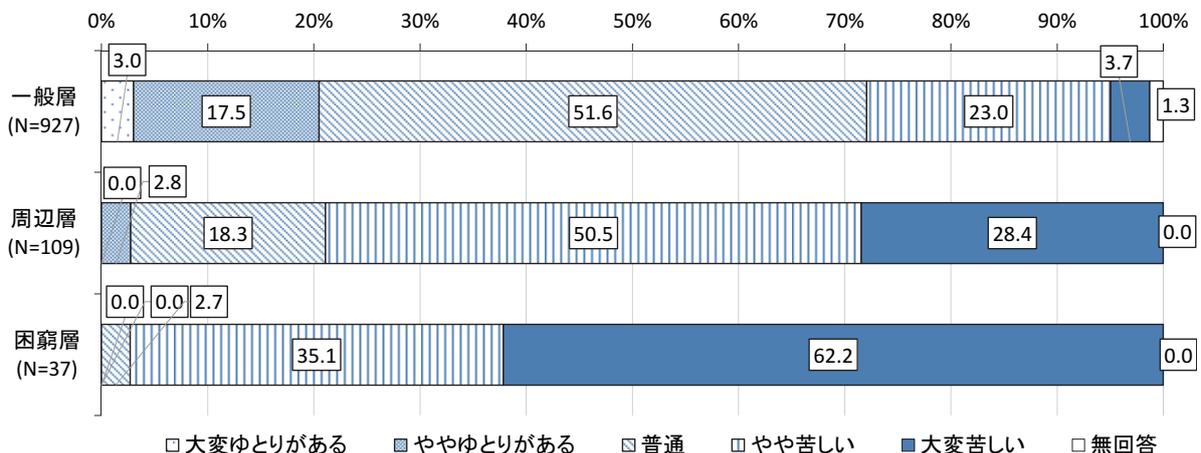
図表 4-5-1-5 暮らしの状況 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



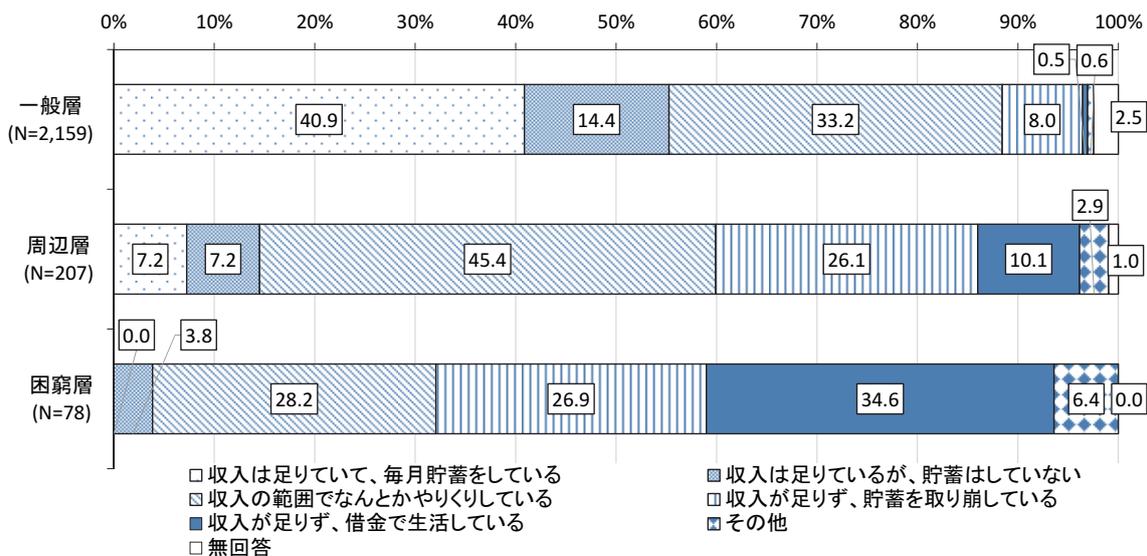
図表 4-5-1-6 暮らしの状況 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



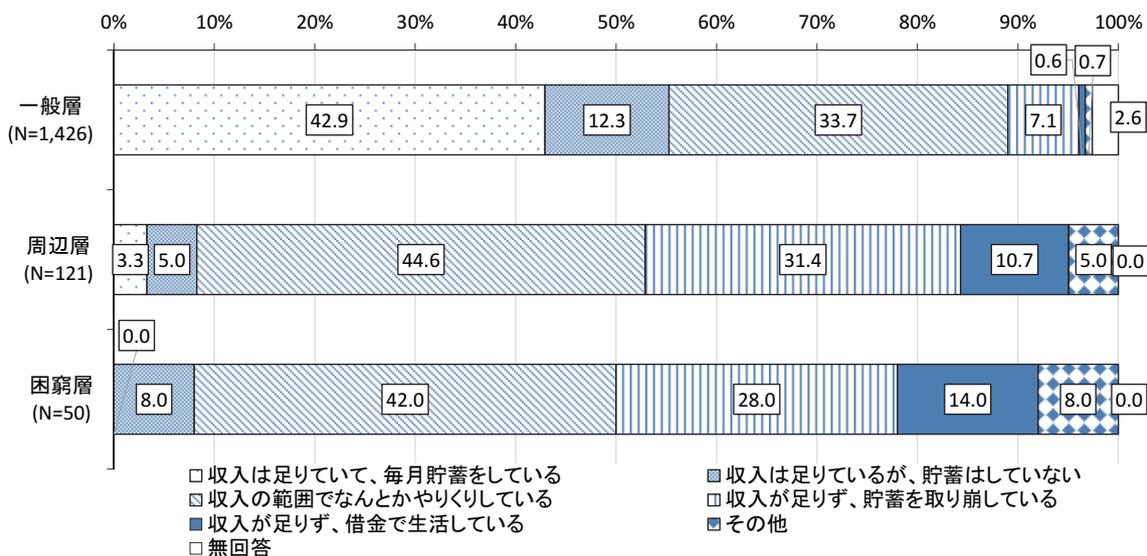
図表 4-5-1-7 暮らしの状況 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



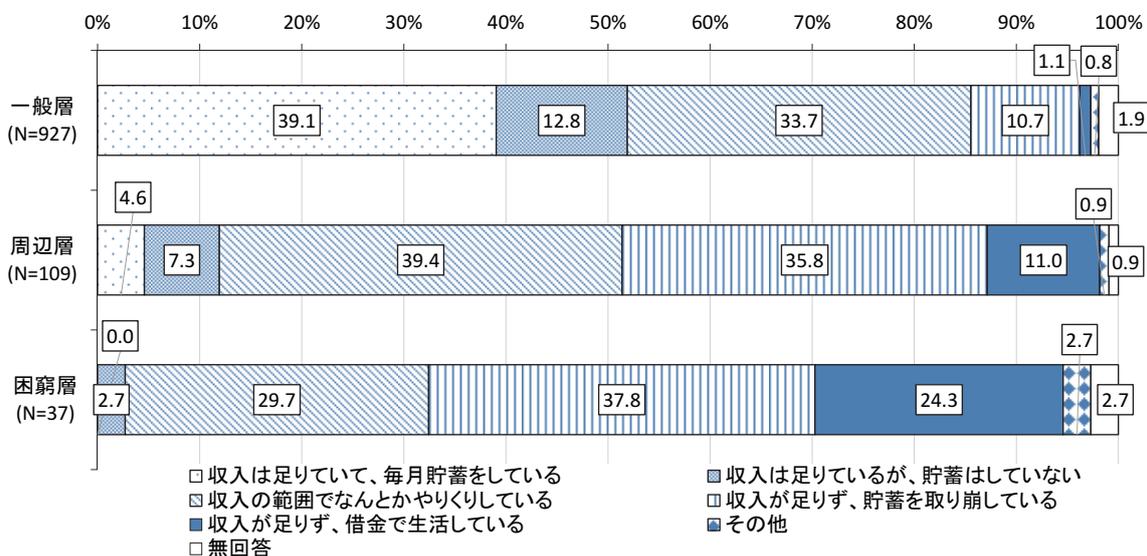
図表 4-5-1-8 家計の状況 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-5-1-9 家計の状況 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-5-1-10 家計の状況 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)

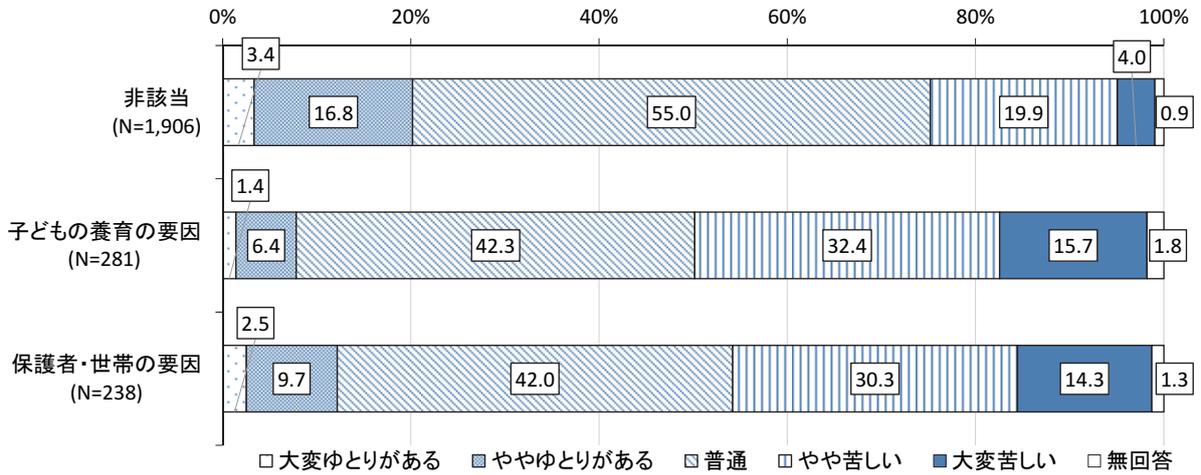


■潜在的養育困難層別

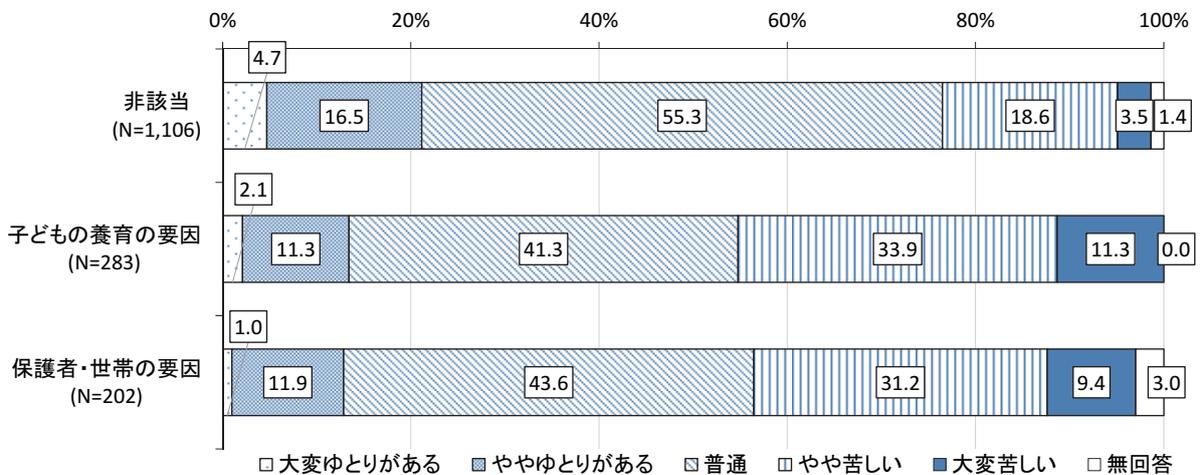
現在の暮らしの状況の認識を潜在的養育困難層別にみると、非該当層に比べて、潜在的養育困難層、特に「子どもの養育の要因」層で「やや苦しい」「大変苦しい」の回答割合の合計が高くなっていった。

家計の状況に対する回答を潜在的養育困難層別にみると、どの子どもの年齢・教育段階でも、収入が足りない旨の回答割合の合計が非該当層よりも潜在的養育困難層の方が高く、5歳児保護者・小学生保護者では「子どもの養育の要因」層が「保護者・世帯の要因」層よりも高い回答割合となっていた。

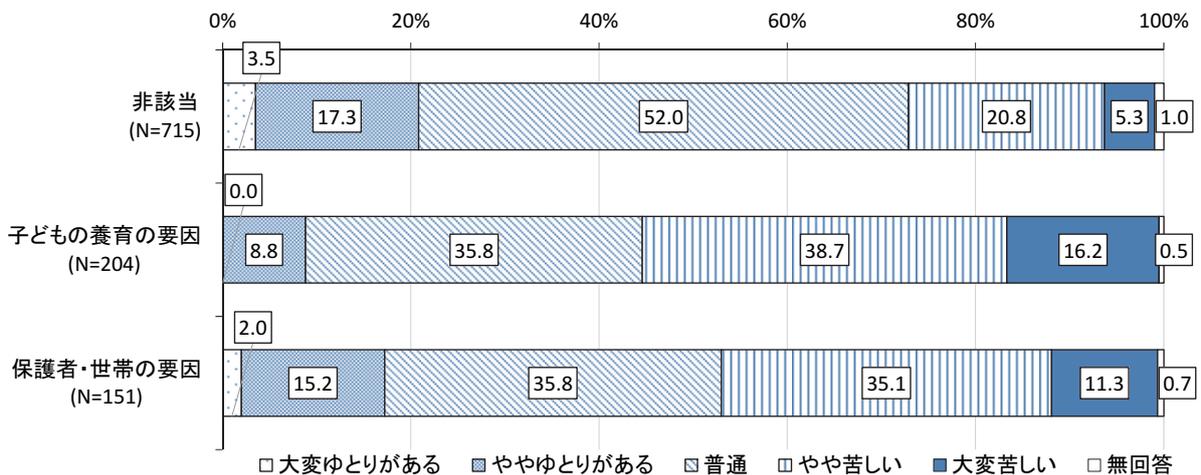
図表 4-5-1-11 暮らしの状況 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



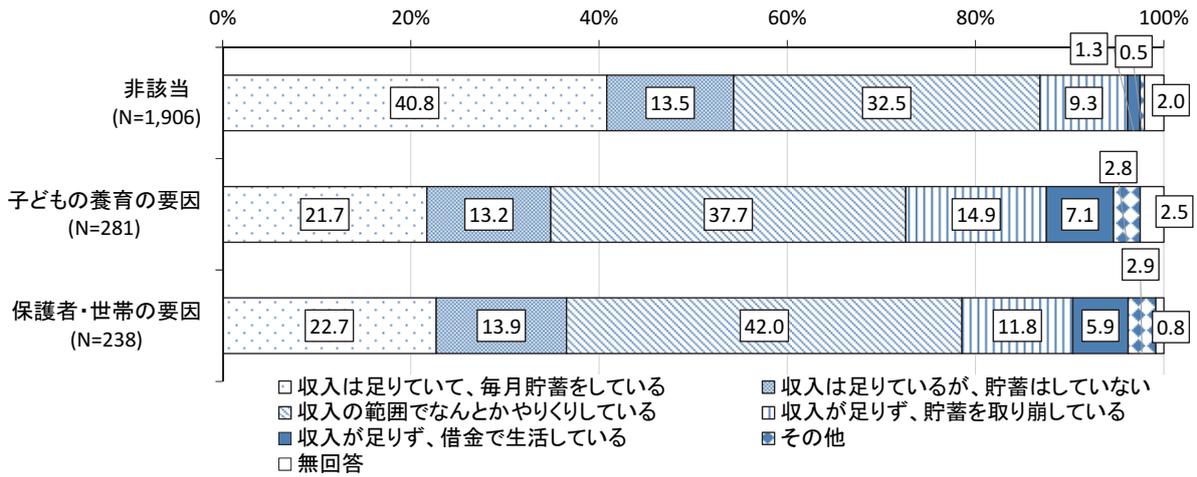
図表 4-5-1-12 暮らしの状況 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



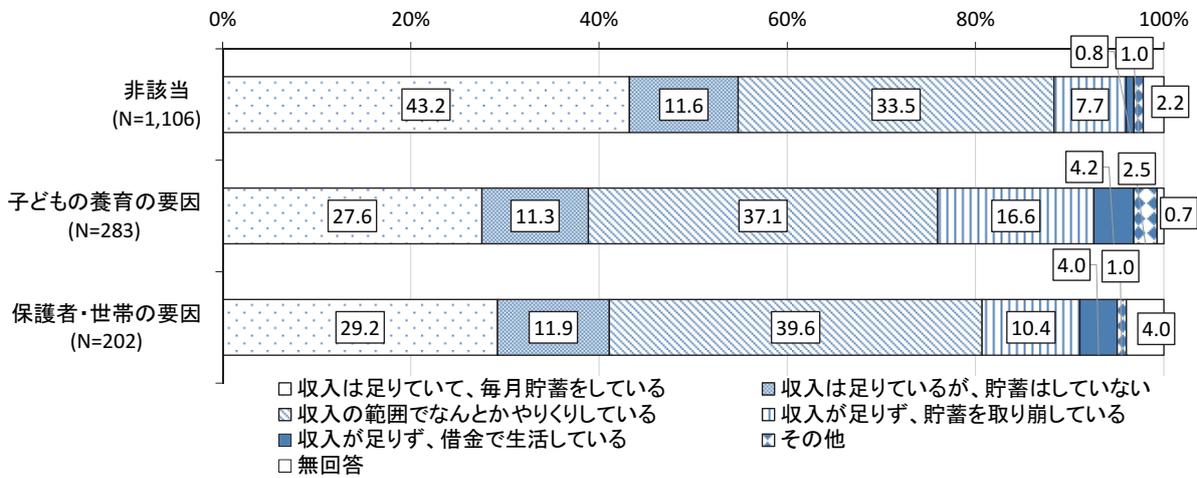
図表 4-5-1-13 暮らしの状況 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



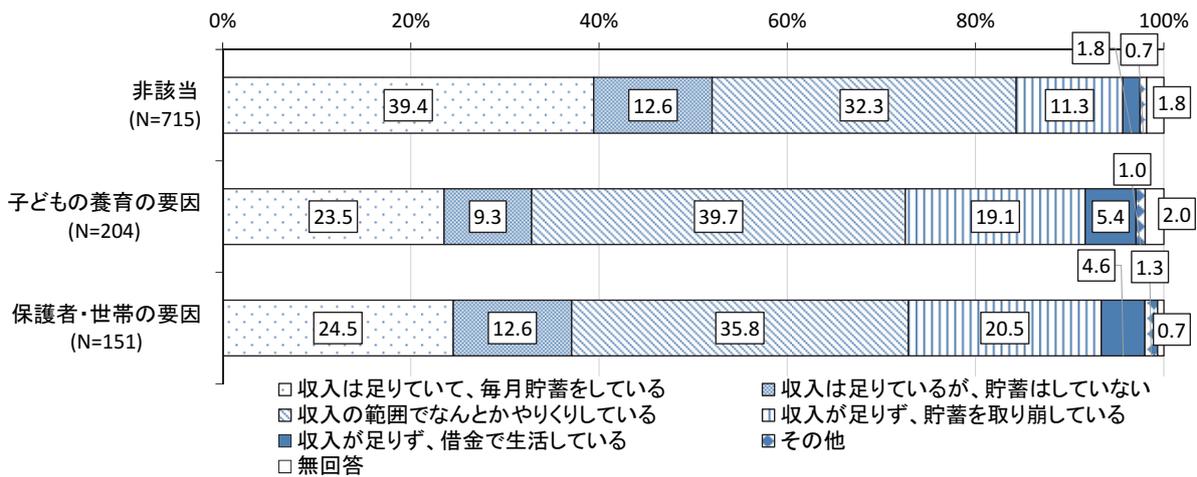
図表 4-5-1-14 家計の状況 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-5-1-15 家計の状況 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-5-1-16 家計の状況 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



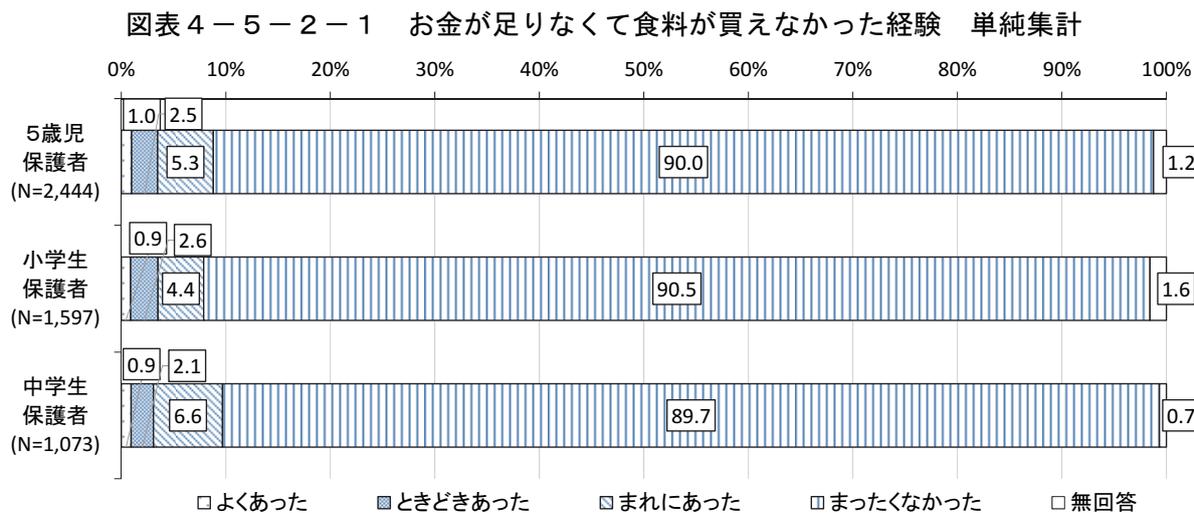
② 食料・衣類が買えない経験

【5歳保問 34～35・小中保問 27～28】

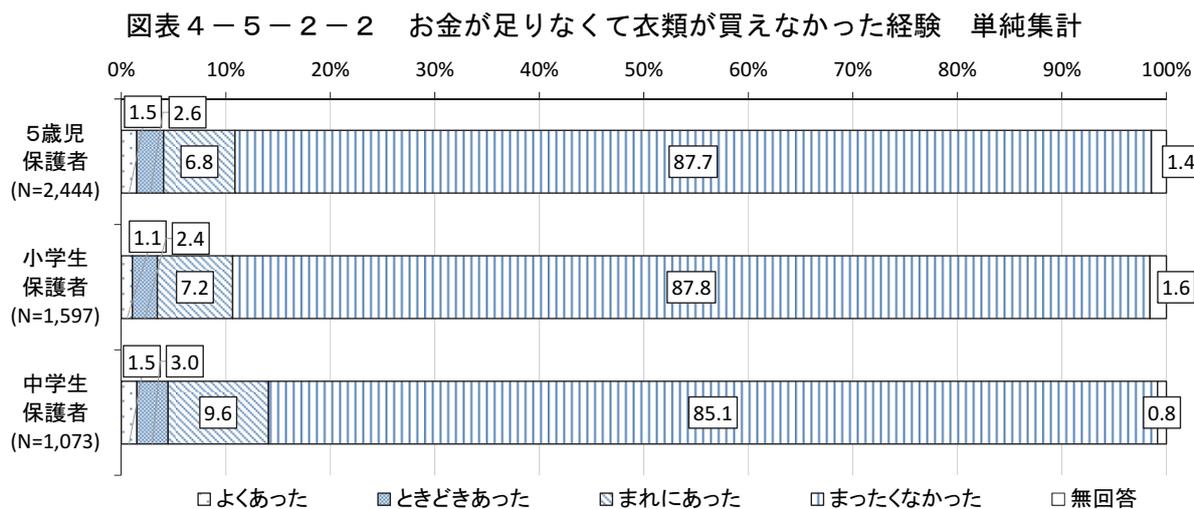
過去1年間に、お金が足りなくて食料が買えない経験があったかどうかを尋ねたところ、「よくあった」「ときどきあった」の回答割合の合計は、5歳児保護者で3.5%、小学生保護者で3.5%、中学生保護者で3.0%であった。

また同様に衣類が買えない経験があったかどうかを尋ねたところ、「よくあった」「ときどきあった」の回答割合は、5歳児保護者で4.1%、小学生保護者で3.5%、中学生保護者で4.5%であった。

問 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか



問 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか



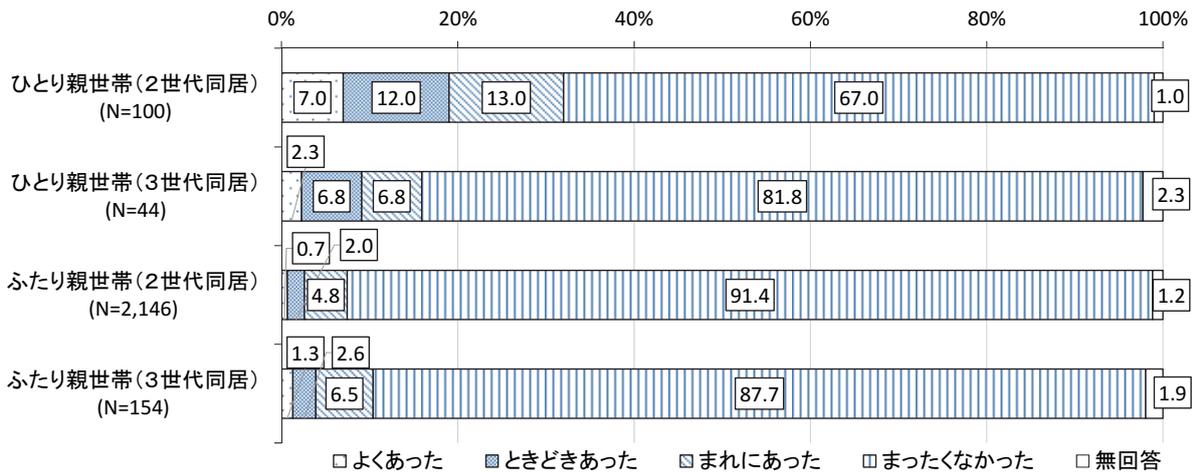
■世帯タイプ別

食料が買えなかった経験の有無についての世帯タイプ別クロス集計をしたところ、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、ひとり親世帯（2世代同居）の「よくあった」「ときどきあった」の回答割合の合計が他の世帯タイプよりも高くなっていた。

また、衣類が買えなかった経験についても、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、ひとり親世帯（2世代同居）の「よくあった」「ときどきあった」の回答割合の合計が高くなっていた。

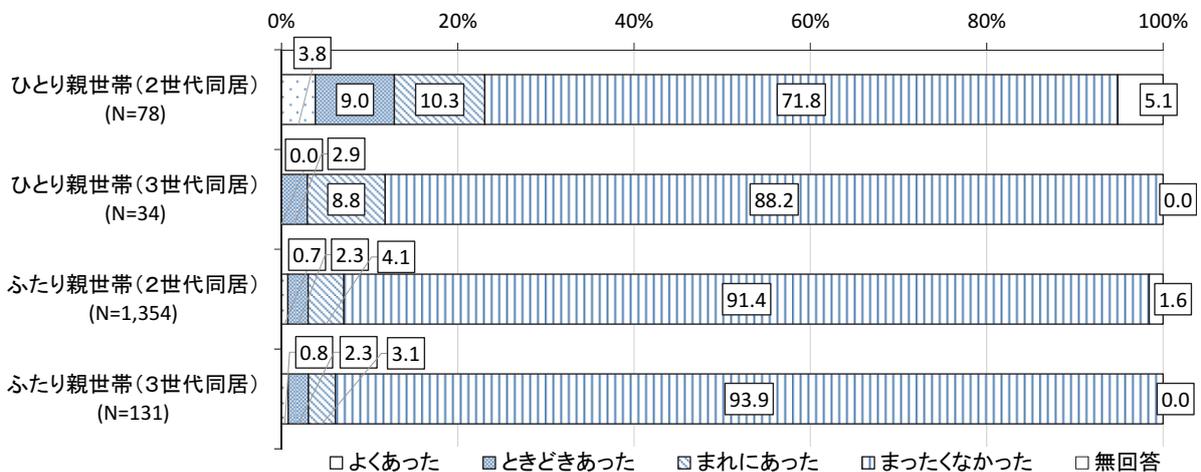
図表 4-5-2-3 お金が足りなくて食料が買えなかった経験

世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



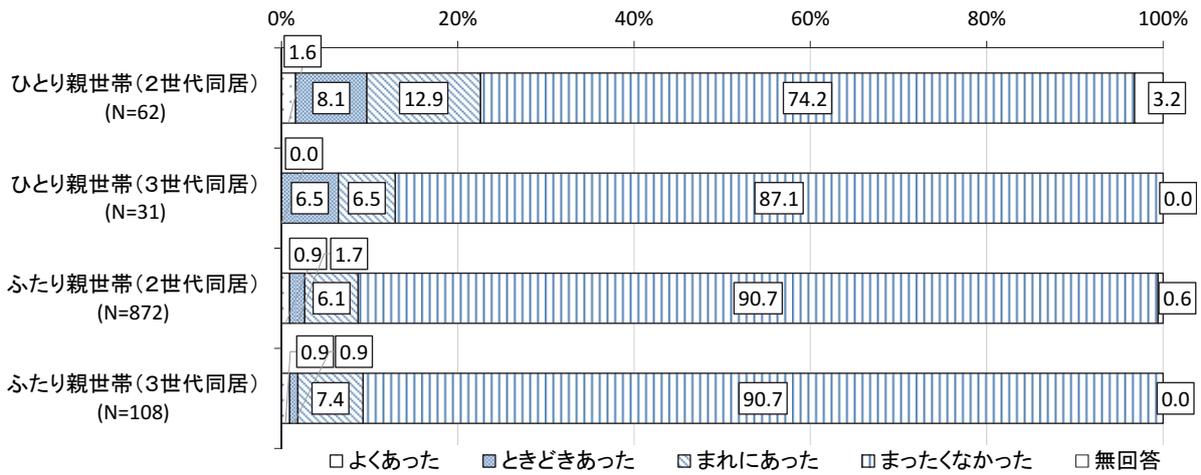
図表 4-5-2-4 お金が足りなくて食料が買えなかった経験

世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



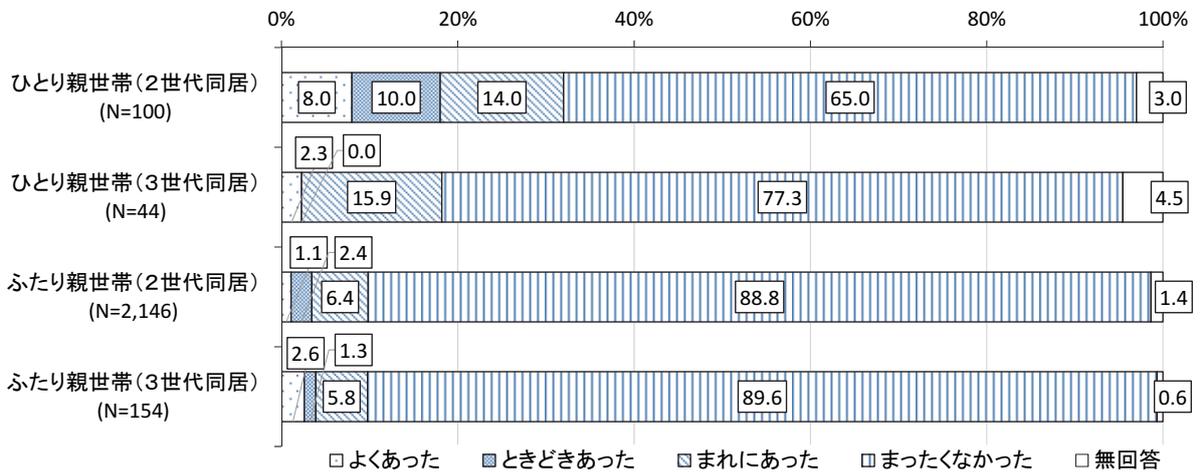
図表 4-5-2-5 お金が足りなくて食料が買えなかった経験

世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



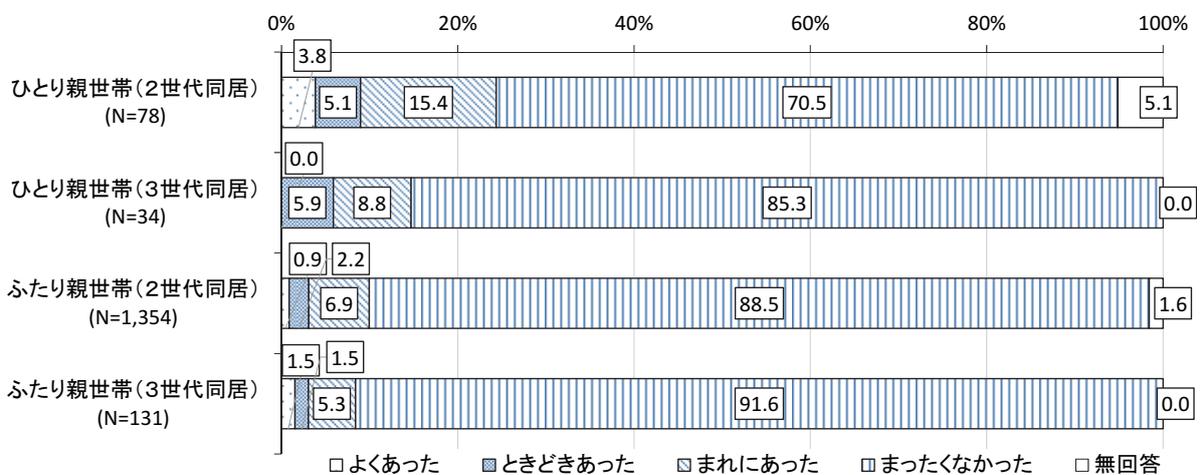
図表 4-5-2-6 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験

世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



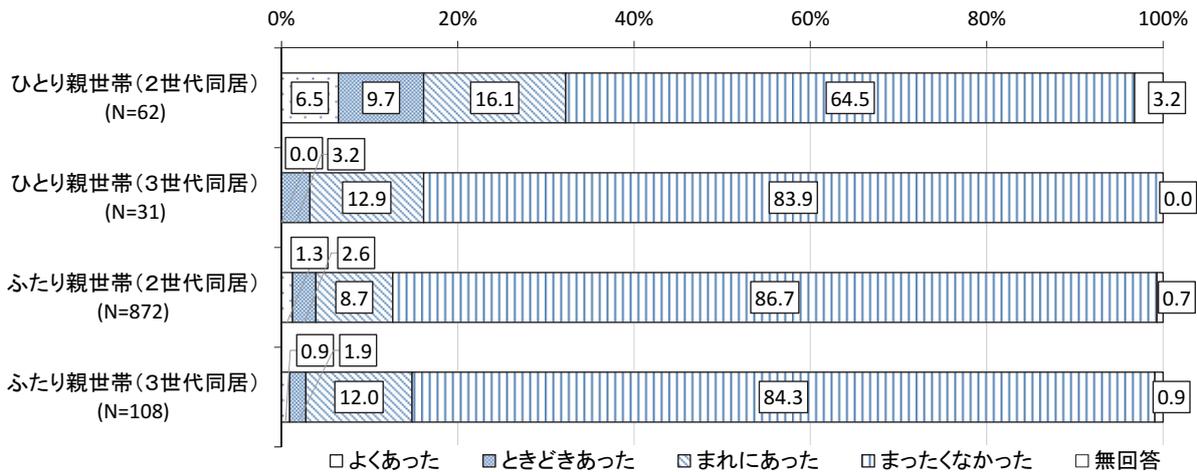
図表 4-5-2-7 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験

世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-5-2-8 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験

世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



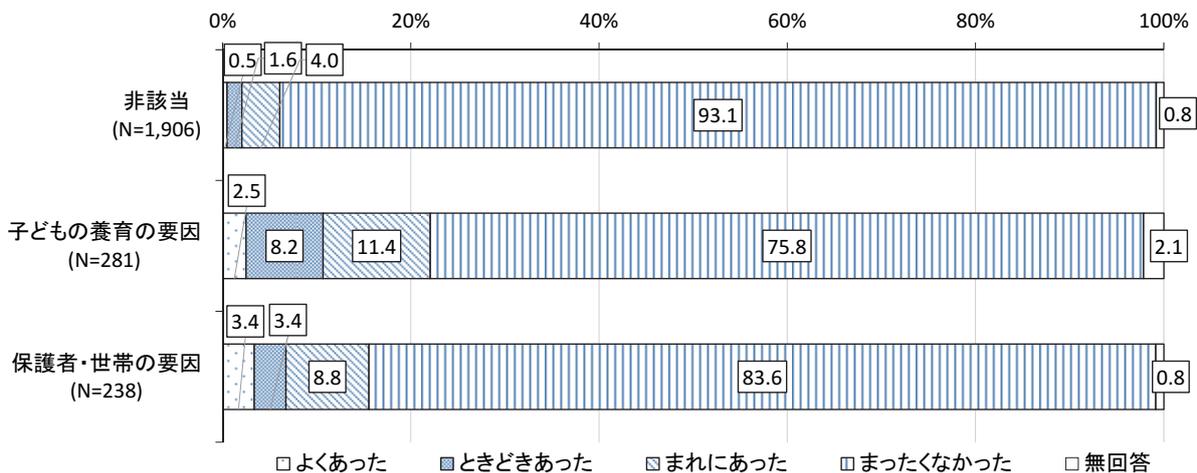
■潜在的養育困難層別

食料が買えなかった経験の有無を潜在的養育困難層別にクロス集計をしたところ、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、「よくあった」「ときどきあった」の回答割合の合計が非該当層で低く、「子どもの養育の要因」層で高くなっていた。

衣類が買えなかった経験の有無の潜在的養育困難層別クロス集計の結果でも、5歳児保護者・中学生保護者と同様となっており、小学生保護者においても非該当層は潜在的養育困難層よりも「よくあった」「ときどきあった」の回答割合の合計が比較的低かった。

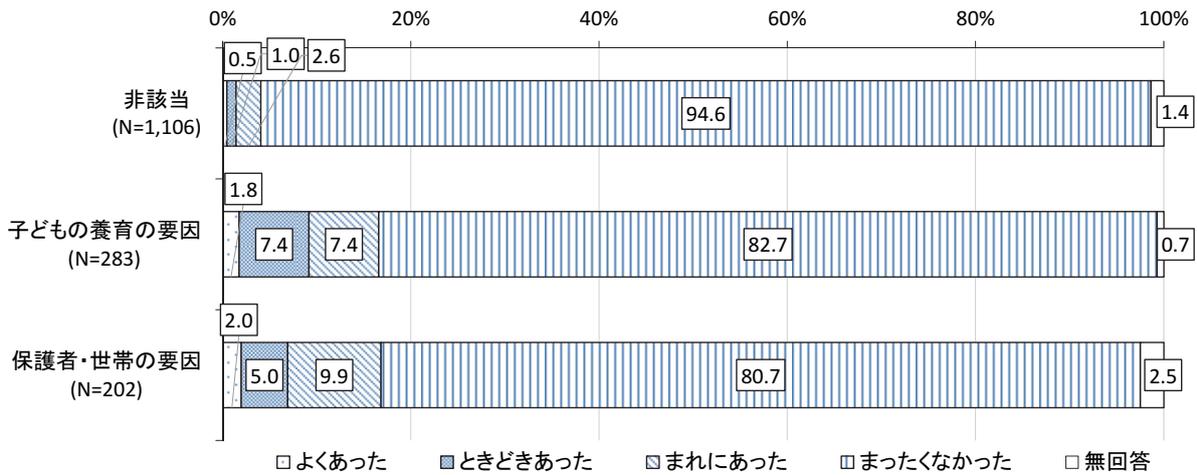
図表 4-5-2-9 お金が足りなくて食料が買えなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



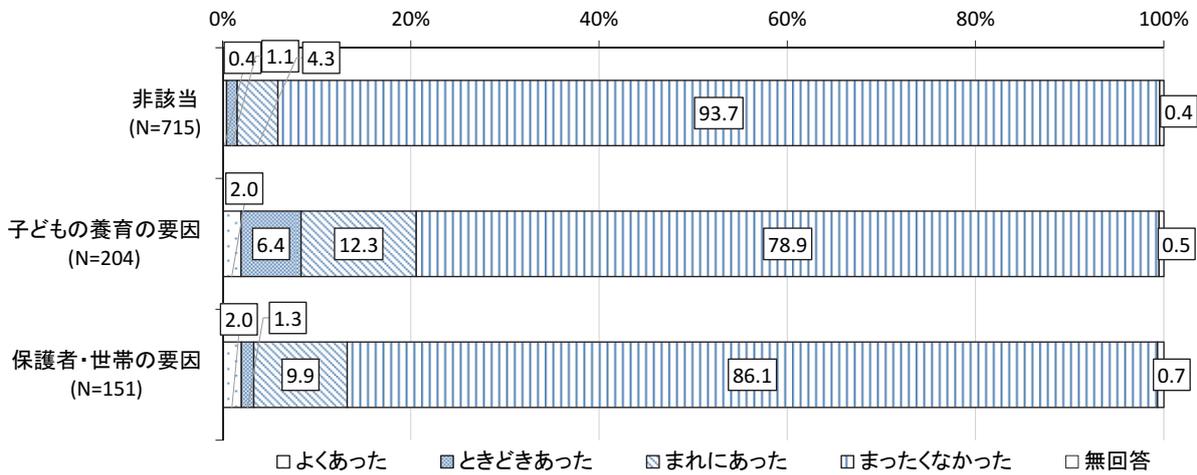
図表 4-5-2-10 お金が足りなくて食料が買えなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



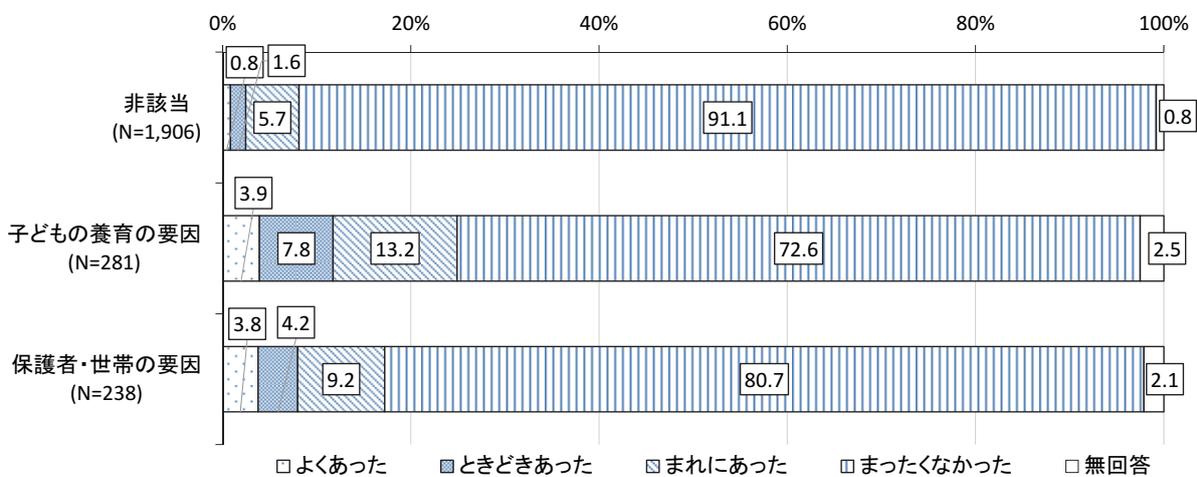
図表 4-5-2-11 お金が足りなくて食料が買えなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



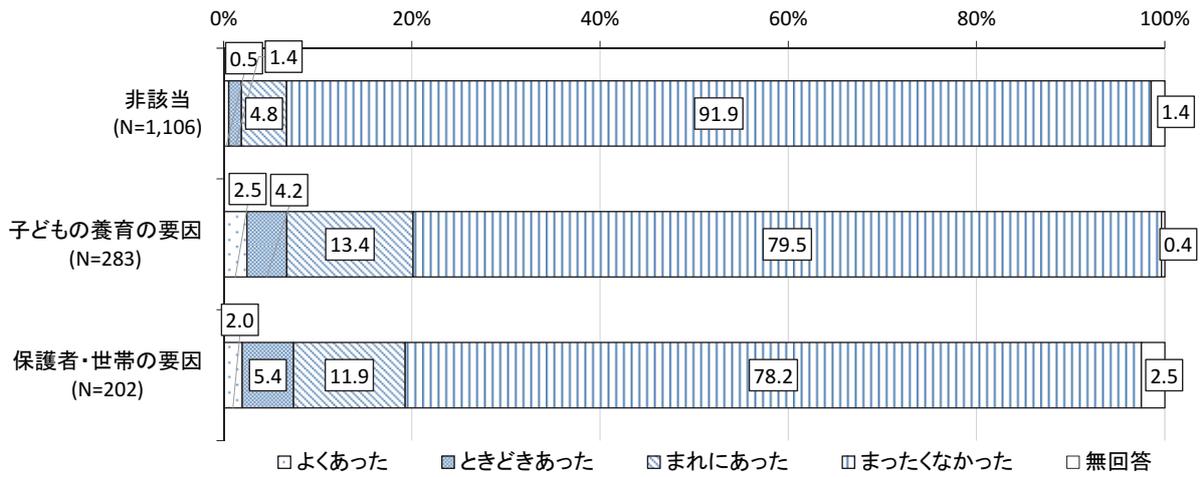
図表 4-5-2-12 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



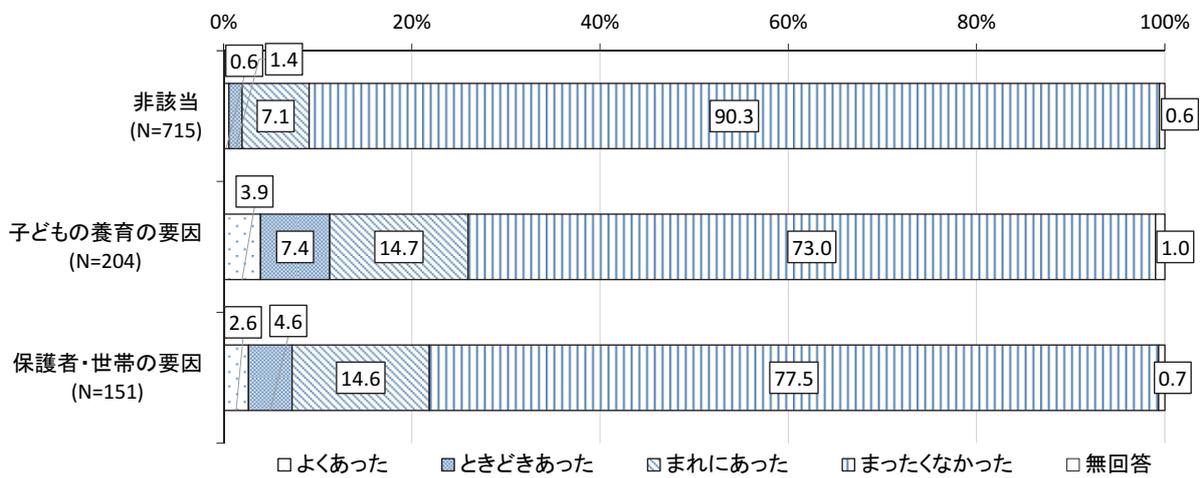
図表 4-5-2-13 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-5-2-14 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)

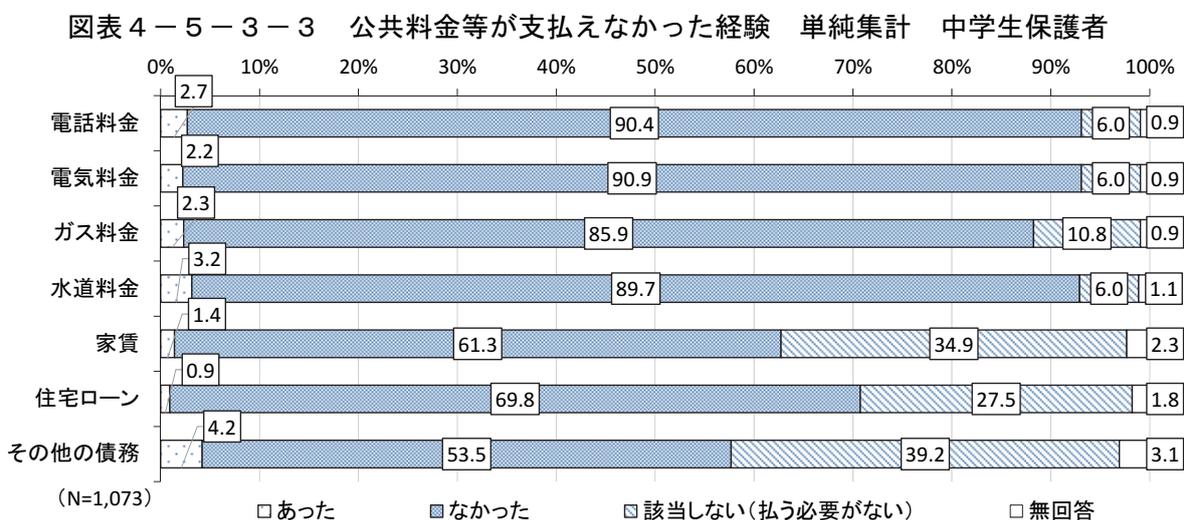
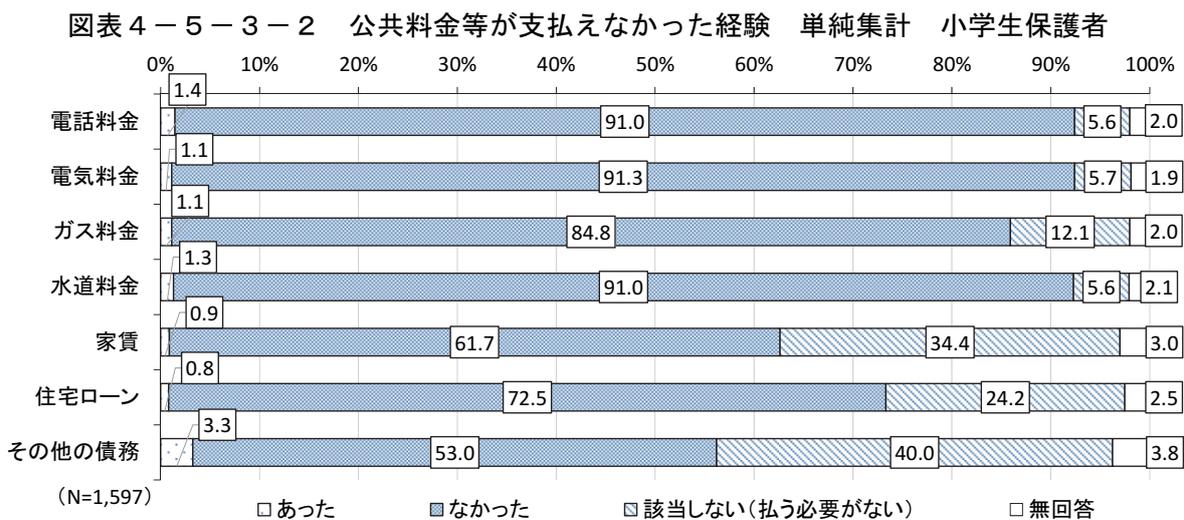
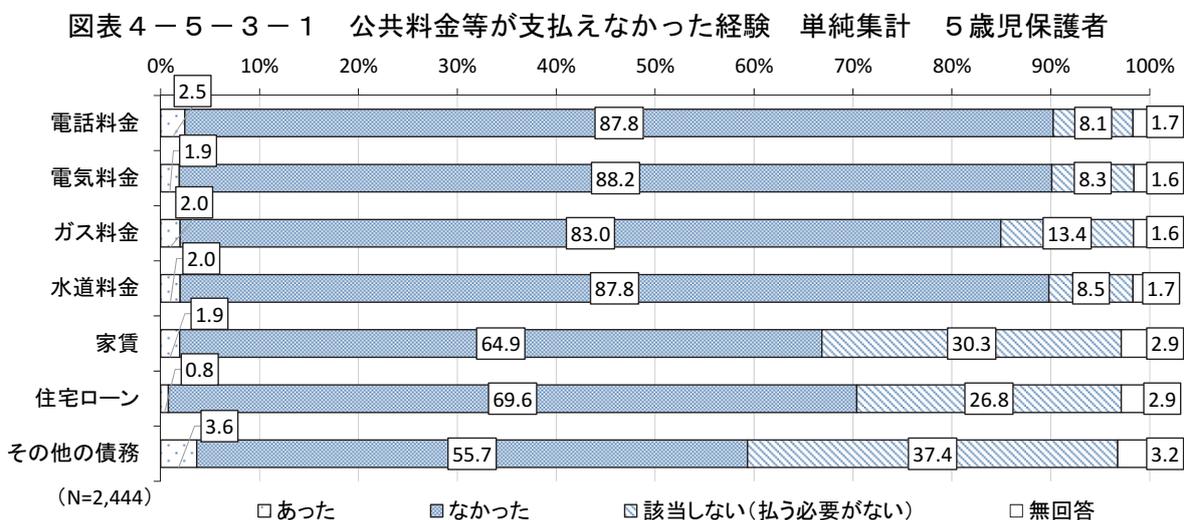


③ 公共料金等の不払いの有無

【5歳保問36・小中保問29】

過去1年間で、経済的な理由から「電話料金」「電気料金」「ガス料金」「水道料金」「家賃」の生活に欠かせない支払いに不払いが「あった」とする回答の割合は1～3%程度となっていた。

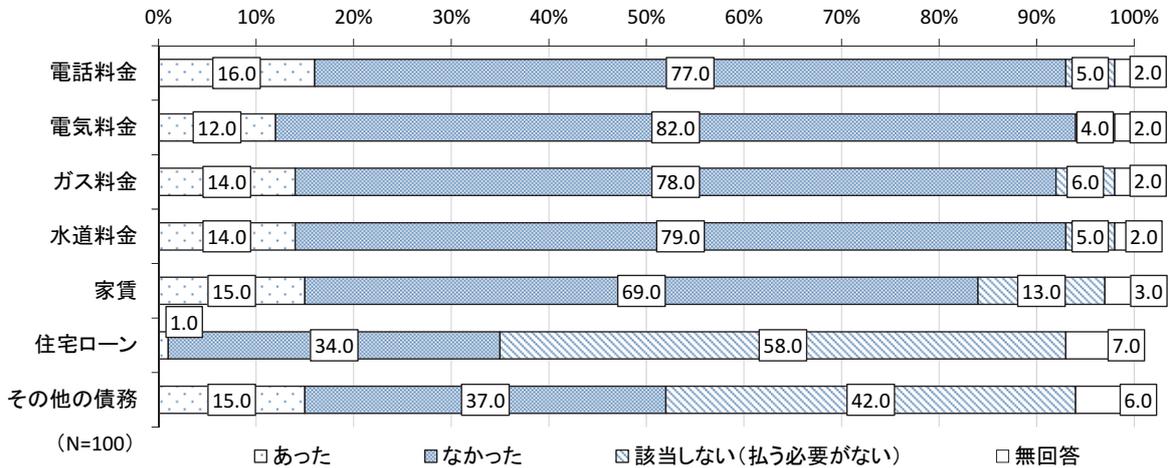
問 過去1年の間に、経済的な理由で、次のサービス・料金について、支払えないことがありましたか



■世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 5歳児保護者

ひとり親世帯（2世代同居）に該当する5歳児保護者が、経済的な理由から公共料金等が支払えなかった経験をみると、「電話料金」「電気料金」「ガス料金」「水道料金」「家賃」「その他の債務」について不払いが「あった」と回答した割合は1～2割となっていた。

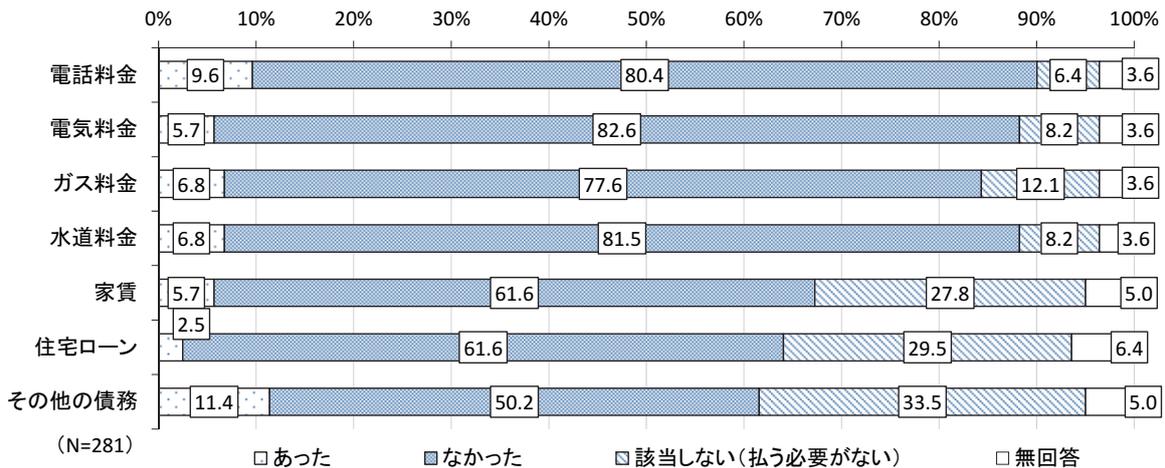
図表4-5-3-4 公共料金等が支払えなかった経験
世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 5歳児保護者



■潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 5歳児保護者

「子どもの養育の要因」層に該当する5歳児保護者が、経済的な理由から公共料金等が支払えなかった経験をみると、「その他の債務」「電話料金」で約1割、「電気料金」「ガス料金」「水道料金」「家賃」で6～7%が「あった」と回答した。

図表4-5-3-5 公共料金等が支払えなかった経験
潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 5歳児保護者



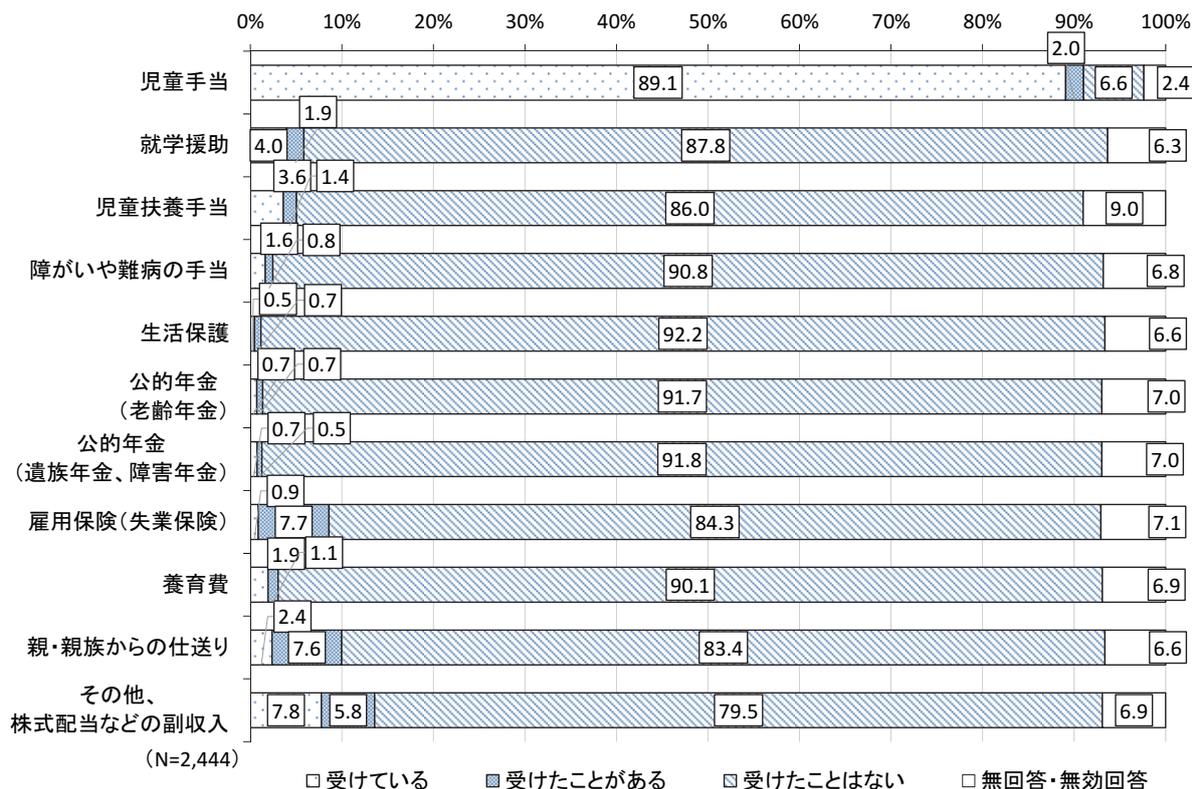
④ 手当・援助等の有無

【5歳保問37・小中保問30】

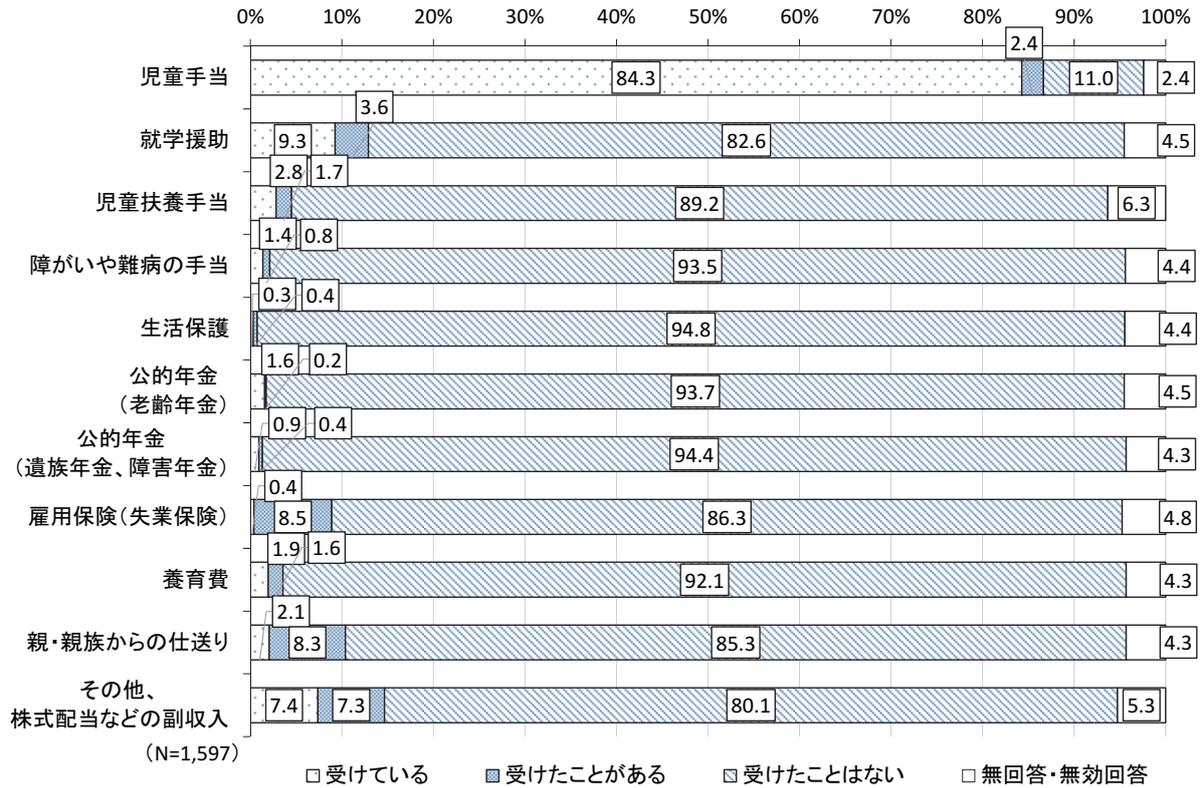
世帯で受けている各種手当や援助等の有無についてみると、「児童手当」はどの子どもの年齢・教育段階でも8割以上が「受けている」と回答していた。それ以外について「受けている」の回答割合は多くても1割程度だが、その中でも「就学援助」「児童扶養手当」「その他、株式配当などの副収入」といった項目で「受けている」の割合が比較的高かった。

問 あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか

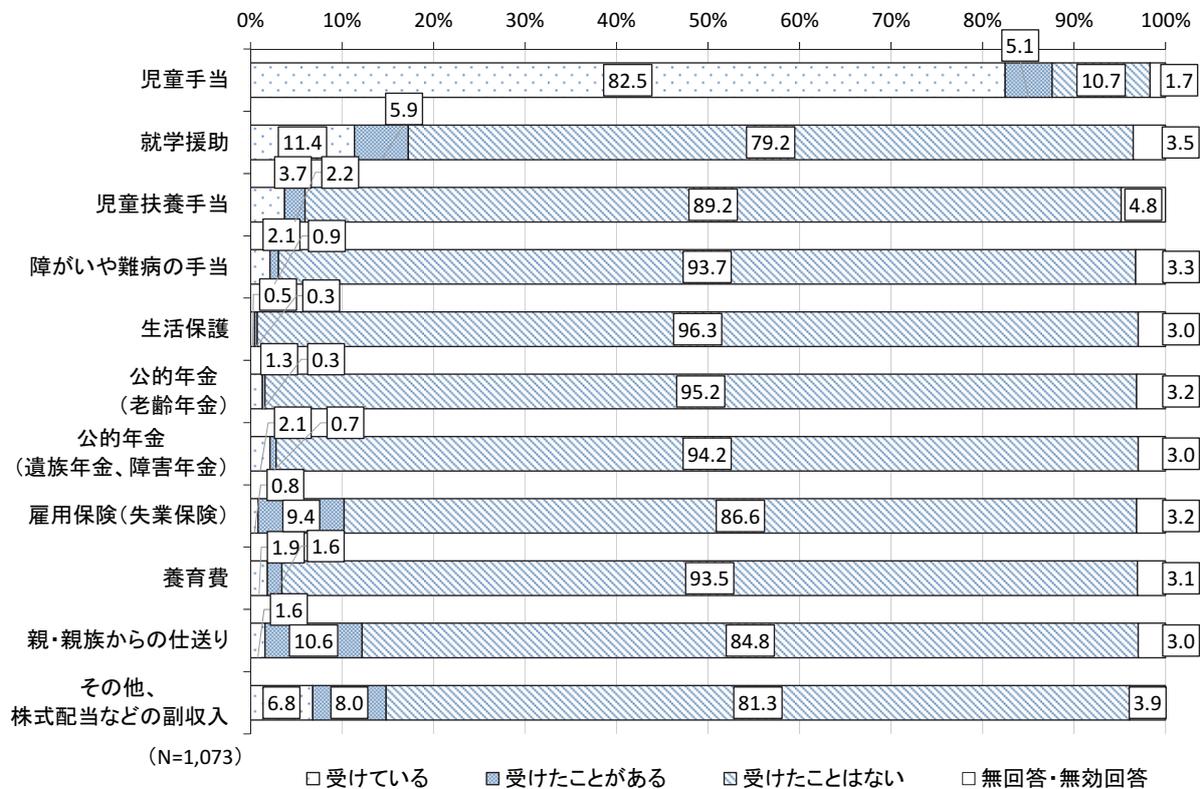
図表4-5-4-1 世帯で受けている各種手当や援助等 単純集計 5歳児保護者



図表 4-5-4-2 世帯で受けている各種手当や援助等 単純集計 小学生保護者



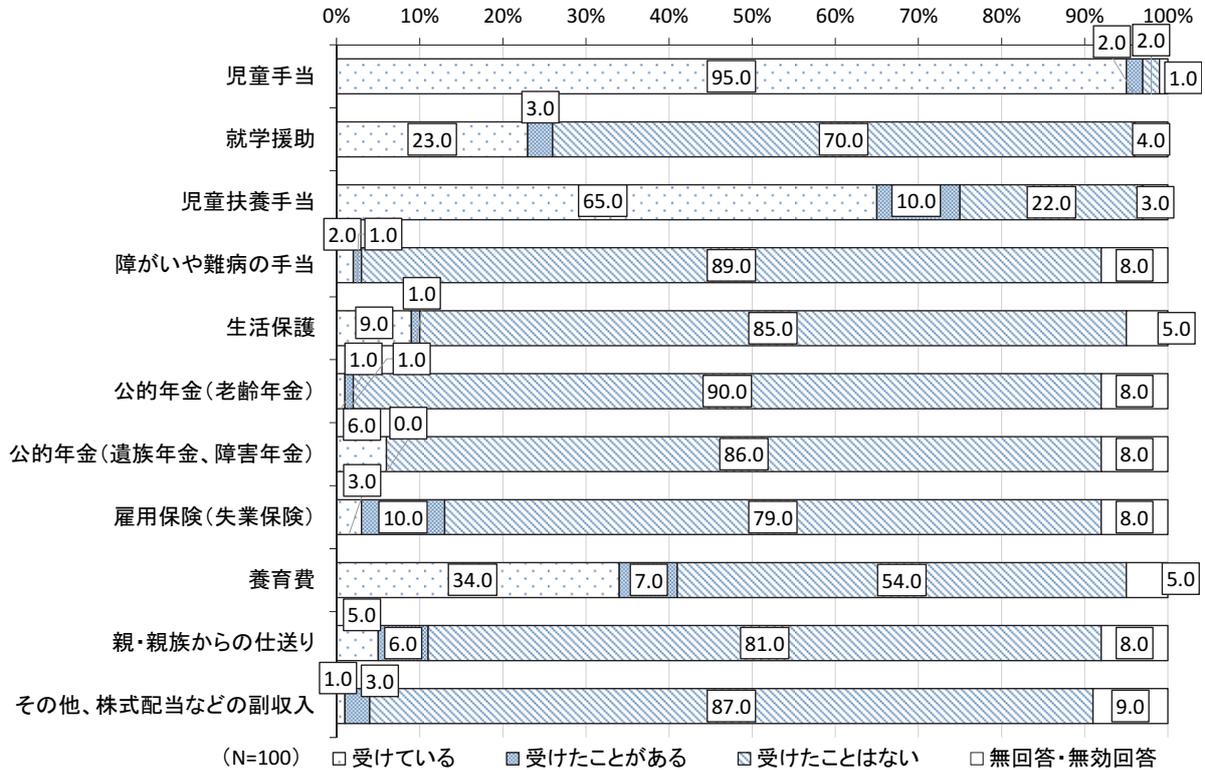
図表 4-5-4-3 世帯で受けている各種手当や援助等 単純集計 中学生保護者



■世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 5歳児保護者

ひとり親世帯（2世代同居）の5歳児保護者について、各種手当や援助等を「受けている」と回答した割合は、「児童手当」が95.0%、「児童扶養手当」が65.0%、「養育費」が34.0%、「就学援助」が23.0%、「生活保護」が9.0%であった。

図表4-5-4-4 世帯で受けている各種手当や援助等
世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 5歳児保護者

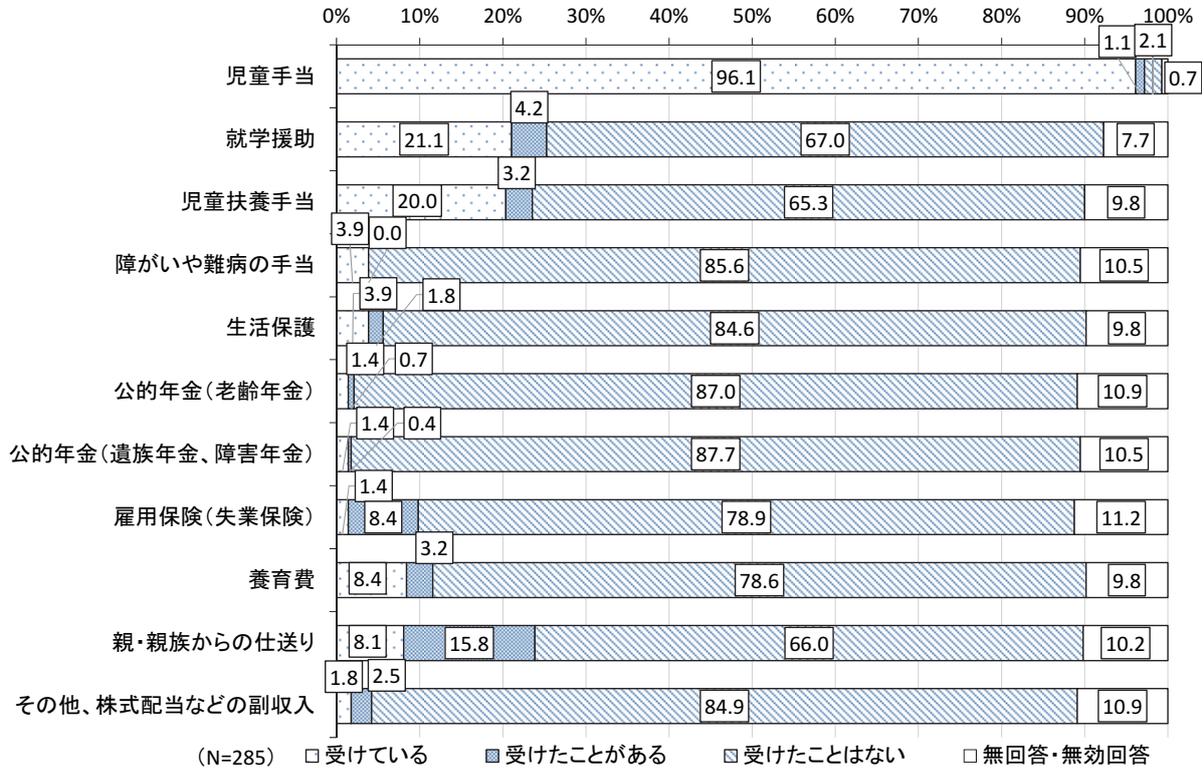


■生活困難層別—生活困難層 5歳児保護者

生活困難層の5歳児保護者について、各種手当や援助等を「受けている」と回答した割合は、「児童手当」が96.1%、「就学援助」が21.1%、「児童扶養手当」が20.0%、「養育費」が8.4%、「親・親族からの仕送り」が8.1%であった。

図表4-5-4-5 世帯で受けている各種手当や援助等

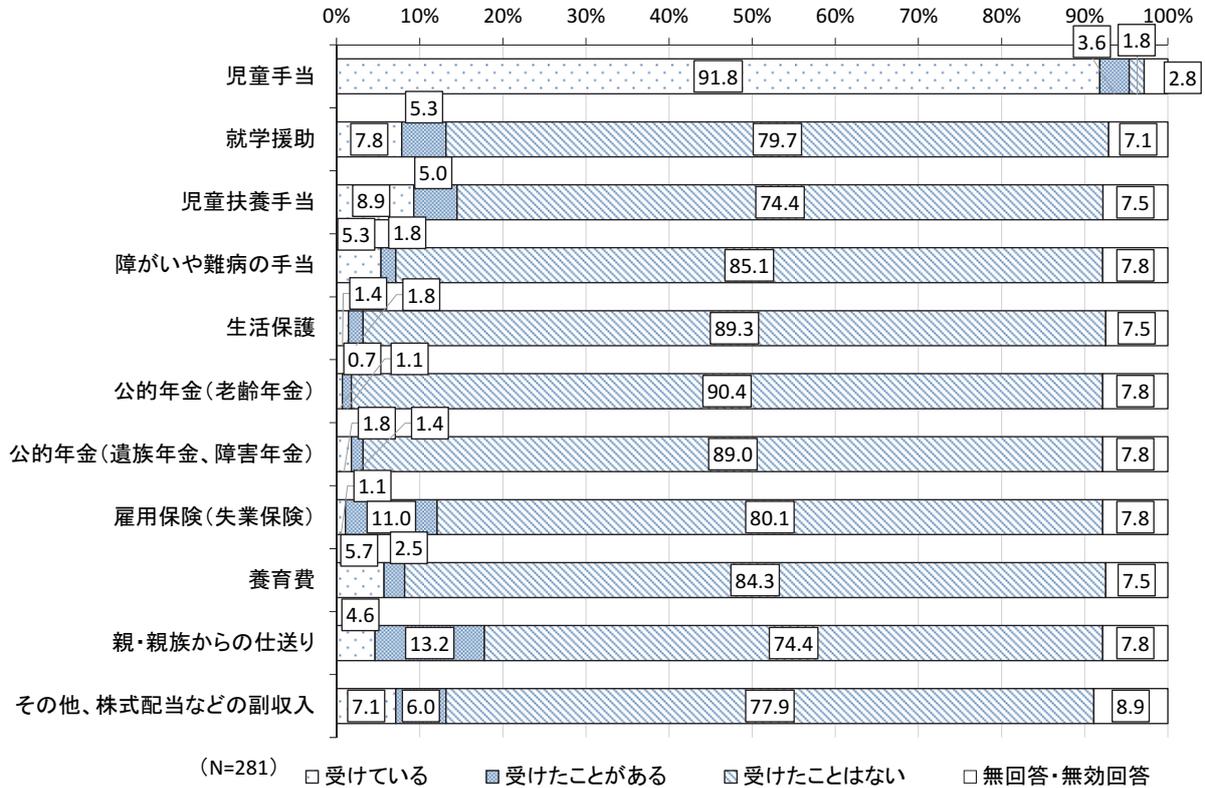
生活困難層別—生活困難層 5歳児保護者



■潜在的養育困難層別－「子どもの養育の要因」層 5歳児保護者

「子どもの養育の要因」層の5歳児保護者について、各種手当や援助等を「受けている」と回答した割合は、「児童手当」が91.8%、「児童扶養手当」が8.9%、「就学援助」が7.8%、「その他、株式配当などの副収入」が7.1%、「養育費」が5.7%、「障がいや難病の手当」が5.3%であった。

図表4-5-4-6 世帯で受けている各種手当や援助等
潜在的養育困難層別－「子どもの養育の要因」層 5歳児保護者



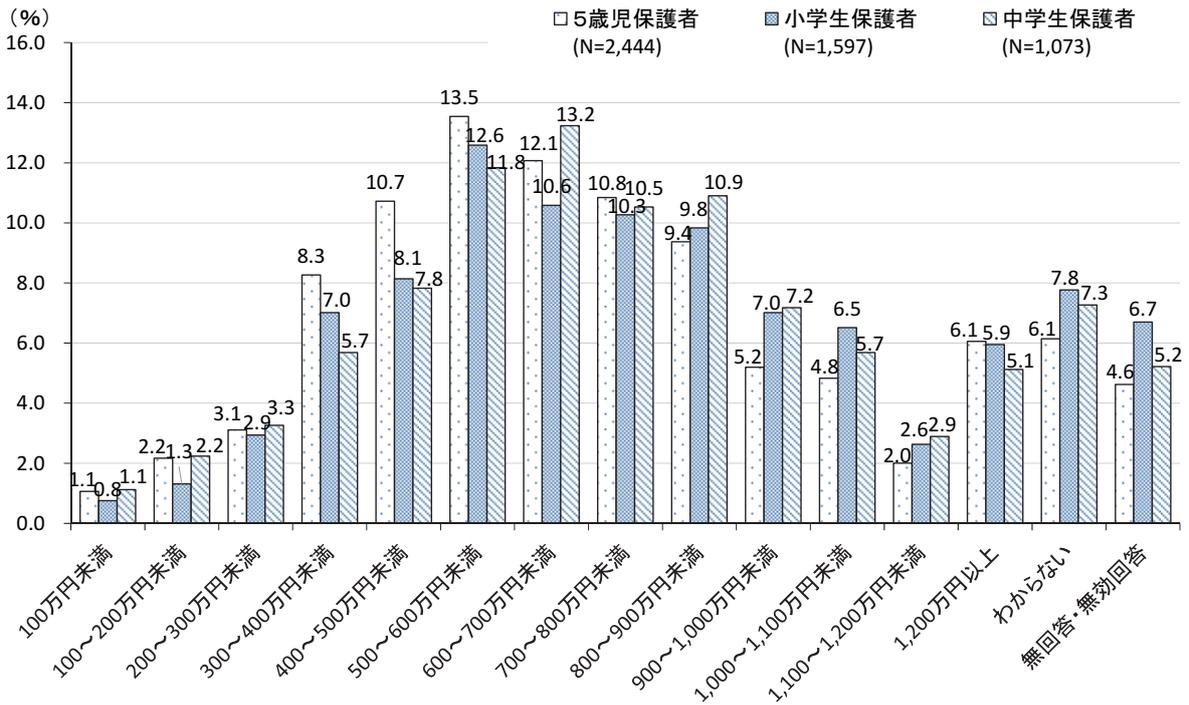
⑤ 世帯の年間収入

【5歳保問38・小中保問31】

2017年の世帯の収入の合計額を尋ねたところ、5歳児保護者・小学生保護者では「500～600万円未満」、中学生保護者では「600～700万円未満」が回答割合が高いという結果となった。また、200万円未満の割合をみると、5歳児保護者は3.3%、小学生保護者は2.1%、中学生保護者は3.3%であった。

問 前年（2017年）のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか

図表4-5-5-1 世帯収入 単純集計



(6) 保護者の過去の経験について

① 最終学歴（最後に通った学校）

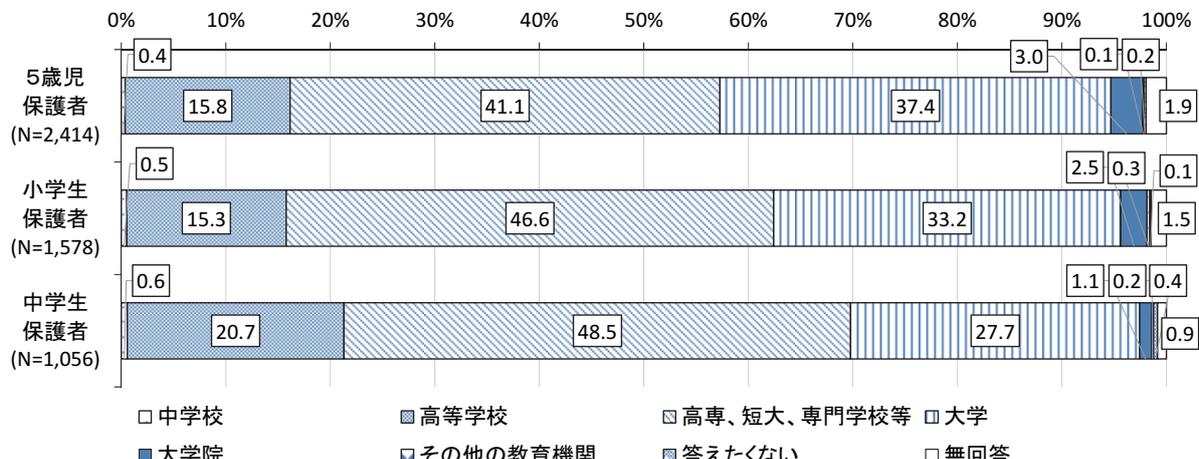
【5歳保問 39～40－1・小中保問 32～33－1】

調査票の宛名の子ども母親について、最後に通った学校で最も回答割合が高かったのはどの子どもの年齢・教育段階でも「高専、短大、専門学校等」であったが、次いで高かった「大学」は子どもの年齢・教育段階が進むにつれて回答割合が低くなっていた。また最後に通った学校を卒業したかどうかについては、「卒業した」の割合がどの子どもの年齢・教育段階でも9割以上となっていた。

父親については、最後に通った学校で最も回答割合が高かったのはどの子どもの年齢・教育段階でも「大学」で約5割となっていた。また母親同様、最後に通った学校について9割以上が「卒業した」と回答していた。

問 お子さんのお母さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか

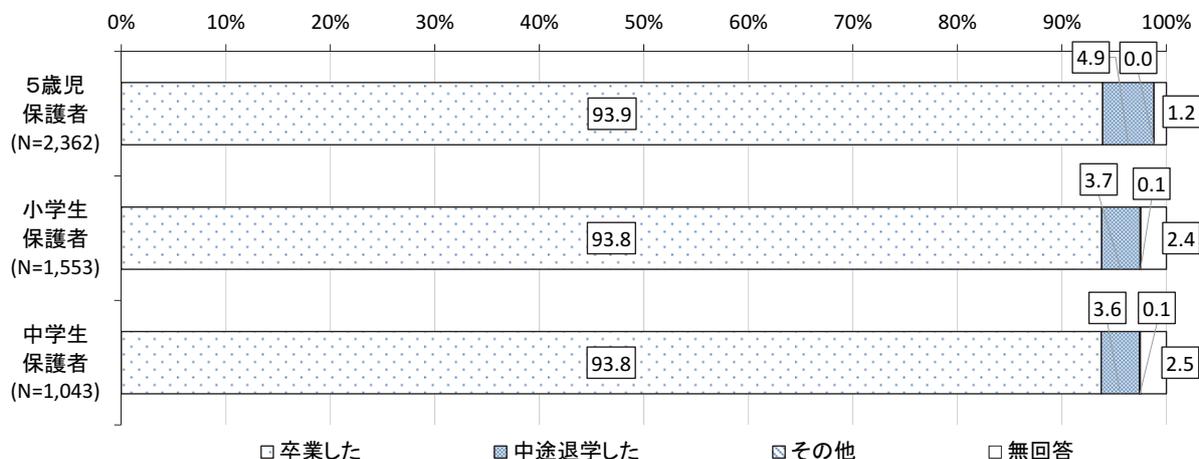
図表 4-6-1-1 母親の最後に通った学校 単純集計



※「お子さんのお母さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか」の設問は、回答者の子どもとの続柄を「母親」もしくは「父親」と答えた者のみ回答する設問。次ページ以降、【5歳保問 44、小中保問 37】まで同様。
 ※回答者の子どもとの続柄が「父親」で、婚姻状況を「離婚（別居中を含む）」「死別」「未婚・非婚」と答えた者は集計対象外とした。

問 お子さんのお母さまは、問 32 (39) で答えた学校を卒業されましたか

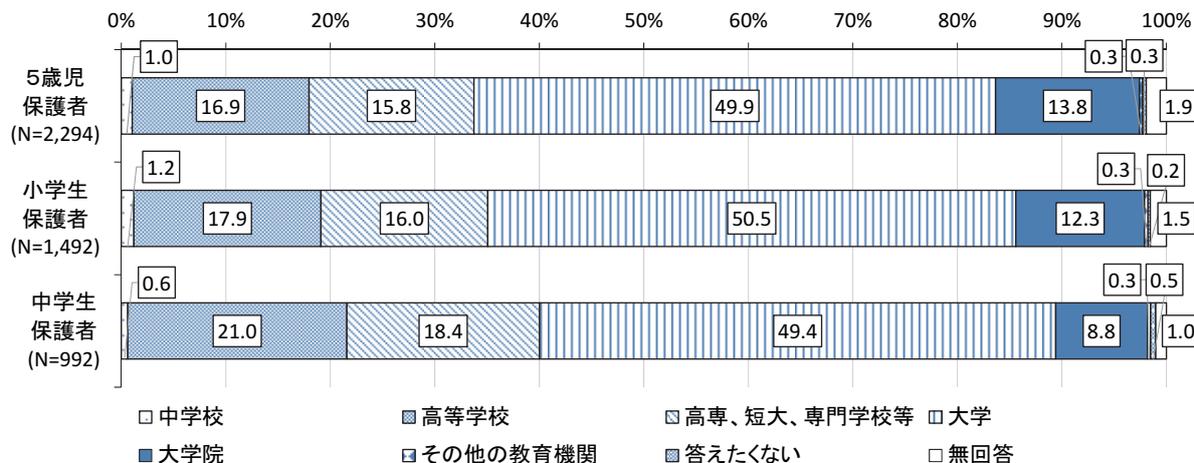
図表 4-6-1-2 卒業したかどうか 単純集計



※「お子さんのお母さまは、問 32 (39) で答えた学校を卒業されましたか」の設問は、「お子さんのお母さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか」に「中学校」～「その他の教育機関」と答えた者のみ回答する設問。

問 お子さんのお父さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか

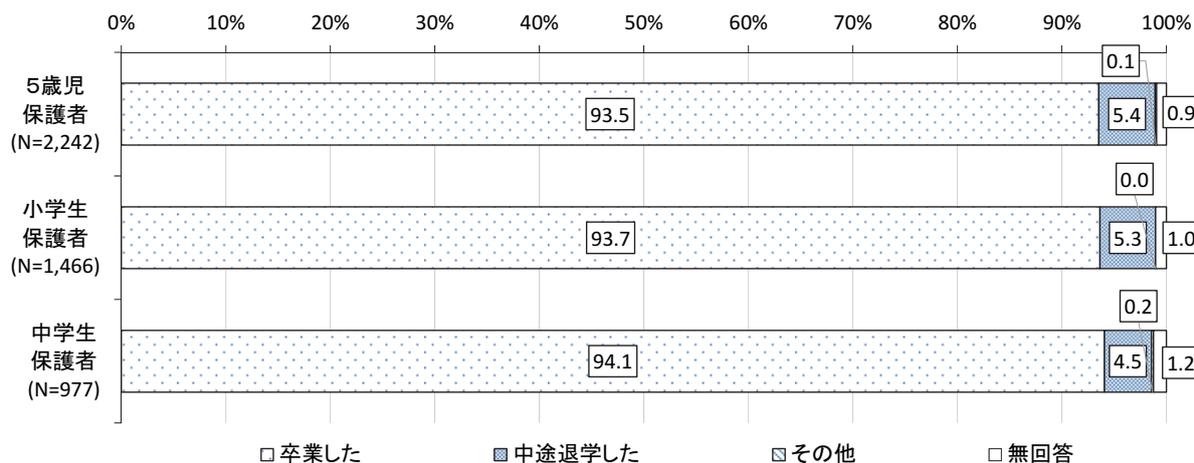
図表 4-6-1-3 父親の最後に通った学校 単純集計



※回答者のお子さんの続柄が「母親」で、婚姻状況を「離婚（別居中を含む）」「死別」「未婚・非婚」と答えた者は集計対象外とした。

問 お子さんのお父さまは、問 33 (40) で答えた学校を卒業されましたか

図表 4-6-1-4 卒業したかどうか 単純集計

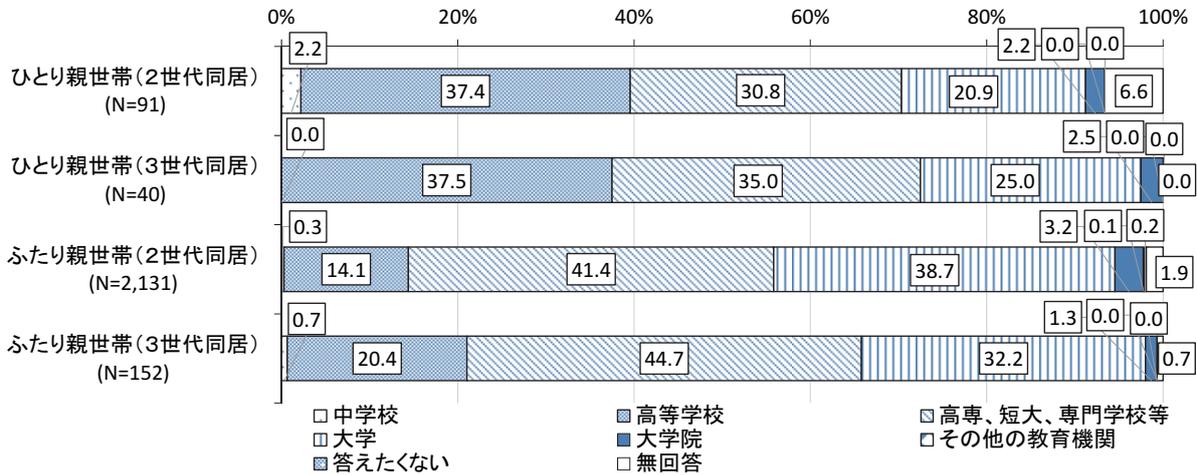


※「お子さんのお父さまは、問 33 (40) で答えた学校を卒業されましたか」の設問は、「お子さんのお父さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか」に「中学校」～「その他の教育機関」と答えた者のみ回答する設問。

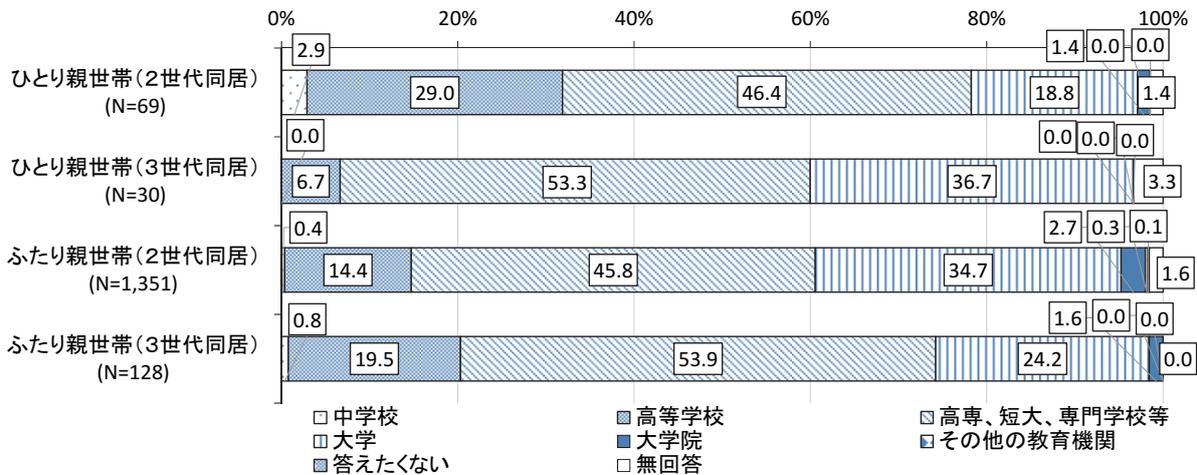
■ 世帯タイプ別

世帯タイプ別に母親の最後に通った学校をクロス集計すると、5歳児保護者・中学生保護者ではひとり親世帯において「中学校」「高等学校」の回答割合の合計がふたり親世帯よりも高くなっていて、小学生保護者ではひとり親世帯（3世代同居）で最も低く、ひとり親世帯（2世代同居）で最も高くなっていて。

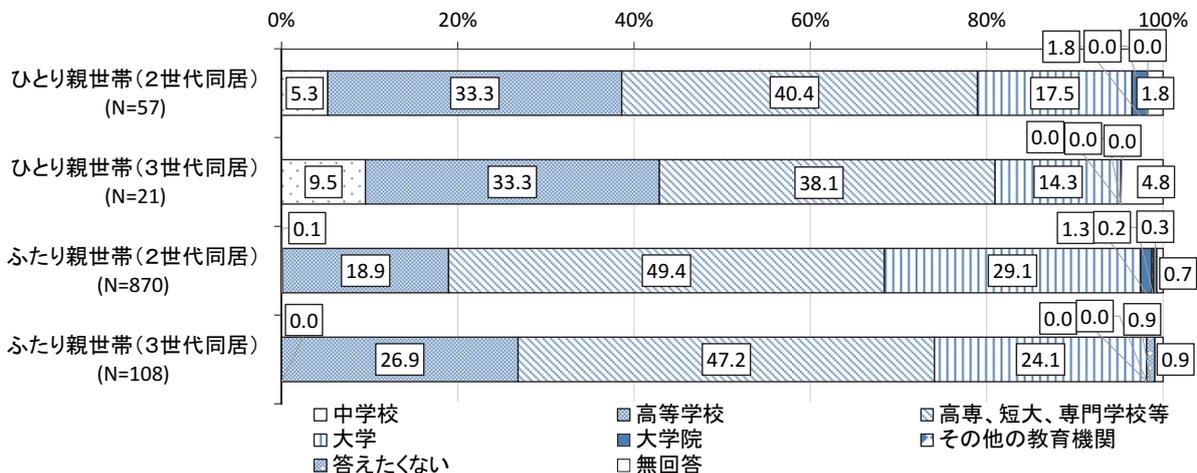
図表 4-6-1-5 母親の最後に通った学校 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-6-1-6 母親の最後に通った学校 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者 (**)



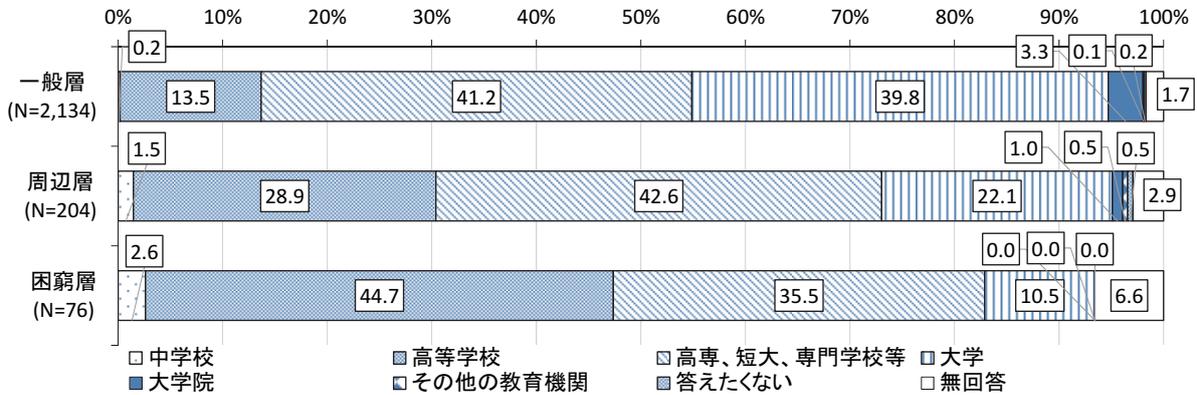
図表 4-6-1-7 母親の最後に通った学校 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)



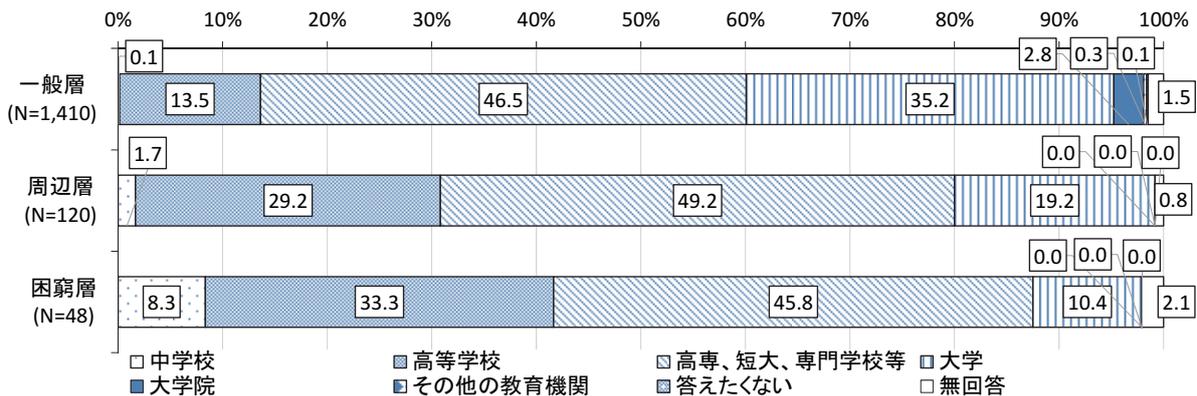
■生活困難層別

母親の最後に通った学校を生活困難層別にみると、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、生活困難度が高くなるにつれて「中学校」「高等学校」といった回答の割合が高くなっていった。父親の最後に通った学校についても、5歳児保護者・小学生保護者で同様となっていた。

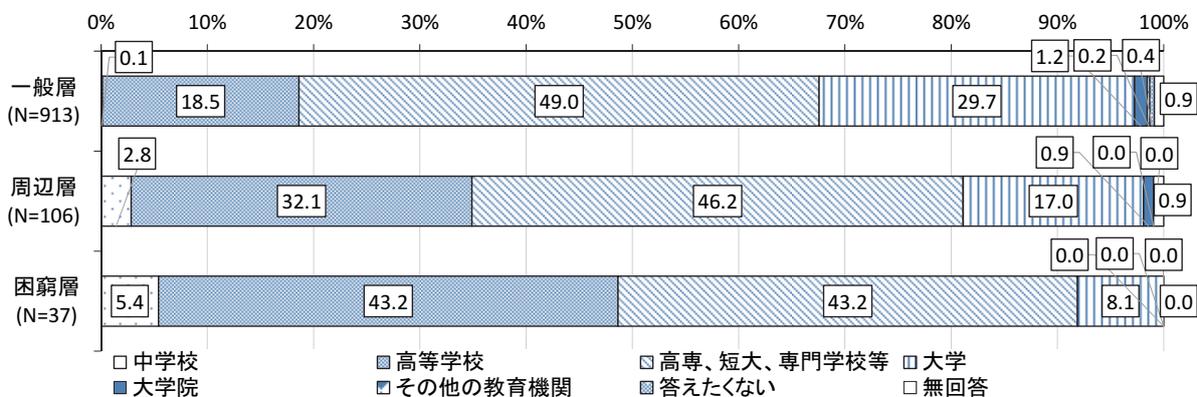
図表 4-6-1-8 母親の最後に通った学校 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



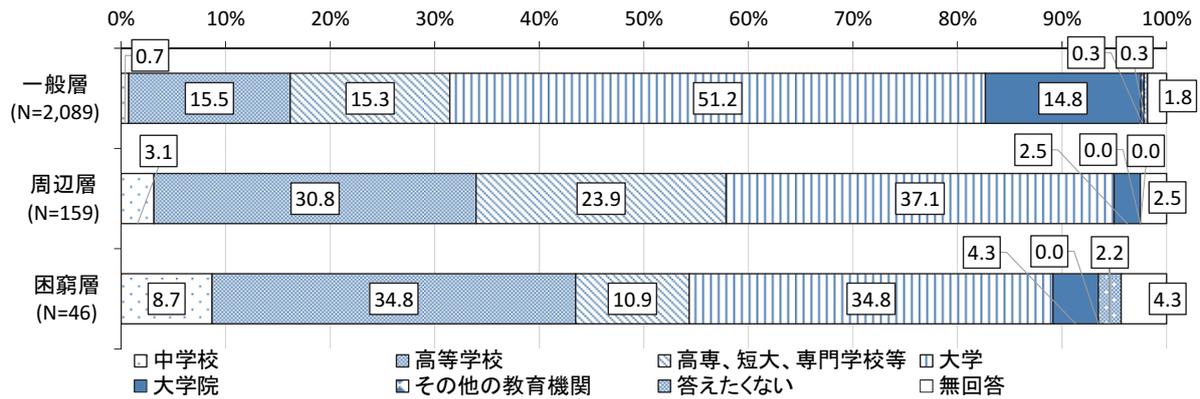
図表 4-6-1-9 母親の最後に通った学校 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



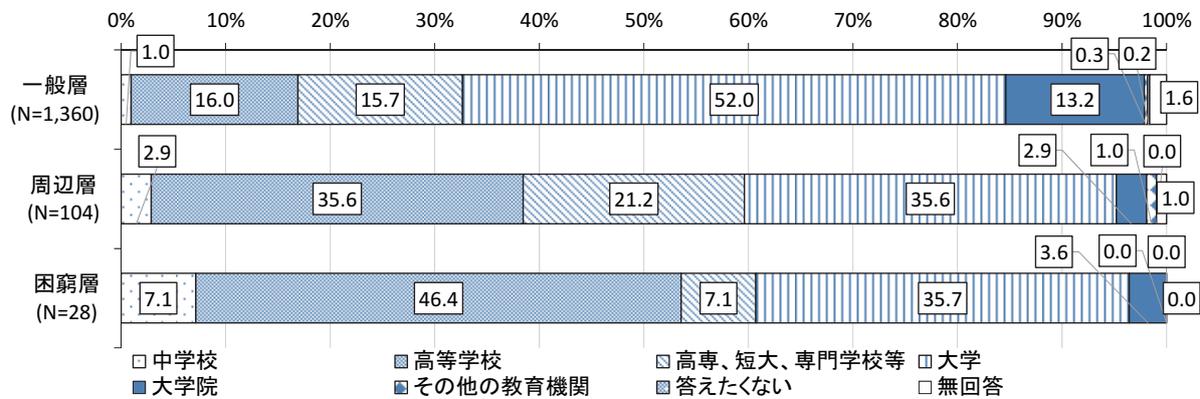
図表 4-6-1-10 母親の最後に通った学校 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



図表 4-6-1-11 父親の最後に通った学校 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-6-1-12 父親の最後に通った学校 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)

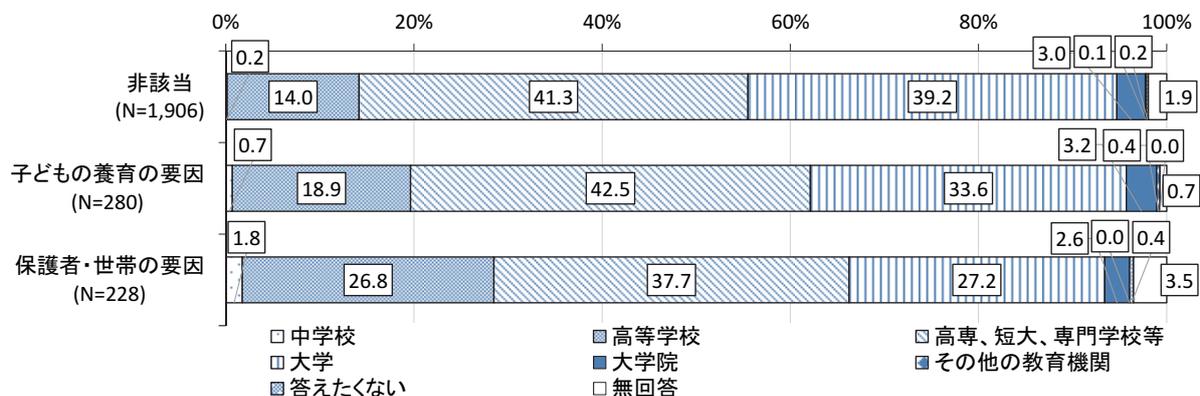


■ 潜在的養育困難層別

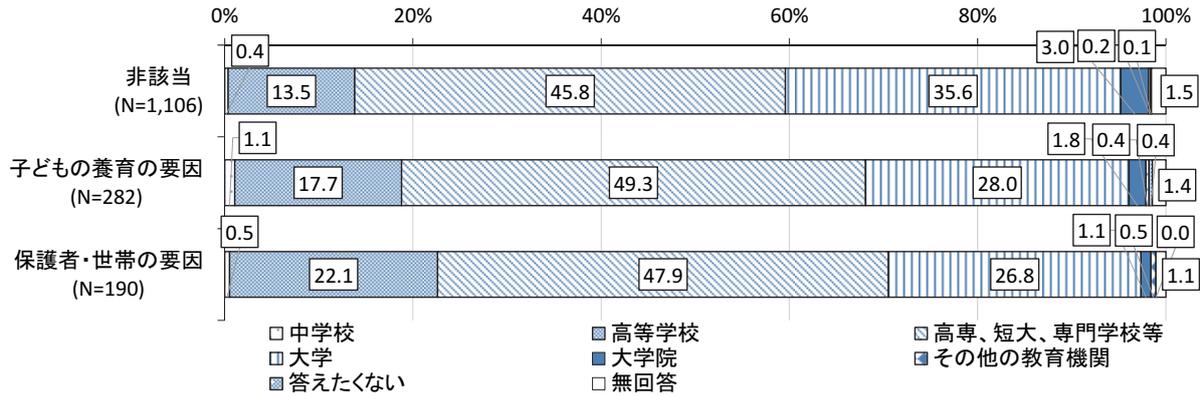
母親の最後に通った学校を潜在的養育困難層別にみると、非該当層は潜在的養育困難層に比べて「大学」の回答割合が高かった。また、5歳児保護者・小学生保護者の「保護者・世帯の要因」層では「中学」や「高等学校」の回答割合が比較的高くなっていった。

父親の最後に通った学校についても潜在的養育困難層別にクロス集計をしたところ、5歳児保護者において、非該当層で「大学」「大学院」の回答割合が他の層よりも高くなっていった。

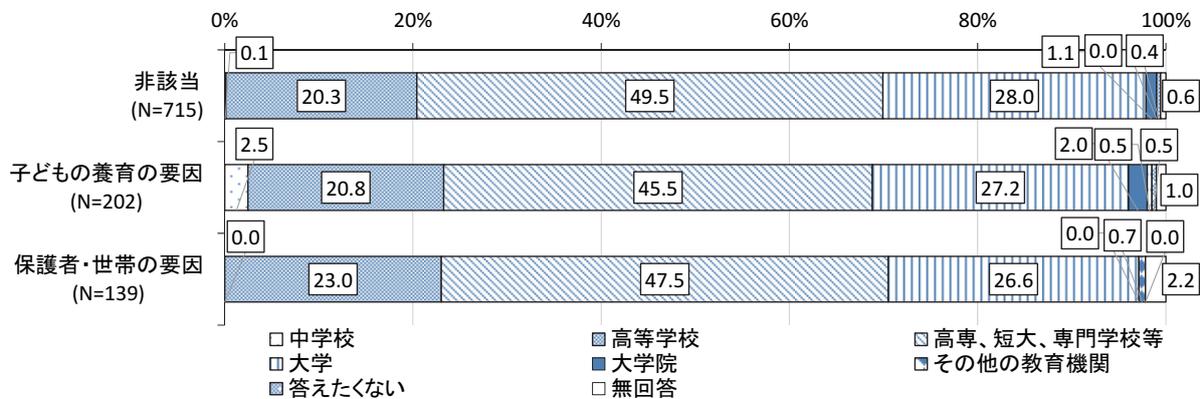
図表 4-6-1-13 母親の最後に通った学校 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



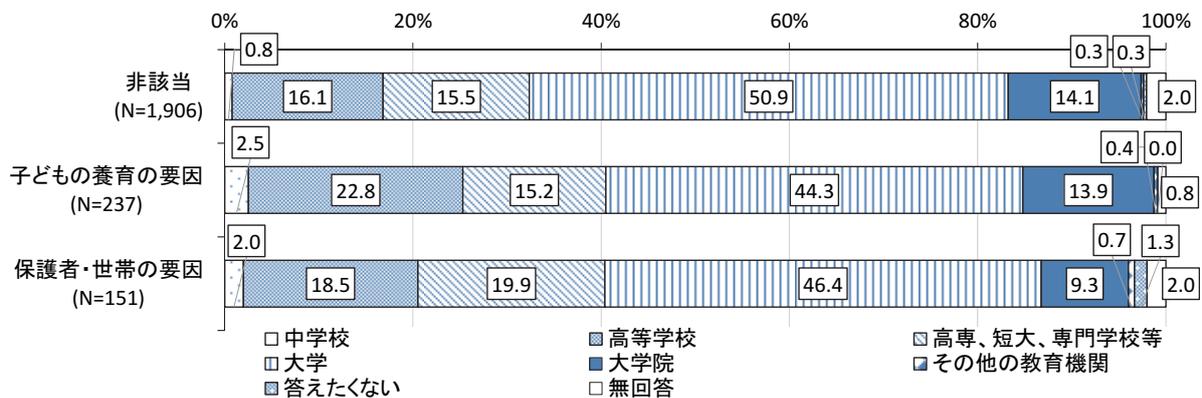
図表 4-6-1-14 母親の最後に通った学校 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (**)



図表 4-6-1-15 母親の最後に通った学校 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (**)



図表 4-6-1-16 父親の最後に通った学校 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (**)



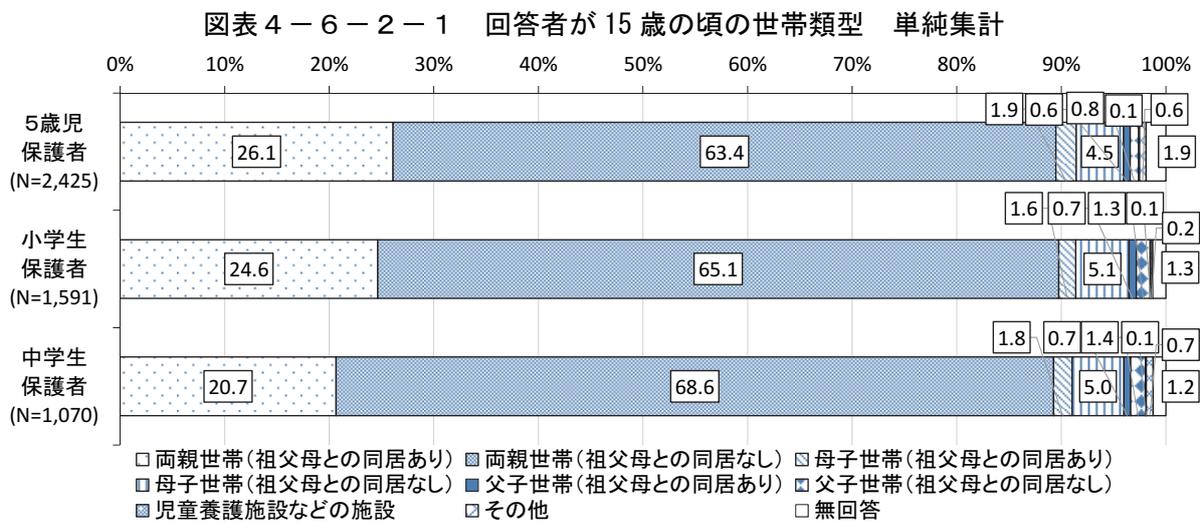
② 15歳の頃の世帯の状況

【5歳保問 41～42・小中保問 34～35】

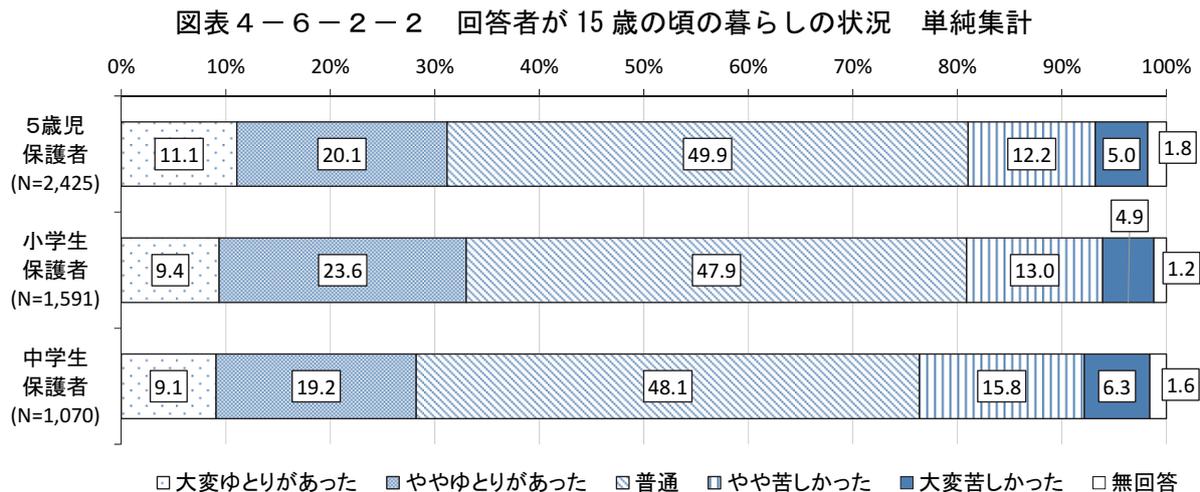
回答者が15歳の頃の世帯類型を尋ねると、どの子どもの年齢・教育段階でも6割以上が「両親世帯(祖父母との同居なし)」と回答していた。ひとり親世帯であった旨の回答(「母子世帯(祖父母との同居あり)」「母子世帯(祖父母との同居なし)」「父子世帯(祖父母との同居あり)」「父子世帯(祖父母との同居なし)」)をみると、「母子世帯(祖父母との同居なし)」が4～5%で最も多かった。

また、回答者が15歳の頃の家庭の暮らし向きについての認識を尋ねると、「やや苦しかった」「大変苦しかった」という回答が、5歳児保護者では17.2%、小学生保護者では17.9%、中学生保護者では22.1%となっていた。

問 あなたが15歳の頃のご家庭の様子に最も近いもの



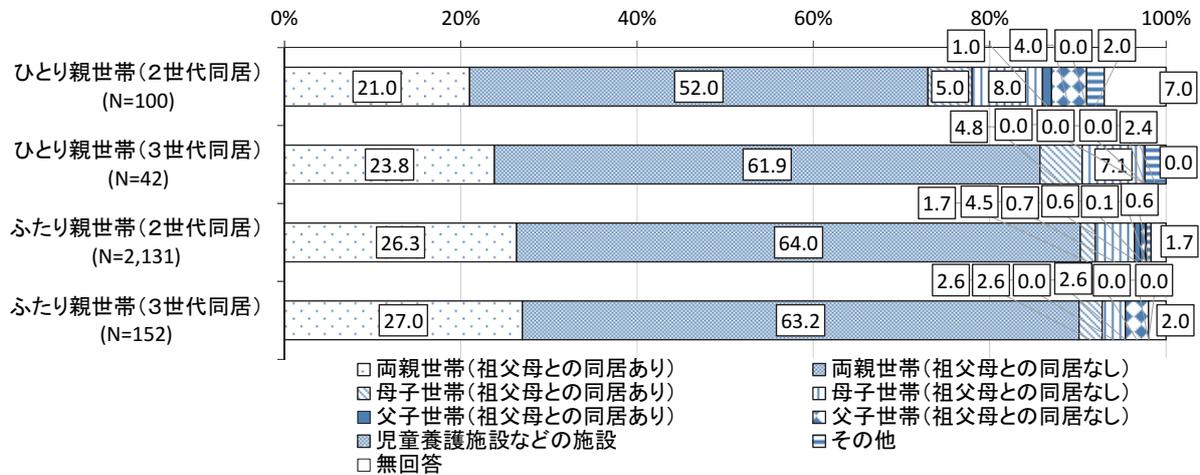
問 あなたが15歳の頃の、ご家庭の暮らし向きについて



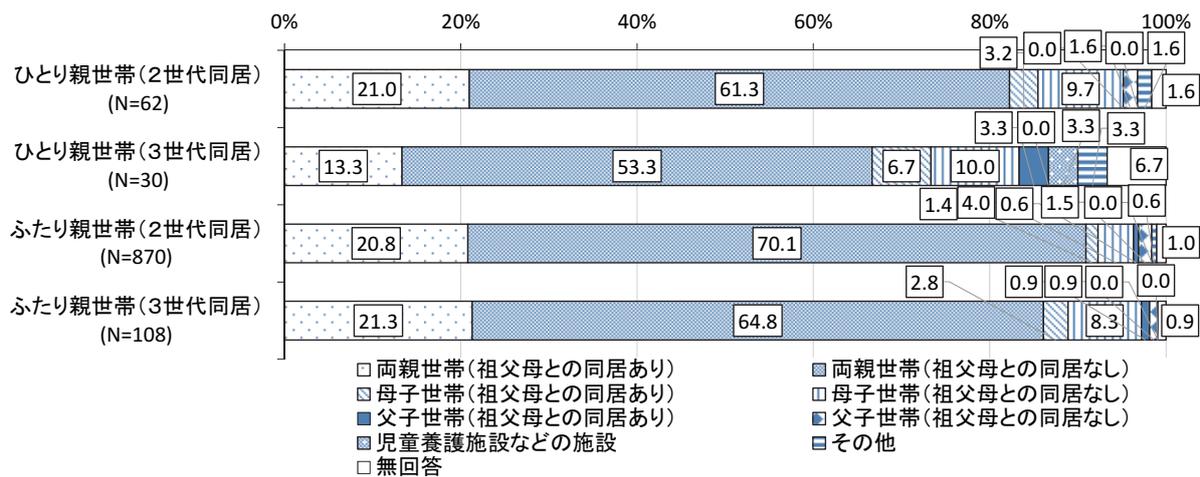
■世帯タイプ別

世帯タイプ別に、回答者が15歳の頃の世帯類型についてのクロス集計をすると、ひとり親世帯（2世代同居）の5歳児保護者が15歳の頃にひとり親世帯であった割合は約2割であった。

図表4-6-2-3 回答者が15歳の頃の世帯類型 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表4-6-2-4 回答者が15歳の頃の世帯類型 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者 (***)

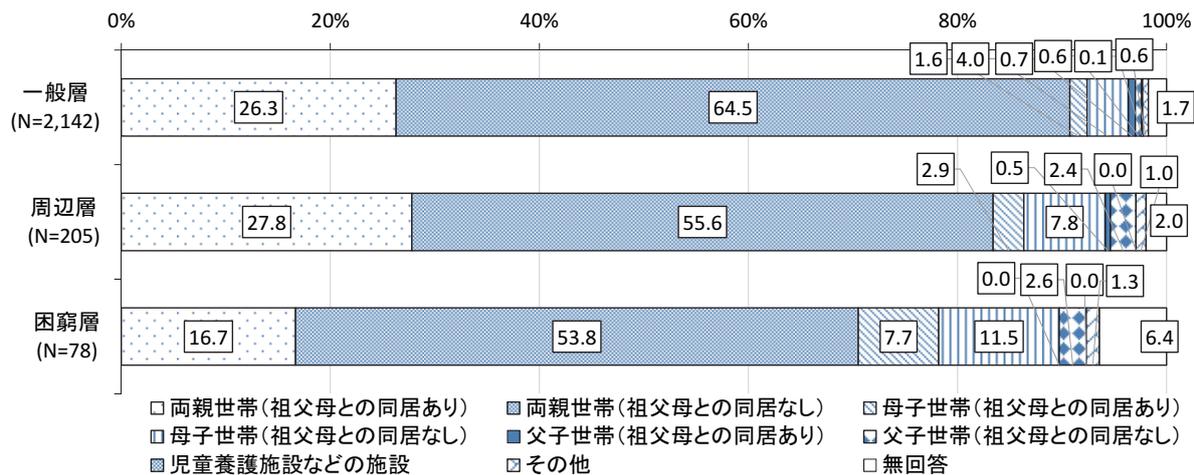


■生活困難層別

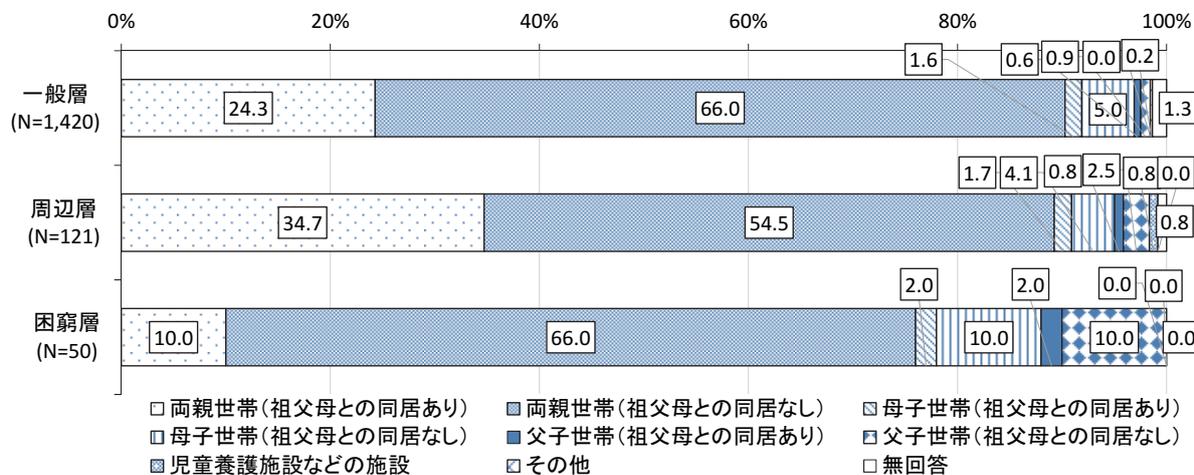
回答者が15歳の頃の世帯類型について生活困難層別クロス集計をすると、どの子どもの年齢・教育段階でも、生活困難度が高くなるにつれて両親世帯である旨の回答が少なくなっていた。

また暮らしの状況に関して生活困難層別にみると、「やや苦しかった」「大変苦しかった」の回答割合の合計が生活困難度が上がるにつれて高くなる傾向がみられた。困窮層について、15歳の頃の暮らしの状況を「やや苦しかった」「大変苦しかった」と回答した割合は5歳児保護者と小学生保護者が約4割、中学生保護者が約5割となっていた。

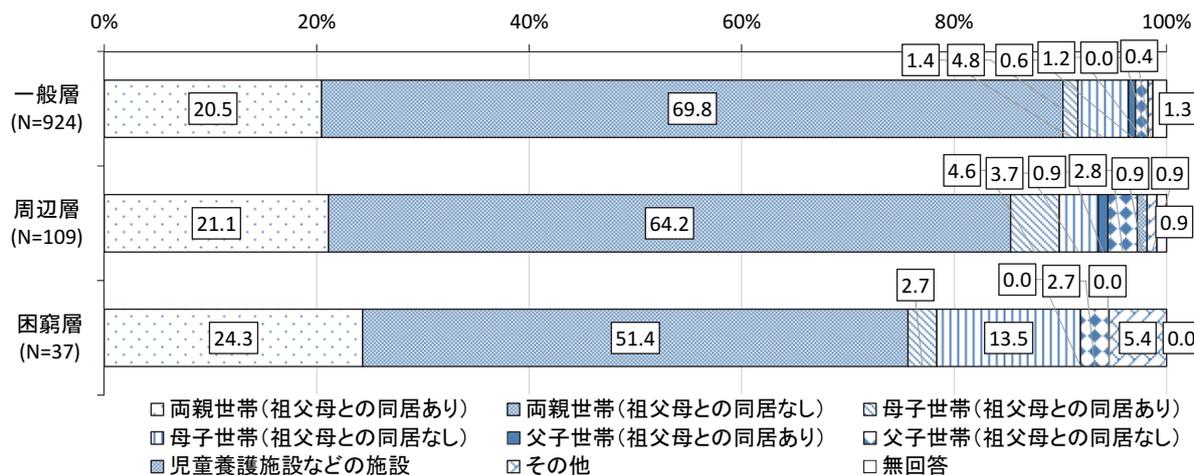
図表 4-6-2-5 回答者が15歳の頃の世帯類型 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 4-6-2-6 回答者が15歳の頃の世帯類型 生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)

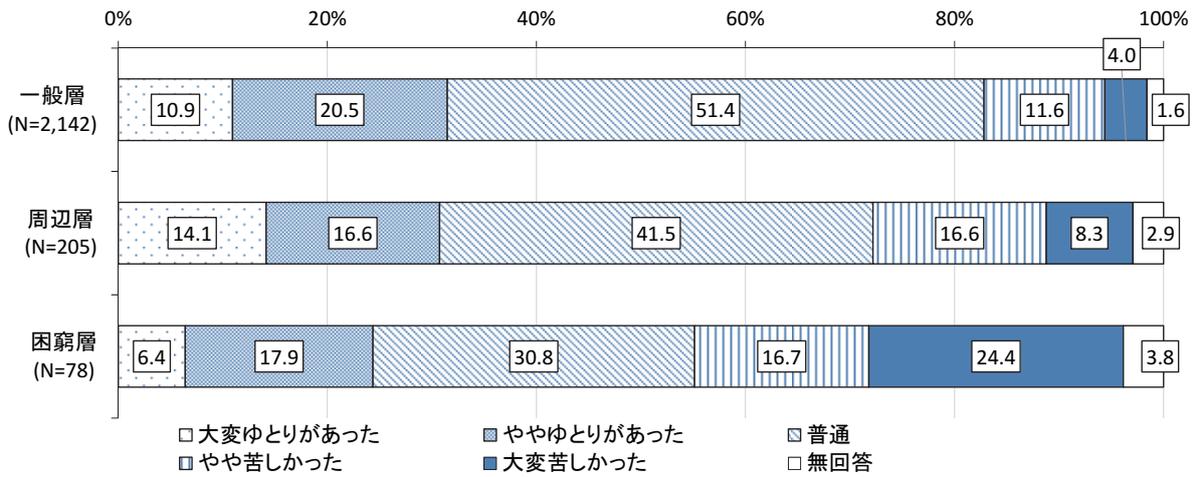


図表 4-6-2-7 回答者が15歳の頃の世帯類型 生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)



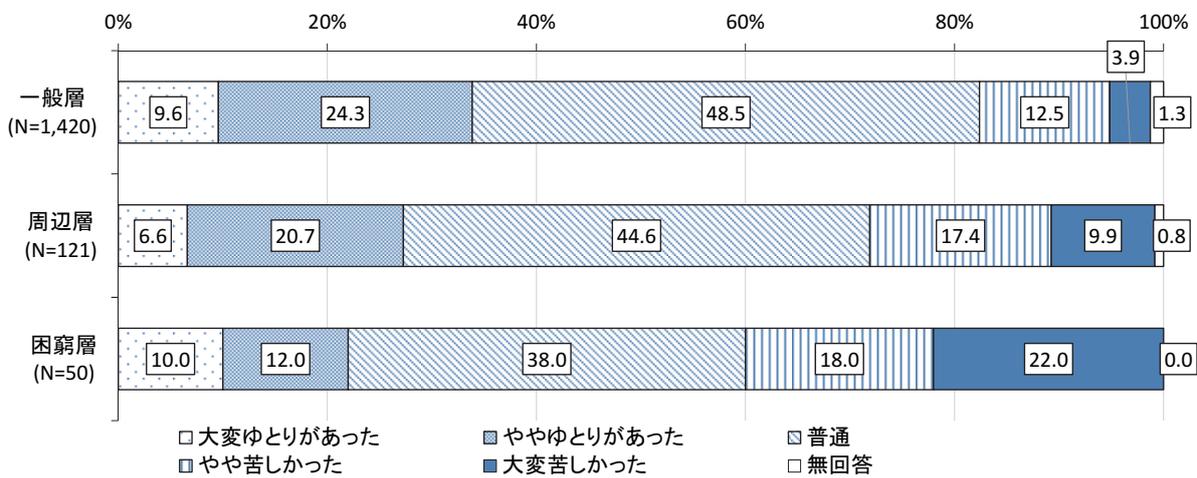
図表 4-6-2-8 回答者が15歳の頃の暮らしの状況

生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



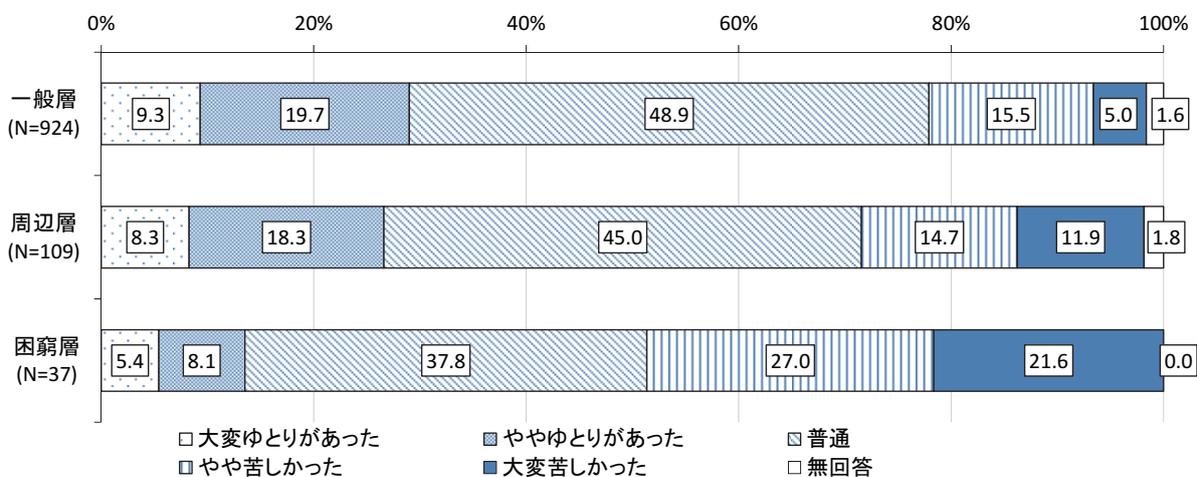
図表 4-6-2-9 回答者が15歳の頃の暮らしの状況

生活困難層別クロス集計 小学生保護者 (***)



図表 4-6-2-10 回答者が15歳の頃の暮らしの状況

生活困難層別クロス集計 中学生保護者 (***)

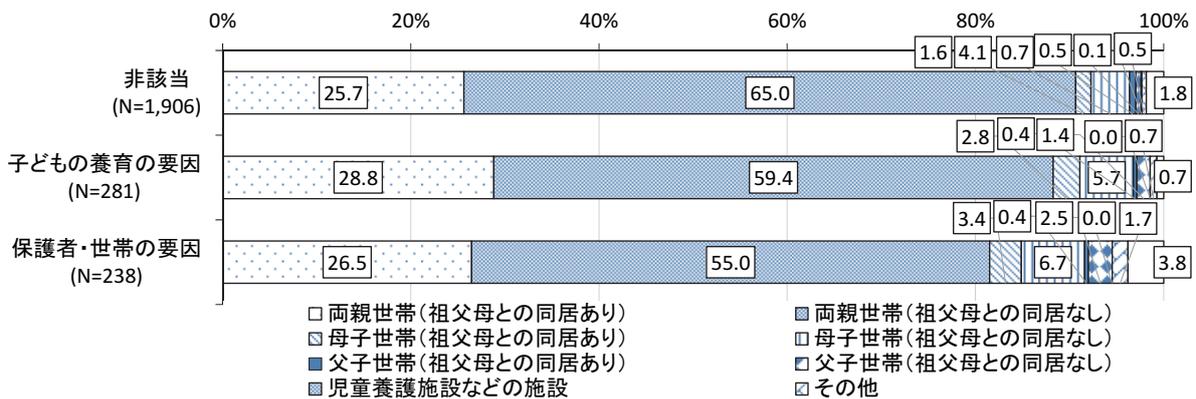


■潜在的養育困難層別

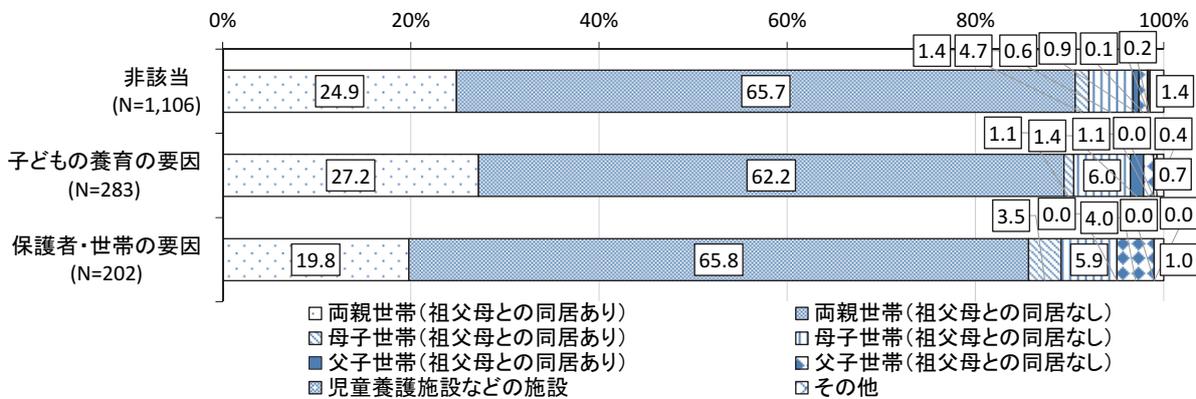
回答者が15歳の頃の世帯類型について潜在的養育困難層別クロス集計をすると、潜在的養育困難層では非該当層よりも両親世帯である旨の回答の割合が比較的低い結果となった。

回答者が15歳の頃の暮らしの状況を潜在的養育困難層別にみると、「やや苦しかった」「大変苦しかった」の回答割合の合計が、非該当層よりも潜在的養育困難層で高くなっていた。

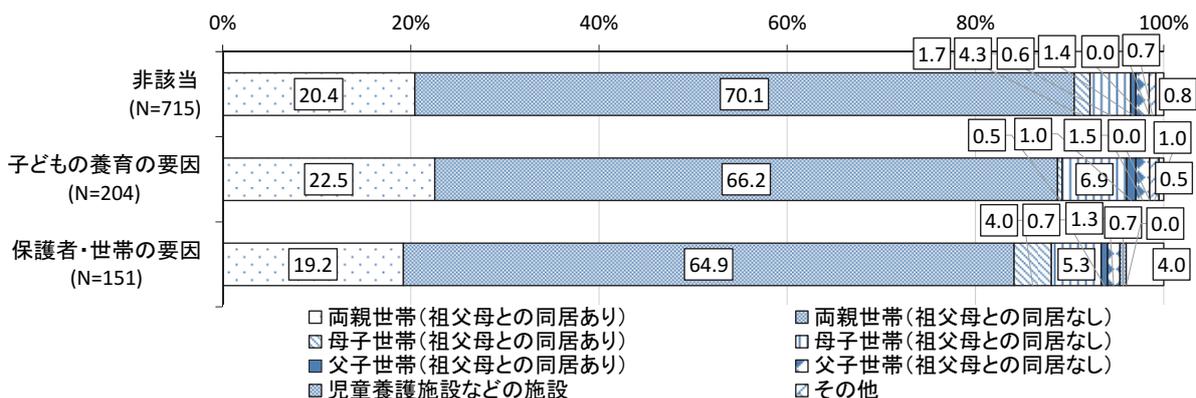
図表4-6-2-11 回答者が15歳の頃の世帯類型
潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表4-6-2-12 回答者が15歳の頃の世帯類型
潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (**)

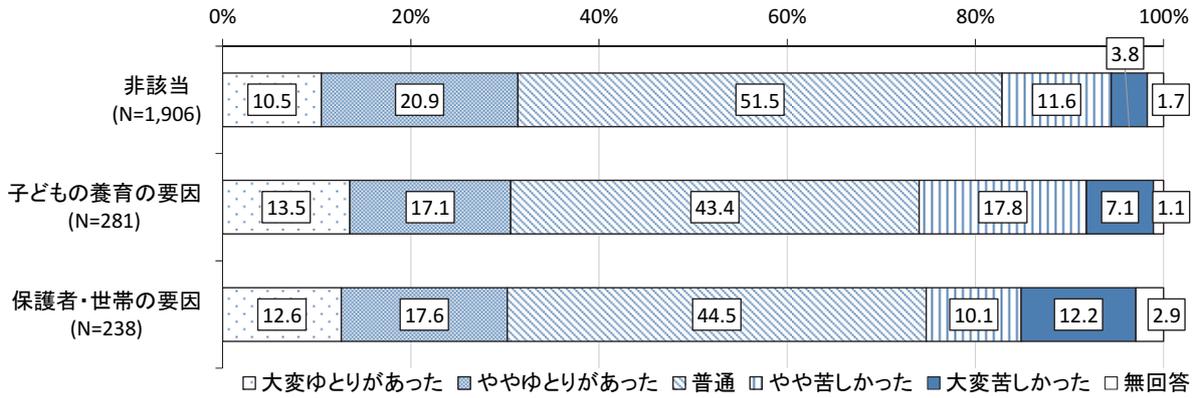


図表4-6-2-13 回答者が15歳の頃の世帯類型
潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (**)



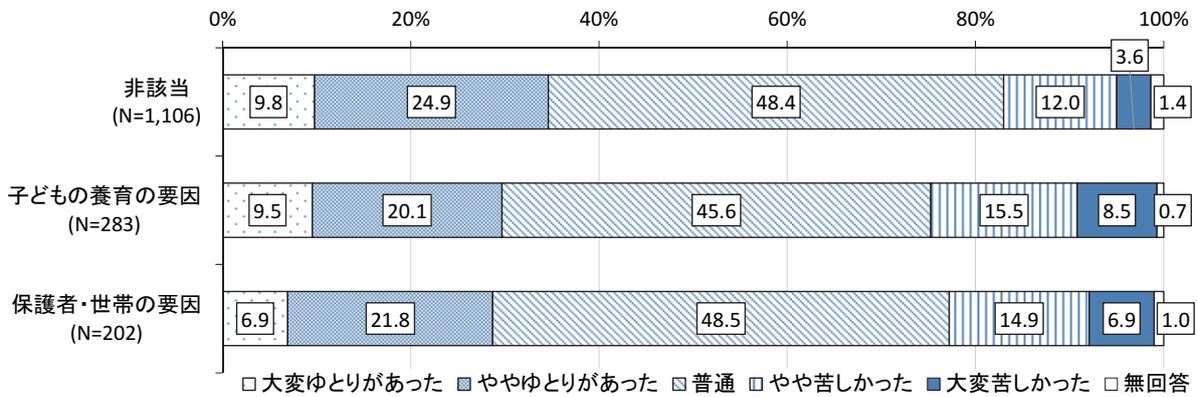
図表 4-6-2-14 回答者が15歳の頃の暮らしの状況

潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



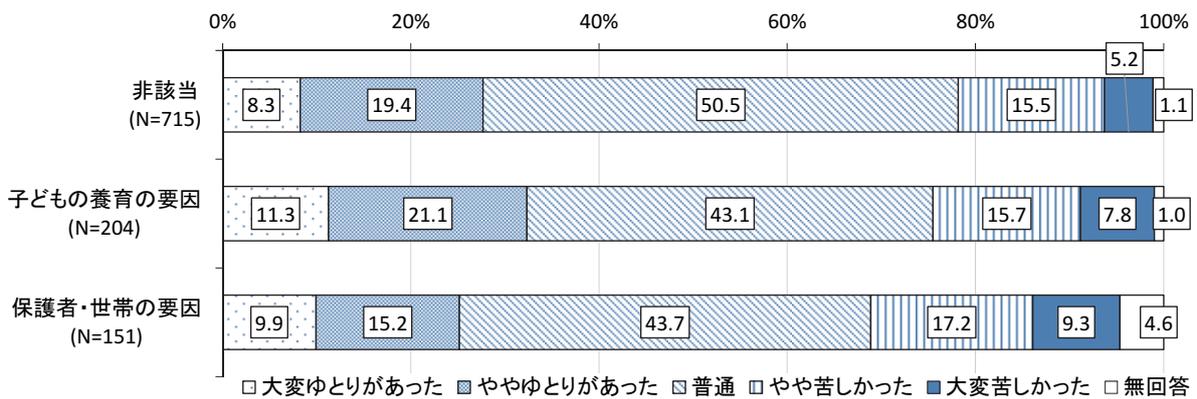
図表 4-6-2-15 回答者が15歳の頃の暮らしの状況

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者 (**)



図表 4-6-2-16 回答者が15歳の頃の暮らしの状況

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者 (**)



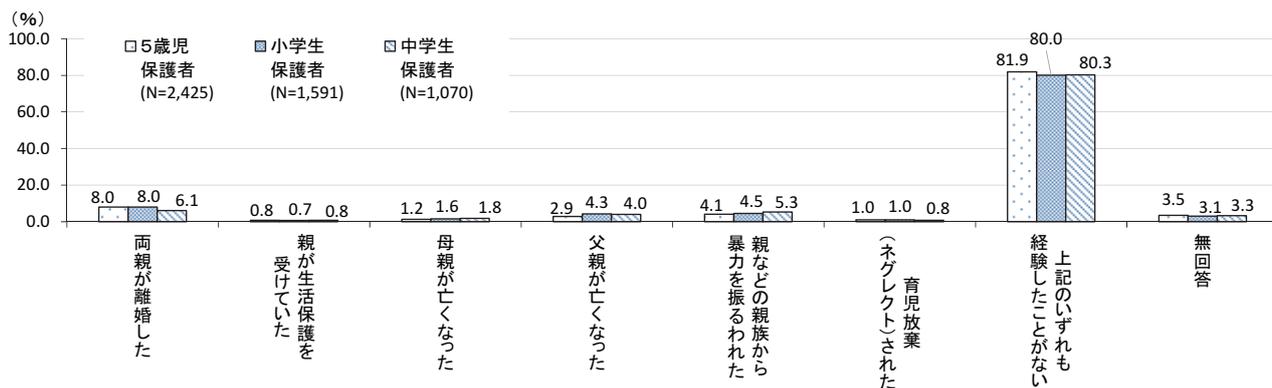
③ 成人する前の困難な経験

【5歳保問43・小中保問36】

回答者が成人する前に体験したことをみると、「上記のいずれも経験したことがない」という回答を除くと、どの子どもの年齢・教育段階でも「両親が離婚した」「親などの親族から暴力を振るわれた」の割合が比較的高かった。

問 あなたは、成人する前に次のような体験をしたことがありますか（複数回答）

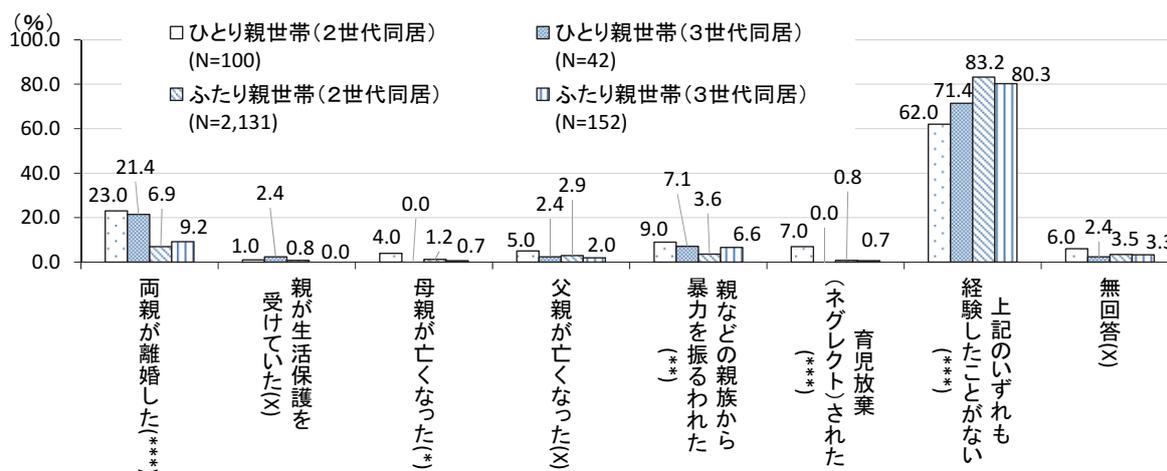
図表4-6-3-1 成人する前の体験 単純集計



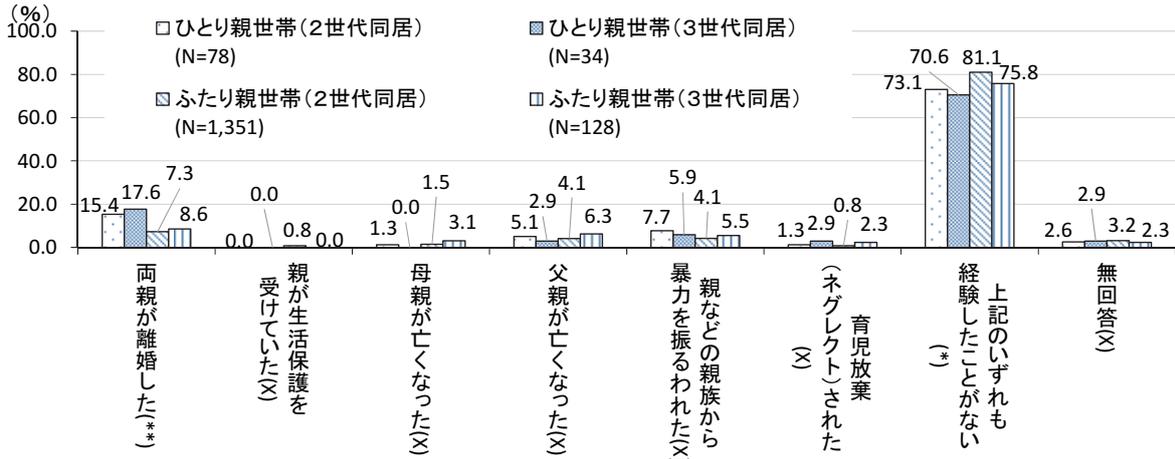
■ 世帯タイプ別

回答者が成人する前に体験したことについて世帯タイプ別クロス集計をしたところ、「上記のいずれも経験したことがない」という回答を除くと、5歳児保護者と小学生保護者では、「両親が離婚した」においてひとり親世帯の方がふたり親世帯よりも高い回答割合となっていた。中学生保護者では、ひとり親世帯（3世代同居）が「両親が離婚した」と回答した割合が高くなっていた。

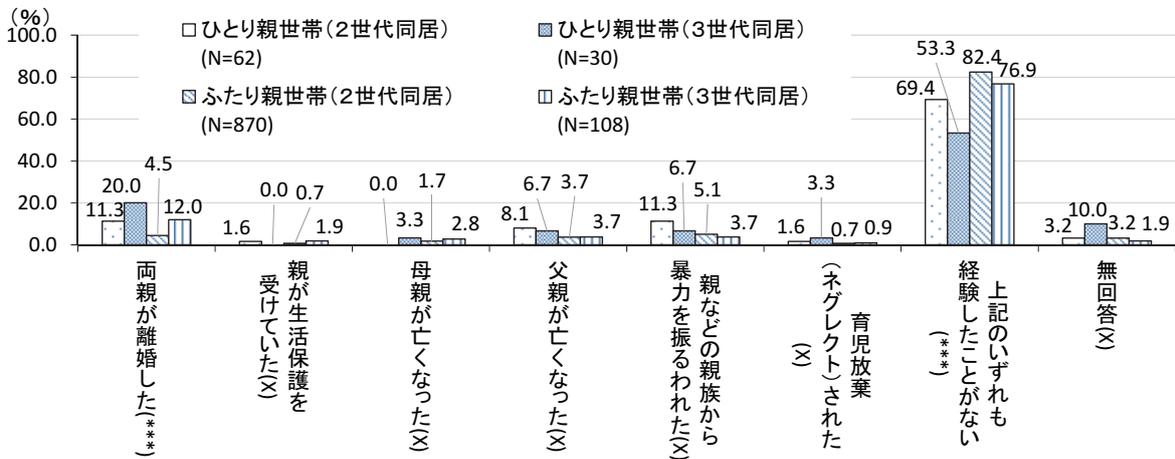
図表4-6-3-2 成人する前の体験 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-6-3-3 成人する前の体験 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者



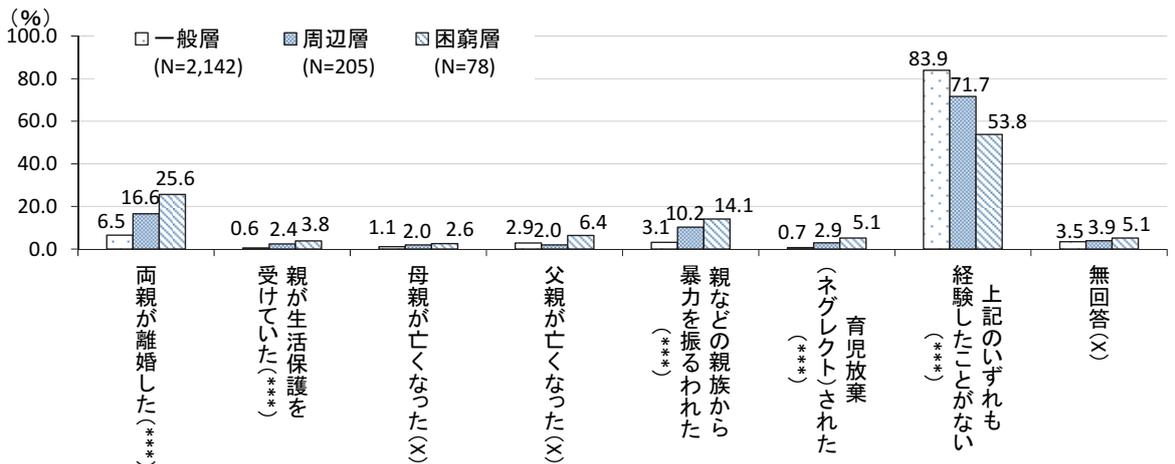
図表 4-6-3-4 成人する前の体験 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者



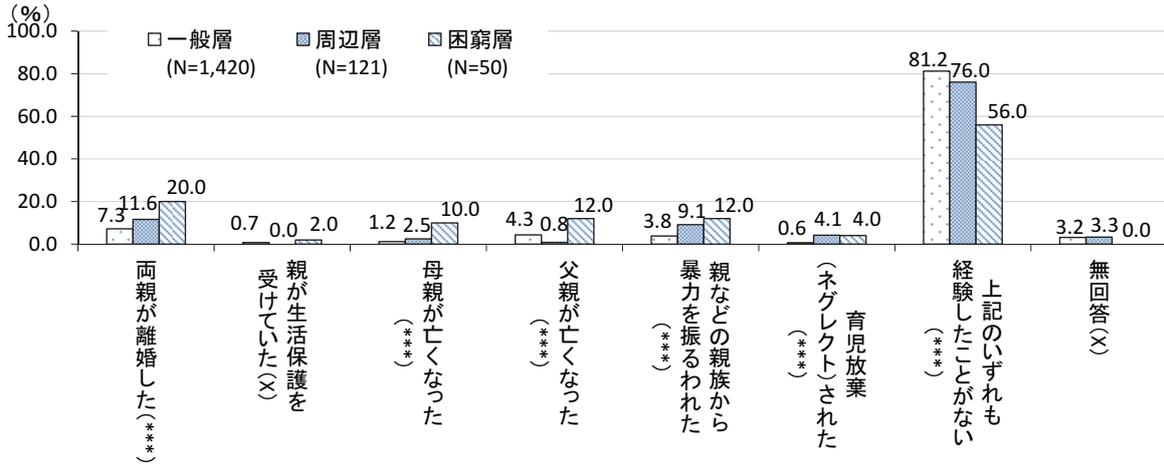
■生活困難層別

回答者が成人する前に体験したことの生活困難層別クロス集計結果をみると、「上記のいずれも経験したことがない」という回答を除くと、どの子どもの年齢・教育段階においても「両親が離婚した」「親などの親族から暴力を振るわれた」といった項目で、生活困難度が上がるにつれて回答割合が高くなっていった。

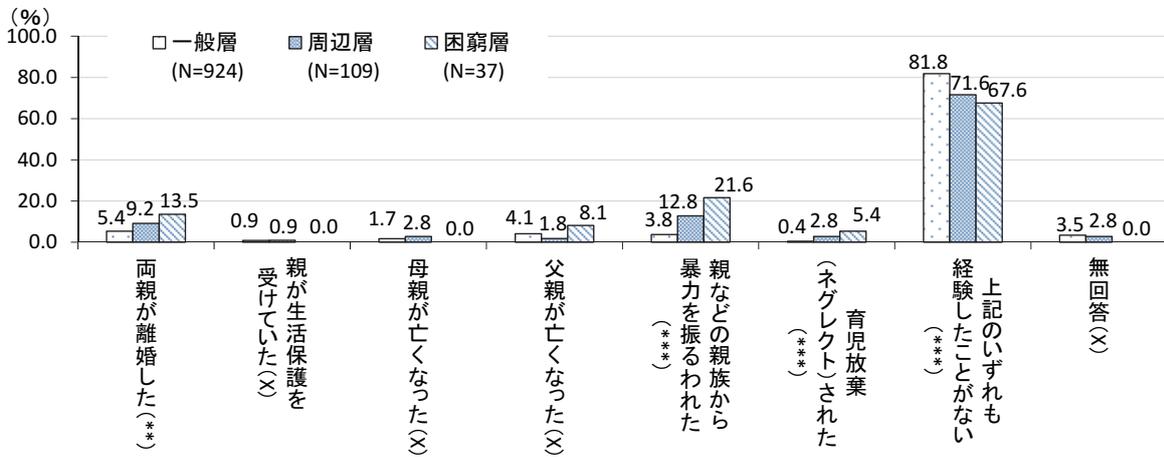
図表 4-6-3-5 成人する前の体験 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-6-3-6 成人する前の体験 生活困難層別クロス集計 小学生保護者



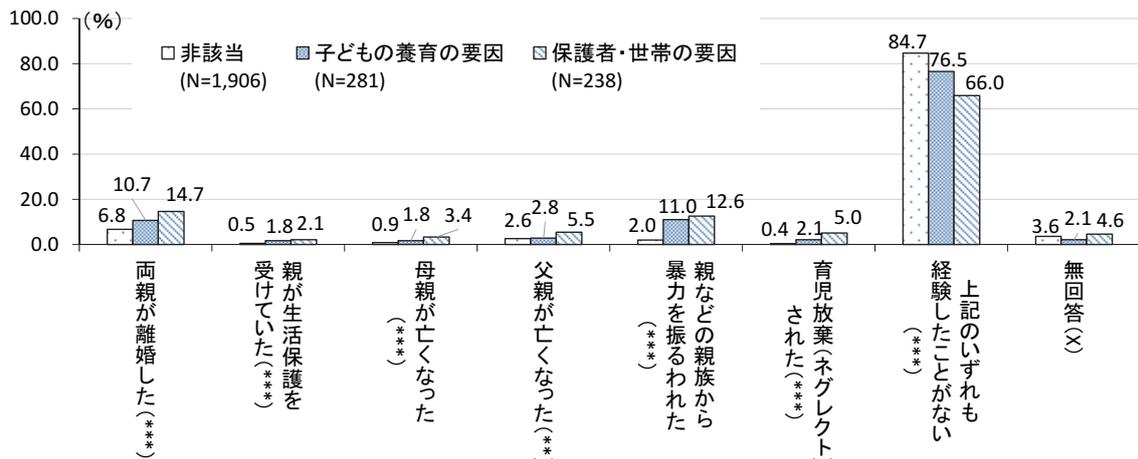
図表 4-6-3-7 成人する前の体験 生活困難層別クロス集計 中学生保護者



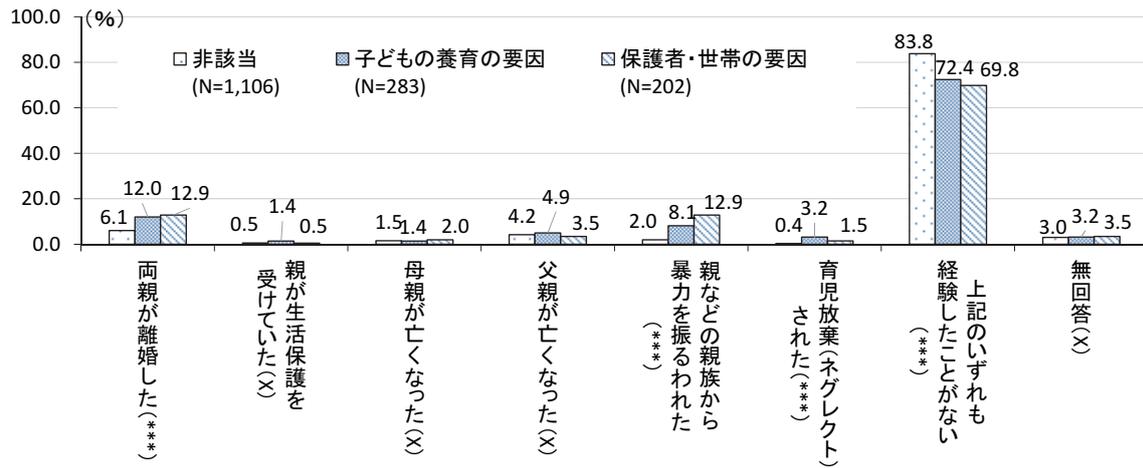
■潜在的養育困難層別

回答者が成人する前に体験したことの潜在的養育困難層別クロス集計結果をみると、「上記のいずれも経験したことがない」という回答を除くと、5歳児保護者、小学生保護者で「両親が離婚した」「親などの親族から暴力を振るわれた」「育児放棄(ネグレクト)された」、中学生保護者では「親などの親族から暴力を振るわれた」「育児放棄(ネグレクト)された」の項目で、非該当層よりも潜在的養育困難層の方が高い回答割合となっていた。

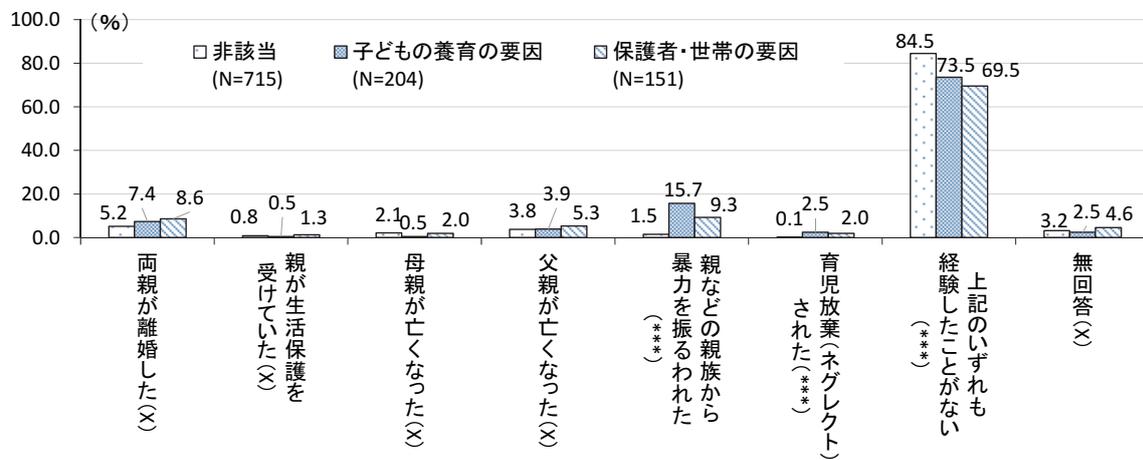
図表 4-6-3-8 成人する前の体験 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-6-3-9 成人する前の体験 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者



図表 4-6-3-10 成人する前の体験 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者



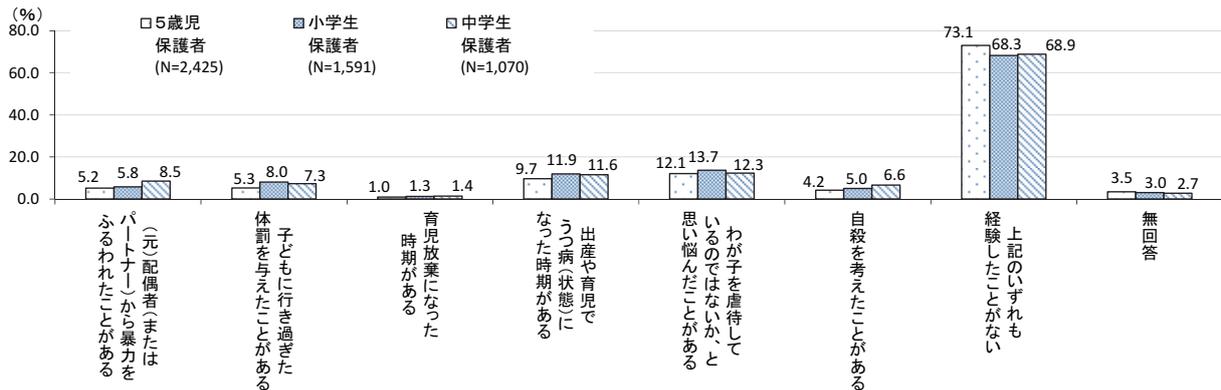
④ 子どもが生まれてからの経験

【5歳児問44・小中保問37】

子どもが生まれてから回答者が経験したことを尋ねたところ、「上記のいずれも経験したことがない」という回答を除くと、どの子どもの年齢・教育段階でも、「わが子を虐待しているのではないか、と思ひ悩んだことがある」「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」の回答が比較的多かった。

問 あなたはお子さんが生まれてから、次のような経験をしたことがありますか(複数回答)

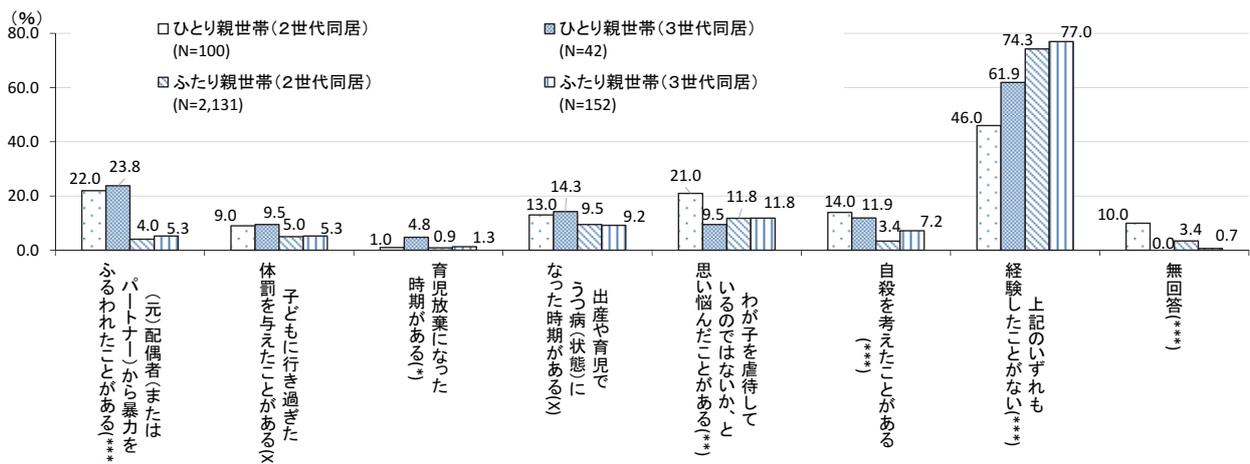
図表4-6-4-1 子どもが生まれてからの経験 単純集計



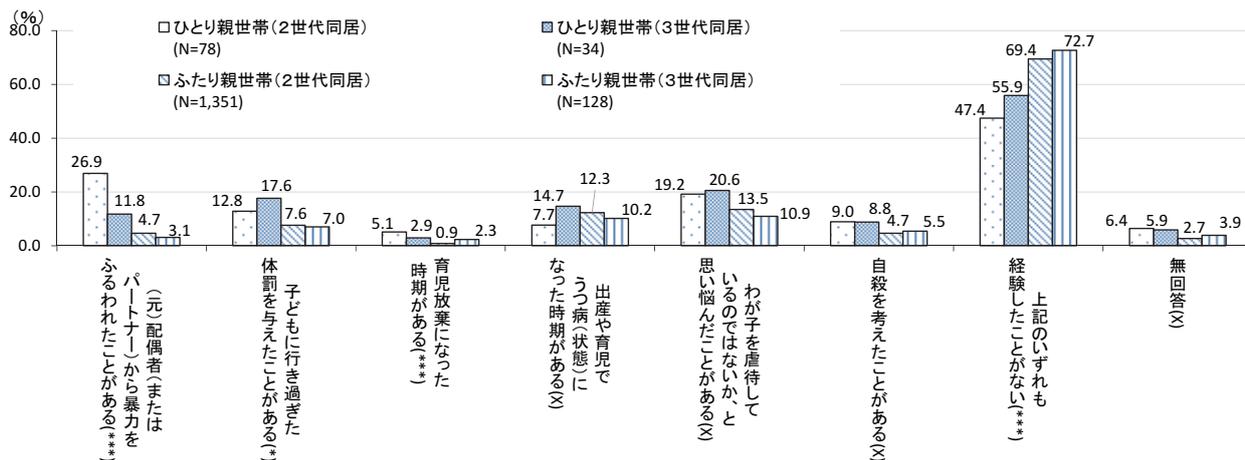
■世帯タイプ別

世帯タイプ別に、子どもが生まれてから回答者が経験したことについてクロス集計をしたところ、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」が、特にひとり親世帯で回答割合が高い結果となった。ひとり親世帯(2世代同居)で「上記のいずれも経験したことがない」と回答した割合は50%以下となっていた。

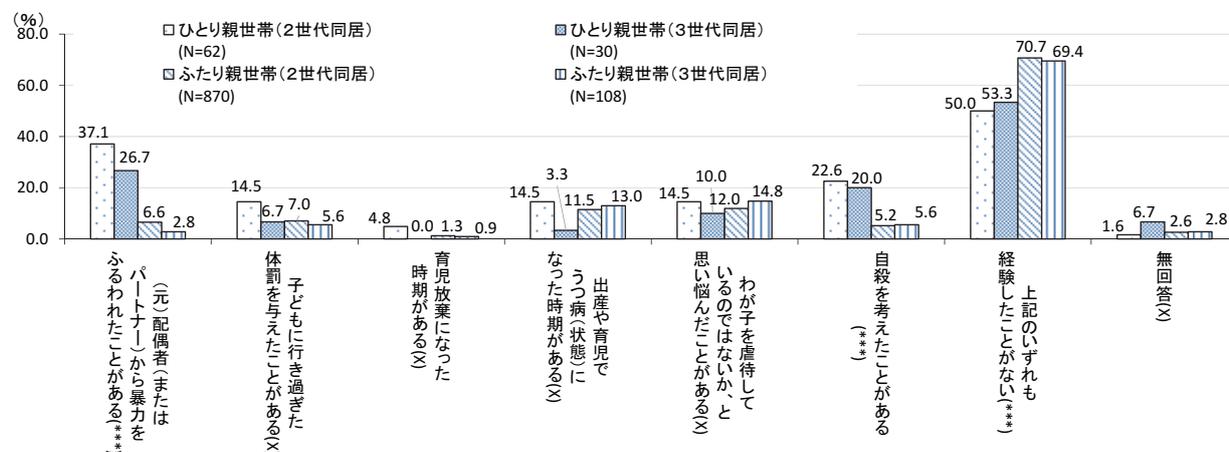
図表4-6-4-2 子どもが生まれてからの経験 世帯タイプ別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-6-4-3 子どもが生まれてからの経験 世帯タイプ別クロス集計 小学生保護者



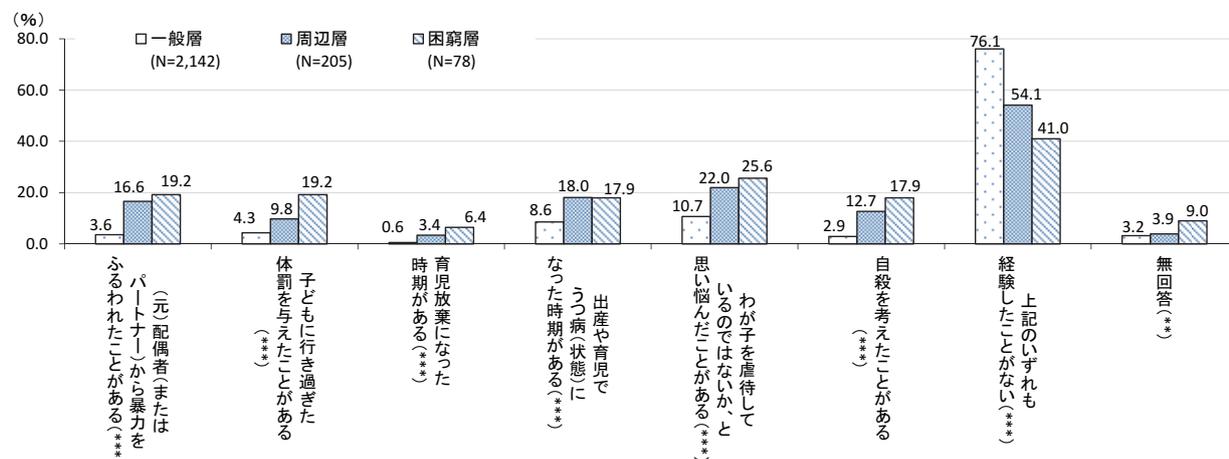
図表 4-6-4-4 子どもが生まれてからの経験 世帯タイプ別クロス集計 中学生保護者



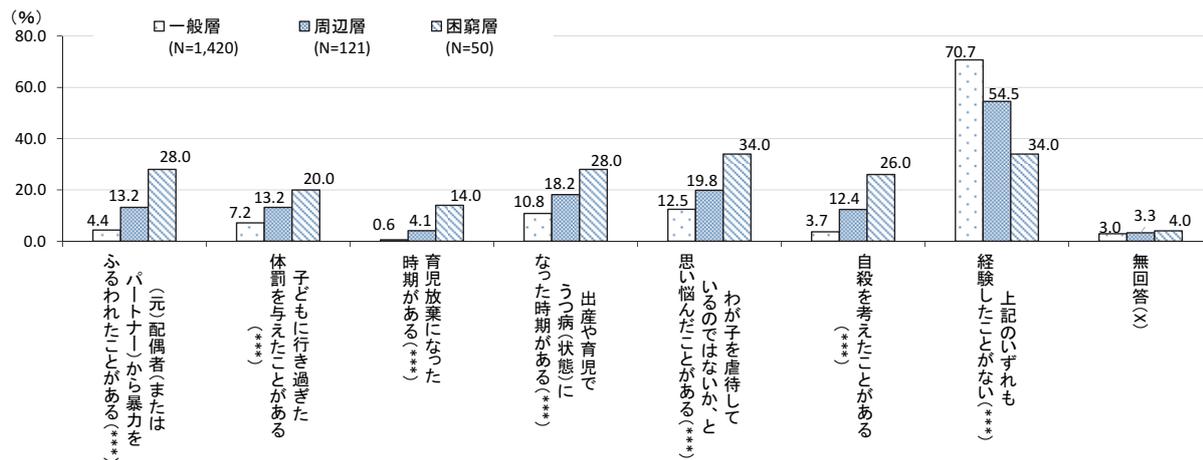
■生活困難層別

子どもが生まれてから回答者が経験したことについて生活困難層別にクロス集計を行った結果、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、生活困難度が高まるにつれて、「上記のいずれも経験したことがない」については回答割合が低くなり、それ以外の項目については回答割合が高くなっていった。

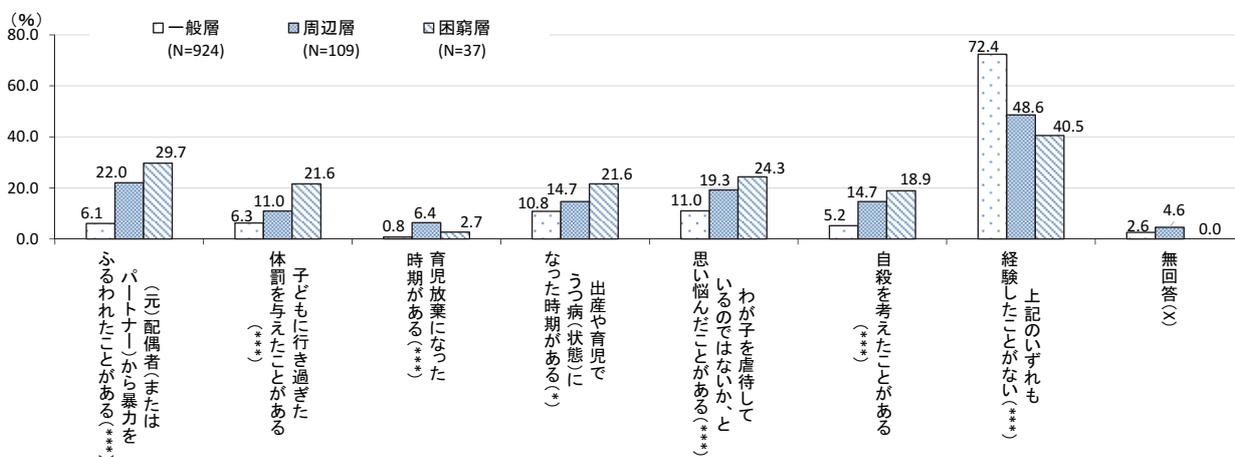
図表 4-6-4-5 子どもが生まれてからの経験 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-6-4-6 子どもが生まれてからの経験 生活困難層別クロス集計 小学生保護者



図表 4-6-4-7 子どもが生まれてからの経験 生活困難層別クロス集計 中学生保護者



(7) 子育て支援について

① 使っている情報源・使いたい情報源

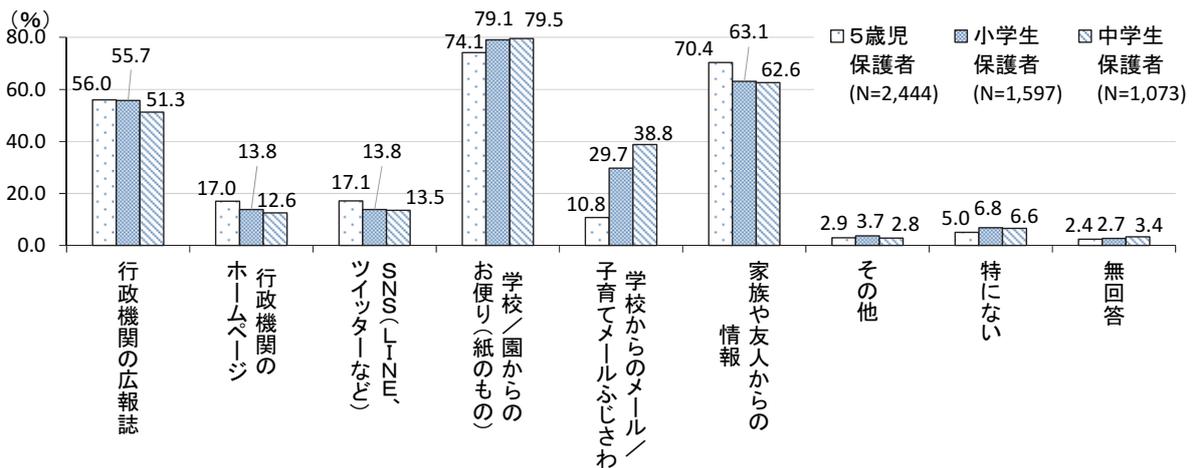
【5歳児問45・小中保問38】

子育てに関する情報を受け取っている方法を尋ねたところ、どの子どもの年齢・教育段階でも「学校／園からのお便り（紙のもの）」「家族や友人からの情報」「行政機関の広報誌」が比較的高い回答割合となっていた。

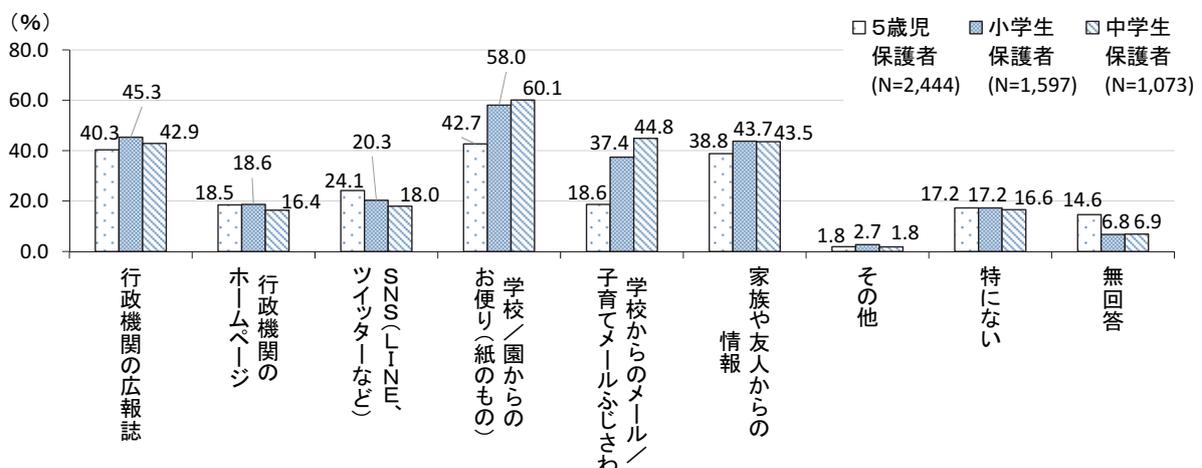
今後どのような方法で子育てに関する情報を受け取りたいかを尋ねたところ、同様に「学校／園からのお便り（紙のもの）」「家族や友人からの情報」「行政機関の広報誌」が比較的高い回答割合となっていたが、現在の受け取り方法での回答割合と比べると、全体として低い回答割合となっていた。「現在の受け取り方法」よりも「今後、受け取りたい方法」の方が高い回答割合となっていた項目は、「行政機関のホームページ」「SNS（LINE、ツイッターなど）」「学校からのメール／子育てメールふじさわ」「特にない」であった。

問 子育てに関する情報をどう方法で受け取っていますか。また、今後、どう方法で受け取りたいですか（複数回答）

図表 4-7-1-1 現在の受け取り方法 単純集計



図表 4-7-1-2 今後、受け取りたい方法 単純集計

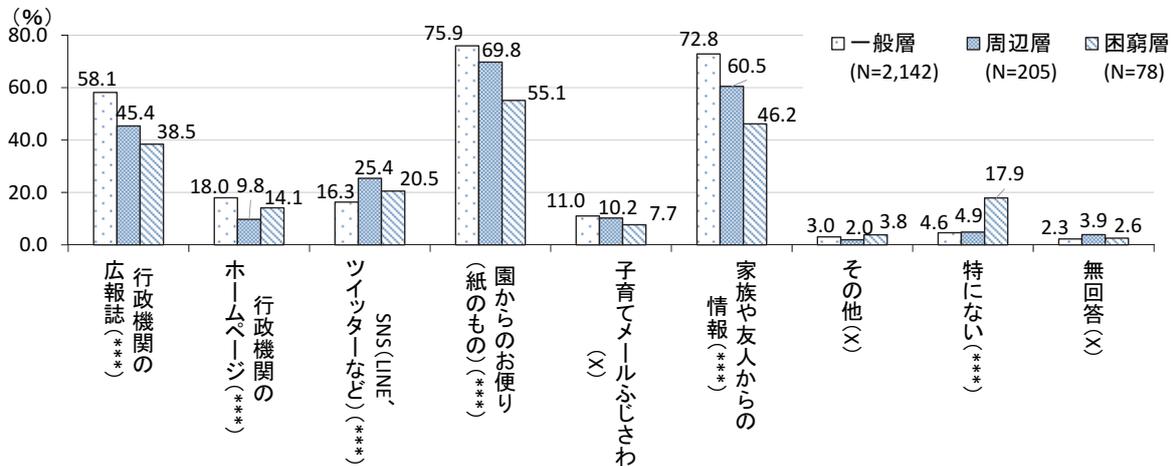


※「学校／園からのお便り（紙のもの）」「学校からのメール／子育てメールふじさわ」の項目については、小学生保護者票・中学生保護者票では「学校からのお便り（紙のもの）」「学校からのメール」、5歳児保護者では「園からのお便り（紙のもの）」「子育てメールふじさわ」という項目名で尋ねた結果をまとめて掲載している。

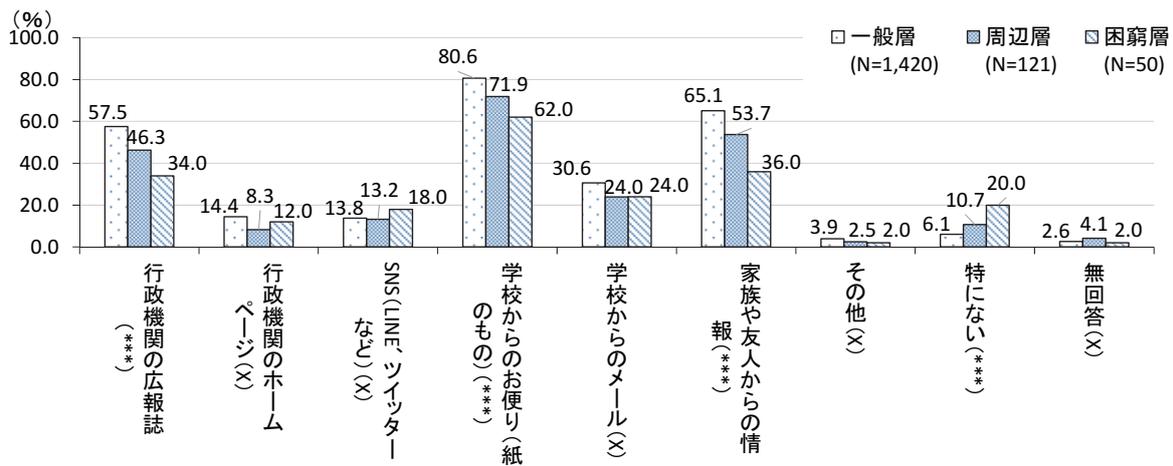
■生活困難層別

子育てに関する情報の現在の受け取り方法について生活困難層別にみると、「学校／園からのお便り（紙のもの）」「家族や友人からの情報」「行政機関の広報誌」の各項目で、生活困難層の回答割合が低くなっていた。また、困窮層が「特にない」と回答した割合は、一般層と比較して高くなっている。

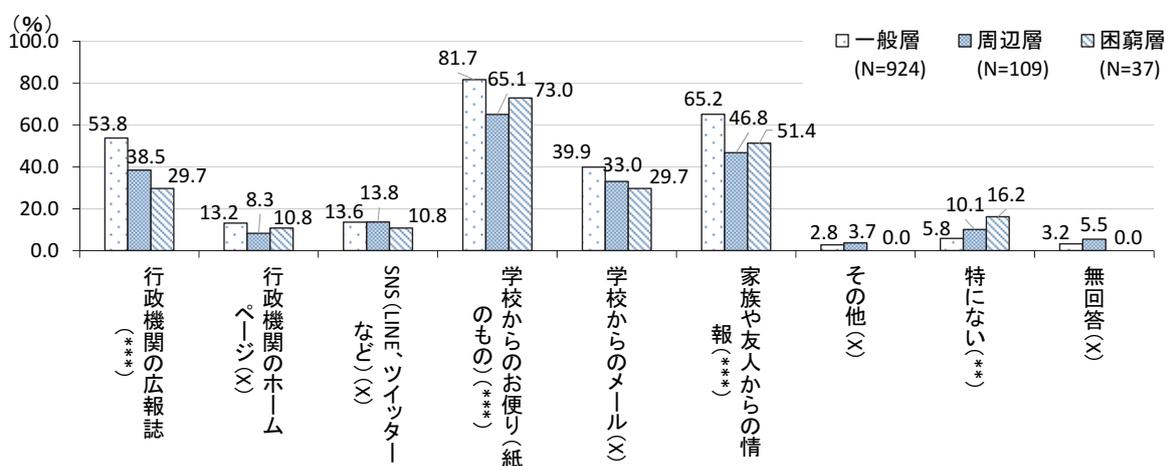
図表 4-7-1-3 現在の受け取り方法 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-7-1-4 現在の受け取り方法 生活困難層別クロス集計 小学生保護者



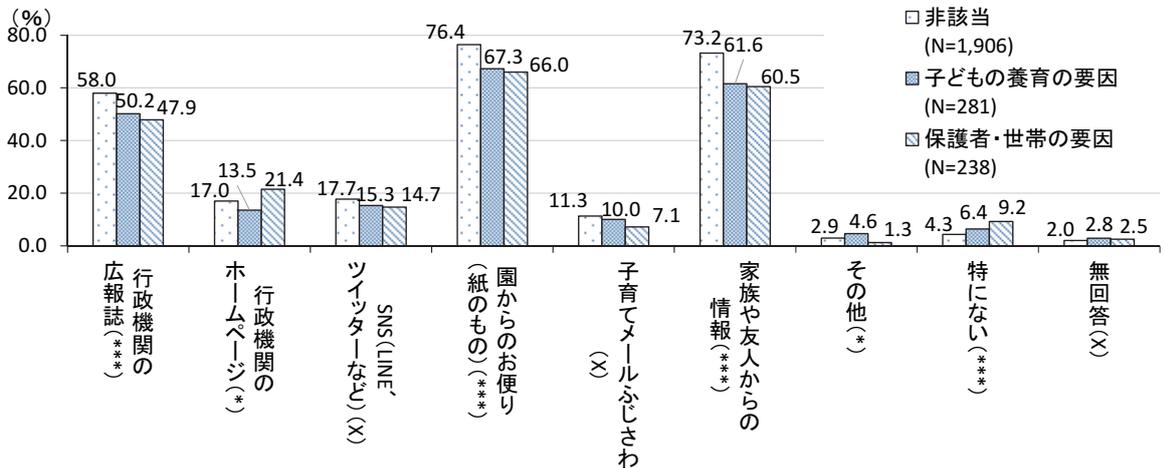
図表 4-7-1-5 現在の受け取り方法 生活困難層別クロス集計 中学生保護者



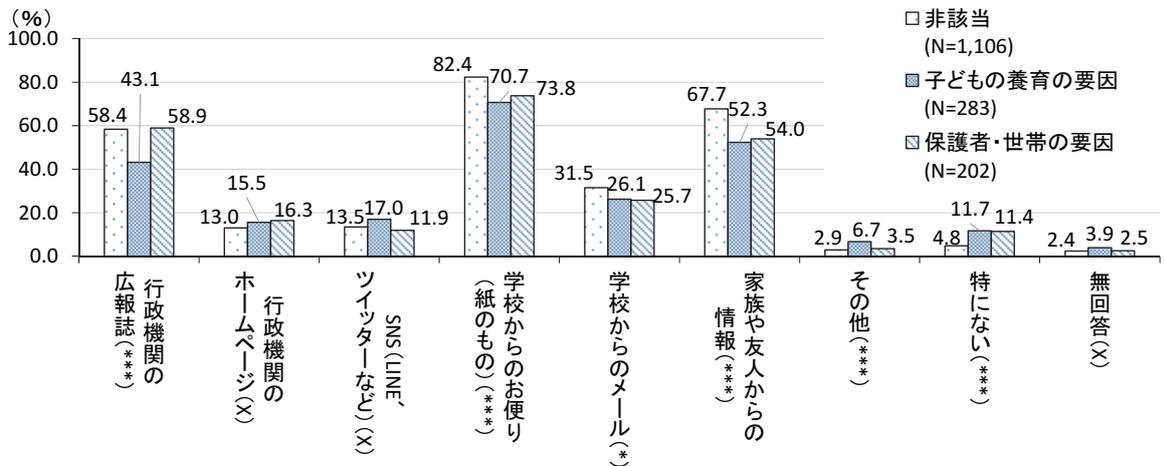
■潜在的養育困難層別

子育てに関する情報の現在の受け取り方法について潜在的養育困難層別にみると、5歳児保護者、小学生保護者では、潜在的養育困難層は非該当層に比べて「行政機関の広報誌」「学校／園からのお便り（紙のもの）」「家族や友人からの情報」の各項目の回答割合が低く、「特にない」と回答した割合が非該当層より高くなっている。

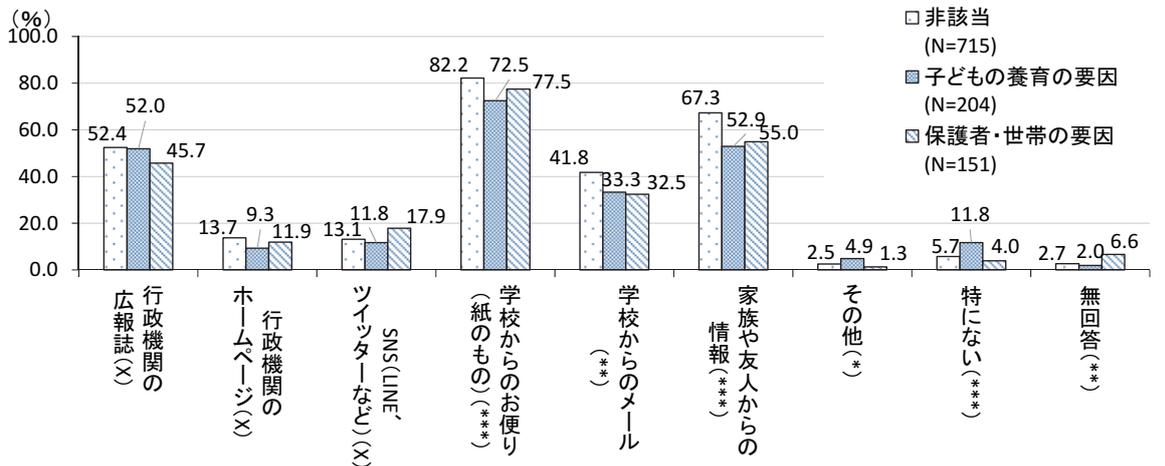
図表 4-7-1-6 現在の受け取り方法 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者



図表 4-7-1-7 現在の受け取り方法 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生保護者



図表 4-7-1-8 現在の受け取り方法 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生保護者



② 支援制度等への興味

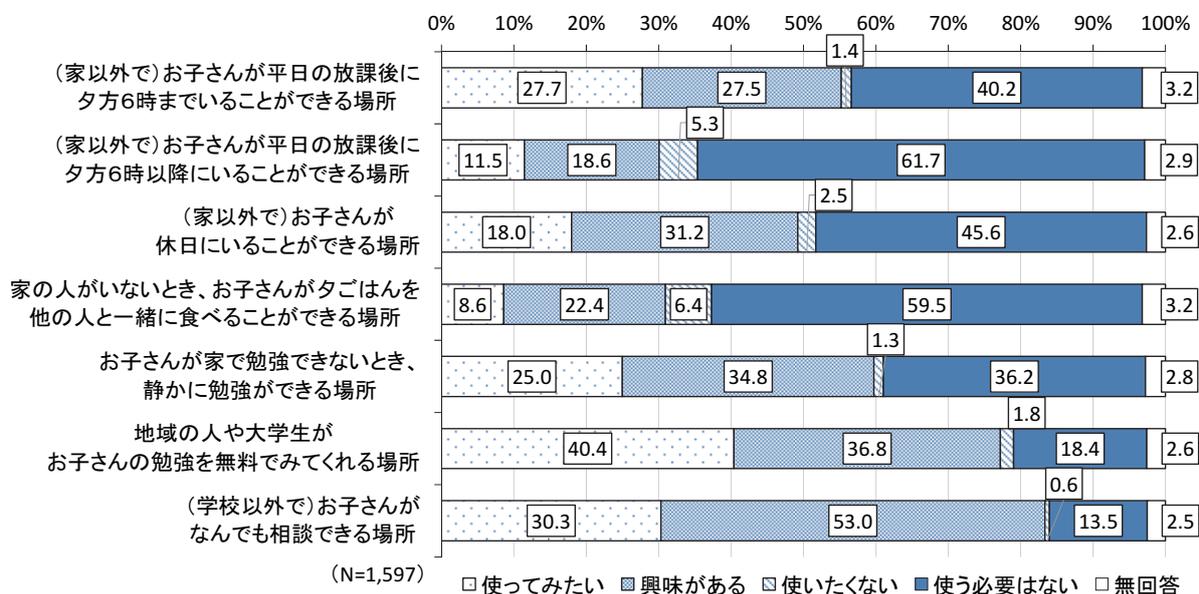
【小保問 39】

小学生の保護者に子育て関連の支援制度等について利用の意向を尋ねたところ、「使ってみたい」の割合が高かったのは、「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」「(学校以外で) お子さんがなんでも相談できる場所」「(家以外で) お子さんが平日の放課後に夕方6時までいることができる場所」「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」であった。

ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層、「子どもの養育の要因」層では、特に「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」「(学校以外で) お子さんがなんでも相談できる場所」を「使ってみたい」と回答する割合が高くなっていった。

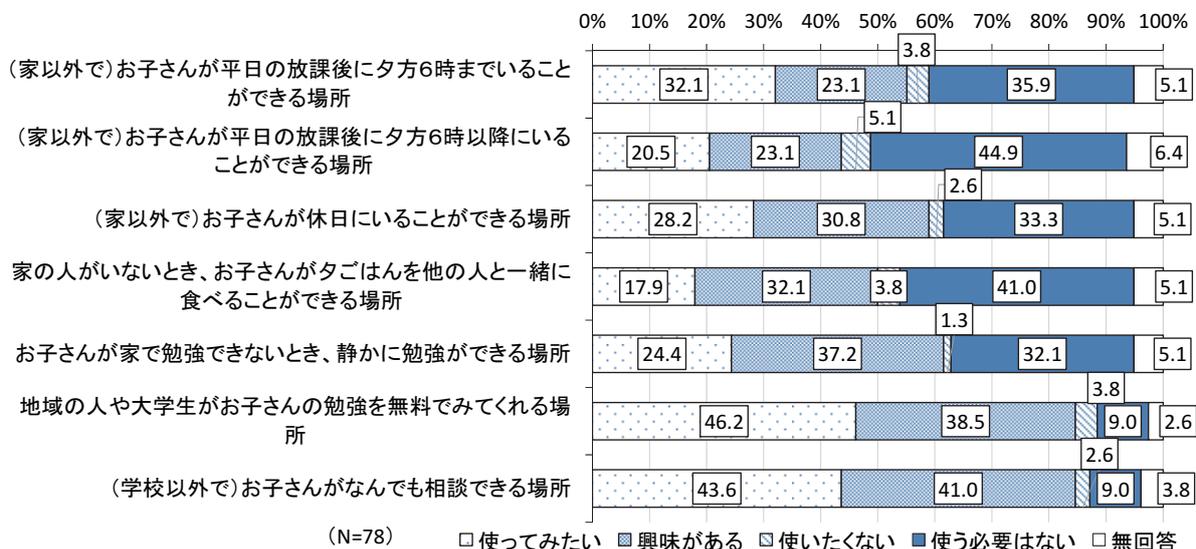
問 現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか

図表 4-7-2-1 支援制度等への興味 単純集計 小学生保護者

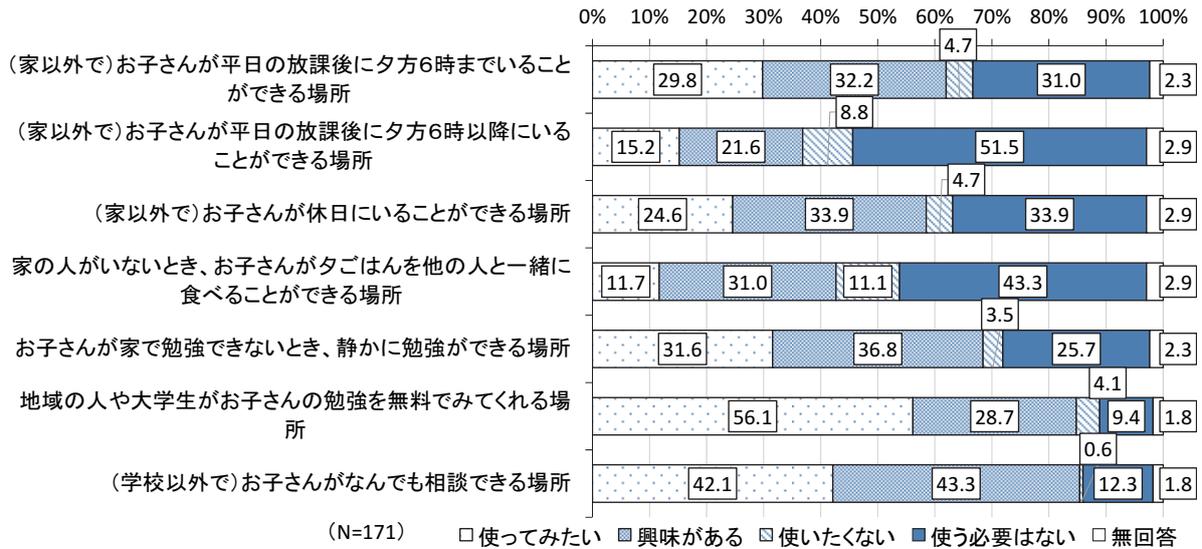


図表 4-7-2-2 支援制度等への興味

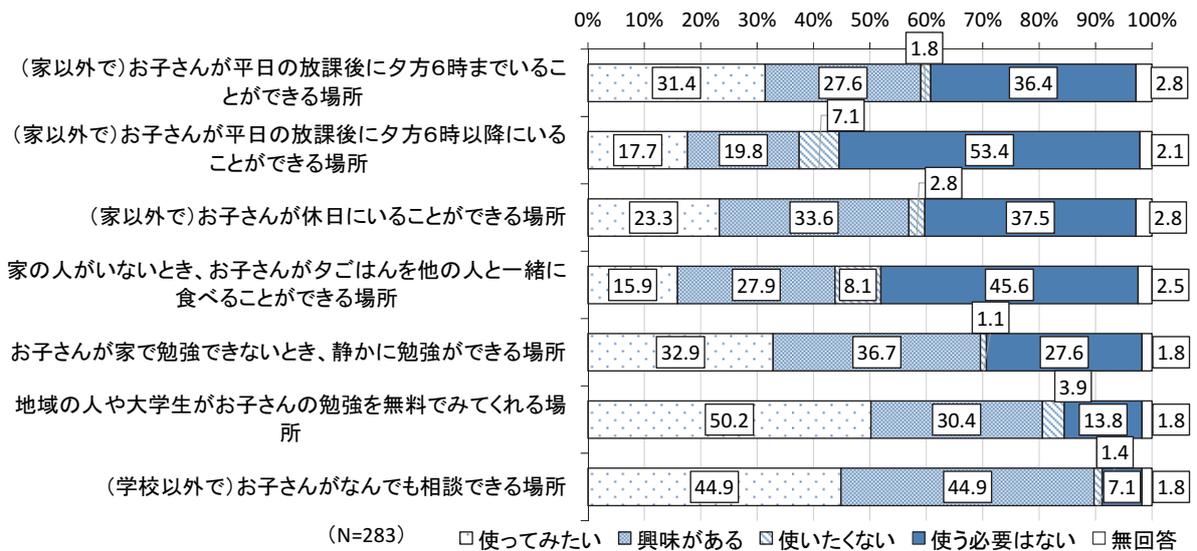
世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 小学生保護者



図表 4-7-2-3 支援制度等への興味 生活困難層別—生活困難層 小学生保護者



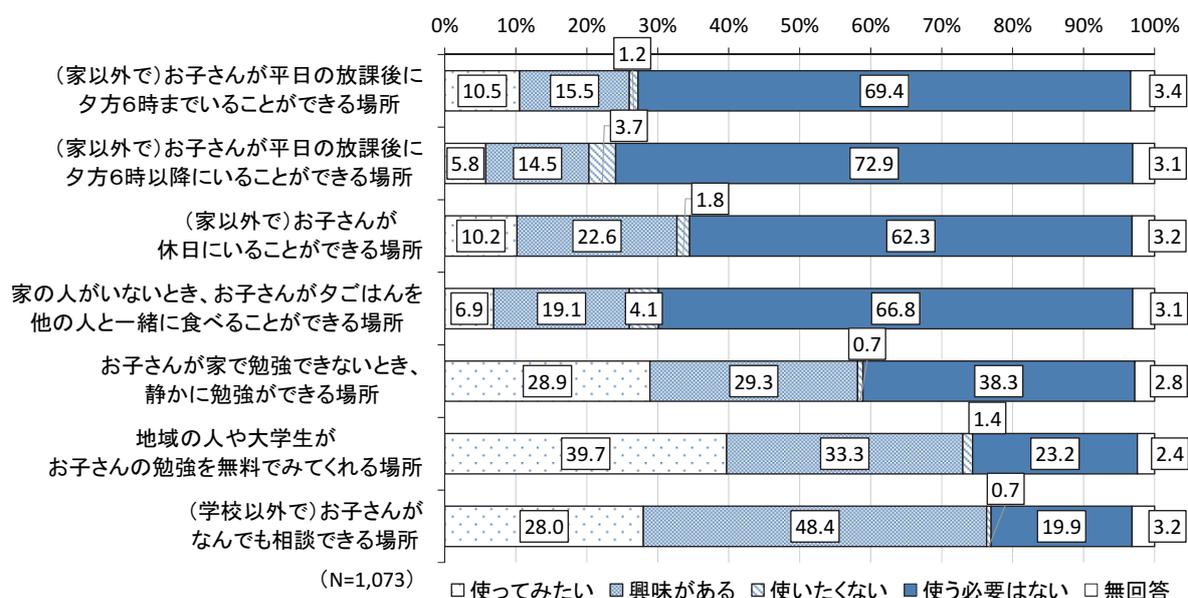
図表 4-7-2-4 支援制度等への興味 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 小学生保護者



中学生の保護者に子育て関連の支援制度等について利用の意向を尋ねたところ、「使ってみたい」の割合が高かったのは、「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」「(学校以外で) お子さんがなんでも相談できる場所」であった。

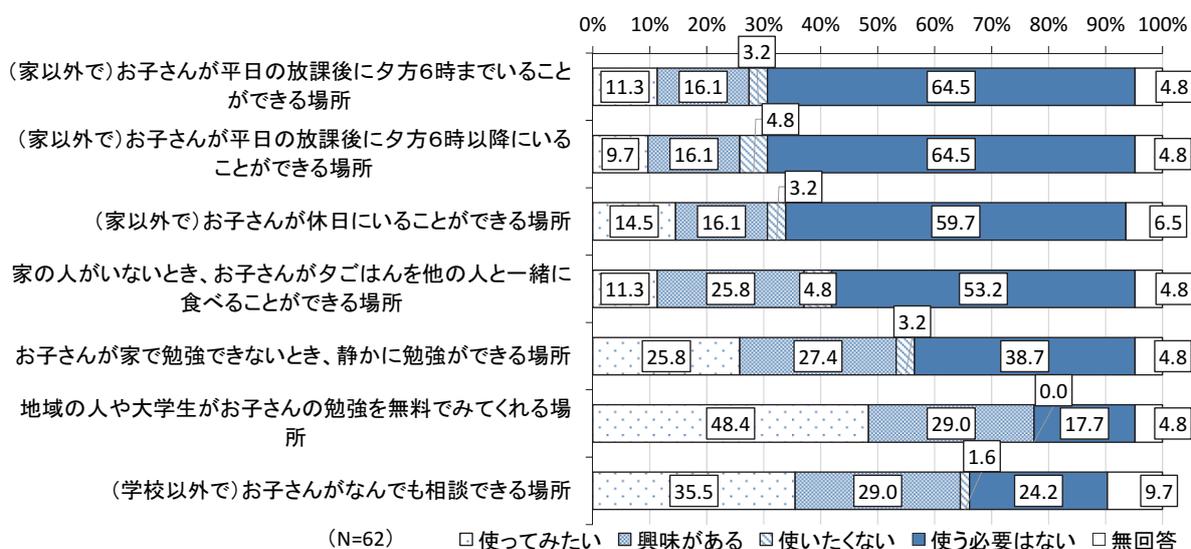
ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層、「子どもの養育の要因」層では、特に「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」「(学校以外で) お子さんがなんでも相談できる場所」を「使ってみたい」と回答する割合が高くなっていた。

図表 4-7-2-5 支援制度等への興味 単純集計 中学生保護者

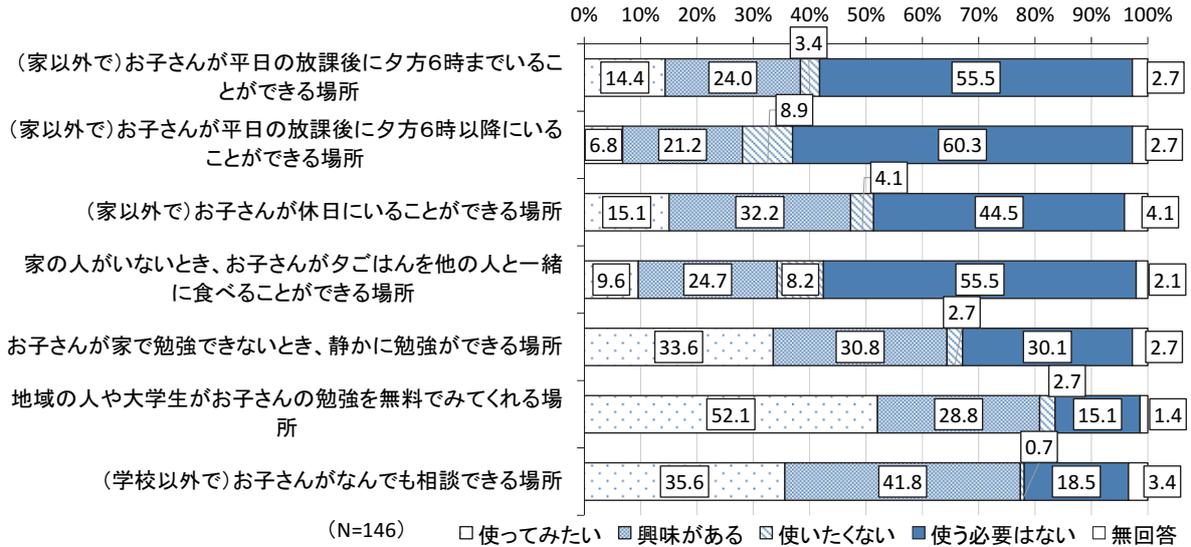


図表 4-7-2-6 支援制度等への興味

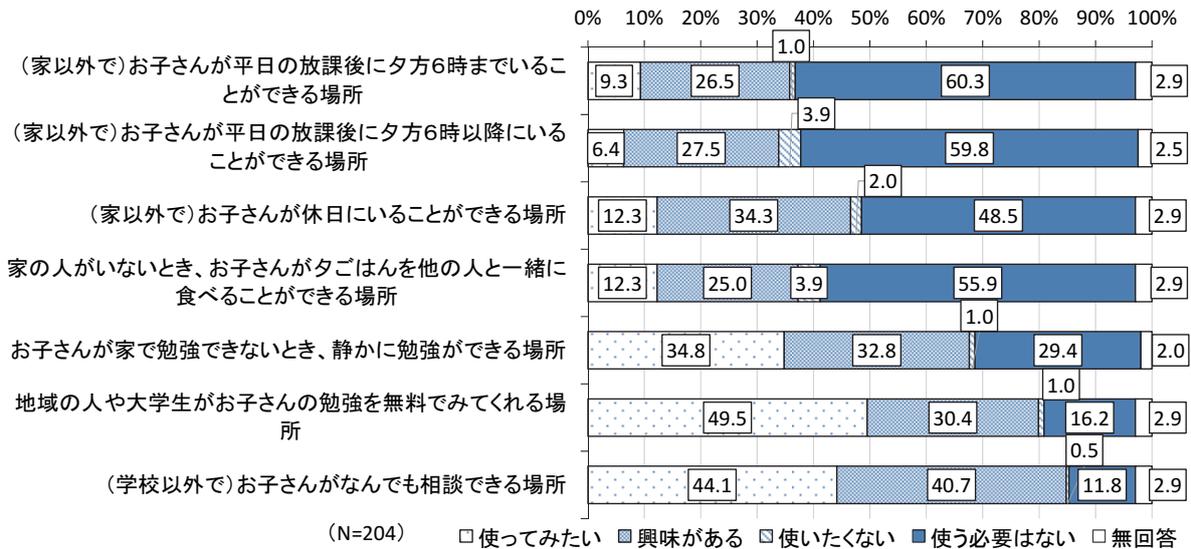
世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 中学生保護者



図表 4-7-2-7 支援制度等への興味 生活困難層別—生活困難層 中学生保護者



図表 4-7-2-8 支援制度等への興味
潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 中学生保護者



5. アンケート調査の結果と分析 子どもの状況

(1) 子どもの属性について

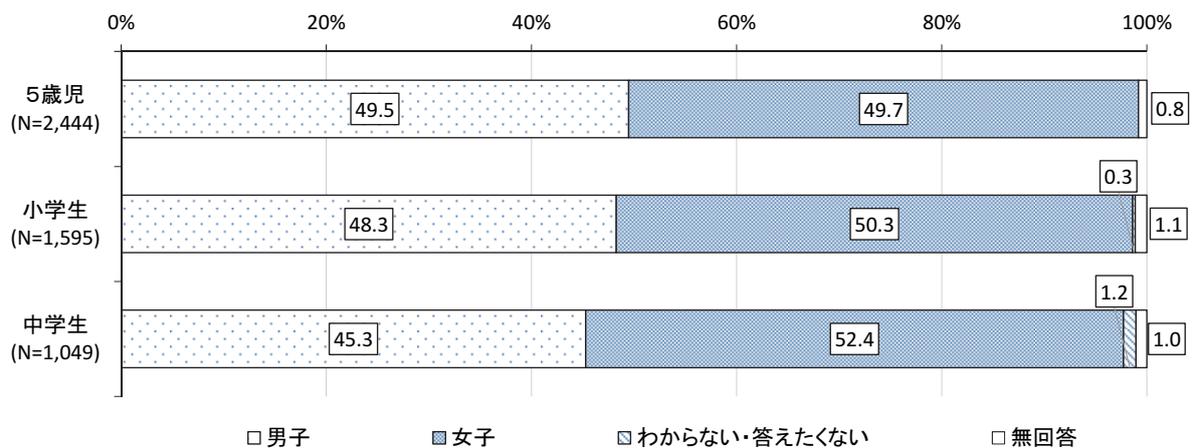
① 性別

【5歳保問7・小中子問1】

回答した子どもの性別は、5歳児は男子49.5%・女子49.7%、小学生は男子48.3%・女子50.3%、中学生は男子45.3%・女子52.4%であった。

問 性別を教えてください

図表5-1-1-1 性別 単純集計



※ 5歳児保護者票では、「宛名のお子さんの性別を教えてください」という設問文で尋ねている。

※ 「わからない・答えたくない」の選択肢は、小学生票・中学生票のみで尋ねている。

(2) 生活の状況について

① 食事

【5歳保問8～11・小中子問2～6】

平日の朝食の摂取状況を尋ねたところ、子どもの年齢・教育段階にかかわらず9割以上が「いつも食べる（週に5日）」と回答していた。「いつも食べない」は、5歳児で0.1%、小学生で0.8%、中学生で1.3%であった。

5歳児について、調査票の宛名の子どもが朝食を家の大人と一緒に食べる頻度を尋ねたところ、「いつも食べる（週に5日）」が67.9%、「食べるほうが多い（週に3、4日）」が12.1%であった。

朝食を一緒に食べる相手として、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど）」と回答した割合は小学生が約7割、中学生が6割弱となっていた。朝食をひとりで食べるという回答した割合は、小学生が16.0%、中学生が35.5%となっていた。

平日の夕食の摂取状況を尋ねたところ、5歳児で98.9%、小学生で99.1%、中学生で97.9%が「いつも食べる（週に5日）」と回答した。

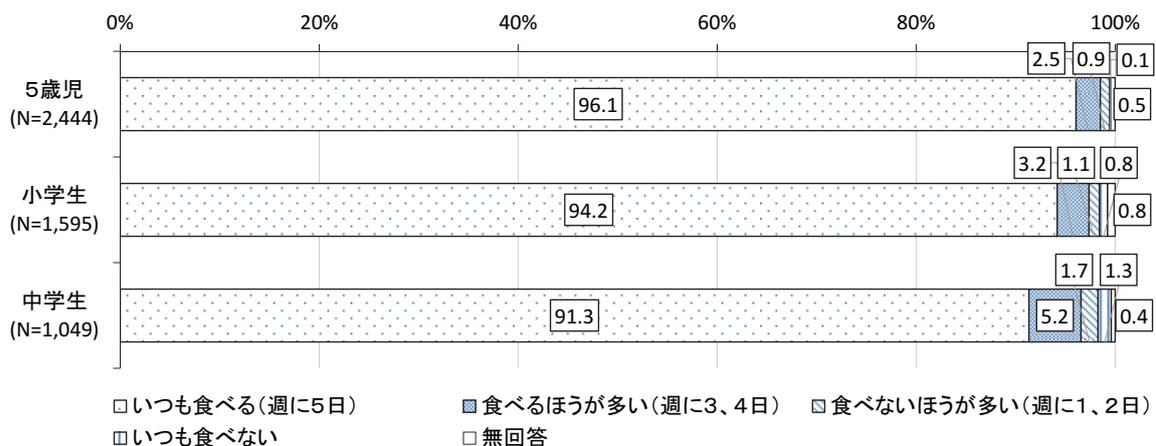
5歳児について、調査票の宛名の子どもが夕食を家の大人と一緒に食べる頻度を尋ねたところ、「いつも食べる（週に5日）」が92.1%であった。

小学生・中学生について、夕食を一緒に食べる人を尋ねたところ、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど）」が最も多く、小学生・中学生ともに9割以上となっていた。夕食を「ひとりで食べる」と回答した割合は小学生が3.8%、中学生が17.9%となっていた。

また、学校で食べる給食やお弁当以外で食べているものとその頻度を尋ねたところ、「野菜」「肉や魚」に関しては、小学生で約7割、中学生で約8割が「毎日食べる」と回答していた。「カップめん・インスタントめん」「コンビニなどのおにぎり・お弁当」に関しては、小学生・中学生ともに約6割が「1週間に1日以下」と回答していた。

問 平日に朝ごはんを食べますか

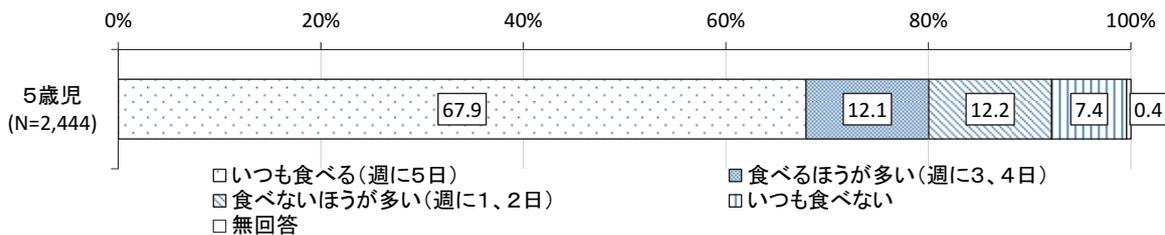
図表5-2-1-1 平日の朝食の摂取状況 単純集計



※5歳児保護者票では、「お子さんは、平日に毎日朝ごはんを食べますか」という設問文で尋ねている。

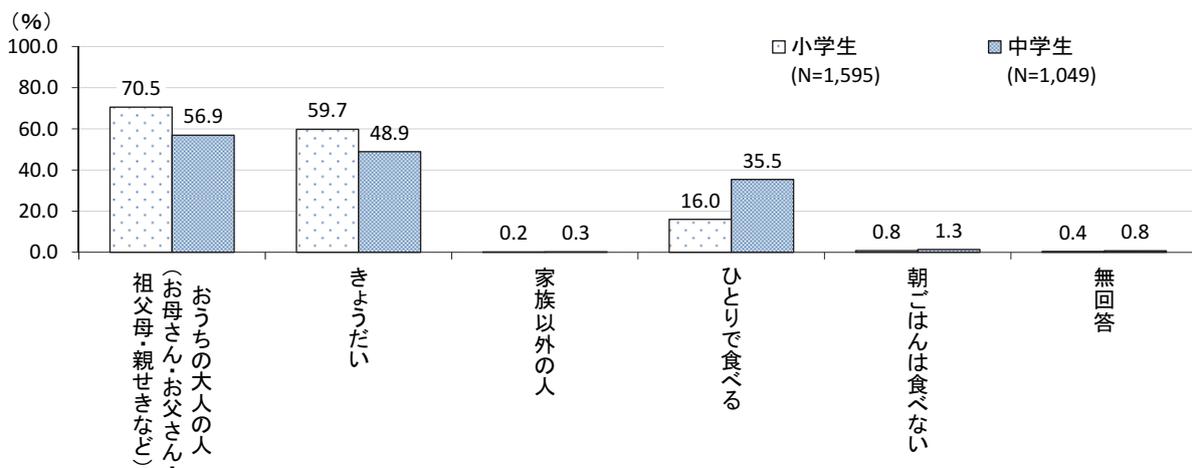
問 お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に朝ごはんを食べていますか

図表 5-2-1-2 宛名の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度 単純集計



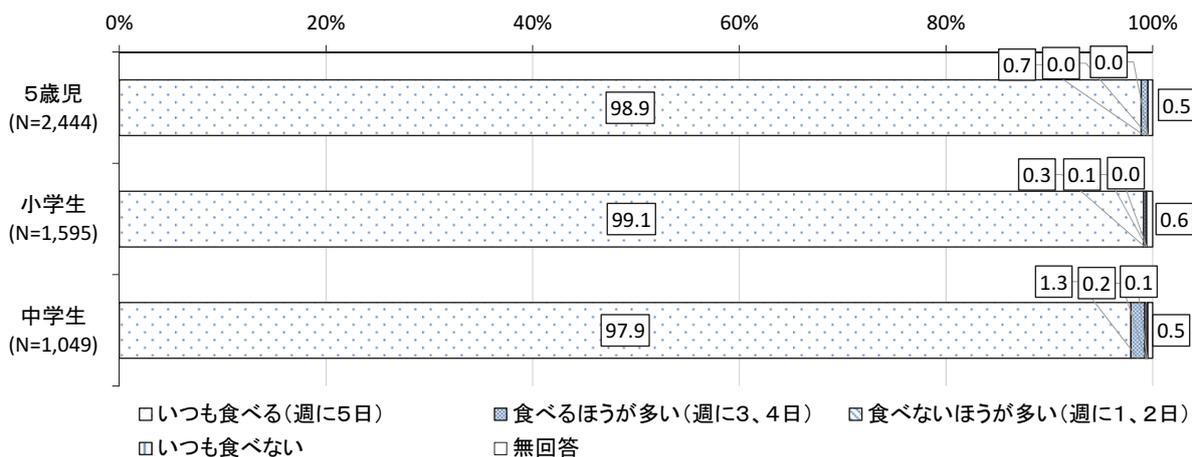
問 平日に朝ごはんをだれと食べますか (複数回答)

図表 5-2-1-3 朝食を一緒に食べる相手 単純集計



問 平日に夕ごはんを食べますか

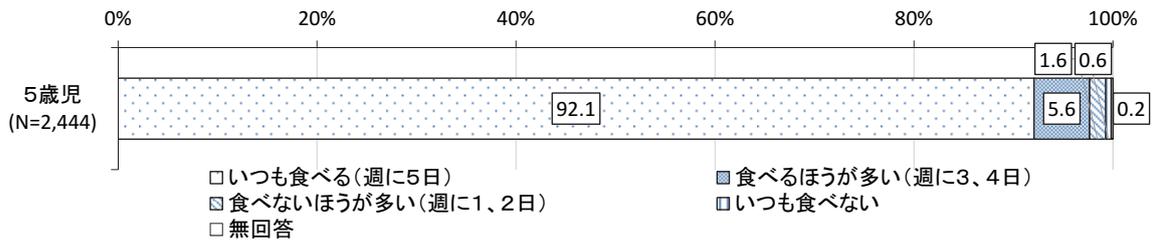
図表 5-2-1-4 平日の夕食の摂取状況 単純集計



※ 5歳児保護者票では、「お子さんは、平日に毎日夕ごはんを食べますか」という設問文で尋ねている。

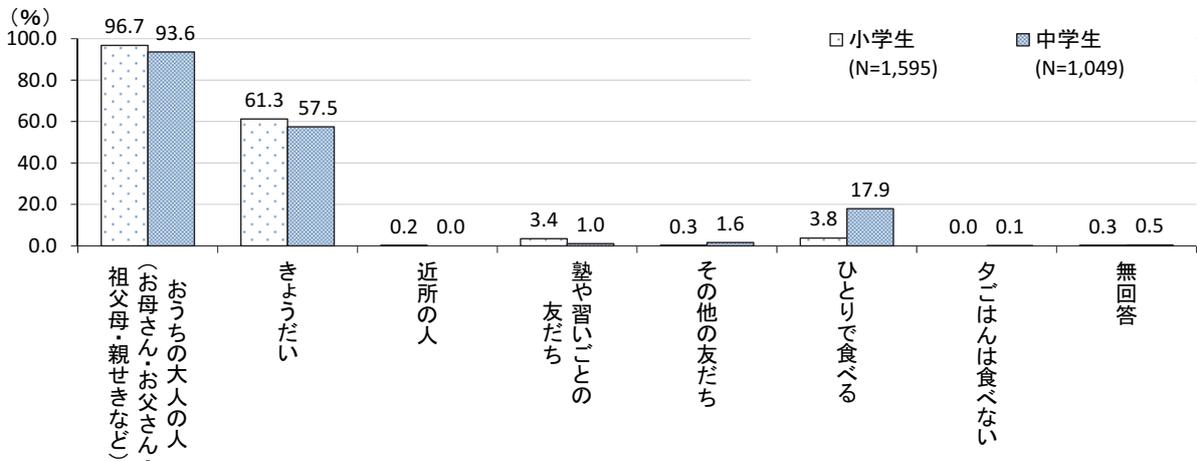
問 お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に夕ごはんを食べていますか

図表5-2-1-5 宛名の子どもが平日の夕食を大人と一緒に食べる頻度 単純集計



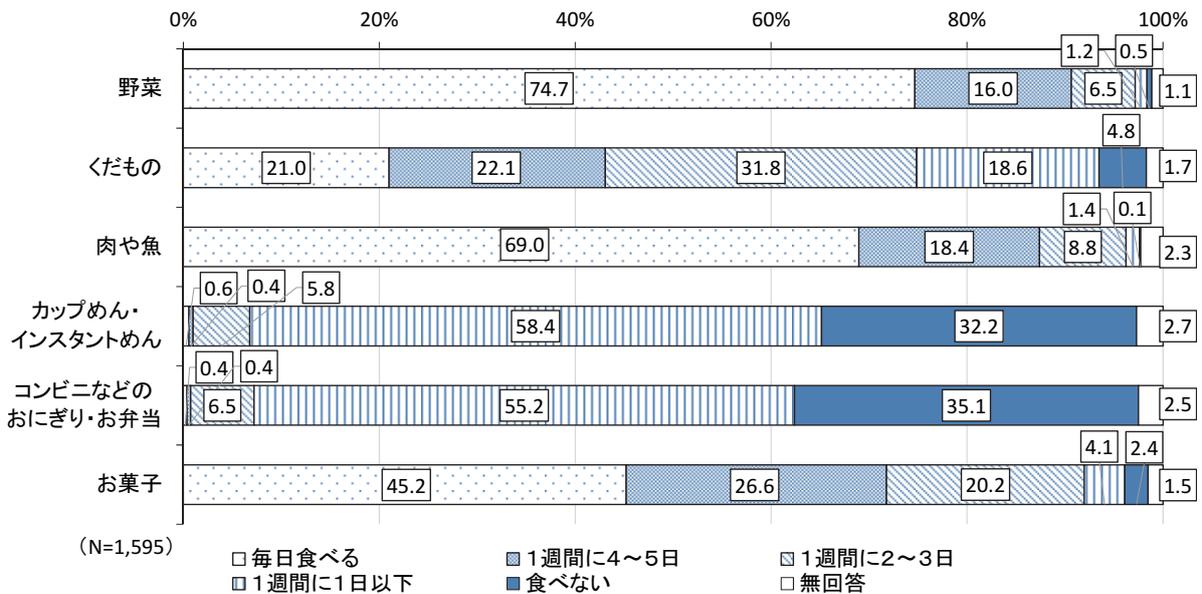
問 平日に夕ごはんをだれと食べますか (複数回答)

図表5-2-1-6 夕食を一緒に食べる相手 単純集計

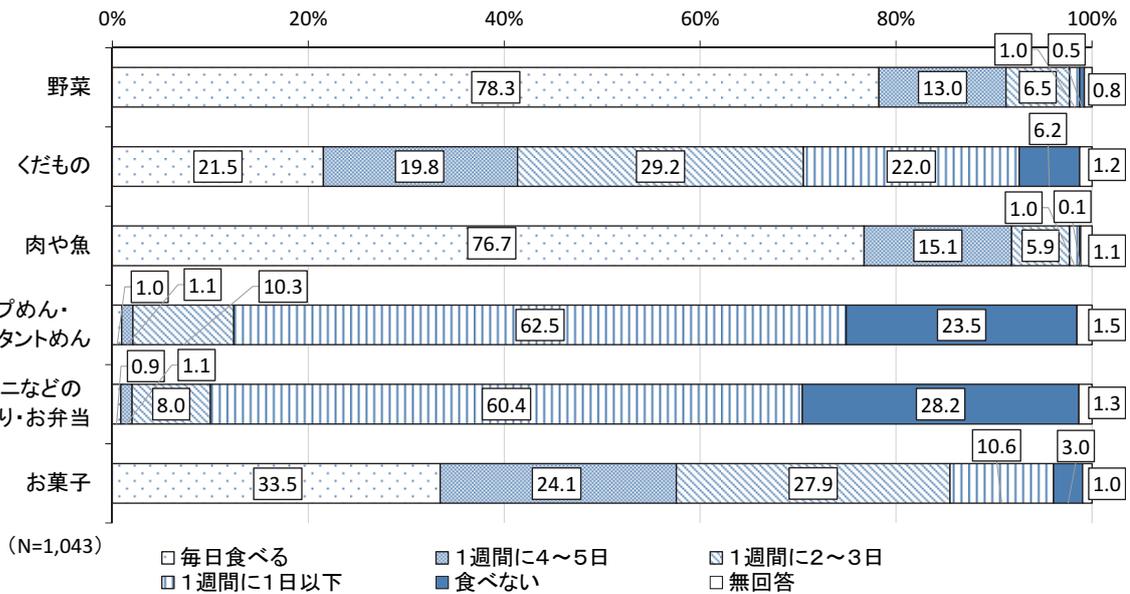


問 給食をのぞいて、次の食べ物をふだんどれくらい食べますか

図表5-2-1-7 学校以外で食べているものとその頻度 単純集計 小学生



図表5-2-1-8 学校以外で食べているものとその頻度 単純集計 中学生



※中学生票では、「学校で食べる給食・お弁当をのぞいて、次の食べ物をふだんどれくらい食べますか」という設問文で尋ねている。

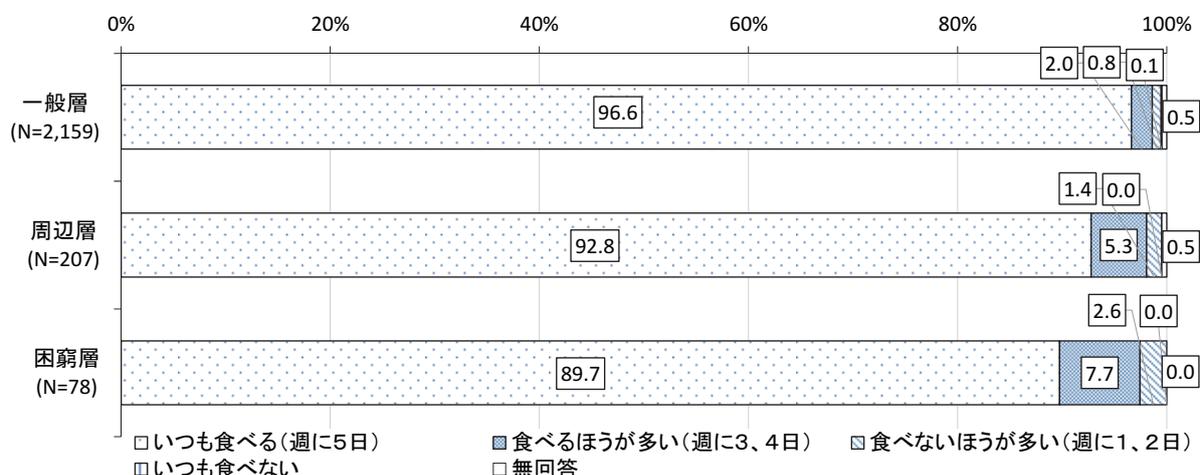
■生活困難層別

平日の朝食摂取状況の回答結果について、生活困難層別にみると、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、生活困難度が高くなるにつれて「いつも食べる（週に5日）」の回答割合が低くなっていた。

また、朝食を一緒に食べる相手についての質問に対する回答結果を生活困難層別にみると、生活困難度が高くなるにつれて、5歳児では子どもが平日の朝食を家の大人と一緒に食べる頻度が低くなり、小学生・中学生では「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど）」の回答割合が低くなっていた。また困窮層では朝食を「ひとりで食べる」と回答した割合は、小学生が22.4%、中学生が44.4%となっていた。

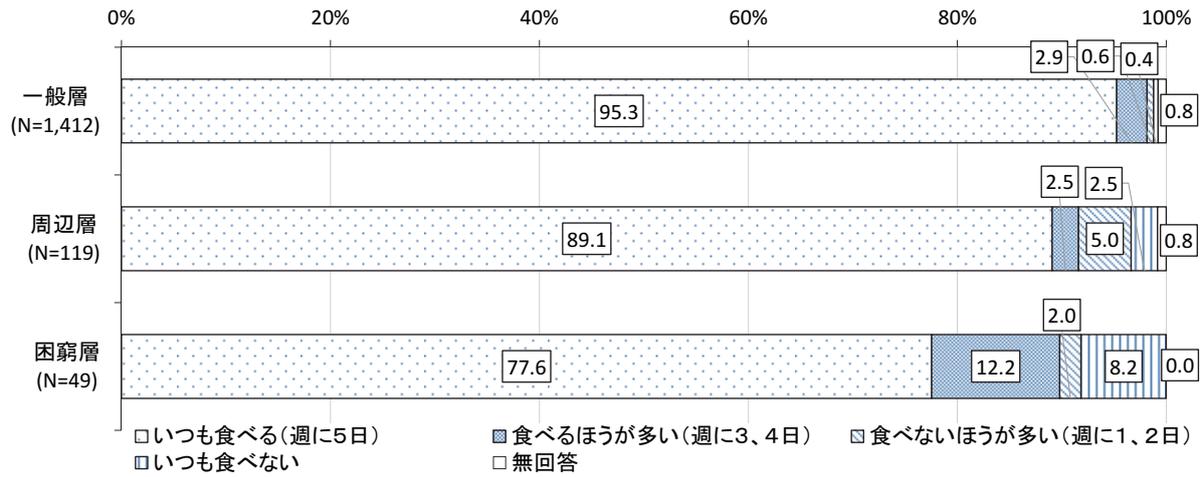
学校で食べる給食やお弁当以外で食べているものとその頻度に関して生活困難層別クロス集計をした結果、小学生・中学生に共通して、「くだもの」など⁷では生活困難度が高まるとともに比較的食べる頻度が高い旨の回答割合が低くなっていた。

図表5-2-1-9 平日の朝食の摂取状況 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)

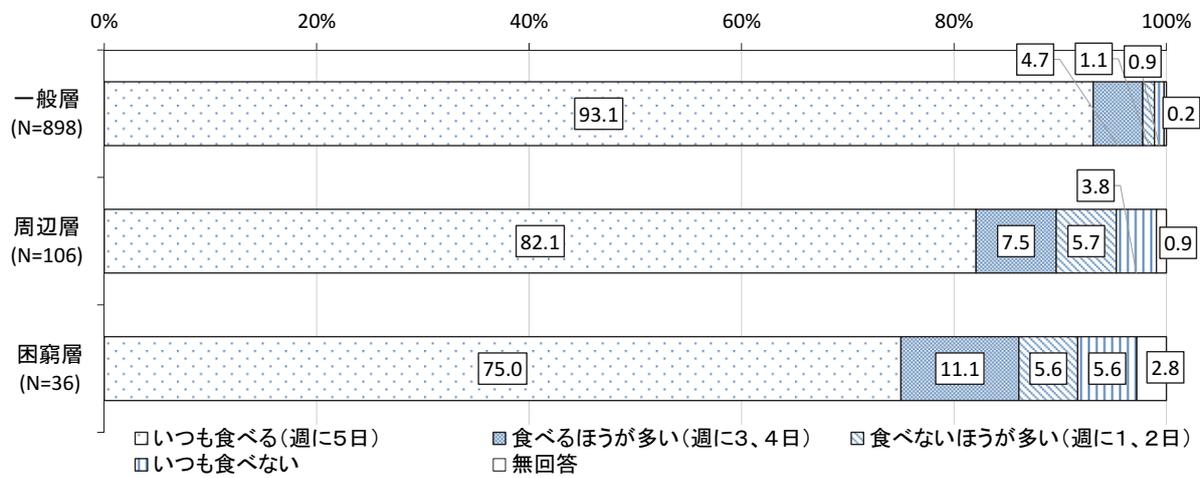


⁷ 同様の傾向となっていたのは、小学生・中学生ともに「野菜」「肉や魚」であった。

図表 5-2-1-10 平日の朝食の摂取状況 生活困難層別クロス集計 小学生 (***)

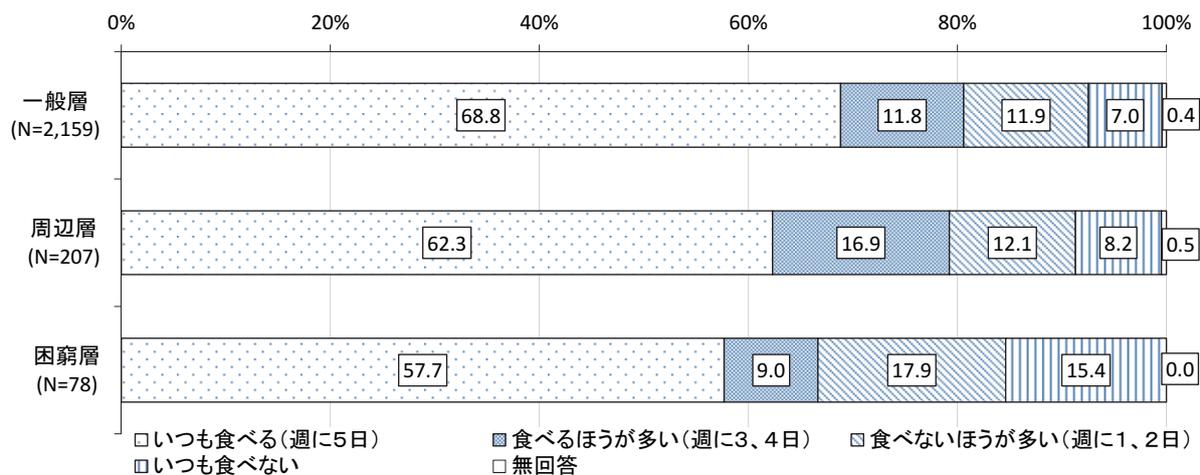


図表 5-2-1-11 平日の朝食の摂取状況 生活困難層別クロス集計 中学生 (***)

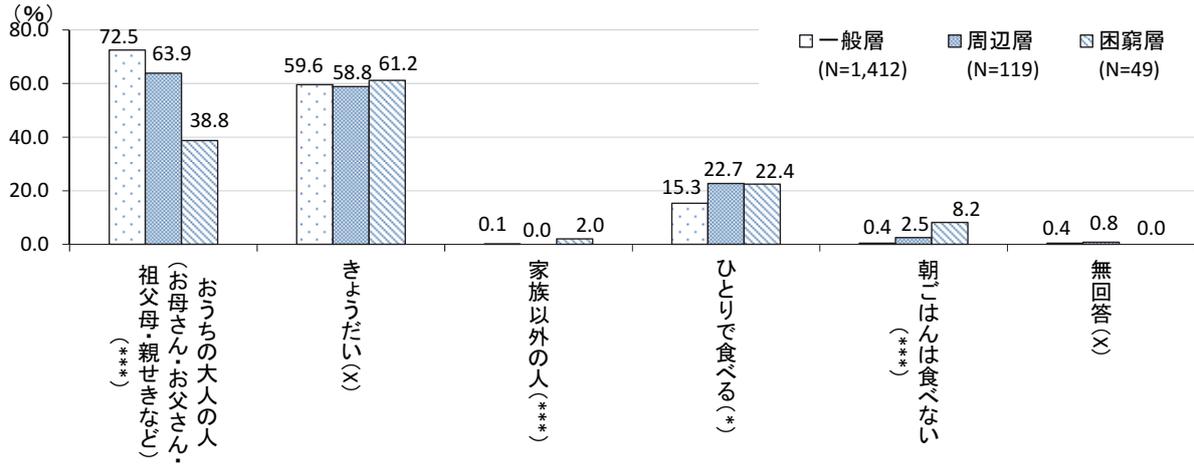


図表 5-2-1-12 宛名の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度

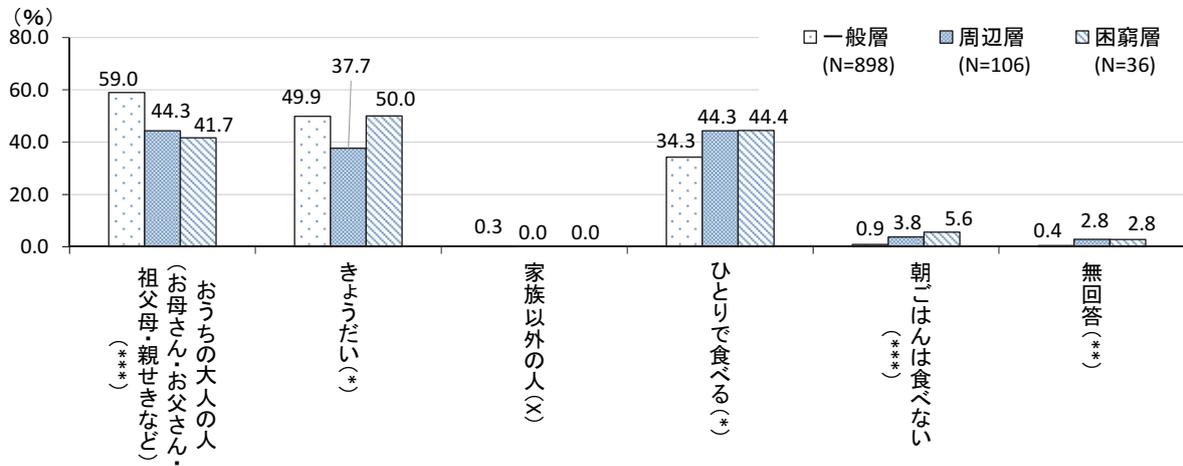
生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



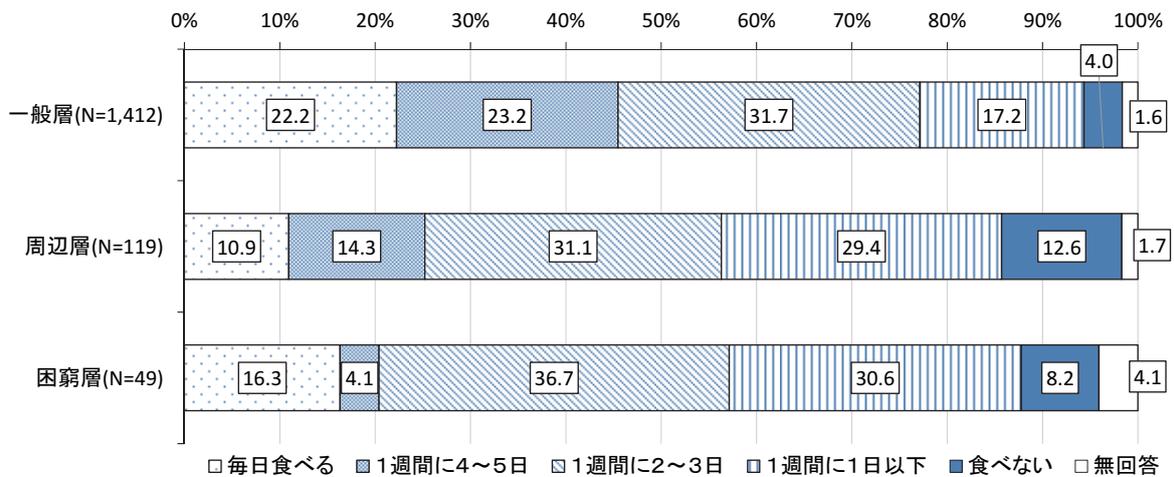
図表5-2-1-13 朝食を一緒に食べる相手 生活困難層別クロス集計 小学生



図表5-2-1-14 朝食を一緒に食べる相手 生活困難層別クロス集計 中学生

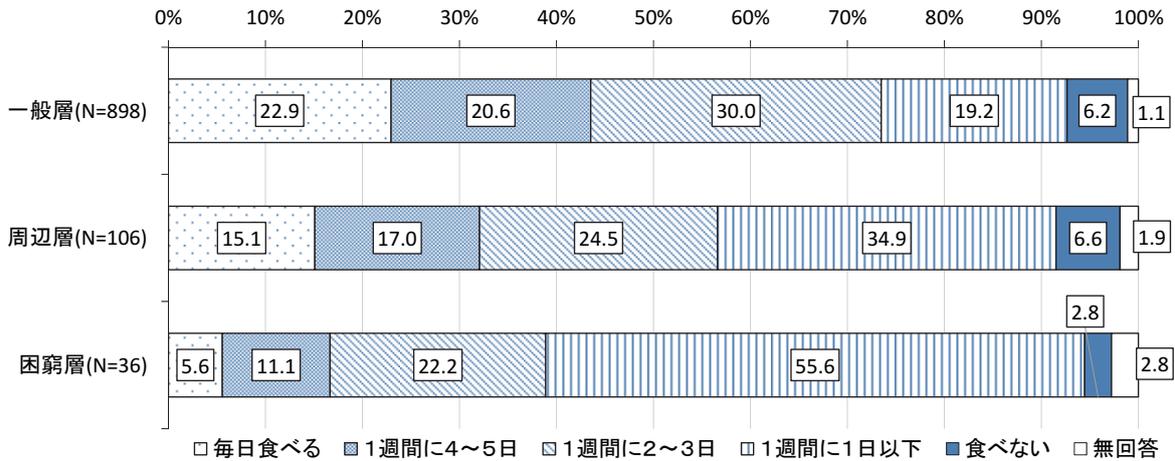


図表5-2-1-15 学校以外で食べているものとその頻度：くだもの
生活困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-2-1-16 学校以外で食べているものとその頻度：くだもの

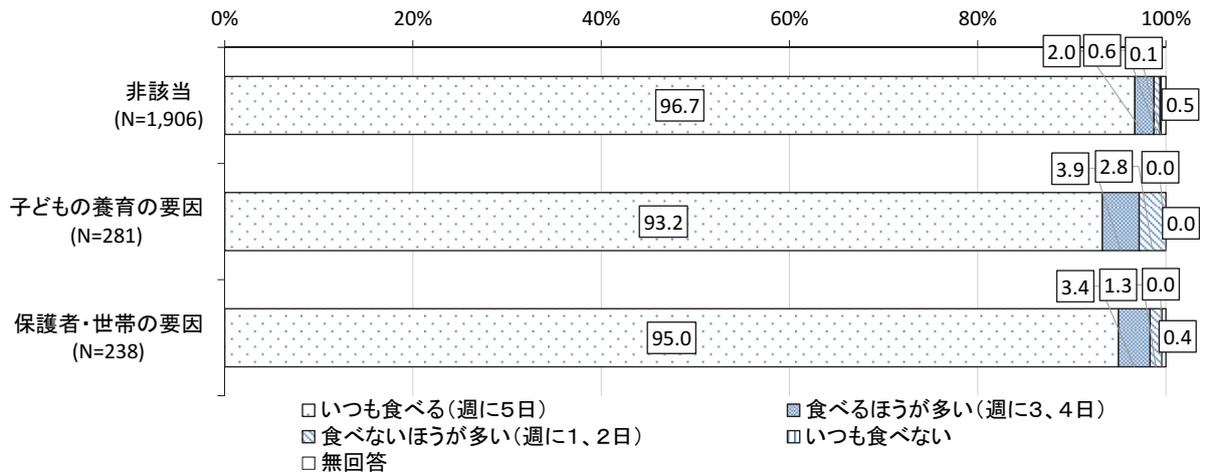
生活困難層別クロス集計 中学生 (***)



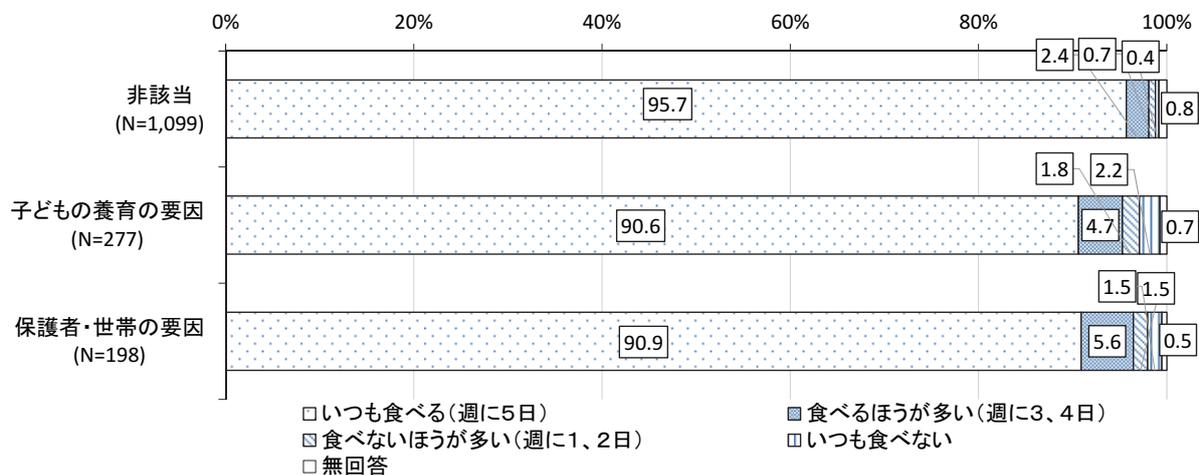
潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に平日の朝食摂取状況をみると、どの子どもの年齢・教育段階でも、潜在的養育困難層で「いつも食べる（週に5日）」という回答の割合が非該当層よりも低くなっていた。

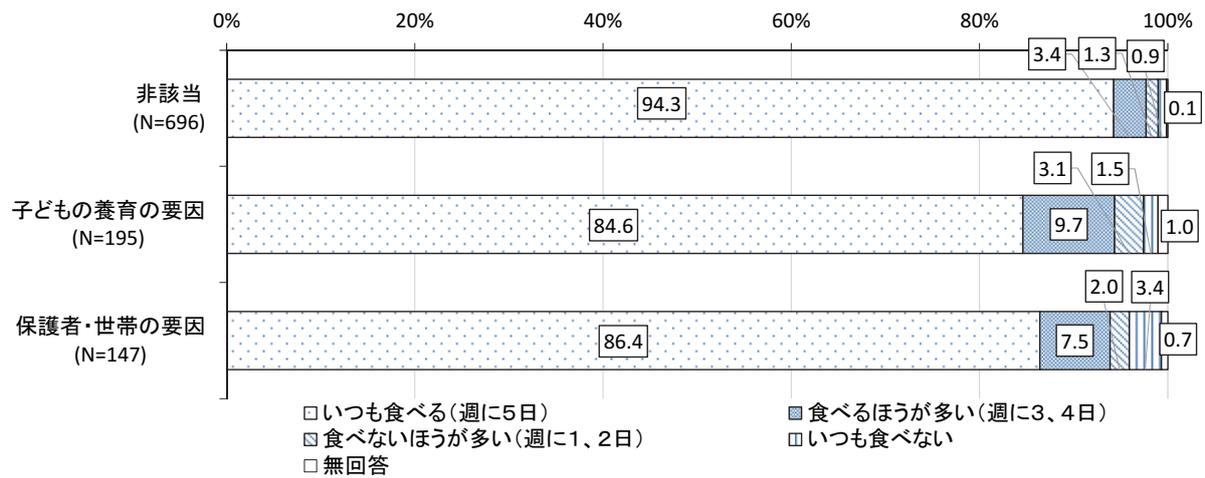
図表 5-2-1-17 平日の朝食の摂取状況 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (**)



図表 5-2-1-18 平日の朝食の摂取状況 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-2-1-19 平日の朝食の摂取状況 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



② 健康

【5歳保問 15～17・小中子問 7～8】

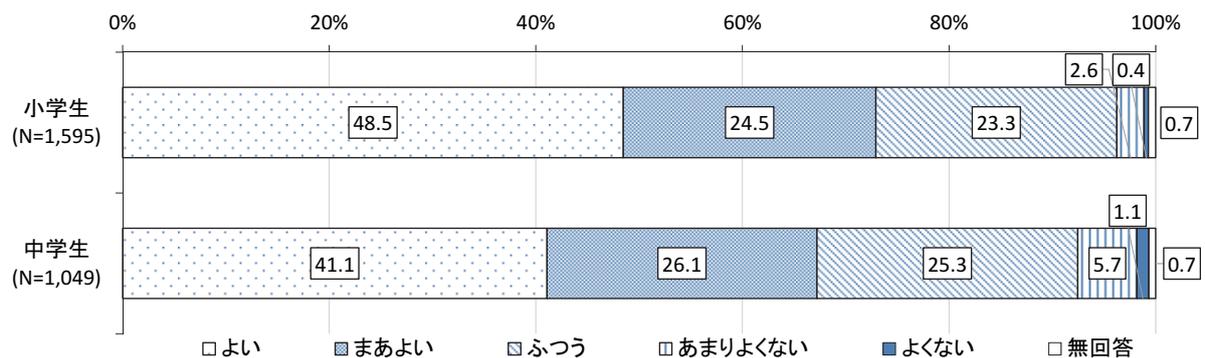
小学生・中学生に自分の健康状態について尋ねたところ、「よい」「まあよい」と回答した割合は合わせて小学生で73.0%、中学生で67.2%となっていた。

宛名の子どもの虫歯の状態を5歳児保護者に尋ねた結果をみると、「まだ治療していない虫歯がある」としたのは6.5%であった。小学生・中学生に対しては本人に虫歯の状態を尋ねたが、小学生は5.6%、中学生は5.3%が「まだ治していない虫歯がある」と回答していた。

5歳児に関して、歯磨きの習慣の有無を尋ねたところ、98.2%が「ある」と答えた。また5歳児保護者が歯磨きの仕上げ磨きをしているかどうかについては92.2%が「する」と回答していた。

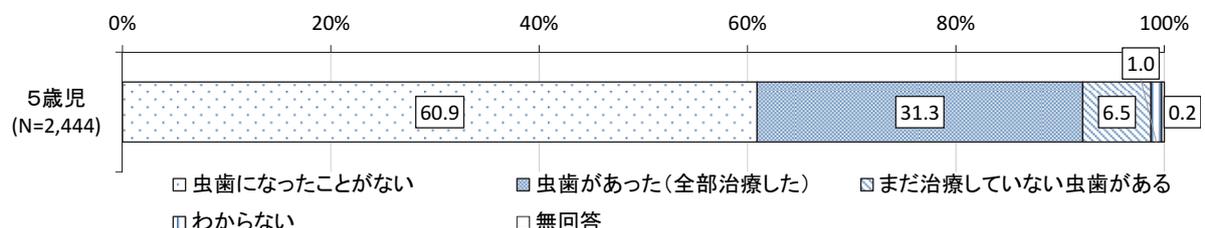
問 自分の健康状態についてどう感じていますか

図表 5-2-2-1 自分の健康状態に関する認識 単純集計



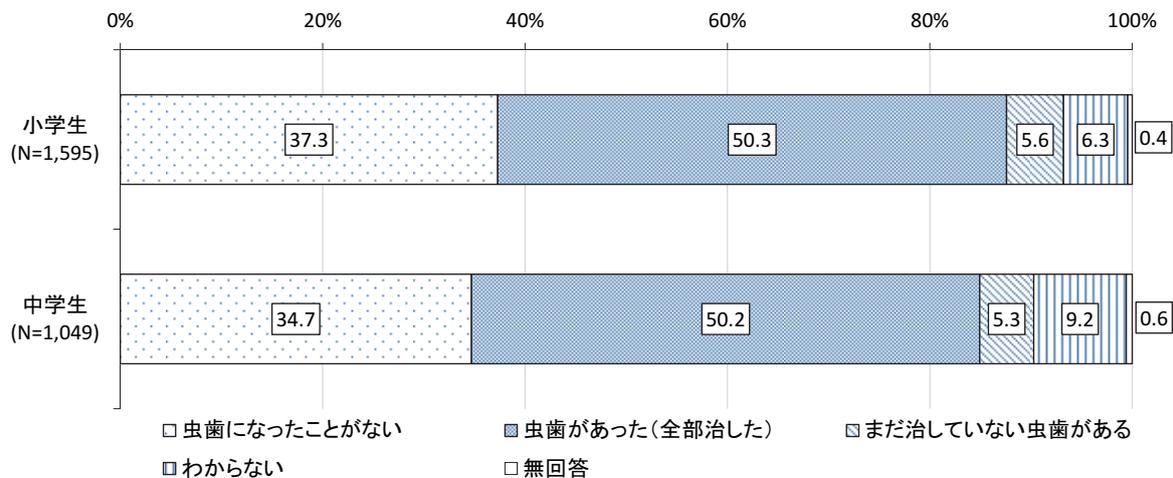
問 お子さんの虫歯の状態について教えてください

図表 5-2-2-2 子どもの虫歯の状態 単純集計



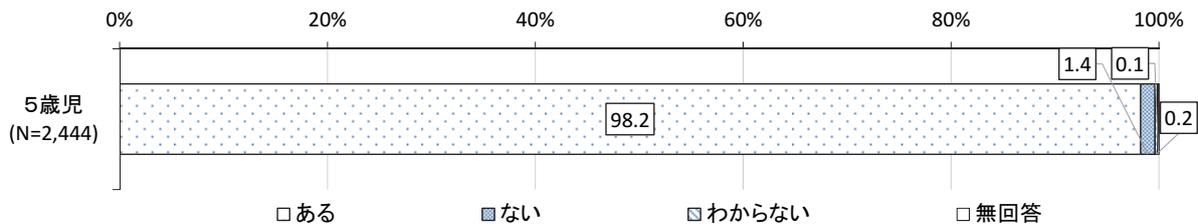
問 虫歯の状態について教えてください

図表 5-2-2-3 虫歯の状態 単純集計



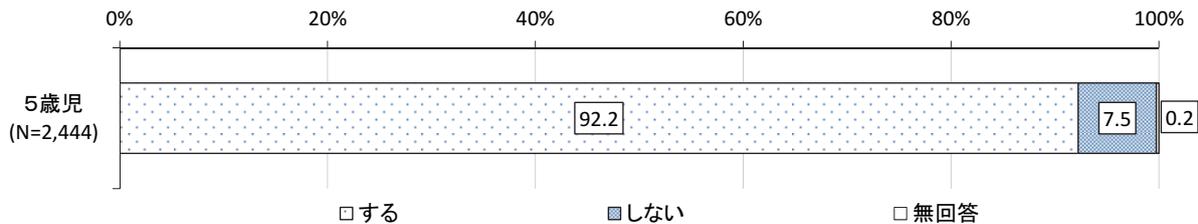
問 お子さんは歯磨きの習慣がありますか

図表 5-2-2-4 歯磨き習慣 単純集計



問 あなたや他の保護者の方が、お子さんの歯磨きの仕上げ磨きをしますか

図表 5-2-2-5 仕上げ磨き 単純集計

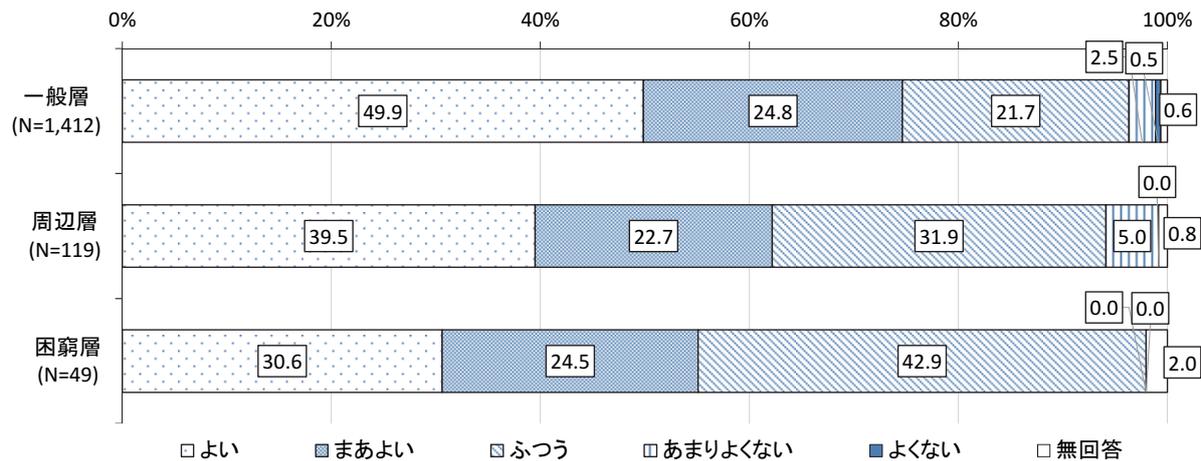


■生活困難層別

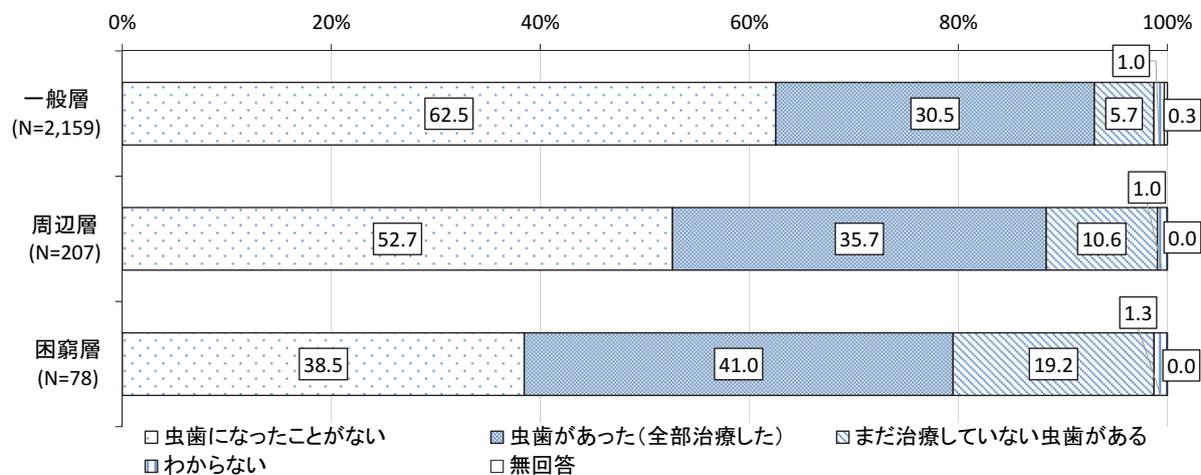
自分の健康状態について尋ねた結果を生活困難層別にクロス集計したところ、小学生では生活困難度が高くなるにつれて「よい」「まあよい」と回答した割合の合計が低下していた。

虫歯の状態を尋ねた結果を生活困難層別クロス集計したところ、5歳児保護者において「まだ治療していない虫歯がある」、小学生において「まだ治していない虫歯がある」の回答割合が、生活困難度が上がるにつれて高くなっており、困窮層では5歳児保護者が19.2%、小学生保護者が16.3%であった。

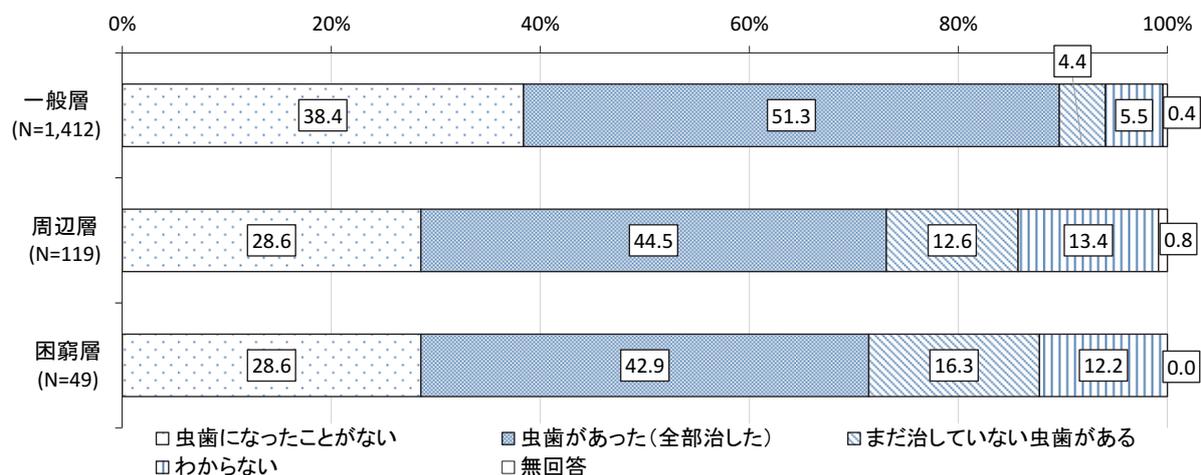
図表5-2-2-6 自分の健康状態に関する認識 生活困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表5-2-2-7 子どもの虫歯の状態 生活困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



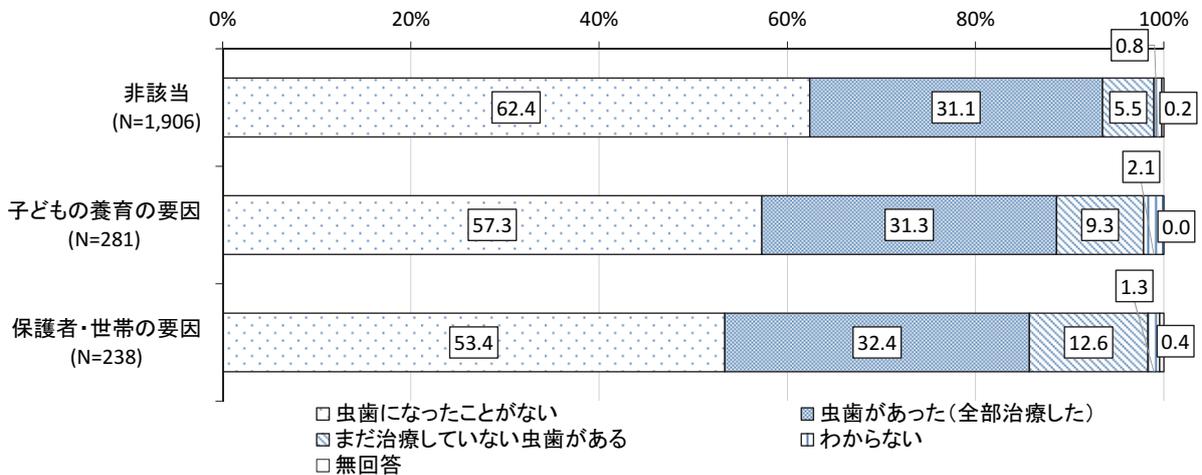
図表5-2-2-8 虫歯の状態 生活困難層別クロス集計 小学生 (***)



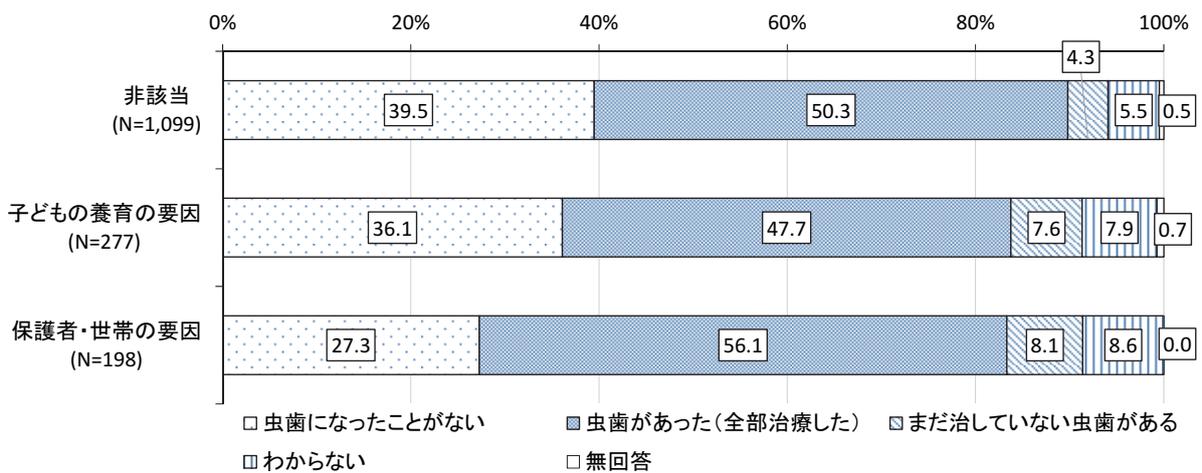
■潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に虫歯の状態をみると、子どもの年齢・教育段階にかかわらず、非該当層よりも潜在的養育困難層、特に「保護者・世帯の要因」層で、「虫歯になったことがない」の割合が低く、「まだ治していない虫歯がある」の割合が高くなっていった。

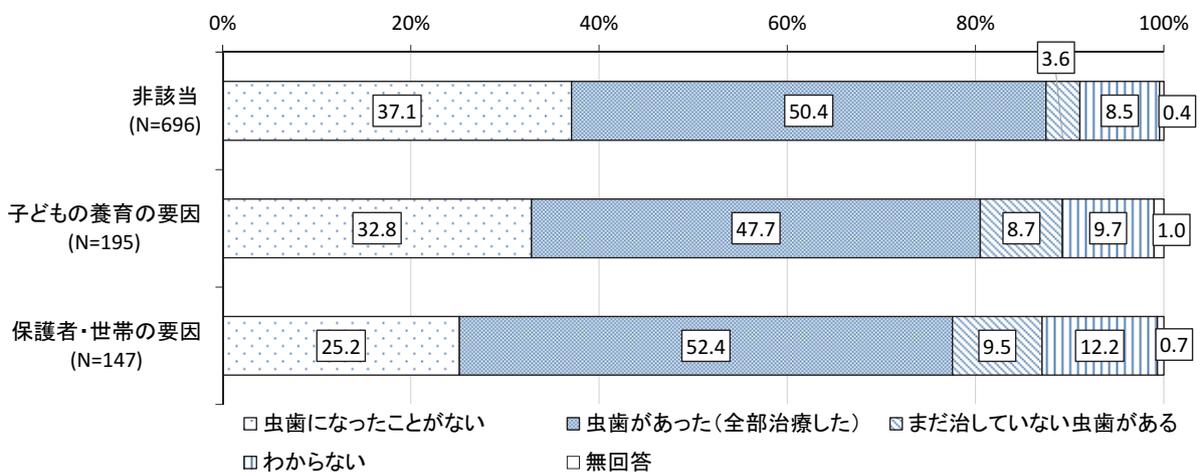
図表 5-2-2-9 子どもの虫歯の状態 潜在的養育困難層別クロス集計 5歳児保護者 (***)



図表 5-2-2-10 虫歯の状態 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-2-2-11 虫歯の状態 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



③ 放課後・休日の過ごし方

【小中子問9～13】

平日の放課後に一緒に過ごすことが一番多い人を小学生・中学生に尋ねた結果をみると、小学生では「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど）」が最も多く（36.3%）、次いで「友だち」が28.0%となった。中学生で最も多かったのは「部活動の仲間」で、67.9%となっていた。「ひとりである」と回答した割合は、小学生で4.6%、中学生で4.5%となっていた。

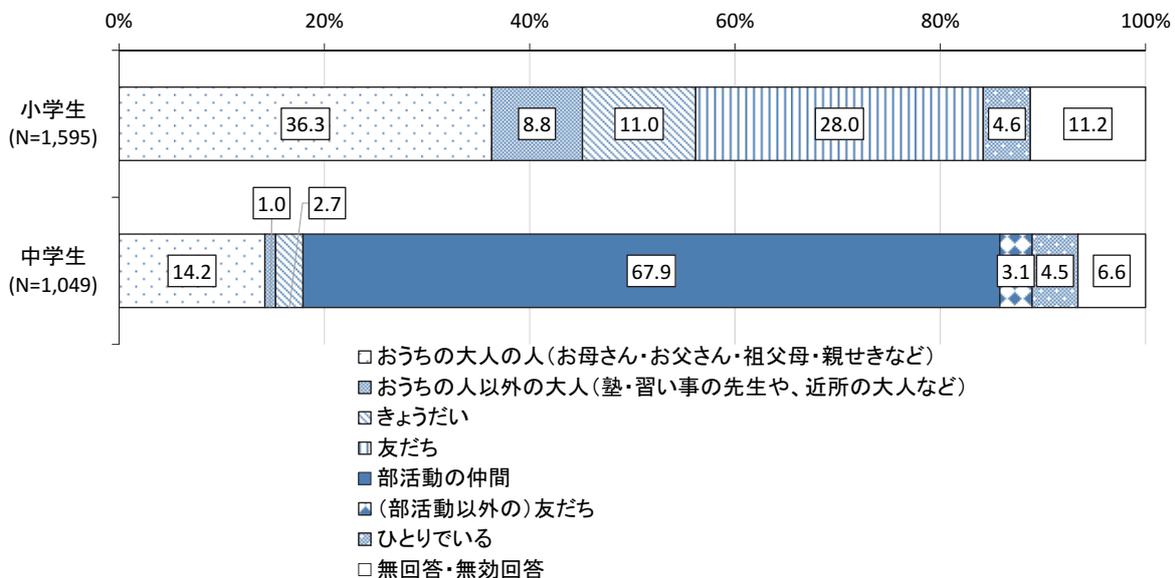
平日の放課後に過ごす場所について、その場所で過ごす頻度を尋ねたところ、「自分の家」で「毎日」過ごすと回答していたのは、小学生で42.5%、中学生で35.3%であった。中学生では「自分の家」よりも「学校（部活動など）」の方が「毎日」と回答した割合が高かった（44.6%）。また平日の放課後過ごす場所のうち一番ほっとできる場所を尋ねると、小学生・中学生ともに「自分の家」の回答割合が最も高かった（それぞれ79.7%、81.6%）。ほっとできる場所がないと回答した割合は、小学生が2.1%、中学生が3.2%となっていた。

休日の午後に一緒に過ごすことが一番多い人についてみると、小学生に関しては「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど）」が62.8%、「友だち」が11.7%、中学生に関しては「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど）」が45.0%、「部活動の仲間」が30.4%となっていた。

休日の午後が一番多く過ごす場所を尋ねると、小学生・中学生ともに「自分の家」が最も回答割合が高く（それぞれ66.9%、56.8%）、中学生に関しては「学校（部活動など）」も22.6%と比較的高かった。

問 平日の放課後、一緒に過ごすことが一番多い人

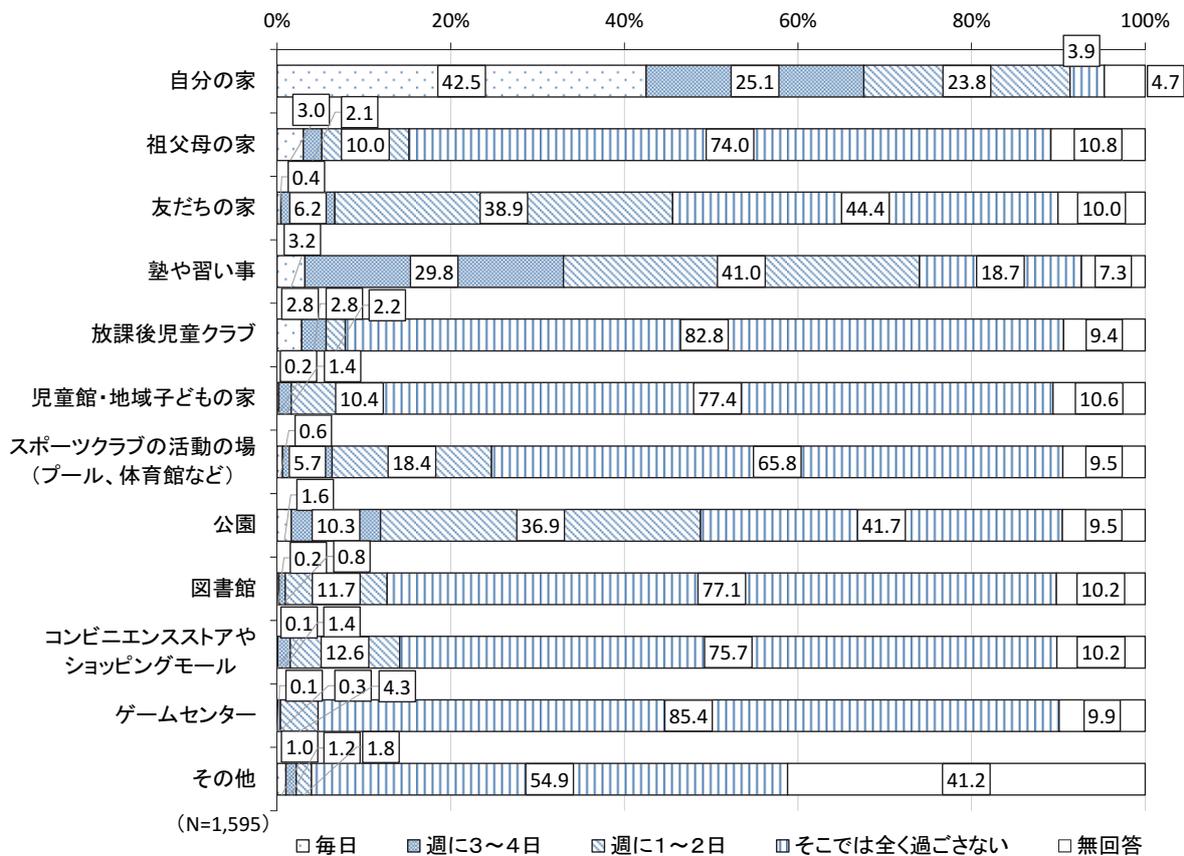
図表 5-2-3-1 平日の放課後に一緒に過ごす人 単純集計



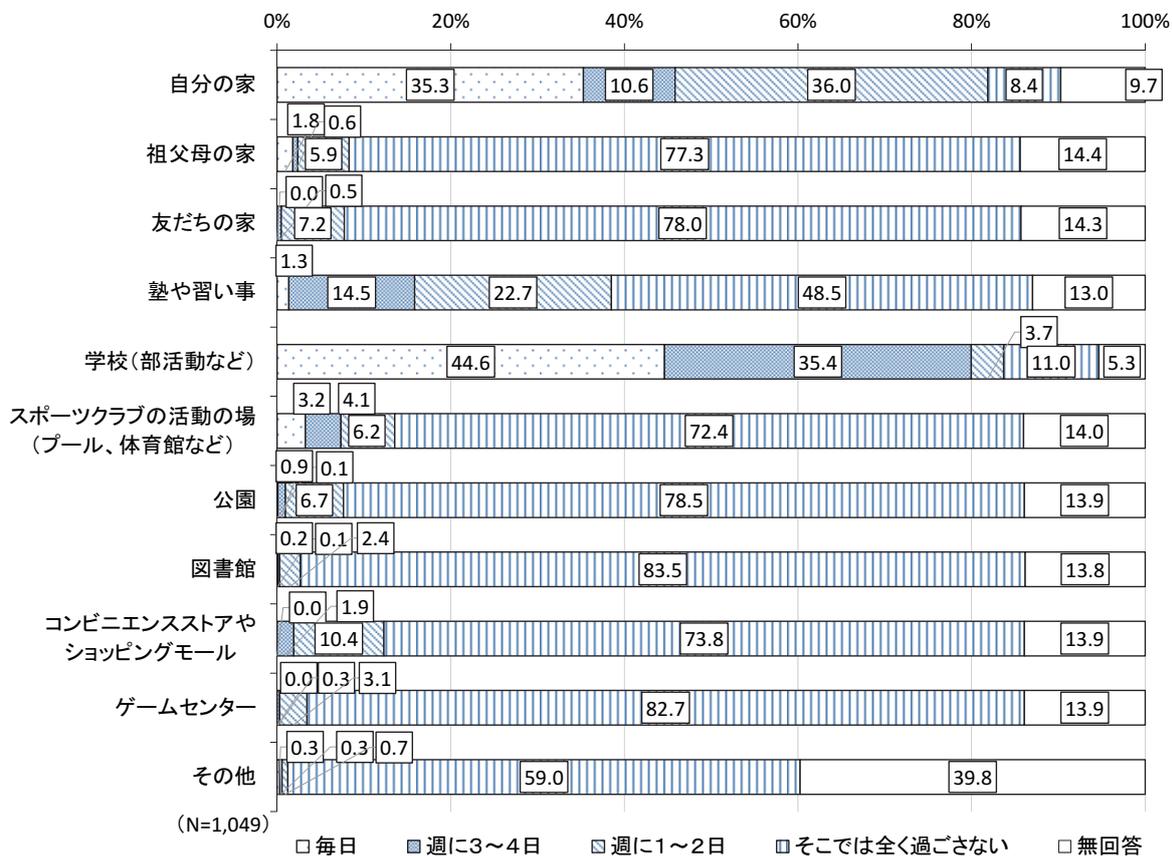
※「友だち」の選択肢は小学生票のみ、「部活動の仲間」「(部活動以外の)友だち」の選択肢は中学生票のみで尋ねている。

問 平日の放課後、どこで過ごしていますか

図表 5-2-3-2 平日の放課後に過ごす場所 単純集計 小学生

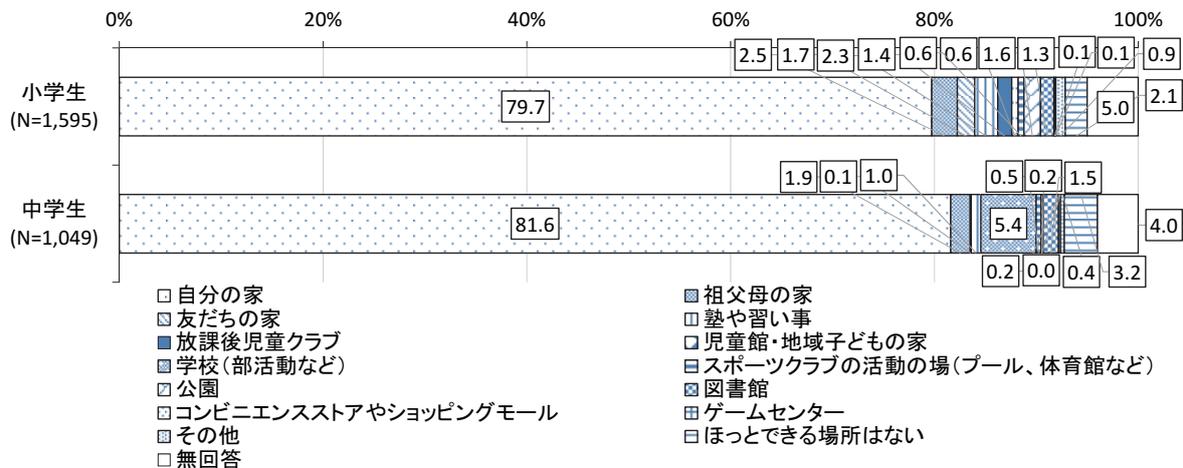


図表 5-2-3-3 平日の放課後の過ごし場所 単純集計 中学生



問 一番ほっとできる場所はどこですか

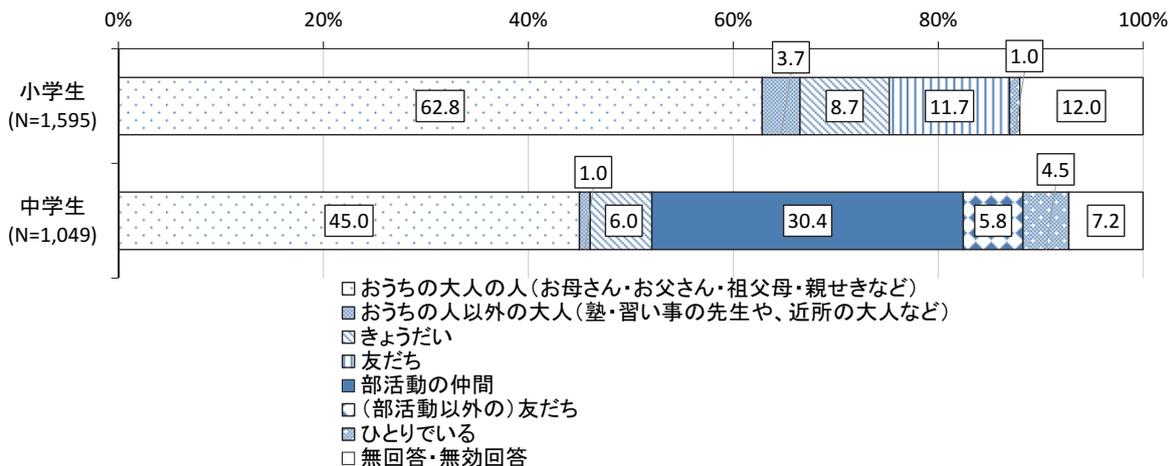
図表 5-2-3-4 一番ほっとできる場所 単純集計



※「放課後児童クラブ」「児童館・地域子どもの家」の選択肢は小学生票のみ、「学校(部活動など)」の選択肢は中学生票のみで尋ねている。

問 休日の午後、一緒に過ごすことが一番多い人

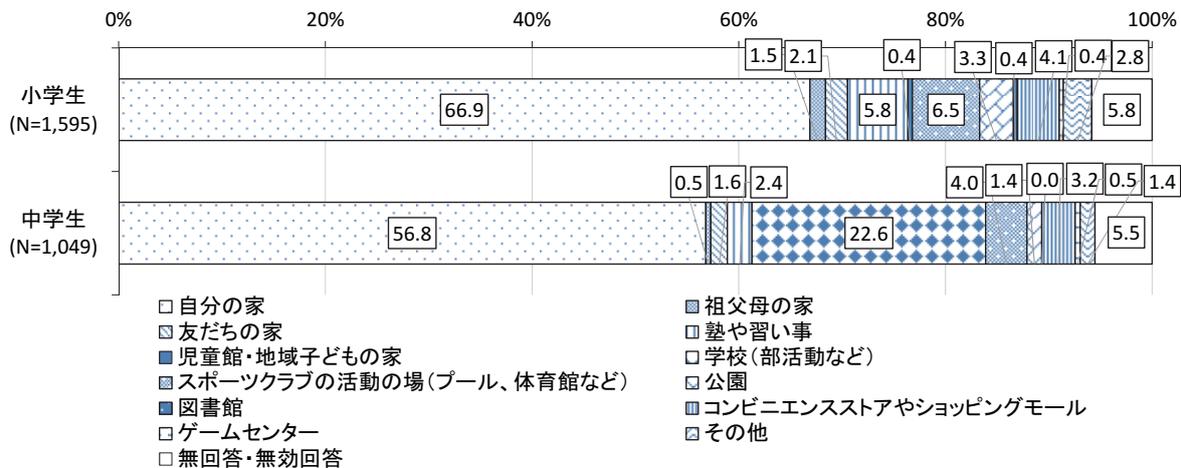
図表 5-2-3-5 休日の午後と一緒に過ごす人



※「友だち」の選択肢は小学生票のみ、「部活動の仲間」「(部活動以外の)友だち」の選択肢は中学生票のみで尋ねている。

問 休日の午後、一番多く過ごす場所

図表 5-2-3-6 休日の午後に過ごす場所 単純集計



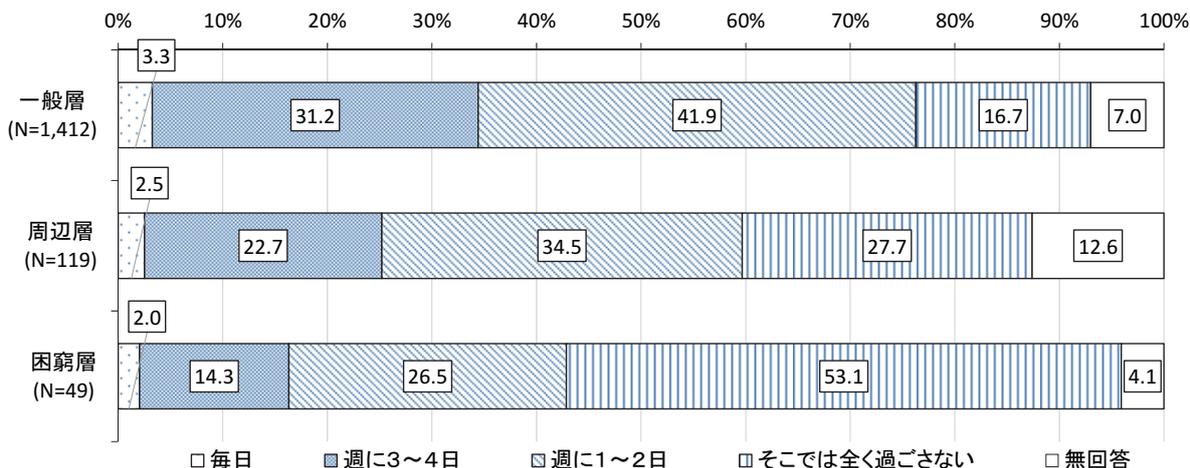
※「児童館・地域子どもの家」の選択肢は小学生票のみ、「学校(部活動など)」の選択肢は中学生票のみで尋ねている。

■生活困難層別

平日の放課後に過ごす場所について生活困難層別クロス集計をすると、「週に1～2日」以上の頻度で過ごす旨の回答の割合について、小学生の「塾や習い事」においては生活困窮度が高くなるにつれて割合が低くなっていたが、中学生の「コンビニエンスストアやショッピングモール」など⁸においては一般層よりも生活困難層の方が高くなっていた。また中学生の「自分の家」においては「そこでは全く過ごさない」の回答割合が一般層よりも生活困難層の方が高くなっていた。

図表 5-2-3-7 平日の放課後に過ごす場所：塾や習い事

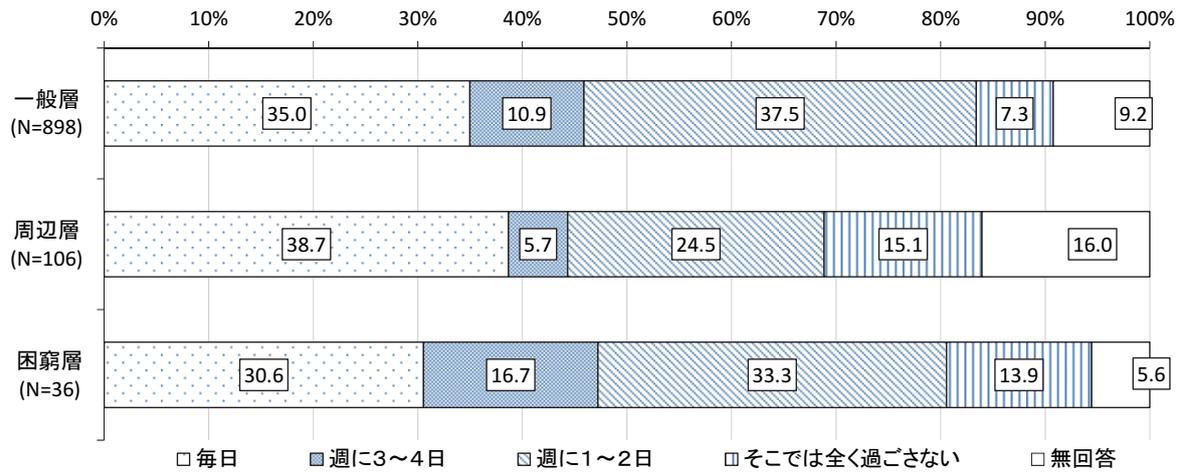
生活困難層別クロス集計 小学生 (***)



⁸ 同様となっていたのは、小学生の「ゲームセンター」、中学生の「図書館」「ゲームセンター」であった。

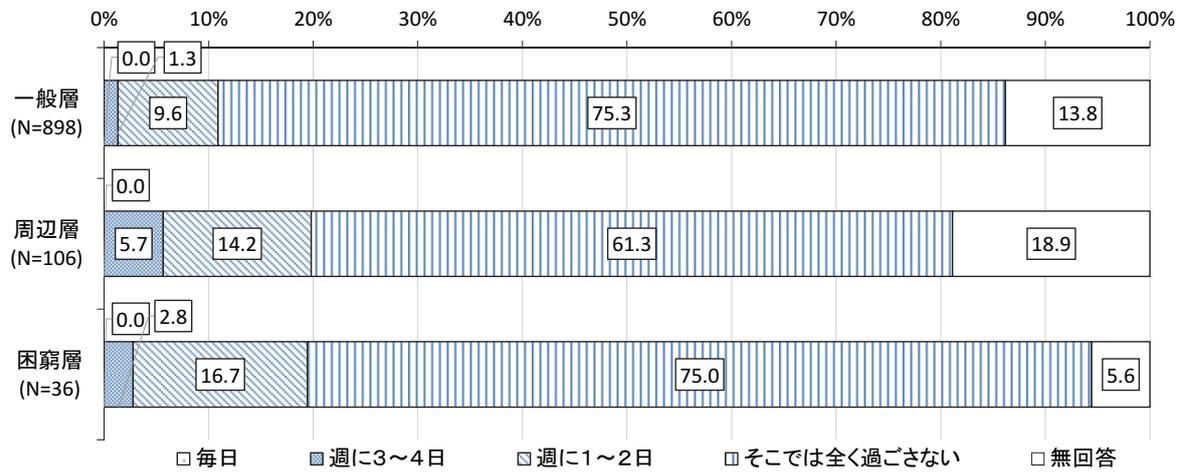
図表 5-2-3-8 平日の放課後に過ごす場所：自分の家

生活困難層別クロス集計 中学生 (**)



図表 5-2-3-9 平日の放課後に過ごす場所：コンビニエンスストアやショッピングモール

生活困難層別クロス集計 中学生 (**)

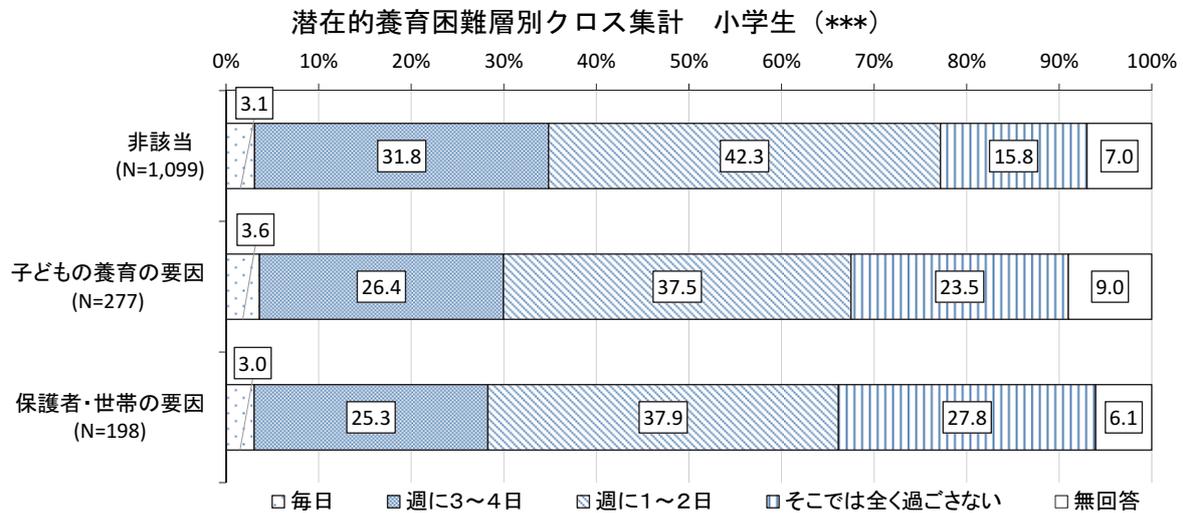


■潜在的養育困難層別

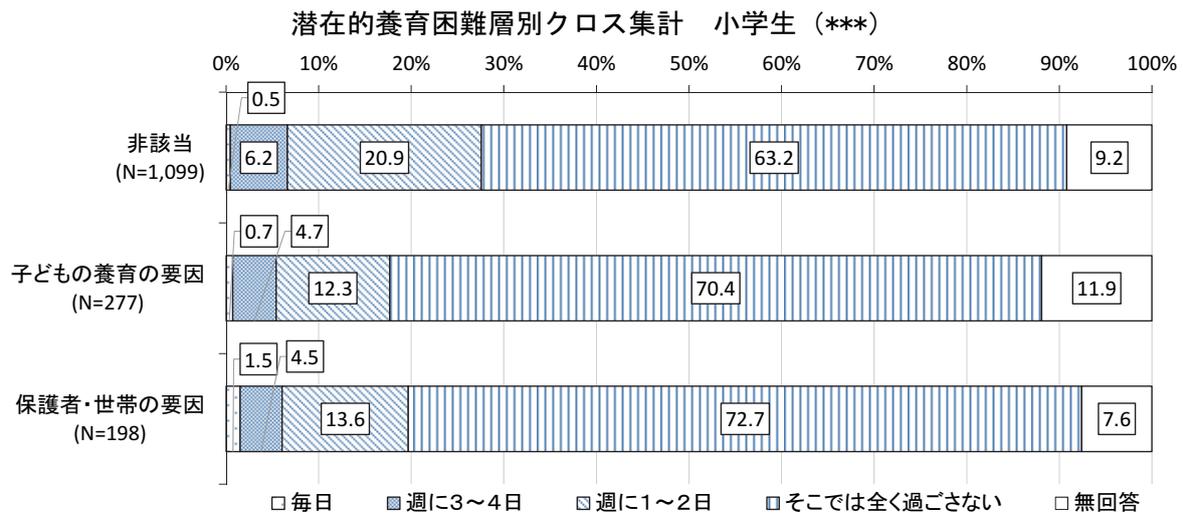
潜在的養育困難層別に平日の放課後に過ごす場所についてクロス集計すると、小学生の「塾や習い事」「スポーツクラブの活動の場（プール、体育館など）」において、潜在的養育困難層では非該当層と比較して「週に3～4日」「週に1～2日」の回答割合が低く、「そこでは全く過ごさない」が高くなっていった。中学生では「学校（部活動など）」において、非該当層では「毎日」が最も多く「そこでは全く過ごさない」が比較的少ない一方で、潜在的養育困難層では「毎日」の回答割合が低くなり「そこでは全く過ごさない」が高くなっていった。

一番ほっとできる場所についての回答結果を潜在的養育困難層別にクロス集計すると、小学生ではどの層でも約8割が「自分の家」と回答していたのに対し、中学生では「子どもの養育の要因」層で72.8%と他の層と比べて回答割合が低くなっていった。また「子どもの養育の要因」層で「ほっとできる場所はない」と回答したのは、小学生は2.9%、中学生は7.2%となっていた。

図表5-2-3-10 平日の放課後に過ごす場所：塾や習い事

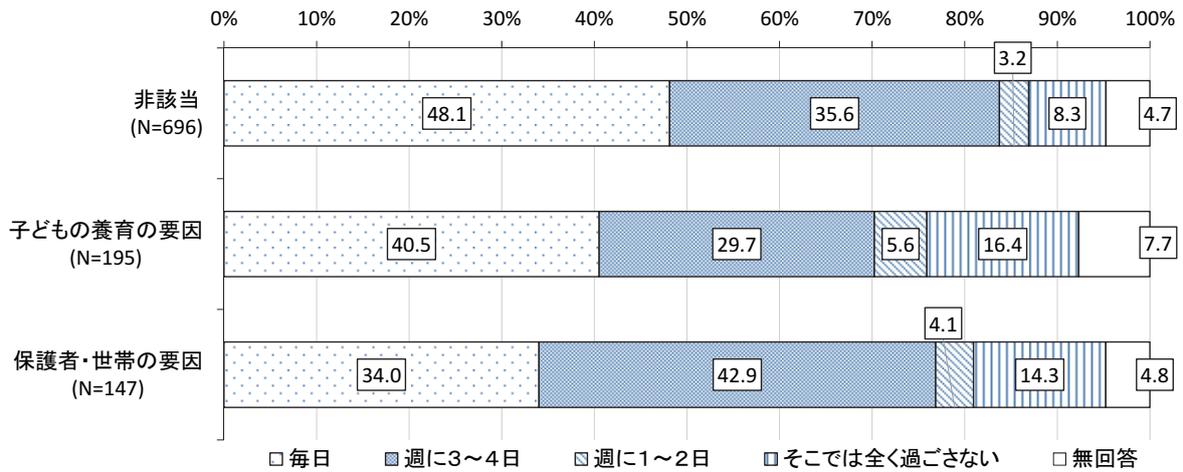


図表5-2-3-11 平日の放課後に過ごす場所：スポーツクラブの活動の場（プール、体育館など）

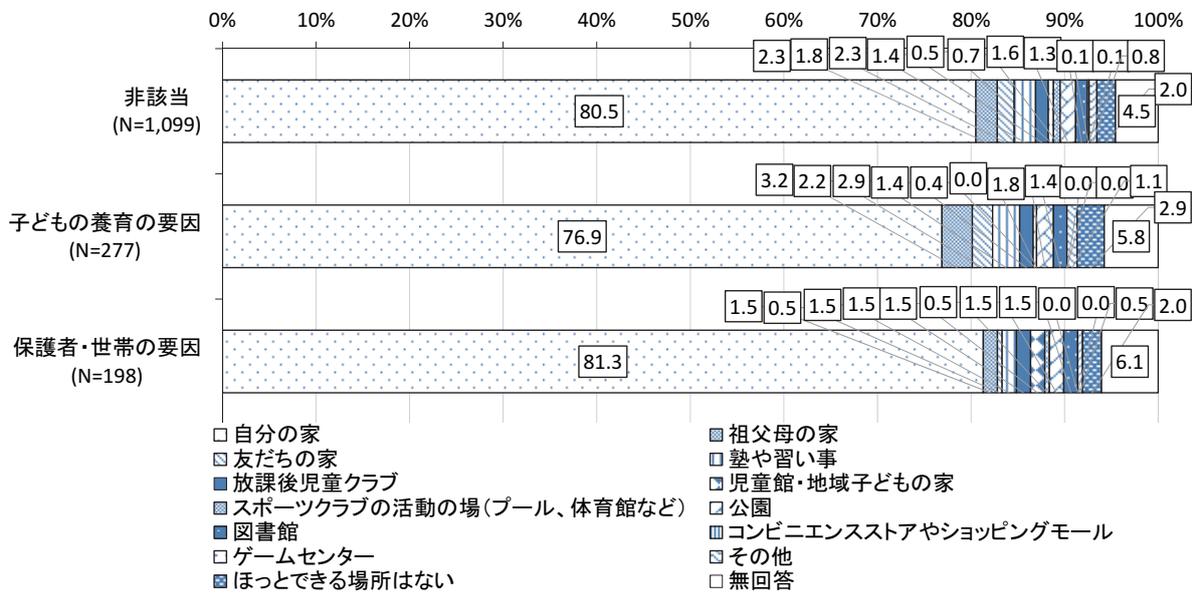


図表 5-2-3-12 平日の放課後に過ごす場所：学校（部活動など）

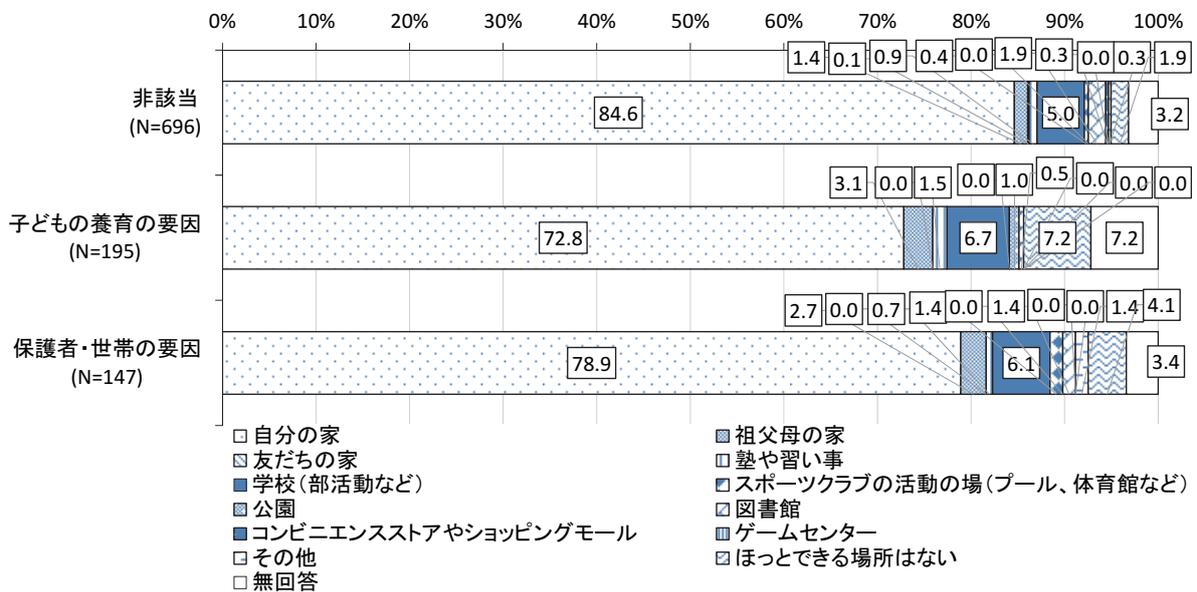
潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



図表 5-2-3-13 一番ほっとできる場所 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (X)



図表 5-2-3-14 一番ほっとできる場所 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



④ 日常生活の過ごし方

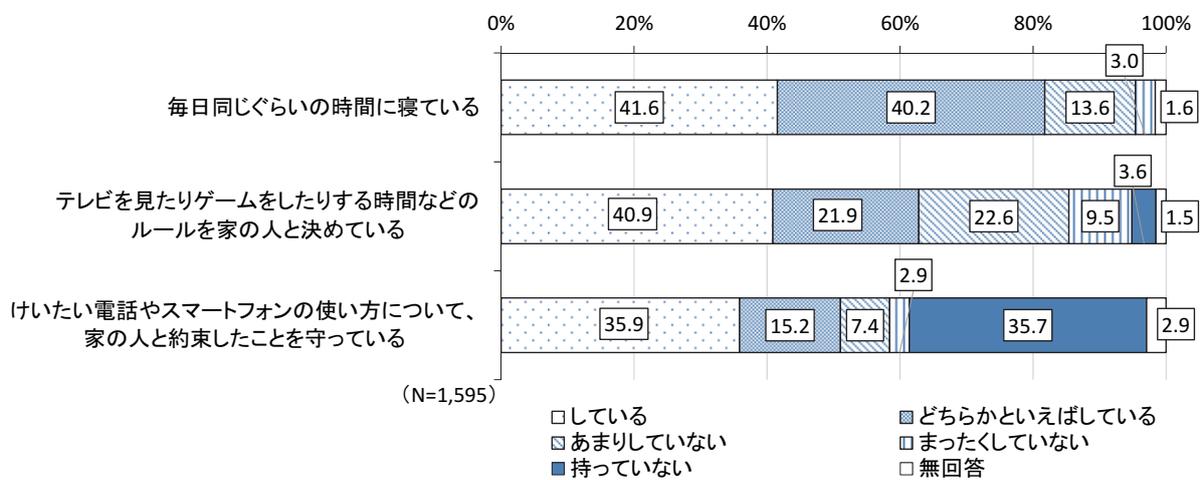
【小中子問 14】

小学生・中学生に対し、家でしていることについて尋ねた結果、「毎日同じぐらいの時間に寝ている」に対して「あまりしていない」「まったくしていない」と回答したのは小学生で16.6%、中学生で21.3%であった。

「テレビを見たりゲームをしたりする時間などのルールを家の人と決めている」に対して「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合は小学生で62.8%、中学生で44.9%、「けいたい電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている」は小学生で51.1%、中学生で57.4%となっていた。

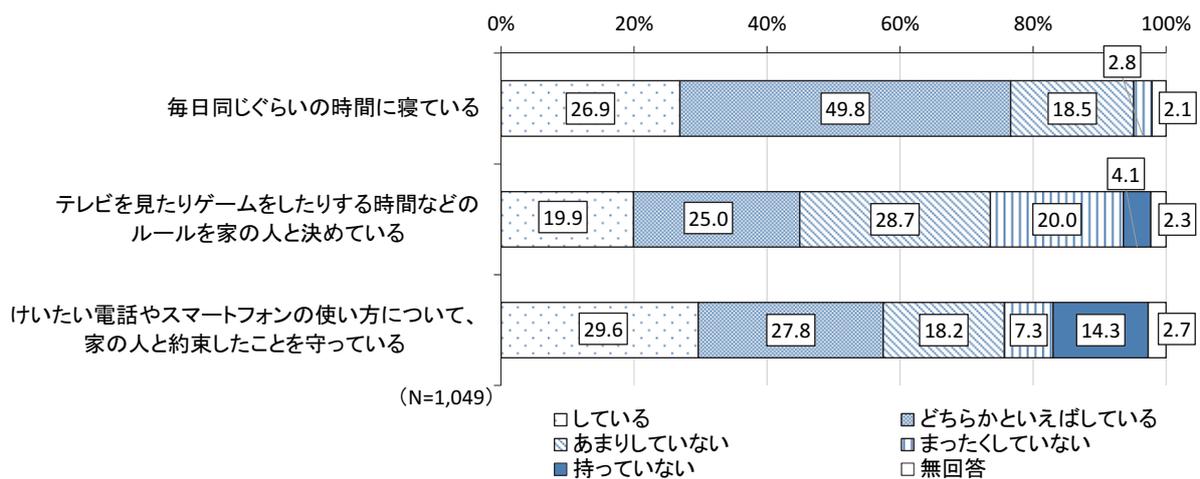
問 家で次のようなことをしていますか

図表 5-2-4-1 家でしていること 単純集計 小学生



※「持っていない」の選択肢は「毎日同じぐらいの時間に寝ている」では尋ねていない。

図表 5-2-4-2 家でしていること 単純集計 中学生

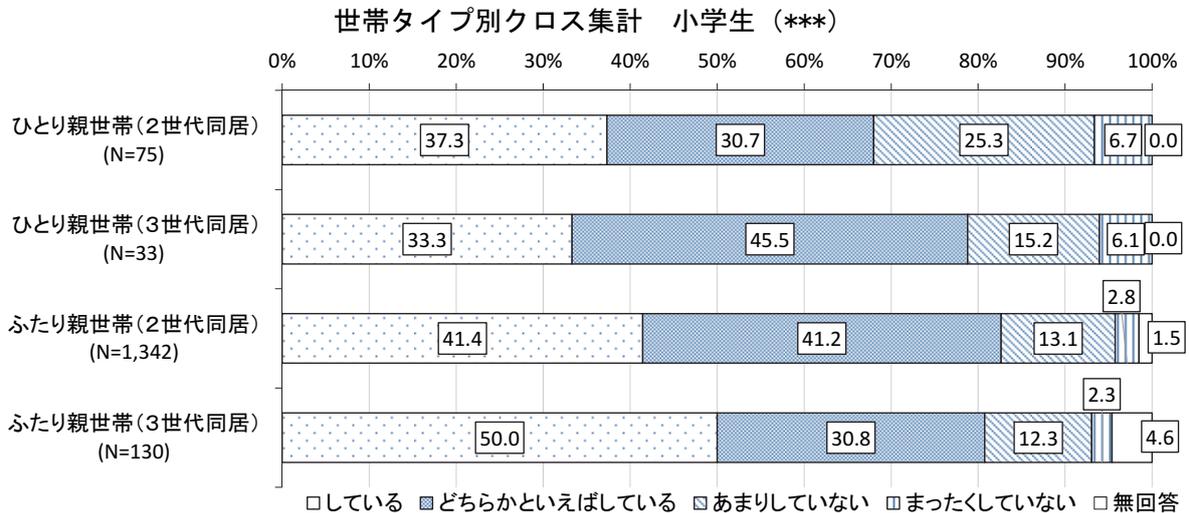


※「持っていない」の選択肢は「毎日同じぐらいの時間に寝ている」では尋ねていない。

■世帯タイプ別

小学生に対して「毎日同じぐらいの時間に寝ている」かを尋ねたところ、ひとり親世帯（2世代同居）の「あまりしていない」「まったくしていない」と回答した割合の合計は32.0%となっており、他の世帯タイプよりも高かった。

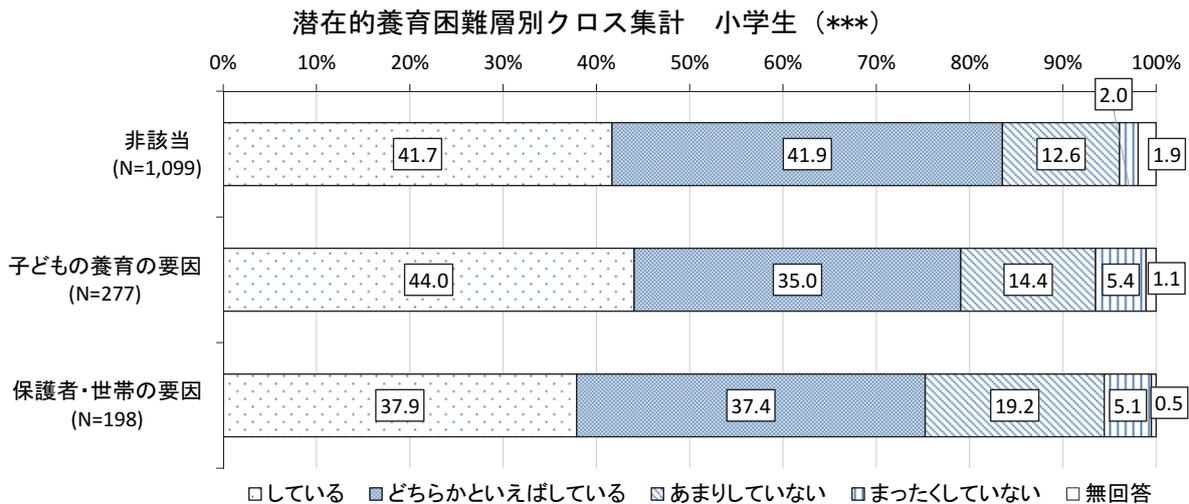
図表5-2-4-3 家でしていること：毎日同じぐらいの時間に寝ている



■潜在的養育困難層別

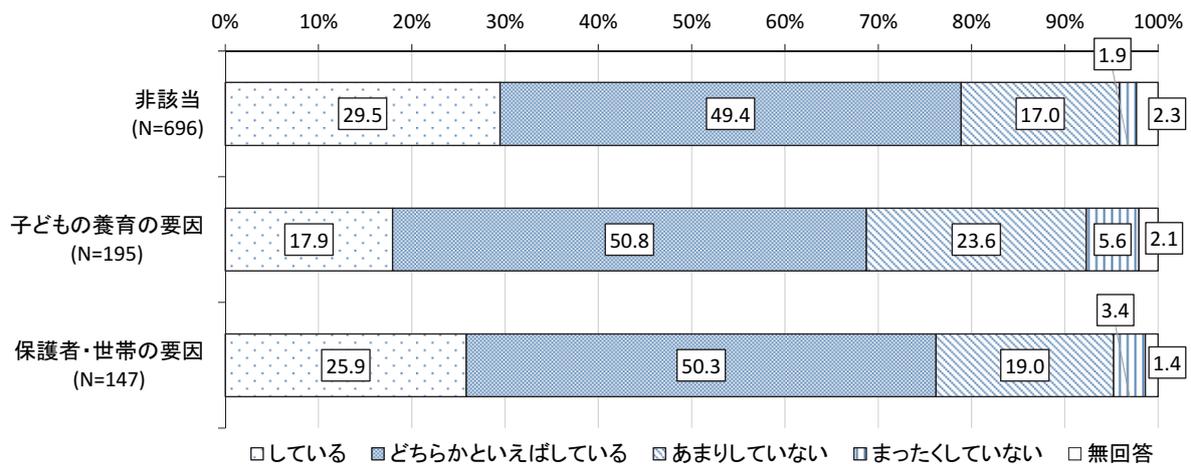
家でしていることについて潜在的養育困難層別にクロス集計すると、「毎日同じぐらいの時間に寝ている」に対して「あまりしていない」「まったくしていない」と回答した割合の合計は、小学生では「保護者・世帯の要因」層が24.3%で最も高かった。中学生では「子どもの養育の要因」層が29.2%で最も高かった。

図表5-2-4-4 家でしていること：毎日同じぐらいの時間に寝ている



図表 5-2-4-5 家でしていること：毎日同じぐらいの時間に寝ている

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (**)



【小子問 15】

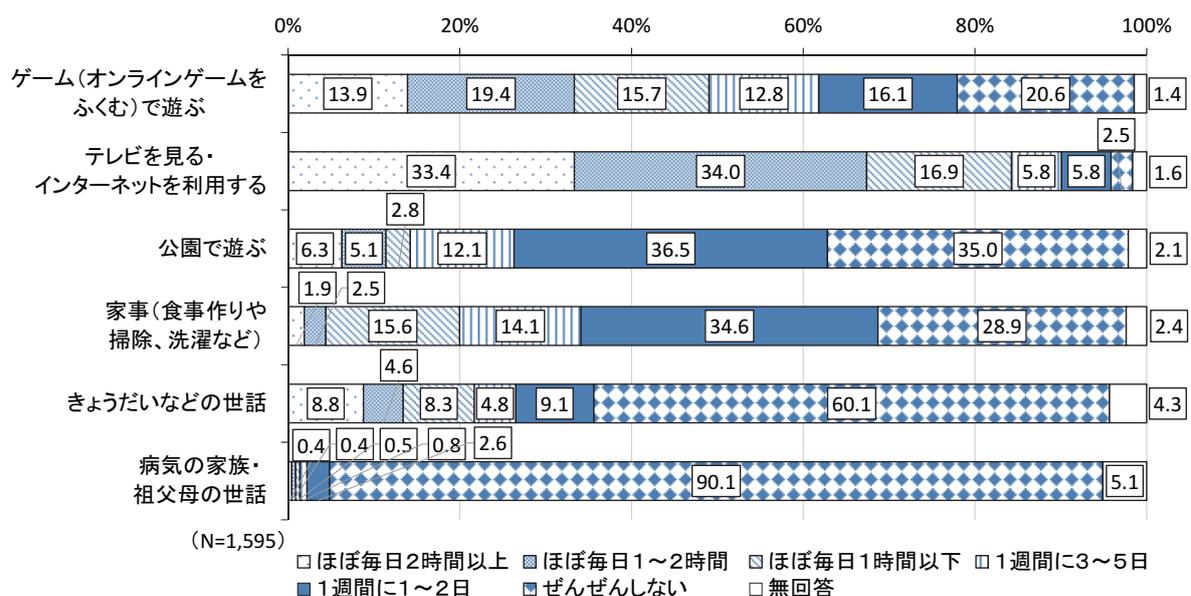
普段の活動を小学生に尋ねたところ、ほぼ毎日1時間以上行っている旨の回答（「ほぼ毎日2時間以上」「ほぼ毎日1～2時間」の合計）の割合が最も高かったのは、「テレビを見る・インターネットを利用する」で67.4%あった。

また、ほぼ毎日1時間以上行っている旨の回答の合計をみると、「家事（食事作りや掃除、洗濯など）」は4.4%、「きょうだいなどの世話」は13.4%、「病気の家族・祖父母の世話」は0.8%であった。

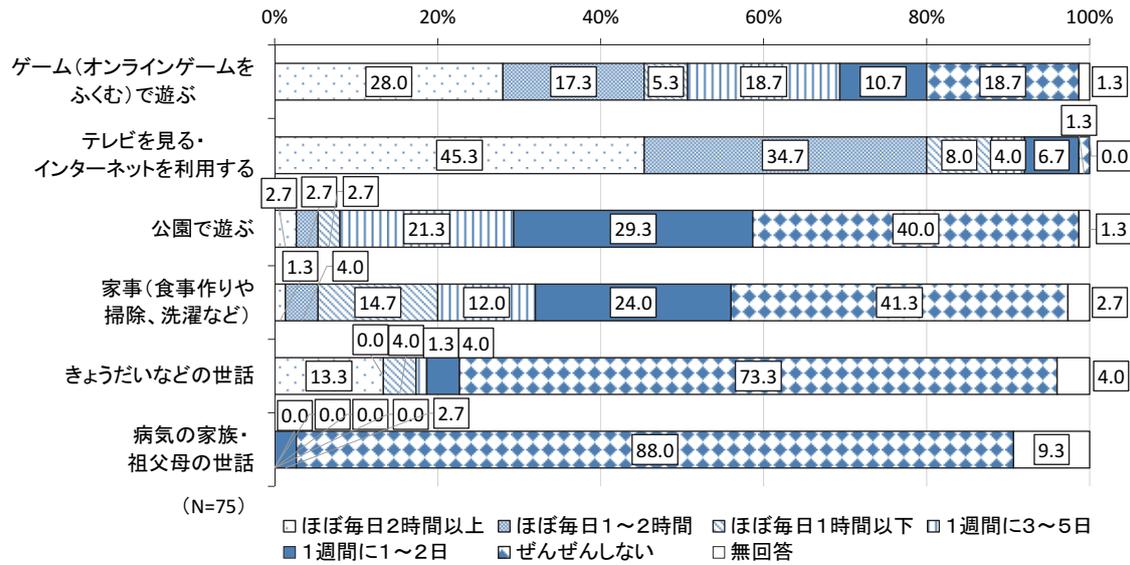
潜在的養育困難層の「保護者・世帯の要因」層について、ほぼ毎日1時間以上行っている旨の回答の割合をみたところ、「家事（食事作りや掃除、洗濯など）」は8.0%、「きょうだいなどの世話」は20.7%、「病気の家族・祖父母の世話」は1.5%と、単純集計結果と比べて高くなっていた。

問 次の活動をふだんどれくらいしますか

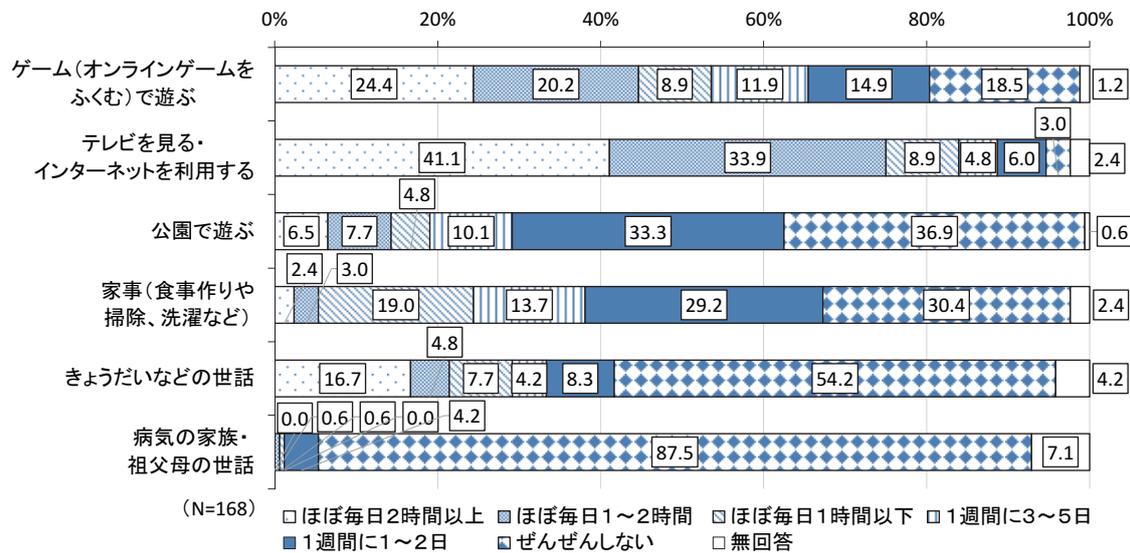
図表 5-2-4-6 普段の活動 単純集計 小学生



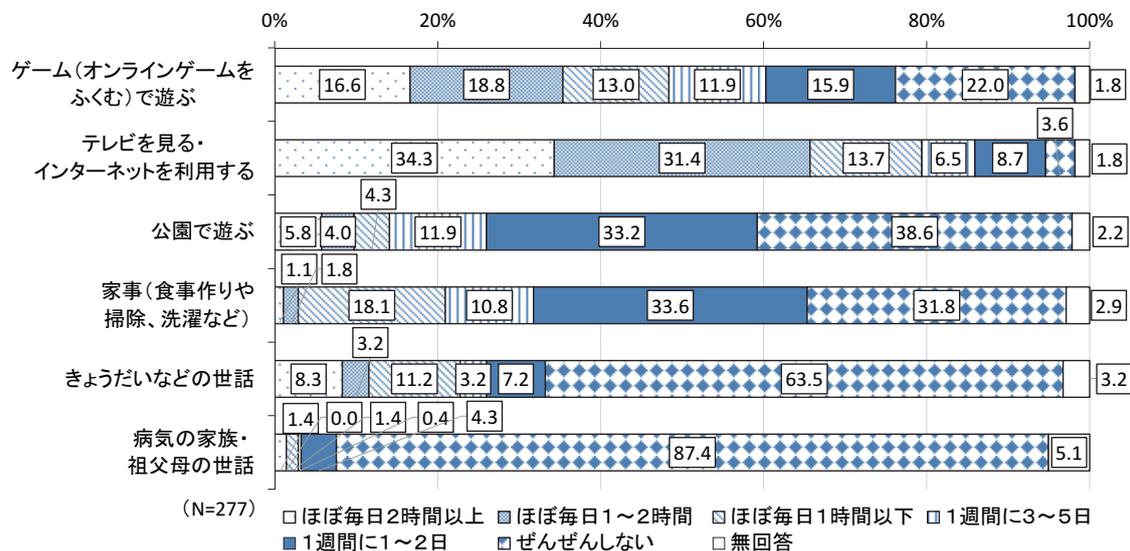
図表 5-2-4-7 普段の活動 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 小学生



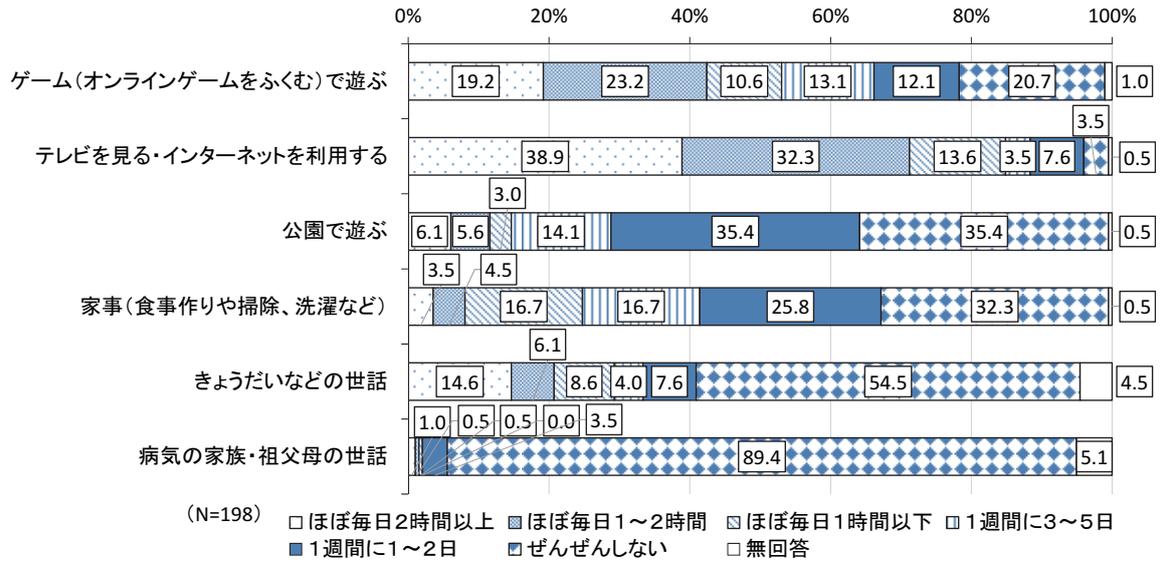
図表 5-2-4-8 普段の活動 生活困難層別—生活困難層 小学生



図表 5-2-4-9 普段の活動 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 小学生



図表 5-2-4-10 普段の活動 潜在的養育困難層別—「保護者・世帯の要因」層 小学生



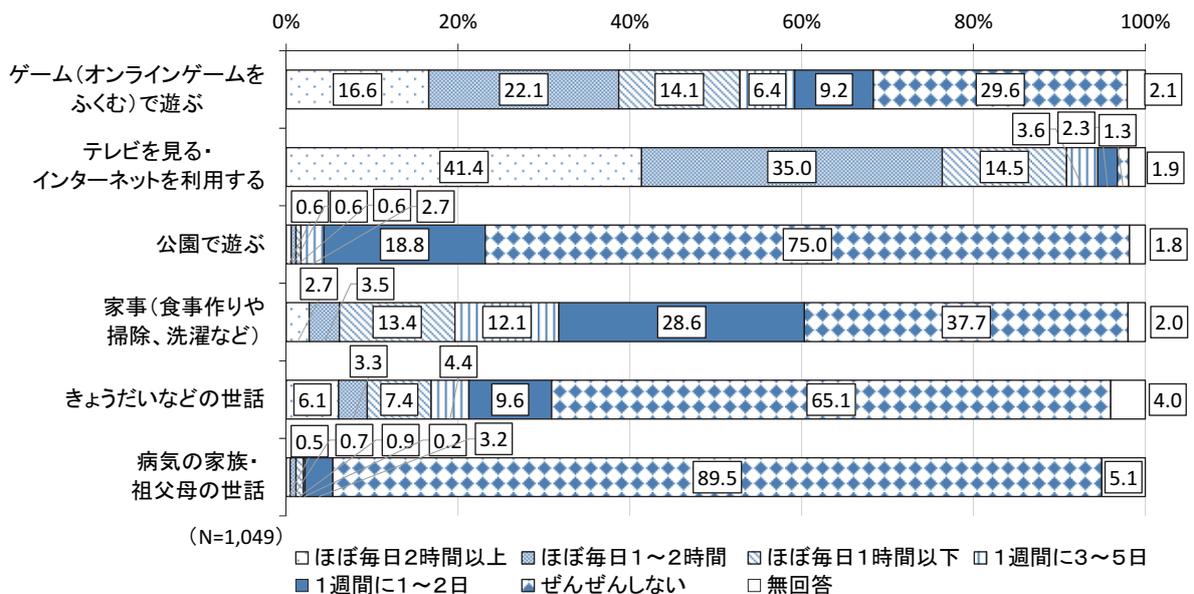
【中子問 15】

普段の活動を中学生に尋ねたところ、ほぼ毎日1時間以上行っている旨の回答(「ほぼ毎日2時間以上」「ほぼ毎日1～2時間」の合計)の割合が最も高かったのは、「テレビを見る・インターネットを利用する」で76.4%あった。

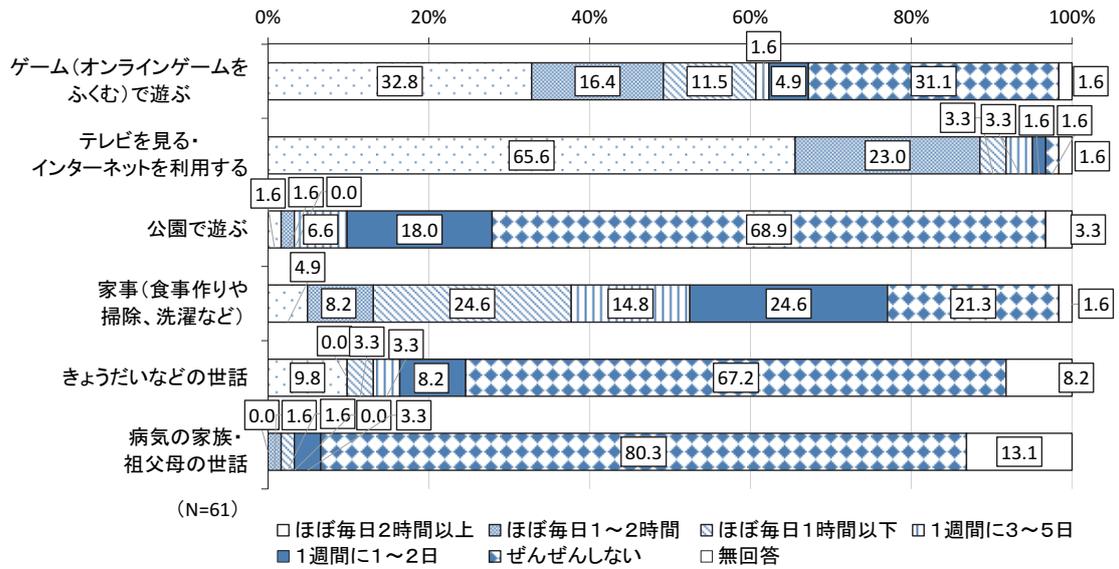
また、ほぼ毎日1時間以上行っている旨の回答の合計をみると、「家事(食事作りや掃除、洗濯など)」は6.2%、「きょうだいなどの世話」は9.4%、「病気の家族・祖父母の世話」は1.2%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)の中学生について、「家事(食事作りや掃除、洗濯など)」を毎日行っている割合(「ほぼ毎日2時間以上」「ほぼ毎日1～2時間」「ほぼ毎日1時間以下」の合計)は37.7%と、単純集計結果と比べて高くなっていた。

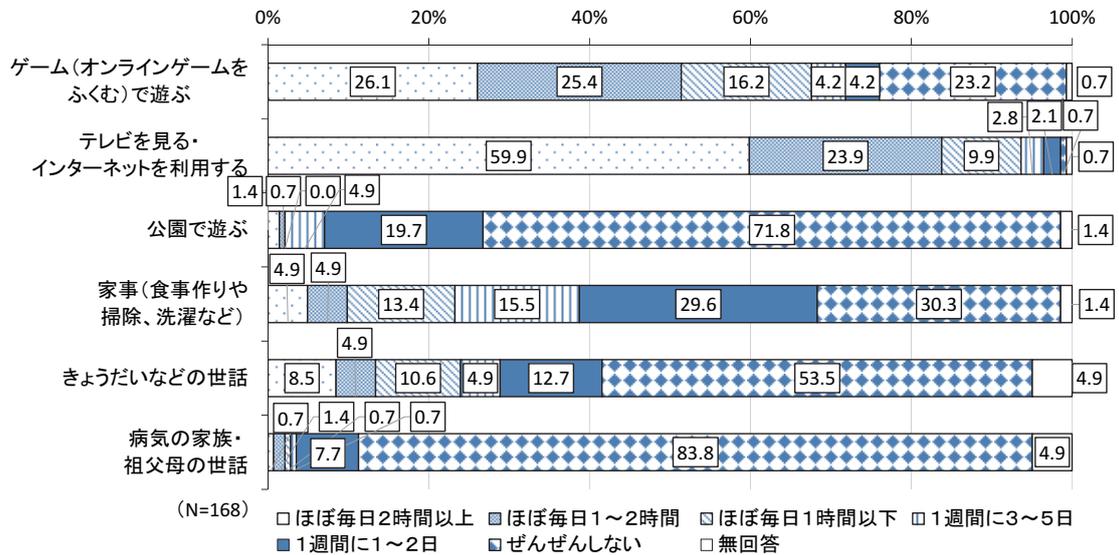
図表 5-2-4-11 普段の活動 単純集計 中学生



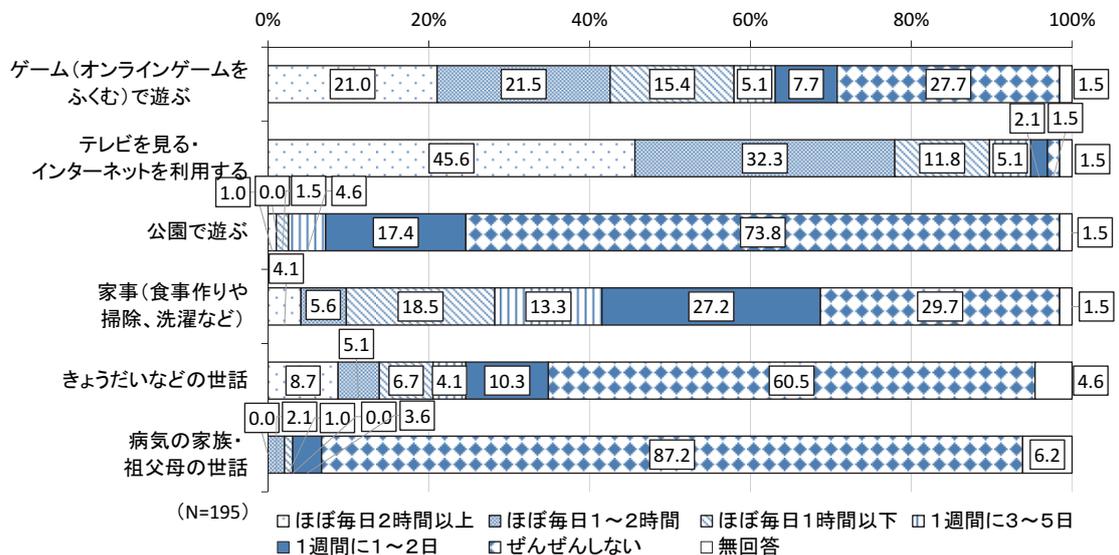
図表 5-2-4-12 普段の活動 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 中学生



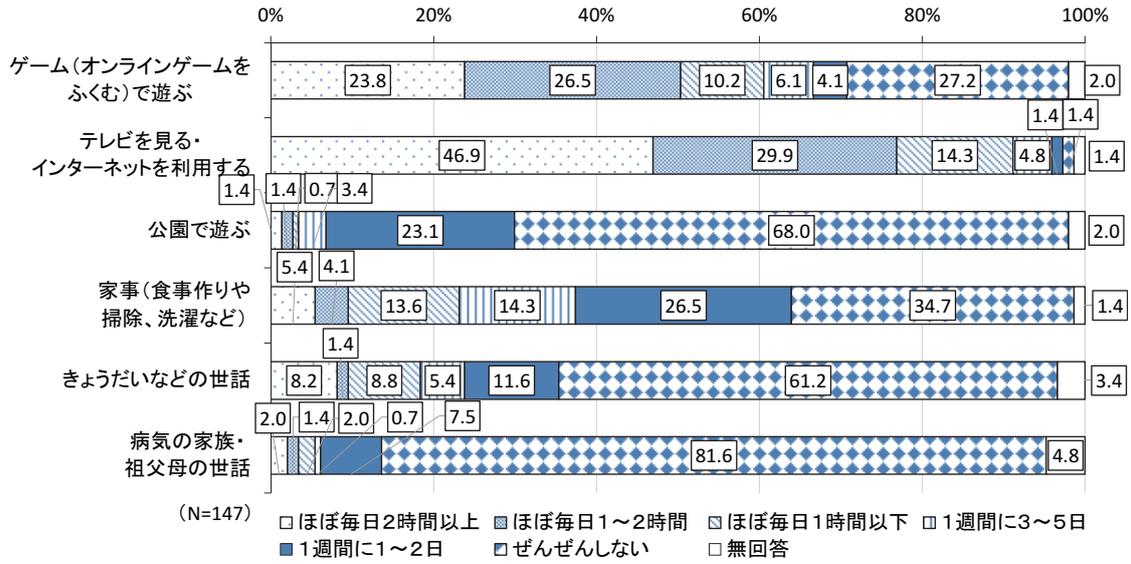
図表 5-2-4-13 普段の活動 生活困難層別—生活困難層 中学生



図表 5-2-4-14 普段の活動 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 中学生



図表5-2-4-15 普段の活動 潜在的養育困難層別-「保護者・世帯の養育の要因」層 中学生



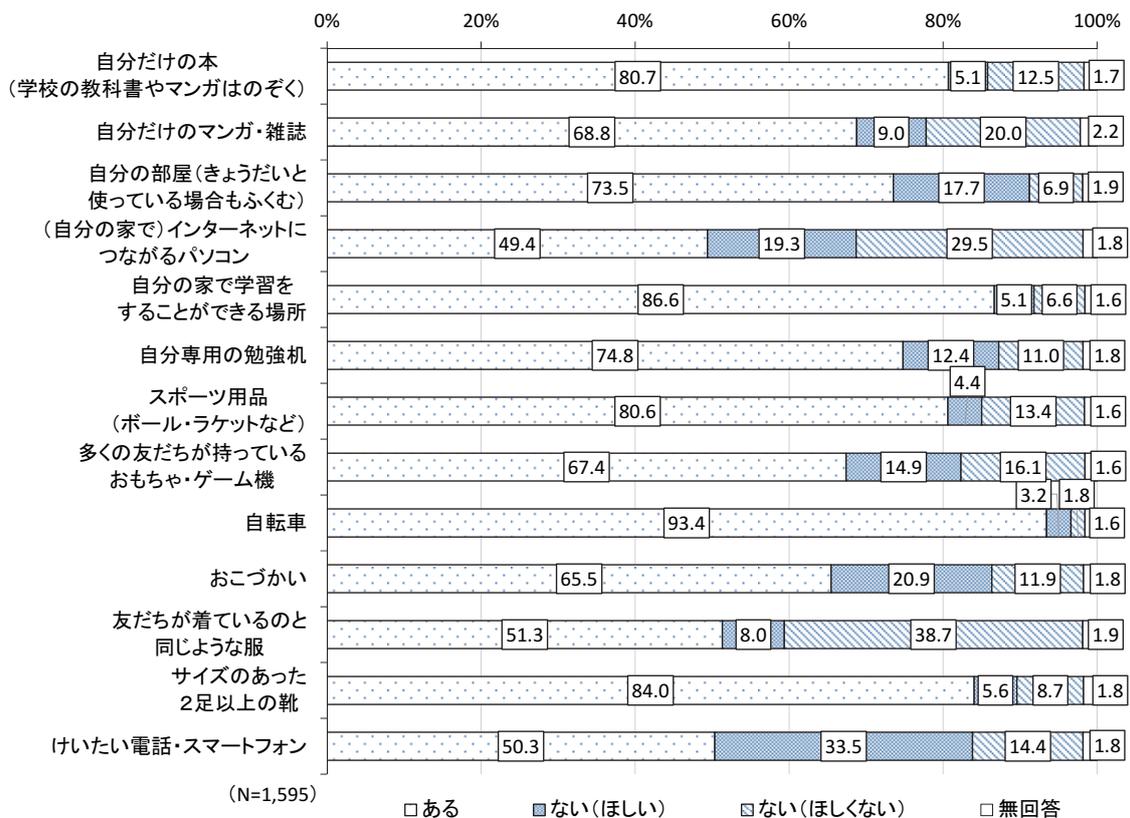
⑤ 物理的な剥奪

【小中子問 16】

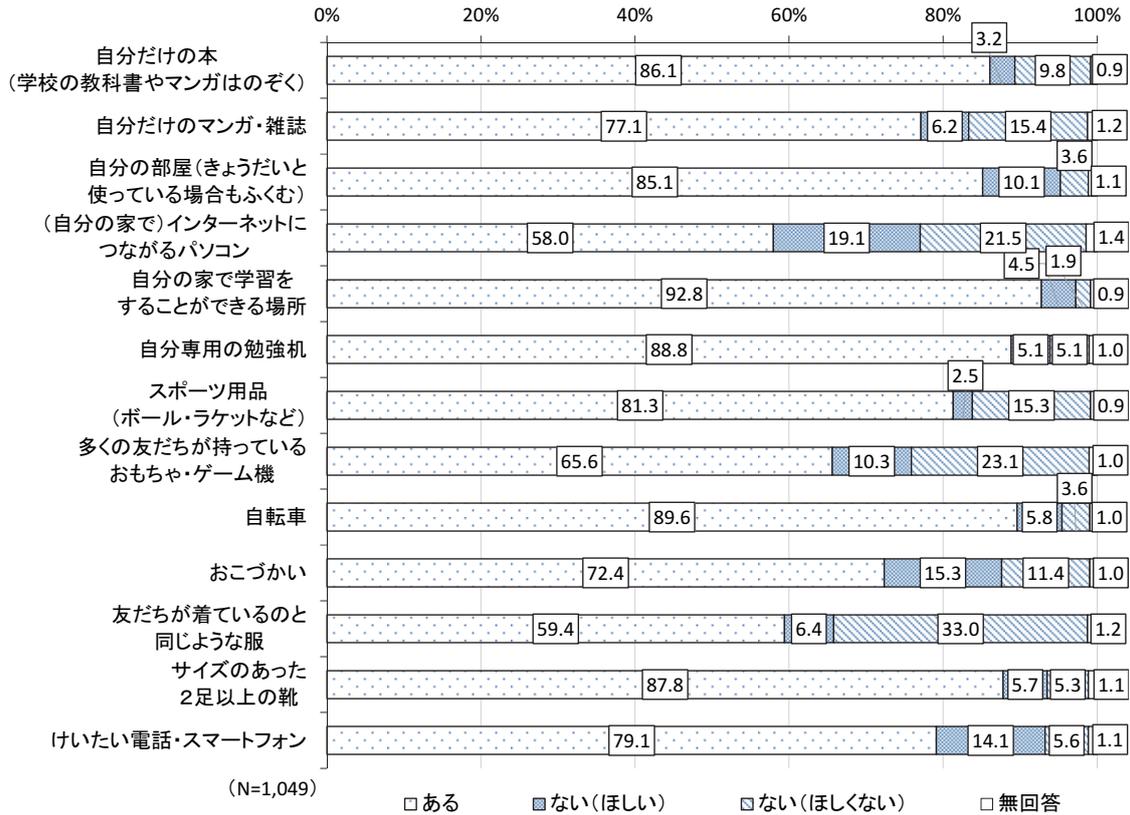
小学生・中学生に対して自分が使うことができるものの有無を尋ねたところ、「ない(ほしい)」と回答した割合が最も高かったのは、小学生は「けいたい電話・スマートフォン」で33.5%、中学生は「(自分の家で)インターネットにつながるパソコン」で19.1%であった。その他に比較的「ない(ほしい)」の回答割合が高かったものには、小学生では「おこづかい」や「(自分の家で)インターネットにつながるパソコン」、中学生では「おこづかい」や「けいたい電話・スマートフォン」があった。

問 自分が使うことができる、次のものがありますか

図表 5-2-5-1 自分が使うことができるもの 単純集計 小学生



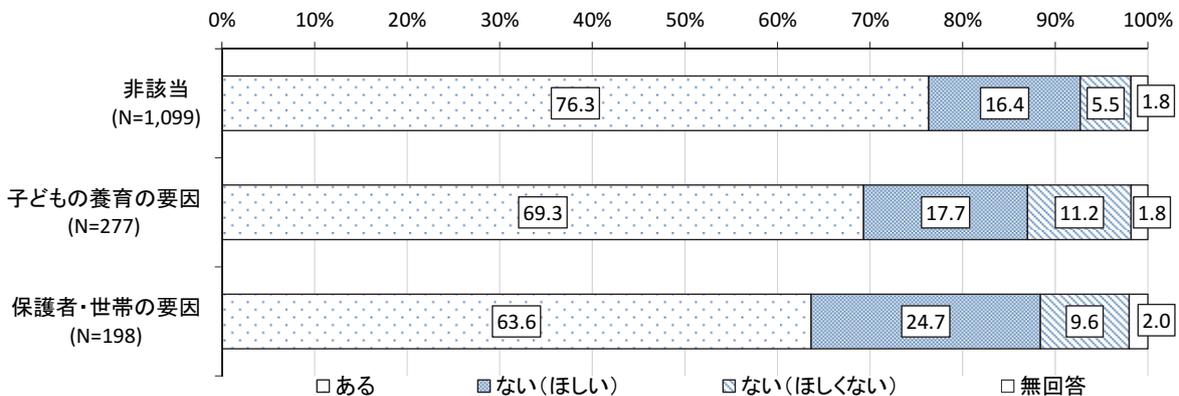
図表5-2-5-2 自分が使うことができるもの 単純集計 中学生



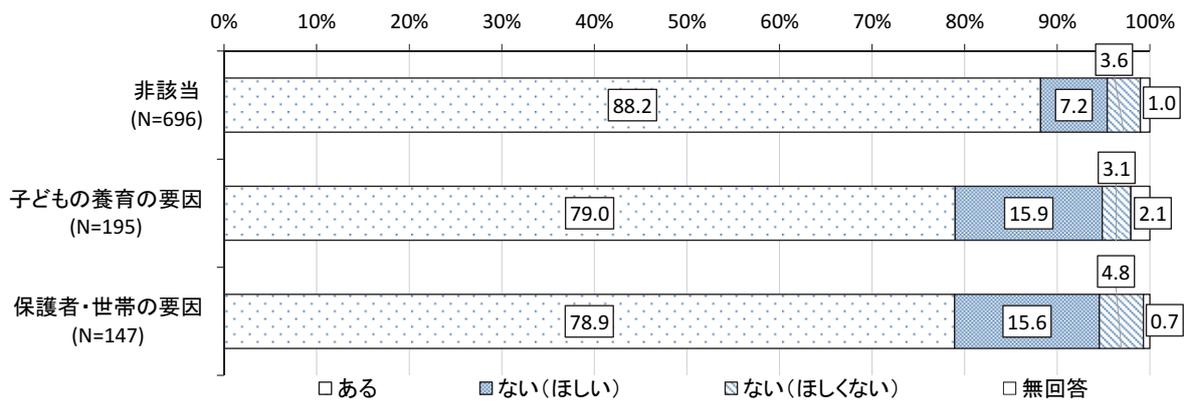
■潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に自分が使うことができるものの有無をクロス集計した結果から「ない(ほしい)」の回答割合をみると、小学生では「保護者・世帯の要因」層において「自分の部屋(きょうだいと使っている場合もふくむ)」「おこづかい」の回答割合が高くなっていた。潜在的養育困難層の中学生では「自分の部屋(きょうだいと使っている場合もふくむ)」「(自分の家で)インターネットにつながるパソコン」「自分の家で学習をすることができる場所」の回答割合が高くなっていた。また、「おこづかい」では特に「子どもの養育の要因」層において高い回答割合となっていた。

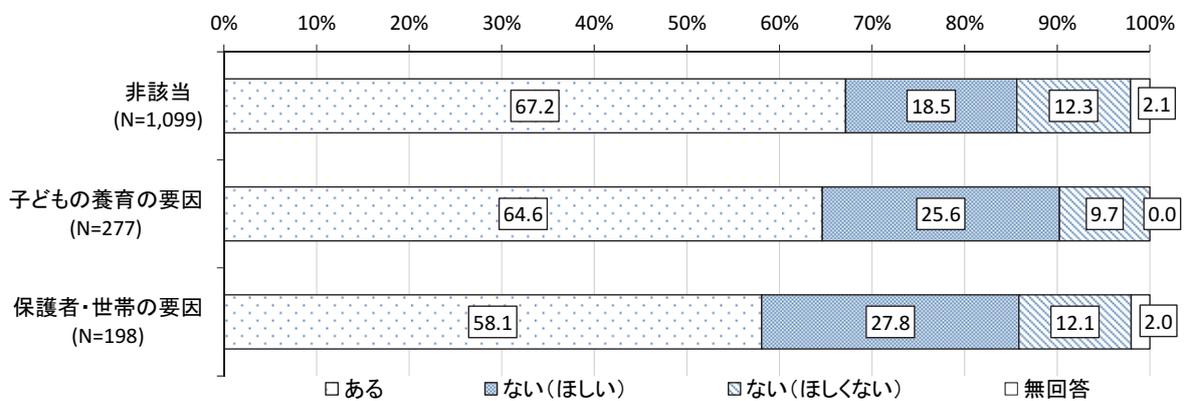
図表5-2-5-3 自分が使うことができるもの：自分の部屋(きょうだいと使っている場合もふくむ) 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



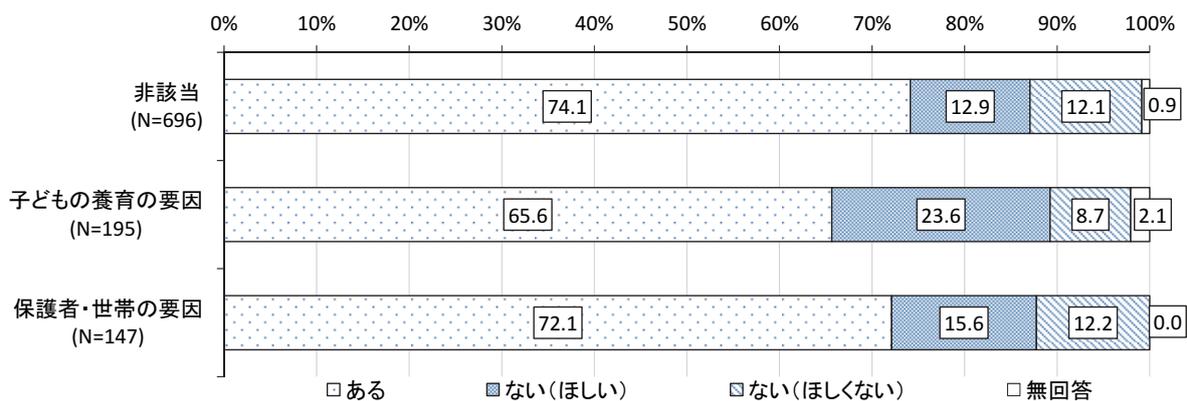
図表5-2-5-4 自分が使うことができるもの：自分の部屋（きょうだいと使っている場合もふくむ） 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



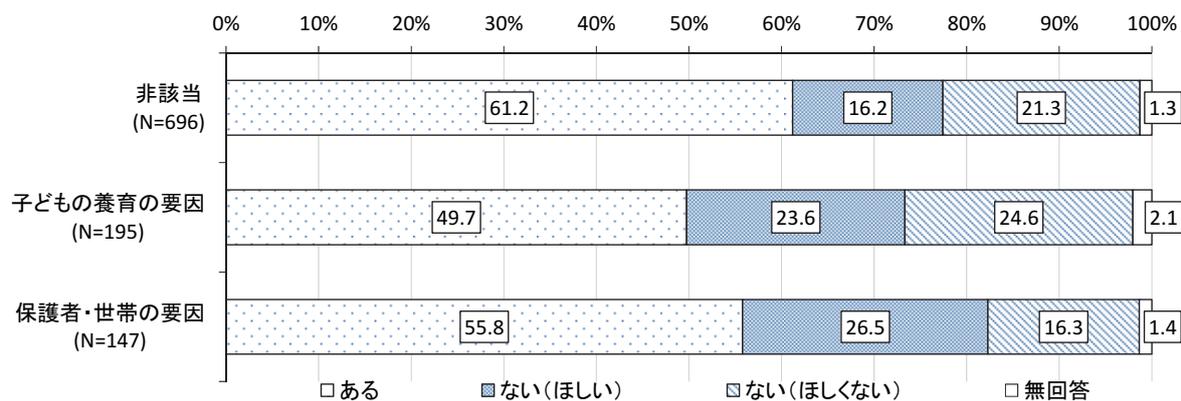
図表5-2-5-5 自分が使うことができるもの：おこづかい 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



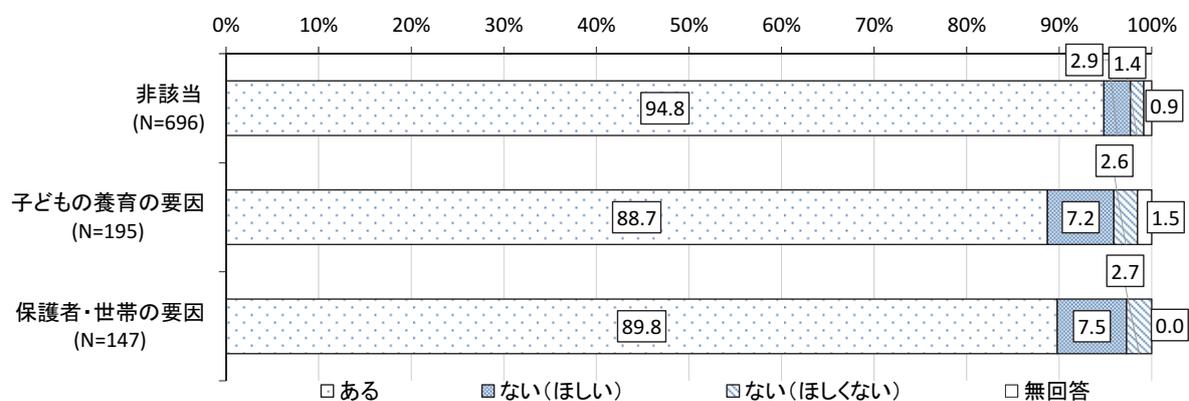
図表5-2-5-6 自分が使うことができるもの：おこづかい 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



図表 5-2-5-7 自分が使うことができるもの：(自分の家で) インターネットにつながるパソコン 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (**)



図表 5-2-5-8 自分が使うことができるもの：自分の家で学習をすることができる場所 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (**)



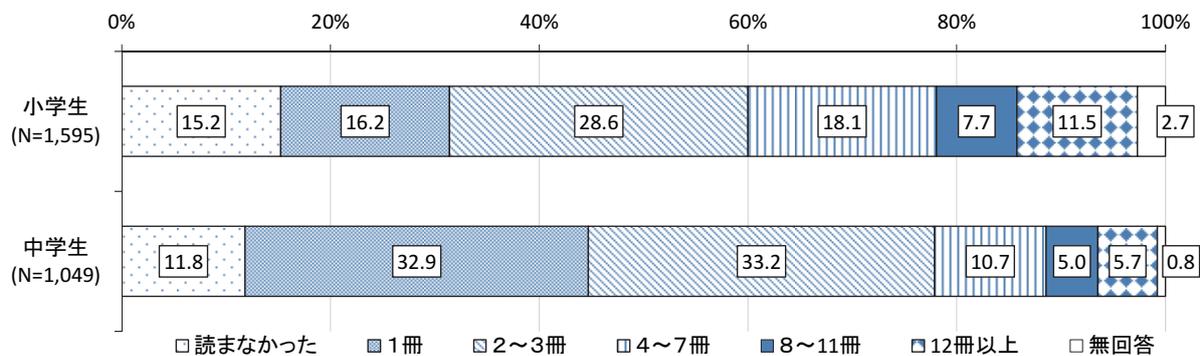
⑥ 読書

【小中子問 17】

直近1か月の間に読んだ本の冊数を小学生・中学生に尋ねると、「読まなかった」の回答割合は小学生では15.2%、中学生では11.8%となっていた。

問 この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか

図表5-2-6-1 直近1か月間で読んだ本の冊数 単純集計

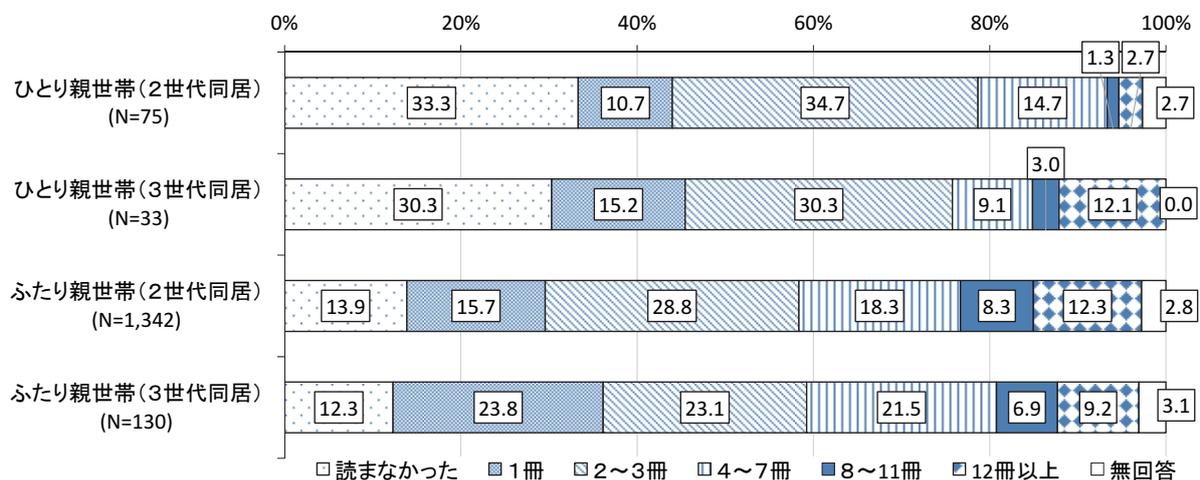


※調査票の注釈として、自宅以外で読んだ本や、パソコンやタブレット、スマートフォンなどで読める本は数に含み、雑誌やマンガは含めない旨を記載している。

■ 世帯タイプ別

世帯タイプ別に読んだ本の冊数をみると、小学生においてひとり親世帯はふたり親世帯よりも冊数が少なくなっていた。ひとり親世帯で「読まなかった」と回答した割合は約3割となっている。

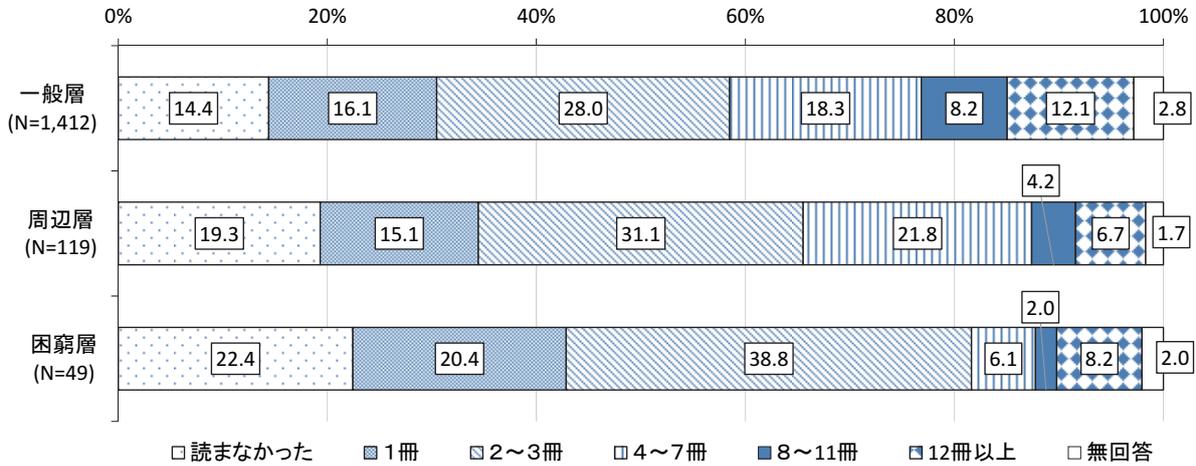
図表5-2-6-2 直近1か月間で読んだ本の冊数 世帯タイプ別クロス集計 小学生 (***)



■生活困難層別

読んだ本の冊数についての生活困難層別クロス集計の結果をみると、小学生では生活困難度が高くなるにつれて3冊以下（「読まなかった」「1冊」「2～3冊」の合計）の回答割合が上昇し、4冊以上の回答割合が低下していた。困窮層に該当する小学生では22.4%が「読まなかった」と回答していた。

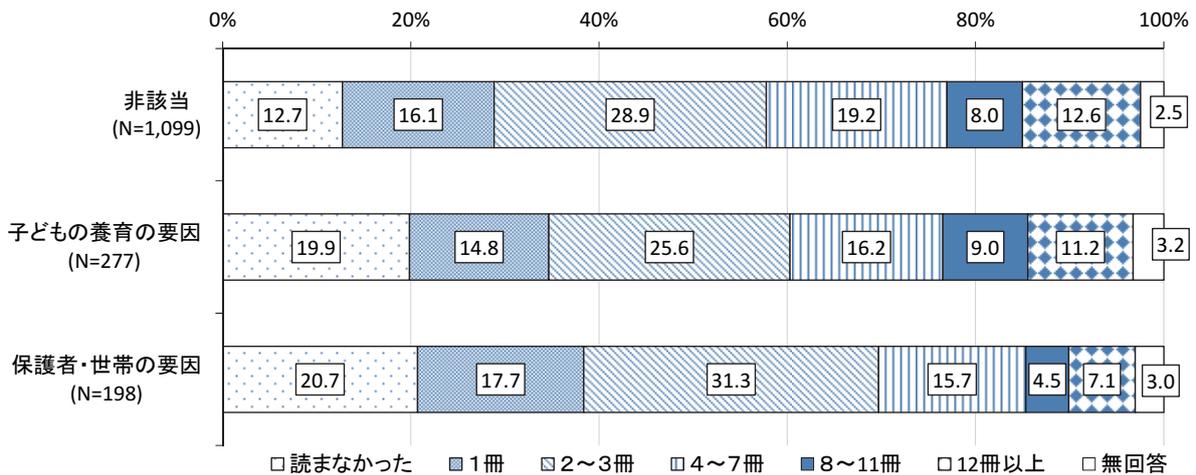
図表5-2-6-3 直近1か月間で読んだ本の冊数 生活困難層別クロス集計 小学生(*)



■潜在的養育困難層別

読んだ本の冊数について潜在的養育困難層別にクロス集計したところ、小学生について比較的少ない冊数である旨の回答が潜在的養育困難層で多かった。特に「保護者・世帯の要因」層では3冊以下である旨の回答の合計が69.7%となった。潜在的養育困難層に該当する小学生の約2割は「読まなかった」と回答した。

図表5-2-6-4 直近1か月間で読んだ本の冊数 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生(**)



(3) 学校生活について

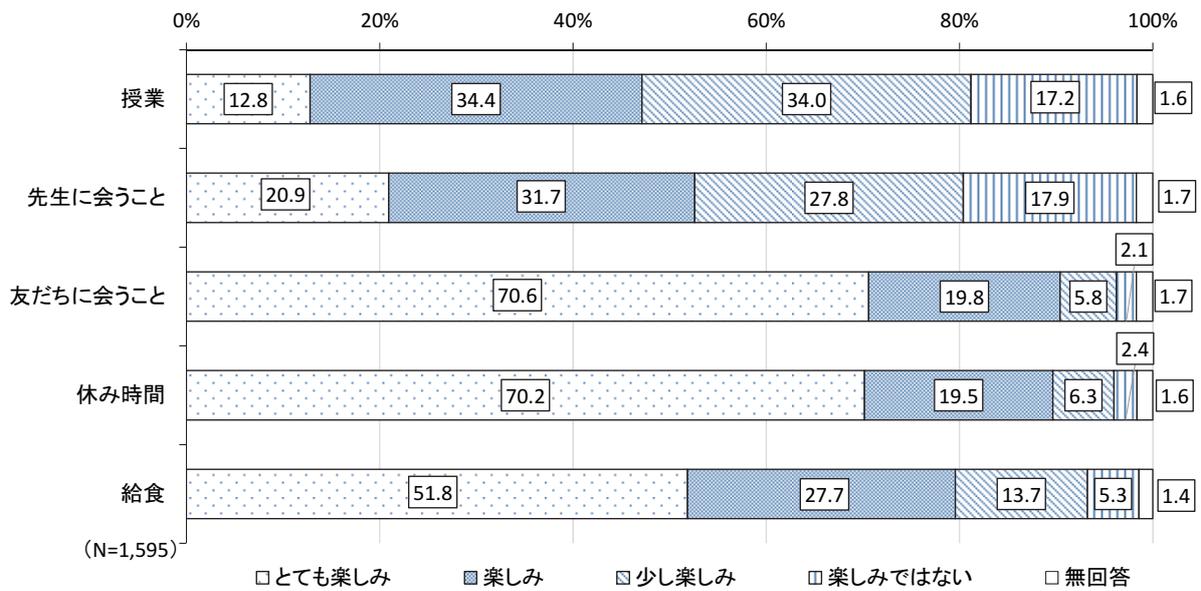
① 楽しみなこと

【小中子問 18】

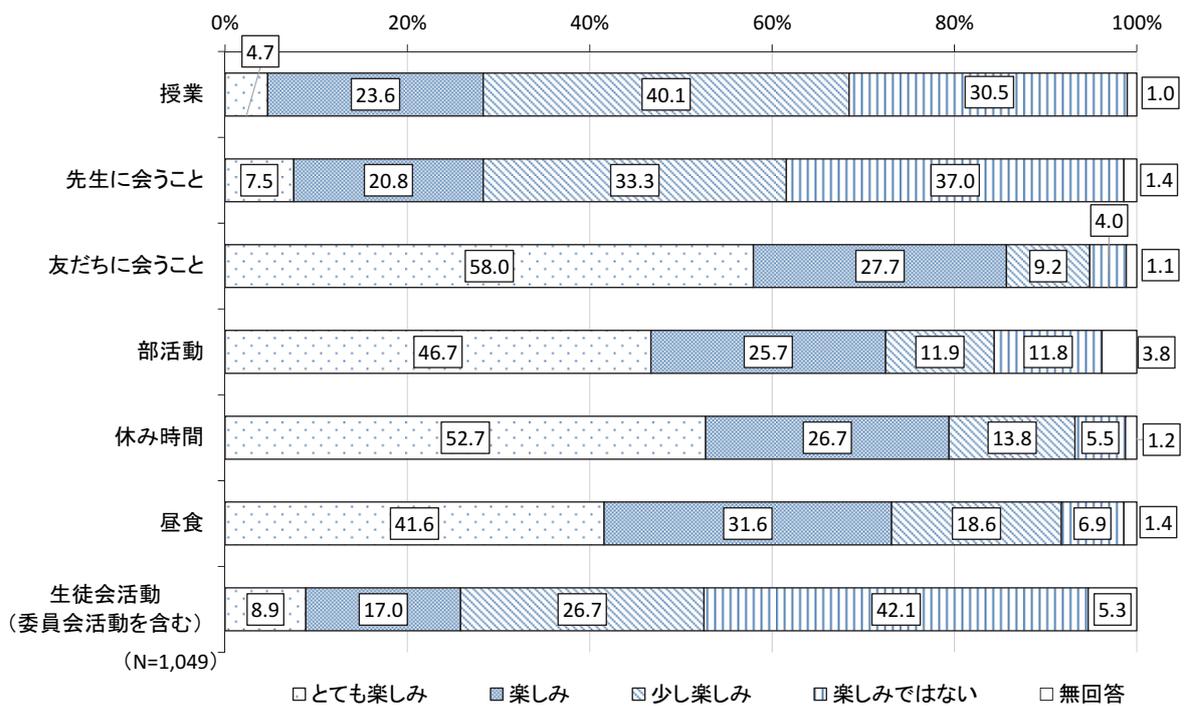
学校生活の中で何が楽しみかを小学生・中学生に尋ねたところ、「とても楽しみ」「楽しみ」と回答した割合の合計値が最も高かったのは「友だちに会うこと」で、小学生が 90.4%、中学生が 85.7%であった。次いで「休み時間」の回答割合が高く、小学生で 89.7%、中学生で 79.4%となっていた。

問 学校生活について

図表 5-3-1-1 学校生活の中で何が楽しみか 単純集計 小学生



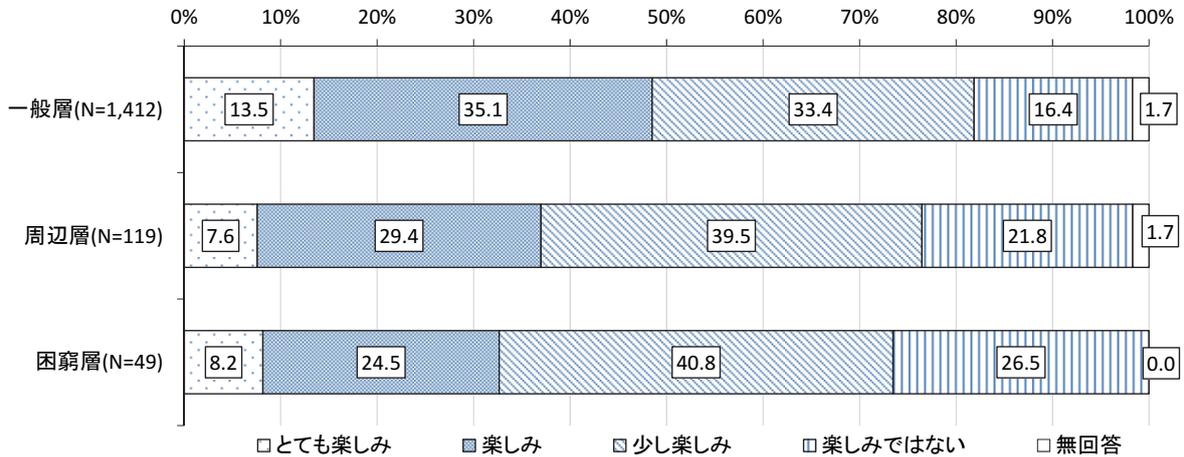
図表 5-3-1-2 学校生活の中で何が楽しみか 単純集計 中学生



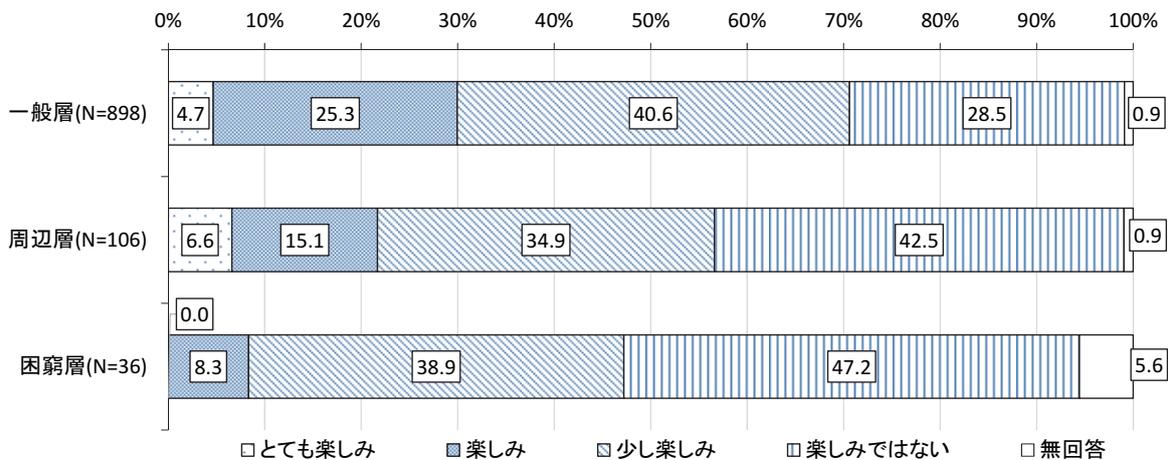
■生活困難層別

学校生活の中で何が楽しみかについて生活困難層別クロス集計をしたところ、小学生では「授業」において、生活困難度が高くなるにつれて「とても楽しみ」「楽しみ」の回答割合の合計が低くなっていた。また中学生では「授業」「友だちに会うこと」「休み時間」において、いずれも生活困難度が高くなるにつれて「とても楽しみ」「楽しみ」の回答割合の合計が低くなっていた。

図表 5-3-1-3 学校生活の中で何が楽しみか：授業 生活困難層別クロス集計 小学生 (*)

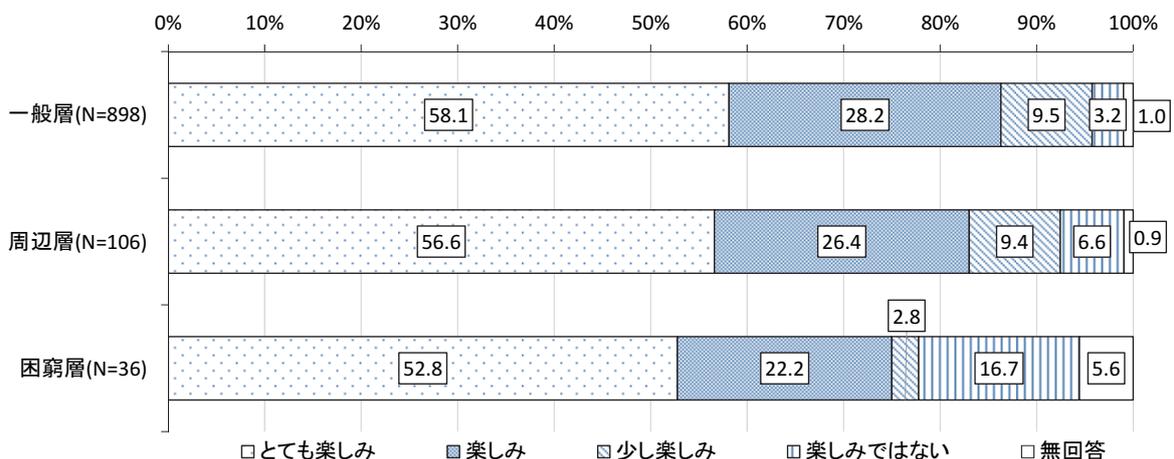


図表 5-3-1-4 学校生活の中で何が楽しみか：授業 生活困難層別クロス集計 中学生 (***)



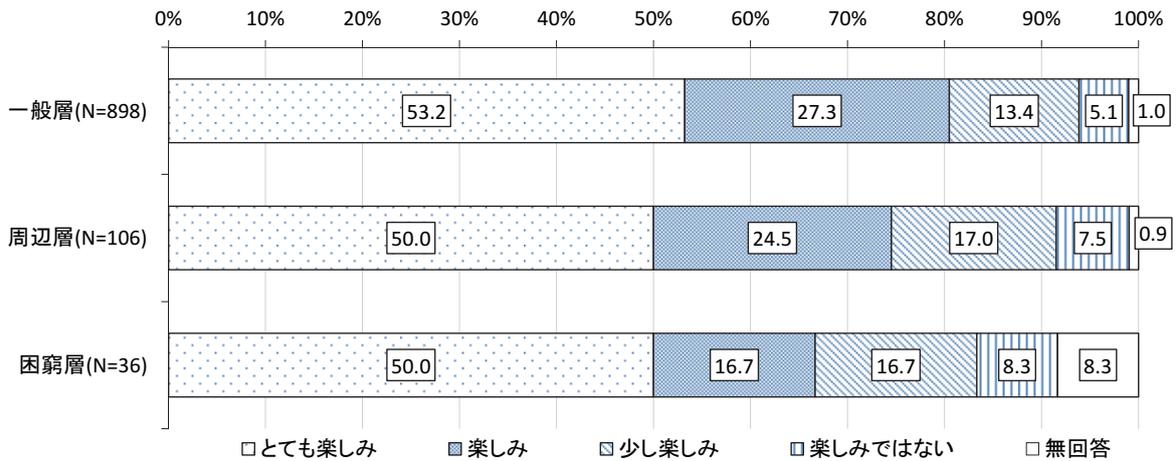
図表 5-3-1-5 学校生活の中で何が楽しみか：友だちに会うこと

生活困難層別クロス集計 中学生 (***)



図表 5-3-1-6 学校生活の中で何が楽しみか：休み時間

生活困難層別クロス集計 中学生 (**)

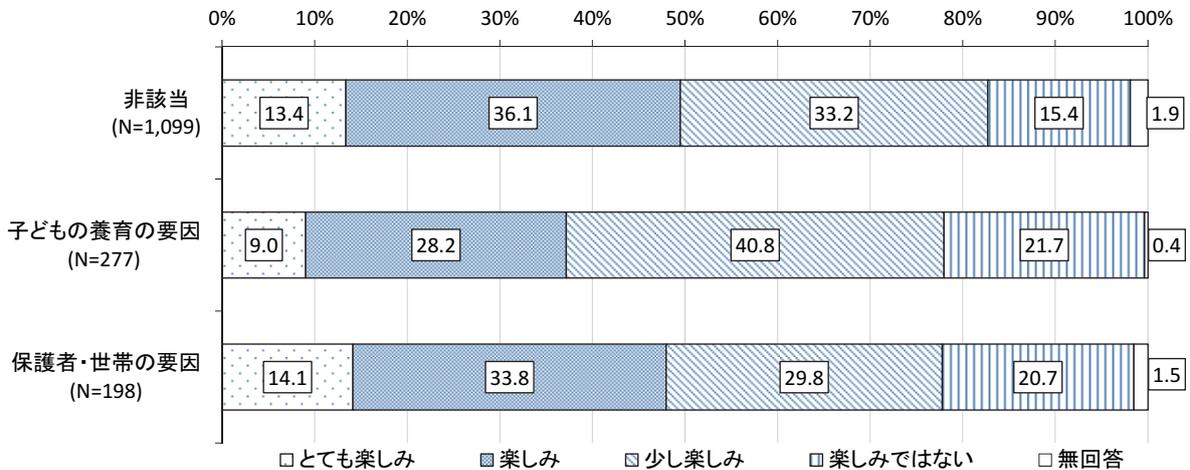


■ 潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に、学校生活の中で何が楽しみかについてクロス集計をしたところ、「授業」において、小学生・中学生ともに「子どもの養育の要因」層の「とても楽しみ」「楽しみ」の回答割合が他の層よりも低くなっていた。中学生の「部活動」「休み時間」においても同様となっていた。

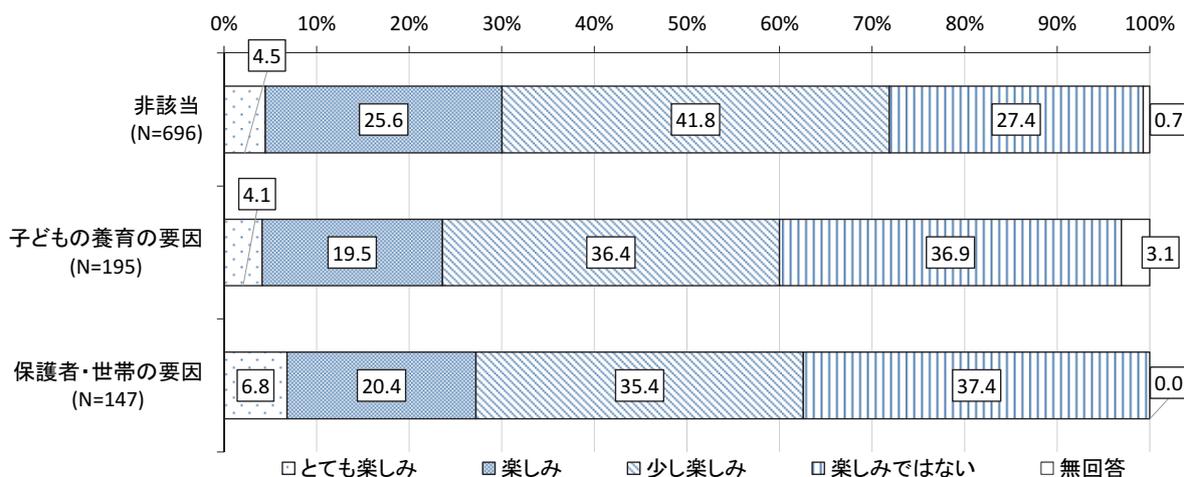
図表 5-3-1-7 学校生活の中で何が楽しみか：授業

潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



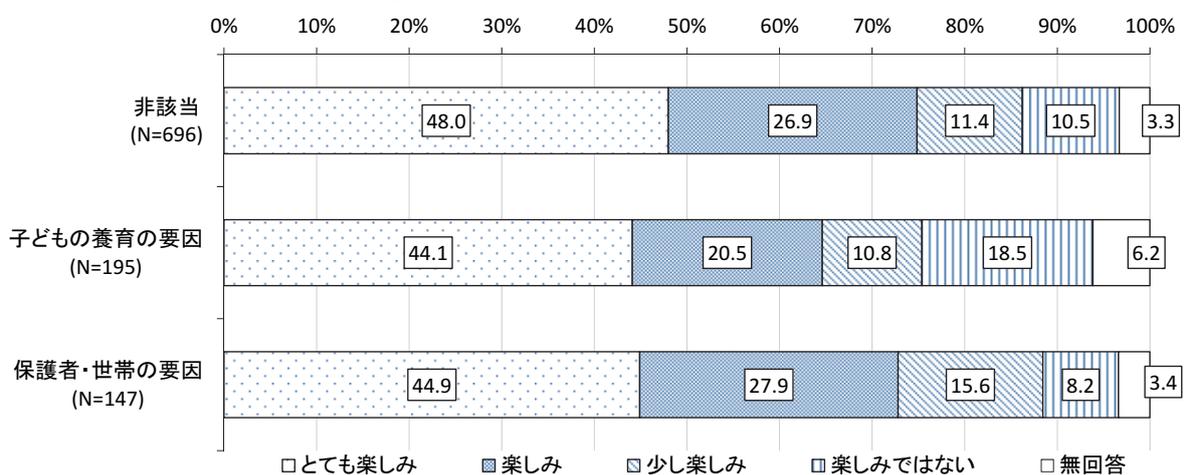
図表 5-3-1-8 学校生活の中で何が楽しみか：授業

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



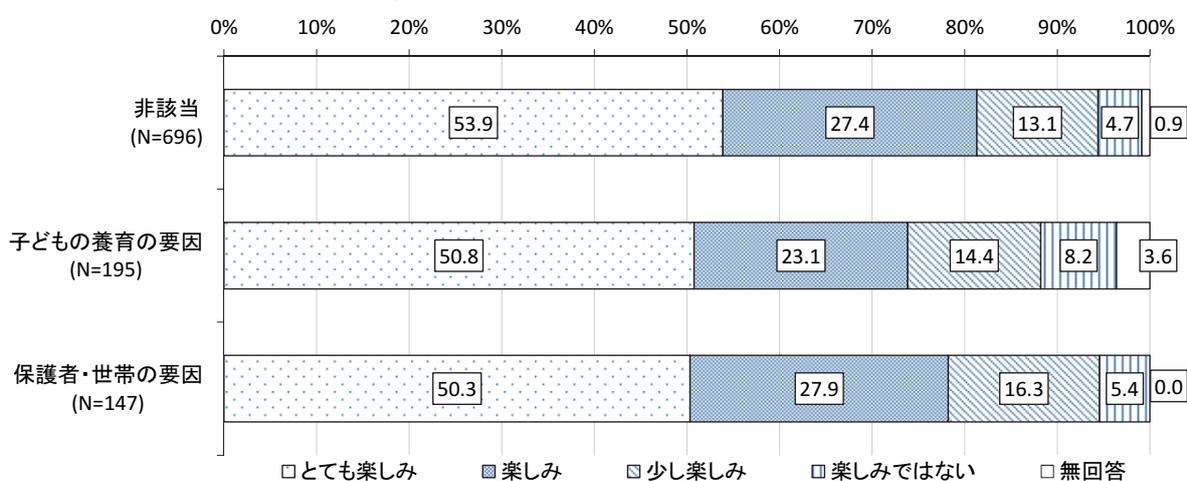
図表 5-3-1-9 学校生活の中で何が楽しみか：部活動

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



図表 5-3-1-10 学校生活の中で何が楽しみか：休み時間

潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



② 授業・勉強の理解度

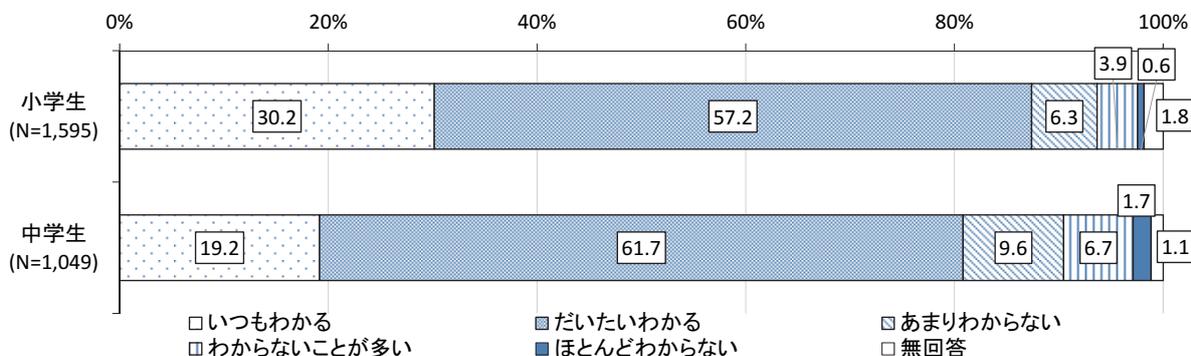
【小中子問 19～20】

学校の授業の理解度を尋ねると、「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた割合は、小学生では 10.8%、中学生では 18.0%であった。「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた場合に、いつ頃から授業がわからなくなったかを尋ねたところ、小学生では「5年生になってから」、中学生では「中学1年生のころ」が最も多かった。授業が分からないと回答したうち、小学校「1年生のころ」「2年生のころ」に授業が分からなくなった割合は、小学生で 22.2%、中学生で 17.1%となっている。

勉強がわからないときに教えてもらう相手について、小学生では「お母さん・お父さん」が 88.5%と最も多かった一方で、中学生で最も回答割合が高かったのは「友だち」の 63.3%で、次いで 62.4%の「塾や習いごとの先生」となっていた。

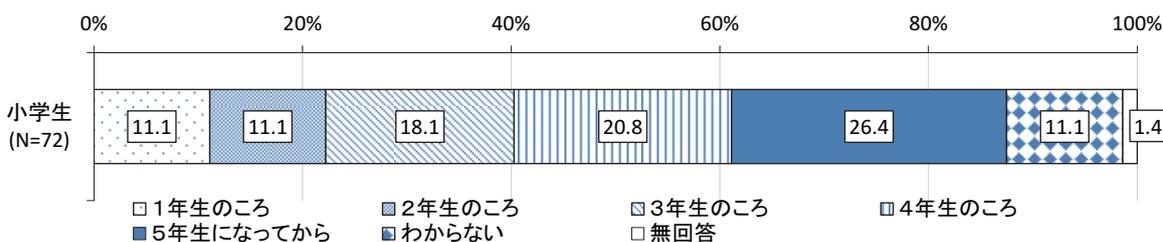
問 学校の授業がわからないことがありますか

図表 5-3-2-1 学校の授業の理解度 単純集計

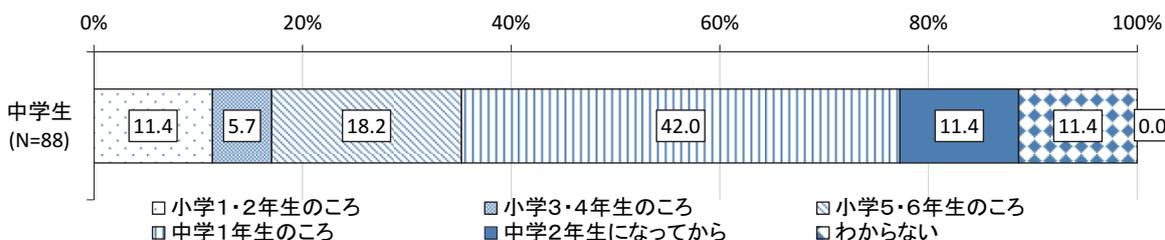


問 いつごろから授業がわからなくなりましたか

図表 5-3-2-2 授業がわからなくなった時期 単純集計 小学生

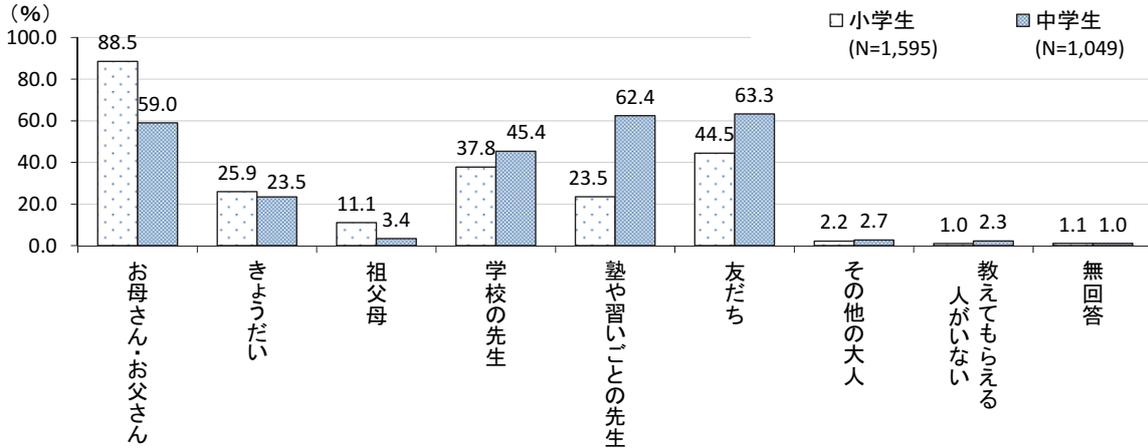


図表 5-3-2-3 授業がわからなくなった時期 単純集計 中学生



問 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか（複数回答）

図表 5-3-2-4 勉強がわからないときに教えてもらう相手 単純集計

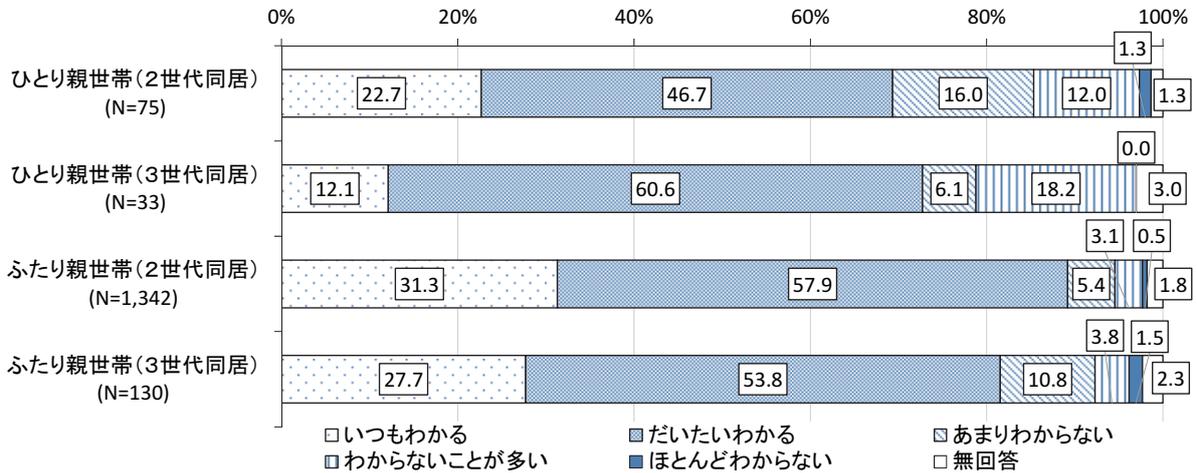


■世帯タイプ別

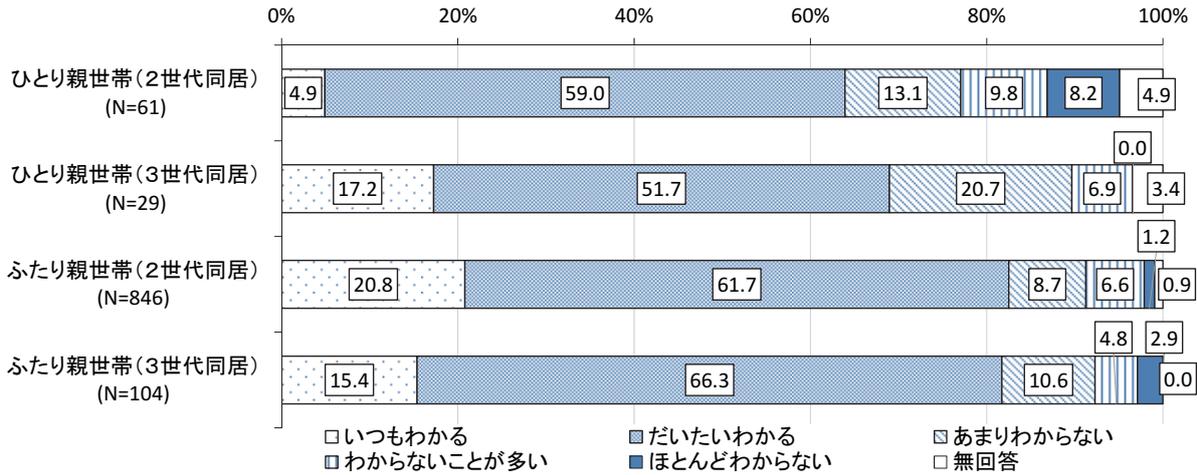
学校の授業の理解度について世帯タイプ別クロス集計をすると、ひとり親世帯（2世代同居）で「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた割合は、小学生では29.3%、中学生では31.1%であった。

また勉強がわからないときに教えてもらう相手のクロス集計結果では、小学生において、「お母さん・お父さん」はふたり親世帯、「祖父母」は3世代同居でそれぞれ回答割合が高くなっており、「教えてもらえない人がいない」についてはひとり親世帯（3世代同居）で高い回答割合となっていた。

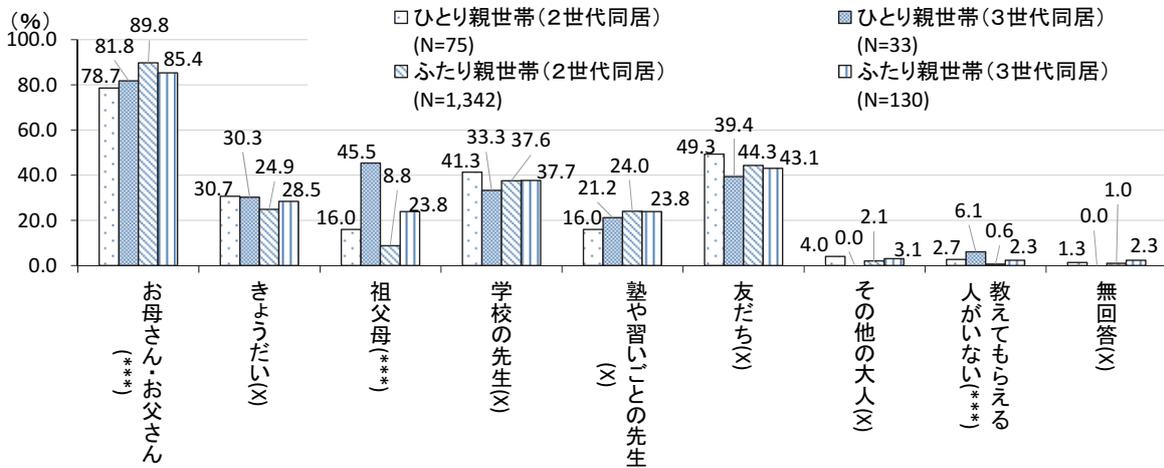
図表 5-3-2-5 学校の授業の理解度 世帯タイプ別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-3-2-6 学校の授業の理解度 世帯タイプ別クロス集計 中学生 (***)



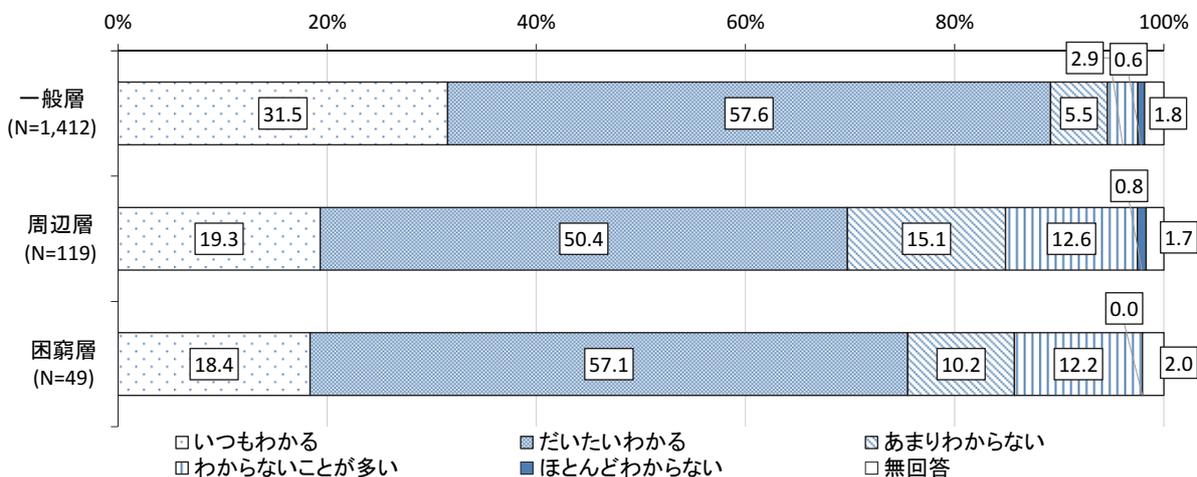
図表 5-3-2-7 勉強がわからないときに教えてもらう相手 世帯タイプ別クロス集計 小学生



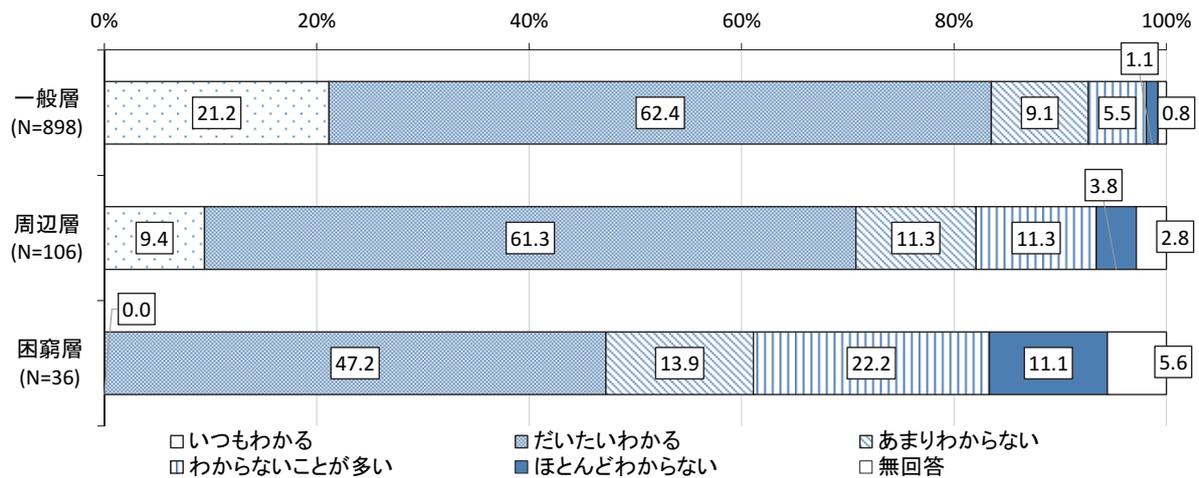
■生活困難層別

学校の授業の理解度を生活困難層別にクロス集計した結果、困窮層で「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた割合は、小学生では22.4%、中学生では47.2%であった。

図表 5-3-2-8 学校の授業の理解度 生活困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-3-2-9 学校の授業の理解度 生活困難層別クロス集計 中学生 (***)

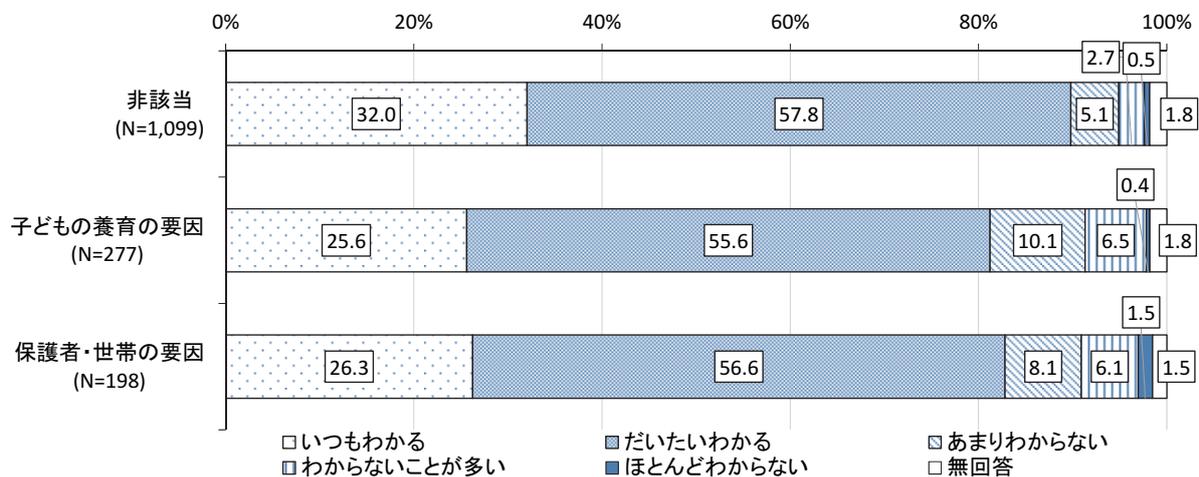


■ 潜在的養育困難層別

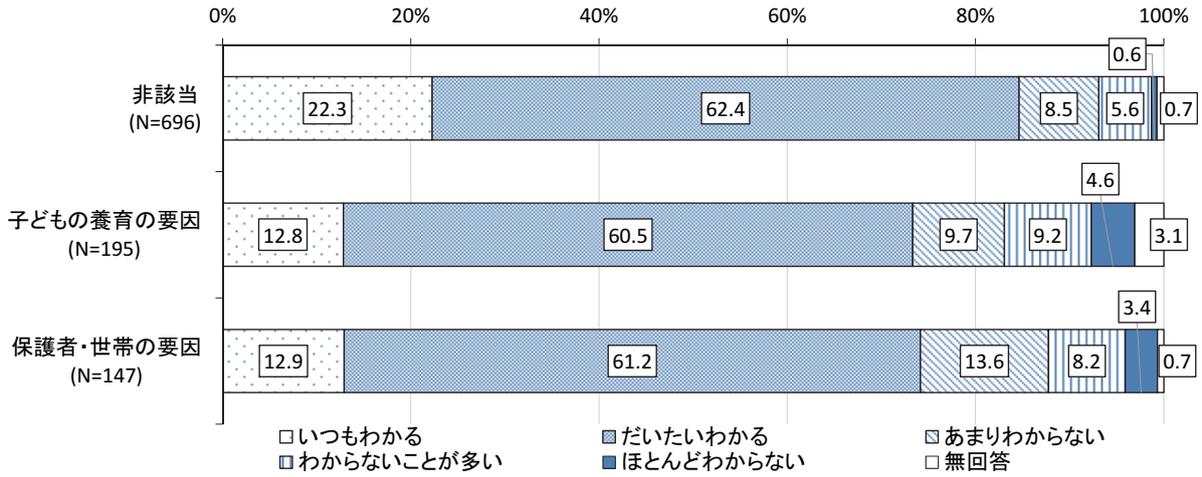
潜在的養育困難層別に学校の授業の理解度をみると、「子どもの養育の要因」層で「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた割合は、小学生では17.0%、中学生では23.5%であった。

勉強が分からないときに教えてもらう相手を潜在的養育困難層別にみると、小学生では「教えてもらえる人がいない」について、潜在的養育困難層において比較的高い回答割合となっていた。また中学生では、「子どもの養育の要因」層で他の層と比べて「お母さん・お父さん」の回答割合が低かった一方、「教えてもらえる人がいない」においては回答割合が高くなっていた。

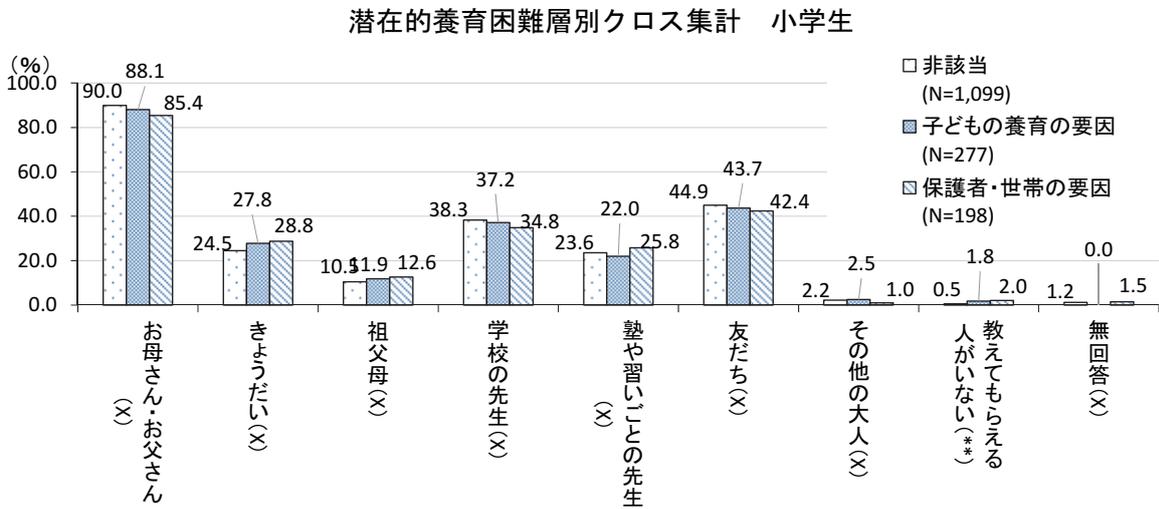
図表 5-3-2-10 学校の授業の理解度 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



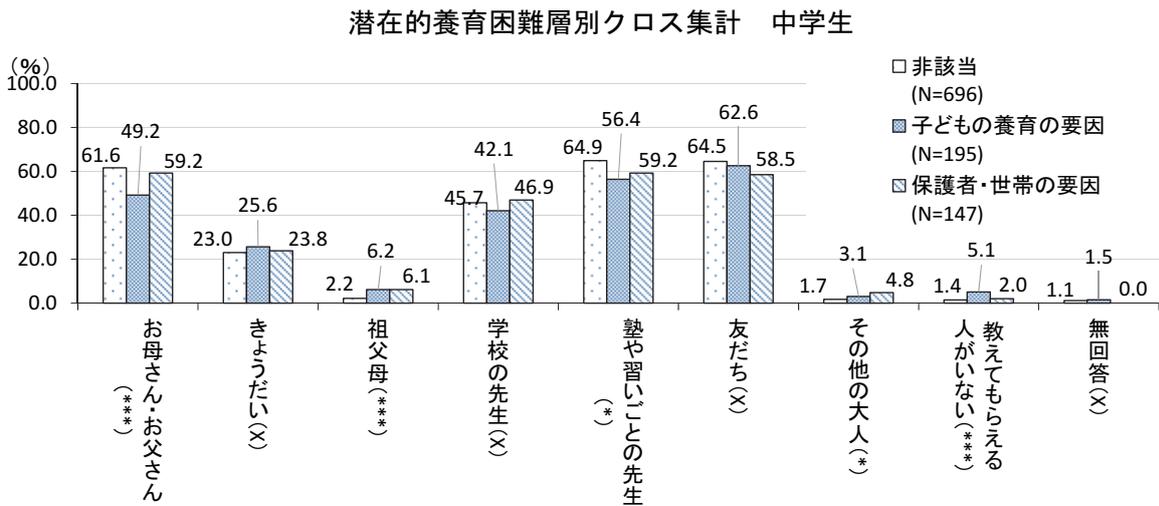
図表 5-3-2-11 学校の授業の理解度 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



図表 5-3-2-12 勉強がわからないときに教えてもらう相手 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生



図表 5-3-2-13 勉強がわからないときに教えてもらう相手 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生



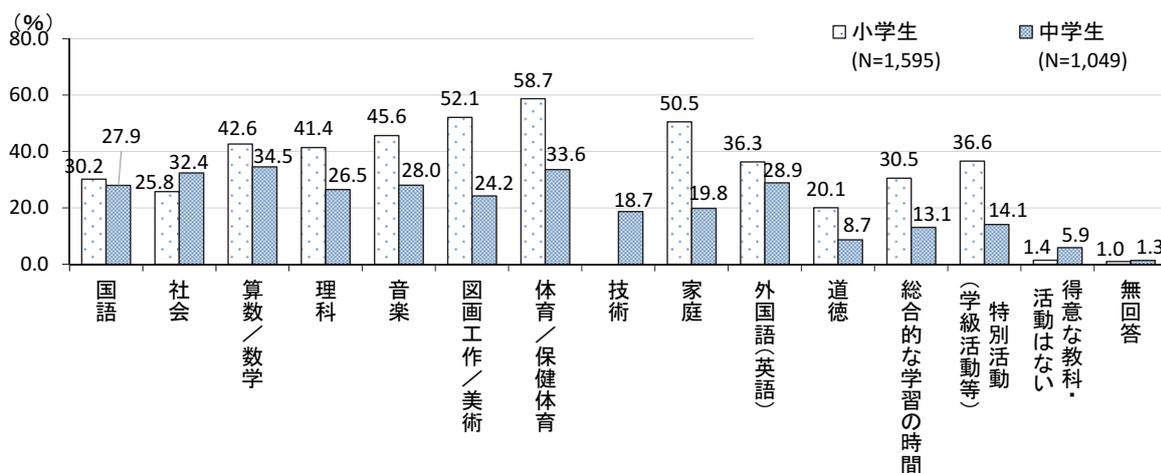
③ 得意な教科

【小中子問 21】

得意な教科・活動について尋ねたところ、小学生で最も回答割合が高かったのは「体育」で58.7%となっており、次いで「図画工作」の52.1%であった。中学生では「数学」が最も高く34.5%となっていた。「得意な教科・活動はない」という回答は、小学生では1.4%であったが、中学生では5.9%と比較的高くなっていた。

問 得意な教科・活動は、次のうちどれですか（複数回答）

図表 5-3-3-1 得意な教科・活動 単純集計



④ 学校以外での学習

【小中子問 22～24】

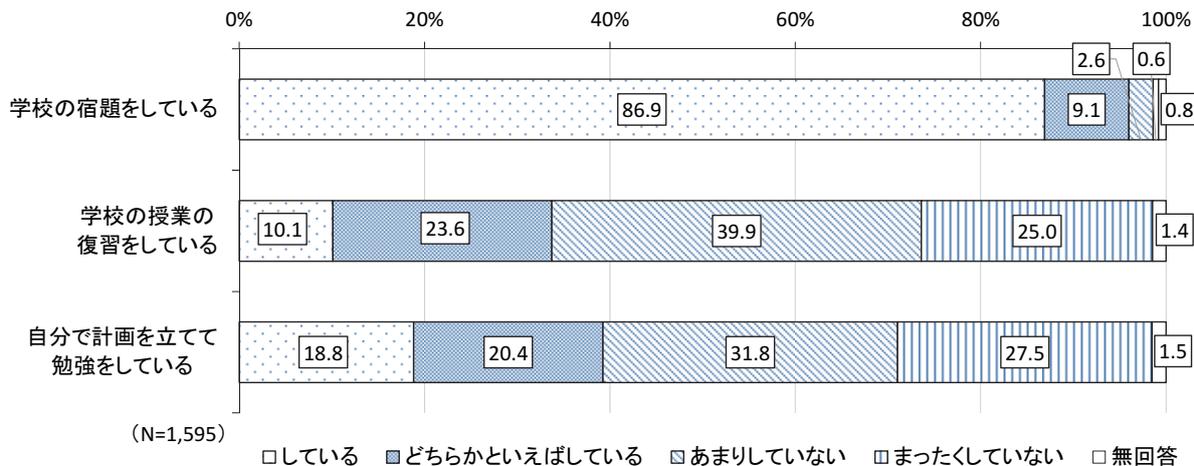
学校以外での学習の様子として、家でしていることを尋ねた結果について、「している」「どちらかといえばしている」という回答の割合の合計をみると、小学生では「学校の宿題をしている」は96.0%、「学校の授業の復習をしている」は33.7%、「自分で計画を立てて勉強をしている」は39.2%であった。中学生では「学校の宿題をしている」は81.0%、「学校の授業の復習をしている」は30.0%、「自分で計画を立てて勉強をしている」は35.4%となっていた。

平日の学校の授業以外の勉強時間を尋ねると、小学生で6.6%、中学生で6.5%が「まったくしない」と回答しており、1時間未満という旨の回答（「まったくしない」「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」）の割合の合計をみると、小学生では57.9%、中学生では34.7%であった。

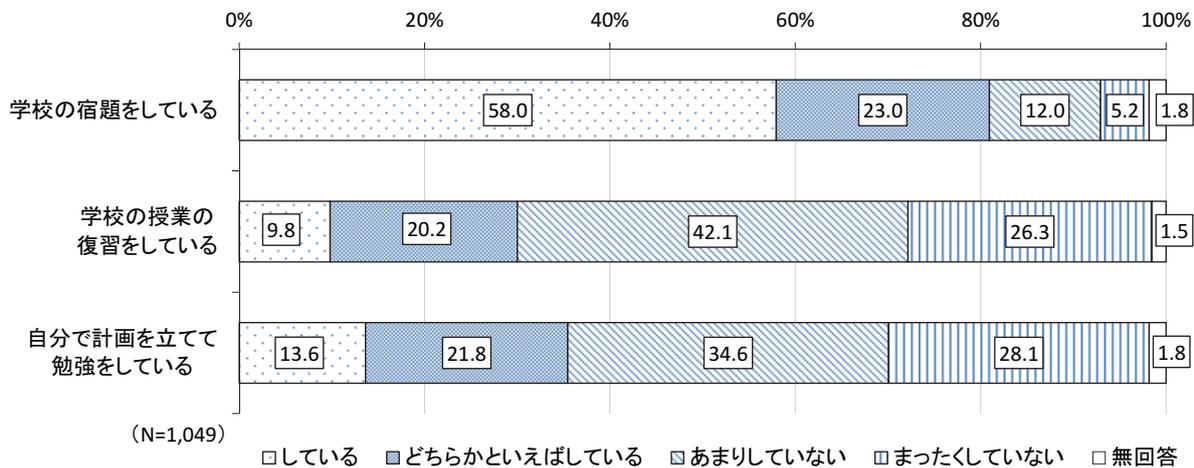
学習塾や家庭教師の利用についてみると、小学生では52.6%が「通って（来てもらって）いない」と回答していたのに対して、中学生では「通って（来てもらって）いない」が27.1%と比較的低く、最も多いのは42.0%の「週に3日」であった。

問 家で次のようなことをしていますか

図表 5-3-4-1 家での学習 単純集計 小学生

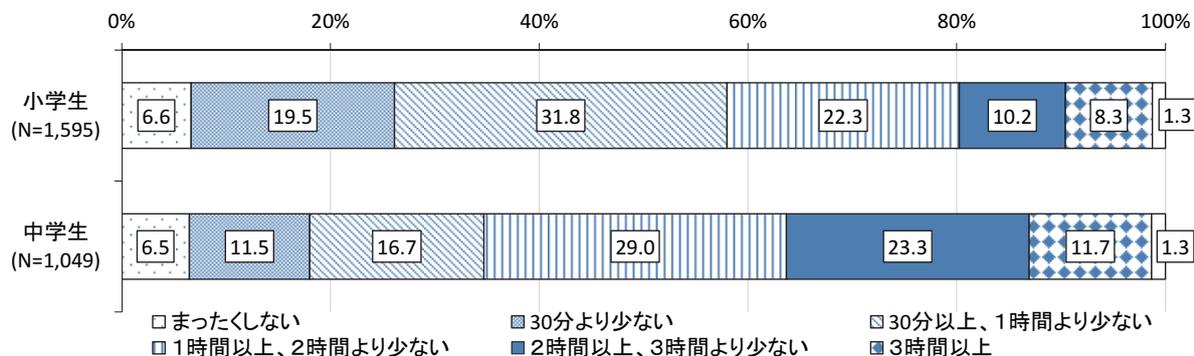


図表 5-3-4-2 家での学習 単純集計 中学生



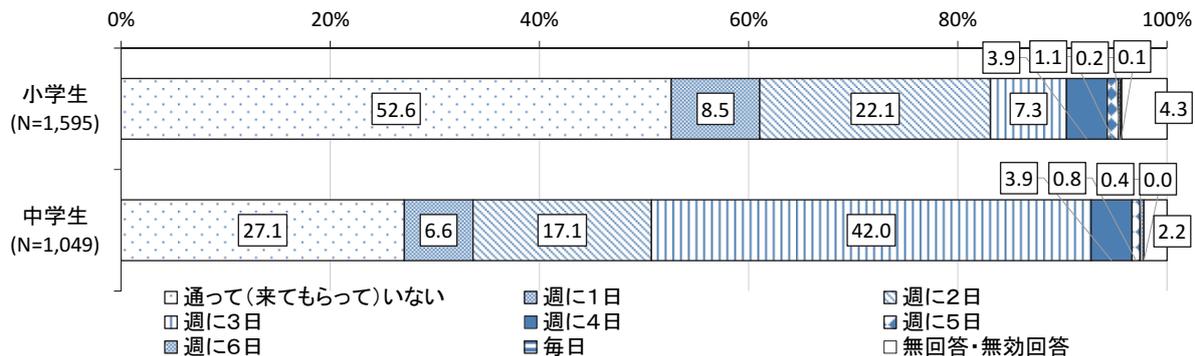
問 平日、学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか

図表 5-3-4-3 平日の学校の授業以外の勉強時間 単純集計



問 学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか

図表 5-3-4-4 学習塾・家庭教師の利用 単純集計

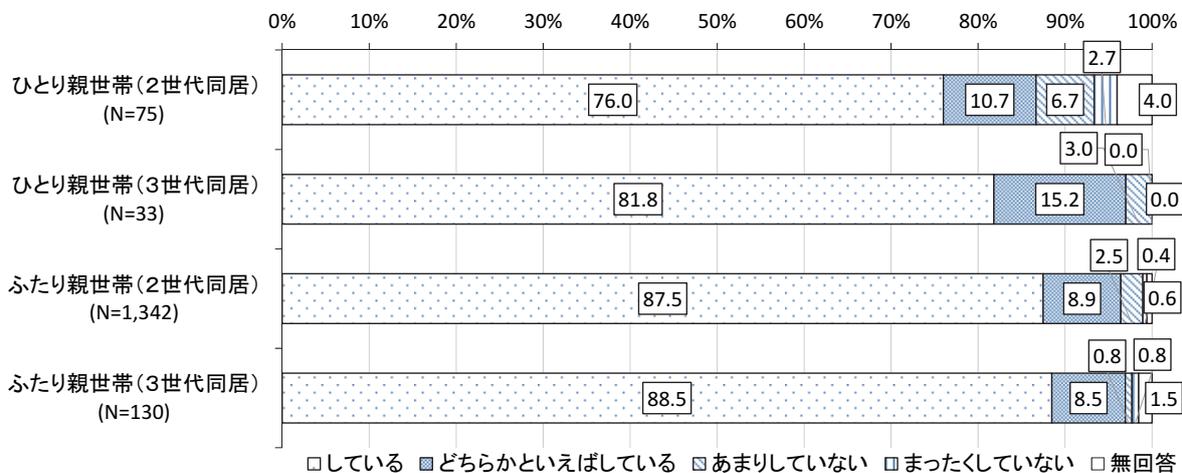


■世帯タイプ別

家での学習の様子について世帯タイプ別クロス集計をした結果、小学生・中学生ともに「学校の宿題をしている」において「あまりしていない」「まったくしていない」の回答割合の合計がふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が高くなっていた。⁹

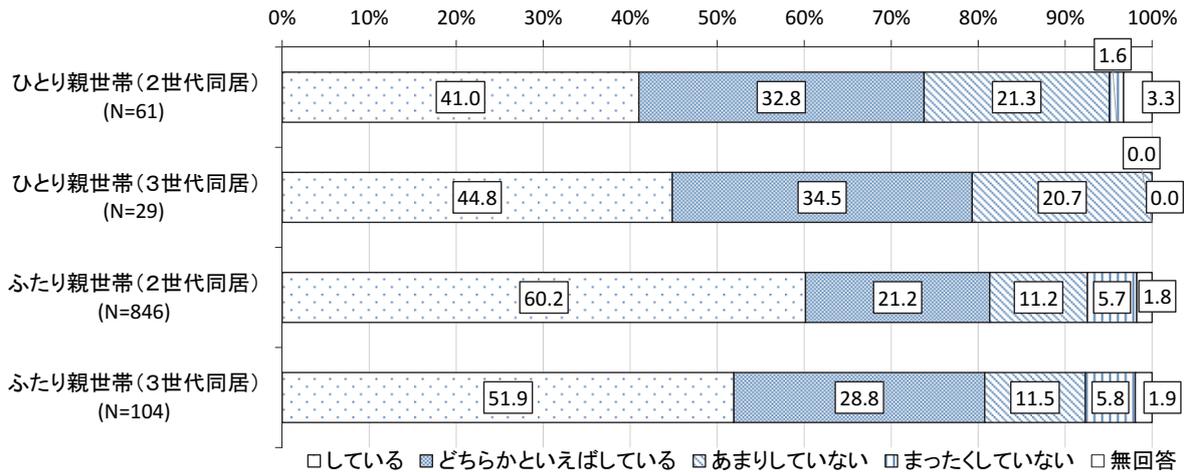
平日の学校の授業以外の勉強時間を世帯タイプ別にみると、「まったくしない」の回答割合は、ひとり親世帯（2世代同居）の小学生で16.0%、中学生で24.6%となっていた。

図表 5-3-4-5 家での学習：学校の宿題をしている 世帯タイプ別クロス集計 小学生 (***)

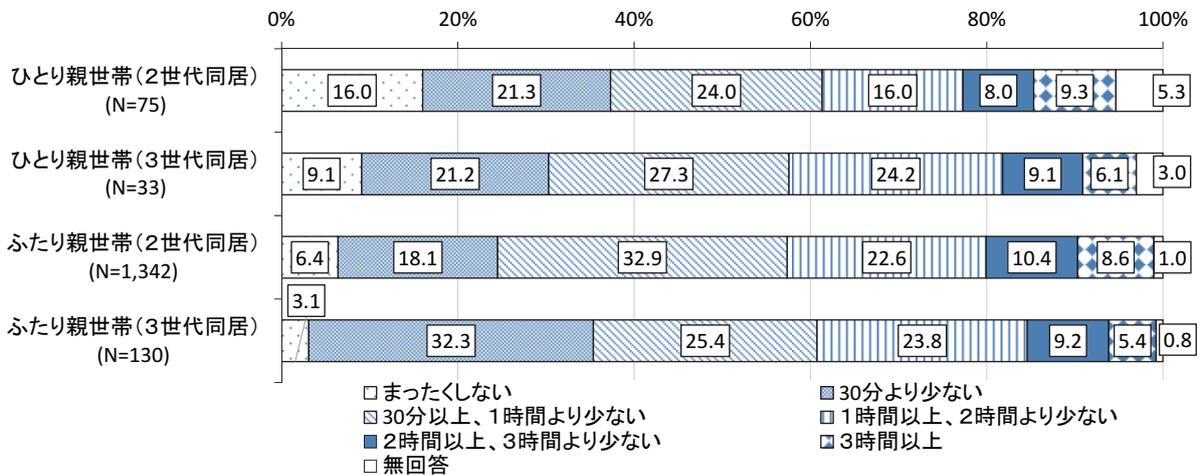


⁹ 小学生については「学校の授業の復習をしている」「自分で計画を立てて勉強をしている」でも同様となっていた。

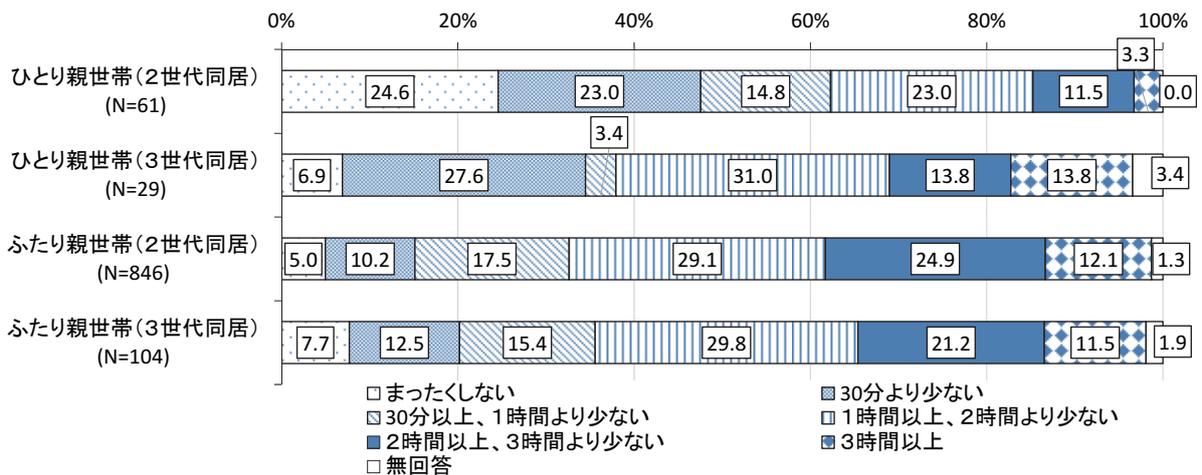
図表 5-3-4-6 家での学習：学校の宿題をしている 世帯タイプ別クロス集計 中学生 (**)



図表 5-3-4-7 平日の学校の授業以外の勉強時間 世帯タイプ別クロス集計 小学生 (***)



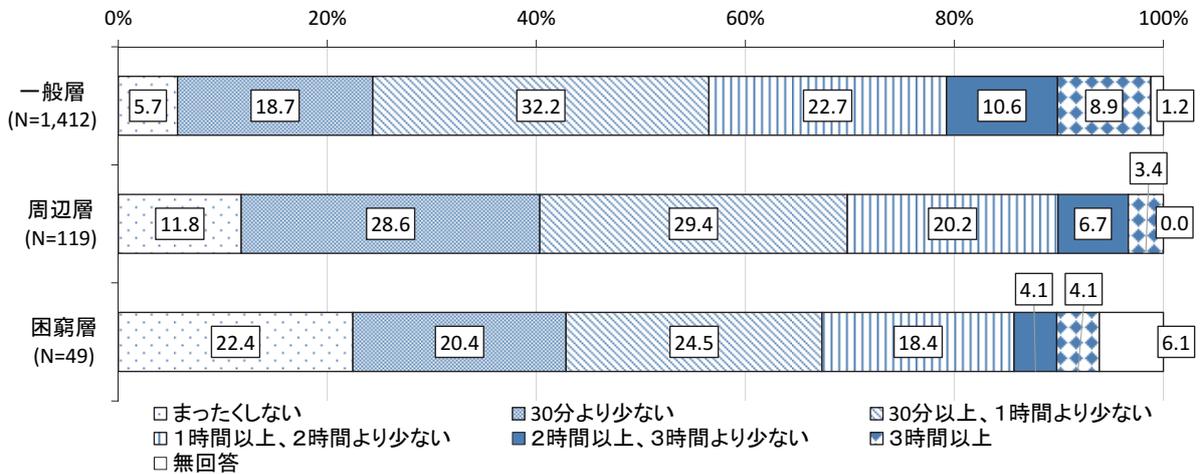
図表 5-3-4-8 平日の学校の授業以外の勉強時間 世帯タイプ別クロス集計 中学生 (***)



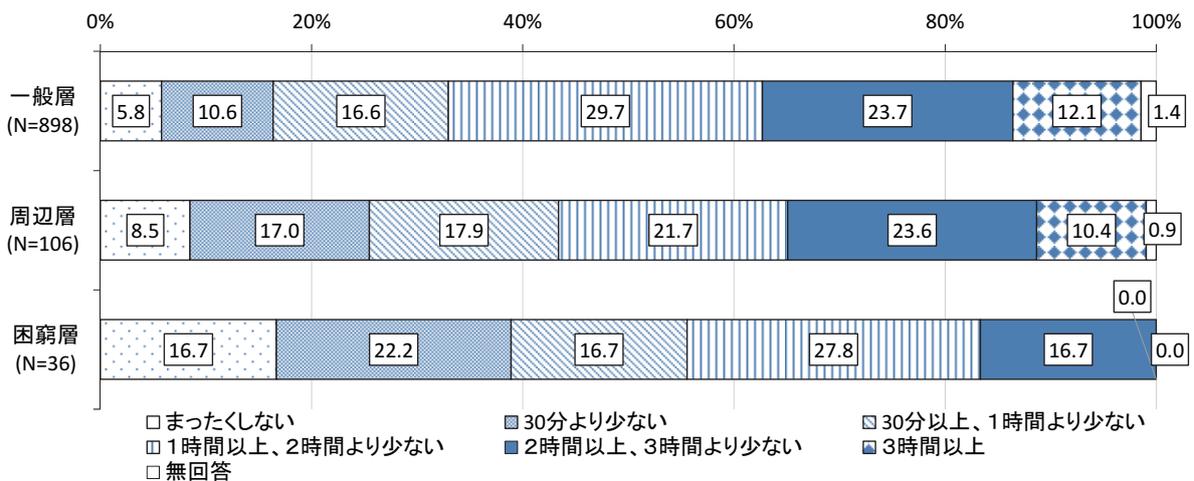
■生活困難層別

平日の学校の授業以外の勉強時間についての生活困難層別クロス集計の結果をみると、小学生・中学生ともに生活困難度が上がるにつれて、30分より少ない旨の回答の割合が高くなっていった。また、「まったくしない」割合は困窮層の小学生で22.4%、中学生で16.7%となっていた。

図表 5-3-4-9 平日の学校の授業以外の勉強時間 生活困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-3-4-10 平日の学校の授業以外の勉強時間 生活困難層別クロス集計 中学生 (**)

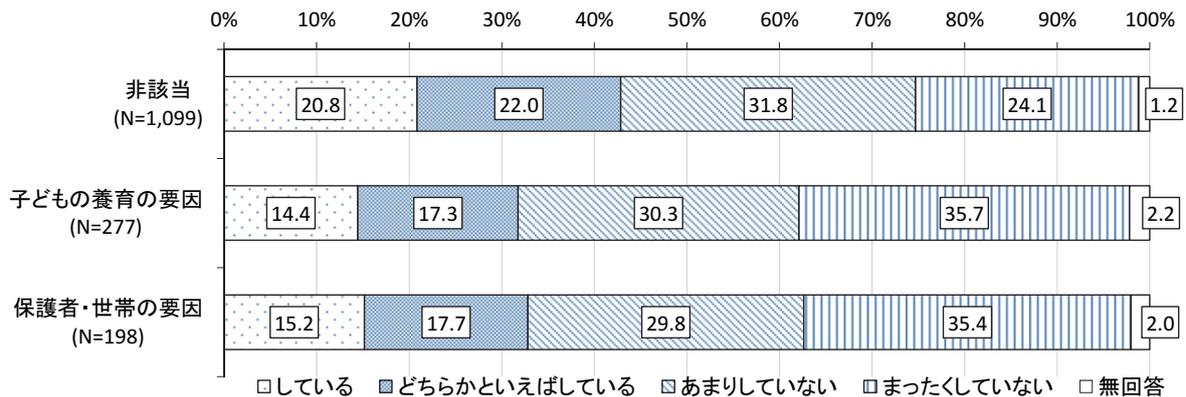


■潜在的養育困難層別

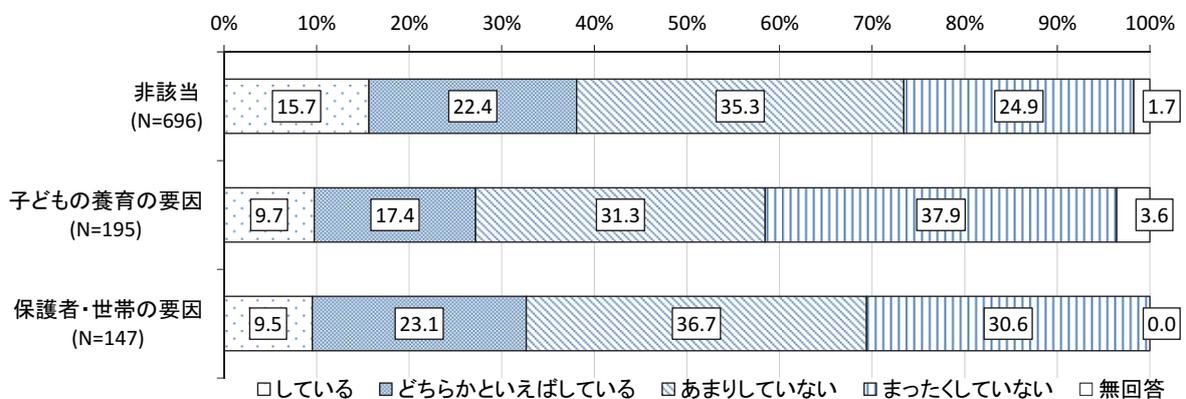
学校以外での学習の様子として家でしていることについて潜在的養育困難層別にみると、「自分で計画を立てて勉強をしている」について小学生・中学生ともに「している」「どちらかといえばしている」の回答割合が潜在的養育困難層、特に「子どもの養育の要因」層で低くなっていた。

平日の学校の授業以外の勉強時間について潜在的養育困難層別にみると、「まったくしない」割合は「子どもの養育の要因」層の小学生で9.4%、中学生で12.8%となっていた。

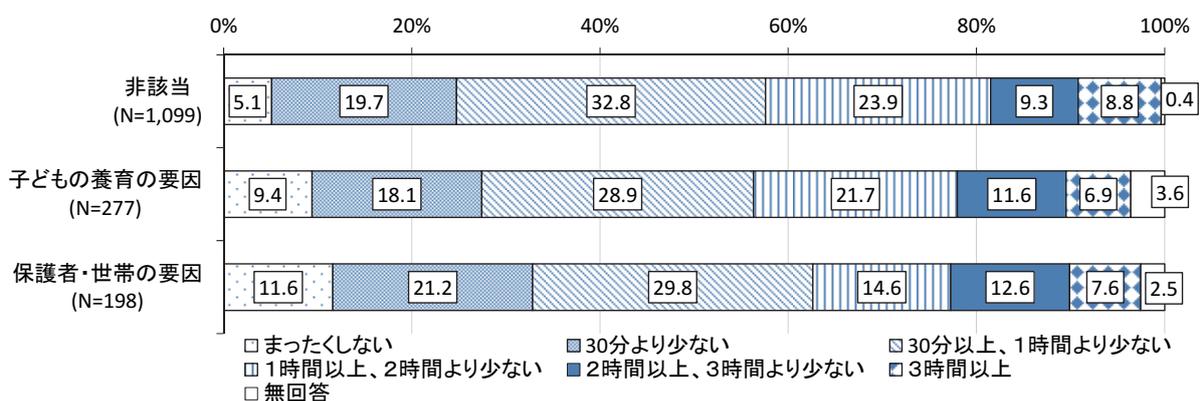
図表5-3-4-11 家での学習：自分で計画を立てて勉強をしている
潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



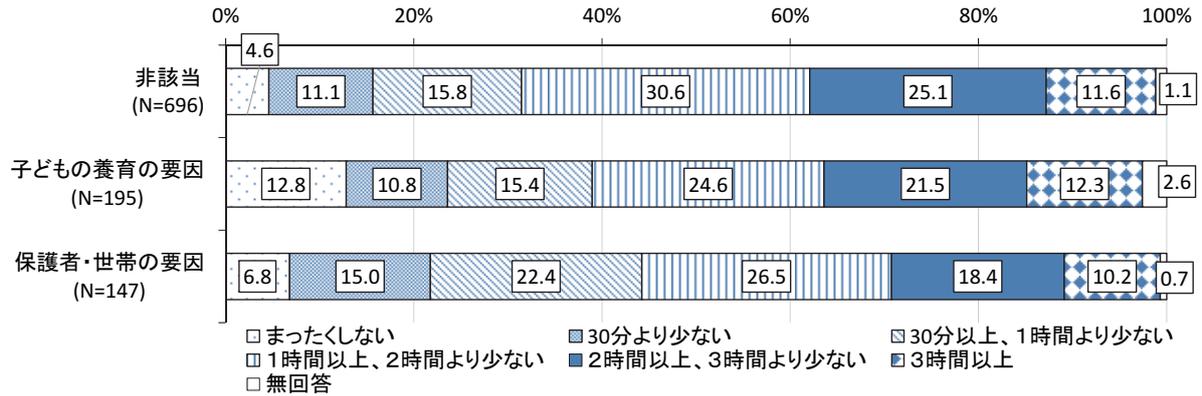
図表5-3-4-12 家での学習：自分で計画を立てて勉強をしている
潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



図表5-3-4-13 平日の学校の授業以外の勉強時間 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-3-4-14 平日の学校の授業以外の勉強時間 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



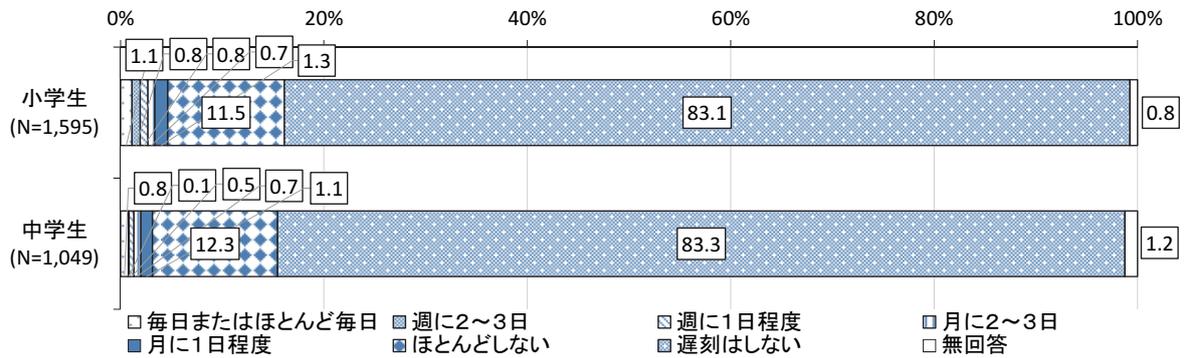
⑤ 遅刻の頻度

【小中子問 25】

学校に遅刻する頻度を尋ねたところ、小学生・中学生ともに9割以上が「ほとんどしない」「遅刻はしない」と回答した。

問 学校に遅刻することがありますか

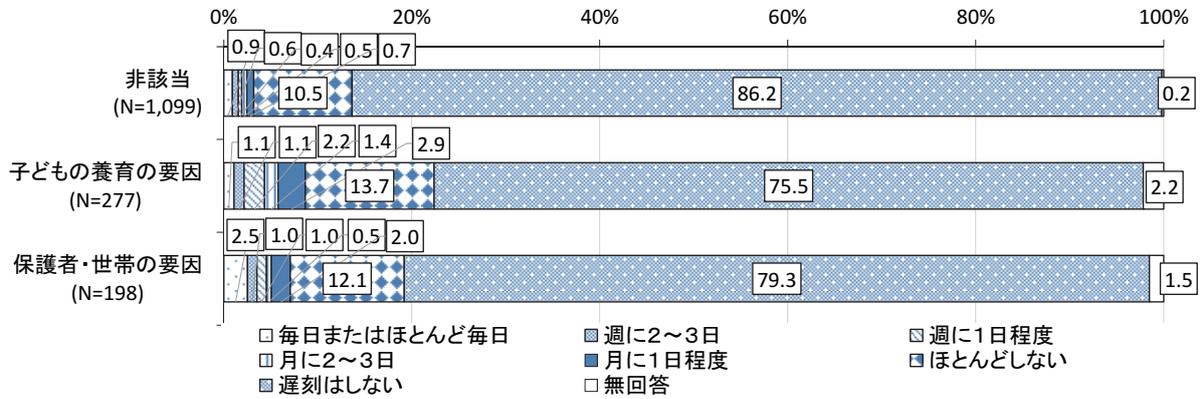
図表 5-3-5-1 遅刻の頻度 単純集計



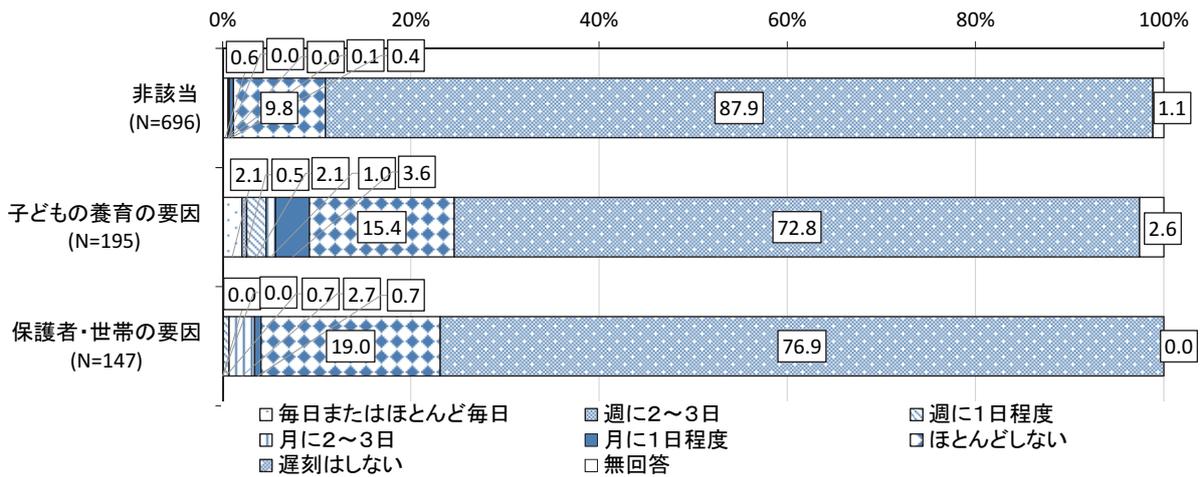
■潜在的養育困難層別

潜在的養育困難層別に遅刻の頻度についての回答結果をクロス集計したところ、小学生・中学生ともに「月に1日程度」以上の頻度で遅刻をしているという回答が「子どもの養育の要因」層で比較的高く、小学生では8.7%、中学生では9.3%となっていた。

図表 5-3-5-2 遅刻の頻度 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生 (***)



図表 5-3-5-3 遅刻の頻度 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



(4) 将来への意識や自己肯定感、悩みごと等について

① 将来の夢

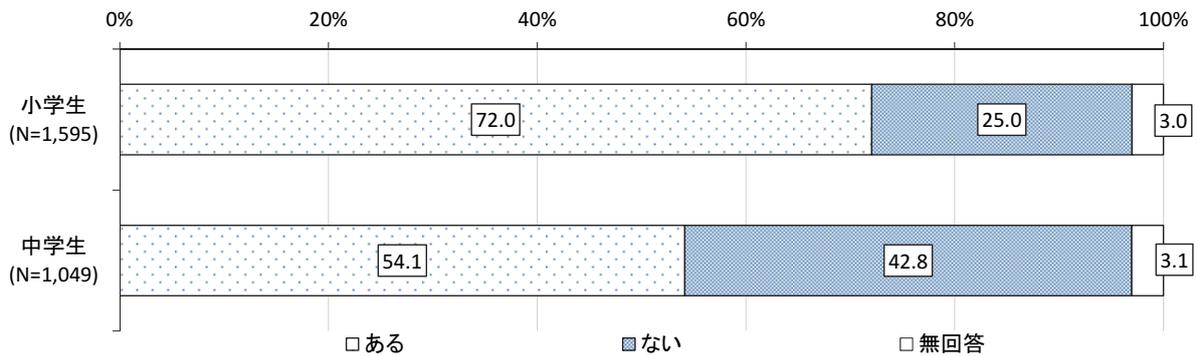
【小中子問 26～26-2、中子問 26-3】

将来の夢の有無を尋ねたところ、小学生では 25.0%、中学生では 42.8%が「ない」と回答していた。「ない」と回答した場合にその理由を尋ねたところ、小学生でも中学生でも「具体的に、何も思い浮かばないから」という回答が最も多かった（それぞれ 58.0%、69.7%）。

中学生に対して、将来の進学希望を尋ねたところ、58.3%が「大学またはそれ以上」と回答していた。

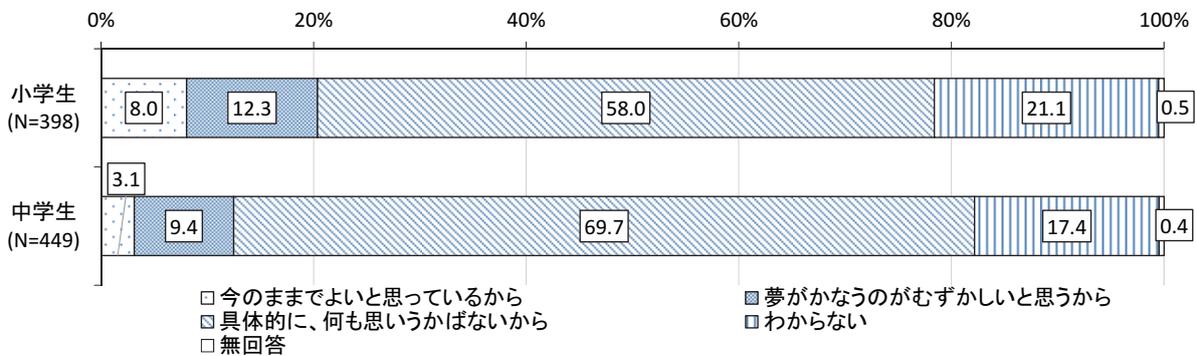
問 将来の夢がありますか

図表 5-4-1-1 将来の夢の有無 単純集計



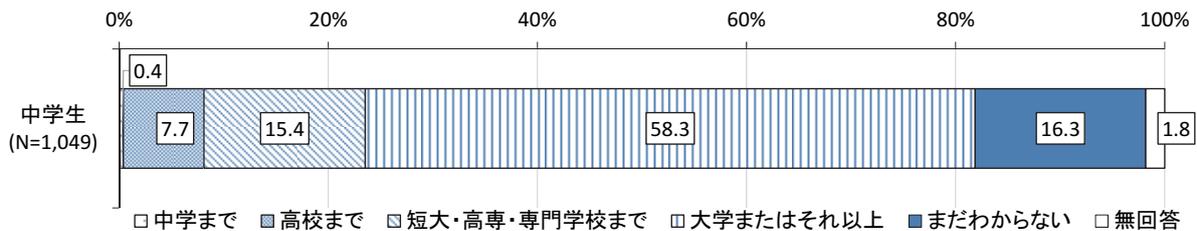
問 夢がない理由は何ですか

図表 5-4-1-2 夢がない理由 単純集計



問 将来、どの段階まで進学したいですか

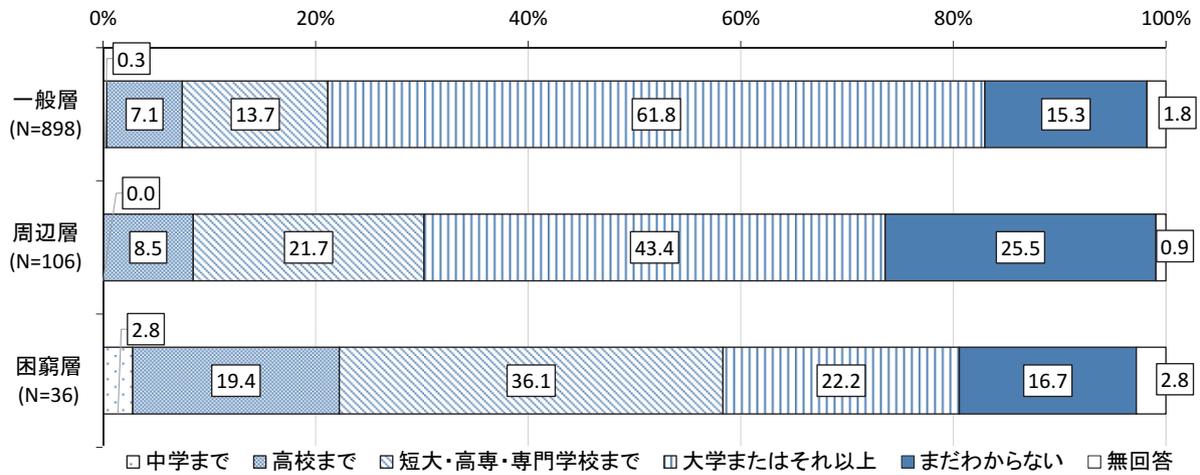
図表 5-4-1-3 将来の進学先の希望 単純集計



■生活困難層別

中学生の将来の進学先の希望について生活困難層別にみると、生活困難度が高くなるにつれて「中学校まで」「高等学校まで」の回答割合が高くなっていった。

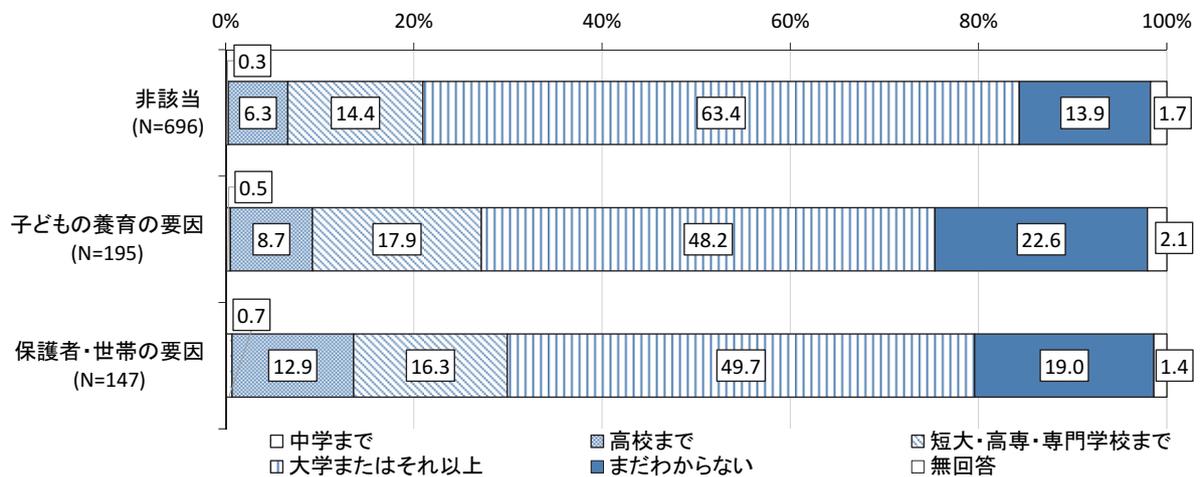
図表 5-4-1-4 将来の進学先の希望 生活困難層別クロス集計 中学生 (***)



■潜在的養育困難層別

中学生に対して尋ねた、将来の進学先の希望について、潜在的養育困難層別クロス集計をした結果、潜在的養育困難層では非該当層と比べて「大学またはそれ以上」の回答割合が低く、「高校まで」「短大・高専・専門学校まで」「まだわからない」の回答割合が高くなっていった。

図表 5-4-1-5 将来の進学先の希望 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生 (***)



② 自己肯定感

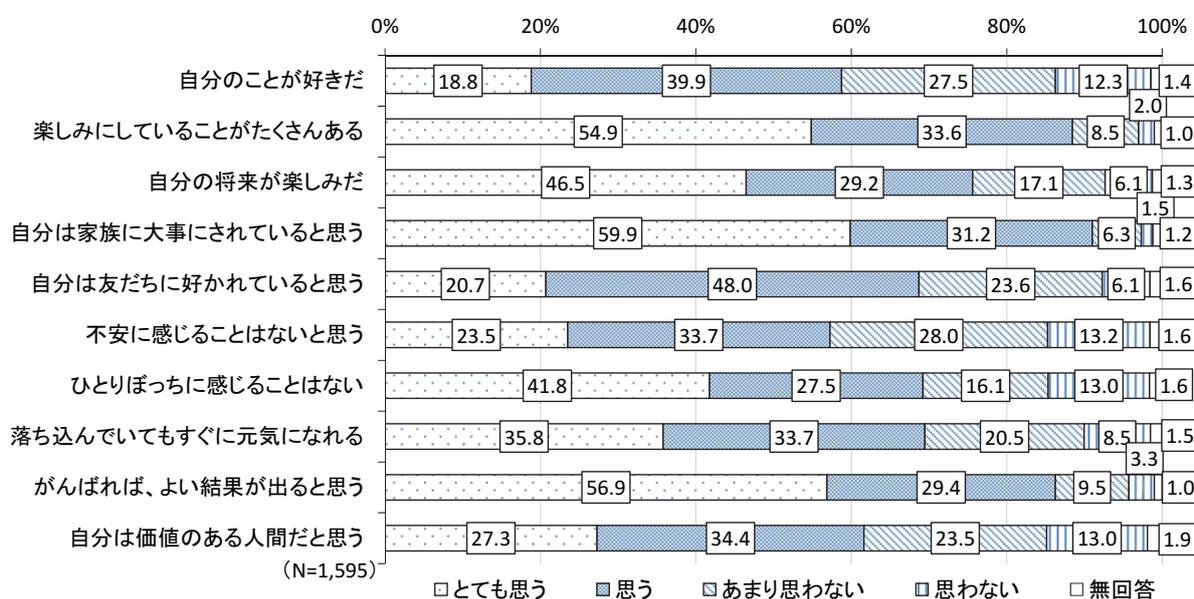
【小子問 27】

小学生に「自分のことが好きだ」と思うかを尋ねたところ、「思わない」と答えた割合は 12.3%となっていた。同じ設問への回答割合をみると、ひとり親世帯（2世代同居）の小学生は 21.3%、生活困難層の小学生は 18.5%、「子どもの養育の要因」層で 16.6%と、全体に対して自分を好きだと思わない割合が高くなっていた。

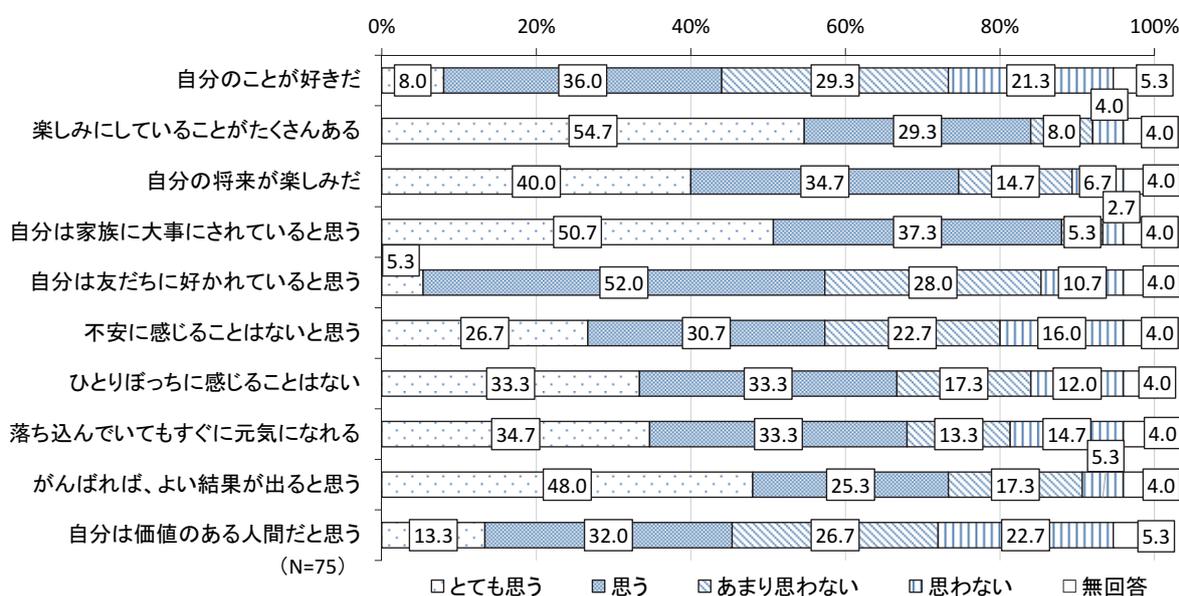
「自分は価値のある人間だと思う」とは「思わない」の回答割合は、全体が 13.0%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）の小学生は 22.7%、生活困難層の小学生は 19.6%、「子どもの養育の要因」層で 17.0%となっていた。

問 あなたの思いや気持ちについて

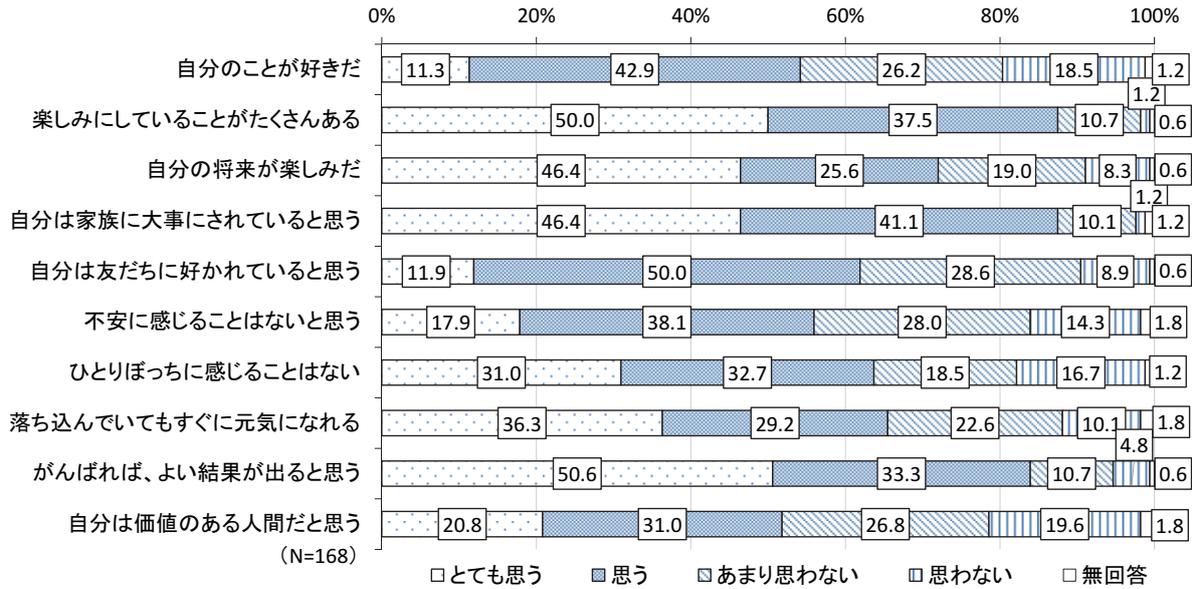
図表 5-4-2-1 自己肯定感 単純集計 小学生



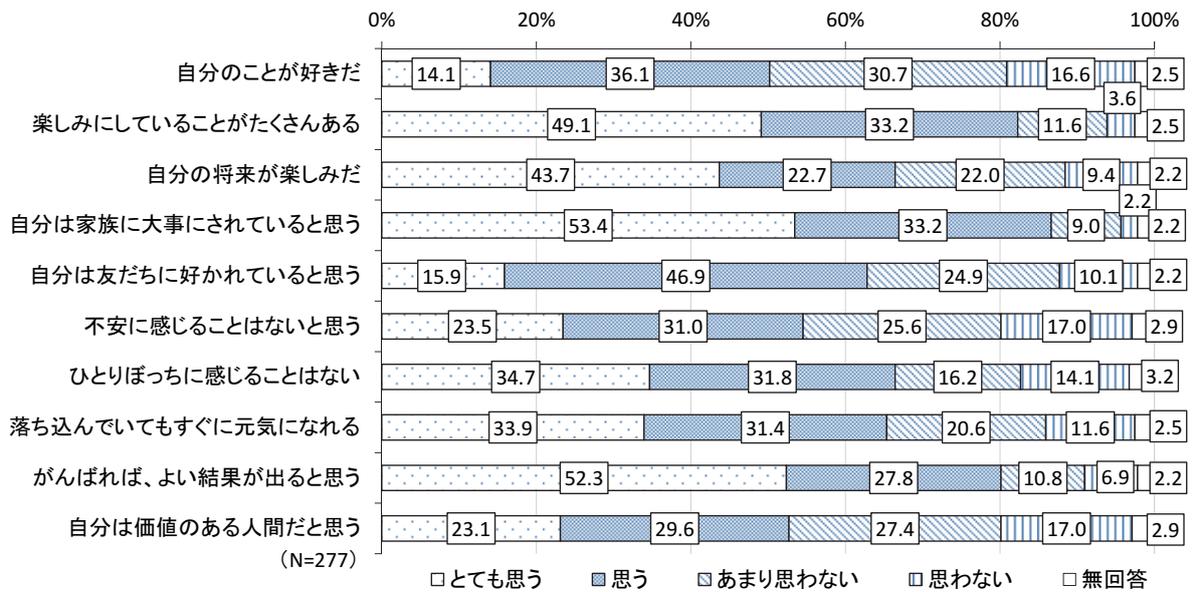
図表 5-4-2-2 自己肯定感 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 小学生



図表 5-4-2-3 自己肯定感 生活困難層別—生活困難層 小学生



図表 5-4-2-4 自己肯定感 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 小学生

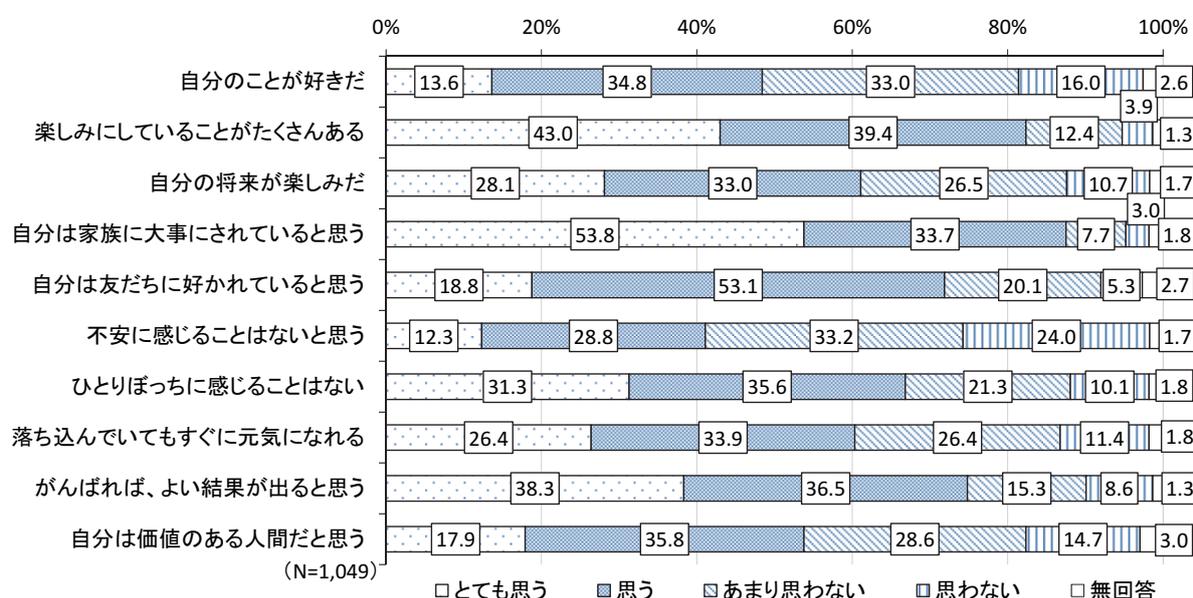


中学生に「自分のことが好きだ」と思うかを尋ねたところ、「思わない」と回答した割合は 16.0%となっていた。同じ設問への回答割合をみると、ひとり親世帯（2世代同居）で 32.8%、生活困難層で 26.1%、「子どもの養育の要因」層で 19.5%と、全体に対して自分を好きだと思わない割合が高くなっていた。

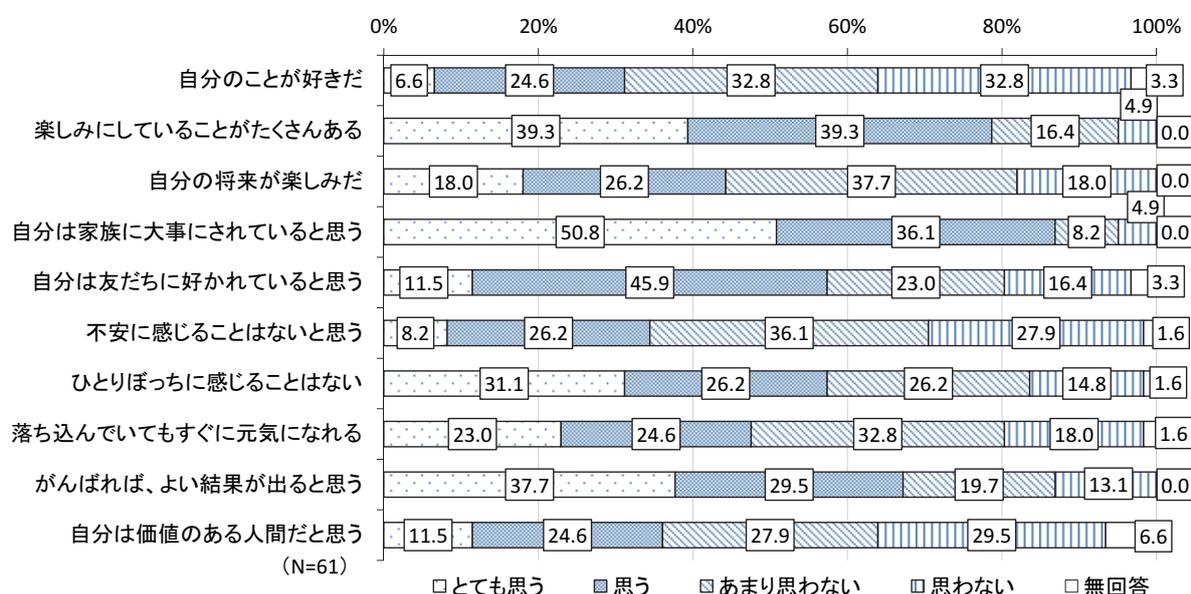
中学生の「自分は価値のある人間だと思う」とは「思わない」の回答割合は、全体が 14.7%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）では 29.5%、生活困難層では 23.9%、「子どもの養育の要因」層では 19.5%となっていた。

中学生の回答状況をみると、ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層、「子どもの養育の要因」層の上記の自己肯定感に関する回答状況の全体との差異が、小学生の回答状況と比較して大きくなっていった。

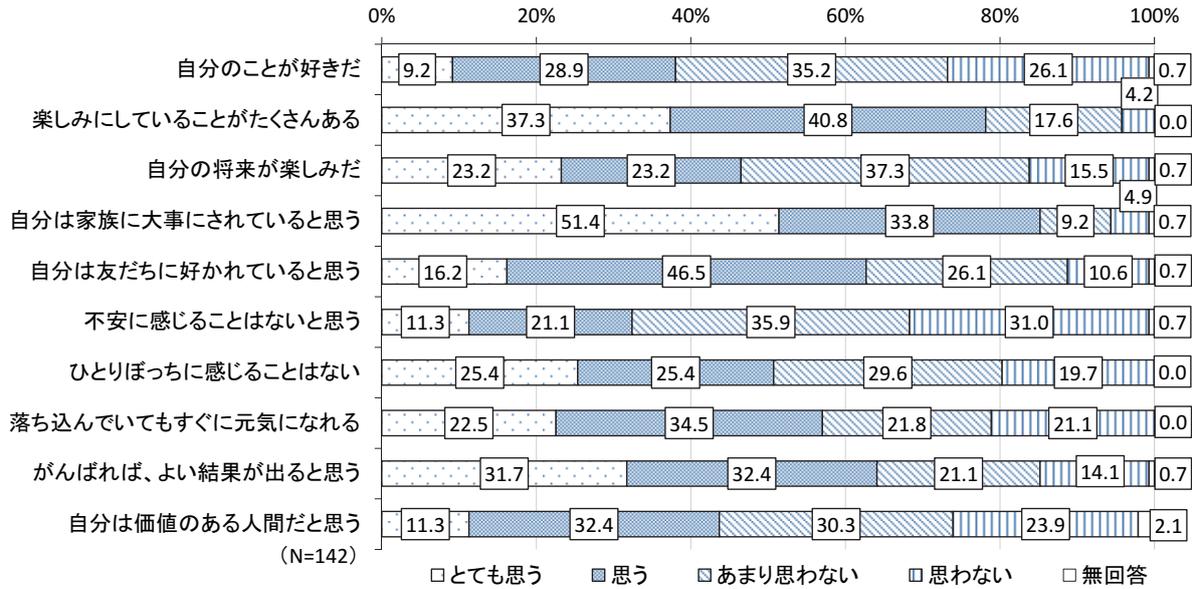
図表 5-4-2-5 自己肯定感 単純集計 中学生



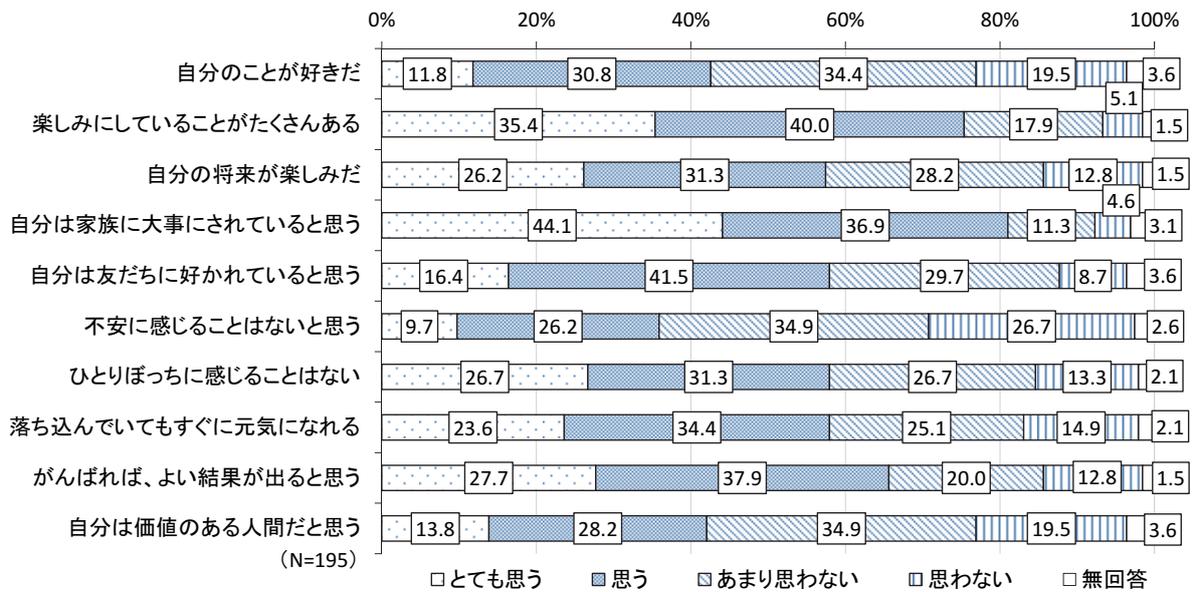
図表 5-4-2-6 自己肯定感 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 中学生



図表 5-4-2-7 自己肯定感 生活困難層別—生活困難層 中学生



図表 5-4-2-8 自己肯定感 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 中学生



③ 非認知能力

【小子問 28】

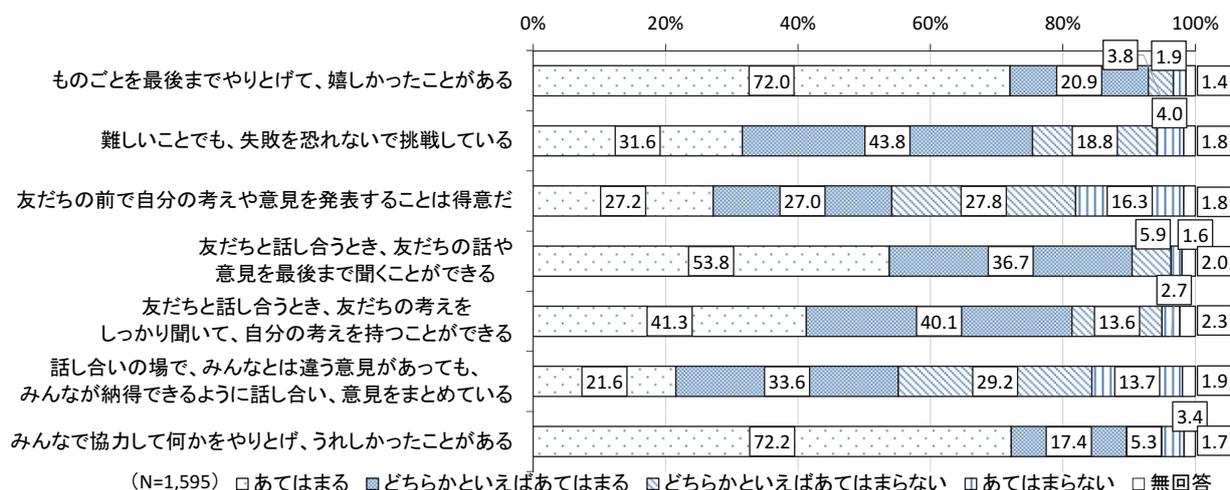
小学生に「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」かについて尋ねたところ、「あてはまらない」と答えた割合は 4.0%となっていた。同じ設問への回答割合をみると、ひとり親世帯（2世代同居）は 5.3%、生活困難層は 4.8%、「子どもの養育の要因」層は 7.9%が「あてはまらない」と回答した。

「みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある」かについて「あてはまらない」と回答した割合は、全体が 3.4%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）は 5.3%、生活困難層は 4.8%、「子どもの養育の要因」層は 6.1%となっていた。

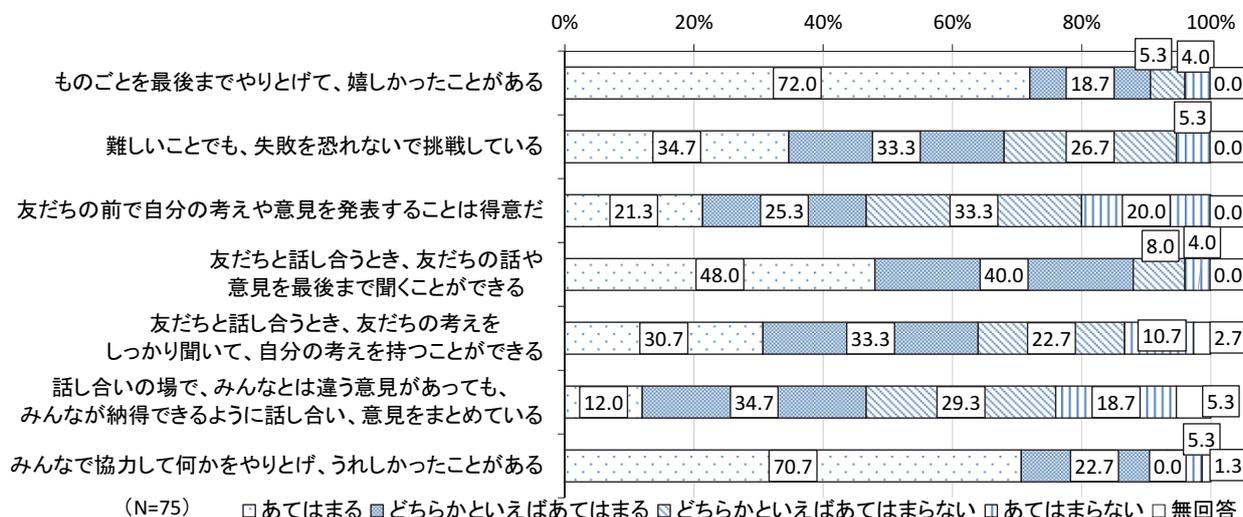
「友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる」について「あてはまる」と回答した割合は、全体は 53.8%、ひとり親世帯（2世代同居）は 48.0%、生活困難層は 50.0%、「子どもの養育の要因」層は 53.1%となっていた。

問 あなたの思いや気持ちについて

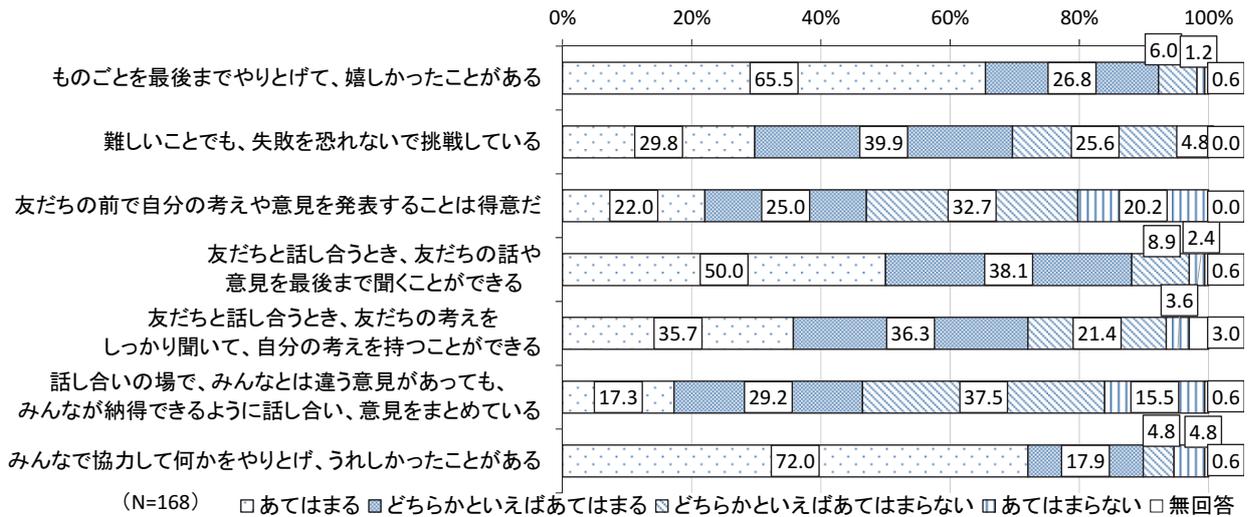
図表 5-4-3-1 非認知能力 単純集計 小学生



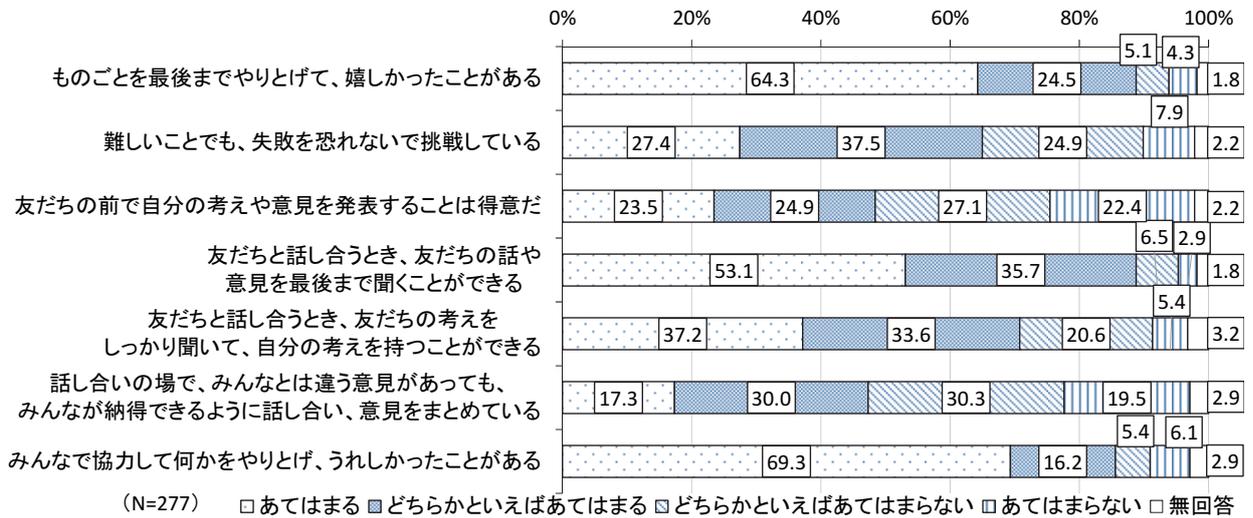
図表 5-4-3-2 非認知能力 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 小学生



図表 5-4-3-3 非認知能力 生活困難層別—生活困難層 小学生



図表 5-4-3-4 非認知能力 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 小学生



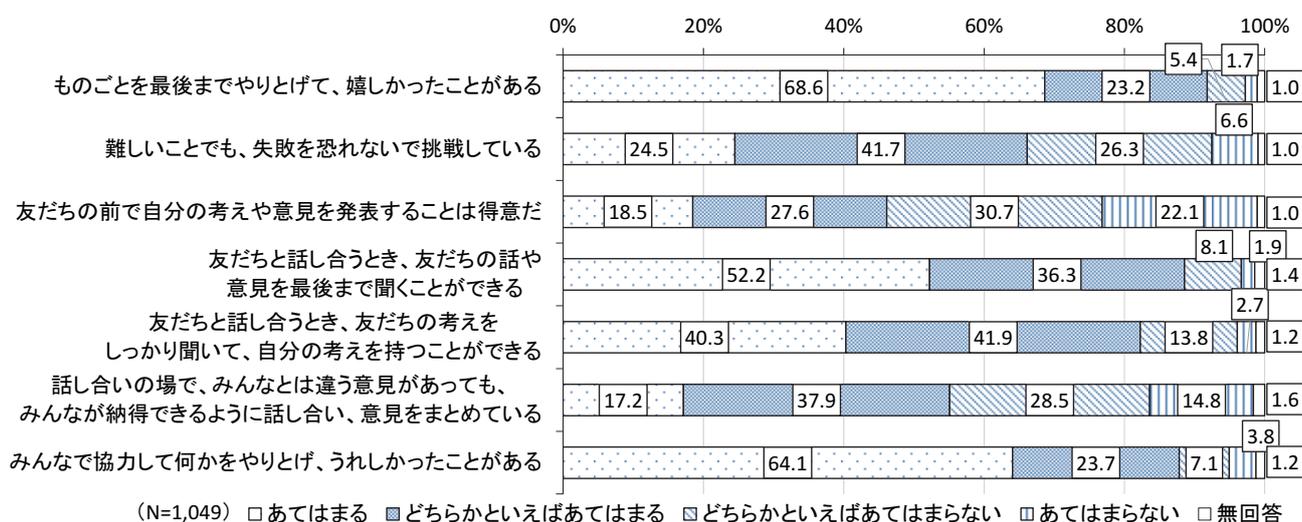
中学生に「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」かについて尋ねたところ、「あてはまらない」と答えた割合は 6.6%となっていた。同じ設問への回答割合をみると、ひとり親世帯（2世代同居）の中学生は 14.8%、生活困難層の中学生は 11.3%、「子どもの養育の要因」層の中学生は 10.8%が「あてはまらない」と回答した。

「みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある」かについて「あてはまらない」と回答した割合は、全体が 3.8%であるのに対して、ひとり親世帯（2世代同居）の中学生は 13.1%、生活困難層の中学生は 6.3%、「子どもの養育の要因」層の中学生は 7.7%となっていた。

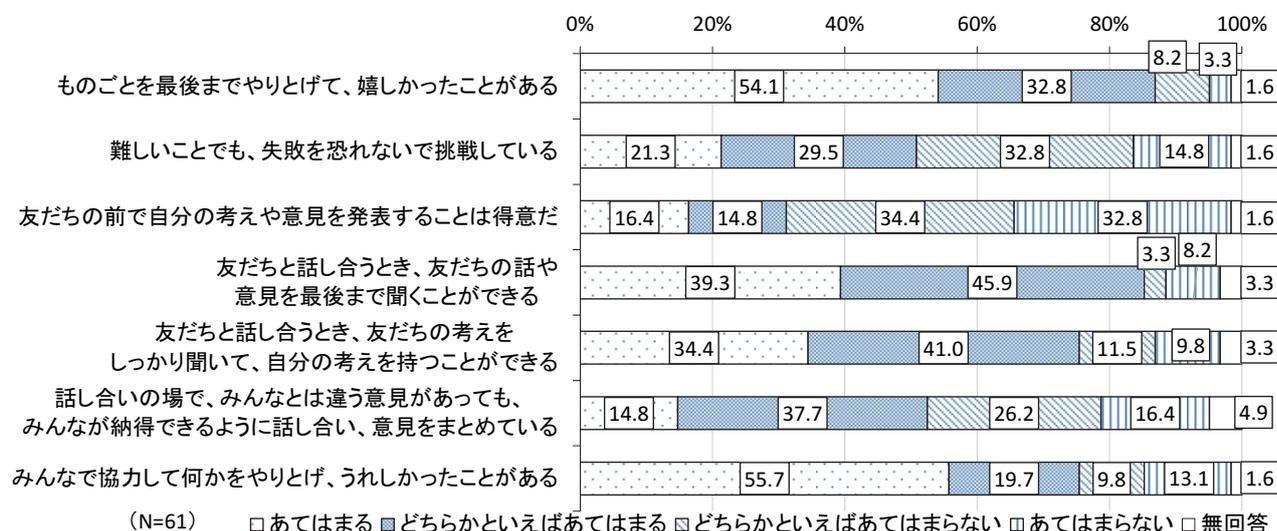
「友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる」について「あてはまる」と回答した割合は、全体は 52.2%、ひとり親世帯（2世代同居）は 39.3%、生活困難層は 45.8%、「子どもの養育の要因」層は 44.6%となっていた。

中学生の回答状況をみると、ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層、「子どもの養育の要因」層の上記の非認知能力に関する回答状況の全体との差異が、小学生と比較して大きくなっていった。

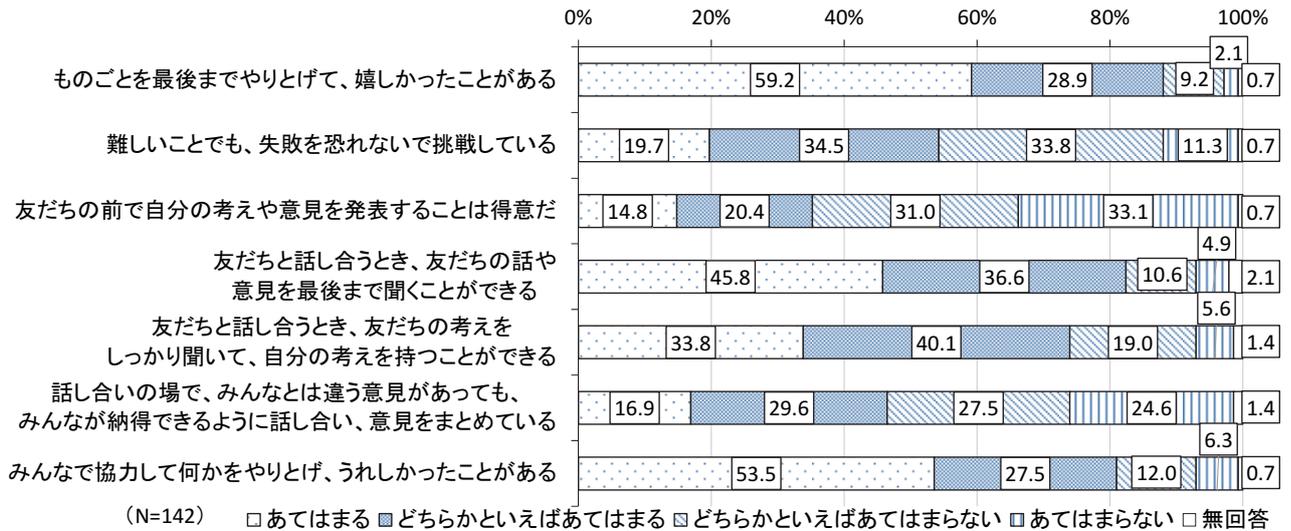
図表 5-4-3-5 非認知能力 単純集計 中学生



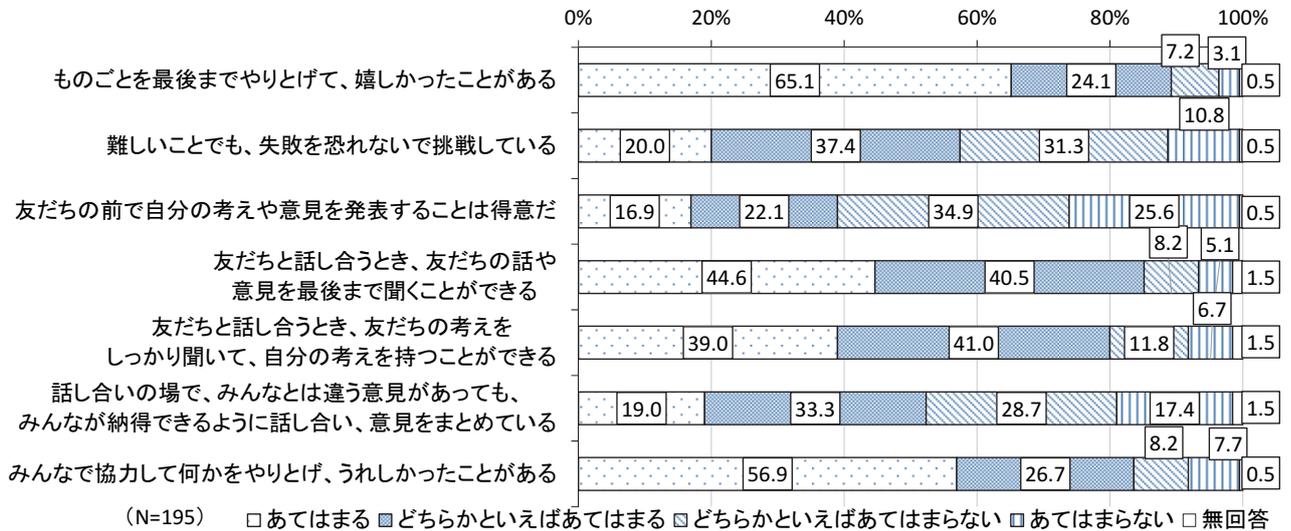
図表 5-4-3-6 非認知能力 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 中学生



図表 5-4-3-7 非認知能力 生活困難層別—生活困難層 中学生



図表 5-4-3-8 非認知能力 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 中学生



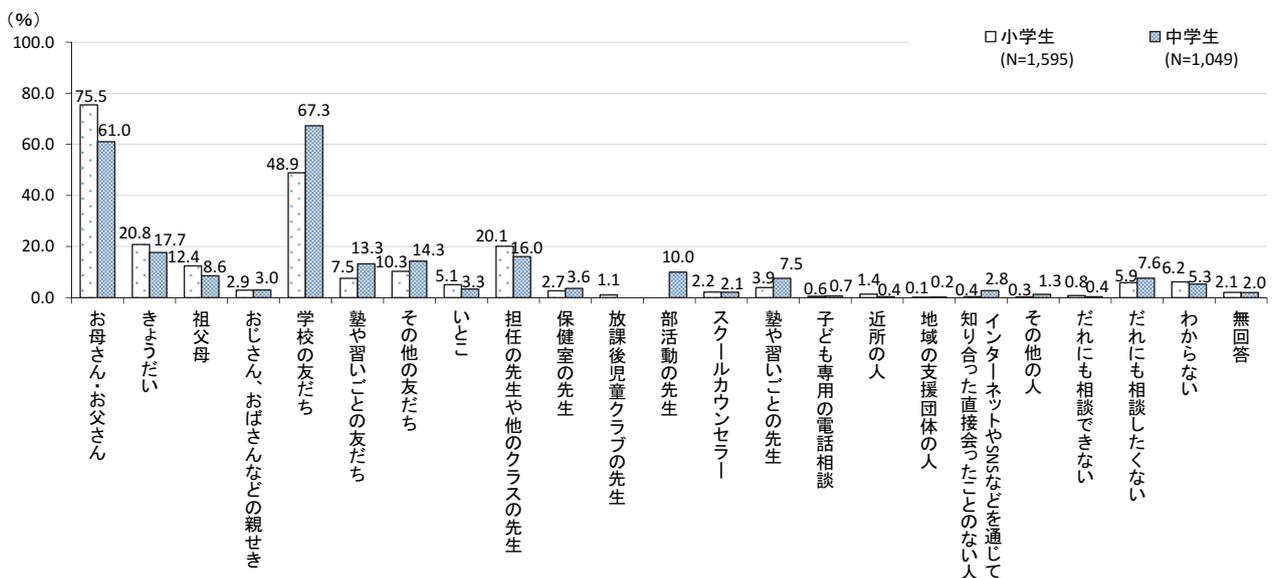
④ 相談相手や仲の良い友だち

【小中子問 29、32】

いやなことや悩みごとがあるときの相談相手を尋ねた結果、小学生では「お母さん・お父さん」(75.5%)、中学生では「学校の友だち」(67.3%)という回答が最も多かった。「だれにも相談できない」という回答は、小学生では0.8%、中学生では0.4%、「だれにも相談したくない」は小学生で5.9%、中学生で7.6%、「わからない」は小学生で6.2%、中学生で5.3%であった。
 一番仲が良い友だちが誰かを尋ねたところ、小学生・中学生ともに「学校の友だち」が最も多かった(それぞれ73.6%、77.5%)。

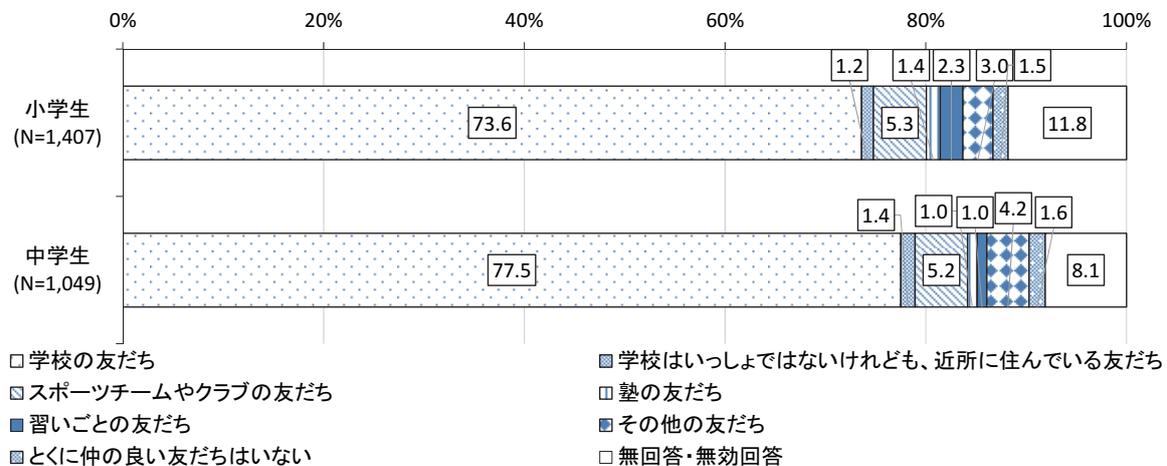
問 いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか(複数回答)

図表5-4-4-1 いやなことや悩んでいることがあるときの相談相手 単純集計



問 あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか

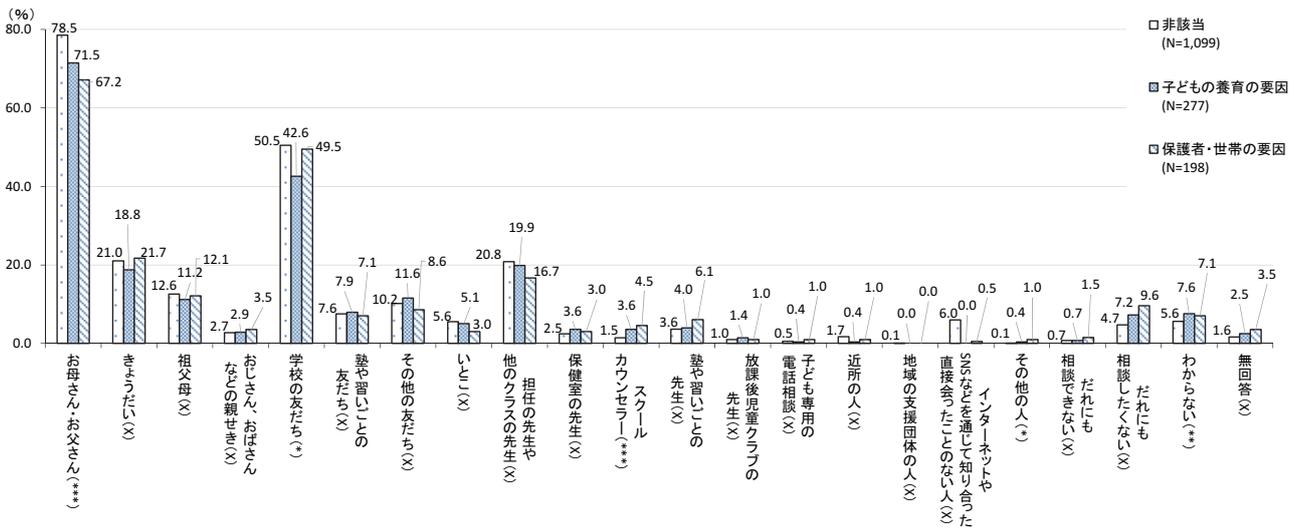
図表5-4-4-2 一番仲が良い友だち 単純集計



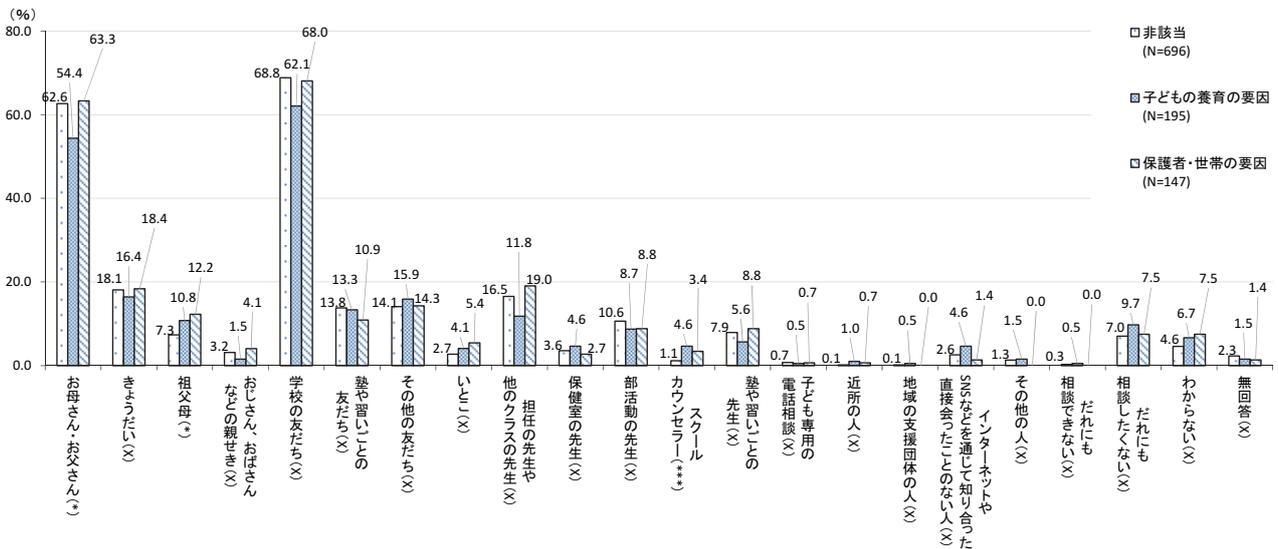
■潜在的養育困難層別

いやなことや悩んでいることがあるときの相談相手について、潜在的養育困難層別にクロス集計をすると、小学生では「お母さん・お父さん」において非該当層、「スクールカウンセラー」「わからない」において潜在的養育困難層が、中学生では「スクールカウンセラー」において「子どもの養育の要因」層が、それぞれ比較的高い回答割合となっていた。

図表 5-4-4-3 いやなことや悩んでいることがあるときの相談相手
潜在的養育困難層別クロス集計 小学生



図表 5-4-4-4 いやなことや悩んでいることがあるときの相談相手
潜在的養育困難層別クロス集計 中学生



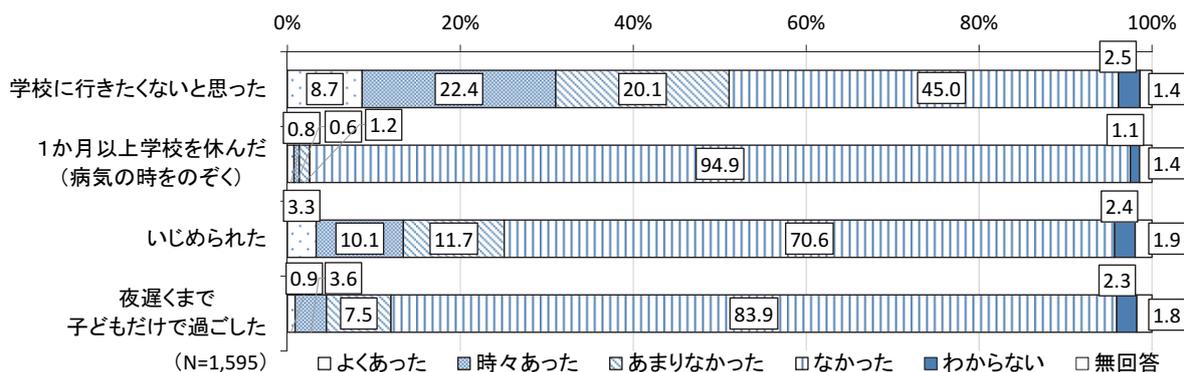
⑤ 不登校傾向等

【小子問 30】

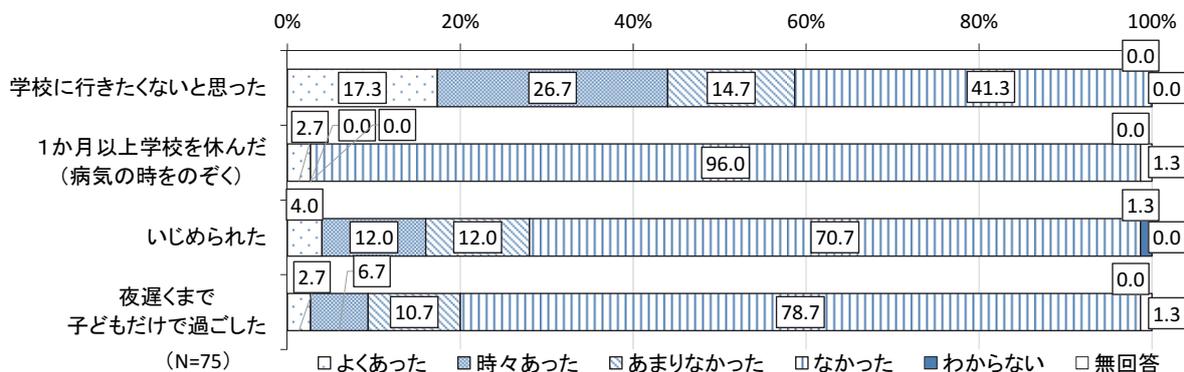
小学生に不登校傾向に関する質問をしたところ、「学校に行きたくないと思った」に対して「よくあった」と回答した割合は8.7%となっていた。また「いじめられた」については3.3%となった。
ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層、「子どもの養育の要因」層の小学生が「学校に行きたくないと思った」に「よくあった」と回答した割合はそれぞれ17.3%、15.5%、15.5%であった。

問 これまでに次のようなことがありましたか

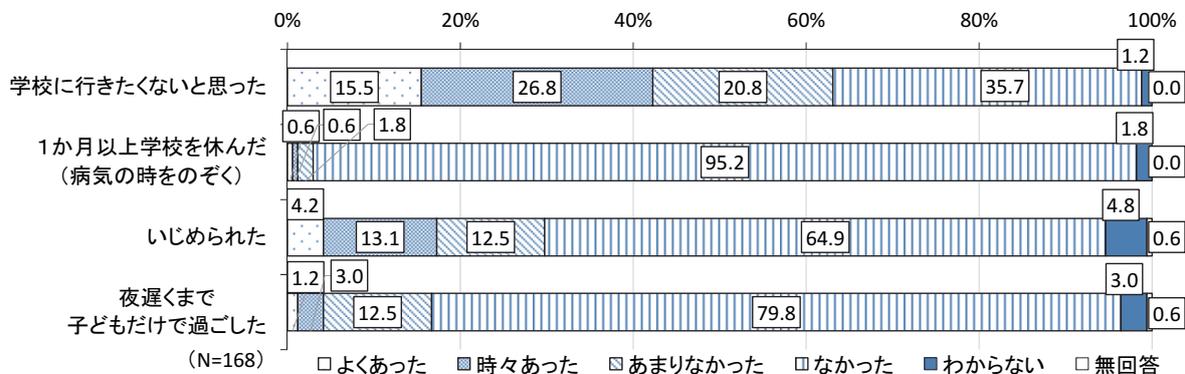
図表 5-4-5-1 不登校傾向等 単純集計 小学生



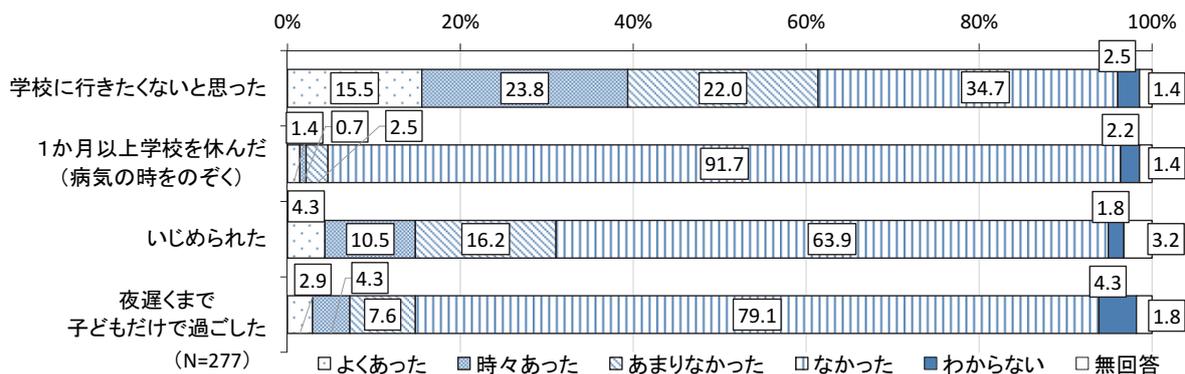
図表 5-4-5-2 不登校傾向等 世帯タイプ別—ひとり親世帯（2世代同居） 小学生



図表 5-4-5-3 不登校傾向等 生活困難層別—生活困難層 小学生



図表 5-4-5-4 不登校傾向等 潜在的養育困難層別-「子どもの養育の要因」層 小学生

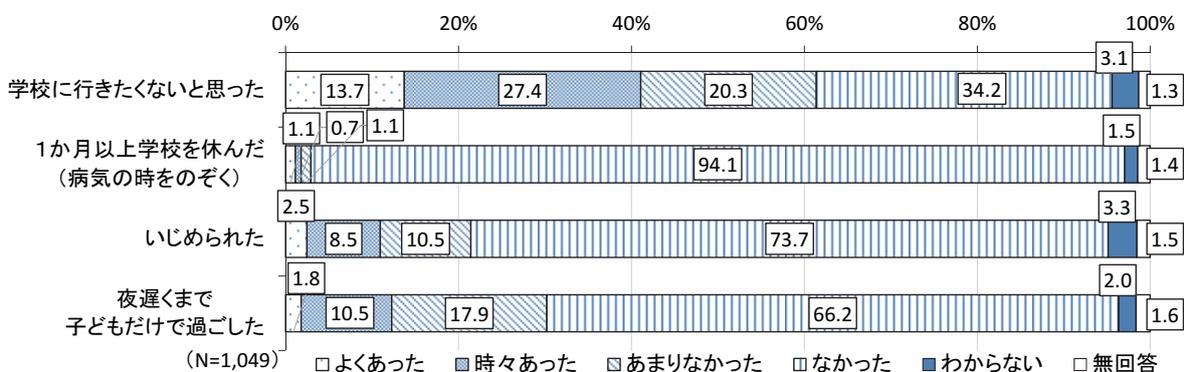


【中子問 30】

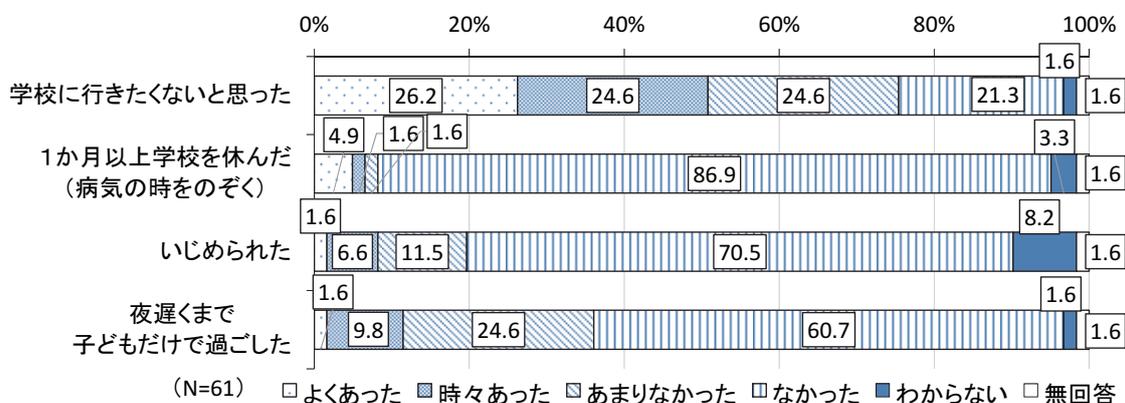
中学生に不登校傾向に関する質問をしたところ、「学校に行きたくないと思った」に対して「よくあった」と回答した割合は13.7%となっていた。また「いじめられた」については2.5%となった。

ひとり親世帯（2世代同居）、生活困難層、「子どもの養育の要因」層の中学生が「学校に行きたくないと思った」に「よくあった」と回答した割合はそれぞれ26.2%、25.4%、19.5%であった。また生活困難層の中学生の「いじめられた」「夜遅くまで子どもだけで過ごした」に対する「よくあった」の回答割合はそれぞれ2.1%と1.4%、「子どもの養育の要因」層の中学生が「いじめられた」に「よくあった」と回答した割合は3.1%であった。

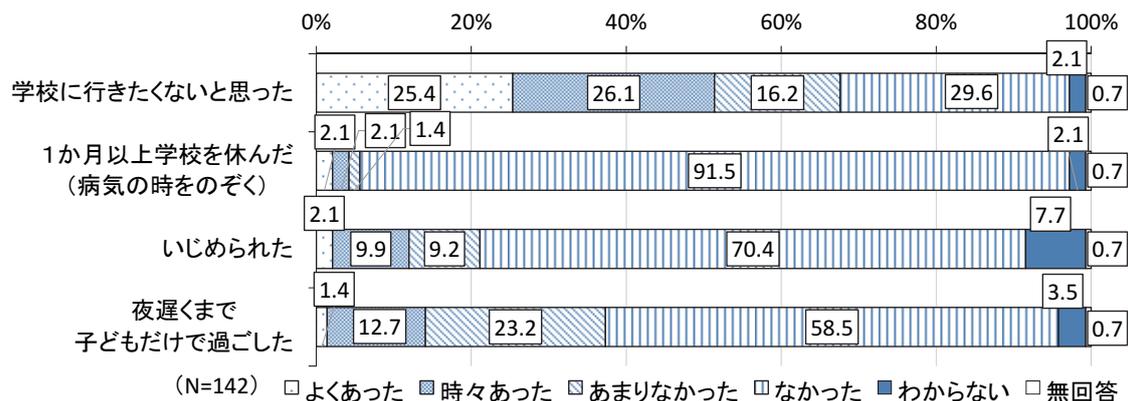
図表 5-4-5-5 不登校傾向等 単純集計 中学生



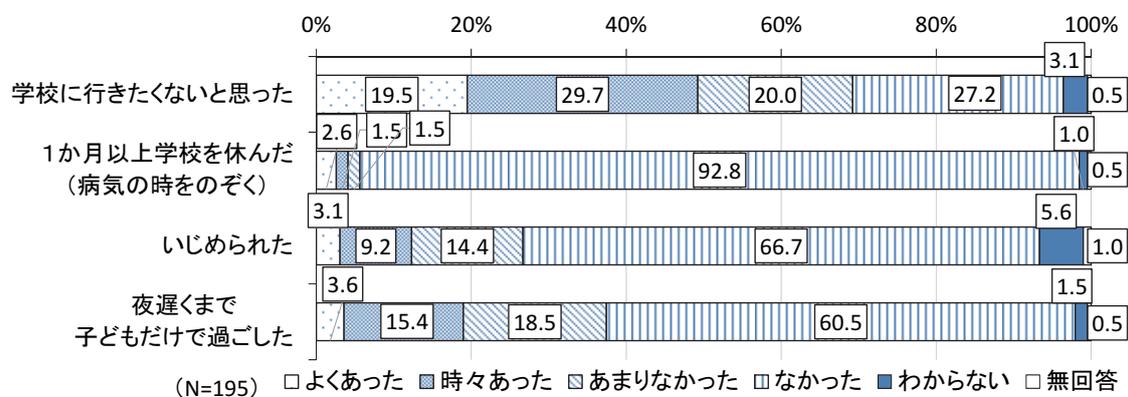
図表 5-4-5-6 不登校傾向等 世帯タイプ別-ひとり親世帯（2世代同居） 中学生



図表 5-4-5-7 不登校傾向等 生活困難層別—生活困難層 中学生



図表 5-4-5-8 不登校傾向等 潜在的養育困難層—「子どもの養育の要因」層 中学生



⑥ 支援ニーズ

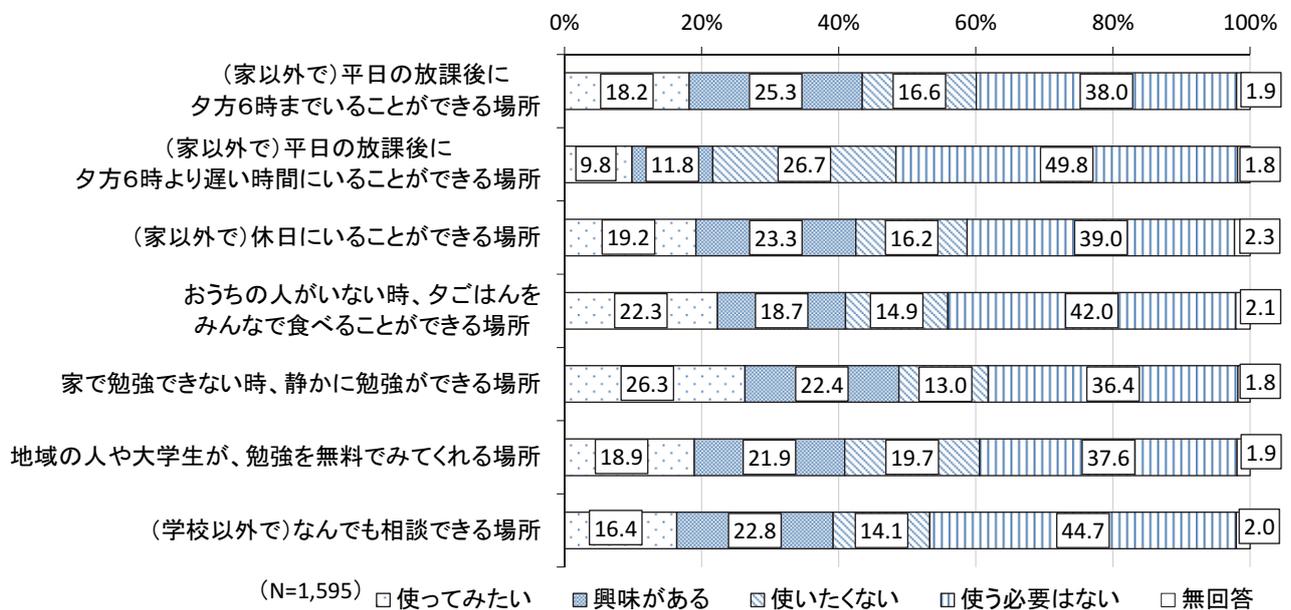
【小子問 31】

小学生に、様々な支援がある場所について利用したいかどうかを尋ねた結果をみると、「使ってみたい」と回答した割合が高いのは、「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」「おうちの人がいない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」であった。

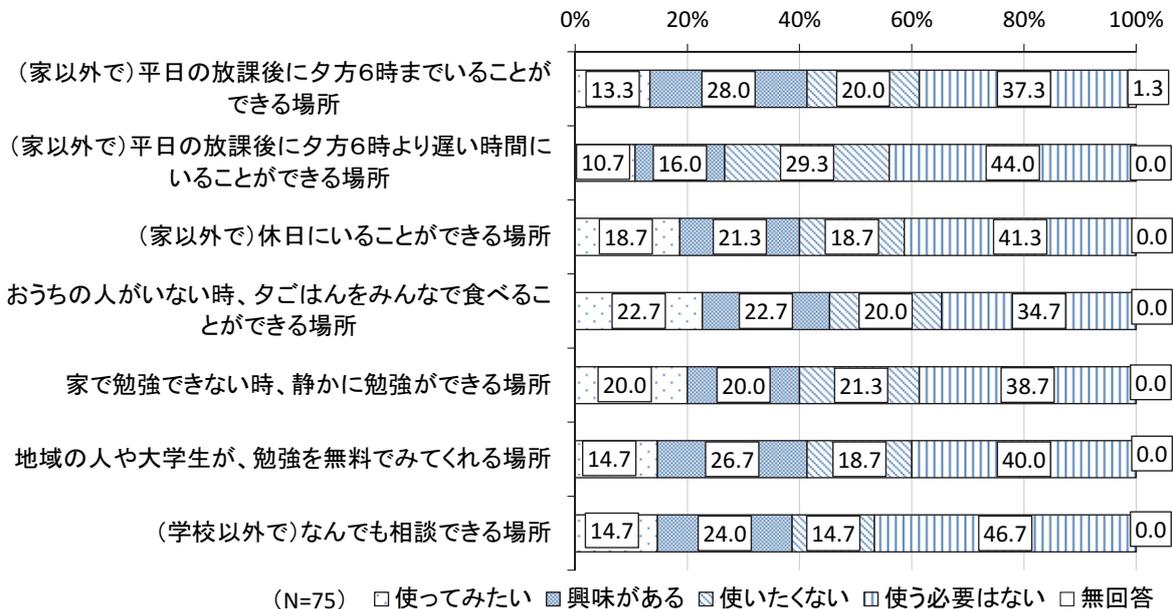
単純集計結果と比べて「使ってみたい」の回答割合が特に高かった項目を挙げると、生活困難層の小学生は「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」で26.8%、「子どもの養育の要因」層に該当する小学生では「(家以外で) 平日の放課後に夕方6時までいることができる場所」で27.1%、「(家以外で) 平日の放課後に夕方6時より遅い時間にいることができる場所」で14.8%の回答割合となっていた。

問 次のような場所があれば使ってみたいと思いますか

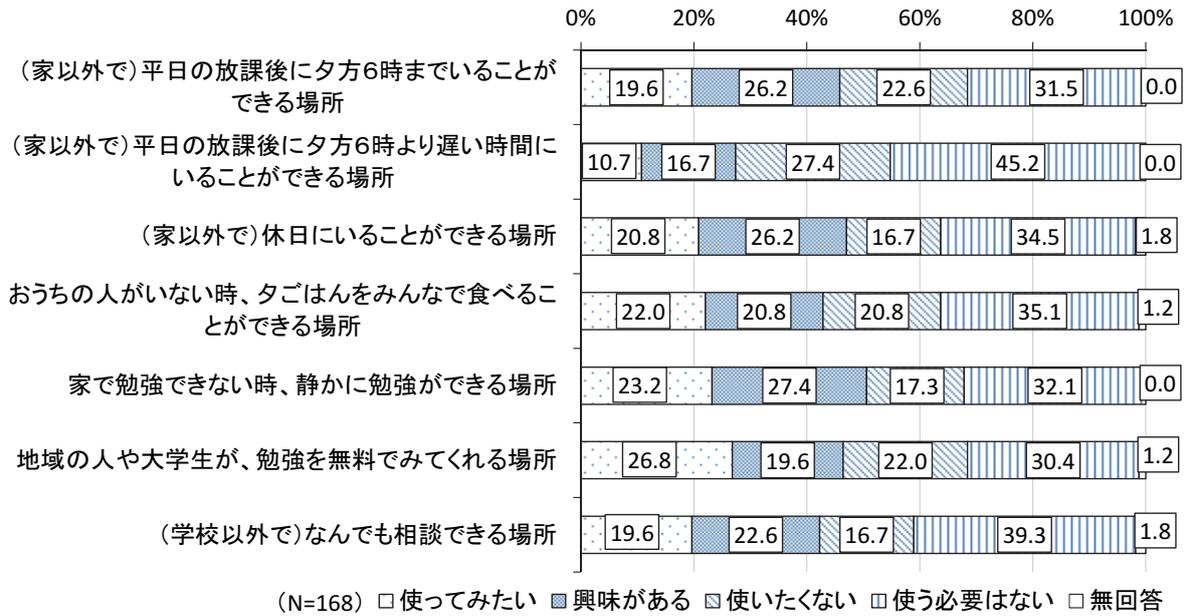
図表 5-4-6-1 支援ニーズ 単純集計 小学生



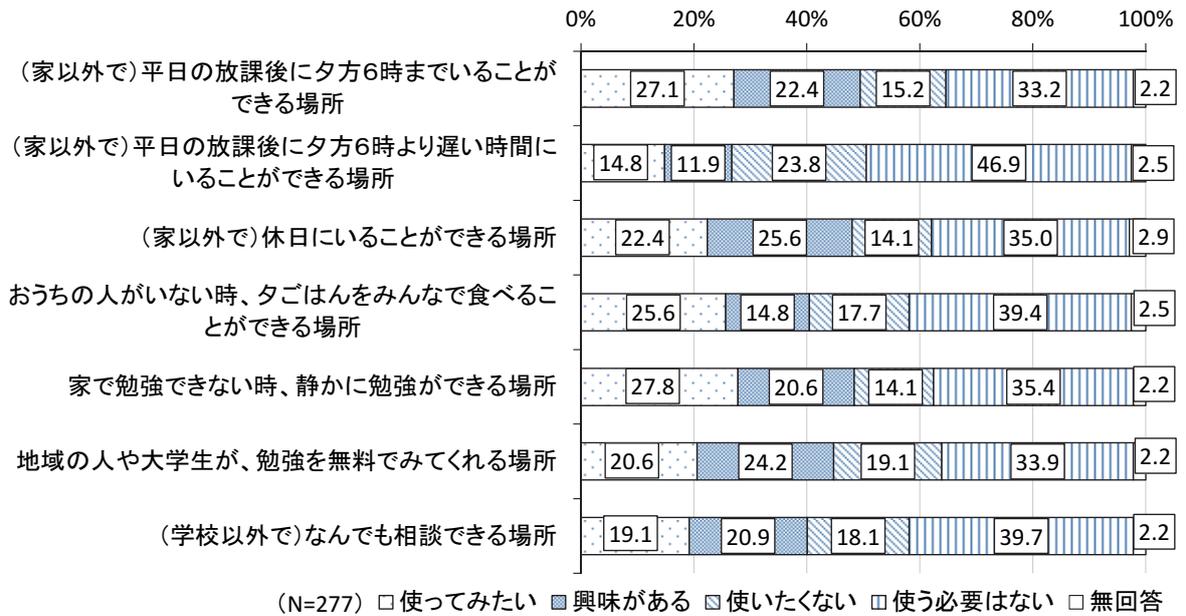
図表 5-4-6-2 支援ニーズ 世帯タイプ別—ひとり親世帯(2世代同居) 小学生



図表 5-4-6-3 支援ニーズ 生活困難層別—生活困難層 小学生



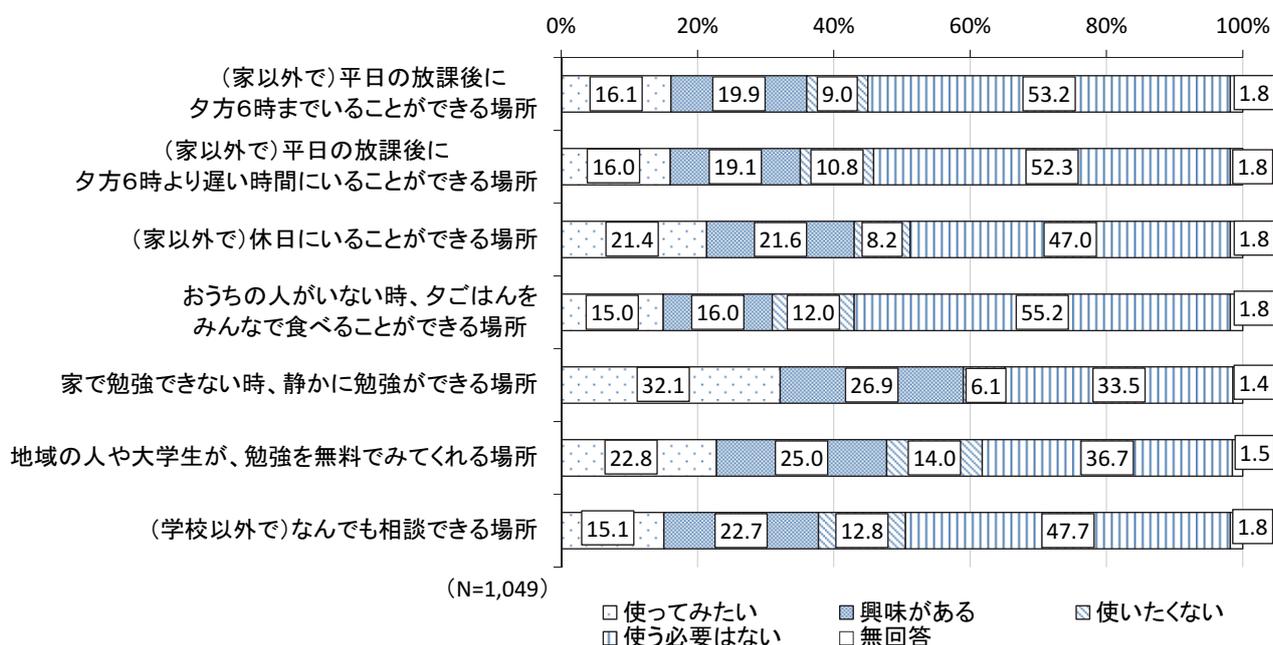
図表 5-4-6-4 支援ニーズ 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 小学生



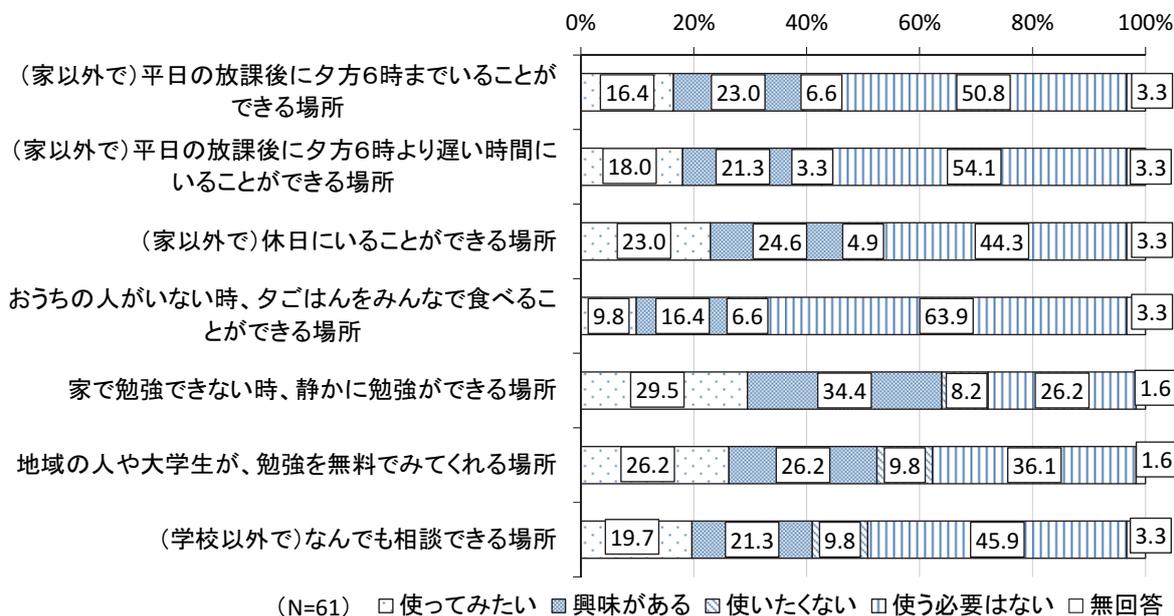
中学生に、様々な支援がある場所について利用したいかどうかを尋ねた結果をみると、「使ってみたい」と回答した割合が高いのは「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」であった。

単純集計結果と比べて「使ってみたい」の回答割合が特に高かった項目を挙げると、「子どもの養育の要因」層で、「(家以外で) 平日の放課後に夕方6時より遅い時間にいることができる場所」「(家以外で) 休日にいることができる場所」「おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」の回答割合がそれぞれ22.1%、28.7%、21.5%、29.2%であった。

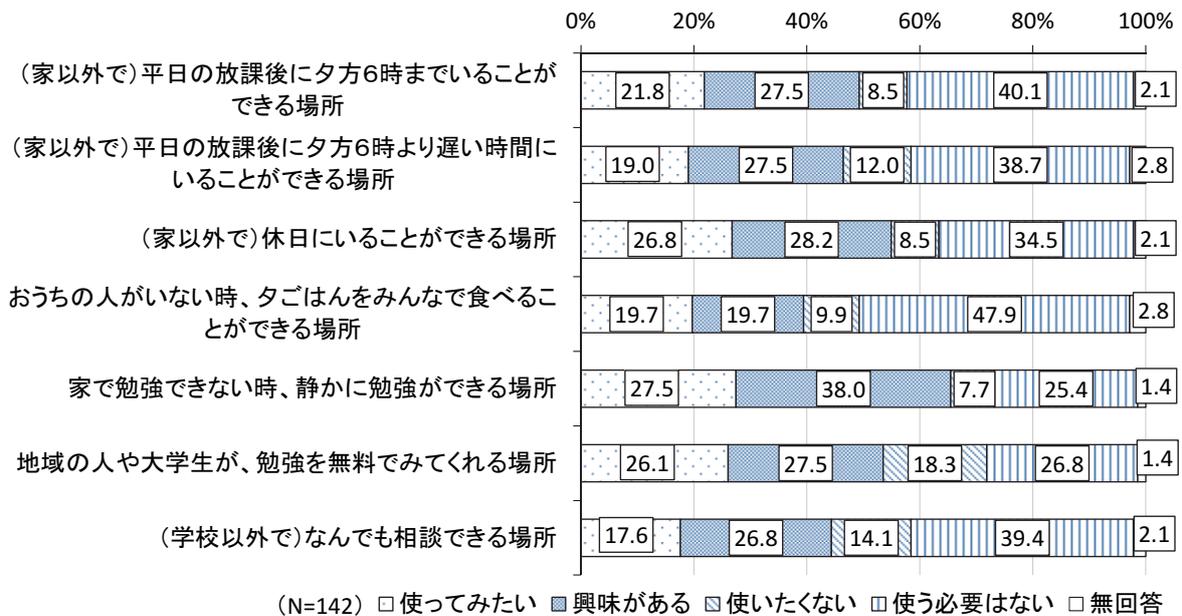
図表 5-4-6-5 支援ニーズ 単純集計 中学生



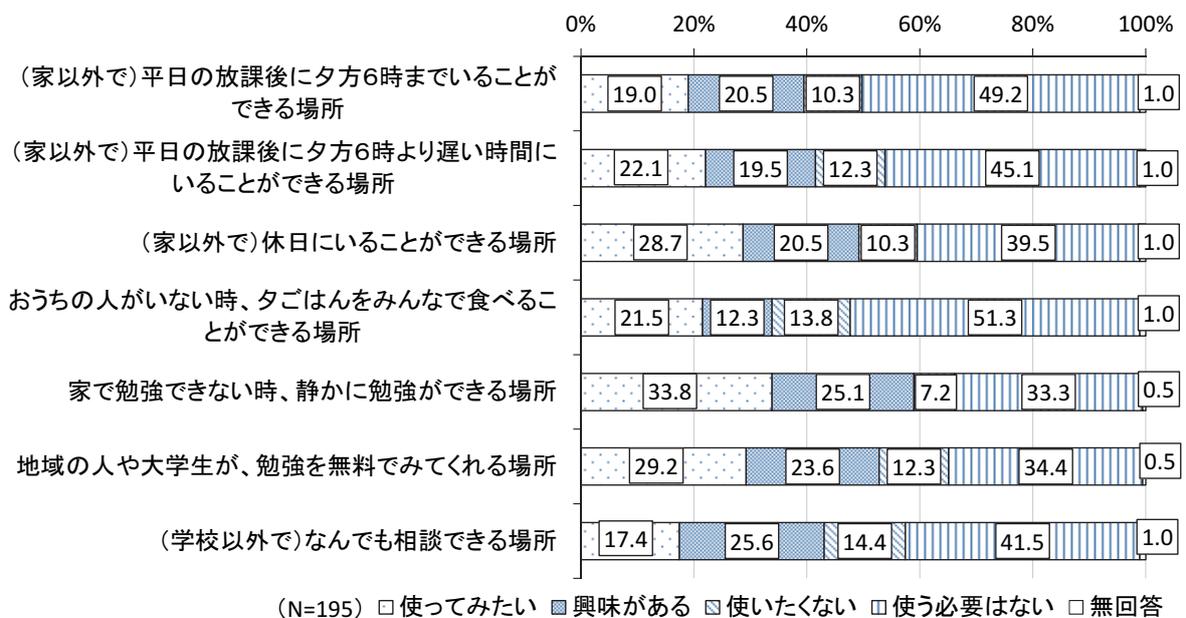
図表 5-4-6-6 支援制度等への興味 世帯タイプ別—ひとり親世帯 (2世代同居) 中学生



図表5-4-6-7 支援制度等への興味 生活困難層別—生活困難層 中学生



図表5-4-6-8 支援制度等への興味 潜在的養育困難層別—「子どもの養育の要因」層 中学生



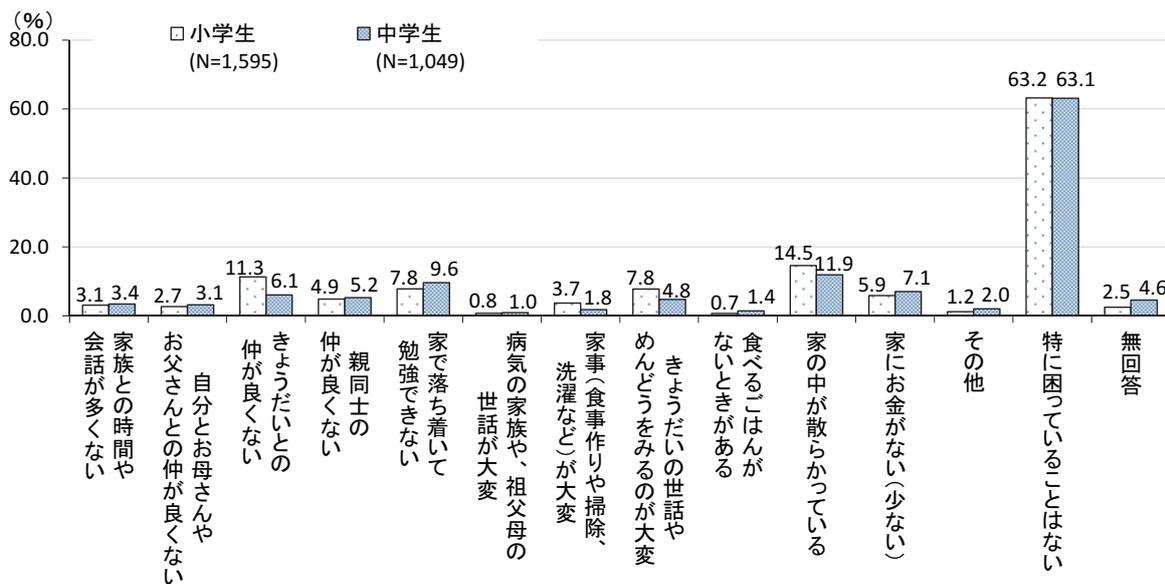
⑦ 自分や家族についての心配ごとや悩みごと

【小中子問 33】

自分や家族のことなどでの心配ごとや悩みごとを尋ねた結果、「特に困っていることはない」を除くと、小学生では「家の中が散らかっている」(14.5%)や「きょうだいとの仲が良くない」(11.3%)、中学生では「家の中が散らかっている」(11.9%)や「家で落ち着いて勉強できない」(9.6%)と回答した割合が比較的高かった。

問 自分や家族のことなどで、心配なことや困っていることはありますか（複数回答）

図表 5-4-7-1 自分や家族についての心配ごと・悩みごと 単純集計

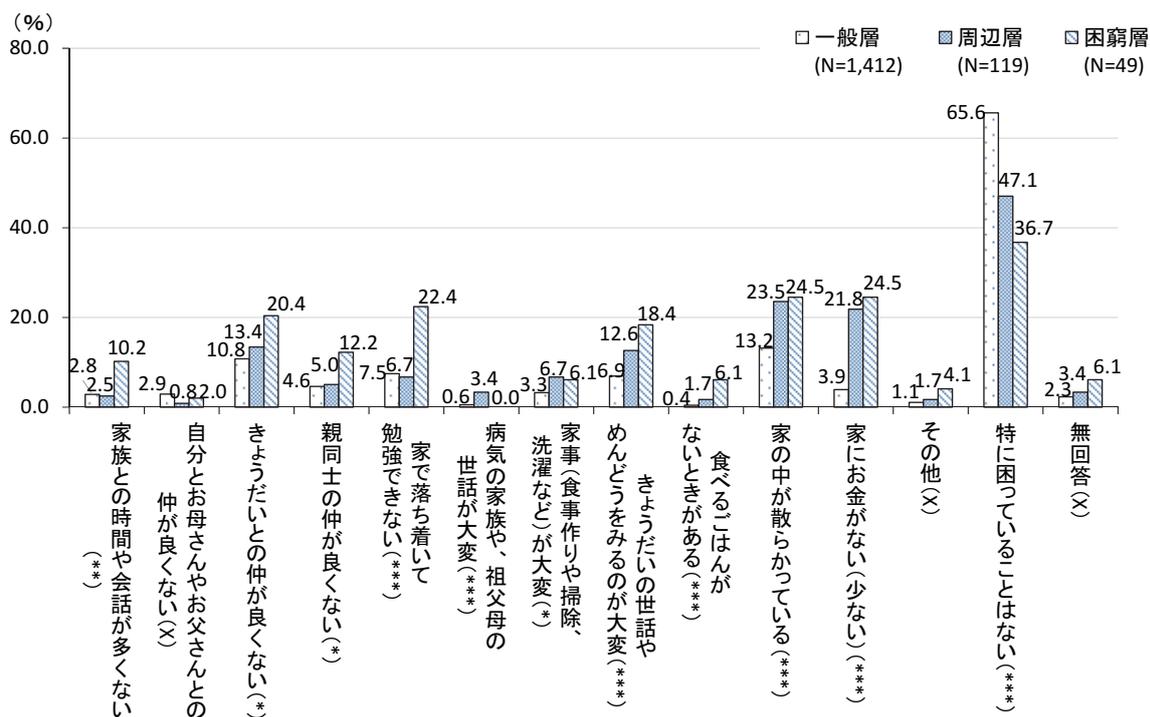


■生活困難層別

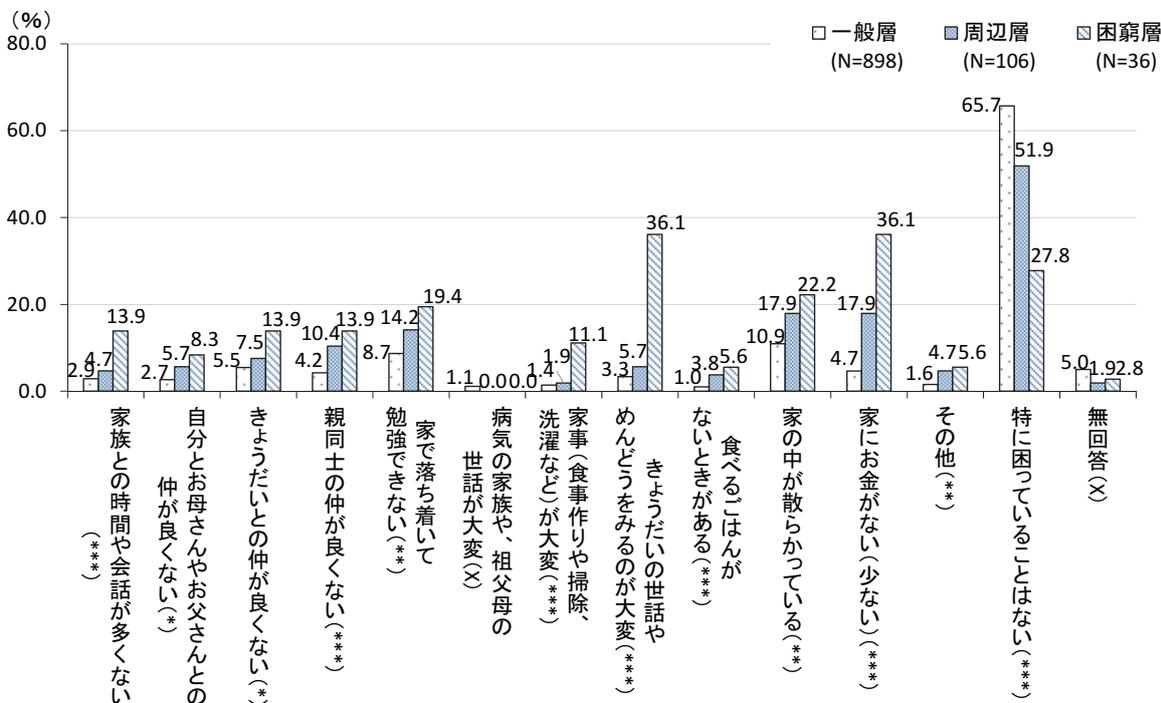
自分や家族のことなどでの心配ごとや悩みごとについての生活困難層別クロス集計の結果をみると、小学生では「きょうだいの世話やめんどうをみるのが大変」「食べるごはんがないときがある」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」において生活困難度が高くなるにつれて回答割合が上昇していたほか、「家で落ち着いて勉強できない」では困窮層が、「病気の家族や、祖父母の世話が大変」では周辺層が比較的高い回答割合となっていた。

中学生では「家族との時間や会話が少なくない」「親同士の仲が良くない」「家で落ち着いて勉強できない」「家事（食事作りや掃除、洗濯など）が大変」「きょうだいの世話やめんどうをみるのが大変」「食べるごはんがないときがある」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」において生活困難度が高くなるにつれて回答割合が上昇していた。

図表5-4-7-2 自分や家族についての心配ごと・悩みごと
生活困難層別クロス集計 小学生



図表5-4-7-3 自分や家族についての心配ごと・悩みごと
生活困難層別クロス集計 中学生

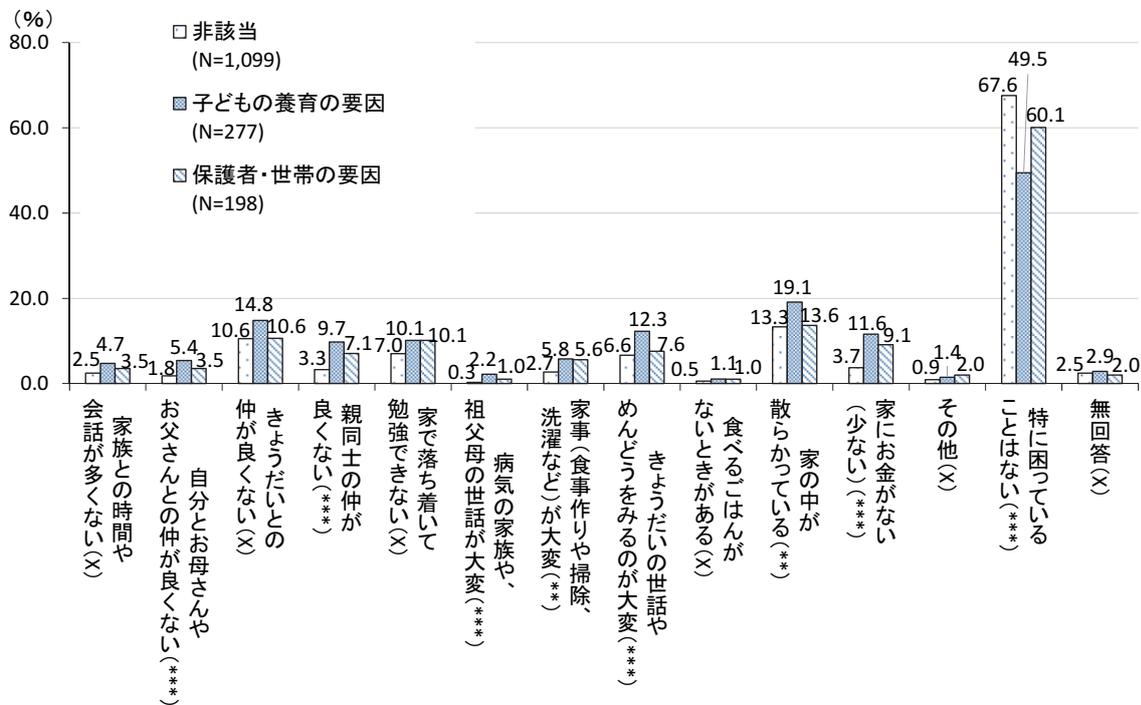


■潜在的養育困難層別

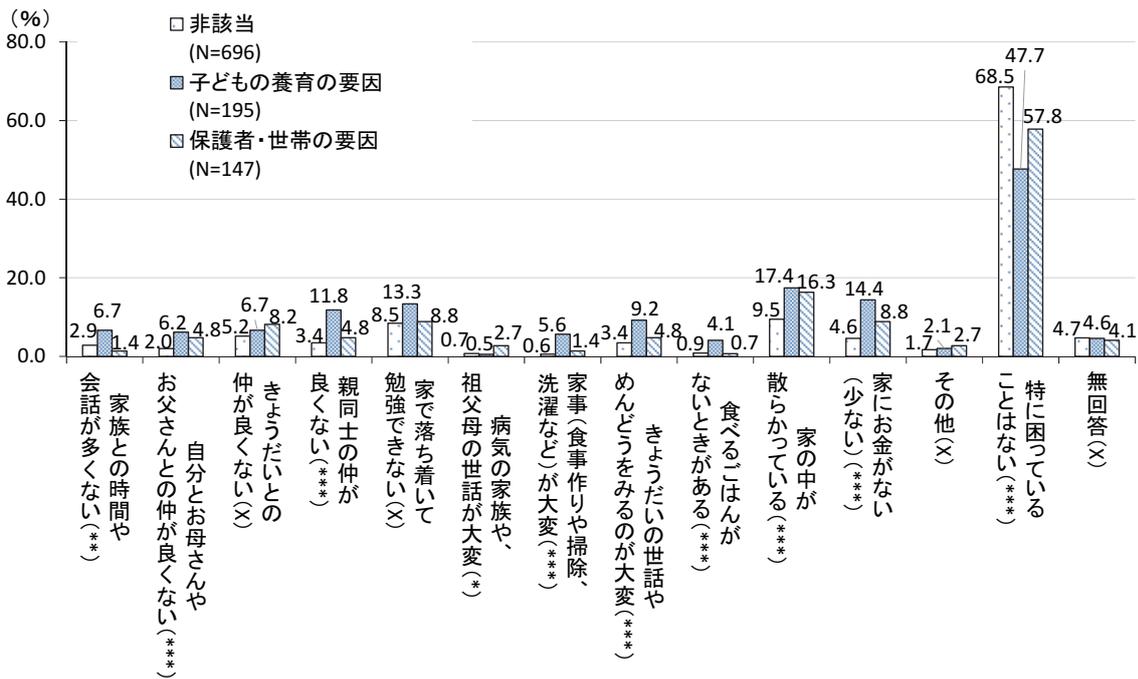
自分や家族のことなどでの心配ごとや悩みごとについての潜在的養育困難層別クロス集計の結果をみると、小学生では「自分とお母さんやお父さんとの仲が良くない」「親同士の仲が良くない」「病気の家族や、祖父母の世話が大変」「家事（食事作りや掃除、洗濯など）が大変」「きょうだいの世話やめんどろをみるのが大変」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」において、「子どもの養育の要因」層で特に回答割合が高くなっていた。

中学生についても、「家族との時間や会話が少なくない」「自分とお母さんやお父さんとの仲が良くない」「親同士の仲が良くない」「家事（食事作りや掃除、洗濯など）が大変」「きょうだいの世話やめんどろをみるのが大変」「食べるごはんがないときがある」「家の中が散らかっている」「家にお金がない（少ない）」において、小学生と同様「子どもの養育の要因」層の回答割合が比較的高かった。

図表 5-4-7-4 自分や家族についての心配ごと・悩みごと
潜在的養育困難層別クロス集計 小学生



図表5-4-7-5 自分や家族についての心配ごと・悩みごと
潜在的養育困難層別クロス集計 中学生



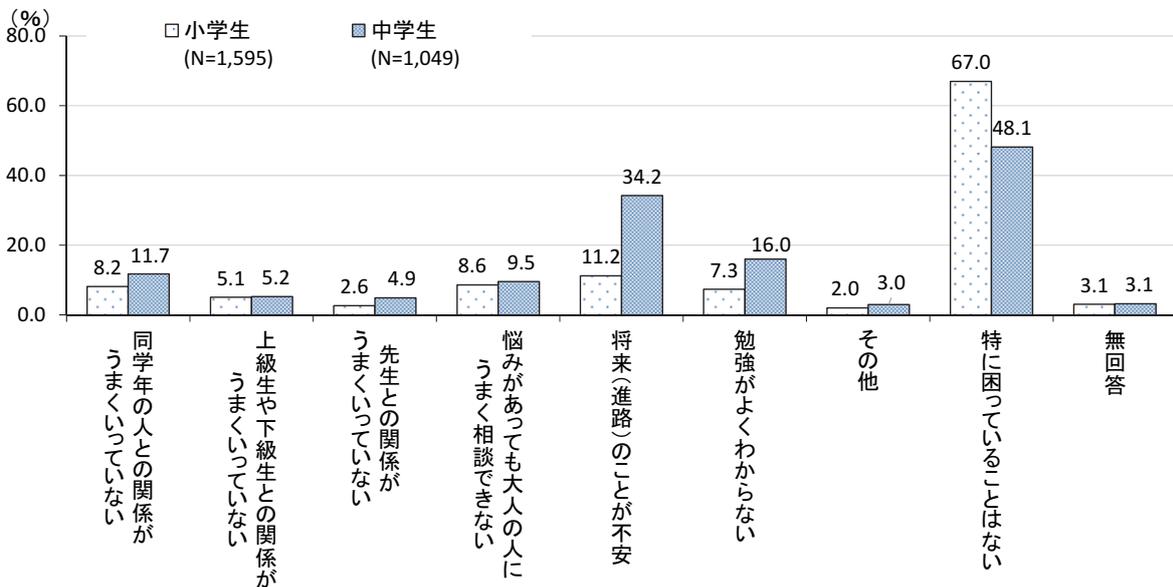
⑧ 学校のことでの困りごと

【小中子問 34】

学校のことでの困りごとを尋ねたところ、小学生・中学生ともに「特に困っていることはない」の回答割合が最も高かったが、小学生で 67.0%であったのに対し、中学生では 48.1%と比較的低かった。また、中学生では「将来(進路)のことが不安」が 34.2%となっていた。

問 学校のことでの困っていることはありますか(複数回答)

図表5-4-8-1 学校のことでの困りごと 単純集計

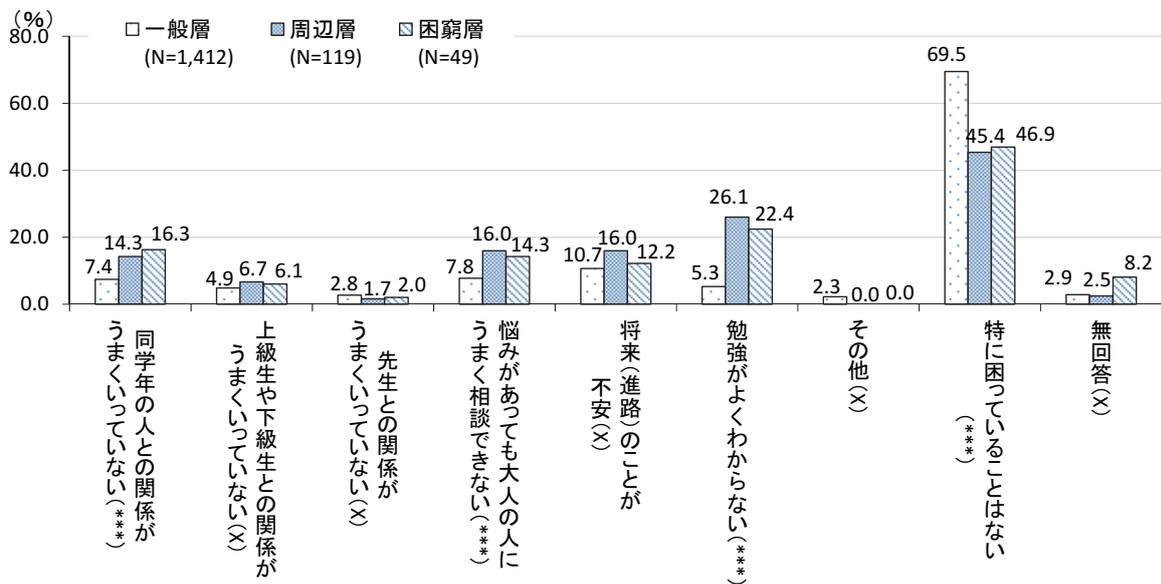


■生活困難層別

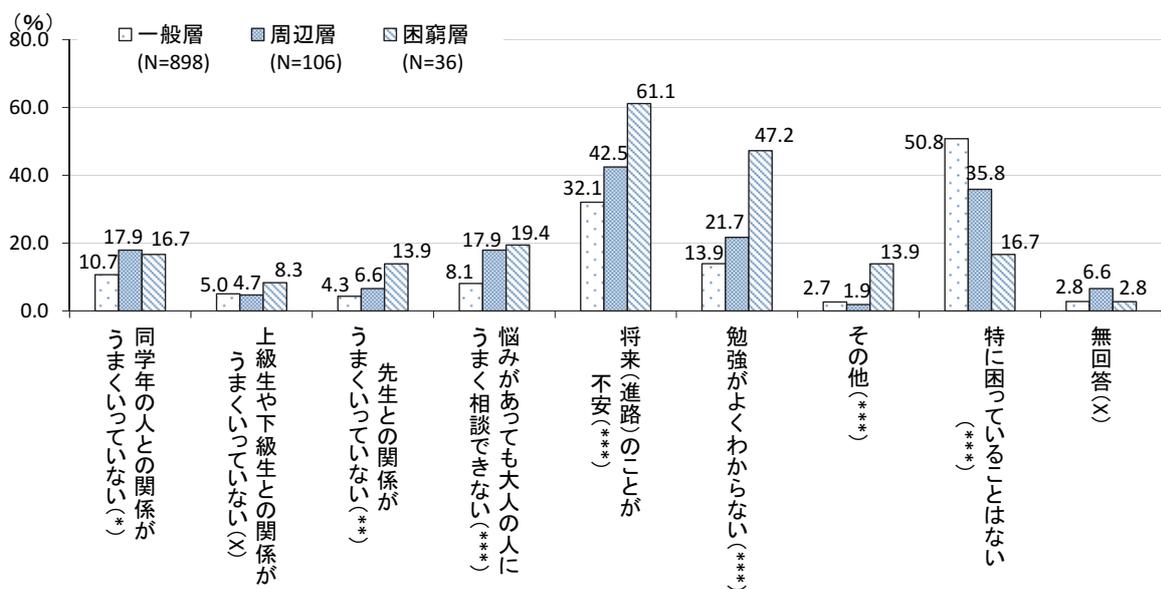
学校のことでの困りごとに関する生活困難層別クロス集計の結果をみると、小学生では「同学年の人との関係がうまくいっていない」において生活困難度が高まるにつれて回答割合が上昇していたほか、「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」「勉強がよくわからない」において一般層が比較的低い回答割合となっていた。

中学生では「先生との関係がうまくいっていない」「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」「将来（進路）のことが不安」「勉強がよくわからない」において、生活困難度が上がるにつれて回答割合が高くなっていった。特に、困窮層の中学生で「将来（進路）のことが不安」と回答した割合が61.1%と高かった。

図表5-4-8-2 学校のことでの困りごと 生活困難層別クロス集計 小学生



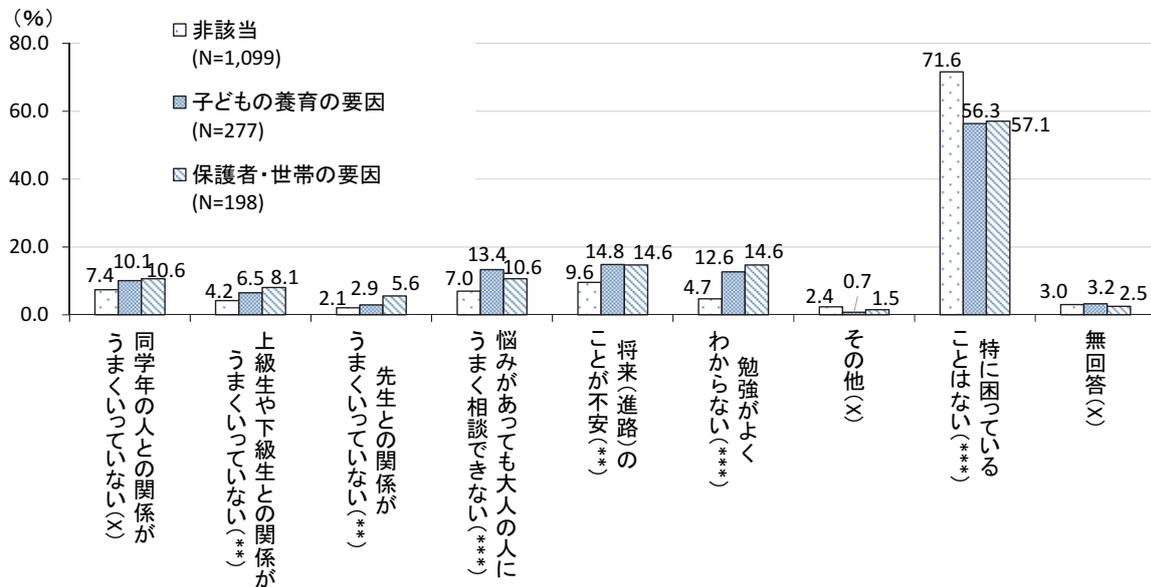
図表5-4-8-3 学校のことでの困りごと 生活困難層別クロス集計 中学生



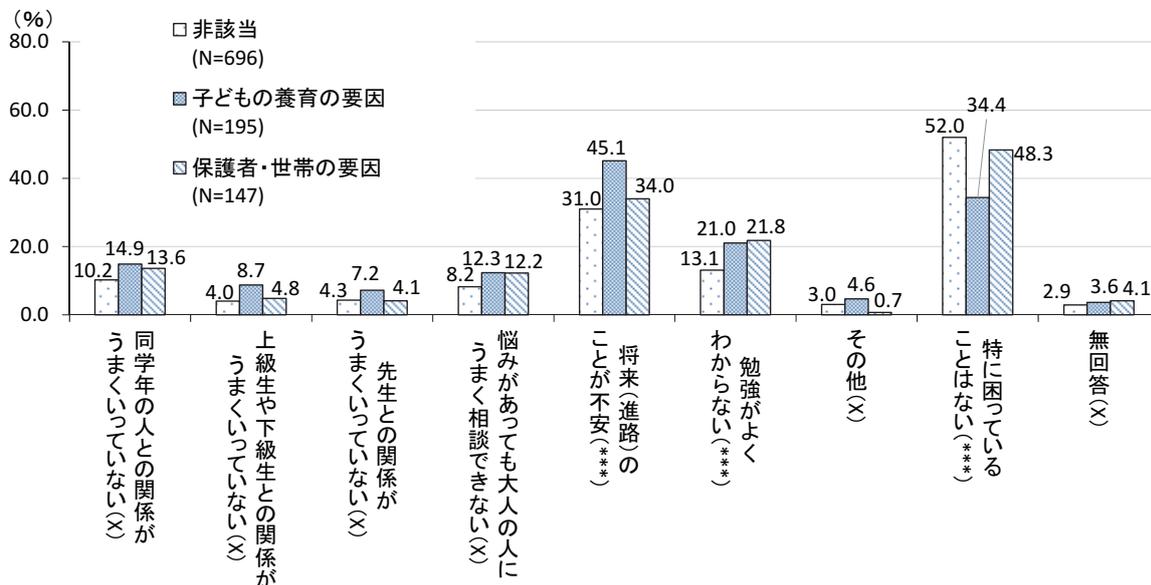
■潜在的養育困難層別

学校のことでの困りごとを潜在的養育困難層別にみると、小学生ではほぼすべての項目で、非該当層よりも潜在的養育困難層で比較的回答割合が高かった。中学生では、「子どもの養育の要因」層で「将来（進路）のことが不安」と回答した割合が45.1%と高かった。

図表5-4-8-4 学校のことでの困りごと 潜在的養育困難層別クロス集計 小学生



図表5-4-8-5 学校のことでの困りごと 潜在的養育困難層別クロス集計 中学生



6. 自由記述について

(1) 保護者の自由記述

① 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（5歳児保護者）

【5歳保問46】

5歳児保護者に対し、必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることを尋ねたところ、合計690件の自由記述が寄せられた。

「子ども・子育て家庭に対する支援施策」に関する意見が7割を占めており、子育て世帯への経済的支援や、子育てに関する相談等に関する意見が多くなっていた。

「幼児期の教育・保育」に関する意見では保育所等の充実・改善、「子どもの居場所」に関する意見では放課後児童クラブの充実・改善に関する意見が多くみられた。

また、「子どもの教育」に関する意見では、子どもの教育費に関する悩みや支援についての意見が多くなっていた。

問 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（自由記述）

図表6-1-1-1 5歳児保護者自由記述
(必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること)

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=690) | 割合 (%) |
|------------------------------|---------------------------------|----------------------|-----------|
| 1. 幼児期の教育・保育に関すること | | 106 | 15.4% |
| 1 | 保育所等の充実・改善（待機児童を含む） | 54 | 7.8% |
| 2 | 幼児期の教育・保育の無償化、保育料 | 39 | 5.7% |
| 3 | 幼稚園の充実・改善 | 13 | 1.9% |
| 2. 小学生の居場所に関すること | | 158 | 22.9% |
| 1 | 放課後児童クラブの充実・改善（待機児童を含む） | 49 | 7.1% |
| 2 | 放課後・長期休みの子どもの居場所 | 44 | 6.4% |
| 3 | 学校の敷地内での子どもの居場所・学校の開放・補習 | 38 | 5.5% |
| 4 | 放課後児童クラブの利用料 | 27 | 3.9% |
| 3. 子どもの教育に関すること | | 158 | 22.9% |
| 1 | 子どもの教育費に関する悩み・支援（就学援助、教育の無償化含む） | 42 | 6.1% |
| 2 | 給食・給食費 | 36 | 5.2% |
| 3 | 教育制度、学校のルール（学区・制服・指定用品など含む） | 24 | 3.5% |
| 4 | 学校の施設・設備等 | 16 | 2.3% |
| 5 | 小学校への接続に関する不安、情報提供など支援 | 14 | 2.0% |
| 6 | 教職員に関すること（教員・人員配置・授業内容など含む） | 10 | 1.4% |
| 6 | PTA | 10 | 1.4% |
| 8 | いじめ・登校しぶり・不登校・フリースクール | 6 | 0.9% |
| 4. その他の子ども・子育て家庭に対する支援施策について | | 472 | 68.4% |
| 1 | 子育て世帯への経済的支援・住居費・家計の悩み | 55 | 8.0% |
| 2 | 子育てに関する相談・講座・イベント・仲間づくり | 53 | 7.7% |
| 3 | 小児医療・医療費助成・健診・予防接種 | 44 | 6.4% |
| 3 | 防犯・交通安全・登下校の安全確保・不審者対策等 | 44 | 6.4% |
| 5 | 一時預かり（ファミリー・サポート・センター含む） | 40 | 5.8% |
| 6 | 公園・スポーツ施設・遊び場 | 37 | 5.4% |
| 7 | 保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援 | 34 | 4.9% |

(つづき)

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=690) | 割合 (%) |
|-----|-----------------------------|----------------------|-----------|
| 8 | 障がい・発達障がいのある子どもへの支援 | 31 | 4.5% |
| 9 | 子育てに関する情報提供、広報 | 29 | 4.2% |
| 10 | ひとり親世帯への支援（児童扶養手当・養育費等） | 24 | 3.5% |
| 11 | 保護者、家族の心身の健康・障がいなどの悩み・ダブルケア | 17 | 2.5% |
| 12 | 病児保育・病院等への送迎支援・訪問診療 | 15 | 2.2% |
| 13 | DV・虐待・家族関係等の悩み、近隣の気になる家庭 | 11 | 1.6% |
| 14 | アンケート調査 | 10 | 1.4% |
| 15 | 図書館 | 9 | 1.3% |
| — | その他、市の教育・子育て支援 | 19 | 2.8% |
| その他 | | 31 | 4.5% |
| — | その他、行政への要望（教育・子育ての分野を除く） | 26 | 3.8% |
| — | その他 | 5 | 0.7% |
| 合 計 | | 925 | — |

図表6-1-1-2 5歳児保護者自由記述の上位10項目
(必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること)

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=690) | 割合 (%) |
|----|---------------------------------|----------------------|-----------|
| 1 | 子育て世帯への経済的支援・住居費・家計の悩み | 55 | 8.0% |
| 2 | 保育所等の充実・改善（待機児童を含む） | 54 | 7.8% |
| 3 | 子育てに関する相談・講座・イベント・仲間づくり | 53 | 7.7% |
| 4 | 放課後児童クラブの充実・改善（待機児童を含む） | 49 | 7.1% |
| 5 | 放課後・長期休みの子どもの居場所 | 44 | 6.4% |
| 5 | 小児医療・医療費助成・健診・予防接種 | 44 | 6.4% |
| 5 | 防犯・交通安全・登下校の安全確保・不審者対策等 | 44 | 6.4% |
| 8 | 子どもの教育費に関する悩み・支援(就学援助、教育の無償化含む) | 42 | 6.1% |
| 9 | 一時預かり（ファミリー・サポート・センター含む） | 40 | 5.8% |
| 10 | 幼児期の教育・保育の無償化、保育料 | 39 | 5.7% |

5歳児保護者の自由記述意見（上位10位の項目についての代表的意見）

- 1 子育て世帯への経済的支援・住居費・家計の悩み
 - 子どもが多いほど負担が大きいため、家庭の援助を手厚くしてほしい
 - 児童手当を増額してほしい
 - 児童手当は収入に関係なく平等にしてほしい／所得制限をなくしてほしい
 - 公営住宅に入りやすくしてほしい／家賃補助をしてほしい

2 保育所等の充実・改善（待機児童を含む）

- 保育所の待機児童をなくしてほしい／保育所に入りたいが入れない
- サービス業などは、日曜・祝日の勤務があるため子どもの保育が必要
- 保育所のある地域に偏りがある／自宅から近い保育所が少なく自宅から遠い保育所に預けざるを得ない
- 保育所は園によって質が違いすぎる

3 子育てに関する相談・講座・イベント・仲間づくり

- 頼れる先がなく孤立している／育児に行き詰まっているが、子育てに関する悩みをどこに相談すればいいのかわからない
- 公的な機関への相談はハードルが高く感じる／子育てについて気軽に相談できる場所があるとよい
- 近隣の方、同年代の子どもを持つ親同士のつながりが持てる場がほしい
- 子育てについて切れ目なく相談できる支援が必要だと思う
- 行事の参加人数や機会を増やし、参加しやすくしてほしい

4 放課後児童クラブの充実・改善（待機児童を含む）

- 放課後児童クラブの待機児童をなくしてほしい／放課後児童クラブを増やしてほしい
- 放課後児童クラブの開所時間を延長してほしい（終了時間、長期休み等の開所時間）
- 高学年でも放課後児童クラブを利用できるようにしてほしい
- 就学前に放課後児童クラブの情報を知りたい。放課後児童クラブの公開情報が少なく、小学校入学後の生活のイメージがわからない。
- 放課後児童クラブに入るとイベントの運営参加、係、当番の仕事が負担

5 放課後・長期休みの子どもの居場所

- 放課後児童クラブを毎日利用するほどではないようなパートタイムをしているが、子どもが小学生になると放課後に預けられるところがなくて困っている
- フルタイムで働いていない人が、夏休み等の長期休みに子どもを預ける場がない
- 近隣市にあるような※、小学生が放課後や長期休みを過ごせる仕組みがあるとよい
（※横浜市のはまっ子スクール、川崎市のわくわくプラザ等の放課後子ども教室）
- 小学生が安心して子ども同士で過ごせる居場所が近隣にほしい

5 小児医療・医療費助成・健診・予防接種

- 医療費助成の対象年齢を上げてほしい（通院を中学校卒業までなど）
- 医療費助成の所得制限をなくしてほしい
- 任意接種の予防接種費用を補助してほしい
- 小児科がない／少ない／閉院した
- 働いていると指定された平日に子どもの健診を受けるのは難しい

5 防犯・交通安全・登下校の安全確保・不審者対策等

- 登下校時の事故や不審者が不安
- 集団登校・集団下校にしてほしい
- 通学路に危険がある（狭い、自動車通行量が多い）
- 通学路の安全性を確保してほしい（歩道、ガードレール、街灯、監視カメラなど）
- 通学路の見守り、パトロールをしてほしい

8 子どもの教育費に関する悩み・支援(就学援助、教育の無償化含む)

- 子どもの今後の教育費に対して経済的な不安がある／生活がギリギリの状態、子どもに教育を受けさせることができるのか不安
- 子どもの教育に対する公的資金が少なすぎる
- 高校や大学での進学費用を支援してほしい／高校を無償化してほしい
- 習いごとの費用が高い／習いごとをさせたいが金銭面で難しい

9 一時預かり（ファミリー・サポート・センター含む）

- （親が）仕事、病気等のときに子どもを預けられるところがほしい
- 一時預かりの予約がなかなか取れず利用ができない／利用できる枠を増やしてほしい／一時預かりを気軽に利用できるようにしてほしい
- ファミリー・サポート・センターの登録、利用をしやすくしてほしい／事前手続きなどが分かりにくく利用できない
- ファミリー・サポート・センターを利用しているが、料金がもう少し安価であると使いやすい

10 幼児期の教育・保育の無償化、保育料

- 保育料が高い／保育料の負担が大きい
- 子どもの数が同じでも、きょうだいの年齢差によって幼稚園就園奨励費補助金に大きな差が出る／上の子どもが卒園した後も、下のきょうだいの保育料の減免をしてほしい
- 保育料無償化について詳しく知りたい
- 幼児教育無償化に幼児教室を含めてほしい

② 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（小学生保護者）

【小中保問 40】

小学生保護者に対し、必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることを尋ねたところ、合計 384 件の自由記述が寄せられた。

「子どもの居場所」に関する意見が 4 割を占めており、小学校の敷地内での子どもの居場所や、公共施設等を活用した子どもの居場所、小学校の長期休暇中の子どもの居場所に関する意見が多くなっていた。また、放課後等の補習や学習支援を求める意見も多くみられた。

「子どもの教育」に関する意見では、教育費が高いことに対する不安や支援を求める意見、中学校給食の導入を求める意見が多くみられた。

問 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（自由記述）

図表 6-1-2-1 小学生保護者自由記述
(必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること)

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=384) | 割合 (%) |
|------------------------------|------------------------------------|----------------------|-----------|
| 1. 子どもの居場所に関すること | | 158 | 41.1% |
| 1 | 学校の敷地内での子どもの居場所・学校の開放 | 44 | 11.5% |
| 1 | 子どもの居場所（地域子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む） | 44 | 11.5% |
| 3 | 学習支援・補習・学習できる場 | 31 | 8.1% |
| 4 | 長期休暇・休日の子どもの居場所 | 18 | 4.7% |
| 5 | 放課後児童クラブの充実・改善 | 12 | 3.1% |
| 6 | 放課後児童クラブの利用料 | 9 | 2.3% |
| 2. 子どもの教育に関すること | | 139 | 36.2% |
| 1 | 子どもの教育費に関する悩み・支援 | 28 | 7.3% |
| 2 | 給食・給食費 | 22 | 5.7% |
| 3 | 障がい・発達障がいのある子どもへの支援、特別支援教育 | 21 | 5.5% |
| 4 | 教育制度、学校のルール（学区・制服・指定用品など含む） | 20 | 5.2% |
| 5 | 教職員に関すること（教員・人員配置・授業内容など含む） | 19 | 4.9% |
| 6 | いじめ・登校しぶり・不登校 | 13 | 3.4% |
| 7 | PTA | 9 | 2.3% |
| 8 | 学校の施設・設備等 | 7 | 1.8% |
| 3. その他の子ども・子育て家庭に対する支援施策について | | 202 | 52.6% |
| 1 | 医療・医療費助成・健診 | 29 | 7.6% |
| 2 | 公園・スポーツ施設・遊び場 | 27 | 7.0% |
| 3 | 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み | 24 | 6.3% |
| 4 | 子育てに関する相談・講座・仲間づくり | 22 | 5.7% |
| 5 | 一時預かり・送迎支援（病児保育、ファミリー・サポート・センター含む） | 21 | 5.5% |
| 6 | 保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援 | 15 | 3.9% |
| 7 | 防犯・交通安全・通学路・登下校の安全確保等 | 14 | 3.6% |
| 8 | ゲーム、スマートフォン、インターネット等に関すること | 12 | 3.1% |
| 9 | DV・虐待・家族関係等の悩み、近隣の気になる家庭 | 10 | 2.6% |
| 10 | アンケート調査 | 8 | 2.1% |
| — | その他、市の教育・子育て支援 | 20 | 5.2% |
| その他 | | 20 | 5.2% |
| 合計 | | 519 | — |

図表 6-1-2-2 小学生保護者自由記述の上位 10 項目
(必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること)

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=384) | 割合 (%) |
|----|------------------------------------|----------------------|-----------|
| 1 | 学校の敷地内での子どもの居場所・学校の開放 | 44 | 11.5% |
| 1 | 子どもの居場所(地域子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む) | 44 | 11.5% |
| 3 | 学習支援・補習・学習できる場 | 31 | 8.1% |
| 4 | 医療・医療費助成・健診 | 29 | 7.6% |
| 5 | 子どもの教育費に関する悩み・支援 | 28 | 7.3% |
| 6 | 公園・スポーツ施設・遊び場 | 27 | 7.0% |
| 7 | 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み | 24 | 6.3% |
| 8 | 給食・給食費 | 22 | 5.7% |
| 8 | 子育てに関する相談・講座・仲間づくり | 22 | 5.7% |
| 10 | 障がい・発達障がいのある子どもへの支援、特別支援教育 | 21 | 5.5% |
| 10 | 一時預かり・送迎支援(病児保育、ファミリー・サポート・センター含む) | 21 | 5.5% |

小学生保護者の自由記述意見 (上位 10 位の項目についての代表的意見)

1 学校の敷地内での子どもの居場所・学校の開放

- 放課後に自由に利用できる安全な場所が必要である。できれば学校に残れる場所があればよい。
- 学校の中に夕方まで子どもが滞在できるような環境がほしい
- 小学生が放課後や長期休みの間も預かってくれる場所がないと安心して働けない
- 放課後に校庭を開放してほしい

1 子どもの居場所(地域子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)

- 両親ともフルタイムで働くことが一般的となると思うので、行政が子どもの居場所、子育てのサポートを考えてほしい
- 放課後児童クラブ以外に、放課後に子どもが利用できる居場所を増やしてほしい／放課後に安全にすごせる場所が学校の近くにあるとよい／パートタイム、不定期で働く親の子どもが利用できる放課後の居場所が必要
- 高学年の子どもの居場所が少ない／高学年の子どもが過ごせる屋内の場所が必要
- 子どもが遊べる場所が少ない／地域の子どもの家、児童館、図書館など午後 5 時までしか利用できない
- 自習室のある図書館を充実してほしい

3 学習支援・補習・学習できる場

- 子どもが多く、集中して勉強する時間が少ないため、静かに勉強できる空間がほしい
- 近くに自習室などがあるといいと思う／気軽に立ち寄って宿題ができるような場所がほしい。
- 無料で使える自習室がない。長期休みだけでも、市民センターの空き部屋等を開放してほしい

- 地域の人や大学生が勉強を無料でみてくれるような場所がほしい
 - 放課後や土曜日、長期休み等に、学校で勉強を教えてほしい
- 4 医療・医療費助成・健診
- 藤沢市の小児医療証制度は大変ありがたい
 - 中学生までの医療費免除があるとありがたい／中学卒業まで所得制限なしで継続してほしい
 - 仕事をしていて、子どもが必要な時に医療機関等を受診することが難しい
 - 子どもの急病の際、小児科の予約がいっぱい受診できなかった
 - 歯科矯正に対する一部補助などをしてほしい
- 5 子どもの教育費に関する悩み・支援
- 多子世帯だが、子ども全員の今後の学費等を払えるか心配である
 - 高校受験には塾が必須のように感じるが、塾代を負担するのは厳しい
 - 高校や大学進学に対する支援をしてほしい／子どもの進学の希望を叶えてあげられない
 - 子どもに色々な体験をさせたいが、習い事の費用がかなりかかる
 - 就学援助の対象範囲を広げてほしい／子どもの学費に関する支援を拡充してほしい
- 6 公園・スポーツ施設・遊び場
- 子どもがのびのびと遊べる場所（公園等）が少ない／公園の遊具が少ない
 - 子どもたちが自由、かつ安全に体を動かせる環境を充実させてほしい
 - 公園で球技が禁止されていて、サッカーや野球をできる場所がない／ボール遊びのできる公園が少ない
 - 子どもの年齢にあった遊ぶためのスペースが不足している
- 7 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み
- 収入が低いわけではないが、子ども3人を育てることにとっても不安を感じている
 - 家賃負担が大きい／家賃の支援をお願いしたい
 - 児童手当を増額してほしい
 - 児童手当等の所得制限を設けるのをやめてもらいたい／児童手当は子ども一人ひとりに平等に支援してほしい
 - 母子家庭への支援が少ない
- 8 給食・給食費
- 中学校給食の導入を早めてほしい／フルタイムで働いているのでお弁当を毎日作るのが大変
 - 給食費が高い／給食費の値上がりは困る
 - 給食のアレルギー対策を望む／子どもにアレルギーがあるが保護者の給食の負担が大きい
- 8 子育てに関する相談・講座・仲間づくり
- 子育ての協力者、相談できる人がいない／地域に知り合いや頼れる人がいない
 - 子育てに関わる全ての人々が安心して悩みを打ち明けられる場所があるとよい／気軽に子育てについて話し合える場所、相談できる場所がほしい／子どもの成長に応じてアドバイスを欲しい

- 子育ての悩みを相談できる場所を知りたい／相談の窓口を一本化してほしい
 - 幼児が同年代の子と一緒に、お母さんと参加できる無料の集まりがない
- 10 障がい・発達障がいのある子どもへの支援、特別支援教育
- すべての小学校に特別支援学級を設置してほしい
 - 発達障がいに関して先生に理解してほしい／発達障がいに関して先生の理解が少ない
 - 療育手帳は持っていないが困りごとを抱えている子どもがサポートを受けられるようになってほしい
 - 発達に心配な子どもの通える施設や受けられる支援について情報がない
 - 発達の遅れ、発達障がいのある子どもたちへの個別の学習支援や補習を設けてほしい／学校で介助をする人が増えてほしい
 - 小学校で「すまいる」という通級指導教室に通っているが、中学生向けに通級指導教室がないことが不安
- 10 一時預かり・送迎支援（病児保育、ファミリー・サポート・センター含む）
- 仕事で帰りが遅くなる時に、子どもを預かってくれる人や施設がほしい
 - 家族が入院したとき、自分が病院に行くとき、買い物で外出するときなどに子どもを預ける場所がほしい
 - ファミリー・サポート・センターを使いやすくしてほしい／手続きすることがままならず、願っているまでのハードルが高くて利用できなかった
 - 産後にうつ状態になり大変だった時期に、数時間でも誰かが子どもをみてくれたらと思った。そうすれば、虐待が減るのではないか。

③ 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（中学生保護者）

【小中保問 40】

中学生保護者に対し、必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることを尋ねたところ、合計 217 件の自由記述が寄せられた。「子どもの教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」「医療・医療費助成・健診」「学習支援・補習・学習できる場」「子どもの居場所（放課後児童クラブ含む）」についての意見が多くなっていた。

問 必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること（自由記述）

図表 6-1-3-1 中学生保護者自由記述
（必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること）

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=217) | 割合 (%) |
|--------------------------|------------------------------------|----------------------|-----------|
| 1. 子どもの教育・学習に関すること | | 119 | 54.8% |
| 1 | 子どもの教育費に関する悩み・支援 | 31 | 14.3% |
| 2 | 学習支援・補習・学習できる場 | 19 | 8.8% |
| 3 | 部活動 | 16 | 7.4% |
| 4 | 学校教育の充実 | 10 | 4.6% |
| 4 | 教育制度、学校のルール（PTA、指定用品など含む） | 10 | 4.6% |
| 6 | 教職員に関すること（教員・人員配置・授業内容など含む） | 9 | 4.1% |
| 7 | 障がい・発達障がいのある子どもへの支援、特別支援教育 | 8 | 3.7% |
| 7 | 給食・給食費 | 8 | 3.7% |
| 9 | 高校進学に関する支援 | 5 | 2.3% |
| 10 | いじめ・登校しぶり・不登校 | 3 | 1.4% |
| 2. 子ども・子育て家庭に対する支援施策について | | 132 | 60.8% |
| 1 | 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み | 26 | 12.0% |
| 2 | 医療・医療費助成・健診 | 24 | 11.1% |
| 3 | 子どもの居場所（放課後児童クラブ含む） | 18 | 8.3% |
| 4 | 子育てに関する相談・講座・仲間づくり | 15 | 6.9% |
| 5 | 保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援 | 8 | 3.7% |
| 6 | 一時預かり・送迎支援（病児保育、ファミリー・サポート・センター含む） | 7 | 3.2% |
| 6 | ひとり親世帯への支援（児童扶養手当、養育費） | 7 | 3.2% |
| 8 | ゲーム、スマートフォン、インターネット等に関すること | 6 | 2.8% |
| 8 | 防犯・交通安全・不審者対策等 | 6 | 2.8% |
| 8 | DV・虐待・家族関係等の悩み、近隣の気になる家庭 | 6 | 2.8% |
| — | その他、市の教育・子育て支援 | 9 | 4.1% |
| その他、行政への要望（教育・子育ての分野を除く） | | 9 | 4.1% |
| 合 計 | | 260 | — |

図表6-1-3-2 中学生保護者自由記述の上位10項目
(必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいること)

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=217) | 割合 (%) |
|----|-----------------------------|----------------------|-----------|
| 1 | 子どもの教育費に関する悩み・支援 | 31 | 14.3% |
| 2 | 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み | 26 | 12.0% |
| 3 | 医療・医療費助成・健診 | 24 | 11.1% |
| 4 | 学習支援・補習・学習できる場 | 19 | 8.8% |
| 5 | 子どもの居場所（放課後児童クラブ含む） | 18 | 8.3% |
| 6 | 部活動 | 16 | 7.4% |
| 7 | 子育てに関する相談・講座・仲間づくり | 15 | 6.9% |
| 8 | 学校教育の充実 | 10 | 4.6% |
| 8 | 教育制度、学校のルール（PTA、指定用品など含む） | 10 | 4.6% |
| 10 | 教職員に関すること（教員・人員配置・授業内容など含む） | 9 | 4.1% |

中学生保護者の自由記述意見（上位10位の項目についての代表的意見）

1 子どもの教育費に関する悩み・支援

- 教育にかかる費用（制服・体操服・教材・部活動・修学旅行等）が高い／教育費がかかりすぎる
- 塾の費用負担が大きい／学校では高校の進学の具体的なアドバイスを受けられないので塾に通って受験対策をしなければならぬ／塾に通わないと学歴に差が出る世の中はおかしい
- 大学、高校等を無償化してほしい／子どもが多いと全員を大学に行かせることが難しい／所得が低いと子どもが低学歴になってしまう
- 大学進学を考えると経済的に不安である

2 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み

- 子どもには、経済的な心配をさせずに、やりたいことをさせてあげたい／子どもを進学させたいので、親の老後の備えをすることは経済的に難しい
- 生活のために仕事をしているが、仕事の時間が長くなり子どものために時間が使えない、そのような状況で子どもの学力を上げることは困難と感じる
- 児童手当を増やしてほしい
- 家賃補助があるとよい
- 部活動の遠征などで中学生の交通費が大人料金となり負担が大きい、割引があるとよい

3 医療・医療費助成・健診

- 中学生・高校生まで医療費の支援制度がほしい
- 部活動が盛んになりけがをすることが増える。中学生までは医療費の負担を減らしてほしい。
- 予防接種の費用を補助してほしい
- 中学生以下を診療する精神科や心療内科が少ない
- 歯の矯正は費用負担が大きく、支援してほしい

4 学習支援・補習・学習できる場

- 公共施設の空き部屋を利用して、子どもが無料で利用できる自習室が開放されているとよい／子どもが勉強できる図書館や学習室（自習室）があるとよい／家に勉強をできる机、場所がないので、静かに勉強をできる場があるとよい
- 図書館の閉館時間が早く、遅い時間まで勉強する場所がない
- 進学や勉強方法等について学校以外で相談できる場所がほしい
- 夏休みなどに学校の図書室や教室を開放してほしい、塾ではなく、学校中心の学習が当たり前になってほしい
- 子どもが学校の授業についていけないので、勉強を教えてもらえるところがあると助かる／塾は高くて行かせられないし、自分では勉強を教えられない

5 子どもの居場所（放課後児童クラブを含む）

- 他市のように学校内の放課後児童クラブがあるとよい
- 長期休みの子どもの居場所が必要
- 居心地のよい子どもの居場所づくりが必要である／ファーストフード店等以外で、子どもたちが外で集う場所、お喋りできる場があるとよい
- 子どもが悩んでいることなどを話せる、相談できる居場所があるとよい
- 不登校の子どもが学校以外で気がねなくいける場所があるとよい／様々な理由で学校生活を送れない子どもに、学校以外の安全な「場」の提供は重要

6 部活動

- 部活動の時間が長い／休みが少ない／部活動の終了時間が遅く、帰宅が不安
- 部活動の費用負担が大きい（ユニフォーム、道具が高価である、交通費がかかる等）
- 部活動の指導者の指導が厳しい
- 部活動の道具を学校で用意してほしい／部活動の道具を揃えることが大変なので借りられるようにしてほしい
- 部活動だけでなく幅広い経験をさせたい。家族の時間をつくりたいので、土日のどちらかは部活動の休みを設けてほしい。

7 子育てに関する相談・講座・仲間づくり

- 子育てに追われる母親が息抜きできる場所があるとよい
- 受験や反抗期の子どもを抱える母親が相談できる機関がない
- 進学や勉強方法、子どもとのコミュニケーション、子どもの友人関係などについて学校以外で相談できる場所がほしい
- 子どもとの信頼関係をどうすればうまく築くことができるかを悩んでいる
- 生まれ育った環境で虐待を受け、子育てに悩み、相談したくても相談できない親や子どもがたくさんいると思う。救ってくれる場所、身近な地域全体で守るシステムができるとよいと思う。

8 学校教育の充実

- 学校での学習の充実をお願いしたい
- 塾に通わなくてもいいように学校の教育に力を入れてほしい
- 学校でしっかり勉強できる社会であってほしい／学校の勉強だけで高校に入れるようになったらよいと思う
- 学校の授業にボランティア活動や救命方法を教える時間があるとよい
- 中学校は学校に行く機会が少なく、学校の様子がわかりづらい

8 教育制度、学校のルール（PTA、指定用品など含む）

- 中学校の制服が高い。制服のリサイクルの仕組みがあると良い。
- 中学校指定の体操服や上履きなどが高額。指定のものでなく、市販のものでよいのではないか。
- 教材費の負担が大きい
- PTA 活動の負担が重い／母子家庭、父子家庭、フルタイムで働く人にとって PTA 活動の負担が大きい

10 教職員に関すること（教員・人員配置・授業内容など含む）

- 先生により授業の質や学級運営等の差が大きい
- 先生の指導(指導力)に対して不満がある
- 信頼できる先生がいることが子どもの支えになる
- スクールカウンセラーに相談しにくい
- プライバシーが守られる形で相談できるようにしてほしい／相談していることを周囲に知られたくない

(2) 子どもの自由記述

① 将来の夢 (小学生)

【小子問 26-1】

小学生に対し、将来の夢があると答えた人に、「その夢は何ですか」と尋ねたところ、1,097人から合計1,406件の自由記述が寄せられた。

職業分野では、「スポーツ（サッカー、野球、水泳、テニス、陸上の選手）」、「医療治療（医師、看護師、助産師）」、「動物・ペット（獣医師、ペットショップスタッフ、動物園の飼育係）」、「映画・テレビ（モデル、芸能人、声優、アナウンサー）」、「保育・こども（保育士、幼稚園教諭）」、「パン・菓子づくり（パティシエ、パン職人）」に関する自由意見が多くなっていた。

問 (将来の夢が「ある」と答えた人について) その夢は何ですか (自由記述)

図表 6-2-1-1 小学生自由記述 (将来の夢)

| 分野 | 職業分野 (代表的な回答) | 件数 (件) (N=1,097) | 割合 (%) |
|-----------|----------------------------------|------------------------|-----------|
| アートと表現 | | 274 | 25.0% |
| | 映画・テレビ (モデル、芸能人、声優、アナウンサー) | 68 | 6.2% |
| | 舞台・イベント (ダンサー、バレエダンサー、舞台俳優) | 33 | 3.0% |
| | ゲーム (ゲームクリエイター・デザイナー、ゲーマー) | 33 | 3.0% |
| | アニメ・マンガ (漫画家) | 31 | 2.8% |
| | Web (ユーチューバー) | 30 | 2.7% |
| | 本・雑誌・新聞 (作家、編集者、将棋棋士) | 26 | 2.4% |
| | 音楽づくり (歌手、ピアニスト、音楽教師) | 25 | 2.3% |
| | グラフィックデザイン (イラストレーター) | 17 | 1.5% |
| | アート・写真 (カメラマン、書道家、画家) | 11 | 1.0% |
| スポーツ | | 254 | 23.2% |
| | スポーツ (サッカー、野球、水泳、テニス、陸上の選手) | 254 | 23.2% |
| 医療・福祉 | | 130 | 11.9% |
| | 医療治療 (医師、看護師、助産師) | 99 | 9.0% |
| | 保健・薬 (薬剤師) | 18 | 1.6% |
| | その他 (介護士、歯科医師、診療放射線技師) | 13 | 1.2% |
| 自然 | | 130 | 11.9% |
| | 動物・ペット (獣医師、ペットショップスタッフ、動物園の飼育係) | 85 | 7.7% |
| | 環境・自然・バイオ (気象予報士) | 12 | 1.1% |
| | 宇宙 (宇宙飛行士、宇宙開発技術者) | 12 | 1.1% |
| | 酪農・畜産・水産 (漁師、水産系研究・技術者) | 11 | 1.0% |
| | 植物・フラワー (フローリスト) | 5 | 0.5% |
| | 農業・林業 (農業) | 5 | 0.5% |
| 教育・保育・子ども | | 116 | 10.6% |
| | 保育・こども (保育士、幼稚園教諭) | 62 | 5.7% |
| | 教諭 (学校の先生、大学教授) | 44 | 4.0% |
| | 学校・教育 (司書、塾講師) | 10 | 0.9% |
| 食 | | 99 | 9.0% |
| | パン・菓子づくり (パティシエ、パン職人) | 61 | 5.6% |
| | 料理・調理 (料理人、調理師) | 22 | 2.0% |
| | 食・栄養 (カフェオーナー、飲食店オーナー) | 12 | 1.1% |
| | その他 | 4 | 0.4% |

(つづき)

| 分野 | 職業分野（代表的な回答） | 件数 （件） (N=1,097) | 割合 （%） |
|----|---|------------------------|-----------|
| | ファッション・ビューティー | 63 | 5.7% |
| | ファッションをつくる（ファッションデザイナー） | 32 | 2.9% |
| | 美容・理容（美容師） | 15 | 1.4% |
| | ファッションビジネス（スタイリスト、ショップスタッフ） | 6 | 0.5% |
| | メイクアップ（ヘア&メイクアップアーティスト） | 5 | 0.5% |
| | その他（ネイルアーティスト） | 5 | 0.5% |
| | 旅・思い出・乗り物 | 60 | 5.5% |
| | 旅行・観光・テーマパーク（テーマパークスタッフ） | 17 | 1.5% |
| | 鉄道（電車運転士、鉄道関係の仕事） | 14 | 1.3% |
| | 自動車・二輪自動車（エンジニア、レーサー） | 13 | 1.2% |
| | 航空（パイロット、客室乗務員） | 11 | 1.0% |
| | その他 | 5 | 0.5% |
| | 行政・法律・国際関係 | 44 | 4.0% |
| | 公務員（警察官、公務員、消防官） | 28 | 2.6% |
| | 政治・法律（弁護士） | 13 | 1.2% |
| | その他（通訳） | 3 | 0.3% |
| | 住まい・街づくり | 33 | 3.0% |
| | 建築（建築家、大工） | 32 | 2.9% |
| | その他 | 1 | 0.1% |
| | 金融・ビジネス | 29 | 2.6% |
| | ビジネス・経営（販売、接客・案内、会社社長） | 25 | 2.3% |
| | その他（不動産） | 4 | 0.4% |
| | 科学技術・ものづくり | 12 | 1.1% |
| | コンピュータ・IT（プログラマー） | 7 | 0.6% |
| | 機械・電気・化学（ロボット設計技術者） | 5 | 0.5% |
| | その他の代表的な回答（サラリーマン、お金持ち、研究者、科学者、オリンピックに出るなど） | 162 | 14.8% |
| | 合 計 | 1,406 | — |

② 将来の夢（中学生）

【中子問 26-1】

中学生に対し、将来の夢があると答えた人に、「その夢は何ですか」と尋ねたところ、490人から合計583件の自由記述が寄せられた。

職業分野では、「スポーツ（サッカー選手、プロスポーツ選手、野球選手）」、「保育・子ども（保育士、幼稚園教諭）」、「医療治療（看護師、医師、助産師）」、「動物・ペット（トリマー、動物園の飼育係、獣医師）」、「教諭（学校の先生）」に関する自由意見が多くなっていた。

問 （将来の夢が「ある」と答えた人について）その夢は何ですか（自由記述）

図表 6-2-2-1 中学生自由記述（将来の夢）

| 分野 | 職業分野（代表的な回答） | 件数 (件) (N=490) | 割合 (%) |
|---------------|-----------------------------------|----------------------|-----------|
| アートと表現 | | 97 | 19.8% |
| | 映画・テレビ（芸能人、声優、モデル） | 21 | 4.3% |
| | 音楽づくり（歌手、音楽教師、音楽関係の仕事） | 17 | 3.5% |
| | グラフィックデザイン（イラストレーター） | 12 | 2.4% |
| | 舞台・イベント（ダンサー、バレエダンサー、ダンスインストラクター） | 10 | 2.0% |
| | ゲーム（ゲームクリエイター） | 8 | 1.6% |
| | 本・雑誌・新聞（作家、編集者） | 7 | 1.4% |
| | アート・写真（書道家） | 8 | 1.6% |
| | その他 | 14 | 2.9% |
| 教育・保育・子ども | | 69 | 14.1% |
| | 保育・子ども（保育士、幼稚園教諭） | 40 | 8.2% |
| | 教諭（学校の先生） | 24 | 4.9% |
| | 学校・教育（司書） | 5 | 1.0% |
| スポーツ | | 63 | 12.9% |
| | スポーツ（サッカー選手、プロスポーツ選手、野球選手） | 63 | 12.9% |
| 旅・思い出・乗り物 | | 52 | 10.6% |
| | 旅行・観光・テーマパーク（テーマパークスタッフ） | 17 | 3.5% |
| | 航空（客室乗務員、空港職員、パイロット） | 14 | 2.9% |
| | 自動車・二輪自動車（エンジニア） | 8 | 1.6% |
| | 鉄道（電車運転士） | 5 | 1.0% |
| | その他（ブライダルコーディネーター） | 8 | 1.6% |
| 医療・福祉 | | 51 | 10.4% |
| | 医療治療（看護師、医師、助産師） | 40 | 8.2% |
| | 保健・薬（薬剤師） | 7 | 1.4% |
| | その他 | 4 | 0.8% |
| 自然 | | 37 | 7.6% |
| | 動物・ペット（トリマー、動物園の飼育係、獣医師） | 27 | 5.5% |
| | その他（農業、宇宙飛行士） | 10 | 2.0% |
| ファッション・ビューティー | | 34 | 6.9% |
| | 美容・理容（美容師） | 13 | 2.7% |
| | ファッションビジネス（ファッションデザイナー、アパレルメーカー） | 13 | 2.7% |
| | メイクアップ（ヘア&メイクアップアーティスト） | 7 | 1.4% |
| | その他 | 1 | 0.2% |

(つづき)

| 分野 | 職業分野（代表的な回答） | 件数 （件） (N=490) | 割合 （%） |
|--|------------------------|----------------------|-----------|
| 食 | | 29 | 5.9% |
| | パン・菓子づくり（パティシエ、パン職人） | 11 | 2.2% |
| | 料理・調理（調理師、料理人） | 11 | 2.2% |
| | 食・栄養（栄養士） | 6 | 1.2% |
| | その他 | 1 | 0.2% |
| 行政・法律・国際関係 | | 29 | 5.9% |
| | 公務員（警察官、公務員、消防官） | 19 | 3.9% |
| | その他（通訳、外国語を使った仕事、弁護士） | 10 | 2.0% |
| 住まい・街づくり | | 17 | 3.5% |
| | 建築（建築家、大工） | 15 | 3.1% |
| | その他 | 2 | 0.4% |
| 科学技術・ものづくり | | 11 | 2.2% |
| | コンピュータ・IT（プログラマー、IT企業） | 6 | 1.2% |
| | その他（ロボット設計技術者） | 5 | 1.0% |
| 金融・ビジネス | | 8 | 1.6% |
| | ビジネス・経営（社長、自営業） | 7 | 1.4% |
| | その他 | 1 | 0.2% |
| その他の代表的な回答（会社員、外国に行く、お金持ち、科学者、人の役にたつ仕事、自分の好きなことを活かす、スポーツの全国大会出場など） | | 86 | 17.6% |
| 合 計 | | 583 | — |

③ 大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていること（小学生）

【小子問 35】

小学生に対し、大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていることを尋ねたところ、合計176件の自由記述が寄せられた。「友達との関係・いじめ」「勉強・授業・宿題」「学校のルール・制度・学区」「学校の先生」「親・家族の関係」についての意見が多くなっていた。

問 大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていること（自由記述）

図表 6-2-3-1 小学生自由記述（大人にお願いしたいこと、困っている事）で多かった意見

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=176) | 割合 (%) |
|-----|----------------|----------------------|-----------|
| 1 | 友達との関係・いじめ | 38 | 21.6% |
| 2 | 勉強・授業・宿題 | 26 | 14.8% |
| 3 | 学校のルール・制度・学区 | 25 | 14.2% |
| 4 | 学校の先生 | 21 | 11.9% |
| 4 | 親・家族の関係 | 21 | 11.9% |
| 6 | 公園・遊び場 | 17 | 9.7% |
| 7 | 自分の持ち物（おこづかい） | 15 | 8.5% |
| 8 | 学校の施設・設備 | 13 | 7.4% |
| 9 | 将来のこと・進路 | 4 | 2.3% |
| 9 | 子どもの意見を聞く | 4 | 2.3% |
| 9 | 通学路の安全 | 4 | 2.3% |
| 12 | 不登校・学校に行きたくない | 3 | 1.7% |
| 12 | 悩みごとの相談・相手 | 3 | 1.7% |
| 12 | 自由な時間・遊ぶ時間 | 3 | 1.7% |
| 15 | 自分の健康・体調（心の悩み） | 2 | 1.1% |
| — | その他 | 10 | 5.7% |
| 合 計 | | 209 | — |

小学生の自由記述意見 （上位 10 位の項目についての代表的意見）

1 友達との関係・いじめ

- クラスに仲の良い人がいない
- 友達と喧嘩をしている
- 止めてと言っても嫌がらせを受ける。悪口を言われる。
- 先生のいないところで友達がいじめを受けている。助けてあげたい。
- 友達をたくさん作りたい。

2 勉強・授業・宿題

- 勉強が分からない。分かるように教えてほしい。
- 何のために勉強をするのか分からない
- 宿題を減らしてほしい。宿題をなくしてほしい。
- 学校の勉強を難しくしてほしい。授業の進め方が遅い。
- （教科名）が苦手／（教科名）の時間を減らしてほしい／（教科名）をなくしてほしい

3 学校のルール・制度・学区

- 休み時間、遊び時間を増やしてほしい
- 給食の時間が短い。給食が少ない／多い／バイキングにしてほしい
- ランドセルが重い。教科書を学校に置いて帰りたい。
- 学校の図書館を土日也使いたい。本を増やしてほしい。

4 学校の先生

- 先生の教え方が分かりにくい
- 先生が人によって態度を変える。接し方に差がある。
- 先生の口が悪い、先生が冷たい、無視される
- 嫌い、苦手な先生がいる
- 学校の先生は面白い

4 親・家族の関係

- 親の仲が悪い。父親と母親に仲良くしてほしい。
- 親と喧嘩をする。
- きょうだい喧嘩が激しい。
- 家がうるさい。うるさくて勉強に集中できない。
- 親から怒鳴られる。親から言葉の暴力を受ける。叩かれる。

6 公園・遊び場

- ボール遊び（野球、サッカーなど）ができる公園・場所が欲しい
- スポーツのできる公園が少ない。公園を増やしてほしい。
- 友達と遊べる場所、友達と安く食事できる場所がほしい
- 雨の日に遊べる場所がほしい

7 自分の持ち物（おこづかい）

- 自分の部屋が欲しい
- おこづかいを増やしてほしい
- スマートフォンがほしい
- ゲームがほしい
- 友達と同じような新しい服を買ってほしい。新しい筆箱を買ってほしい。

8 学校の施設・設備

- 学校にクーラーをつけてほしい
- 学校のトイレをきれいにしてほしい。和式から洋式に変えてほしい。
- 学校のパソコンを増やしてほしい。クラスの人数分のパソコンがないので練習ができない。
- 図書館が古い。本を増やしてほしい。

9 将来のこと・進路

- 将来のことが不安
- 進路、高校や大学に入れるか心配

9 子どもの意見を聞く

- 子どもの気持ちになってほしい
- 子どもの言い分を聞いてほしい
- LGBTについてよく考えてほしい

9 通学路の安全

- 夜、ひとりで暗い道を帰るのが怖い。不審者情報があり登下校が心配。
- 通学路が狭くて危険

④ 大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていること（中学生）

【中子問 35】

中学生に対し、大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていることを尋ねたところ、合計169件の自由記述が寄せられた。「学校の先生」「部活動」「勉強・授業・宿題」「友達との関係・いじめ」「学校のルール・制度・学区」「親・家族の関係」についての意見が多くなっており、学校に関連することが上位となっていた。

問 大人にお願いしたいこと、毎日の生活や学校で困っていること（自由記述）

図表6-2-4-1 中学生自由記述（大人にお願いしたいこと、困っている事）で多かった意見

| 順位 | 自由記述の分類 | 件数 (件) (N=169) | 割合 (%) |
|-----|----------------|----------------------|-----------|
| 1 | 学校の先生 | 34 | 20.1% |
| 2 | 部活動 | 29 | 17.2% |
| 3 | 勉強・授業・宿題 | 28 | 16.6% |
| 4 | 友達との関係・いじめ | 24 | 14.2% |
| 5 | 学校のルール・制度・学区 | 15 | 8.9% |
| 5 | 親・家族の関係 | 15 | 8.9% |
| 7 | 自分の健康・体調（心の悩み） | 13 | 7.7% |
| 8 | 学校の施設・設備 | 11 | 6.5% |
| 9 | 不登校・学校に行きたくない | 6 | 3.6% |
| 10 | 悩みごとの相談・相手 | 4 | 2.4% |
| 11 | 進路 | 3 | 1.8% |
| 11 | 子どもの意見を聞く | 3 | 1.8% |
| 11 | 公園・遊び場 | 3 | 1.8% |
| — | その他 | 18 | 10.7% |
| 合 計 | | 206 | — |

中学生の自由記述意見 (上位 10 位の項目についての代表的意見)

1 学校の先生

- 先生の教え方が分かりにくい
- 先生が生徒を平等に扱わない
- 先生と生徒の関係が良くない
- 学校に嫌な先生がいる
- 相談をしてもその場しのぎで対応してもらえない

2 部活動

- 部活動の拘束時間が長い、休みが欲しい
- 部活動が厳しすぎる
- 部活動で使う道具 (楽器など) を新しくしてほしい
- 部活動の人間関係で揉めている
- 部活動を辞めたい

3 勉強・授業・宿題

- 授業が分からない、分かりやすく教えてほしい
- 授業のやり方、教え方に不満がある
- 興味が出るような、おもしろい授業をしてほしい
- 教材が多くて重い
- 宿題を減らしてほしい

4 友達との関係・いじめ

- クラスに仲の良い人がいない
- 友達同士の関係が良くない
- 周囲にいじめを受けている人がいる。仲間外れにされている人がいる。
- 人間関係の悩みがある
- 人間関係が面倒

5 学校のルール・制度・学区

- 学校の昼食の時間を長くしてほしい
- 学校の制服や髪型のルールが厳しい
- 中学校の制服が冬は寒い
- 学校から家までの距離が遠く学区を見直してほしい

5 親・家族の関係

- 親の仲が悪く、喧嘩しているのを聞いていて苦しい、ストレスがたまる
- 親から成績のことを言われたり、怒られることが苦しい
- 親に対して口ごたえをしてしまう。喧嘩をしてしまう。
- きょうだいとの仲が悪い

7 自分の健康・体調（心の悩み）

- 自分の身長や体型のこと
- 毎日疲れる。体調が良くない。
- 不安でしんどくなる。人に会いたくない。

8 学校の施設・設備

- 学校の設備を充実してほしい。設備が古い。
- トイレが汚い、におう
- 校庭が狭いので、別の場所に運動場が欲しい
- 学校をきれいにしてほしい

9 不登校・学校に行きたくない

- 学校に行きたくない、学校をなくしてほしい
- 学校に行けない
- 今は学校に行けないが、いつか行けるようになりたい

10 悩みごとの相談・相手

- 気軽に悩みを話せる場所がほしい
- 24時間電話でのカウンセリングをしている所が混んでいる。増やしてほしい。
- 相談したいことがあったとしても、自分から相談したり、解決するのはそう簡単にできない

参考資料 アンケート調査票

子どもと子育て家庭の生活実態調査 (5歳児保護者票)

調査へのご協力をお願い

この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、藤沢市の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答をもとに、平成32年度からの5カ年計画を策定し、子どもたちのための支援策の充実や改善につなげてまいりますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願いします。

ご記入にあたってのご注意

- このアンケートは、封筒の宛名のお子さんの保護者の方が、お答えください。
- ごきょうだいなどで、このアンケート用紙を複数受け取った場合、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれのアンケート用紙に回答をお願いします。
- この調査は無記名です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- 回答は、質問番号の順番に、鉛筆か、黒または青のボールペンで、回答の番号に○をつけてください。お答えになりたくない質問には、無回答のまま、次の質問にお進みください。
- 「その他」に○をつけた場合は、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、返送用の封筒に入れて郵送してください。
- 回答結果は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

提出期限 平成30年10月15日（月曜日）

この調査は、藤沢市が実施しています。調査に関するお問い合わせ、ご意見などは、次の市役所担当課までお願いします。

藤沢市役所子育て企画課

電話番号：0466-50-3562（直通） } 月曜日～金曜日（祝日を除く）
ファックス番号：0466-50-8428 } 8：30～17：00
メールアドレス：fj1-kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp

★この調査に協力できない場合は、下の欄にチェックを入れてください。

この調査に協力することはできません。

→チェックを入れた方は次ページからの質問に回答する必要はありません。返送用の封筒に入れ、封をして郵送してください。

※このアンケートのなかの「お子さん」とは、封筒の宛名のお子さんを指します。

あなたの世帯のことについてうかがいます

問1 お住まいの地区としてあてはまるものをお選びください。わからない場合は、「14. 郵便番号」にご自宅の郵便番号をご記入ください。（あてはまる番号1つに○、またはカッコ内に記入）

| | | | |
|---------|-----------|--------|--------|
| 1. 六会 | 2. 片瀬 | 3. 明治 | 4. 御所見 |
| 5. 遠藤 | 6. 長後 | 7. 辻堂 | 8. 善行 |
| 9. 湘南大庭 | 10. 湘南台 | 11. 鵜沼 | 12. 藤沢 |
| 13. 村岡 | 14. 郵便番号（ | | ） |

問2 お子さんとあなた（回答者）との関係は、次のどれになりますか。お子さんから見た続柄で、お答えください。（あてはまる番号1つに○）

| | | | |
|---|-------------|-------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. 兄・姉 | 6. その他（具体的に | | ） |
| 7. 施設職員（→施設職員の方は以後の設問に対して、回答できる範囲で回答して下さい。） | | | |

問3 あなたの世帯の状況について教えてください。

問3-1 あなたと、宛名のお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。

ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。

（口内に数字を記入）

| | |
|--|---|
| | 人 |
|--|---|

問3-2 お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか。

（あてはまる番号1つに○）

| | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問3-3 お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。

宛名のお子さんを含め、すべての子どもの人数をお答えください。

（口内に数字を記入）

| | |
|--|---|
| | 人 |
|--|---|

問3-4 お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんから見た続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

| | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 宛名のお子さん本人 | 2. 母親 | 3. 父親 |
| 4. 兄・姉 | 5. 弟・妹 | 6. 祖母 |
| 7. 祖父 | 8. おじ・おばなど親戚 | 9. その他の人 |

問4 現在お住いの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 持ち家(マンション含む) | 2. 民間の賃貸住宅 |
| 3. 市営・県営の賃貸住宅 | 4. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅 |
| 5. 社宅・公務員住宅 | 6. 間借り・その他 |

問4-1 1か月あたりの住宅ローン支払額・家賃・間代はいくらですか。

※共益費または管理費を含んだ額をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 住宅ローン・家賃・間代の負担はない | 2. 5万円未満 |
| 3. 5~10万円未満 | 4. 10~15万円未満 |
| 5. 15~20万円未満 | 6. 20万円以上 |
| 7. わからない | |

お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

問5 お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。

※お子さんにお母さまがいらっしゃる場合は、問6にお進みください。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. 勤め(常勤・正規職員) | } 「1」~「5」を選んだ方 →問5-1へ |
| 2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務) | |
| 3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務) | |
| 4. 自営業・家業 | } 「6」~「9」を選んだ方 →問6へ |
| 5. その他の働き方をしている | |
| 6. 専業主婦 | |
| 7. 学生 | |
| 8. 無職 | |
| 9. わからない | |



問 5-1 問 5 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお母さまは、1 週間に平均何時間、お仕事をされていますか。

※複数のお仕事をお持ちの場合は合算してください。 (あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 10 時間未満 | 2. 10～20 時間未満 | 3. 20～30 時間未満 |
| 4. 30～40 時間未満 | 5. 40～50 時間未満 | 6. 50～60 時間未満 |
| 7. 60～70 時間未満 | 8. 70～80 時間未満 | 9. 80 時間以上 |
| 10. わからない | | |

問 5-2 問 5 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 早朝 (5～8 時) | 2. 夜勤 (20 時～22 時) |
| 3. 深夜勤務 (22 時～5 時) | 4. 土曜出勤 |
| 5. 日曜・祝日出勤 | 6. その他 (具体的に) |
| 7. 平日の日中以外の勤務はない | |

全員にうかがいます

問 6 お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。 (あてはまる番号すべてに○)

※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 7 にお進みください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1. 勤め (常勤・正規職員) | } 「1」～「5」を選んだ方 →問 6-1 へ |
| 2. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で 1 か所に勤務) | |
| 3. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で 2 か所以上に勤務) | |
| 4. 自営業・家業 | |
| 5. その他の働き方をしている | |
| 6. 専業主夫 | } 「6」～「9」を選んだ方 →問 7 へ |
| 7. 学生 | |
| 8. 無職 | |
| 9. わからない | |

問 6-1 問 6 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお父さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。

(あてはまる番号1つに○)

※複数のお仕事をお持ちの場合は合算してください。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 10 時間未満 | 2. 10～20 時間未満 | 3. 20～30 時間未満 |
| 4. 30～40 時間未満 | 5. 40～50 時間未満 | 6. 50～60 時間未満 |
| 7. 60～70 時間未満 | 8. 70～80 時間未満 | 9. 80 時間以上 |
| 10. わからない | | |

問 6-2 問 6 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 早朝 (5～8 時) | 2. 夜勤 (20 時～22 時) |
| 3. 深夜勤務 (22 時～5 時) | 4. 土曜出勤 |
| 5. 日曜・祝日出勤 | 6. その他 (具体的に) |
| 7. 平日の日中以外の勤務はない | |

お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

全員にうかがいます

問 7 宛名のお子さんの性別を教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男子 | 2. 女子 |
|-------|-------|

問 8 お子さんは、平日に毎日朝ごはんを食べますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いつも食べる (週に5日) | 2. 食べるほうが多い (週に3,4日) |
| 3. 食べないほうが多い (週に1,2日) | 4. いつも食べない |

問 9 お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に朝ごはんを食べていますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いつも食べる (週に5日) | 2. 食べるほうが多い (週に3,4日) |
| 3. 食べないほうが多い (週に1,2日) | 4. いつも食べない |

問 10 お子さんは、平日に毎日夕ごはんを食べますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いつも食べる (週に5日) | 2. 食べるほうが多い (週に3,4日) |
| 3. 食べないほうが多い (週に1,2日) | 4. いつも食べない |

問 11 お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に夕ごはんを食べていますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いつも食べる (週に5日) | 2. 食べるほうが多い (週に3,4日) |
| 3. 食べないほうが多い (週に1,2日) | 4. いつも食べない |

問 12 お子さんの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------|---------|--------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう |
| 4. あまりよくない | 5. よくない | |

問 13 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思っただが、実際には受診させなかったことがありましたか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. あった →問 13-1 へ | 2. なかった →問 14 へ |
|------------------|-----------------|

問 13-1 問 13で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。その理由は何ですか。次の中から、あてはまるものに○をつけてください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため |
| 2. 子ども本人が受診したがらなかったため |
| 3. 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため |
| 4. 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため |
| 5. 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため |
| 6. 自分の健康状態が悪かったため |
| 7. その他(具体的に) |

問 14 お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 受けたことがある →問 14-1 へ | 2. 受けたことはない →問 15 へ |
|-----------------------|---------------------|

問 14-1 問 14で「1. 受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それはどのような診断ですか。あてはまるものに○をつけてください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 身体障がい | 2. 知的な遅れ |
| 3. 発達障がい | 4. その他(具体的に) |

問 15 お子さんの虫歯の状態について教えてください。 (あてはまる番号1つに○)

| | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 虫歯になったことがない | 2. 虫歯があった (全部治療した) |
| 3. まだ治療していない虫歯がある | 4. わからない |

問 16 お子さんは歯磨きの習慣がありますか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問 17 あなたや他の保護者の方が、お子さんの歯磨きの仕上げ磨きをしますか。 (あてはまる番号1つに○)

| | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

問 18 子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | どちらかといえばあてはまらない | あてはまらない | |
|---|----------------------------------|-------|---------------|-----------------|---------|---|
| A | お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B | お子さんと一緒にからだを使った運動をする | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C | お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D | 休みの日にお子さんと一緒に外出をする | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E | お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F | テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G | お子さんに努力することの大切さを伝えている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H | お子さんに最後までやり抜くことの大げさを伝えている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| I | お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| J | お子さんと、その日の出来事、友だちのことについて話をする | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| K | 普段から、お子さんの話を最後まで聞くようにしている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| L | お子さんに、絵本の読み聞かせをしている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| M | 地域のおまつりやイベントと一緒に参加している | → | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 19 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | ある | ない | | |
|----------------------|----|---------|--------|---------|
| | | 金銭的な理由で | 時間の制約で | その他の理由で |
| A 海水浴に行く → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 博物館・美術館・水族館などに行く → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C キャンプやバーベキューに行く → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D スポーツ観戦や劇場、映画に行く → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E 遊園地やテーマパークに行く → | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 20 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

A~Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | している | 経済的に できない | その他の 理由で していない |
|----------------------------|------|--------------|----------------------|
| A 毎年新しい洋服・靴を買う → | 1 | 2 | 3 |
| B 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる → | 1 | 2 | 3 |
| C お誕生日のお祝いをする → | 1 | 2 | 3 |
| D 1年に1回くらい家族旅行に行く → | 1 | 2 | 3 |
| E クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる → | 1 | 2 | 3 |
| F 子どもの園行事などへ保護者が参加する → | 1 | 2 | 3 |

問 21 次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの年齢に合った本 | 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ |
| 3. 洗濯機 | 4. 炊飯器 |
| 5. 掃除機 | 6. 暖房機器 |
| 7. 冷房機器 | 8. 電子レンジ |
| 9. 電話（固定電話・携帯電話を含む） | 10. インターネットにつながるパソコン |
| 11. 新聞の定期購読（ネット購読の場合も含む） | 12. 世帯専用のお風呂 |
| 13. 世帯人数分のベッドまたは布団 | 14. 急な出費のための貯金（5万円以上） |
| 15. 自家用車 | 16. 自転車 |
| 17. 1～16 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません | |

問 22 お子さんが今現在通っている保育・教育機関をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 保育所・保育施設 | 2. 幼稚園 | 3. 認定こども園※ |
| 4. その他（具体的に |) 5. 通っていない | |

※認定こども園は幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持つ施設です。

問 23 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. 中学校まで | 2. 高等学校まで | 3. 高専・短大・専門学校等まで |
| 4. 大学またはそれ以上 | 5. まだわからない | |

問 24 宛名のお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|---------------------------------------|----------------------|--|
| 1. 子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、整理整頓など）が身につけていない | 2. 子どもの食事や栄養管理 | |
| 3. 子どもの心身の発達や病気 | 4. 子どもが何事に対しても消極的である | |
| 5. 子どもの友人関係 | 6. 子どもがなかなか言うことを聞かない | |
| 7. 子どもとのコミュニケーションが取れていない | 8. 子どもの教育費 | |
| 9. 子育てに配偶者の協力が得られない | 10. 子育て仲間がいない | |
| 11. 子どもに対するしつけや教育に自信が持てない | 12. 子育てが楽しいと思えない | |
| 13. その他（具体的に |) | |
| 14. 上記のような心配や悩みはない | | |

あなたのことについてうかがいます

問 25 あなたの年齢を教えてください。 (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代以上 | 6. 答えたくない |

問 26 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。 (あてはまる番号1つに○)

| | |
|--------------------|----------------|
| 1. 結婚している (事実婚を含む) | 2. 離婚 (別居中を含む) |
| 3. 死別 | 4. 未婚・非婚 |

問 27 あなたは、平日に朝ごはんを食べますか。 (あてはまる番号1つに○)

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いつも食べる (週に5日) | 2. 食べるほうが多い (週に3,4日) |
| 3. 食べないほうが多い (週に1,2日) | 4. いつも食べない |

問 28 あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。 (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|------------|---------|--------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう |
| 4. あまりよくない | 5. よくない | |

問 29 次のA~Eの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。 (あてはまる番号1つに○)

| | いつも | たいてい | ときどき | 少しだけ | 全くない |
|--------------------------------------|-----|------|------|------|------|
| A そわそわ、落ち着かなく感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B 気分が沈みこんで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C 何をするのも面倒だと感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| D 絶望的だと感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| E 自分は価値のない人間だと感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

問 32 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 |
| 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい | |

問 33 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。 (あてはまる番号1つに○)

| | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 収入は足りていて、毎月貯蓄をしている | 2. 収入は足りているが、貯蓄はしていない |
| 3. 収入の範囲でなんとかやりくりしている | 4. 収入が足りず、貯蓄を取り崩している |
| 5. 収入が足りず、借金で生活している | 6. その他(具体的に) |

問 34 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 35 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 36 過去1年の間に、経済的な理由で、次のA~Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | あった | なかった | 該当しない (払う必要がない) |
|---|----------|-----|------|--------------------|
| A | 電話料金 → | 1 | 2 | 3 |
| B | 電気料金 → | 1 | 2 | 3 |
| C | ガス料金 → | 1 | 2 | 3 |
| D | 水道料金 → | 1 | 2 | 3 |
| E | 家賃 → | 1 | 2 | 3 |
| F | 住宅ローン → | 1 | 2 | 3 |
| G | その他の債務 → | 1 | 2 | 3 |

問 37 あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | 受けている | 受けたことがある | 受けたことはない |
|---|-------------------|-------|----------|----------|
| A | 児童手当 → | 1 | 2 | 3 |
| B | 就学援助 ※1 → | 1 | 2 | 3 |
| C | 児童扶養手当 ※2 → | 1 | 2 | 3 |
| D | 障がいや難病の手当 ※3 → | 1 | 2 | 3 |
| E | 生活保護 → | 1 | 2 | 3 |
| F | 公的年金(老齢年金) → | 1 | 2 | 3 |
| G | 公的年金(遺族年金、障害年金) → | 1 | 2 | 3 |
| H | 雇用保険(失業保険) → | 1 | 2 | 3 |
| I | 養育費 → | 1 | 2 | 3 |
| J | 親・親族からの仕送り → | 1 | 2 | 3 |
| K | その他、株式配当などの副収入 → | 1 | 2 | 3 |

※1 「就学援助」とは、公立小中学校に就学しているお子さんがいる家庭で、経済的な事情で就学にお困りな家庭に対して学用品費や給食費など就学にかかる費用の一部を援助する制度です。

※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしていない18歳到達後最初の年度末までの児童(児童に政令で定める程度の障がいがある場合は20歳未満の児童)を監護しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。中学生までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい児福祉手当、重度心身障がい者介護手当などがあります。

問 38 前年(2017年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。

(あてはまる番号1つに○)

※収入には、働いて得た給料だけでなく、問37でお答えいただいた公的な手当、養育費や仕送りなどの援助、株式配当などの副収入も含んだ額でお答えください。

※税金や社会保険料を払った後の額をお答えください。

※複数の収入源がある場合(お父さまに勤労収入、お母さまに事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

| | | |
|---------------------|-------------------|---------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～150万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 6. 250～300万円未満 |
| 7. 300～350万円未満 | 8. 350～400万円未満 | 9. 400～450万円未満 |
| 10. 450～500万円未満 | 11. 500～550万円未満 | 12. 550～600万円未満 |
| 13. 600～650万円未満 | 14. 650～700万円未満 | 15. 700～750万円未満 |
| 16. 750～800万円未満 | 17. 800～850万円未満 | 18. 850～900万円未満 |
| 19. 900～950万円未満 | 20. 950～1,000万円未満 | 21. 1,000～1,100万円未満 |
| 22. 1,100～1,200万円未満 | 23. 1,200万円以上 | 24. わからない |

お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます
⇒ 回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 45 にお進みください

問 39 お子さんのお母さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問 40 にお進みください。

- | | | |
|-----------|---------|----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高専、短大、専門学校等 |
| 4. 大学 | 5. 大学院 | 6. その他の教育機関 |
| 7. 答えたくない | | |

問 39-1 問 39 で「1」～「6」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお母さまは、問 39 で答えた学校を卒業されましたか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|---------|-----------|---------------|
| 1. 卒業した | 2. 中途退学した | 3. その他(具体的に) |
|---------|-----------|---------------|

問 40 お子さんのお父さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 41 にお進みください。

- | | | |
|-----------|---------|----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高専、短大、専門学校等 |
| 4. 大学 | 5. 大学院 | 6. その他の教育機関 |
| 7. 答えたくない | | |

問 40-1 問 40 で「1」～「6」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお父さまは、問 40 で答えた学校を卒業されましたか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|---------|-----------|---------------|
| 1. 卒業した | 2. 中途退学した | 3. その他(具体的に) |
|---------|-----------|---------------|



問 41 あなたが 15歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 両親世帯（祖父母との同居あり） | 2. 両親世帯（祖父母との同居なし） |
| 3. 母子世帯（祖父母との同居あり） | 4. 母子世帯（祖父母との同居なし） |
| 5. 父子世帯（祖父母との同居あり） | 6. 父子世帯（祖父母との同居なし） |
| 7. 児童養護施設などの施設 | 8. その他（具体的に) |

問 42 あなたが 15歳の頃、ご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがあった | 2. ややゆとりがあった | 3. 普通 |
| 4. やや苦しかった | 5. 大変苦しかった | |

問 43 あなたは、成人する前に次のような体験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 両親が離婚した | 2. 親が生活保護を受けていた |
| 3. 母親が亡くなった | 4. 父親が亡くなった |
| 5. 親などの親族から暴力を振るわれた | 6. 育児放棄（ネグレクト）された |
| 7. 1～6のいずれも経験したことがない | |

問 44 あなたはお子さんをもってから、次のような経験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. (元)配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある |
| 2. 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある |
| 3. 育児放棄になった時期がある |
| 4. 出産や育児でうつ病（状態）になった時期がある |
| 5. わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある |
| 6. 自殺を考えたことがある |
| 7. 1～6のいずれも経験したことがない |

子育てへの支援についてうかがいます

問 45 あなたは、子育てに関する情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、どのような方法で受け取りたいですか。
(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

| A 現在の受け取り方法 | B 今後、受け取りたい方法 |
|----------------------|----------------------|
| 1 行政機関の広報誌 | 1 行政機関の広報誌 |
| 2 行政機関のホームページ | 2 行政機関のホームページ |
| 3 SNS (LINE、ツイッターなど) | 3 SNS (LINE、ツイッターなど) |
| 4 園からのお便り (紙のもの) | 4 園からのお便り (紙のもの) |
| 5 子育てメールふじさわ | 5 子育てメールふじさわ |
| 6 家族や友人からの情報 | 6 家族や友人からの情報 |
| 7 その他 (具体的に) | 7 その他 (具体的に) |
| 8 特にない | 8 特にない |

問 46 あなたが必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることがありましたら、なんでもご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



子どもと子育て家庭の生活実態調査 (小学生・中学生保護者票)

調査へのご協力をお願い

この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、藤沢市の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答をもとに、平成32年度からの5カ年計画を策定し、子どもたちのための支援策の充実や改善につなげてまいりますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願いします。

ご記入にあたってのご注意

- このアンケートは、この調査票を受け取ったお子さんの保護者の方が、お答えください。
- ごきょうだいなどで、このアンケート用紙を複数受け取った場合、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれのアンケート用紙に回答をお願いします。
- この調査は無記名です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- 回答は、質問番号の順番に、鉛筆か、黒または青のボールペンで、回答の番号に○をつけてください。お答えになりたくない質問には、無回答のまま、次の質問にお進みください。
- 「その他」に○をつけた場合は、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、小さい茶色の封筒に三つ折りにして入れ、封をして、同様に封をしたお子さんの白色の封筒と一緒に返送用の封筒に入れて郵送してください。
- 回答結果は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 調査票にご回答いただく際には、お子さんと保護者の回答がお互いに見えないよう、別々の場所でご記入ください。なお、お子さんの回答内容は見ないようにお願いします。

提出期限 平成30年10月15日(月曜日)

この調査は、藤沢市が実施しています。調査に関するお問い合わせ、ご意見などは、次の市役所担当課までお願いします。

藤沢市役所子育て企画課

電話番号：0466-50-3562(直通)

ファックス番号：0466-50-8428

メールアドレス：fj1-kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp

月曜日～金曜日(祝日を除く)

8:30～17:00

★この調査に協力できない場合は、下の欄にチェックを入れてください。

この調査に協力することはできません。

→チェックを入れた方は次ページからの質問に回答する必要はありません。三つ折りにして小さい茶色の封筒に入れ、封をして郵送してください。

※このアンケートのなかの「お子さん」とは、この調査票を受け取ったお子さんを指します。

あなたの世帯のことについてうかがいます

問1 お子さんとあなた（回答者）との関係は、次のどれになりますか。お子さんから見た続柄で、お答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | | | |
|---|--------------|-------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. 兄・姉 | 6. その他（具体的に） | | |
| 7. 施設職員（→施設職員の方は以後の設問に対して、回答できる範囲で回答して下さい。） | | | |

問2 あなたの世帯の状況について教えてください。

問2-1 あなたと、この調査票を受け取ったお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。（口内に数字を記入）

| | |
|--|---|
| | 人 |
|--|---|

問2-2 お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問2-3 お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。この調査票を受け取ったお子さんを含め、すべての子どもの人数をお答えください。（口内に数字を記入）

| | |
|--|---|
| | 人 |
|--|---|

問2-4 お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. この調査票を受け取ったお子さん本人 | 2. 母親 |
| 3. 父親 | 4. 兄・姉 |
| 5. 弟・妹 | 6. 祖母 |
| 7. 祖父 | 8. おじ・おばなど親戚 |
| 9. その他の人 | |

問3 現在お住いの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 持ち家（マンション含む） | 2. 民間の賃貸住宅 |
| 3. 市営・県営の賃貸住宅 | 4. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅 |
| 5. 社宅・公務員住宅 | 6. 間借り・その他 |

問 3-1 1 か月あたりの住宅ローン支払額、家賃、間代はいくらですか。

※共益費または管理費を含んだ額をお答えください。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|----------------------|---------------|--------------|
| 1. 住宅ローン・家賃・間代の負担はない | 2. 5 万円未満 | 3. 5～10 万円未満 |
| 4. 10～15 万円未満 | 5. 15～20 万円未満 | 6. 20 万円以上 |
| 7. わからない | | |

お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

全員にうかがいます (お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問 5 にお進みください)

問 4 お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1. 勤め (常勤・正規職員) | } 「1」～「5」を選んだ方 →問 4-1 へ |
| 2. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で 1 か所に勤務) | |
| 3. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で 2 か所以上に勤務) | |
| 4. 自営業・家業 | |
| 5. その他の働き方をしている | |
| 6. 専業主婦 | } 「6」～「9」を選んだ方 →問 5 へ |
| 7. 学生 | |
| 8. 無職 | |
| 9. わからない | |

問 4-1 問 4 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお母さまは、1 週間に平均して合計何時間、お仕事をされていますか。

※複数のお仕事をお持ちの場合は合算してください。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 10 時間未満 | 2. 10～20 時間未満 | 3. 20～30 時間未満 |
| 4. 30～40 時間未満 | 5. 40～50 時間未満 | 6. 50～60 時間未満 |
| 7. 60～70 時間未満 | 8. 70～80 時間未満 | 9. 80 時間以上 |
| 10. わからない | | |

問 4-2 問 4 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 早朝 (5～8 時) | 2. 夜勤 (20 時～22 時) |
| 3. 深夜勤務 (22 時～5 時) | 4. 土曜出勤 |
| 5. 日曜・祝日出勤 | 6. その他 (具体的に) |
| 7. 平日の日中以外の勤務はない | |

全員にうかがいます（お子さんにお父さまがいっしょにいない場合は、問6にお進みください）

問5 お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. 勤め（常勤・正規職員） | } 「1」～「5」を選んだ方 →問5-1へ |
| 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） | |
| 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） | |
| 4. 自営業・家業 | |
| 5. その他の働き方をしている | |
| 6. 専業主夫 | } 「6」～「9」を選んだ方 →問6へ |
| 7. 学生 | |
| 8. 無職 | |
| 9. わからない | |

問5-1 問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお父さまは、1週間に平均して合計何時間、お仕事をされていますか。

※複数のお仕事をお持ちの場合は合算してください。（あてはまる番号1つに○）

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 10時間未満 | 2. 10～20時間未満 | 3. 20～30時間未満 |
| 4. 30～40時間未満 | 5. 40～50時間未満 | 6. 50～60時間未満 |
| 7. 60～70時間未満 | 8. 70～80時間未満 | 9. 80時間以上 |
| 10. わからない | | |

問5-2 問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。

お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|------------------|----------------|
| 1. 早朝（5～8時） | 2. 夜勤（20時～22時） |
| 3. 深夜勤務（22時～5時） | 4. 土曜出勤 |
| 5. 日曜・祝日出勤 | 6. その他（具体的に） |
| 7. 平日の日中以外の勤務はない | |

お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

全員にうかがいます

問6 子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | あてはまる | どちらかといえ ばあてはまる | どちらかといえ ばあてはまらない | あてはまらない | |
|---|--------------------------------------|-------|-------------------|---------------------|---------|---|
| A | お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをした | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B | 毎日、お子さんに朝食を食べさせている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C | お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D | お子さんの勉強をみる | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E | お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F | 休みの日にお子さんと一緒に外出をする | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G | お子さんと一緒にスポーツをする | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H | テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| I | 携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールや約束ごとをつくっている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| J | お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| K | お子さんに努力することの大切さを伝えている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| L | お子さんに最後までやり抜くことの大切さを伝えている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| M | お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている | → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| N | 地域社会などでのボランティア活動に参加するようにお子さんに促している | → | 1 | 2 | 3 | 4 |

問7 お子さんの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号1つに○)

| | | |
|------------|---------|--------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう |
| 4. あまりよくない | 5. よくない | |

問 11 あなたの家庭では、お子さんに次のことをしていますか。
 A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、
 あてはまるものに○をつけてください。

(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

| | | している | 経済的に できない | その他の 理由で していない |
|---|---------------------------|------|--------------|----------------------|
| A | 毎月おこづかいを渡す → | 1 | 2 | 3 |
| B | 毎年新しい洋服・靴を買う → | 1 | 2 | 3 |
| C | 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる → | 1 | 2 | 3 |
| D | 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう) → | 1 | 2 | 3 |
| E | お誕生日のお祝いをする → | 1 | 2 | 3 |
| F | 1年に1回くらい家族旅行に行く → | 1 | 2 | 3 |
| G | クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる → | 1 | 2 | 3 |
| H | 子どもの学校行事などへ保護者が参加する → | 1 | 2 | 3 |

問 12 この調査票を受け取ったお子さんに係る教育費などについてうかがいます。

次のA~Dの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。

※費用がかからない場合は、0 とご記入ください。

(枠内に数字で回答してください)

| この調査票を受け取ったお子さんの： | 1 か月あたりの費用 |
|--|------------|
| A 塾など、学校外でかかる教育費 | 約 円 |
| B 習い事・スポーツクラブ・部活 | 約 円 |
| C おこづかい | 約 円 |
| D 携帯電話・スマートフォンの代金 ※携帯電話・スマートフォンを持たせていない場合は0 とご記入ください。 | 約 円 |

問 13 あなたのご家庭では、このお子さんのために就学援助を受けていますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

※就学援助は、公立小中学校に就学しているお子さんがいる家庭で、経済的な事情で就学にお困りな家庭に対して学用品費や給食費など就学にかかる費用の一部を援助する制度です。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 受けている | →問 14 へ |
| 2. 受けていない | →問 13-1 へ |
| 3. わからない | →問 14 へ |

問 13-1 問 13 で「2. 受けていない」を選んだ方にうかがいます。

受けていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 必要ないと判断して、申請しなかった |
| 2. 申請要件を満たしていなかったので、申請しなかった |
| 3. 申請の仕方がわからなかったので、申請しなかった |
| 4. 申請することに抵抗があったので、申請しなかった |
| 5. 申請したが、認定されなかった |
| 6. 就学援助制度を知らなかった |
| 7. その他(具体的に) |

問 14 次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1. 子どもの年齢に合った本 | 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ |
| 3. 子どもが自宅で学習をすることができる場所 | 4. 洗濯機 |
| 5. 炊飯器 | 6. 掃除機 |
| 7. 暖房機器 | 8. 冷房機器 |
| 9. 電子レンジ | 10. 電話(固定電話・携帯電話を含む) |
| 11. インターネットにつながるパソコン | 12. 新聞の定期購読(ネット購読の場合も含む) |
| 13. 世帯専用のおふる | 14. 世帯人数分のベッドまたは布団 |
| 15. 急な出費のための貯金(5万円以上) | 16. 自家用車 |
| 17. 自転車 | 18. 1～17 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません |

問 15 お子さんが就学前に通ったことのある保育・教育機関をすべてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|--------|
| 1. 保育所・保育施設 | 2. 幼稚園 |
| 3. その他(具体的に) | |

問 16 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. 中学校まで | 2. 高等学校まで | 3. 高専・短大・専門学校等まで |
| 4. 大学またはそれ以上 | 5. まだわからない | |

問 16-1 問 16 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。

あなたは、お子さんが問 16 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

問 16-2 問 16-1 で「2. 思わない」を選んだ方にうかがいます。

その理由について教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. お子さんの希望と異なるから | 2. お子さんの学力から考えて |
| 3. 経済的な余裕がないから | 4. その他（具体的に) |
| 5. 特に理由はない | |

問 17 この調査票を受け取ったお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、整理整頓など）が身につけていない | 2. 子どもの食事や栄養管理 |
| 3. 子どもの心身の発達や病気 | 4. 子どもが勉強しない |
| 5. 子どもの進学や受験が心配 | 6. 子どもが何事に対しても消極的である |
| 7. 子どもの非行や問題行動 | 8. 子どもが不登校である |
| 9. 子どもの友人関係 | 10. 子どもがなかなか言うことを聞かない |
| 11. 子どもとのコミュニケーションが取れていない | 12. 子どもの教育費 |
| 13. 子育てに配偶者の協力が得られない | 14. 子育て仲間がない |
| 15. 子どもに対するしつけや教育に自信が持てない | 16. 子育てが楽しいと思えない |
| 17. その他（具体的に) | |
| 18. 上記のような心配や悩みはない | |

あなたのことについてうかがいます

問 18 あなたの年齢を教えてください。 (あてはまる番号 1 つに○)

| | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代以上 | 6. 答えたくない |

問 19 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。 (あてはまる番号 1 つに○)

| | |
|--------------------|----------------|
| 1. 結婚している (事実婚を含む) | 2. 離婚 (別居中を含む) |
| 3. 死別 | 4. 未婚・非婚 |

問 20 あなたは、平日 (お子さんが学校に行く日) に朝ごはんを食べますか。 (あてはまる番号 1 つに○)

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いつも食べる (週に5日) | 2. 食べるほうが多い (週に3,4日) |
| 3. 食べないほうが多い (週に1,2日) | 4. いつも食べない |

問 21 あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。 (あてはまる番号 1 つに○)

| | | |
|------------|---------|--------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう |
| 4. あまりよくない | 5. よくない | |

問 22 次の A~E の質問について、あなたは、ここ 1 か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。 (それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

| | いつも | たいてい | ときどき | 少しだけ | 全くない |
|--------------------------------------|-----|------|------|------|------|
| A そわそわ、落ち着かなく感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B 気分が沈みこんで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C 何をするのも面倒だと感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| D 絶望的だと感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| E 自分は価値のない人間だと感じましたか → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

問 25 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 |
| 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい | |

問 26 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。 (あてはまる番号1つに○)

| | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 収入は足りていて、毎月貯蓄をしている | 2. 収入は足りているが、貯蓄はしていない |
| 3. 収入の範囲でなんとかやりくりしている | 4. 収入が足りず、貯蓄を取り崩している |
| 5. 収入が足りず、借金で生活している | 6. その他(具体的に) |

問 27 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 28 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 29 過去1年の間に、経済的な理由で、次の A~G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | あった | なかった | 該当しない (払う必要がない) |
|---|----------|-----|------|--------------------|
| A | 電話料金 → | 1 | 2 | 3 |
| B | 電気料金 → | 1 | 2 | 3 |
| C | ガス料金 → | 1 | 2 | 3 |
| D | 水道料金 → | 1 | 2 | 3 |
| E | 家賃 → | 1 | 2 | 3 |
| F | 住宅ローン → | 1 | 2 | 3 |
| G | その他の債務 → | 1 | 2 | 3 |

問 30 あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | | 受けている | 受けたことがある | 受けたことはない |
|---|-------------------|-------|----------|----------|
| A | 児童手当 → | 1 | 2 | 3 |
| B | 就学援助 ※1 → | 1 | 2 | 3 |
| C | 児童扶養手当 ※2 → | 1 | 2 | 3 |
| D | 障がいや難病の手当 ※3 → | 1 | 2 | 3 |
| E | 生活保護 → | 1 | 2 | 3 |
| F | 公的年金（老齢年金） → | 1 | 2 | 3 |
| G | 公的年金（遺族年金、障害年金） → | 1 | 2 | 3 |
| H | 雇用保険（失業保険） → | 1 | 2 | 3 |
| I | 養育費 → | 1 | 2 | 3 |
| J | 親・親族からの仕送り → | 1 | 2 | 3 |
| K | その他、株式配当などの副収入 → | 1 | 2 | 3 |

※1 「就学援助」とは、公立小中学校に就学しているお子さんがいる家庭で、経済的な事情で就学にお困りな家庭に対して学用品費や給食費など就学にかかる費用の一部を援助する制度です。

※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしていない18歳到達後最初の年度末までの児童（児童に政令で定める程度の障がいがある場合は20歳未満の児童）を監護しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。中学生までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい児福祉手当、重度心身障がい者介護手当などがあります。

問 31 前年（2017年）のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号1つに○）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、問30でお答えいただいた公的な手当、養育費や仕送りなどの援助、株式配当などの副収入も含んだ額でお答えください。

※税金や社会保険料を払った後の額をお答えください。

※複数の収入源がある場合（お父さまに勤労収入、お母さまに事業収入など）は、おおよその合算値（合計額）を教えてください。

| | | |
|---------------------|-------------------|---------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～150万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 6. 250～300万円未満 |
| 7. 300～350万円未満 | 8. 350～400万円未満 | 9. 400～450万円未満 |
| 10. 450～500万円未満 | 11. 500～550万円未満 | 12. 550～600万円未満 |
| 13. 600～650万円未満 | 14. 650～700万円未満 | 15. 700～750万円未満 |
| 16. 750～800万円未満 | 17. 800～850万円未満 | 18. 850～900万円未満 |
| 19. 900～950万円未満 | 20. 950～1,000万円未満 | 21. 1,000～1,100万円未満 |
| 22. 1,100～1,200万円未満 | 23. 1,200万円以上 | 24. わからない |

お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます
⇒ 回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 38 にお進みください

問 32 お子さんのお母さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。(あてはまる番号 1 つに○)
※お子さんにお母さまがいらない場合は、問 33 にお進みください。

- | | | |
|-----------|---------|----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高専、短大、専門学校等 |
| 4. 大学 | 5. 大学院 | 6. その他の教育機関 |
| 7. 答えたくない | | |

問 32-1 問 32 で「1」～「6」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお母さまは、問 32 で答えた学校を卒業されましたか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|-------------|---|
| 1. 卒業した | 2. 中途退学した | 3. その他（具体的に | ） |
|---------|-----------|-------------|---|

問 33 お子さんのお父さまが最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。(あてはまる番号 1 つに○)
※お子さんにお父さまがいらない場合は、問 34 にお進みください。

- | | | |
|-----------|---------|----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高専、短大、専門学校等 |
| 4. 大学 | 5. 大学院 | 6. その他の教育機関 |
| 7. 答えたくない | | |

問 33-1 問 33 で「1」～「6」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお父さまは、問 33 で答えた学校を卒業されましたか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|-------------|---|
| 1. 卒業した | 2. 中途退学した | 3. その他（具体的に | ） |
|---------|-----------|-------------|---|

問 34 あなたが 15 歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|--------------------|--------------------|---|
| 1. 両親世帯（祖父母との同居あり） | 2. 両親世帯（祖父母との同居なし） | |
| 3. 母子世帯（祖父母との同居あり） | 4. 母子世帯（祖父母との同居なし） | |
| 5. 父子世帯（祖父母との同居あり） | 6. 父子世帯（祖父母との同居なし） | |
| 7. 児童養護施設などの施設 | 8. その他（具体的に | ） |

問 35 あなたが 15 歳の頃、ご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがあった | 2. ややゆとりがあった | 3. 普通 |
| 4. やや苦しかった | 5. 大変苦しかった | |

問 36 あなたは、成人する前に次のような体験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 両親が離婚した | 2. 親が生活保護を受けていた |
| 3. 母親が亡くなった | 4. 父親が亡くなった |
| 5. 親などの親族から暴力を振るわれた | 6. 育児放棄（ネグレクト）された |
| 7. 1～6のいずれも経験したことがない | |

問 37 あなたはお子さんが生まれてから、次のような経験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. (元)配偶者（またはパートナー）から暴力をふるわれたことがある |
| 2. 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある |
| 3. 育児放棄になった時期がある |
| 4. 出産や育児でうつ病（状態）になった時期がある |
| 5. わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある |
| 6. 自殺を考えたことがある |
| 7. 1～6のいずれも経験したことがない |

子育てへの支援についてうかがいます

問 38 あなたは、子育てに関する情報をどういう方法で受け取っていますか。

また、今後、どういう方法で受け取りたいですか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

| A 現在の受け取り方法 | B 今後、受け取りたい方法 |
|---------------------|---------------------|
| 1 行政機関の広報誌 | 1 行政機関の広報誌 |
| 2 行政機関のホームページ | 2 行政機関のホームページ |
| 3 SNS（LINE、ツイッターなど） | 3 SNS（LINE、ツイッターなど） |
| 4 学校からのお便り（紙のもの） | 4 学校からのお便り（紙のもの） |
| 5 学校からのメール | 5 学校からのメール |
| 6 家族や友人からの情報 | 6 家族や友人からの情報 |
| 7 その他（具体的に) | 7 その他（具体的に) |
| 8 特にない | 8 特にない |

問 39 現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

| | | 使 つ て み たい | 興 味 が あ る | 使 いた く な い | 使 う 必 要 は な い |
|---|--|------------------------|-----------------------|------------------------|---------------------------------|
| A | (家以外で) お子さんが平日の放課後に夕方 6 時まで いることができる場所 → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B | (家以外で) お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降に いることができる場所 → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C | (家以外で) お子さんが休日にいることができる場所 → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D | 家の人がいないうき、お子さんが夕ごはんを他の人と 一緒に食べることができる場所 → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E | お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる 場所 → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F | 地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる 場所 → | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G | (学校以外で) お子さんがなんでも相談できる場所 → | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 40 あなたが必要と感じる支援や要望、困っていることや悩んでいることがありましたら、なんでも
ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

こ そだ かてい せいかつじったいちょうさ しょうがくせいひょう
子どもと子育て家庭の生活実態調査（小学生票）

ねが
お願い

- これは、藤沢市に住んでいる子どもたちが安心して大きくなれるように、大人が何をしなければならぬかを教えてもらうためのアンケートです。
 - このアンケートの内容がよくわからなかったら、おうちの方に意味を教えてください。でもよいですが、答えは自分の思うとおりに書いてください。
 - 名前は、書かないでください。
 - 答えたくない質問は、答えなくてよいです。自分の思うとおりに書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。答えが思いうかばない場合や答えたくない質問はそのまま飛ばして次に進んでください。
 - 答えは、あてはまる番号に○をつけるか、記号や文章で書いてください。
 - ○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○」や「あてはまる番号すべてに○」などと書いてありますので、それにしがってください。
- 例1 あなたの考えについて教えてください。
(1) 本を読むことは好きですか。 (あてはまる番号1つに○)
- | | | | | |
|---|-------|------------|---------------|------------|
| ① | あてはまる | 2. まああてはまる | 3. あまりあてはまらない | 4. あてはまらない |
|---|-------|------------|---------------|------------|
- 例2 次のうち、あなたが飼っている生きものを教えてください。 (あてはまる番号すべてに○)
- | | | | | |
|---|----|----------|---------------|----------------|
| ① | イヌ | 2. ネコ | 3. ウサギ | 4. 鳥 |
| ⑤ | 魚 | 6. ハムスター | ⑦ その他 (カ メ) | 8. 生きものは飼っていない |
- 全部書き終わったら、自分で三つ折りにして、白色の封筒に入れてとじてください。それを、おうちの方の封筒と一緒に、大きい白色の封筒に入れて郵便で送ってください。

この調査は、藤沢市が実施しています。調査に関して聞きたいこと、言いたいことなどは、

次の市役所担当課までお願いします。

藤沢市役所子育て企画課

電話番号：0466-50-3562（直通）

ファックス番号：0466-50-8428

メールアドレス：fj1-kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp

月曜日～金曜日（祝日を除く）

8：30～17：00

とい 問6 あなたは、^{きゅうしょく}給食をのぞいて、^{つぎ た もの}次の食べ物を^たふだんどれくらい食べますか。

(それぞれ、あてはまる^{ばんごう}番号1つに○)

| | | まいにち た 毎日食べる | しゅうかん 1週間に 4~5日 | しゅうかん 1週間に 2~3日 | しゅうかん 1週間に 1日以下 | た 食べない |
|---|------------------------------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| A | ^{やさい} 野菜 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B | くだもの ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C | ^{にく さかな} 肉や魚 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| D | カップめん・インスタントめん ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| E | コンビニなどのおにぎり・ ^{べんとう} お弁当 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| F | ^{かし} お菓子 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

とい 問7 あなたは、^{じぶん けんこうじょうたい}自分の健康状態についてどう感じていますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号1つに○)

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

とい 問8 あなたの^{むしば じょうたい}虫歯の状態について教えてください。

(あてはまる^{ばんごう}番号1つに○)

1. ^{むしば}虫歯になったことがない 2. ^{むしば}虫歯があった (^{ぜんぶなお}全部治した)
3. ^{なお}まだ治していない ^{むしば}虫歯がある 4. わからない

とい 問9 あなたは、^{へいじつ がっこう い ひ ほうかご ゆうがた じ}平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)はだれと^す過ごしますか。^{いっしょ す}一緒に過ごすことが^{いちばんおお ひと}一番多い人に○をつけてください。

(あてはまる^{ばんごう}番号1つに○)

1. ^{おとな ひと かあ どう そふぼ しん}おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)
2. きょうだい
3. ^{とも}友だち
4. ^{ひとが い おとな じゆく なら ごと せんせい きんじよ おとな}おうちの人以外の大人(塾・習い事の先生や、近所の大人など)
5. ひとりである

問13 あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 自分の家 | 2. 祖父母の家 |
| 3. 友だちの家 | 4. 塾や習い事 |
| 5. 児童館・地域子どもの家 | 6. スポーツクラブの活動の場（プール、体育館など） |
| 7. 公園 | 8. 図書館 |
| 9. コンビニエンスストアやショッピングモール | 10. ゲームセンター |
| 11. その他（くわしく | ） |

問14 あなたは、家で次のようなことをしていますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | している | どちらか といえば している | あまり していない | まったく していない | 持って いない |
|---|------|----------------------|--------------|---------------|------------|
| A 毎日同じぐらいの時間に寝ている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | X |
| B テレビを見たりゲームをしたりする 時間などのルールを家の人と決めている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C けいたい電話やスマートフォンの使い方につ いて、家の人と約束したことを守っている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問15 あなたは、次の活動をふだんどれくらいしますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | ほぼ毎日 2時間以上 | ほぼ毎日 1～2時間 | ほぼ毎日 1時間以下 | 1週間に 3～5日 | 1週間に 1～2日 | ぜんぜん しない |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|-------------|
| A ゲーム（オンラインゲームを ふくむ）で遊ぶ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| B テレビを見る・ インターネットを利用する ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| C 公園で遊ぶ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| D 家事 （食事作りや掃除、洗濯など） ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| E きょうだいなどの世話 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| F 病気の家族・祖父母の世話 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問16 あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1（ある）」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2（ほしい）」、いらなと思うものであれば「3（ほしくない）」に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | ある | ない | |
|--------------------------------|----|-----|-------|
| | | ほしい | ほしくない |
| A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく） ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| B 自分だけのマンガ・雑誌 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| C 自分の部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます） ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| D （自分の家で）インターネットにつながるパソコン ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| E 自分の家で学習をすることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| F 自分専用の勉強機 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| G スポーツ用品（ボール・ラケットなど） ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| H 多くの友だちが持っているおもちゃ・ゲーム機 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| I 自転車 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| J おこづかい ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| K 友だちが着ているのと同じような服 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| L サイズのあった2足以上の靴 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| M けいたい電話・スマートフォン ⇒ | 1 | 2 | 3 |

問17 あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。

※自宅以外で読んだ本も数えてください。

※パソコンやタブレット、スマートフォンなどで読める本も数えてください。

※雑誌やマンガは、数にふくめないでください。（あてはまる番号1つに○）

| | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 読まなかった | 2. 1冊 | 3. 2～3冊 |
| 4. 4～7冊 | 5. 8～11冊 | 6. 12冊以上 |

がっこう ^{べんぎょう} ^{おし}
学校のことや勉強のことについて教えてください

とい 問18 あなたの ^{がっこうせいかつ} 学校生活についておききます。 ^{つぎ} 次のことについて、「1 とても ^{たの}楽しみ」から「4 ^{たの}楽しみではない」
^{ちか} のもっとも近いものに○をつけてください。 (それぞれ、あてはまる ^{ばんごう} 番号1つに○)

| | | とても ^{たの} 楽しみ | ^{たの} 楽しみ | すこ ^{たの} 少し楽しみ | ^{たの} 楽しみでは ない |
|-------------------------------|--|--------------------------|-------------------|---------------------------|---------------------------|
| A ^{じゆぎょう} 授業 ⇒ | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B ^{せんせい あ} 先生に会うこと ⇒ | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C ^{とも あ} 友だちに会うこと ⇒ | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D ^{やす じかん} 休み時間 ⇒ | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E ^{きゆうしょく} 給食 ⇒ | | 1 | 2 | 3 | 4 |

とい 問19 あなたは、 ^{がっこう じゆぎょう} 学校の授業がわからないことがありますか。 (あてはまる ^{ばんごう} 番号1つに○)

- | | | |
|----------------------|---------------------|-------------|
| 1. いつもわかる | 2. だいたいわかる | 3. あまりわからない |
| 4. <u>わからないことが多い</u> | 5. <u>ほとんどわからない</u> | |

とい 問19-1 学校の授業が「4. わからないことが多い」または「5. ほとんどわからない」と答えた人におききます。
 いっごろから、 ^{じゆぎょう} 授業がわからなくなりましたか。 (あてはまる ^{ばんごう} 番号1つに○)

- | | | |
|---------------------------|------------------------------|---------------------------|
| 1. ^{ねんせい} 1年生のころ | 2. ^{ねんせい} 2年生のころ | 3. ^{ねんせい} 3年生のころ |
| 4. ^{ねんせい} 4年生のころ | 5. ^{ねんせい} 5年生になってから | 6. わからない |

ぜんいん
全員におききます

とい 問20 ^{べんぎょう} 勉強がわからないときは、だれに ^{おし} 教えてもらいますか。 (あてはまる ^{ばんごう} 番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. ^{かあ とう} お母さん・お父さん | 2. きょうだい |
| 3. ^{そふぼ} 祖父母 | 4. ^{がっこう せんせい} 学校の先生 |
| 5. ^{じゆく なら せんせい} 塾や習いごとの先生 | 6. ^{とも} 友だち |
| 7. ^{た おとな} その他の大人 | 8. ^{おし ひと} 教えてもらえる人がいない |



とい 問21 あなたの得意な教科・活動は、次のうちどれですか。

(あてはまる番号すべてに○)

| | | |
|-----------------|---------------|------------------|
| 1. 国語 | 2. 社会 | 3. 算数 |
| 4. 理科 | 5. 音楽 | 6. 図画工作 |
| 7. 家庭 | 8. 体育 | 9. 道徳 |
| 10. 外国語 (英語) | 11. 総合的な学習の時間 | 12. 特別活動 (学級活動等) |
| 13. 得意な教科・活動はない | | |

とい 問22 あなたは、家で次のようなことをしていますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | している | どちらかといえはしている | あまりしていない | まったくしていない |
|----------------------|------|--------------|----------|-----------|
| A 学校の宿題をしている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 学校の授業の復習をしている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C 自分で計画を立てて勉強をしている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

とい 問23 あなたは、平日 (学校に行く日) 学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。

1日あたりの勉強時間を教えてください。

※ 塾などでの時間もふくみます。

(あてはまる番号1つに○)

| | |
|-------------------|-------------------|
| 1. まったくしない | 2. 30分より少ない |
| 3. 30分以上、1時間より少ない | 4. 1時間以上、2時間より少ない |
| 5. 2時間以上、3時間より少ない | 6. 3時間以上 |

とい 問24 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている(来てもらっている)場合、

1週間に何日通って(来てもらって)いますか。

(あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|--------------------|---------|---------|---------|
| 1. 通って(来てもらって) いない | 2. 週に1日 | 3. 週に2日 | 4. 週に3日 |
| 5. 週に4日 | 6. 週に5日 | 7. 週に6日 | 8. 毎日 |

とい 問25 あなたは、学校に遅刻することがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

| | | |
|----------------|-----------|------------|
| 1. 毎日またはほとんど毎日 | 2. 週に2~3日 | 3. 週に1日程度 |
| 4. 月に2~3日 | 5. 月に1日程度 | 6. ほとんどしない |
| 7. 遅刻はしない | | |

あなたがだん かんが おし 考えていることについて教えてください

問26 あなたは、^{しょうらい} 将来の夢^{ゆめ}がありますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒問26-1へ 2. ない ⇒問26-2へ

問26-1 将来の夢が「1. ある」と答えた人におききます。

その夢は何ですか。

(下の枠の中を書いてください)

問26-2 将来の夢が「2. ない」と答えた人におききます。

夢がない理由は何ですか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 今のままでよいと思っているから 2. 夢がかなうのがむずかしいと思うから
3. 具体的に、何も思いうかばないから 4. わからない

全員におききます

問27 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | とても思う | 思う | あまり思わない | 思わない |
|-----------------------|-------|----|---------|------|
| A 自分が好きだ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 楽しみにしていることがたくさんある ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C 自分の将来が楽しみだ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D 自分は家族に大切にされていると思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E 自分は友だちに好かれていると思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F 不安に感じることはないと思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G ひとりぼっちに感じることはない ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H 落ち込んでいてもすぐに元気になれる ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| I がんばれば、よい結果が出ると思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| J 自分は価値のある人間だと思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問28 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | どちらかといえばあてはまらない | あてはまらない |
|--|-------|---------------|-----------------|---------|
| A 物 <small>もの</small> のごと <small>ごと</small> を最後 <small>さいご</small> までやりとげて、嬉 <small>うれ</small> しかったことがある ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 難 <small>むずか</small> しいことでも、失 <small>しっばい</small> 敗 <small>おそ</small> を恐 <small>おそ</small> れないで挑 <small>ちょう</small> 戦 <small>せん</small> している ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C 友 <small>とも</small> だちの前 <small>まえ</small> で自 <small>じ</small> 分 <small>ぶん</small> の考 <small>かんが</small> えや意 <small>い</small> 見 <small>けん</small> を發 <small>はっ</small> 表 <small>びょう</small> することは得意 <small>とくい</small> だ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D 友 <small>とも</small> だちと話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> うとき、友 <small>とも</small> だちの話 <small>はなし</small> や意 <small>い</small> 見 <small>けん</small> を最 <small>さい</small> 後 <small>ご</small> まで聞 <small>き</small> くことができる ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E 友 <small>とも</small> だちと話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> うとき、友 <small>とも</small> だちの考 <small>かんが</small> えをしっかきり聞 <small>き</small> いて、自 <small>じ</small> 分 <small>ぶん</small> の考 <small>かんが</small> えを持 <small>も</small> つことができる ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F 話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> いの場 <small>ば</small> で、みんなどは違 <small>ちが</small> う意 <small>い</small> 見 <small>けん</small> があつても、みんなが納 <small>な</small> 得 <small>とく</small> できるように話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> い、意 <small>い</small> 見 <small>けん</small> をままとめている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G みん <small>みんな</small> で協 <small>きょうり</small> 力 <small>りょく</small> して何 <small>なに</small> かをやりとげ、うれしかったことがある ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問29 あなたは、いやなことや悩なやんでいることがあるとき、だれかに相そう談だんしますか (だれに話はなしますか)。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. お母 <small>かあ</small> さん・お父 <small>とう</small> さん | 2. きょうだい |
| 3. 祖 <small>そ</small> 父 <small>ふ</small> 母 <small>ぼ</small> | 4. おじさん、おばさんなどの親 <small>しん</small> せき |
| 5. 学 <small>がっ</small> 校 <small>こう</small> の友 <small>とも</small> だち | 6. 塾 <small>じゅく</small> や習 <small>なら</small> いごとの友 <small>とも</small> だち |
| 7. その他 <small>た</small> の友 <small>とも</small> だち | 8. いとこ |
| 9. 担 <small>たん</small> 任 <small>にん</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> や他 <small>ほか</small> のク <small>く</small> ラ <small>ら</small> ス <small>す</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> | 10. 保 <small>ほ</small> 健 <small>けん</small> 室 <small>しつ</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> |
| 11. スク <small>スク</small> ールカウ <small>カウ</small> ンセ <small>ン</small> ラー | 12. 塾 <small>じゅく</small> や習 <small>なら</small> いごとの先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> |
| 13. 放 <small>ほう</small> 課 <small>か</small> 後 <small>ご</small> 児 <small>じ</small> 童 <small>どう</small> ク <small>ク</small> ラ <small>ら</small> ブ <small>ブ</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> | 14. 子 <small>こ</small> ども専 <small>せん</small> 用 <small>よう</small> の電 <small>でん</small> 話 <small>わ</small> 相 <small>そう</small> 談 <small>だん</small> |
| 15. 近 <small>きん</small> 所 <small>じょ</small> の <small>ひと</small> 人 | 16. 地 <small>ち</small> 域 <small>いき</small> の支 <small>し</small> 援 <small>えん</small> 団 <small>だん</small> 体 <small>たい</small> の <small>ひと</small> 人 ※ |
| 17. インタ <small>エス</small> ーネ <small>エス</small> ット <small>エス</small> やS N Sなどを通 <small>つう</small> じて知 <small>し</small> り合 <small>あ</small> った直 <small>ちやく</small> 接 <small>せつ</small> 会 <small>あ</small> ったことのない <small>ひと</small> 人 | |
| 18. その他 <small>た</small> の <small>ひと</small> 人 (くわしく) | |
| 19. だれにも相 <small>そう</small> 談 <small>だん</small> でき <small>き</small> ない | 20. だれにも相 <small>そう</small> 談 <small>だん</small> した <small>した</small> く <small>く</small> ない |
| 21. わから <small>ら</small> ない | |

※地域の支援団体とは、地域の人が勉強を教えてくれる場所や子ども食堂などをふくみます。

問30 あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | よく あった | ときどき 時々 あった | あまり なかった | なかった | わからない |
|---|-------------------------|-----------|-------------------|-------------|------|-------|
| A | 学校に行きたくないと思った ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B | 1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく) ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C | いじめられた ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| D | 夜遅くまで子どもだけで過ごした ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問31 あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | つか 使って みたい | きょうみ 興味が ある | つか 使いたく ない | つか ひつよう する必要 はない |
|---|---|------------------|-------------------|------------------|---------------------------|
| A | (家以外で) 平日(学校に行く日)の放課後に夕方6時までのことができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B | (家以外で) 平日(学校に行く日)の放課後に夕方6時より遅い時間にいることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C | (家以外で) 休日(学校がお休みの日)にいることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D | おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E | 家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F | 地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G | (学校以外で) なんでも相談できる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問32 あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。 (あてはまる番号1つに○)

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 学校の友だち | 2. 学校はいっしょではないけれども、近所に住んでいる友だち |
| 3. スポーツチームやクラブの友だち | 4. 塾の友だち |
| 5. 習いごとの友だち | 6. その他の友だち |
| 7. とくに仲の良い友だちはいない | |

あともう少しだよ!



とい 問33 あなたは、^{じぶん}自分や^{かぞく}家族のことで、^{しんぱい}心配なことや^{こま}困っていることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号すべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. ^{かぞく} 家族との ^{じかん} 時間や ^{かいわ} 会話が ^{おお} 多くない | 2. ^{じぶん} 自分とお母さんやお父さんとの ^{なか} 仲が ^よ 良くない |
| 3. ^な きょうだいとの ^{なか} 仲が ^よ 良くない | 4. ^{おや} 親同士の ^{なか} 仲が ^よ 良くない |
| 5. ^{いえ} 家で ^お 落ちて ^つ いて ^{べんきょう} 勉強できない | 6. ^{びょうき} 病気の ^{かぞく} 家族や、 ^そ 祖母の ^ふ 世話が ^{せわ} が大変 |
| 7. ^か 家事(^{しょくじ} 食事作りや ^{そうじ} 掃除、 ^{せんたく} 洗濯など)が ^{たいへん} 大変 | 8. ^な きょうだいの ^{せわ} 世話や ^{めんど} めんどを ^{みる} みるのが ^{たいへん} 大変 |
| 9. ^た 食べる ^{ごはん} ごはんがないときがある | 10. ^{いえ} 家の中が ^{なか} 散らかっている |
| 11. ^{いえ} 家にお金がない(^{かね} 少ない) ^{すく} | 12. ^た その他(→問35に ^か 書いてください) |
| 13. ^{とく} 特に ^{こま} 困っていることはない | |

とい 問34 あなたは、^{がっこう}学校のことで^{こま}困っていることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号すべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. ^{どうがくねん} 同学年の人との ^{ひと} 関係が ^{かんけい} うまくいっていない | 2. ^{じょうきゅうせい} 上級生や ^{かきゅうせい} 下級生との ^{かんけい} 関係が ^{かんけい} うまくいっていない |
| 3. ^{せんせい} 先生との ^{かんけい} 関係が ^{かんけい} うまくいっていない | 4. ^{なや} 悩みがあっても ^{おとな} 大人の人に ^{ひと} うまく ^{そうだん} 相談できない |
| 5. ^{しょうらい} 将来(^{しんろ} 進路)の ^{ふあん} ことが不安 | 6. ^{べんきょう} 勉強が ^よ よくわからない |
| 7. ^た その他(→問35に ^か 書いてください) | 8. ^{とく} 特に ^{こま} 困っていることはない |

とい 問35 その他に、^{ほか}大人に^{おとな}お願いしたいことや、^{ねが}毎日の^{まいにち}生活や^{せいかつ}学校で^{がっこう}困っていることがあったら、^{こま}なんでも^{じゆう}自由^{じゆう}に^か書いてください。

^{しつもん}質問は以上です。^{いじょう}ご^{きょうりょく}協力ありがとうございました。



こ こそだ かてい せいかつじったいちょうさ ちゅうがくせいひょう
子どもと子育て家庭の生活実態調査（中学生票）

ねが
お願い

- これは、藤沢市に住んでいる子どもたちが安心して成長できるように、大人が何をしなければならぬかを教えてもらうためのアンケートです。
 - このアンケートの内容がよくわからなかったら、おうちの方に意味を教えてください。でもよいですが、答えは自分の思うとおりに書いてください。
 - 名前は、書かないでください。
 - 答えたくない質問は、答えなくてよいです。自分の思うとおりに書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。答えが思いうかばない場合や答えたくない質問はそのまま飛ばして次に進んでください。
 - 答えは、あてはまる番号に○をつけるか、記号や文章で書いてください。
 - ○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○」や「あてはまる番号すべてに○」などと書いてありますので、それにしがってください。
- 例1 あなたの考えについて教えてください。
(1) 本を読むことは好きですか。 (あてはまる番号1つに○)
- | | | | | | | | |
|---|-------|---|---------|---|------------|---|---------|
| ① | あてはまる | ② | まああてはまる | ③ | あまりあてはまらない | ④ | あてはまらない |
|---|-------|---|---------|---|------------|---|---------|
- 例2 次のうち、あなたが飼っている生きものを教えてください。 (あてはまる番号すべてに○)
- | | | | | | | | |
|---|----|---|-------|---|-------------|---|-------------|
| ① | イヌ | ② | ネコ | ③ | ウサギ | ④ | 鳥 |
| ⑤ | 魚 | ⑥ | ハムスター | ⑦ | その他 (カ メ) | ⑧ | 生きものは飼っていない |
- 全部書き終わったら、自分で三つ折りにして、白色の封筒に入れてとじてください。それを、おうちの方の封筒と一緒に、大きい茶色の封筒に入れて郵便で送ってください。

この調査は、藤沢市が実施しています。調査に関して聞きたいこと、言いたいことなどは、

次の市役所担当課までお願いします。

藤沢市役所子育て企画課

電話番号：0466-50-3562（直通）

ファックス番号：0466-50-8428

メールアドレス：fj1-kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp

月曜日～金曜日（祝日を除く）

8：30～17：00

問6 あなたは、学校で食べる給食・お弁当をのぞいて、次の食べ物をおだんどれくらい食べますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | まいにち毎日食べる | 1週間に4~5日 | 1週間に2~3日 | 1週間に1日以下 | 食べない |
|-------------------|-----------|----------|----------|----------|------|
| A 野菜 | ⇒ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B くだもの | ⇒ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C 肉や魚 | ⇒ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| D カップめん・インスタントめん | ⇒ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| E コンビニなどのおにぎり・お弁当 | ⇒ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| F お菓子 | ⇒ 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問7 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

問8 あなたの虫歯の状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 虫歯になったことがない 2. 虫歯があった(全部治した)
3. まだ治していない虫歯がある 4. わからない

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

1. おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)
2. おうちの人以外の大人(塾・習い事の先生や、近所の大人など)
3. きょうだい
4. 部活動の仲間
5. (部活動以外の)友だち
6. ひとりである

問10 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしていますか。1週間のうち、そこで過ごしたい日数に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | まいにち 毎日 | しゅう 週に 3~4日 | しゅう 週に 1~2日 | そこでは まったく 全 く す ご さ な い |
|---|------------|-------------------|-------------------|---|
| A 自分 <small>じぶん</small> の家 <small>いえ</small> ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 祖父母 <small>そふぼ</small> の家 <small>いえ</small> ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C 友達 <small>とも</small> ちの家 <small>いえ</small> ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D 塾 <small>じゅく</small> や習 <small>なら</small> い事 <small>ごと</small> ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E 学校 <small>がっこう</small> （部活動 <small>ぶかつどう</small> など） ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F スポーツクラブの活動 <small>かつどう</small> の場 <small>ば</small> （プール、体育館 <small>たいいくかん</small> など） ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G 公園 <small>こうえん</small> ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H 図書館 <small>としよかん</small> ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| I コンビニエンスストアやショッピングモール ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| J ゲームセンター ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| K その他 <small>た</small> （くわしく） ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問11 上の問10のA~Kの場所の中で、あなたが一番いちばんほっとできる場所ばしょはどこですか。1つだけ選えらんで、その記号きごうをカッコなかの中に書かいてください。

ほっとできる場所ばしょがない場合は、「X ほっとできる場所ばしょはない」に○をつけてください。

| |
|---|
| 記号 <small>きごう</small> () X ほっとできる場所 <small>ばしょ</small> はない |
|---|

問12 あなたは、休日きゅうじつ（学校がっこうがお休みやすみの日ひ）の午後ごごはだれと過すごしますか。一緒いっしょに過すごすることが一番いちばん多おほい人ひとに○をつけてください。（あてはまる番号ばんごう1つに○）

1. おうちおとなの大人ひとの人かあ（お母とうさん・お父そふぼさん・祖父母しん・親せきなど）
2. おうちの人以外ひとの大人おとな（塾じゅく・習ならい事ごとの先生せんせいや、近所きんじよの大人おとななど）
3. きょうだい
4. 部活動ぶかつどうの仲間なかま
5. （部活動以外ぶかつどうの）友ともだち
6. ひとりひとりでいる

問13 あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 自分の家 | 2. 祖父母の家 |
| 3. 友だちの家 | 4. 塾や習い事 |
| 5. 学校（部活動など） | 6. スポーツクラブの活動の場（プール、体育館など） |
| 7. 公園 | 8. 図書館 |
| 9. コンビニエンスストアやショッピングモール | 10. ゲームセンター |
| 11. その他（くわしく | ） |

問14 あなたは、家で次のようなことをしていますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | している | どちらか といえば している | あまり していない | まったく していない | 持って いない |
|---|------|----------------------|--------------|---------------|------------|
| A 毎日同じぐらいの時間に寝ている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | X |
| B テレビを見たりゲームをしたりする 時間などのルールを家の人と決めている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C けいたい電話やスマートフォンの使い方につ いて、家の人と約束したことを守っている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問15 あなたは、次の活動をふだんどれくらいしますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | ほぼ毎日 2時間以上 | ほぼ毎日 1～2時間 | ほぼ毎日 1時間以下 | 1週間に 3～5日 | 1週間に 1～2日 | ぜんぜん しない |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|-------------|
| A ゲーム（オンラインゲームを ふくむ）で遊ぶ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| B テレビを見る・ インターネットを利用する ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| C 公園で遊ぶ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| D 家事 （食事作りや掃除、洗濯など） ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| E きょうだいなどの世話 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| F 病気の家族・祖父母の世話 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問16 あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1（ある）」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2（ほしい）」、いらなと思うものであれば「3（ほしくない）」に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

| | ある | ない | |
|--------------------------------|----|-----|-------|
| | | ほしい | ほしくない |
| A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく） ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| B 自分だけのマンガ・雑誌 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| C 自分の部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます） ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| D （自分の家で）インターネットにつながるパソコン ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| E 自分の家で学習をすることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| F 自分専用の勉強機 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| G スポーツ用品（ボール・ラケットなど） ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| H 多くの友だちが持っているおもちゃ・ゲーム機 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| I 自転車 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| J おこづかい ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| K 友だちが着ているのと同じような服 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| L サイズのあった2足以上の靴 ⇒ | 1 | 2 | 3 |
| M けいたい電話・スマートフォン ⇒ | 1 | 2 | 3 |

問17 あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。

※朝読書で読んだ本など、自宅以外で読んだ本も数えてください。

※パソコンやタブレット、スマートフォンなどで読める本も数えてください。

※雑誌やマンガは、数にふくめないでください。（あてはまる番号1つに○）

| | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 読まなかった | 2. 1冊 | 3. 2～3冊 |
| 4. 4～7冊 | 5. 8～11冊 | 6. 12冊以上 |

がっこう べんぎょう おし
学校のことや勉強のことについて教えてください

とい 問18 あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」
 のもっとも近いものに○をつけてください。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | とても たの 楽しみ | たの 楽しみ | すこ たの 少し楽しみ | たの 楽しみでは ない |
|--|---|------------------|-----------|-------------------|-------------------|
| A <small>じゆぎょう</small> 授業 | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B <small>せんせい あ</small> 先生に会うこと | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C <small>とも あ</small> 友だちに会うこと | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D <small>ぶかつどう</small> 部活動 | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E <small>やす じかん</small> 休み時間 | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F <small>ちゆうしょく</small> 昼食 | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G <small>せいとかいかつどう いいんかいかつどう</small> 生徒会活動(委員会活動をふくむ) | ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

とい 問19 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|---------------|--------------|-------------|
| 1. いつもわかる | 2. だいたいわかる | 3. あまりわからない |
| 4. わからないことが多い | 5. ほとんどわからない | |

とい 問19-1 学校の授業が「4. わからないことが多い」または「5. ほとんどわからない」と答えた人におききます。
 いつごろから、授業がわからなくなりましたか。 (あてはまる番号1つに○)

| | | |
|--|---|--|
| 1. <small>しょうがく ねんせい</small> 小学1・2年生のころ | 2. <small>しょうがく ねんせい</small> 小学3・4年生のころ | 3. <small>しょうがく ねんせい</small> 小学5・6年生のころ |
| 4. <small>ちゅうがく ねんせい</small> 中学1年生のころ | 5. <small>ちゅうがく ねんせい</small> 中学2年生になってから | 6. わからない |

ぜんいん
全員におききます

とい 問20 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。 (あてはまる番号すべてに○)

| | |
|--|---|
| 1. <small>かあ とう</small> お母さん・お父さん | 2. きょうだい |
| 3. <small>そ ふ</small> 祖父母 | 4. <small>がっこう せんせい</small> 学校の先生 |
| 5. <small>じゆく なら せんせい</small> 塾や習いごとの先生 | 6. <small>とも</small> 友だち |
| 7. <small>た おとな</small> その他の大人 | 8. <small>おし ひと</small> 教えてもらえる人がいない |



とい 問21 あなたの得意な教科・活動は、次のうちどれですか。

(あてはまる番号すべてに○)

| | | |
|------------------|-----------------|---------------|
| 1. 国語 | 2. 社会 | 3. 数学 |
| 4. 理科 | 5. 音楽 | 6. 美術 |
| 7. 保健体育 | 8. 技術 | 9. 家庭 |
| 10. 外国語 (英語) | 11. 道徳 | 12. 総合的な学習の時間 |
| 13. 特別活動 (学級活動等) | 14. 得意な教科・活動はない | |

とい 問22 あなたは、家で次のようなことをしていますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | している | どちらかといえはしている | あまりしていない | まったくしていない |
|----------------------|------|--------------|----------|-----------|
| A 学校の宿題をしている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 学校の授業の復習をしている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C 自分で計画を立てて勉強をしている ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

とい 問23 あなたは、平日 (学校に行く日) 学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。

1日あたりの勉強時間を教えてください。

※ 塾などでの時間もふくみます。

(あてはまる番号1つに○)

| | |
|-------------------|-------------------|
| 1. まったくしない | 2. 30分より少ない |
| 3. 30分以上、1時間より少ない | 4. 1時間以上、2時間より少ない |
| 5. 2時間以上、3時間より少ない | 6. 3時間以上 |

とい 問24 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている(来てもらっている)場合、

1週間に何日通って(来てもらって)いますか。

(あてはまる番号1つに○)

| | | | |
|--------------------|---------|---------|---------|
| 1. 通って(来てもらって) いない | 2. 週に1日 | 3. 週に2日 | 4. 週に3日 |
| 5. 週に4日 | 6. 週に5日 | 7. 週に6日 | 8. 毎日 |

とい 問25 あなたは、学校に遅刻することがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

| | | |
|----------------|-----------|------------|
| 1. 毎日またはほとんど毎日 | 2. 週に2~3日 | 3. 週に1日程度 |
| 4. 月に2~3日 | 5. 月に1日程度 | 6. ほとんどしない |
| 7. 遅刻はしない | | |

あなたがだん 考 えていることについて教えてください

問26 あなたは、将 来の夢がありますか。 (あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒問26-1へ 2. ない ⇒問26-2へ

問26-1 将 来の夢が「1. ある」と答えた人におききします。
その夢は何ですか。 (下の枠の中に書いてください)

問26-2 将 来の夢が「2. ない」と答えた人におききします。
夢がない理由は何ですか。 (あてはまる番号1つに○)

1. 今のままでよいと思っているから 2. 夢がかなうのがむずかしいと思うから
3. 具体的に、何も思いうかばないから 4. わからない

問26-3 全 員におききします。
あなたは、将 来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考 えにもっとも近いものに○をつけてください。 (あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで 2. 高校まで 3. 短大・高専・専門学校まで
4. 大学またはそれ以上 5. まだわからない

問27 あなたの思 いや気持 ちについて、「1 とても思う」から「4 思 わない」のもっとも近いものに○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | とても思う | おも 思う | あまり おも 思わない | おも 思わない |
|---|---------------------|-------|-------|-------------|---------|
| A | 自分のことが好きだ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B | 楽しみにしていることがたくさんある ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C | 自分の将来が楽しみだ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D | 自分は家族に大切にされていると思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E | 自分は友だちに好かれていると思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F | 不安に感じることはないと思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G | ひとりぼっちに感じることはない ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H | 落ち込んでいてもすぐに元気になれる ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| I | がんばれば、よい結果が出ると思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| J | 自分は価値のある人間だと思う ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問28 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | どちらかといえばあてはまらない | あてはまらない |
|--|-------|---------------|-----------------|---------|
| A 物 <small>もの</small> ごとを最後までやりとげて、嬉 <small>うれ</small> しかったことがある ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B 難 <small>むずか</small> しいことでも、失 <small>しっ</small> 敗を恐 <small>おそ</small> れないで挑 <small>ちょう</small> 戦している ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C 友 <small>とも</small> だちの前 <small>まえ</small> で自 <small>じ</small> 分の考 <small>かん</small> えや意 <small>い</small> 見を發 <small>は</small> 表するこは得意 <small>とくい</small> だ ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D 友 <small>とも</small> だちと話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> うとき、友 <small>とも</small> だちの話 <small>はなし</small> や意 <small>い</small> 見を最 <small>さい</small> 後まで聞 <small>き</small> くことができる ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E 友 <small>とも</small> だちと話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> うとき、友 <small>とも</small> だちの考 <small>かん</small> えをしっかきり聞 <small>き</small> いて、自 <small>じ</small> 分の考 <small>かん</small> えを持 <small>も</small> つことができる ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F 話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> いの場 <small>ば</small> で、みんなどは違 <small>ちが</small> う意 <small>い</small> 見があつても、みんなが納 <small>な</small> 得 <small>とく</small> できるように話 <small>はな</small> し合 <small>あ</small> い、意 <small>い</small> 見をま <small>い</small> とめてい ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G みん <small>みな</small> で協 <small>きょう</small> 力 <small>りよく</small> して何 <small>なに</small> かをやりとげ、うれしかったことがある ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問29 あなたは、いやなことや悩なやんでいることがあるとき、だれかに相そう談だんしますか（だれに話はなしますか）。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. お母 <small>かあ</small> さん・お父 <small>とう</small> さん | 2. きょうだい |
| 3. 祖 <small>そ</small> 父 <small>ふ</small> 母 | 4. おじさん、おばさんなどの親 <small>しん</small> せき |
| 5. 学 <small>が</small> 校 <small>こう</small> の友 <small>とも</small> だち | 6. 塾 <small>じゅく</small> や習 <small>なら</small> いごとの友 <small>とも</small> だち |
| 7. その他 <small>た</small> の友 <small>とも</small> だち | 8. いとこ |
| 9. 担 <small>たん</small> 任 <small>にん</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> や他 <small>ほか</small> のク <small>く</small> ラ <small>ら</small> ス <small>す</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> | 10. 保 <small>ほ</small> 健 <small>けん</small> 室 <small>しつ</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> |
| 11. 部 <small>ぶ</small> 活 <small>かつ</small> 動 <small>どう</small> の先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> | 12. スク <small>スク</small> ールカウ <small>カウ</small> ンセ <small>ン</small> ラー |
| 13. 塾 <small>じゅく</small> や習 <small>なら</small> いごとの先 <small>せん</small> 生 <small>せい</small> | 14. 子 <small>こ</small> ども専 <small>せん</small> 用 <small>よう</small> の電 <small>でん</small> 話 <small>わ</small> 相 <small>そう</small> 談 |
| 15. 近 <small>きん</small> 所 <small>じょ</small> の <small>ひと</small> 人 | 16. 地 <small>ち</small> 域 <small>いき</small> の支 <small>し</small> 援 <small>えん</small> 団 <small>だん</small> 体 <small>たい</small> の <small>ひと</small> 人 ※ |
| 17. インタ <small>エス</small> ーネ <small>エヌ</small> ット <small>エス</small> やS N Sなどを通 <small>つう</small> じて知 <small>し</small> り合 <small>あ</small> った直 <small>ちやく</small> 接 <small>せつ</small> 会 <small>あ</small> ったこと <small>こと</small> のな <small>ひと</small> い人 | |
| 18. その他 <small>た</small> の <small>ひと</small> 人（くわしく |) |
| 19. だれにも相 <small>そう</small> 談 <small>だん</small> でき <small>き</small> ない | 20. だれにも相 <small>そう</small> 談 <small>だん</small> した <small>した</small> く <small>く</small> ない |
| 21. わか <small>わか</small> ら <small>ら</small> ない | |

※地域の支援団体とは、地域の人が勉強をしてくれる場所や子ども食堂などをふくみます。

問30 あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | よく あった | ときどき あった | あまり なかった | なかった | わからない |
|---|-------------------------|-----------|-------------|-------------|------|-------|
| A | 学校に行きたくないと思った ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B | 1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく) ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C | いじめられた ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| D | 夜遅くまで子どもだけで過ごした ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問31 あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

| | | つか 使って みたい | きょうみ 興味が ある | つか 使いたく ない | つか ひつよう 使う必要 はない |
|---|---|------------------|-------------------|------------------|---------------------------|
| A | (家以外で) 平日(学校に行く日)の放課後に夕方6時までいることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B | (家以外で) 平日(学校に行く日)の放課後に夕方6時以降に居ることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C | (家以外で) 休日(学校がお休みの日)に居ることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D | おうちの人がいないうち、夕ごはんをみんなで食べることができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| E | 家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| F | 地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| G | (学校以外で) なんでも相談できる場所 ⇒ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問32 あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 学校の友だち | 2. 学校はいいじゃないけれども、近所に住んでいる友だち |
| 3. スポーツチームやクラブの友だち | 4. 塾の友だち |
| 5. 習いごとの友だち | 6. その他の友だち |
| 7. とくに仲の良い友だちはいない | |

あともう少しです!



とい 問33 あなたは、^{じぶん かぞく}自分や家族のことで、^{しんぱい こま}心配なことや困っていることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号すべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. ^{かぞく} 家族との ^{じかん} 時間や ^{かいわ} 会話が ^{おお} 多くない | 2. ^{じぶん} 自分とお母さんやお父さんとの ^{なか よ} 仲が良くない |
| 3. ^{なか よ} きょうだいとの仲が良くない | 4. ^{おやどうし なか よ} 親同士の仲が良くない |
| 5. ^{いえ お つ} 家で ^{べんきょう} 落ち着いて ^{べんきょう} 勉強できない | 6. ^{びょうき かぞく そふほ} 病気の家族や、 ^{せわ たいへん} 祖父母の世話が ^{たいへん} 大変 |
| 7. ^{かじ} 家事(食事作りや掃除、洗濯など)が ^{せんたく} 大変 | 8. ^{きょうだい} きょうだいの ^{せわ} 世話や ^{めんどう} めんどうをみるのが ^{たいへん} 大変 |
| 9. ^た 食べる ^{ごはん} ごはんがないときがある | 10. ^{いえ なか} 家の中が ^ち 散らかっている |
| 11. ^{いえ} 家にお金がない(少ない) | 12. ^た その他(→問35に書いてください) |
| 13. ^{とく} 特に ^{こま} 困っていることはない | |

とい 問34 あなたは、^{がっこう}学校のことで^{こま}困っていることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号すべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. ^{どうがくねん} 同学年の人との ^{ひと} 関係が ^{かんけい} うまくいっていない | 2. ^{じょうきゅうせい} 上級生や ^{かきゅうせい} 下級生との ^{かんけい} 関係が ^{かんけい} うまくいっていない |
| 3. ^{せんせい} 先生との ^{かんけい} 関係が ^{かんけい} うまくいっていない | 4. ^{なや} 悩みがあっても ^{おとな} 大人の人や ^{ひと} 人に ^{そうだん} うまく相談できない |
| 5. ^{しょうらい} 将来(進路)の ^{しんろ} ことが ^{ふあん} 不安 | 6. ^{べんきょう} 勉強がよく ^{べんきょう} わからない |
| 7. ^た その他(→問35に書いてください) | 8. ^{とく} 特に ^{こま} 困っていることはない |

とい 問35 その他に、^{ほか}大人に^{おとな}お願いしたいことや、^{まいにち}毎日の生活や^{せいかつ}学校で^{がっこう}困っていることがあったら、^{こま}なんでも自由^{じゆう}に書いてください。



^{しつもん}質問は以上です。^{いじょう}ご協力^{きょうりょく}ありがとうございました。

藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査
アンケート調査結果報告書
2019年（平成31年）3月

発行： 藤沢市 子ども青少年部 子育て企画課